

日本医科大学研究業績年報

Nippon Medical School Research Annual

平成 31 / 令和元 (2019) 年度

April 2019 — March 2020

目次

〔1〕基礎科学.....	1
1 医療心理学.....	2
2 数学.....	3
3 物理学.....	4
4 化学.....	5
5 生物学.....	6
6 英語.....	7
7 スポーツ科学.....	8
〔2〕基礎医学.....	9
1 分子解剖学分野.....	10
2 解剖学・神経生物学分野.....	11
3 感覚情報科学分野.....	13
4 生体統御科学分野.....	14
5 代謝・栄養学分野.....	16
6 分子遺伝医学分野.....	18
7 薬理学分野.....	21
8 解析人体病理学分野.....	23
9 統御機構診断病理学分野.....	30
10 微生物学・免疫学分野.....	33
11 衛生学公衆衛生学分野.....	36
12 法医学分野.....	39
13 医療管理学分野.....	40
〔3〕先端医学研究所.....	41
1 分子細胞構造学分野.....	42
2 細胞生物学分野.....	44
3 遺伝子制御学分野.....	45
4 生体機能制御学分野.....	46
5 タンパク質間相互作用学講座（社会連携講座）.....	47
〔4〕臨床医学.....	48
1 総合医療・健康科学分野.....	49
2 循環器内科学分野.....	53
3 神経内科学分野.....	69
4 腎臓内科学分野.....	76
5 内分泌糖尿病代謝内科学分野.....	79
6 アレルギー膠原病内科学分野.....	83
7 血液内科学分野.....	90
8 消化器内科学分野.....	93
9 呼吸器内科学分野.....	110

10 精神・行動医学分野	123
11 小児・思春期医学分野	126
12 臨床放射線医学分野	131
13 皮膚粘膜病態学分野	137
14 消化器外科学分野	144
15 乳腺外科学分野	168
16 内分泌外科学分野	173
17 心臓血管外科学分野	177
18 呼吸器外科学分野	182
19 脳神経外科学分野	186
20 整形外科学分野	197
21 女性生殖発達病態学分野	202
22 頭頸部・感覚器科学分野	211
23 男性生殖器・泌尿器科学分野	216
24 眼科学分野	224
25 疼痛制御麻酔科学分野	231
26 救急医学分野	235
27 形成再建再生医学分野	253
28 リハビリテーション学分野	261
〔5〕 付置施設等	262
1 形態解析研究室	263
2 アイソトープ研究室	264
3 実験動物管理室	265
4 臨床系研究室	266
5 分子解析研究室	267
6 磁気共鳴分析室	270
7 学生相談室	271
8 医学教育センター	272
〔6〕 付属病院付置施設等	273
1 付属病院医療安全管理部	274
2 付属病院老年内科	275
3 付属病院緩和ケア科	276
4 付属病院病理診断科	277
5 付属病院外科系集中治療科	282
6 付属病院口腔科（周術期）	284
7 付属病院病理部	285
8 付属病院救急・総合診療センター	286
9 付属病院内視鏡センター	287
10 付属病院臨床検査部	292

11 付属病院保険診療指導部.....	293
12 腎クリニック.....	294
13 呼吸ケアクリニック.....	295
14 健診医療センター.....	297
15 ワクチン療法研究施設.....	298
〔7〕武蔵小杉病院付置施設等.....	299
1 武蔵小杉病院病理診断科.....	300
2 武蔵小杉病院救急・総合診療センター.....	303
3 武蔵小杉病院中央検査室.....	304
〔8〕多摩永山病院付置施設等.....	305
1 多摩永山病院病理診断部.....	306
2 多摩永山病院中央検査室.....	307
〔9〕千葉北総病院付置施設等.....	308
1 千葉北総病院緩和ケア科.....	309
2 千葉北総病院病理診断科・病理部.....	310
3 千葉北総病院歯科.....	311
4 千葉北総病院集中治療室.....	312
5 成田国際空港クリニック.....	316

〔 1 〕 基礎科学

1 医療心理学

研究業績

論文等

- 1) Masami Kashimura, Toshiaki Nomura, Akiko Ishiwata, Shin Kitamura, Amane Tateno : Cognitive Behavioral Therapy for Improving Mood in an Older Adult with Mild Cognitive Impairment: A Case Report. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2020; 86 (6) :352-356. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-603.
- 2) 鋤柄 のぞみ, 榎村 正美, 加藤 優子 :UPI 短縮版を実施した 5 年間についての検証と段階評価の設定. 日本医科大学基礎科学紀要 = The Bulletin of liberal arts & sciences, Nippon Medical School 2019; (48) :39-58.
- 3) 稲垣 千草, 加藤 真衣, 山下 真里, 根本 留美, 並木 香奈子, 井上 志津子, 長久 美江子, 榎村 正美, 野村 俊明, 北村 伸, 三品 雅洋 : 若年認知症の人と家族の語りの分析(その 1) ある夫婦間における認知症の認識の比較. 老年精神医学雑誌 2019; 30 (増刊 II) :186.
- 4) 加藤 真衣, 稲垣 千草, 山下 真里, 根本 留美, 並木 香奈子, 井上 志津子, 長久 美江子, 榎村 正美, 北村 伸, 野村 俊明, 三品 雅洋 : 若年認知症の人と家族の語りの分析(その 2) 関係性の変化に伴う語りの質的分析. 老年精神医学雑誌 2019; 30 (増刊 II) :186.
- 5) 榎村 正美 : 高齢者・認知症への認知行動療法 (特集 精神療法技法アップデート). 臨床精神医学 = Japanese journal of clinical psychiatry 2020; 49 (1) :65-72.
- 6) 池田 優子, 榎村 正美, 石村 郁夫, 野村 俊明, 西松 能子 : 精神科を受診した学生の 1 年後の転帰に関する研究. 日本医科大学基礎科学紀要 = The Bulletin of liberal arts & sciences, Nippon Medical School 2019; (48) :7-20.

2 数学

研究業績

論文等

- 1) Koichi KAIZUKA : Scattering theory for the Laplacian on symmetric spaces of noncompact type and its application to a conjecture of Strichartz. J. Funct. Anal. 2019; 276 (2) :329-379.

学会発表

- 1) Hideo Nakazawa : Some estimates of solutions of perturbed Helmholtz equations. ISAAC2019 Aveiro, Portugal, 2019. 7.
- 2) 中澤秀夫 : 大きな摂動項を伴うヘルムホルツ方程式の一意リゾルベント評価とその応用. つくば偏微分方程式研究集会. (茨城県つくば市筑波大学), 2019. 10.

3 物理学

研究業績

論文等

- 1) 藤崎弘士：モンテカルロ法を使った席順決めと経路の再重み付けについて. 日本医科大学基礎科学紀要 2019; (47)
- 2) 菊地浩人, 藤崎弘士：分子動力学を用いたアセチルベンゾニトリルからクロロフォルム溶媒へのエネルギー移動の計算. 日本物理学会講演概要集(CD-ROM) 2019; 74 (2)
- 3) 藤崎弘士：生命現象へのマルチスケール的なアプローチについて. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4)
- 4) 藤崎弘士, 森次圭, 松永康佑：重み付きアンサンブル法による生体分子の構造変化ダイナミクスの計算. 分子シミュレーション討論会講演要旨集 2019; 33rd
- 5) 藤崎弘士, 森次圭, 松永康佑：重み付きアンサンブル法を用いたタンパク質の構造変化とキネティックスの計算. 日本物理学会講演概要集(CD-ROM) 2019; 74 (2)

4 化学

研究業績

論文等

- 1) Takumi Yasuno, Tomoyuki Ohe, Hitomi Ikeda, Kyoko Takahashi, Shigeo Nakamura, Tadahiko Mashino : <p>Synthesis and antitumor activity of novel pyridinium fullerene derivatives</p>. International Journal of Nanomedicine 2019; 14:6325-6337. doi: 10.2147/IJN.S212045.
- 2) Oikawa S, Kai Y, Mano A, Nakamura S, Kakinuma Y : A Novel Nitric Oxide Donor, S-Nitroso-N-Pivaloyl-D-Penicillamine, Activates a Non-Neuronal Cardiac Cholinergic System to Synthesize Acetylcholine and Augments Cardiac Function. Cell Physiol Biochem 2019; 52 (4) :922-934. doi: 10.33594/000000065.

学会発表

- 1) 片岸大紀, 高橋恭子, 中村成夫, 大江知之, 増野匡彦 : HIV プロテアーゼ阻害活性を有するプロリン型フラレーン誘導体の立体選択的合成. 第 63 回日本薬学会関東支部大会, 2019. 9.
- 2) 小林透威, 高橋恭子, 中村成夫, 大江知之, 増野匡彦 : HIV/HCV 共感染治療薬を志向した 多標的型ピリジニウム型 C₆₀ 誘導体の創製. 日本薬学会第 140 年会, 2020. 3.
- 3) 門田彩乃, 森口美里, 渡部匡史, 中村成夫, 安野拓実, 大江知之, 増野匡彦, 藤室雅弘 : Wnt シグナル抑制によりウイルス感染非ホジキンリンパ腫の細胞増殖を抑制するフラレーン誘導体の開発. 日本薬学会第 140 年会, 2020. 3.
- 4) 立石泰寛, 大江知之, 安田大輔, 高橋恭子, 中村成夫, 増野匡彦 : グルクロン酸抱合経由の代謝活性化を回避する新規ジクロフェナク類縁体の合成と評価. 日本薬物動態学会第 34 回年会, 2019. 12.
- 5) 柴崎 智香子, 高橋 恭子, 中村成夫, 大江 知之, 増野 匡彦 : トラッピング剤を用いた反応性アシルグルクロニドの新規検出法. 日本薬学会第 140 年会, 2020. 3.
- 6) 門田彩乃, 森口美里, 渡部匡史, 中村成夫, 安野拓実, 大江知之, 増野匡彦, 藤室雅弘 : ピリジニウム型フラレーン誘導体は Wnt シグナル抑制によりウイルス感染リンパ腫の細胞増殖を抑制する. 第 93 回日本薬理学会年会, 2020. 3
- 7) 除川貴太, 高橋恭子, 中村成夫, 大江知之, 増野匡彦 : リモナバンの代謝活性化を回避する構造変換. 第 63 回日本薬学会関東支部大会, 2019. 9.
- 8) 立石泰寛, 大江知之, 小川真依, 安田大輔, 高橋恭子, 中村成夫, 増野匡彦 : 代謝活性化回避を指向した新規ジクロフェナク類縁体の合成と評価. 日本薬学会第 140 年会, 2020. 3.
- 9) 高橋恭子, 池田瞳, 安田大輔, 中村成夫, 大江知之, 増野匡彦 : 抗がん活性を有するカチオン型 C₆₀ 誘導体のミトコンドリア機能障害. 第 72 回日本酸化ストレス学会学術集会, 2019. 6.
- 10) 柴崎智香子, 高橋恭子, 中村成夫, 大江知之, 増野匡彦 : 新規反応性代謝物検出法の開発ーシステインを基盤とした蛍光標識トラッピング剤の創製とその捕捉能評価ー. 第 37 回メデイシナルケミストリーシンポジウム, 2019. 11.

5 生物学

研究業績

論文等

- 1) Takashi Hasebe : Stem cell development involves divergent thyroid hormone receptor subtype expression and epigenetic modifications in the *Xenopus* metamorphosing intestine. *General and comparative endocrinology* 2020; 292:113441. doi: 10.1016/j.ygcen.2020.113441.

6 英語

研究業績

論文等

- 1) カーク・スティーブン, 西川純恵 : 脱・講義型授業へー学習成果向上のための授業デザイン. 日本医科大学基礎科学紀要 2019; (47) :31-47.

著書

- 1) 崎村耕二 : [単著] インテグレート英単語 : 教養で学ぶ語彙・文法・語法. 2019, 研究社.
- 2) 崎村耕二 : 最新英語論文によく使う表現 発展編. 2019, 創元社.

学会発表

- 1) Steven Kirk, David Casenove : Rethinking the 4/3/2 activity for fluency and accuracy development. Hawaii International Conference on English Language and Literature Studies (HICELLS), 2020. 3.

7 スポーツ科学

研究業績

論文等

- 1) 武藤 三千代, 白石 まりも, 渡部 隼二 :08 測-12-ポ-22 カンボジアシェムリアップ州における子どもたちの体格と体力:日本との比較. 日本体育学会大会予稿集 2019; 70 (0) :233_3. doi: 10.20693/jspehss.70.233_3.
- 2) Toshio Mikami, Kohei Tano, Hosung Lee, Hyowon Lee, Jonghyuk Park, Fumiaki Ohta, Tyler W. LeBaron, Shigeo Ohta : Drinking hydrogen water enhances endurance and relieves psychometric fatigue: a randomized, double-blind, placebo-controlled study. Canadian Journal of Physiology and Pharmacology 2019; 97 (9) :857-862.
- 3) 武藤三千代, 渡部隼二, 若山葉子, 渡部月子 : カンボジアシェムリアップ州におけるラジオ体操による子どもたちの健康づくり. 日本公衆衛生学会総会抄録集 2019; 78th
- 4) 平田紀美子, 勝又聖夫, 佐藤麻衣子, 稲垣弘文, 川田智之, 武藤三千代 : 体カテストへの喫煙習慣の影響—体カテスト前後の唾液中カテコールアミン代謝物等の測定—. 日本体育測定評価学会大会プログラム・抄録集 2019; 18th:34.
- 5) 武藤三千代, 勝又聖夫, 平田紀美子, 佐藤麻衣子, 稲垣弘文, 川田智之 : 体カテストへの喫煙習慣の影響—体カテスト評価への影響と心拍変動—. 日本体育測定評価学会大会プログラム・抄録集 2019; 18th:34.
- 6) 武藤三千代, 桜田敬子, 渡部隼二 : 有料老人ホームにおける生活活動力の測定結果について. 運動とスポーツの科学 2019; 24 (2)

〔2〕 基礎医学

1 分子解剖学分野

研究業績

論文等

- 1) 小古山 学, 大口 昭英, 高橋 宏典, 松原 茂樹, 瀧澤 俊広 : Long non-coding RNA H19 由来の miR-675-5p は転写調節因子 GATA2 を介して絨毛外栄養膜細胞の浸潤を促進する. 日本産科婦人科学会雑誌 2020; 72 (臨増) :S-328.
- 2) 瀧澤 俊広, 高橋 宏典, 小古山 学, 大口 昭英, 竹下 俊行, 松原 茂樹 : 胎盤絨毛栄養膜細胞の miRNA 生合成酵素 DROSHA は従来になく遺伝子発現を調節する機能を有している. 日本産科婦人科学会雑誌 2020; 72 (臨増) :S-328.

学会発表

- 1) 瀧澤 敬美, 三沢 彩, 瀧澤 俊広 : 新しい学生中心型能動的グループ学習法 TEO (Teach Each Other) の開発 -5 年間の解剖学教育への導入で得られた学習効果-. 第 125 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2020.3.
- 2) 瀧澤 敬美, 三沢彩, 瀧澤俊広 : 新しい学生中心型能動的グループ学習法"TEO"(Teach Each Other)から得られた学習効果. 第 51 回日本医学教育学会大会 (京都), 2019. 7.

2 解剖学・神経生物学分野

研究業績

論文等

- 1) Ishii H, Otsuka M, Kanaya M, Higo S, Hattori Y, Ozawa H : Applicability of Anti-Human Estrogen Receptor β Antibody PPZ0506 for the Immunodetection of Rodent Estrogen Receptor β Proteins. International journal of molecular sciences 2019; 20 (24) doi: 10.3390/ijms20246312.
- 2) 石井 寛高, 服部 裕次郎, 小澤 一史, 小澤 実那, 小川 裕美子 : C 末端欠損型エストロゲン受容体 α 変異体による恒常的転写活性化プロファイルの同定. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :267-268.
- 3) 石井 寛高, 服部 裕次郎, 小澤 一史 : C 末端欠損型エストロゲン受容体 α 変異体による非古典的経路の恒常的転写活性化能の解析. 日本内分泌学会雑誌 2020; 95 (4) :1458.
- 4) 服部裕次郎, 服部裕次郎, 田原重志, 麻生将太郎, 松居宏樹, 伏見清秀, 康永秀生, 森田明夫 : DPC データベースを用いた下垂体部腫瘍に対する手術の疫学的検討. 日本間脳下垂体腫瘍学会プログラム・抄録集 2019; 29th
- 5) Kinuyo Iwata, Yuyu Kunimura, Hitoshi Ozawa : Hypothalamic Kisspeptin Expression in Hyperandrogenic Female Rats and Aging Rats. Acta histochemica et cytochemica 2019; 52 (5) :85-91. doi: 10.1267/ahc.19013.
- 6) Ishii H, Hattori Y, Ozawa H : Identification of a novel C-terminally truncated estrogen receptor α variant (ER α i34) with constitutive transactivation and estrogen receptor antagonist resistance. Molecular and cellular endocrinology 2020; 503:110693. doi: 10.1016/j.mce.2019.110693.
- 7) Hirotaka Ishii, Yujiro Hattori, Hitoshi Ozawa : Identification of novel C-terminally truncated estrogen receptor β variant transcripts and their distribution in humans. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2020; 88 (1) :54-62. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2021_88-105.
- 8) Minabe S, Sato M, Inoue N, Watanabe Y, Magata F, Matsuda F, Uenoyama Y, Ozawa H, Tsukamura H : Neonatal Estrogen Causes Irreversible Male Infertility via Specific Suppressive Action on Hypothalamic Kiss1 Neurons. Endocrinology 2019; 160 (5) :1223-1233. doi: 10.1210/en.2018-00732.
- 9) Moeko Kanaya, Shimpei Higo, Hitoshi Ozawa : Neurochemical Characterization of Neurons Expressing Estrogen Receptor β in the Hypothalamic Nuclei of Rats Using in Situ Hybridization and Immunofluorescence. International journal of molecular sciences 2019; 21 (1) doi: 10.3390/ijms21010115.
- 10) Ozaki S, Higo S, Iwata K, Saeki H, Ozawa H : Region-specific changes in brain kisspeptin receptor expression during estrogen depletion and the estrous cycle. Histochemistry and cell biology 2019; 152 (1) :25-34. doi: 10.1007/s00418-018-01767-z.
- 11) 大下 雪奈, 渡辺 雄貴, 春日 崇, 中平 陽子, 棟朝 亜理紗, 木村 康二, 松山 秀一, 大蔵 聡, 真方 文絵, 松田 二子 : ウシ主席卵胞および次席卵胞の顆粒層細胞において発現する遺伝子の網羅的解析. 日本獣医学会学術集会講演要旨集 2019; 162 回:439.
- 12) 渡辺 雄貴, 美辺 詩織, 岩田 衣世, 小澤 一史 : ニューロペプチド B がメスラットのプロラクチン分泌に及ぼす影響. The Journal of Reproduction and Development 2019; 65 (Suppl.) :j96.
- 13) 服部 裕次郎, 田原 重志, 麻生 将太郎, 松居 宏樹, 伏見 清秀, 康永 秀生, 森田 明夫 : ビッグデータを用いた下垂体手術の疫学的検討. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (2) :714.
- 14) 渡辺 雄貴, 美辺 詩織, 岩田 衣世, 小澤 一史 : メスラットのプロラクチン分泌に及ぼすエストロゲン非依存的なニューロペプチド B の効果. 日本内分泌学会雑誌 2020; 95 (4) :1456.
- 15) 服部 裕次郎, 田原 重志, 喜多村 孝雄, 久保田 麻紗美, 石坂 栄太郎, 井野元 智恵, 長村 義之, 森田 明夫 : 下垂体細胞腫 (pituitaryoma) の臨床病理学的検討. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (1) :417.
- 16) 服部 裕次郎, 田原 重志, 喜多村 孝雄, 久保田 麻紗美, 石坂 栄太郎, 森田 明夫 : 下垂体細胞腫(pituitaryoma)の臨床的特徴と術前診断の意義. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (Suppl.Update) :5-7.

- 17) 佐藤 真梨萌, 美辺 詩織, 渡辺 雄貴, 後藤 哲平, 三宝 誠, 平林 真澄, 真方 文絵, 束村 博子, 松田 二子 : 低栄養による性腺刺激ホルモン分泌の抑制を担う神経伝達経路とグルコースセンサーの同定. *The Journal of Reproduction and Development* 2019; 65 (Suppl.) :j61.
- 18) 寺本紳一郎, 寺本紳一郎, 田原重志, 服部裕次郎, 森田明夫 : 内視鏡下経鼻手術における modified nonpenetrating clip device を用いた頭蓋底再建. *日本神経内視鏡学会プログラム・抄録集* 2019; 26th
- 19) 岩田 衣世, 金谷 萌子, 國村 有弓, 村川 裕子, 小澤 一史 : 女性研究者セッション～組織細胞化学研究の魅力語る～ 生殖機能制御を中心としたこれまでの研究について. *日本組織細胞化学会総会・学術集会講演プログラム・予稿集* 2019; 60 回:47.
- 20) 石井寛高, 服部裕次郎, 小澤一史 : 恒常的活性化能を持つエストロゲン受容体 α 変異体の機能とその役割. *日本解剖学会総会・全国学術集会講演プログラム・抄録集* 2019; 124th
- 21) 大塚 真衣, 石井 寛高, 金谷 萌子, 肥後 心平, 小澤 一史 : 抗ヒト ER β 抗体(PPZ0506)のマウス・ラット ER β に対する交差性・特異性の検証と ER β 発現プロファイルの同定. *日本組織細胞化学会総会・学術集会講演プログラム・予稿集* 2019; 60 回:92.
- 22) 佐藤 真梨萌, 美辺 詩織, 渡辺 雄貴, 後藤 哲平, 三宝 誠, 平林 真澄, 井上 直子, 上野山 賀久, 真方 文絵, 束村 博子, 松田 二子 : 栄養による生殖機能・血糖・摂食調節を担うエネルギーセンサーと神経経路の同定. *日本内分泌学会雑誌* 2020; 95 (4) :1448.
- 23) 岡田 創, 高木 篤史, 伊藤 保彦, 服部 裕次郎 : 軽微頭部外傷後に急性脳梗塞をきたした1例. *日本小児科学会雑誌* 2019; 123(11):1709.
- 24) 田原 重志, 服部 裕次郎, 寺本 紳一郎, 福田 いずみ, 杉原 仁, 井野元 智恵, 長村 義之, 寺本 明, 森田 明夫 : 間脳-下垂体系の診断と治療の up-date 自己免疫性下垂体炎に対する経鼻的生検術の実際. *日本内分泌学会雑誌* 2020; 95 (4) :1436.

著書

- 1) 渡辺雄貴 : [共訳] 52, 53 章. 鈴木浩悦(監修), 澁谷泉, 翁長武紀, 田谷一善(監訳) : *デュークス獣医生理学* 13 版. 2020, 学窓社.

学会発表

- 1) 渡辺雄貴 : ニューロペプチド B がメスラットのプロラクチン分泌に及ぼす影響. *日本繁殖生物学会*, 2019. 9.
- 2) 渡辺雄貴 : メスラットのプロラクチン分泌に及ぼす エストロゲン非依存的なニューロペプチド B の効果. 第 46 回日本神経内分泌学会, 2019. 10.

3 感覚情報科学分野

研究業績

論文等

- 1) Hiroyuki Miyamoto, Tetsuya Tatsukawa, Atsushi Shimohata, Tetsushi Yamagata, Toshimitsu Suzuki, Kenji Amano, Emi Mazaki, Matthieu Raveau, Ikuo Ogiwara, Atsuko Oba-Asaka, Takao K. Hensch, Shigeyoshi Itohara, Kenji Sakimura, Kenta Kobayashi, Kazuto Kobayashi, Kazuhiro Yamakawa : Impaired cortico-striatal excitatory transmission triggers epilepsy. *Nature Communications* 2019; 10 (1) :1917. doi: 10.1038/s41467-019-09954-9.
- 2) Toshiyuki Ishii, Toshihiko Hosoya : Interspike intervals within retinal spike bursts combinatorially encode multiple stimulus features. *bioRxiv* 2020; 16 (11) :e1007726. doi: 10.1101/2020.02.13.947283.
- 3) Tetsuya Tatsukawa, Matthieu Raveau, Ikuo Ogiwara, Satoko Hattori, Hiroyuki Miyamoto, Emi Mazaki, Shigeyoshi Itohara, Tsuyoshi Miyakawa, Mauricio Montal, Kazuhiro Yamakawa : Scn2a haploinsufficient mice display a spectrum of phenotypes affecting anxiety, sociability, memory flexibility and amphetamine CX516 rescues their hyperactivity. *Molecular Autism* 2019; 10 (1) :15. doi: 10.1186/s13229-019-0265-5.
- 4) 赤木 巧, 石井 俊行, 荻原 郁夫, 金田 誠 : 代謝型グルタミン酸 6 型受容体の細胞膜発現における C 末端領域の役割. *日本医科大学医学雑誌* 2019; 15 (4) :254.

学会発表

- 1) Gangi M., Ishii T., and Kaneda M. : Asymmetric properties of ON and OFF starburst amacrine cells in the retina. *日本神経科学大会*, 2019. 7.
- 2) Yin C., Ishii T., and Kaneda M. : Contribution of bicarbonate permeability to the reversal potential of GABA responses in bipolar cells of the mouse retina. *日本生理学会大会*, 2020. 3.
- 3) Ishii T., and Hosoya T. : Interspike intervals within retinal spike bursts combinatorially encode oscillatory light sequences. *日本神経科学大会*, 2019. 7.
- 4) Shimohata A., Rai D., Akagi T., Ishii T., Gangi M., Maruyama T., Kiyama Y., Ogiwara I., and Kaneda M. : Maruyama T., Kiyama Y., Ogiwara I., and Kaneda M. Involvement of the C-terminal domain in cell surface expression and G-protein coupling of mGluR6. *日本生理学会大会*, 2020. 3.
- 5) Yin C., Ishii T., and Kaneda M. : NKCC1 and KCC2 determine the surround response of ON- and OFF-bipolar cells in the mouse retina. *日本神経科学大会*, 2019. 7.
- 6) Takumi Akagi, Dilip Rai, Atsushi Shimohata, Toshiyuki Ishii, Mie Gangi, Takuma Maruyama, Ikuo Ogiwara, Makoto Kaneda : Roles of the C-terminal domain in cell surface expression of mGluR6. 第 42 回日本神経科学大会&第 62 回日本神経化学大会, 2019. 7.
- 7) Maneshi M., Toth A.B., Ishii T., Radulovic J.M., Swanson G.T., Prakriya M. : Store-operated Orail channels regulate Ca²⁺ signaling in dendritic spines, synaptic plasticity, and cognition. *Society for neuroscience*, 2019. 10.
- 8) Ishii T., Akagi T., and Kaneda M. : The analysis of novel ATP release channel in the mitochondria. *日本生理学会大会*, 2020. 3.
- 9) Maruyama T., Ishii T., and Kaneda M. : The developmental change of gap junction in starburst amacrine cells of the mouse retina. *日本生理学会大会*, 2020. 3.
- 10) 赤木巧, 石井俊行, 荻原郁夫, 金田誠 : 代謝型グルタミン酸 6 型受容体の細胞膜発現における C 末端領域の役割. *日本医科大学医学会総会*, 2019. 9.
- 11) 赤木巧, 下畑充志, 荻原郁夫, 金田誠 : 初代培養網膜双極細胞における代謝型グルタミン酸受容体 6 型の膜発現の解析. 第 97 回日本生理学会, 2020. 3.

4 生体統御科学分野

研究業績

論文等

- 1) Shino Oikawa, Yuko Kai, Asuka Mano, Shigeo Nakamura, Yoshihiko Kakinuma : A Novel Nitric Oxide Donor, S-Nitroso-NPivaloyl-D-Penicillamine, Activates a Non-Neuronal Cardiac Cholinergic System to Synthesize Acetylcholine and Augments Cardiac Function. *Cellular physiology and biochemistry* 2019; 52 (4) :922-934. doi: 10.33594/000000064.
- 2) Takahiro Sato, Takahiro Nemoto, Kazuya Hasegawa, Takanori Ida, Masayasu Kojima : A new action of peptide hormones for survival in a low-nutrient environment. *Endocrine Journal* 2019; 66 (11) :943-952.
- 3) Ho G, Takamatsu Y, Waragai M, Wada R, Sugama S, Takenouchi T, Fujita M, Ali A, Hsieh MH, Hashimoto M : Current and future clinical utilities of Parkinson's Disease and dementia biomarkers: can they help us conquer the disease?. *Expert review of neurotherapeutics* 2019; 19 (11) :1149-1161. doi: 10.1080/14737175.2019.1649141.
- 4) Yasuhiro Takenaka, Takanari Nakano, Masaaki Ikeda, Yoshihiko Kakinuma, Ikuo Inoue : Epigenetic regulation of a mouse PPAR γ splicing variant, Ppar γ 1sv, during adipogenesis in 3T3-L1 cells. *bioRxiv* (doi: <https://doi.org/10.1101/647842>) 2019
- 5) Takashi Yazawa, Yoshitaka Imamichi, Junsuke Uwada, Toshio Sekiguchi, Daisuke Mikami, Takeshi Kitano, Takanori Ida, Takahiro Sato, Takahiro Nemoto, Sayaka Nagata, Md Rafiqul Islam Khan, Satoru Takahashi, Fumitaka Ushikubi, Nobuo Suzuki, Akihiro Umezawa, Takanobu Taniguchi : Evaluation of 17 β -hydroxysteroid dehydrogenase activity using androgen receptor-mediated transactivation. *The Journal of steroid biochemistry and molecular biology* 2020; 196:105493. doi: 10.1016/j.jsbmb.2019.105493.
- 6) Takahiro Nemoto, Yoshihiko Kakinuma : Fetal malnutrition-induced catch up failure is caused by elevated levels of miR-322 in rats. *Scientific Reports* 2020; 10 (1) :1339.
- 7) Makoto Hashimoto, Gilbert Ho, Yoshiki Takamatsu, Ryoko Wada, Shuei Sugama, Takato Takenouchi, Masaaki Waragai, Eliezer Masliah : Possible Role of Amyloid Cross-Seeding in Evolvability and Neurodegenerative Disease. *Journal of Parkinson's disease* 2019; 9 (4) :793-802. doi: 10.3233/JPD-191675.
- 8) Shino Oikawa, Yuko Kai, Asuka Mano, Shuei Sugama, Naoko Mizoguchi, Masayuki Tsuda, Kazuyo Muramoto, Yoshihiko Kakinuma : Potentiating a non-neuronal cardiac cholinergic system reinforces the functional integrity of the blood brain barrier associated with systemic anti-inflammatory responses. *Brain, Behavior, and Immunity* 2019; 81:122-137. doi: 10.1016/j.bbi.2019.06.005.
- 9) Yasuhiro Takenaka, Ikuo Inoue, Takanari Nakano, Masaaki Ikeda, Yoshihiko Kakinuma : Prolonged disturbances of proteostasis induces cellular senescence via the temporal mitochondrial dysfunction and enhanced mitochondrial biogenesis in human fibroblasts. *bioRxiv* 2019; <https://www.biorxiv.org/content/10.1101/2020.01.22.916221v2>
- 10) Shuei Sugama, Takato Takenouchi, Makoto Hashimoto, Hisayuki Ohata, Yasuhiro Takenaka, Yoshihiko Kakinuma : Stress-induced microglial activation occurs through β -adrenergic receptor: noradrenaline as a key neurotransmitter in microglial activation. *Journal of Neuroinflammation* 2019; 16 (1) :266. doi: 10.1186/s12974-019-1632-z.
- 11) Takamatsu Y, Ho G, Waragai M, Wada R, Sugama S, Takenouchi T, Masliah E, Hashimoto M : Transgenerational Interaction of Alzheimer's Disease with Schizophrenia through Amyloid Evolvability. *Journal of Alzheimer's disease : JAD* 2019; 68 (2) :473-481. doi: 10.3233/JAD-180986.
- 12) 安藤 久恵, 根本 崇宏, 福田 いずみ, 杉原 仁 : ニコチン投与母ラットからの出生子における成長後の耐糖能異常の検討. *日本内分泌学会雑誌* 2019; 95 (1) :452.
- 13) 根本 崇宏, 柿沼由彦 : 低出生体重ラット仔でみられるストレス応答異常への介入効果の検討. *自律神経* 2019; 56 (4) :239-242.

学会発表

- 1) 根本 崇宏 : DOHaD 学説と神経内分泌. 第 46 回 日本神経内分泌学会学術集会, 2019. 10.

- 2) 竹中 康浩, 井上 郁夫, 中野 貴成, 池田 正明, 柿沼 由彦 : タンパク質分解系の阻害による細胞老化誘導メカニズムの解析. 第 42 回日本分子生物学会年会, 2019. 12.
- 3) 竹中 康浩, 井上 郁夫, 中野 貴成, 池田 正明, 柿沼 由彦 : タンパク質恒常性機能の阻害による細胞老化誘導メカニズムの解析. 第 17 回 RCGM フロンティアシンポジウム, 2019. 9.
- 4) 根本 崇宏 : ホルモンミリューの差が産む体質の変化. 第 97 回 日本生理学会大会 (誌上開催) , 2020. 3.
- 5) 根本 崇宏 : 低出生体重ラットの耐糖能異常への介入. 第 42 回 日本分子生物学会年会, 2019. 12.
- 6) 根本 崇宏 : 健康体質を規定するホルモンミリュー. 日本プロテオーム学会 2019 年大会・第 70 回日本電気泳動学会総会, 2019. 7.

5 代謝・栄養学分野

研究業績

論文等

- 1) 関根舞, 草野輝男, 西野武士, 岡本研 : Allopurinol とその誘導体がプリン代謝に与える影響の解析. 日本痛風・核酸代謝学会総会プログラム・抄録集 2019; 52nd
- 2) Geldenhuys WJ, Long TE, Saralkar P, Iwasaki T, Nuñez RAA, Nair RR, Konkle ME, Menze MA, Pinti MV, Hollander JM, Hazlehurst LA, Robart AR : Crystal structure of the mitochondrial protein mitoNEET bound to a benze-sulfonide ligand. *Communications Chemistry* 2019; 2:Article number 77.
- 3) Hiroyuki Koike, Kentaro Iwasawa, Takanori Takebe : Generation of hepato-biliary-pancreatic organoid from human pluripotent stem cells. *Protocol Exchange* 2019 doi: 10.21203/rs.2.13102/v1.
- 4) Takashi Tani, Megumi Fujiwara, Hideo Orimo, Akira Shimizu, Sonoko Narisawa, Anthony B Pinkerton, José Luis Millán, Shuichi Tsuruoka : Inhibition of tissue-nonspecific alkaline phosphatase protects against medial arterial calcification and improves survival probability in the CKD-MBD mouse model. *The Journal of pathology* 2020; 250 (1) :30-41. doi: 10.1002/path.5346.
- 5) Takashi Tani, Ken Okamoto, Megumi Fujiwara, Akira Katayama, Shuichi Tsuruoka : Metabolomics analysis elucidates unique influences on purine / pyrimidine metabolism by xanthine oxidoreductase inhibitors in a rat model of renal ischemia-reperfusion injury. *Molecular medicine (Cambridge, Mass.)* 2019; 25 (1) :40. doi: 10.1186/s10020-019-0109-y.
- 6) Rie Ouchi, Shodai Togo, Masaki Kimura, Tadahiro Shinozawa, Masaru Koido, Hiroyuki Koike, Wendy Thompson, Rebekah A Karns, Christopher N Mayhew, Patrick S McGrath, Heather A McCauley, Ran-Ran Zhang, Kyle Lewis, Shoyo Hakozaiki, Autumn Ferguson, Norikazu Saiki, Yosuke Yoneyama, Ichiro Takeuchi, Yo Mabuchi, Chihiro Akazawa, Hiroshi Y Yoshikawa, James M Wells, Takanori Takebe : Modeling Steatohepatitis in Humans with Pluripotent Stem Cell-Derived Organoids. *Cell metabolism* 2019; 30 (2) :374-384. doi: 10.1016/j.cmet.2019.05.007.
- 7) Hiroyuki Koike, Kentaro Iwasawa, Rie Ouchi, Mari Maezawa, Kirsten Giesbrecht, Norikazu Saiki, Autumn Ferguson, Masaki Kimura, Wendy L Thompson, James M Wells, Aaron M Zorn, Takanori Takebe : Modelling human hepato-biliary-pancreatic organogenesis from the foregut-midgut boundary. *Nature* 2019; 574 (7776) :112-116. doi: 10.1038/s41586-019-1598-0.
- 8) 加藤 麻衣, 橋詰 力, 庄司 豊, 庄司 久美子[加藤], 五十嵐 美樹, 早川 清雄, 吉川 悠子, 三好 規之 : NASH-肝発がんモデルマウス糞便中揮発性化合物の分析. 日本栄養・食糧学会大会講演要旨集 2019; 73 回:241.
- 9) Alexander N Orekhov, Nikita G Nikiforov, Vasily N Sukhorukov, Marina V Kubekina, Igor A Sobenin, Wei-Kai Wu, Kathy K Foxx, Sergey Pintus, Philip Stegmaier, Daria Stelmashenko, Alexander Kel, Alexei N Gratchev, Alexandra A Melnichenko, Reinhard Wetzker, Volha I Summerhill, Ichiro Manabe, Yumiko Oishi : Role of Phagocytosis in the Pro-Inflammatory Response in LDL-Induced Foam Cell Formation; a Transcriptome Analysis. *International journal of molecular sciences* 2020; 21 (3) :817. doi: 10.3390/ijms21030817.
- 10) Kusano T, Ehirchiou D, Matsumura T, Chobaz V, Nasi S, Castelblanco M, So A, Lavanchy C, Acha-Orbea H, Nishino T, Okamoto K, Busso N : Targeted knock-in mice expressing the oxidase-fixed form of xanthine oxidoreductase favor tumor growth. *Nature communications* 2019; 10 (1) :4904. doi: 10.1038/s41467-019-12565-z.
- 11) Tadashi Higuchi, Fumio Yamaguchi, Takayuki Asakura, Daizo Yoshida, Yumiko Oishi, Akio Morita : Ultrasound modulates fluorescence strength and ABCG2 mRNA response to aminolevulinic acid in glioma cells. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2020 doi: 10.1272/jnms.JNMS.2020_87-601.
- 12) 劉 琳, 小池 博之, 林 晋一郎, 大石 由美子, 浅原 弘嗣 : Zinc フィンガー転写因子の KLF5 は筋萎縮症の病状形成に関与する (Zinc-finger transcription factor KLF5 is involved in the pathogenesis of muscle atrophy). 日本筋学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 5 回:109.
- 13) 大石 由美子, 真鍋 一郎 : 【サイトカインのすべて】生命現象とサイトカイン 病態との関連 心血管代謝疾患とサイトカイン. *医学のあゆみ* 2019; 271 (5) :559-563.

- 14) 草野輝男, 岡本研 : キサンチン脱水素酵素/酸化酵素変換におけるラクトペルオキシダーゼの生理作用. 日本生化学会大会 2019; 92nd
- 15) 林 晋一郎, 真鍋 一郎, 西野 一三, 大石 由美子 : 代謝による炎症・再生コンティニアムの制御と破綻 骨格筋の再生・発生過程における筋細胞の分化制御メカニズム. 日本生化学会大会プログラム・講演要旨集 2019; 92 回:[1S02a-05].
- 16) 草野輝男, 岡本研 : 低酸素環境下でのマウス脳内プリン代謝へのキサンチン酸化還元酵素阻害剤の影響. 日本痛風・核酸代謝学会総会プログラム・抄録集 2019; 52nd
- 17) 小池博之, 武部貴則 : 多能性幹細胞を用いたヒト肝・胆・膵システムの一括創出. 実験医学 2020; 38 (4) :590-593.
- 18) 渡辺 藍子, 小池 博之, 大石 由美子 : 時計遺伝子 Bmal1 欠損によるマクロファージ形質変化の阻害は筋再生を遅延させる. 日本筋学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 5 回:95.

学会発表

- 1) Mai Sekine, Teruo Kusano, Takeshi Nishino, Ken Okamoto : Analysis of the purine metabolic effect of allopurinol and its derivative. 18th Symposium on Purine and Pyrimidine Metabolism in Man, 2019. 6.
- 2) Ken Okamoto, Teruo Kusano : Effect of xanthine oxidoreductase inhibitors on purine metabolism in mouse brain under hypoxic environment. 18th Symposium on Purine and Pyrimidine Metabolism in Man, 2019. 6.
- 3) Iwasaki T, Hayashi-Iwasaki Y, Oshima T, Ohmori D, Urushiyama A, Hasegawa K, Kumasaka T : Probing the [4Fe-4S] active site of the thermostable LeuCD complex involved in the Leu/Ile biosynthesis of Thermus thermophilus HB8. 15th International Congress on Thermophiles (Thermophiles 2019 at Kyushu University, Fukuoka, Japan), 2019. 9.
- 4) 劉 琳, 小池 博之, 林 晋一郎, 浅原 弘嗣, 大石 由美子 : Zinc フィンガー転写因子の KLF5 は筋萎縮症の病状形成に関与する. 日本筋学会第 5 回学術集会. (東京都文京区), 2019. 8.
- 5) 草野 輝男, 岡本 研 : キサンチン脱水素酵素/酸化酵素変換におけるラクトペルオキシダーゼの生理作用. 第 92 回 日本生化学会大会, 2019. 9.
- 6) 小池 博之, 大石 由美子 : シングルセルトランスクリプトームによる骨格筋再生における細胞間相互作用解析. 第 1 回 PHILOSOPHY. (東京都千代田区), 2019. 10.
- 7) 渡辺 藍子, 小池 博之, 大石 由美子 : マクロファージの細胞内時計の錯乱が筋再生に与える影響. 第 7 回若手による骨格筋細胞研究会. (京都府, 京都市), 2019. 10.
- 8) 渡辺 藍子, 小池 博之, 大石 由美子 : マクロファージの細胞内時計錯乱による炎症応答の遅延が筋再生に与える影響. 第 42 回日本分子生物学会年会. (福岡県, 福岡市), 2019. 12.
- 9) 熊上 尚樹, 小池 博之, 渡辺 藍子, 早川 清雄, 真鍋 一郎, 大石 由美子 : 不飽和脂肪酸代謝遺伝子の欠損による単球の遊走能低下は筋再生を遅延させる. 第 42 回日本分子生物学会年会. (福岡県, 福岡市), 2019. 12.
- 10) 渡辺 藍子, 小池 博之, 大石 由美子 : 時計遺伝子 Bmal1 欠損によるマクロファージ形質変化の阻害は筋再生を遅延させる. 日本筋学会第 5 回学術集会. (東京都文京区), 2019. 8.

6 分子遺伝医学分野

研究業績

論文等

- 1) Miyagawa Yoshitaka, Maruyama Motoyo, Kuroda Seiji, Sakai Atsushi, Sato Yuriko, Kinoh Hiromi, Yamamoto Motoko, Cohen Justus B, Glorioso Joseph C, Okada Takashi : Biodistribution Analysis of Transgene Expression from a Non-Cytotoxic Herpes Simplex Virus Based Vector. MOLECULAR THERAPY 2019; 27 (4) :196.
- 2) Takaya Ito, Atsushi Sakai, Motoyo Maruyama, Yoshitaka Miyagawa, Takashi Okada, Haruhisa Fukayama, Hidenori Suzuki : Dorsal Root Ganglia Homeobox downregulation in primary sensory neurons contributes to neuropathic pain in rats. Molecular pain 2020; 16 doi: 10.1177/1744806920904462.
- 3) Kuniko Shimazaki, Takashi Kobari, Keiji Oguro, Hidenori Yokota, Yuko Kasahara, Yoshiya Murashima, Eiju Watanabe, Kensuke Kawai, Takashi Okada : Hippocampal GAD67 Transduction Using rAAV8 Regulates Epileptogenesis in EL Mice. Molecular Therapy - Methods and Clinical Development 2019; 13:180-186. doi: 10.1016/j.omtm.2018.12.012.
- 4) 宮川世志幸, 丸山基世, 丸山基世, 黒田誠治, 坂井敦, 佐藤優里子, 橋詰令太郎, 喜納裕美, 山本基子, JUSTUS Cohen, JOSEPH Glorioso, 岡田尚巳 : In vivo 遺伝子導入に至適化された無毒化ヘルペスウイルスベクターの開発. 日本分子生物学会年会プログラム・要旨集 2019; 42nd
- 5) Tomono, Taro, Hirai, Yukihiko, Chono, Hideto, Huang, Shuohao, Kawano, Yasuhiro, Mineno, Junichi, Ishii, Akiko, Tamaoka, Akira, Onodera, Masafumi, Okada, Takashi : Stability Evaluation of rAAV Serotype 1, 2, 8,9 and Wild-Type AAV2 Under Various Conditions. MOLECULAR THERAPY 2019; 27 (4:1) :101.
- 6) Yuko Nitahara Kasahara, Mutsuki Kuraoka, Hiromi Hayashita-Kinoh, Yuki Oda, Aki Nakamura Takahashi, Chiaki Masuda, Posadas Herrera Guillermo, Shin'ichi Takeda, Takashi Okada : Systemic Treatment with Dental Pulp-Derived Stem Cells for Muscle Dysfunction in Dystrophic Muscle. MOLECULAR THERAPY 2019; 27 (4) :381.
- 7) Haginiwa, Sho, Sadahiro, Taketaro, Kojima, Hidenori, Isomi, Mari, Tamura, Fumiya, Kurotsu, Shota, Tani, Hidenori, Muraoka, Naoto, Miyake, Noriko, Miyake, Koichi, Fukuda, Keiichi, Ieda, Masaki : Tbx6 induces cardiomyocyte proliferation in postnatal and adult mouse hearts. BIOCHEMICAL AND BIOPHYSICAL RESEARCH COMMUNICATIONS 2019; 513 (4) :1041-1047. doi: 10.1016/j.bbrc.2019.04.087.
- 8) 高木 篤史, 喜納 裕美, 笠原 優子, 川上 保彦, 伊藤 保彦, 岡田 尚巳 : md χ マウス行動解析による情動障害定量的評価システムの構築. 日本筋学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 5回:170.
- 9) 喜納 裕美[早下], 岡田 尚巳, 武田 伸一 : 【いま、本格化する遺伝子治療 遺伝性疾患・がんと戦う新たな一手】(第3章)AAV ベクター 遺伝子治療 静脈注射による方法 脊髄性筋萎縮症や筋ジストロフィーに対する遺伝子治療. 実験医学 2020; 38 (2) :225-231.
- 10) 山崎 吉之, 笠原 優子, 宮川 世志幸, 岡田 尚巳, 宮崎 海 : がん治療用ウイルスベクター産生羊膜間葉系幹細胞の開発. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :255.
- 11) 大倉定之, 宮川世志幸, 清水真澄, 森田林平, 高橋秀実 : コウモリ細胞における RNA ウイルス感染抵抗性に関わる分子生物学的解析. 日本分子生物学会年会プログラム・要旨集 2019; 42nd
- 12) 大倉定之, 宮川世志幸, 森田林平, 高橋秀実 : コウモリ細胞におけるレトロウイルス感染制御の解析. 日本ウイルス学会学術集会プログラム・予稿集 2019; 67th
- 13) Kuraoka Mutsuki, Kasahara Yuko, Tachimori Hisateru, Kato Naohiro, Shibasaki Hiroyuki, Shin Akihiko, Aoki Yoshitsugu, Kimura En, Takeda Shin'ichi : ジストロフィーの犬における運動機能の加速度計による評価結果(Accelerometric outcomes of motor function in dystrophic dogs). Experimental Animals 2019; 68 (Suppl.) :S167.
- 14) 黒田誠司, 黒田誠司, 黒田誠司, 宮川世志幸, GIANLUCA Verlengia, 助川誠, 助川誠, 助川誠, 伴野太郎, 伴野太郎, 足立久美, 山本基子, JUSTUS Cohen B., GLORIOSO Joseph C., 谷谷信彦, 吉田寛, 岡田尚巳 : ヘルペスウイルスベクター精製法の改良. 日本

分子生物学会年会プログラム・要旨集 2019; 42nd

- 15) 橋詰令太郎, 脇田幸子, 原万里, 柴山道登, 宮川世志幸 : 染色体消去による trisomy21 の haplotype phasing 方法構築. 日本再生医療学会総会 2019; 18th
- 16) 仁藤智香子, 仁藤智香子, 岨康太, 岨康太, 岡田尚巳, 木村和美, 木村和美 : 歯髄由来幹細胞(DPSC)による虚血性脳卒中の治療法開発. 神経治療学 2019; 36 (6)

著書

- 1) 宮川 世志幸 : [分担執筆] 遺伝子細胞治療における間葉系幹細胞の利用. 別冊 医学のあゆみ 間葉系幹細胞の基礎と臨床応用. 2020, 医歯薬出版.

学会発表

- 1) Shiozawa Y, Adachi K, Tomono T, Miyagawa Y, Okada T : AAV amplicon vectors with minimal virus-derived genetic material. The 25th Annual Meeting of Japan Society of Gene and Cell Therapy (JSGCT)., 2019. 7.
- 2) Hirai Y, Tomono T, Miyagawa Y, Ishii A, Tamaoka A, Onodera M, Okada T : Analytical Ultracentrifugation Assays to characterize the purity of Recombinant Adeno-Associated Viral Type 9 Vectors (rAAV9). The 25th Annual Meeting of Japan Society of Gene and Cell Therapy (JSGCT)., 2019. 7.
- 3) Yuko Nitahara-Kasahara, Mutsuki Kuraoka, Hiromi Hayashita-Kinoh, Posadas Herrera Guillermo, Aki Nakamura-Takahasi, Shin'ichi Takeda, Takashi Okada : Anti-inflammatory therapy using multipotent mesenchymal stromal cells for muscular dystrophy. 第 25 回日本遺伝子細胞治療学会学術集会, 2019. 7.
- 4) Okura S, Miyagawa Y, Morita R, Takahashi H : Bat restricts retrovirus infection after the completion of reverse transcription. The 67th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology, 2019. 10.
- 5) Miyagawa Y, Maruyama M, Kuroda S, Sakai A, Sato Y, Kinoh H, Yamamoto M, Cohen JB, Glorioso JC, Okada T : Biodistribution Analysis of Transgene Expression from a Non-Cytotoxic Herpes Simplex Virus Based Vector. 22th Annual Meeting of the American Society of Gene & Cell Therapy, 2019. 4.
- 6) Yuko Nitahara-Kasahara, Nana Tsumita, Shuji Mizumoto, Yukiko Inoue, Takayoshi Inoue, Takahiro Yoshizawa, Yuki Takahashi, Posadas Herrera Guillermo, Yuki Oda, Aki Nakamura-Takahashi, Ayana Hashimoto, Yoshihiro Nomura, Shin'ichi Takeda, Atsushi Watanabe, Tomoki Kosho, Takashi Okada : CRISPR/Cas9-mediated development and characterization of knockout mice for musculocontractural type Ehlers-Danlos Syndrome caused by mutations in CHST14 (mcEDS-CHST14). Scientific meeting on the rarer types of Ehlers-Danlos Syndrome, 2019. 11.
- 7) Posadas-Herrera G, Masuda C, Hayashita-Kinoh H, Miyagawa Y, Okada T : DEVELOPMENT OF AN OLIGONUCLEOTIDE DELIVERY SYSTEM BASED ON AAV EMPTY CAPSIDS. The 25th Annual Meeting of Japan Society of Gene and Cell Therapy (JSGCT)., 2019. 7.
- 8) Yamazaki Y, Nitahara-Kasahara Y, Miyazaki K, Miyagawa Y, Okada T : Development of viral vector-producing amniotic mesenchymal stem cells for in situ cancer cell therapy. The 25th Annual Meeting of Japan Society of Gene and Cell Therapy (JSGCT)., 2019. 7.
- 9) Ito Takaya, Sakai Atsushi, Maruyama Motoyo, Miyagawa Yoshitaka, Okada Takashi, Fukayama Haruhisa, Suzuki Hidenori : Dorsal Root Ganglia Homeobox (DRGX) in the DRG neurons is involved in neuropathic pain. Proceedings for The 93rd Annual Meeting of the Japanese Pharmacological Society, 2020. 3.
- 10) Seiji Kuroda, Yoshitaka Miyagawa, Gianluca Verlengia, Makoto Sukegawa, Kumi Adachi, Motoko Yamamoto, Justus B. Cohen, Joseph C. Glorioso, Hideyuki Suzuki, Hiroshi Yoshida, Takashi Okada : Improved purification method for herpes simplex virus-based vectors., 2019. 12.
- 11) Miyagawa Y, Maruyama M, Kuroda S, Sakai A, Sato Y, Kinoh H, Yamamoto M, Cohen JB, Glorioso JC, Okada T : In vivo imaging of transgene expression from a non-toxic herpes simplex virus vector. The 25th Annual Meeting of Japan Society of Gene and Cell Therapy (JSGCT). The 25th Annual Meeting of Japan Society of Gene and Cell Therapy (JSGCT)., 2019. 7.

- 12) Atsushi Sakai, Motoyo Maruyama, Yoshitaka Miyagawa, Takashi Okada, Hidenori Suzuki : Involvement of novel long non-coding RNAs expressed in the primary sensory neuron in neuropathic pain. The 62nd Annual Meeting of the Japanese Society for Neurochemistry (NEURO2019) , 2019. 7.
- 13) Sadayuki Ohkura, Yoshitaka Miyagawa, Masumi Shimizu, Rimpei Morita, Hidemi Takahashi : Novel molecular mechanism of bat cells for resisting RNA virus replication. The 42nd Annual Meeting of the Molecular Biology Society of Japan (MBSJ2019), 2019. 12.
- 14) Yoshitaka Miyagawa, Motoyo Maruyama, Seiji Kuroda, Atsushi Sakai, Yuriko Sato, Ryotaro Hashizume, Hiromi Kinoh, Motoko Yamamoto, Justus B. Cohen, Joseph C. Glorioso, Takashi Okada : Optimization of vector design of non-toxic herpes simplex virus-based vector for efficient in vivo transduction. The 42nd Annual Meeting of the Molecular Biology Society of Japan (MBSJ2019), 2019. 12.
- 15) 山崎 吉之, 笠原 優子, 宮崎 海, 宮川 世志幸, 岡田 尚巳 : がん治療用ウイルスベクター産生羊膜間葉系幹細胞の開発. 日本医科大学医学会総会, 2019. 9.
- 16) 伊藤孝哉, 坂井敦, 丸山基世, 宮川世志幸, 岡田尚巳, 深山治久, 鈴木秀典 : 一次感覚神経におけるホメオボックス遺伝子 DRGX の神経障害性疼痛への関与. 第 141 回日本薬理学会関東部会, 2019. 10.
- 17) 小島 慎也, 渡邊 淳, 川村 摩耶, 佐原 知子, 宮川 世志幸, 笠原 優子, 折茂 英生, 南 史朗, 岡田 尚巳 : 粗鬆症のリスクファクター、層別化における低 ALP 血症、ALPL 病的変異の意義 —成人型低ホスファターゼ症の症状の 1 つが骨粗鬆症である. The 13th Biennial Scientific Meeting of the ALPS Research Society., 2019. 7.

7 薬理学分野

研究業績

論文等

- 1) Suzuki C, Ikeda Y, Tateno A, Okubo Y, Fukayama H, Suzuki H : Acute Atomoxetine Selectively Modulates Encoding of Reward Value in Ventral Medial Prefrontal Cortex. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (2) :98-107. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-205.
- 2) Suzuki C, Ikeda Y, Tateno A, Okubo Y, Fukayama H, Suzuki H : Acute atomoxetine selectively modulates encoding of reward value in ventral medial prefrontal cortex. *Journal of Nippon Medical School* 2019; 86 (2) :98-107.
- 3) Ikeda Y, Funayama T, Tateno A, Fukayama H, Okubo Y, Suzuki H : Bupropion increases activation in nucleus accumbens during anticipation of monetary reward. *Psychopharmacology* 2019 doi: 10.1007/s00213-019-05337-6.
- 4) Fumihito Saitow, Toru Takumi, Hidenori Suzuki : Change in serotonergic modulation contributes to the synaptic imbalance of neuronal circuit at the prefrontal cortex in the 15q11-13 duplication mouse model of autism. *Neuropharmacology* 2020; 165:107931. doi: 10.1016/j.neuropharm.2019.107931.
- 5) Karibe H, Koeda M, Aoyagi-Naka K, Kato Y, Tateno A, Suzuki H, Okubo Y : Differences in the perception of dental sounds: a preliminary study. *Patient preference and adherence* 2019; 13:1051-1056. doi: 10.2147/PPA.S204465.
- 6) Takaya Ito, Atsushi Sakai, Motoyo Maruyama, Yoshitaka Miyagawa, Takashi Okada, Haruhisa Fukayama, Hidenori Suzuki : Dorsal Root Ganglia Homeobox downregulation in primary sensory neurons contributes to neuropathic pain in rats. *Molecular pain* 2020; 16 doi: 10.1177/1744806920904462.
- 7) 宮川世志幸, 丸山基世, 丸山基世, 黒田誠治, 坂井敦, 佐藤優里子, 橋詰令太郎, 喜納裕美, 山本基子, JUSTUS Cohen, JOSEPH Glorioso, 岡田尚巳 : In vivo 遺伝子導入に至適化された無毒化ヘルペスウイルスベクターの開発. *日本分子生物学会年会プログラム・要旨集* 2019; 42nd
- 8) Hirotoishi Iwasaki, Atsushi Sakai, Motoyo Maruyama, Takaya Ito, Atsuhiko Sakamoto, Hidenori Suzuki : Increased H19 Long Non-coding RNA Expression in Schwann Cells in Peripheral Neuropathic Pain. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (4) :215-221. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2018_86-402.
- 9) Atsushi Sakai, Motoyo Maruyama, Hidenori Suzuki : MicroRNA and long non-coding RNA in neuropathic pain. *PAIN RESEARCH* 2019; 34 (3) :219-227. doi: 10.11154/pain.34.219.
- 10) Nao Wakabayashi, Atsushi Sakai, Hiroya Takada, Takayuki Hoshi, Hitomi Sano, Shizuko Ichinose, Hidenori Suzuki, Rei Ogawa : Noncontact Phased-Array Ultrasound Facilitates Acute Wound Healing in Mice. *Plastic and reconstructive surgery* 2020; 145 (2) :348e-359e. doi: 10.1097/PRS.0000000000006481.
- 11) Hoshikawa N, Sakai A, Takai S, Suzuki H : Targeting Extracellular miR-21-TLR7 Signaling Provides Long-Lasting Analgesia in Osteoarthritis. *Molecular therapy. Nucleic acids* 2019; 19:199-207. doi: 10.1016/j.omtn.2019.11.011.
- 12) 池田 裕美子 : fMRI を用いた鎮痛薬トラマドールによる脳内報酬系に対する効果. *ファルマシア* 2019; 55 (4) :283-286.
- 13) 鈴木秀典 : ドーピング検査における最近の動向と今後の展望. *生物試料分析* 2020; 43 (1) :8.
- 14) 坂井敦, 鈴木秀典 : マイクロ RNA に着目したリキッドバイオプシーと痛みのバイオマーカーへの可能性. *麻酔* 2019; 68 (11) :S167-S175.
- 15) 鈴木 秀典 : 分子から迫る神経薬理学 タキキニン受容体をターゲットとした臨床応用. *Clinical Neuroscience* 2019; 37 (4) :377-379.
- 16) 鈴木 秀典 : 増大特集 現代医学・生物学の先駆者たち VI.神経科学 大塚正徳(1929-)・神経伝達物質の発見. *生体の科学* 2019; 70 (5) :452-453. doi: 10.11477/mf.2425201063.
- 17) 坂井敦 : 慢性疼痛と一次求心ニューロンの遺伝子発現. *Clinical Neuroscience* 2019; 37 (12) :1502-1505.
- 18) 坂井敦, 丸山基世, 鈴木秀典 : 神経障害性疼痛におけるマイクロ RNA と長鎖非コード RNA. *Pain Research* 2019; 34 (3) :219-227.
- 19) 岩崎宏俊, 坂井敦, 丸山基世, 伊藤孝哉, 鈴木秀典, 坂本篤裕 : 神経障害性疼痛における長鎖非コード RNA H19 の発現増加. *日本麻酔*

科学会学術集会 2019; 66th:ROMBUNNO.Q · IJ1 · 3 (WEB ONLY).

- 20) 肥田道彦, 濱智子, 中島創一郎, 秋山友美, 池田裕美子, 館野周, 鈴木秀典, 大久保善朗 : 経頭蓋直流刺激による安静時機能的 MRI 施行時の機能的結合に対する影響:予備的 fMRI 研究. 日本生物学的精神医学会 2019; 41st
- 21) 中島創一郎, 肥田道彦, 濱智子, 秋山友美, 池田裕美子, 館野周, 鈴木秀典, 大久保善朗 : 経頭蓋直流刺激による言語流暢性課題施行時の脳賦活に対する影響:予備的 fMRI 研究. 日本生物学的精神医学会 2019; 41st

著書

- 1) 鈴木 秀典 : [分担執筆] スポーツとアンチ・ドーピング:アンチ・ドーピングの枠組みと禁止物質、作用メカニズムとドーピング:蛋白同化作用を有する物質・麻薬(鎮痛薬)カンナビノイド. 鈴木 秀典(薬理学), 赤間 高雄, 亀井 美和子:[編集] アンチ・ドーピング徹底解説スポーツ医薬 : 服薬指導とその根拠. 2020, 中山書店.

8 解析人体病理学分野

研究業績

論文等

- 1) Aratani S, Yamakawa H, Suzuki S, Otsuka T, Sakai Y, Shimizu A, Tsuruoka S : A case of female Fabry disease revealed by renal biopsy. *CEN case reports* 2019; 9 (1) :24-29. doi: 10.1007/s13730-019-00420-5.
- 2) Yamada T, Itagaki F, Aratani S, Kawasaki S, Terada K, Mugishima K, Kashiwagi T, Shimizu A, Tsuruoka S : A case of membranous nephropathy diagnosed with lupus nephritis 11 years after onset. *CEN case reports* 2019; 8 (4) :301-307. doi: 10.1007/s13730-019-00412-5.
- 3) 山口 亮平, 河添 悦昌, 嶋本 公德, 篠原 恵美子, 堂本 裕加子, 宇於崎 宏, 塚本 達雄, 清水 章, 長田 道夫, 深山 正久, 大江 和彦 : AI 画像診断に向けた、糸球体 PAS 染色画像の医師間所見一致度の評価. *日本腎臓学会誌* 2019; 61 (3) :316.
- 4) 川瀬 里衣子, 黒瀬 圭輔, 池田 真利子, 山本 晃人, 米山 剛一, 渡曾 泰彦, 石井 英昭, 清水 章, 竹下 俊行 : ASC-US の判定を再考してみる ASC-US 症例の臨床病理学的検討. *日本臨床細胞学会雑誌* 2019; 58 (Suppl.1) :119.
- 5) Okabayashi Y, Tsuboi N, Kanzaki G, Sasaki T, Haruhara K, Koike K, Takahashi H, Ikegami M, Shimizu A, Yokoo T : Aging Vs. Hypertension: An Autopsy Study of Sclerotic Renal Histopathological Lesions in Adults With Normal Renal Function. *American journal of hypertension* 2019; 32 (7) :676-683. doi: 10.1093/ajh/hpz040.
- 6) Nariaki Kokuho, Yasuhiro Terasaki, Shinobu Kunugi, Yoshinobu Saito, Hirokazu Urushiyama, Mika Terasaki, Hiroki Hayashi, Akihiko Gemma, Akira Shimizu : Analyses of alveolar epithelial injury via lipid-related stress in mammalian target of rapamycin inhibitor-induced lung disease. *Laboratory investigation; a journal of technical methods and pathology* 2019; 99 (6) :853-865. doi: 10.1038/s41374-018-0158-9.
- 7) Yamamoto Y, Tsuzuki T, Akatsuka J, Ueki M, Morikawa H, Numata Y, Takahara T, Tsuyuki T, Tsutsumi K, Nakazawa R, Shimizu A, Maeda I, Tsuchiya S, Kanno H, Kondo Y, Fukumoto M, Tamiya G, Ueda N, Kimura G : Automated acquisition of explainable knowledge from unannotated histopathology images. *Nature communications* 2019; 10 (1) :5642. doi: 10.1038/s41467-019-13647-8.
- 8) Endo Y, Negishi K, Hirayama K, Suzuki H, Shimizu A : Bevacizumab-induced immunoglobulin A vasculitis with nephritis: A case report. *Medicine* 2019; 98 (45) :e17870. doi: 10.1097/MD.00000000000017870.
- 9) Sasaki T, Tsuboi N, Kanzaki G, Haruhara K, Okabayashi Y, Koike K, Kobayashi A, Yamamoto I, Ogura M, Hoy WE, Bertram JF, Shimizu A, Yokoo T : Biopsy-based estimation of total nephron number in Japanese living kidney donors. *Clinical and experimental nephrology* 2019; 23 (5) :629-637. doi: 10.1007/s10157-018-01686-2.
- 10) Yahiro K, Ogura K, Terasaki Y, Satoh M, Miyagi S, Terasaki M, Yamasaki E, Moss J : Cholix toxin, an eukaryotic elongation factor 2 ADP-ribosyltransferase, interacts with Prohibitins and induces apoptosis with mitochondrial dysfunction in human hepatocytes. *Cellular microbiology* 2019; 21 (8) :e13033. doi: 10.1111/cmi.13033.
- 11) 梶本 雄介, 寺崎 美佳, 功刀 しのぶ, 清水 章, 寺崎 泰弘 : EB ウイルス陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の寛解後に多発性肺 T 細胞性リンパ腫を発症した 1 例. *日本病理学会会誌* 2019; 108 (1) :357.
- 12) Yasuhiro Terasaki, Mika Terasaki, Satoshi Kanazawa, Nariaki Kokuho, Hirokazu Urushiyama, Yusuke Kajimoto, Shinobu Kunugi, Motoyo Maruyama, Toshio Akimoto, Yoko Miura, Tsutomu Igarashi, Ikuroh Ohsawa, Akira Shimizu : Effect of H2 treatment in a mouse model of rheumatoid arthritis-associated interstitial lung disease. *Journal of cellular and molecular medicine* 2019; 23 (10) :7043-7053. doi: 10.1111/jcmm.14603.
- 13) Sasaki T, Tsuboi N, Okabayashi Y, Haruhara K, Kanzaki G, Koike K, Kobayashi A, Yamamoto I, Takahashi S, Ninomiya T, Shimizu A, Rule AD, Bertram JF, Yokoo T : Estimation of nephron number in living humans by combining unenhanced computed tomography with biopsy-based stereology. *Scientific reports* 2019; 9 (1) :14400. doi: 10.1038/s41598-019-50529-x.
- 14) Anri Sawada, Kohei Unagami, Shigeru Horita, Kunio Kawanishi, Masayoshi Okumi, Sekiko Taneda, Hideki Ishida, Motoshi Hattori,

- Kazunari Tanabe, Kazuho Honda, Keiko Uchida, Akira Shimizu, Junki Koike, Kosaku Nitta, Yoji Nagashima : Fate of full-house immunofluorescence staining in renal allograft: A case report. *Pathology international* 2019; 69 (11) :655-660. doi: 10.1111/pin.12847.
- 15) Noro Rintaro, Miyanaga Akihiko, Fukuizumi Aya, Kunugi Shinobu, Sugano Teppei, Omori Miwako, Minegish Yuji, Usuda Jitsuo, Seike Masahiro, Kubota Kaoru, Hirao Mamiko, Matsuda Kuniko, Gemma Akihiko : Genomic profiling of lung cancer associated with idiopathic pulmonary fibrosis. *CANCER RESEARCH* 2019; 79 (13) doi: 10.1158/1538-7445.AM2019-1602.
- 16) Okabayashi Y, Nagasaka S, Kanzaki G, Tsuboi N, Yokoo T, Shimizu A : Group 1 innate lymphoid cells are involved in the progression of experimental anti-glomerular basement membrane glomerulonephritis and are regulated by peroxisome proliferator-activated receptor α . *Kidney international* 2019; 96 (4) :942-956. doi: 10.1016/j.kint.2019.04.039.
- 17) Okada A, Higashihara T, Kusano T, Takemura K, Saigusa H, Maruno S, Matsumura M, Suzuki T, Shimizu A, Takano H : IL-6-producing Renal Cell Carcinoma Causing Renal and Endocrine Paraneoplastic Syndromes. *Internal medicine (Tokyo, Japan)* 2019; 58 (13) :1953-1960. doi: 10.2169/internalmedicine.2000-18.
- 18) 城 謙輔, 橋口 明典, 久野 敏, 清水 章 : IgA 腎症の Oxford 分類と日本分類(組織学的重症度分類)の腎機能予後予測に関する比較. *日本病理学会会誌* 2019; 108 (1) :297.
- 19) 城 謙輔, 中里 毅, 橋口 明典, 清水 章, 久野 敏, 片渕 律子, 川村 哲也 : IgA 腎症の Oxford 分類と日本分類(組織学的重症度分類)の腎機能予後予測に関する比較. *日本腎臓学会誌* 2019; 61 (3) :394.
- 20) 鎌野 千佐子, 清水 章, 城 謙輔, 橋口 明典, 久野 敏, 片渕 律子, 川村 哲也 : IgA 腎症の生検時の臨床データと病理所見の関連性. *日本腎臓学会誌* 2019; 61 (3) :395.
- 21) 城 謙輔, 橋口 明典, 久野 敏, 清水 章 : IgA 腎症の組織学的重症度分類に関する亜型分類(A/C)のエビデンスに関する前向き多施設共同研究. *日本病理学会会誌* 2020; 109 (1) :291.
- 22) Akatsuka J, Yamamoto Y, Sekine T, Numata Y, Morikawa H, Tsutsumi K, Yanagi M, Endo Y, Takeda H, Hayashi T, Ueki M, Tamiya G, Maeda I, Fukumoto M, Shimizu A, Tsuzuki T, Kimura G, Kondo Y : Illuminating Clues of Cancer Buried in Prostate MR Image: Deep Learning and Expert Approaches. *Biomolecules* 2019; 9 (11) doi: 10.3390/biom9110673.
- 23) Tani T, Fujiwara M, Orimo H, Shimizu A, Narisawa S, Pinkerton AB, Millán JL, Tsuruoka S : Inhibition of tissue-nonspecific alkaline phosphatase protects against medial arterial calcification and improved survival probability in the CKD-MBD mouse model. *The Journal of pathology* 2019; 250 (1) :30-41. doi: 10.1002/path.5346.
- 24) Watanabe H, Ariyoshi Y, Pomposelli T, Takeuchi K, Ekanayake-Alper DK, Boyd LK, Arn SJ, Sahara H, Shimizu A, Ayares D, Lorber MI, Sykes M, Sachs DH, Yamada K : Intra-bone bone marrow transplantation from hCD47 transgenic pigs to baboons prolongs chimerism to >60 days and promotes increased porcine lung transplant survival. *Xenotransplantation* 2019; 27 (1) :e12552. doi: 10.1111/xen.12552.
- 25) 康 徳東, 形 國蘭, 金澤 伸洋, 唐澤 一徳, 高木 孝士, 佐野 真理子, 南雲 佑, 瀧本 雅文, 清水 章, 本田 一穂 : LMD-LC-MS/MS を用いた Fibrillary 糸球体腎炎の原因蛋白の検討. *日本病理学会会誌* 2020; 109 (1) :292.
- 26) Ohashi R, Fukazawa R, Shimizu A, Ogawa S, Ochi M, Nitta T, Itoh Y : M1 macrophage is the predominant phenotype in coronary artery lesions following Kawasaki disease. *Vascular medicine (London, England)* 2019; 24 (6) :1358863X19878495-492. doi: 10.1177/1358863X19878495.
- 27) 荒川 裕輔, 三井 亜希子, 鶴岡 秀一, 清水 章 : MN with TIP lesion. *日本医科大学医学会雑誌* 2019; 15 (4) :242.
- 28) 植木 理子, 本間 志功, 丸野 紗也子, 清水 章, 松村 実美子, 高野 秀樹 : MSSA を起炎菌とする蜂窩織炎に続発した IgA 優位沈着性感染関連糸球体腎炎(IgA-IRGN)の1例. *日本内科学会関東地方会* 2019; 652回:38.
- 29) 植木 理子, 本間 志功, 丸野 紗也子, 清水 章, 松村 実美子, 高野 秀樹 : MSSA を起炎菌とする蜂窩織炎に続発した IgA 優位沈着性感染関連糸球体腎炎(IgAIRGN)の一例. *日本腎臓学会誌* 2019; 61 (6) :704.
- 30) 荒川 裕輔, 三井 亜希子, 清水 章, 鶴岡 秀一 : Membranous Nephropathy with TIP lesion. *日本腎臓学会誌* 2019; 61 (3) :337.
- 31) Terasaki Y, Suzuki T, Tonaki K, Terasaki M, Kuwahara N, Ohsiro J, Iketani M, Takahashi M, Hamanoue M, Kajimoto Y, Hattori S, Kawaguchi H, Shimizu A, Ohsawa I : Molecular hydrogen attenuates gefitinib-induced exacerbation of naphthalene-evoked acute lung injury through a reduction in oxidative stress and inflammation. *Laboratory investigation; a journal of technical methods and*

- pathology 2019; 99 (6) :793-806. doi: 10.1038/s41374-019-0187-z.
- 32) Kanzaki G, Okabayashi Y, Nagahama K, Ohashi R, Tsuboi N, Yokoo T, Shimizu A : Monoclonal Immunoglobulin Deposition Disease and Related Diseases. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (1) :2-9. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-1.
- 33) Takayuki Tsuji, Naro Ohashi, Taichi Sato, Daiki Goto, Soichiro Nagata, Takashi Matsuyama, Yoshitaka Naito, Naoko Tsuji, Shinsuke Isobe, Tomoyuki Fujikura, Akihiko Kato, Yoshihide Fujigaki, Akira Shimizu, Hideo Yasuda : Monoclonal immunoglobulin G1 κ -type atypical antiglomerular basement membrane disease accompanied by necrotizing glomerulonephritis . *Clinical nephrology* 2020; 93 (3) :152-157. doi: 10.5414/CN109889.
- 34) Hirokazu Urushiyama, Yasuhiro Terasaki, Shinya Nagasaka, Nariaki Kokuho, Youko Endo, Mika Terasaki, Shinobu Kunugi, Kosuke Makita, Hideaki Isago, Keisuke Hosoki, Kunihiko Souma, Takashi Ishii, Hirotaka Matsuzaki, Yoshihisa Hiraishi, Yu Mikami, Satoshi Noguchi, Hiroyuki Tamiya, Akihisa Mitani, Yasuhiro Yamauchi, Akira Shimizu, Takahide Nagase : Naftopidil reduced the proliferation of lung fibroblasts and bleomycin-induced lung fibrosis in mice. *Journal of cellular and molecular medicine* 2019; 23 (5) :3563-3571. doi: 10.1111/jcmm.14255.
- 35) Tomoyuki Fujisawa, Kazutaka Mori, Masashi Mikamo, Takashi Ohno, Kensuke Kataoka, Chikatoshi Sugimoto, Hideya Kitamura, Noriyuki Enomoto, Ryoko Egashira, Hiromitsu Sumikawa, Tae Iwasawa, Shoichiro Matsushita, Hiroaki Sugiura, Mikiko Hashisako, Tomonori Tanaka, Yasuhiro Terasaki, Shinobu Kunugi, Masashi Kitani, Ryo Okuda, Yasuoki Horiike, Yasunori Enomoto, Hideki Yasui, Hironao Hozumi, Yuzo Suzuki, Yutaro Nakamura, Junya Fukuoka, Takeshi Johkoh, Yasuhiro Kondoh, Takashi Ogura, Yoshikazu Inoue, Yoshinori Hasegawa, Naohiko Inase, Sakae Homma, Takafumi Suda : Nationwide cloud-based integrated database of idiopathic interstitial pneumonias for multidisciplinary discussion. *The European respiratory journal* 2019; 53 (5) doi: 10.1183/13993003.02243-2018.
- 36) 菅原 真衣, 田中 真司, 齊藤 久さこ, 石本 遊, 若島 健志, 福井 健人, 清水 章, 稲城 玲子, 田中 哲洋, 南学 正臣 : PHD 阻害薬による肥満・2型糖尿病マウスのアルブミン尿減少に関する分子メカニズムの検討. *日本腎臓学会誌* 2019; 61 (3) :295.
- 37) Kajimoto Y, Endo Y, Terasaki M, Kunugi S, Igarashi T, Mii A, Terasaki Y, Shimizu A : Pathologic glomerular characteristics and glomerular basement membrane alterations in biopsy-proven thin basement membrane nephropathy. *Clinical and experimental nephrology* 2019; 23 (5) :638-649. doi: 10.1007/s10157-018-01687-1.
- 38) Sekijima M, Sahara H, Shimizu A, Iwanaga T, Murokawa T, Ariyoshi Y, Pomposelli T, Khosravi Maharlooeei M, Sykes M, Yamada K : Preparation of hybrid porcine thymus containing non-human primate thymic epithelial cells in miniature swine. *Xenotransplantation* 2019; 26 (6) :e12543. doi: 10.1111/xen.12543.
- 39) Higashihara T, Okada A, Nakamura Y, Saigusa H, Homma S, Matsumura M, Kusano T, Shimizu A, Takano H : Proliferative Glomerulonephritis with Monoclonal Immunoglobulin Deposits without Conspicuous Mesangial Proliferation, Complicated with Squamous Cell Lung Carcinoma. *Internal medicine (Tokyo, Japan)* 2019; 59 (4) :557-562. doi: 10.2169/internalmedicine.2993-19.
- 40) Mai Sugahara, Shinji Tanaka, Tetsuhiro Tanaka, Hisako Saito, Yu Ishimoto, Takeshi Wakashima, Masatoshi Ueda, Kenji Fukui, Akira Shimizu, Reiko Inagi, Toshimasa Yamauchi, Takashi Kadowaki, Masaomi Nangaku : Prolyl Hydroxylase Domain Inhibitor Protects against Metabolic Disorders and Associated Kidney Disease in Obese Type 2 Diabetic Mice. *Journal of the American Society of Nephrology* 2020; 31 (3) :560-577. doi: 10.1681/asn.2019060582.
- 41) Fukue R, Takeno M, Miyamoto D, Shirai Y, Nagahama K, Shimizu A, Kuwana M : Rapid progression to end-stage renal disease in a young female with mixed immunopathological features of lupus and ANCA-associated vasculitis. *International journal of rheumatic diseases* 2019; 22 (5) :956-958. doi: 10.1111/1756-185X.13573.
- 42) Matsushima T, Shimizu A, Yoneyama K, Takeshita T : Recurrence of uterine adenomyosis after administration of gonadotropin-releasing hormone agonist and the efficacy of dienogest. *Gynecological endocrinology : the official journal of the International Society of Gynecological Endocrinology* 2019; 36 (6) :1-4. doi: 10.1080/09513590.2019.1683818.
- 43) Mii A, Shimizu A, Yamaguchi H, Tsuruoka S : Renal Complications after Hematopoietic Stem Cell Transplantation: Role of Graft-Versus-Host Disease in Renal Thrombotic Microangiopathy. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019 doi:

10.1272/jnms.JNMS.2020_87-102.

- 44) K Suzuki, T Sasaki, S Kunugi, Y Shima, R Fukazawa, A Shimizu, T Nitta : Resection of Kommerell's diverticulum in an infant with prenatal diagnosis of right aortic arch. *Surgical Case Reports* 2019; 5 (1) :172. doi: 10.1186/s40792-019-0726-2.
- 45) Sakaguchi M, Nakayama K, Yamaguchi H, Mii A, Shimizu A, Inai K, Onai D, Marumo A, Omori I, Yamanaka S, Fujiwara Y, Fukunaga K, Ryotokuji T, Hirakawa T, Okabe M, Tamai H, Okamoto M, Wakita S, Yui S, Tsuruoka S, Inokuchi K : Risk Factors for Acute Kidney Injury and Chronic Kidney Disease following Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Hematopoietic Malignancies. *Acta haematologica* 2019; 143 (5) :1-13. doi: 10.1159/000504354.
- 46) Sasaki T, Tsuboi N, Okabayashi Y, Haruhara K, Kanzaki G, Koike K, Takahashi H, Ikegami M, Shimizu A, Yokoo T : Synergistic Impact of Diabetes and Hypertension on the Progression and Distribution of Glomerular Histopathological Lesions. *American journal of hypertension* 2019; 32 (9) :900-908. doi: 10.1093/ajh/hpz059.
- 47) Yuya Terashima, Etsuko Toda, Meiji Itakura, Mikiya Otsuji, Sosuke Yoshinaga, Kazuhiro Okumura, Francis H W Shand, Yoshihiro Komohara, Mitsuhiro Takeda, Kana Kokubo, Ming-Chen Chen, Sana Yokoi, Hirofumi Rokutan, Yutaka Kofuku, Koji Ohnishi, Miki Ohira, Toshihiko Iizasa, Hirofumi Nakano, Takayoshi Okabe, Hirotatsu Kojima, Akira Shimizu, Shiro Kanegasaki, Ming-Rong Zhang, Ichio Shimada, Hiroki Nagase, Hiroaki Terasawa, Kouji Matsushima : Targeting FROUNT with disulfiram suppresses macrophage accumulation and its tumor-promoting properties. *Nature communications* 2020; 11 (1) :609. doi: 10.1038/s41467-020-14338-5.
- 48) Murokawa T, Sahara H, Sekijima M, Pomposelli T, Iwanaga T, Ichinari Y, Shimizu A, Yamada K : The Protective Effects of Carbon Monoxide Against Hepatic Warm Ischemia-Reperfusion Injury in MHC-Inbred Miniature Swine. *Journal of gastrointestinal surgery : official journal of the Society for Surgery of the Alimentary Tract* 2019; 24 (5) :974-982. doi: 10.1007/s11605-019-04283-0.
- 49) 岡林 佑典, 清水 章 : 【今、糸球体疾患を考える】総論 糸球体疾患の免疫・病理. *腎と透析* 2019; 86 (5) :505-512.
- 50) 杉山 斉, 横山 仁, 清水 章, 佐藤 博 : 【今、糸球体疾患を考える】総論 腎臓病総合レジストリー(J-RBR/J-KDR). *腎と透析* 2019; 86 (5) :513-518.
- 51) 三井 亜希子, 清水 章 : 【全身性疾患と腎 update】(第 5 章)血液疾患 血栓性微小血管症・腎臓専門医・病理専門医の視点より. *腎と透析* 2019; 86 (増刊) :278-283.
- 52) 三井 亜希子, 清水 章 : 【腎生検から病因と病態を読む】病因診断における腎生検の役割 腎疾患の病因を病理からどうアプローチするのか?. *腎と透析* 2019; 87 (4) :546-552.
- 53) 遠田 悦子, 寺島 裕也, 清水 章, 松島 綱治 : ケモカイン受容体合分子 FROUNT のがん進展への関与. *日本薬学会年会要旨集 2020; 140 年会:26Z-am10.*
- 54) 林 杏奈, 宮永 晃彦, 鈴木 彩奈, 高野 夏希, 久金 翔, 高橋 聡, 菅野 哲平, 武内 進, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 齋藤 好信, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦, 功刀 しのぶ, 坂谷 貴司 : ニボルマブにより薬剤性肺障害を発症した間質性肺炎合併肺扁平上皮癌の 1 剖検例. *肺癌* 2019; 59 (3) :323.
- 55) 岡村 賢, 野呂 林太郎, 藤田 和恵, 呉 壮香, 功刀 しのぶ, 高野 仁司, 齋藤 好信, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : プロテイン C 欠乏症による深部静脈血栓症に、侵襲性肺アスペルギルス症による急性呼吸不全呼吸不全を併発した 1 例. *日本内科学会関東地方会* 2019; 650 回:39.
- 56) 葉山 綾子, 渡會 泰彦, 松澤 こず恵, 石井 英昭, 坂谷 貴司, 清水 章, 内藤 善哉, 土屋 眞一 : 乳癌サブタイプ分類の臨床及び組織・細胞学的特徴 乳癌 HER2 および TN タイプの細胞学的特徴とその傾向. *日本臨床細胞学会雑誌* 2019; 58 (Suppl.1) :128.
- 57) 神崎 剛, 坪井 伸夫, 岡林 佑典, 清水 章, 横尾 隆, Bertram John : 人種間比較からみた日本人ネフロン数の特徴. *DOHaD 研究* 2019; 8 (3) :24.
- 58) 康徳東, 蘭平, 余曉洋, 梁非, 高木孝士, 清水章, 本田一穂 : 低真空走査型電子顕微鏡を用いた実験的ラット Heymann 腎炎モデルにおける糸球体係蹄基底膜傷害の検討. *日本解剖学会総会・全国学術集会講演プログラム・抄録集* 2019; 124th
- 59) 中里 玲, 鈴木 静香, 久能木 俊之介, 麦島 康司, 酒巻 雅典, 大塚 智之, 三井 亜希子, 清水 章, 鶴岡 秀一 : 免疫吸着療法が奏功した膜性腎症合併の視神経脊髄炎の一例. *日本透析医学会雑誌* 2019; 52 (Suppl.1) :456.
- 60) 伊藤 有紗, 寺口 茉那, 津浦 海里, 寺崎 美佳, 桑原 尚美, 遠藤 陽子, 功刀 しのぶ, 寺崎 泰弘, 清水 章 : 内膜性性嚢胞と明細胞

- 腺癌の RT-qPCR 法を用いたバイオマーカー候補蛋白質の mRNA 発現検討. 日本病理学会誌 2019; 108 (1) :449.
- 61) 井上 達哉, 榎本 豊, 竹ヶ原 京志郎, 園川 卓海, 松本 充生, 功刀 しのぶ, 寺崎 泰弘, 清水 章, 白田 実男 : 原発巣切除後遠隔期に肺転移した甲状腺乳頭癌に対する切除例. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :606.
- 62) 小林 光一, 柳原 剛, 楊井 瑛美, 吉崎 薫, 大橋 隆治, 清水 章, 伊藤 保彦 : 学校検尿で発見し追腎生検を行った ANCA 関連腎炎 1 女児例の検討. 日本小児科学会雑誌 2020; 124 (2) :357.
- 63) 数阪 広子, 長岡 竜太, 松井 満美, 銭 真臣, 眞田 麻梨恵, 遠藤 陽子, 寺崎 泰弘, 坂谷 貴司, 岡村 律子, 杉谷 巖 : 小児造血器腫瘍の治療後に甲状腺濾胞癌を発症した 1 例. 日本内分泌外科学会雑誌 2019; 36 (Suppl.1) :S139.
- 64) 山口 靖子, 山中 法子, 松田 陽子, 新井 富生, 湯村 和子, 清水 章, 板橋 美津世, 武井 卓 : 尿異常を認めない高齢者剖検腎の病理学的特徴. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (3) :316.
- 65) 本間 志功, 松村 実美子, 丸野 紗也子, 清水 章, 高野 秀樹 : 尿路感染に伴う乏尿性腎不全で一時透析を要したが、自尿回復後に尿中マルベリー小体を認め Fabry 病と診断した一例. 日本透析医学会雑誌 2019; 52 (Suppl.1) :416.
- 66) 本間 志功, 松村 実美子, 丸野 紗也子, 清水 章, 高野 秀樹 : 急性腎盂腎炎による急性腎機能障害(AKI)患者の腎生検から家族内発症が明らかとなった Fabry 病の一家系. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (6) :742.
- 67) 榎本 あつみ, 村瀬 幸宏, 石井 英昭, 寺崎 美佳, 寺崎 泰弘, 呉 壮香, 和田 龍一, 北川 泰之, 清水 章, 内藤 善哉 : 悪性顆粒細胞腫の 1 例. 日本臨床細胞学会雑誌 2019; 58 (Suppl.1) :353.
- 68) 荒谷 紗絵, 田川 雅子, 酒井 行直, 清水 章, 鶴岡 秀一 : 放射線誘導による細胞老化と腎臓病変の関わり モデルラットを用いた検証. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (3) :330.
- 69) 神崎 剛, 坪井 伸夫, 岡林 佑典, 清水 章, バートラム・ジョン, 横尾 隆 : 日本人ネフロン数の特徴と人種間比較. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (3) :316.
- 70) 神崎 剛, 坪井 伸夫, 岡林 佑典, 清水 章, 横尾 隆 : 日本人ネフロン数の特徴と単一糸球体過濾過量. 東京慈恵会医科大学雑誌 2019; 134 (6) :103.
- 71) 加藤 祐介, 丸野 紗也子, 本間 志功, 村田 祐二郎, 清水 章, 松村 実美子, 高野 秀樹 : 直腸癌、多発肝転移、肺転移に対して術後化学療法後に発症した半月体形成性 IgA 腎症の一例. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (6) :716.
- 72) 寺崎 美佳, 若松 恭子, 桑原 尚美, 寺崎 泰弘, 遠藤 陽子, 遠田 悦子, 功刀 しのぶ, 梶本 雄介, 清水 華, 清水 章 : 破骨細胞様巨細胞を伴う腫瘍の組織学的類似性および RANKL 発現の検討. 日本病理学会誌 2019; 108 (2) :116.
- 73) 片桐 大輔, 永坂 真也, 高橋 景子, Zhang Ming-Zhi, 清水 章, Harris Raymond C., 高橋 孝宗 : 糖尿病性腎症における、血管内皮 NO とポドサイト NFAT2/HPSE のクロストーク. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (3) :360.
- 74) 岩田 和希子, 久保田 浩之, 加藤 秀樹, 清水 章, 松本 道宏, 寺内 康夫, 南学 正臣, 春日 雅人, 鍋木 康志 : 糸球体上皮細胞における PDK1 の役割と腎機能への影響の解析. 日本臨床分子医学会学術総会プログラム・抄録集 2019; 56 回:50.
- 75) 柳原 剛, 楊井 瑛美, 吉崎 薫, 大橋 隆治, 清水 章, 伊藤 保彦 : 肉眼的血尿発症翌日に AKI を呈した IgA 腎症の一例. 日本小児腎臓病学会雑誌 2019; 32 (1Suppl.) :121.
- 76) 岡林 佑典, 坪井 伸夫, 佐々木 峻也, 春原 浩太郎, 神崎 剛, 小池 健太郎, 清水 章, 横尾 隆 : 肥満関連糸球体症における単一ネフロン動態. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (3) :317.
- 77) 梶本 雄介, 寺崎 泰弘, 寺崎 美佳, 功刀 しのぶ, 岡部 友吾, 清水 章 : 肺原発悪性リンパ腫の 2 例. 日本病理学会誌 2020; 109 (1) :419.
- 78) 井上 達哉, 竹ヶ原 京志郎, 園川 卓海, 松本 充生, 榎本 豊, 白田 実男, 功刀 しのぶ, 寺崎 泰弘, 清水 章 : 肺転移によって発見された不顕性甲状腺乳頭癌の 1 切除例. 肺癌 2019; 59 (4) :435.
- 79) 橋口 明典, 石川 雅浩, 城 謙輔, 清水 章, 久野 敏, 片渕 律子, 川村 哲也 : 腎生検糸球体病変定量化の試み. 日本病理学会誌 2020; 109 (1) :435.
- 80) 杉山 斉, 清水 章, 佐藤 博 : 腎臓病総合レジストリー(J-RBR/J-KDR)の 2018 年次報告と経過報告. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (3) :267.
- 81) 余 曉洋, 康 徳東, 田川 雅子, 澤田 杏里, 梶本 雄介, 遠藤 陽子, 高木 孝士, 本田 一穂, 清水 章 : 腎臓発生におけるネフロンの立体的な発達過程. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (3) :148-149.
- 82) 遠田悦子, 遠田悦子, 寺島裕也, 松島綱治 : 腫瘍免疫応答の正負の調節機構 10.がん免疫応答にかかわるサイトカイン・ケモカインの応

用研究. 実験医学 2019; 37 (15) :86-91.

- 83) 植草 茉弓, 三井 亜希子, 荒川 裕輔, 酒井 行直, 清水 章, 鶴岡 秀一: 膀胱癌治療中に発症した Gemcitabine 関連腎血栓性微血管症の1例. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (6) :716.
- 84) 李 紀廉, 川口 武彦, 清水 章, 三浦 茜, 諸岡 瑞穂, 兵頭 正浩, 岡田 絵里, 首村 守俊, 北村 博司, 今澤 俊之: 血漿中寒冷凝集物の質量分析により診断し得た Cryofibrinogen-Associated Glomerulonephritis の1例. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (6) :724.
- 85) 松村 実美子, 清水 章, 高野 秀樹: 血漿交換を施行した小型血管炎の腎組織と腎子後に関する検討. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (3) :349.
- 86) 福田 いずみ, 田原 重志, 澤田 杏理, 寺崎 美佳, 清水 章, 藤沢 治樹, 梶村 益久, 杉原 仁: 間脳-下垂体系の診断と治療の up-date リンパ球性漏斗下垂体後葉炎の臨床. 日本内分泌学会雑誌 2020; 95 (4) :1436.
- 87) 神戸 勇人, 三井 亜希子, 下田 奈央子, 荒川 裕輔, 酒井 行直, 清水 章, 鶴岡 秀一: 難治性眼サルコイドーシスに対するアダリムマブ投与開始後に腎機能障害が進行した一例. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (6) :757.
- 88) 河合 貴広, 荒谷 紗絵, 田村 秀人, 三井 亜希子, 酒井 行直, 清水 章, 鶴岡 秀一: 骨髄腫腎に間質性腎炎を合併した一例. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (6) :768.

著書

- 1) 遠藤 陽子: [分担執筆] IgA 腎症の病理 1 典型例から鑑別診断まで. 富野 康日己, 川村 哲也, 鈴木 祐介: IgA 腎症の病態と治療. 2019, 中外医学社.

学会発表

- 1) Etsuko Toda, Yuya Terashima, Koji Matsushima: A chemokine signal amplifier FROUNT regulates tumor cell-mediated macrophage activation and migration to tumor sites. 第 48 回日本免疫学会学術集会, 2019. 12.
- 2) 梶本 雄介, 寺崎 美佳, 功刀 しのぶ, 清水 章, 寺崎 泰弘: EB ウイルス陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の寛解後に多発性肺 T 細胞性リンパ腫を発症した 1 例. 日本病理学会会誌, 2019. 4.
- 3) 銭 真臣, 長岡 竜太, 齋藤 麻梨恵, 杉谷 巖, 功刀 しのぶ, 寺崎 康弘, 坂谷 貴司: Marine-Lenhart 症候群に対して外科的治療を施行した 1 例. 日本医科大学医学会雑誌, 2019. 10.
- 4) 林 杏奈, 宮永 晃彦, 鈴木 彩奈, 高野 夏希, 久金 翔, 高橋 聡, 菅野 哲平, 武内 進, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 齋藤 好信, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦, 功刀 しのぶ, 坂谷 貴司: ニボルマブにより薬剤性肺障害を発症した間質性肺炎合併肺扁平上皮癌の 1 剖検例. 肺癌, 2019. 6.
- 5) 岡村 賢, 野呂 林太郎, 藤田 和恵, 呉 壮香, 功刀 しのぶ, 高野 仁司, 齋藤 好信, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦: プロテイン C 欠乏症による深部静脈血栓症に、侵襲性肺アスペルギルス症による急性呼吸不全呼吸不全を併発した 1 例. 日本内科学会関東地方会, 2019. 5.
- 6) 柴山 雅行, 小林 俊介, 安藤 久恵, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 寺崎 美佳, 田原 重志, 井下 尚子, 藤沢 治樹, 梶村 益久, 福田 いずみ, 杉原 仁: リンパ球性汎下垂体炎が疑われた中枢性尿崩症の一例. 日本内分泌学会雑誌, 2019. 10.
- 7) 伊藤 有紗, 寺口 茉那, 寺崎 美佳, そ: 内膜症性嚢胞と明細胞癌におけるバイオマーカー候補蛋白質の発現検討. 第 87 回日本医科大学医学会総会, 2019. 9.
- 8) 伊藤 有紗, 寺口 茉那, 寺崎 美佳, そ: 内膜症性嚢胞と明細胞腺癌の RT-qPCR 法を用いたバイオマーカー候補蛋白質の mRNA 発現検討. 第 108 回 日本病理学会総会, 2019. 5.
- 9) 河本 陽子, 呉 壮香, 川原 清子, 手塚 潔, 恩田 宗彦, 和田 龍一, 内藤 善哉, 石井 英昭, 功刀 しのぶ, 片山 博徳: 剖検で診断しえた Desmoplastic malignant mesothelioma の 1 例. 日本医科大学医学会雑誌, 2019. 10.
- 10) 井上 達哉, 榎本 豊, 竹ヶ原 京志郎, 園川 卓海, 松本 充生, 功刀 しのぶ, 寺崎 泰弘, 清水 章, 白田 実男: 原発巣切除後遠隔期に肺転移した甲状腺乳頭癌に対する切除例. 日本臨床外科学会雑誌, 2019. 10.
- 11) 榎本 あつみ, 村瀬 幸宏, 石井 英昭, 寺崎 美佳, 寺崎 泰弘, 呉 壮香, 和田 龍一, 北川 泰之, 清水 章, 内藤 善哉: 悪性顆粒細胞腫の 1 例. 日本臨床細胞学会雑誌, 2019. 5.
- 12) 名尾 敬子, 安藤 久恵, 鈴木 綾子, 長峯 朋子, 山口 祐司, 長尾 元嗣, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 田原 重志, 寺崎 美佳, 井野元 智

- 恵, 長村 義之, 福田 いずみ, 杉原 仁: 治療に難渋した巨大下垂体腺腫による若年性先端巨大症の一例. 日本内分泌学会雑誌, 2020. 1.
- 13) 寺崎 美佳, 若松 恭子, 桑原 尚美, そ: 破骨細胞様巨細胞を伴う腫瘍の組織学的類似性および RANKL 発現の検討. 第 65 回日本病理学会 秋期特別総会, 2019. 11.
- 14) 可世木華子, 市川雅男, 松田繁, 渡邊建一郎, 小野修一, 寺崎美佳, 明樂重夫, 竹下俊行: 緊急子宮内膜症手術における感染の有無の後方視的検討—手術介入の最適化を目指して—. 日本エンドメトリオーシス学会プログラム・抄録集, 2019.
- 15) 梶本 雄介, 寺崎 泰弘, 寺崎 美佳, 功刀 しのぶ, 岡部 友吾, 清水 章: 肺原発悪性リンパ腫の 2 例. 日本病理学会会誌, 2020. 3.
- 16) 井上 達哉, 竹ヶ原 京志郎, 園川 卓海, 松本 充生, 榎本 豊, 白田 実男, 功刀 しのぶ, 寺崎 泰弘, 清水 章: 肺転移によって発見された不顕性甲状腺乳頭癌の 1 切除例. 肺癌, 2019. 8.
- 17) 高橋 瑞穂, 松本 典子, 片野 雄大, 沼尾 紳一郎, 鈴木 健太郎, 金丸 拓也, 青木 淳哉, 西山 康裕, 功刀 しのぶ, 木村 和美: 血栓回収療法を行った脳梗塞の塞栓源と回収された血栓病理所見. 脳血管内治療, 2019. 11.
- 18) 野呂 林太郎, 宮永 晃彦, 福泉 彩, 功刀 しのぶ, 松田 久仁子, 平尾 真李子, 峯岸 裕司, 本橋 春香, 西脇 和考, 森本 正弘, 大和田 勇人, 白田 実男, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦: 間質性肺炎合併肺癌関連遺伝子プロファイルの解析. 日本癌治療学会学術集会抄録集, 2019. 10.

9 統御機構診断病理学分野

研究業績

論文等

- 1) 石野 孔祐, 工藤 光洋, 呉 壮香, 川原 清子, 河本 陽子, 手塚 潔, 藤井 雄文, 和田 龍一, 内藤 善哉 : 2-デオキシグルコースの細胞増殖阻害作用に影響する細胞外代謝物の解析. 日本病理学会会誌 2020; 109 (1) :454.
- 2) Yokoyama Y, Sakatani T, Wada R, Ishino K, Kudo M, Koizumi M, Yamada T, Yoshida H, Naito Z : In vitro and in vivo studies on the association of long non-coding RNAs H19 and urothelial cancer associated 1 with the susceptibility to 5-fluorouracil in rectal cancer. *Int J Oncol.* 2019; 55 (6) :1361-1371. doi: 10.3892/ijo.2019.4895.
- 3) Motoda N, Onda M, Nakamizo M, Ohashi R, Okubo K, Naito Z : Crystalloid Granuloma of Parotid Gland: A Case Report With Review of the Literature. *International journal of surgical pathology* 2019; 27 (2) :216-220. doi: 10.1177/1066896918791031.
- 4) Totsuka Y, Lin Y, He Y, Ishino K, Sato H, Kato M, Nagai M, Elzawahry A, Totoki Y, Nakamura H, Hosoda F, Shibata T, Matsuda T, Matsushima Y, Song G, Meng F, Li D, Liu J, Qiao Y, Wei W, Inoue M, Kikuchi S, Nakagama H, Shan B : DNA Adductome Analysis Identifies N-Nitrosopiperidine Involved in the Etiology of Esophageal Cancer in Cixian, China. *Chemical Research in Toxicology* 2019; 32 (8) :1515-1527. doi: 10.1021/acs.chemrestox.9b00017.
- 5) Kondo R, Ishino K, Wada R, Takata H, Peng WX, Kudo M, Kure S, Kaneya Y, Taniyai N, Yoshida H, Naito Z : Downregulation of protein disulfide-isomerase A3 expression inhibits cell proliferation and induces apoptosis through STAT3 signaling in hepatocellular carcinoma. *International Journal of Oncology* 2019; 54 (4) :1409-1421. doi: 10.3892/ijo.2019.4710.
- 6) Motoda N, Nakamura Y, Kuroki M, Yoneyama K, Isshiki S, Ohashi R, Naito Z : Exfoliation of Alveolar Rhabdomyosarcoma Cells in the Ascites of a 50-Year-Old Woman: Diagnostic Challenges and Literature Review. *Journal of Nippon Medical School* 2019; 86 (4) :236-241. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2018_86-404.
- 7) Shimoda T, Wada R, Kure S, Ishino K, Kudo M, Ohashi R, Fujita I, Uchida E, Yoshida H, Naito Z : Expression of protein disulfide isomerase A3 and its clinicopathological association in gastric cancer. *Oncology Reports* 2019; 41 (4) :2265-2272. doi: 10.3892/or.2019.6999.
- 8) Hotta M, Sakatani T, Ishino K, Wada R, Kudo M, Yokoyama Y, Yamada T, Yoshida H, Naito Z : Farnesoid X receptor induces cell death and sensitizes TRAIL-induced inhibition of cell growth in colorectal cancer cells through the up-regulation of death receptor 5. *Biochemical and Biophysical Research Communications* 2019; 519 (4) :824-831. doi: 10.1016/j.bbrc.2019.09.033.
- 9) Akimoto N, Wada R, Iwakiri K, Naito Z : Histology and molecular biology studies on the expression and localization of angiopoietin-like protein 8 in human tissues. *Biomedical reports* 2019; 11 (5) :215-221. doi: 10.3892/br.2019.1243.
- 10) Kure S, Ishino K, Kudo M, Wada R, Sanada M, Nagaoka R, Sugitani I, Naito Z : Incidence of BRAF V600E in papillary thyroid carcinomas: a single institution experience. *Journal of International Medical Research* 2019; 47 (11) :5560-5572. doi: 10.1177/0300060519873481.
- 11) 近藤 亮太, 石野 孔祐, 吉岡 正人, 清水 哲也, 神田 知洋, 高田 英志, 金谷 洋平, 青木 悠人, 吉田 寛, 内藤 善哉 : Protein disulfide-isomerase A3 は STAT3 シグナルを介して肝細胞癌の進展を促進する. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:P183-4.
- 12) Peng WX, Wada R, Kure S, Fukunaga M, Naito Z : Superficial Myofibroblastoma in the Vulva Mimicking Aggressive Angiomyxoma: A Case Report and Review of the Literature. *Case reports in pathology* 2019; 2019:1582714. doi: 10.1155/2019/1582714.
- 13) Mikami E, Kudo M, Ohashi R, Kawahara K, Kawamoto Y, Teduka K, Fujii T, Kitamura T, Kure S, Ishino K, Sakatani T, Wada R, Saeki H, Naito Z : Toll-like receptor 4 mediates the suppressive effect on the tumor behavior in cutaneous squamous cell carcinoma. *International Journal of Oncology* 2019; 54 (6) :2179-2188. doi: 10.3892/ijo.2019.4790.
- 14) 中嶋 亘, 栗田 智子, 阪口 正洋, 坂谷 貴司, 内藤 善哉, 武井 寛幸, 田中 信之 : トリプルネガティブ乳癌における微小管阻害薬パクリタキセルに対する細胞死誘導機構の解析(Analysis of Microtubule-targeting agents-induced apoptosis in triple-negative breast cancer). 日

本癌学会総会記事 2019; 78 回:P-3242.

- 15) 葉山 綾子, 渡會 泰彦, 松澤 こず恵, 石井 英昭, 坂谷 貴司, 清水 章, 内藤 善哉, 土屋 眞一: 乳癌サブタイプ分類の臨床及び組織・細胞学的特徴 乳癌 HER2 および TN タイプの細胞学的特徴とその傾向. 日本臨床細胞学会雑誌 2019; 58 (Suppl.1) :128.
- 16) 許田 典男, 大橋 隆治, 蒔田 益次郎, 加藤 舞子, 中村 祐司, 前本 直子, 大矢 陽子, 永井 祥子, 牧野 隆浩, 内藤 善哉: 乳管内視鏡検査における洗浄細胞診の有用性について. 日本臨床細胞学会雑誌 2019; 58 (Suppl.1) :284.
- 17) 河本 陽子, 呉 壮香, 川原 清子, 手塚 潔, 恩田 宗彦, 和田 龍一, 内藤 善哉, 石井 英昭, 功刀 しのぶ, 片山 博徳: 剖検で診断しえた Desmoplastic malignant mesothelioma の 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :243.
- 18) 呉 壮香, 和田 龍一, 石野 孔祐, 工藤 光洋, 廣川 満良, 眞田 麻梨恵, 長岡 竜太, 杉谷 巖, 内藤 善哉: 好酸性細胞型濾胞癌 2 例の臨床病理学的特徴および遺伝子解析. 日本内分泌外科学会雑誌 2019; 36 (Suppl.1) :S137.
- 19) 榎本 あつみ, 村瀬 幸宏, 石井 英昭, 寺崎 美佳, 寺崎 泰弘, 呉 壮香, 和田 龍一, 北川 泰之, 清水 章, 内藤 善哉: 悪性顆粒細胞腫の 1 例. 日本臨床細胞学会雑誌 2019; 58 (Suppl.1) :353.
- 20) 呉 壮香, 和田 龍一, 石野 孔祐, 工藤 光洋, 内藤 善哉: 甲状腺乳頭癌における BRAF 遺伝子変異の出現頻度と臨床病理学的因子の関連についての検討. 日本病理学会会誌 2019; 108 (1) :396.
- 21) 呉 壮香, 和田 龍一, 石野 孔祐, 工藤 光洋, 内藤 善哉: 甲状腺未分化癌組織における protein disulfide isomerase A3(PDIA3)の発現の検討. 日本病理学会会誌 2020; 109 (1) :365.
- 22) 森谷 卓也, 中村 保宏, 泉 美貴, 近藤 哲夫, 内藤 善哉, 長嶋 洋治, 降幡 睦夫, 増田 友之, 笹野 公伸, 増田 しのぶ, 日本病理学会教育委員会: 病理学の教育はこう変わる! 本邦における病理学教育の実情 アンケート調査の結果から. 日本病理学会会誌 2019; 108 (1) :206.
- 23) 香中 伸太郎, 太田 竜, 横山 康行, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 原 敬介, 内藤 善哉, 吉田 寛: 粘膜下腫瘍様の形態を呈した壁外発育型横行結腸癌の 1 例. 日本消化器病学会関東支部例会プログラム・抄録集 2019; 354 回:37.
- 24) 下田 朋宏, 和田 龍一, 高 和英, 新井 洋紀, 松野 邦彦, 柿沼 大輔, 萩原 信敏, 金沢 義一, 藤田 逸郎, 松谷 毅, 野村 務, 太田 恵一郎, 内藤 善哉, 吉田 寛: 胃癌における protein disulfide isomerase A3 の発現と臨床病理学的因子との関連. 日本消化器外科学会雑誌 2019; 52 (Suppl.2) :207.
- 25) 金田 陽祐, 和田 龍一, 呉 壮香, 内藤 善哉: 膵内副脾上皮嚢胞 5 例の病理組織学的検討. 日本病理学会会誌 2020; 109 (1) :357.
- 26) 前本 直子, 許田 典男, 加藤 舞子, 大矢 陽子, 中村 祐司, 永井 祥子, 牧野 隆浩, 大橋 隆治, 内藤 善哉: 術前細胞診断に苦慮した肺低悪性度粘表皮癌の 1 例. 日本臨床細胞学会雑誌 2019; 58 (Suppl.1) :336.

著書

- 1) 内藤 善哉 : [共著] 6 章 免疫染色・疾患に準ずる抗体(疾患に関連する抗体). 廣岡 保明, 稲山 久美子, 内藤 善哉 : [共著] 手技と細胞鑑別の完全攻略 実践的 EUS-FNA アトラス 細胞検査士と内視鏡医に贈る. 2019; pp.113-119, 医歯薬出版.

学会発表

- 1) 加藤 雅子, 林 一彦, 加藤 信介, 加藤 聖大, 内藤 善哉, 桑本 聡史: 2-デオキシ-D-グルコース経口投与は、ALS マウスの発症早期における脊髄の病理像の進行を抑制する. 第 108 回日本病理学会総会, 2019. 5.
- 2) 片山博徳, 細根 勝, 新井 悟, 東 敬子, 磯部宏昭, 柳田裕美, 川野記代子, 岩瀬裕美, 前田昭太郎, 内藤 善哉: Differential diagnosis of mesothelioma by effusion cytology—the utility of immunochemical staining and p16 /CDKN2A FISH using cell transfer method and/or cell block method—. 第 87 回日本医科大学医学会総会, 2019. 9.
- 3) 植草協子, 石野孔祐, 内藤善哉, 金涌佳雅: In silico 解析を活用したホルマリソ臓器中の薬物および代謝物のデータベース検索. 第 87 回日本医科大学医学会総会・ポスター発表@東京 (日本医科大). (東京), 2019. 9.
- 4) 近藤亮太, 石野孔祐, 吉岡正人, 清水哲也, 神田知洋, 高田英志, 金谷洋平, 青木悠人, 吉田寛, 内藤善哉: Protein disulfide-isomerase A3 は STAT3 シグナルを介して肝細胞癌の進展を促進する. 第 74 回日本消化器外科学会総会 @品川. (品川), 2019. 7.
- 5) 葉山 綾子, 渡會 泰彦, 松澤 こず恵, 石井 英昭, 坂谷 貴司, 清水 章, 内藤 善哉, 土屋 眞: 乳癌サブタイプ分類の臨床及び組織・細胞学的特徴 乳癌 HER2 および TN タイプの細胞学的特徴とその傾向. 第 60 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会), 2019. 6.

- 6) 許田 典男, 大橋 隆治, 蒔田 益次郎, 加藤 舞子, 中村 祐司, 前本 直子, 大矢 陽子, 永井 祥子, 牧野 隆浩, 内藤 善哉: 乳管内視鏡検査における洗浄細胞診の有用性について. 第 60 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会), 2019. 6.
- 7) 河本陽子, 呉 壮香, 川原清子, 手塚 潔, 恩田宗彦, 和田龍一, 片山博徳, 石井英昭, 功刀しのぶ, 内藤善哉: 剖検で診断しえた Desmoplastic malignant mesothelioma の 1 例. 第 87 回日本医科大学医学会総会, 2019. 9.
- 8) 河本 陽子, 呉 壮香, 片山 博徳, 川原 清子, 手塚 潔, 石井 英昭, 功刀 しのぶ, 恩田 宗彦, 和田 龍一, 内藤 善哉: 剖検で診断しえた線維形成性悪性胸膜中皮腫の一例. 第 60 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会), 2019. 6.
- 9) 細根 勝, 磯部 宏昭, 片山 博徳, 新井 悟, 前田 昭太郎, 内藤 善哉: 悪性リンパ腫の診断:特に DLBCL/High-grade B-cell lymphoma に焦点を当てて リンパ節の穿刺吸引細胞診と flow cytometry の併用 細胞診による悪性リンパ腫の診断精度向上を目指して. 第 60 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会), 2019. 6.
- 10) 榎本 あつみ, 村瀬 幸宏, 石井 英昭, 寺崎 美佳, 寺崎 泰弘, 呉 壮香, 和田 龍一, 北川 泰之, 清水 章, 内藤 善哉: 悪性顆粒細胞腫の 1 例. 第 60 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会), 2019. 6.
- 11) 呉壮香, 和田龍一, 石野孔祐, 工藤光洋, 内藤善哉: 甲状腺乳頭癌における BRAF 遺伝子変異の出現頻度と臨床病理学的因子の関連についての検討. 第 108 回日本病理学会総会・ポスター発表@東京. (東京), 2019. 5.
- 12) 森谷 卓也, 中村 保宏, 泉 美貴, 近藤 哲夫, 内藤 善哉, 長嶋 洋治, 降幡 睦夫, 増田 友之, 笹野 公伸, 増田 しのぶ, 日本病理学会教育委員会: 病理学の教育はこう変わる! 本邦における病理学教育の実情 アンケート調査の結果から. 第 108 回日本病理学会総会, 2019. 5.
- 13) 坂谷 貴司, 内藤 善哉: 臓器病理学の最近の進歩 乳癌の病理診断に関するトピックス 乳癌における病理組織学的治療効果判定と予測因子. 第 108 回日本病理学会総会, 2019. 5.
- 14) 前本 直子, 許田 典男, 加藤 舞子, 大矢 陽子, 中村 祐司, 永井 祥子, 牧野 隆浩, 大橋 隆治, 内藤 善哉: 術前細胞診断に苦慮した肺低悪性度粘表皮癌の 1 例. 第 60 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会), 2019. 6.

10 微生物学・免疫学分野

研究業績

論文等

- 1) Ishii, K, Shimizu, M, Kogo, H, Tamura, H, Negishi, Y, Morita, R, Takahashi, H : A combination of check-point blockade and α -galactosylceramide elicits longlasting suppressive effects on murine hepatoma cell growth in vivo. *Immunobiology* 2019;151860. doi: 10.1016/j.imbio.2019.10.009.
- 2) Yasuyuki Negishi, Masahiko Kato, Shuichi Ono, Yoshimitsu Kuwabara, Rimpei Morita, Hidemi Takahashi, Toshiyuki Takeshita : Distribution of dendritic cells in the septate uterus: An immunological perspective. *American Journal of Reproductive Immunology* 2020; 83 (6) :e13241. doi: 10.1111/aji.13241.
- 3) Hideto Tamura, Mariko Ishibashi, Mika Sunakawa, Koiti Inokuchi : Immunotherapy for Multiple Myeloma. *Cancers* 2019; 11 (12) :2009. doi: 10.3390/cancers11122009.
- 4) Tomita Y, Watanabe E, Shimizu M, Negishi Y, Kondo Y, Takahashi H : Induction of tumor-specific CD8⁺ cytotoxic T lymphocytes from naïve human T cells by using Mycobacterium-derived mycolic acid and lipoarabinomannan-stimulated dendritic cells. *Cancer Immunology, Immunotherapy* : CII 2019; 68 (10) :1605-1619. doi: 10.1007/s00262-019-02396-8.
- 5) Takaku, Shun, Shimizu, Masumi, Takahashi, Hidemi : Japanese Kampo Medicine Juzentaihoto Enhances Antitumor Immunity in CD1d(-/-) Mice Lacking NKT Cells. *INTEGRATIVE CANCER THERAPIES* 2020; 19 doi: 10.1177/1534735419900798.
- 6) Takeshita M, Suzuki K, Kondo Y, Morita R, Okuzono Y, Koga K, Kassai Y, Gamo K, Takiguchi M, Kurisu R, Mototani H, Ebisuno Y, Yoshimura A, Takeuchi T : Multi-dimensional analysis identified rheumatoid arthritis-driving pathway in human T cell. *Annals of the rheumatic diseases* 2019; 78 (10) :1346-1356. doi: 10.1136/annrheumdis-2018-214885.
- 7) Ishibashi M, Ueda K, Imai Y, Inokuchi K, Morita R, Tamura H : Notch1-JAG1 signaling induces aggressive myeloma cell behaviors. *International Journal of Myeloma* 2020
- 8) Mariko Ishibashi, Ryosuke Kinoshita, Koiti Inokuchi, Hiroshi Handa, Makoto Sasaki, Norio Komatsu, Yoichi Imai, Norina Hiroike, Junji Tanaka, Sakae Tanosaki, Shigeki Ito, Mika Sunakawa, Toshio Asayama, Yasuko Kuribayashi-hamada, Rimpei Morita, Hideto Tamura : Serum Soluble CD86, Still a Prognostic Factor in the Novel Agent Era in Multiple Myeloma Patients, Is Produced By Myeloma Cells with High CD86 Variant 3 Expression. *BLOOD* 2019; 134 doi: 10.1182/blood-2019-124635.
- 9) Yonekawa M, Shimizu M, Kaneko A, Matsumura J, Takahashi H : Suppression of R5-type of HIV-1 in CD4⁺ NKT cells by V δ 1⁺ T cells activated by flavonoid glycosides, hesperidin and linarin. *Scientific reports* 2019; 9 (1) :7506. doi: 10.1038/s41598-019-40587-6.
- 10) 根岸 靖幸, 加藤 雅彦, 島 義雄, 市川 智子, 竹下 俊行, 森田 林平, 高橋 秀実 : 免疫疾患と妊娠 免疫学的知見による新しい流早産発症メカニズムの解明. *日本臨床免疫学会総会プログラム・抄録集* 2019; 47 回:78.
- 11) 石橋 真理子, 山本 淳一, 伊藤 拓水, 半田 宏, 猪口 孝一, 田村 秀人 : 免疫調節薬は骨髄腫細胞の PD-L1 発現誘導により T 細胞抑制するが、durvalumab との併用で解除できる (Immunomodulatory drug-induced T-cell suppression via PD-L1 upregulation on myeloma cells is recovered by durvalumab). *International Journal of Myeloma* 2019; 9 (1) :76.
- 12) 上田 圭馬, 石橋 真理子, 今井 陽一, 猪口 孝一, 田村 秀人 : 多発性骨髄腫において NOTCH1 と JAG1 の相互作用が増悪化を誘導する (The interaction of NOTCH1 with JAG1 induces aggressive myeloma behavior). *International Journal of Myeloma* 2019; 9 (1) :85.
- 13) 石橋真理子, 田村秀人 : 多発性骨髄腫における anti-BCMA CAR-T 療法. *月刊血液内科* 2019; 78 (3) :383-388.
- 14) 添田 沙織, 山下 卓也, 磯田 淳, 鈴木 一史, 木口 亨, 田中 紀奈, 田中 淳司, 佐々木 純, 小松 則夫, 安井 寛, 今井 陽一, 石橋 真理子, 田村 秀人 : 実臨床における再発・難治性骨髄腫患者に対する ERd 療法の効果 (Efficacy of elotuzumab plus lenalidomide/dexamethasone in patients with relapsed/refractory multiple myeloma in the real-world practice setting). *International Journal of Myeloma* 2019; 9 (1) :146.
- 15) 島 義雄, 熊坂 栄, 根岸 靖幸 : 早産児の慢性肺疾患と傷害関連分子パターンとしての High Mobility Group Box-1(HMGB-1). *日本周産*

期・新生児医学会雑誌 2019; 55 (2) :454.

- 16) 根岸 靖幸, 市川 智子, 森田 林平, 竹下 俊行, 高橋 秀実 : 糖脂質抗原 α -galactosylceramide によって活性化された樹状細胞, invariant natural killer T 細胞はマウス流産を引き起こす. *Reproductive Immunology and Biology* 2019; 34 (1-2) :17-26.
- 17) 砂川 実香, 石橋 真理子, 海渡 裕太, 木下 量介, 朝山 敏夫, 守屋 慶一, 半田 寛, 佐々木 純, 今井 陽一, 田中 紀奈, 伊藤 薫樹, 田野崎 栄, 田中 淳司, 小松 則夫, 猪口 孝一, 田村 秀人 : 血清 KL-6 値は多発性骨髄腫の予後予測因子となりうる (KL-6 may be an excellent predictor of prognosis in multiple myeloma). *International Journal of Myeloma* 2019; 9 (1) :86.

著書

- 1) 根岸 靖幸 : [分担執筆] III 章 胎盤をより詳しく知るために. 基礎と臨床の両側面からみた胎盤学. 2019; pp375-379, メジカルビュー社.

学会発表

- 1) 大倉 定之 : Bat restricts retrovirus infection after the completion of reverse transcription. Sadayuki Okura The 67th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology, 2019. 10.
- 2) Ryosuke Kinoshita, Mariko Ishibashi, Mika Sunakawa, Koichi Inokuchi, Hiroshi Handa, Makoto Sasaki, Norio Komatsu, Yoichi Imai, Norina Tanaka, Junji Tanaka, Sakae Tanosaki, Shigeki Ito, Atsushi Isoda, Morio Matsumoto, Michiaki Koike, Toshio Asayama, Yasuko Kuribayashi, Keiichi Moriya, Hideto Tamura : Clinical significance of CD86 cell-surface expression and its soluble form in multiple myeloma. 第 81 回日本血液学会学術集会, 2019. 10.
- 3) Ayako Wakabayashi, Shuji Toriumi, Eri Koike, Yasuhiro Nishiyama, Rimpei Morita, Hidemi Takahashi : Damage and enhanced cytoplasmic IL-33-expression in EpCAM+ intestinal epithelial cells and antigen sensitization by oral aluminum salt. 第 48 回日本免疫学会学術集会, 2019. 12.
- 4) Mariko Ishibashi, Mika Sunakawa, Yuta Kaito, Ryosuke Kinoshita, Toshio Asayama, Yasuko Kuribayashi, Hideto Tamura, Koiti Inokuchi : Durvalumab disarms T-cell suppression via PD-L1 upregulation by immunomodulatory drugs on myeloma cells. The 10th Japanese Society of Hematology International Symposium, 2019. 5.
- 5) Saori Soeda, Takuya Yamashita, Atsushi Isoda, Kazuhito Suzuki, Toru Kiguchi, Norina Tanaka, Junji Tanaka, Makoto Sasaki, Norio Komatsu, Yoichi Imai, Mariko Ishibashi, Hideto Tamura : Efficacy of elotuzumab plus lenalidomide/dexamethasone in patients with relapsed/refractory multiple myeloma in the real-world practice setting. 第 44 回日本骨髄腫学会, 2019. 5.
- 6) Saori Soeda, Takuya Yamashita, Atsushi Isoda, Kazuhito Suzuki, Toru Kiguchi, Norina Tanaka, Junji Tanaka, Makoto Sasaki, Norio Komatsu, Hiroshi Yasui, Yoichi Imai, Jian Hua, Masao Hagihara, Mariko Ishibashi, Koichi Inokuchi : Efficacy of elotuzumab/lenalidomide/dexamethasone in myeloma patients in real-world practice. 第 81 回日本血液学会学術集会, 2019. 10.
- 7) Ayako Wakabayashi, Masumi Shimizu, Eiji Shinya, Rimpei Morita, Hidemi Takahashi : HMGB1 released from damaged intestinal epithelia activates mucosal dendritic cells and induces intestinal cytotoxic T lymphocytes and IgA. 9th International DAMPs and Alarmins Symposium. (Okayama) , 2019. 11.
- 8) Ayako Wakabayashi, Masumi Shimizu, Eiji Shinya, Hidemi Takahashi : HMGB1 released from damaged intestinal epithelia contributes to activation of mucosal DCs and induction of intestinal CTLs and IgA. 23rd Edition of International Conference on Immunology and Infectious Diseases. (London) , 2019. 4.
- 9) Mariko Ishibashi, Junichi Yamamoto, Takumi Ito, Hiroshi Handa, Koiti Inokuchi, Hideto Tamura : Immunomodulatory drug-induced T-cell suppression via PD-L1 upregulation on myeloma cells is recovered by durvalumab. 第 44 回日本骨髄腫学会学術集会, 2019. 5.
- 10) Ayako Wakabayashi, Shuji Toriumi, Masumi Shimizu, Yasuhiro Nishiyama, Hidemi Takahashi : Induction of damage of EpCAM+ intestinal epithelial cells and antigen sensitization by aluminum salt as a food additive. 第 68 回日本アレルギー学会学術大会. (東京) , 2019. 6.
- 11) Mika Sunakawa, Hideto Tamura, Mariko Ishibashi, Yuta Kaito, Ryosuke Kinoshita, Toshio Asayama, Keiichi Moriya, Hiroshi Handa, Makoto Sasaki, Yoichi Imai, Norina Tanaka, Shigeki Ito, Sakae Tanosaki, Junji Tanaka, Norio Komatsu, Koiti Inokuchi : KL-6 may be an excellent predictor of prognosis in multiple myeloma. 第 44 回日本骨髄腫学会学術集会, 2019. 5.

- 12) 大倉 定之 : Novel molecular mechanism of bat cells for resisting RNA virus replication. The 42nd Annual Meeting of the Molecular Biology Society of Japan, 2019. 12.
- 13) Mariko Ishibashi, Rimpei Morita, Hideto Tamura : PD-L1 upregulated by immunomodulatory drugs on myeloma cells is associated with refractory disease in myeloma patients. 第 48 回日本免疫学会学術集会, 2019. 12.
- 14) Yutaka Tsukune, Makoto Sasaki, Atsushi Isoda, Akio Saito, Norina Tanaka, Shigeki Ito, Hideto Tamura, Hiroshi Handa, Michiaki Koike, Sakae Tanosaki, Yoichi Imai, Takeshi Odajima, Hiroki Sugimori, Junji Tanaka, Mariko Ishibashi, Norio Komatsu : Real-world progression-free survival 2 in myeloma patients: a cohort study in KTMM study group. 第 81 回日本血液学会学術集会, 2019. 10.
- 15) 根岸 靖幸 : Role of innate immune cells in murine and human reproduction. 第 14 回国際生殖免疫学会 (第 34 回日本生殖免疫学会合同開催), 2019. 11.
- 16) Mariko Ishibashi, Ryosuke Kinoshita, Koiti Inokuchi, Hiroshi Handa, Makoto Sasaki, Norio Komatsu, Yoichi Imai, Norina Tanaka, Junji Tanaka, Sakae Tanosaki, Shigeki Ito, Mika Sunakawa, Toshio Asayama, Yasuko Kuribayashi, Rimpei Morita, Hideto Tamura : Serum Soluble CD86, Still a Prognostic Factor in the Novel Agent Era in Multiple Myeloma Patients, Is Produced By Myeloma Cells with High CD86 Variant 3 Expression. 60th American Society of Hematology Annual Meeting, 2019. 12.
- 17) Keima Ueda, Mariko Ishibashi, Yoichi Imai, Koiti Inokuchi, Hideto Tamura : The interaction of NOTCH1 with JAG1 induces aggressive myeloma behavior. 第 44 回日本骨髄腫学会学術集会, 2019. 5.
- 18) 若林あや子 : アレルギーの食品栄養学. アレルギー大学 (千葉) ベーシックプログラム, 2019. 7.
- 19) 根岸 靖幸 : 免疫学的知見による新しい流早産発症メカニズムの解明. 第 47 回日本臨床免疫学会, 2019. 10.
- 20) 根岸 靖幸, 加藤 雅彦, 島 義雄, 市川 智子, 竹下 俊行, 森田 林平, 高橋 秀実 : 免疫疾患と妊娠 免疫学的知見による新しい流早産発症メカニズムの解明. 日本臨床免疫学会総会プログラム・抄録集, 2019. 10.
- 21) 根岸 靖幸 : 無菌性炎症に起因する流早産発症メカニズムと自然免疫の役割. 第 71 回日本産科婦人科学会, 2019. 4.
- 22) 根岸 靖幸 : 絨毛膜羊膜炎を伴わない原因不明早産の免疫学的解析 ~無菌性炎症からのアプローチ. 第 27 回日本胎盤学会, 2019. 11.

11 衛生学公衆衛生学分野

研究業績

論文等

- 1) Yoichiro Yoshida, Takeshi Yamada, Hiroshi Matsuoka, Hiromichi Sonoda, Atsuko Fukazawa, Hiroshi Yoshida, Hideyuki Ishida, Keiji Hirata, Suguru Hasegawa, Kazuhiro Sakamoto, Toshiaki Otsuka, Keiji Koda : A Trial Protocol of Biweekly TAS-102 and Bevacizumab as Third-Line Chemotherapy for Advanced/Recurrent Colorectal Cancer: A Phase II Multicenter Clinical Trial (The TAS-CC4 Study). *Journal of the anus, rectum and colon* 2019; 3 (3) :136-141. doi: 10.23922/jarc.2018-043.
- 2) Kawada T : Anticoagulation or antiplatelet medications and postpolypectomy bleeding. *Gastrointestinal Endoscopy* 2019; 90 (4) :698-699.
- 3) K. Kato, T. Otsuka, Y. Seino, Y. Tahara, N. Yonemoto, H. Nonogi, K. Nagao, T. Ikeda, N. Sato, H. Tsutsui : Association of out-of-hospital cardiac arrest occurrence time and the survival in all-Japan utstein registry: difference between international resuscitation guidelines 2005 and 2010. *EUROPEAN HEART JOURNAL* 2019; 40:1619.
- 4) Yuki Sakamoto, Yasuhiro Nishiyama, Yu ki Iwasaki, Hiroyuki Daida, Kazunori Toyoda, Kazuo Kitagawa, Ken Okumura, Kengo Kusano, Nobuhisa Hagiwara, Shigeru Fujimoto, Susumu Miyamoto, Toshiaki Otsuka, Yasuyuki Iguchi, Takuya Kanamaru, Teppei Yamamoto, Jumpei Kaburagi, Tetsuya Kimura, Takuyuki Matsumoto, Kazumi Kimura, Wataru Shimizu : Design and rationale of the STroke secondary prevention with catheter ABLation and EDoxaban clinical trial in patients with non-valvular atrial fibrillation: The STABLED study. *Journal of Cardiology* 2019; 74 (6) :539-542. doi: 10.1016/j.jcc.2019.06.002.
- 5) Tsutomu Igarashi, Ikuroh Ohsawa, Maika Kobayashi, Yusuke Umemoto, Takeshi Arima, Hisaharu Suzuki, Toru Igarashi, Toshiaki Otsuka, Hiroshi Takahashi : Effects of Hydrogen in Prevention of Corneal Endothelial Damage During Phacoemulsification: A Prospective Randomized Clinical Trial. *American Journal of Ophthalmology* 2019; 207:10-17. doi: 10.1016/j.ajo.2019.04.014.
- 6) Hiroshige Jinnouchi, Ko Matsudaira, Akihiko Kitamura, Hironobu Kakihana, Hiroyuki Oka, Mina Hayama-Terada, Isao Muraki, Eiko Honda, Hironori Imano, Kazumasa Yamagishi, Tetsuya Ohira, Takeo Okada, Masahiko Kiyama, Hiroyasu Iso : Effects of Low-Dose Therapist-led Self-Exercise Education on the Management of Chronic Low Back Pain: Protocol for a Community-Based, Randomized, 6-Month Parallel-Group Study. *Spine Surg Relat Res.* 2019; 3 (4) :377-384. doi: 10.22603/ssrr.2019-0005.
- 7) Katsuhito Kato, Toshiaki Otsuka, Yoshiyuki Saiki, Nobuyuki Kobayashi, Takayuki Nakamura, Yoichi Kon, Tomoyuki Kawada : Elevated C-reactive Protein Levels Independently Predict the Development of Prediabetes Markers in Subjects with Normal Glucose Regulation. *Experimental and clinical endocrinology & diabetes : official journal, German Society of Endocrinology [and] German Diabetes Association* 2019 doi: 10.1055/a-0869-7584.
- 8) 平田幸代, 稲垣弘文, 川田智之 : HuH - 7 細胞によるコリンエステラーゼの発現. *日本薬学会年会要旨集(CD-ROM) 2019; 139th:ROMBUNNO.23PO - am287.*
- 9) Yoichi Imori, Tsutomu Yoshikawa, Tsutomu Murakami, Toshiaki Isogai, Tetsuo Yamaguchi, Yuichiro Maekawa, Konomi Sakata, Hiroki Mochizuki, Kenshiro Arai, Toshiaki Otsuka, Ken Nagao, Takeshi Yamamoto, Morimasa Takayama : Impact of Trigger on Outcome of Takotsubo Syndrome - Multi-Center Registry From Tokyo Cardiovascular Care Unit Network. *Circulation reports* 2019; 1 (11) :493-501. doi: 10.1253/circrep.CR-19-0045.
- 10) Rieko Ueda, Yuji Nishizaki, Yasuhiro Homma, Shoji Sanada, Toshiaki Otsuka, Shinji Yasuno, Kotone Matsuyama, Naotake Yanagisawa, Masashi Nagao, Kazutoshi Fujibayashi, Shuko Nojiri, Yumiko Seo, Natsumi Yamada, Patrick Devos, Hiroyuki Daida : Importance of quality assessment in clinical research in Japan. *Frontiers in Pharmacology* 2019; 10 doi: 10.3389/fphar.2019.01228.
- 11) Kuniaki Tanabe, Tomotaka Hattori, Hirohito Kobayashi, Kyoko Koike, Yasuhiro Maki, Takashi Arai, Toshiaki Otsuka, Yasutomo Suzuki, Yukihiko Kondo, Naoki Kawamura : Is it safe to continue antithrombotic agents before prostate biopsy?. *Prostate International* 2019; 7 (2) :78-81. doi: 10.1016/j.pnil.2018.06.004.
- 12) Kawada T : Obstructive sleep apnea and cognitive decline in older adults. *American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine* 2019;

- 199 (9) :1168-1169.
- 13) Tomoyuki Kawada : Patient Characteristics and Adenoma Detection Rates. JAMA Surgery 2019; 154 (12) :1169-1170.
 - 14) Ying-Ji Li, Takako Shimizu, Maiko Kobayashi, Yukiyo Hirata, Hirofumi Inagaki, Arata Azuma, Tomoyuki Kawada : ROLE OF NRF2 IN THE ALLERGIC AIRWAY INFLAMMATION DIFFER BETWEEN BALB/C AND C57BL/6 MICE. Respirology 2019; 24:259-260.
 - 15) Kawada T : Reader response: Urinary cadmium concentration and the risk of ischemic stroke. Neurology 2019; 92 (22) :1071-1072.
 - 16) Tatsuya Tsunaki, Masanori Yamamoto, Tetsuro Shimura, Ai Kagase, Toru Naganuma, Akihiro Higashimori, Motoharu Araki, Futoshi Yamanaka, Kazuki Mizutani, Yusuke Watanabe, Toshiaki Otsuka, Ryo Yanagisawa, Kentaro Hayashida : Silent Valsalva thrombus between the native Valsalva and balloon-expandable transcatheter heart valve: multicentre Japanese registry analysis. EuroIntervention : journal of EuroPCR in collaboration with the Working Group on Interventional Cardiology of the European Society of Cardiology 2019; 15 (10) :892-899. doi: 10.4244/EIJ-D-19-00370.
 - 17) Kentaro Suzuki, Kazumi Kimura, Masataka Takeuchi, Masafumi Morimoto, Ryuzaburo Kanazawa, Yuki Kamiya, Keigo Shigeta, Norihiro Ishii, Yohei Takayama, Yorio Koguchi, Tomoji Takigawa, Mikito Hayakawa, Takahiro Ota, Seiji Okubo, Hiromichi Naito, Kazunori Akaji, Noriyuki Kato, Masato Inoue, Teruyuki Hirano, Kazunori Miki, Toshihiro Ueda, Yasuyuki Iguchi, Shigeru Fujimoto, Toshiaki Otsuka, Yuji Matsumaru : The randomized study of endovascular therapy with versus without intravenous tissue plasminogen activator in acute stroke with ICA and M1 occlusion (SKIP study). International Journal of Stroke 2019; 14 (7) :752-755. doi: 10.1177/1747493019840932.
 - 18) Kawada T : Validation Study of Elastographies in Patients With Nonalcoholic Fatty Liver Disease for Detecting Liver Fibrosis. Clinical Gastroenterology and Hepatology 2019; 17 (10) :2139-2140.
 - 19) 李英姫, 清水孝子, 小林麻衣子, 平田幸代, 稲垣弘文, 川田智之 : アレルギー性気道炎症病態のマウス系統差における Nrf2 の役割. 日本衛生学雑誌 2020; 75(Suppl.):S161.
 - 20) 山口 文雄, 李 英姫 : スマホアプリ「医療記録」によるクラウド非依存型 PHR システムの構築. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4):258.
 - 21) 李 英姫, 菅又 昌雄, 武田 健, 川田 智之 : ディーゼル排ガス吸入曝露によるマウス肺胞上皮細胞の変化を示す電顕写真. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (3) :94-95.
 - 22) 李 英姫, 加藤 活人, 稲垣 弘文, 川田 智之, 吾妻 安良太 : ディーゼル排気ガス曝露による気道炎症病態における Nrf2 の役割. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :245.
 - 23) 小林麻衣子, 李英姫, 清水孝子, 平田幸代, 稲垣弘文, 川田智之 : ディーゼル排気粒子のヒト肺線維芽細胞増殖に及ぼす影響. 日本衛生学雑誌 2020; 75 (S):74(Suppl.)-S172.
 - 24) 長澤 大輝, 川田 隼矢, 加藤 活人, 陣内 裕成, 大塚 俊昭, 川田 智之 : 不眠と高血圧は関連するか? 大企業職員における高血圧の重症度に注目した横断研究. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :267.
 - 25) 平田紀美子, 勝又聖夫, 佐藤麻衣子, 稲垣弘文, 川田智之, 武藤三千代 : 体カテストへの喫煙習慣の影響—体カテスト前後の唾液中カテコラミン代謝物等の測定—. 日本体育測定評価学会大会プログラム・抄録集 2019; 18th:34.
 - 26) 武藤三千代, 勝又聖夫, 平田紀美子, 佐藤麻衣子, 稲垣弘文, 川田智之 : 体カテストへの喫煙習慣の影響—体カテスト評価への影響と心拍変動—. 日本体育測定評価学会大会プログラム・抄録集 2019; 18th:34.
 - 27) 松平浩, 吉本隆彦, 陣内裕成 : 腰痛—現代の治療戦略. 月刊薬事 2019; 61 (15) :2840-2849.

著書

- 1) 川田 智之 : [分担執筆] シンプル衛生公衆衛生学. 2020, 南江堂.

学会発表

- 1) K. Kato, T. Otsuka, Y. Seino, Y. Tahara, N. Yonemoto, H. Nonogi, K. Nagao, T. Ikeda, N. Sato, H. Tsutsui : Association of out-of-hospital cardiac arrest occurrence time and the survival in all-Japan utstein registry: difference between international resuscitation guidelines 2005 and 2010. EUROPEAN HEART JOURNAL, 2019. 10.
- 2) Mitsutake S, Ishizaki T, Tsuchiya-Ito R, Uda K, Ueshima H, Matsuda T, Jinnouchi H, Yoshie S, Iijima K, Tamiya N :

- Associations of rehabilitation of long term care with care-need level deterioration at twelve months after discharge in Japan. 11th International Association of Gerontology and Geriatrics Asia/Oceania Regional Congress, 2019. 10.
- 3) Ying-Ji Li, Takako Shimizu, Maiko Kobayashi, Yukiyo Hirata, Hirofumi Inagaki, Tomoyuki Kawada : Effects of Diesel Exhaust Particle in Human Bronchial Epithelial Cell Migration and the Intracellular Signaling Pathway. International Conference on Sarcoidosis and Interstitial Lung Diseases (WASOG 2019), 2019. 10.
 - 4) 平田幸代, 五十嵐公一, 伊藤遼, 稲垣弘文, 川田智之 : HuH-7 細胞によるコリンエステラーゼの産生. 薬学会第 140 年会, 2020. 3.
 - 5) Takahiro Jimba, Masao Yamasaki, Akito Shindo, Kazunori Takemura, Youichi Iwasaki, Junya Matsuda, Yoshiya Yamamoto, Makoto Takei, Daisuke Kitano, Yasuyuki Shiraishi, Shigeto Tsukamoto, Shun Kohsaka, Yuji Nagatomo, Tetsuro Miyazaki, Kenichi Matsushita, Takamichi Miyamoto, Kiyoshi Iida, Shinji Koba, Toshiaki Otsuka, Kazumasa Harada, Takeshi Yamamoto, Ken Nagao, Morimasa Takayama : Lag Effect of Temperature and Atmospheric Pressure Affects the Incidents and the Manner of Acute Heart Failure. CIRCULATION, 2019. 11.
 - 6) Ying-Ji Li, Takako Shimizu, Maiko Kobayashi, Yukiyo Hirata, Hirofumi Inagaki, Arata Azuma, Tomoyuki Kawada : Role of Nrf2 in the allergic airway inflammation differ between BALB/c and C57BL/6 mice. 24th Congress of the Asian Pacific Society of Respiriology (APSR), 2019. 11.
 - 7) 李英姬, 清水孝子, 小林麻衣子, 平田幸代, 稲垣弘文, 川田智之 : アレルギー性気道炎症病態のマウス系統差における Nrf2 の役割. 第 90 回日本衛生学会学術総会, 2020. 3.
 - 8) 大塚俊昭, 小谷英太郎 : オシロメトリック法による上腕動脈 Volume elastic modulus(VE)の左右差に関する検討. 日本臨床生理学会雑誌, 2019. 10.
 - 9) 李英姬, 加藤活人, 稲垣弘文, 吾妻安良太, 川田智之 : ディーゼル排気ガス曝露による気道炎症病態における Nrf2 の役割. 第 87 回日本医科大学医学会総会, 2019. 9.
 - 10) 小林麻衣子, 李英姬, 清水孝子, 平田幸代, 稲垣弘文, 川田智之 : ディーゼル排気粒子のヒト肺線維芽細胞増殖に及ぼす影響. 第 90 回日本衛生学会学術総会, 2020.3.
 - 11) 長澤 大輝, 川田 隼矢, 加藤 活人, 陣内 裕成, 大塚 俊昭, 川田 智之 : 不眠と高血圧は関連するか? 大企業職員における高血圧の重症度に注目した横断研究. 日本医科大学医学会雑誌, 2019. 10.
 - 12) 柿花宏信, 陣内裕成, 北村明彦, 松平浩, 木山昌彦, 羽山実奈, 村木功, 久保田康彦, 山岸良匡, 岡田武夫, 今野弘規, 磯博康 : 地域住民における過体重と慢性運動器痛の関連と高血圧による交互作用 : CIRCS 研究. 第 78 回日本疫学会学術総会, 2020. 1.
 - 13) 陣内裕成, 柿花宏信, 北村明彦, 松平浩, 羽山実奈, 村木功, 本田瑛子, 山岸良匡, 今野弘規, 大平哲也, 岡田武夫, 木山昌彦, 齋藤多聞, 磯博康 : 慢性腰痛・ひざ痛の重症化予防と住民健診におけるプリーフインタベーションの開発. 第 78 回日本公衆衛生学会総会, 2019. 10.
 - 14) 鈴木俊輝, 岩上将夫, 陣内裕成, 吉江悟, 石崎達郎, 飯島勝矢, 田宮菜奈子 : 新規要介護認定者における主な疾患別の介護状態像. 第 78 回日本疫学会学術総会, 2020. 1.
 - 15) 池上 晴彦, 大塚 俊昭, 小谷 英太郎, 酒部 宏一, 高見 光央, 幡野 浩一, 弘中 学, 深井 健一, 吉本 一哉 : 睡眠の質の低下は発作性心房細動と関連する 玉川医師会心房細動横断研究から. 日本睡眠学会定期学術集会プログラム・抄録集, 2019. 6.
 - 16) 陣内裕成, 田宮菜奈子, 光武誠吾, 土屋瑠見子, 伊藤智子, 金雪瑩, 山岸良匡, 石崎達郎, 吉江悟, 飯島勝矢 : 高齢者の施設入所利用に影響する生活機能と行動心理症状 : 介護保険サービス利用者のコホート内症例対照研究. 第 78 回日本疫学会学術総会, 2020. 1.

12 法医学分野

研究業績

論文等

- 1) Takeshi Haseba, Takahisa Okuda, Motoyo Maruyama, Toshio Akimoto, Gregg Duester, Youkichi Ohno : Roles of Two Major Alcohol Dehydrogenases, ADH1 (Class I) and ADH3 (Class III), in the Adaptive Enhancement of Alcohol Metabolism Induced by Chronic Alcohol Consumption in Mice. *Alcohol and alcoholism (Oxford, Oxfordshire)* 2020; 55 (1) :11-19. doi: 10.1093/alcalc/agz091.
- 2) Hirakawa K, Koike K, Kanawaku Y, Moriyama T, Sato N, Suzuki T, Furihata K, Ohno Y : Short-time Fourier Transform of Free Induction Decays for the Analysis of Serum Using Proton Nuclear Magnetic Resonance. *Journal of oleo science* 2019; 68 (4) :369-378. doi: 10.5650/jos.ess18212.
- 3) Yoshimasa Kanawaku : Solitary Deaths in the Tokyo Metropolis and Labor Force Status: Characteristics of Unnatural Deaths at Home among Persons Living Alone. *Journal of Nippon Medical School* 2019; 86 (6)
- 4) 勝山碧, 長谷場健, 佐佐木喜広, 和田健太郎, 丸山基世, 秋元敏雄, 奥田貴久 : 慢性エタノール摂取マウスにおける腎の形態的变化~1か月摂取での検討~. *日本腎臓学会誌* 2019; 61 (3) :412.
- 5) 平川 慶子, 大野 曜吉, 小川 令, 金涌 佳雅, 山崎 峰雄, 足立 好司 : 振動工学におけるモード解析の概念を取り入れた脳腫瘍およびアルツハイマー型認知症の新規血清診断法の開発. *日本医科大学医学会雑誌* 2019; 15 (4) :246-247.
- 6) 山口晃志 : 焼死体から得られた血液の化学分析. *火災誌* 2019; 69 (6) :25-27.
- 7) 山崎 峰雄, 葛谷 聡, 平川 慶子, 金涌 佳雅, 木村 和美, 小池 薫 : 血清 NMR データを用いた新たなアルツハイマー病診断法の開発. *臨床神経学* 2019; 59 (Suppl.) :S217.
- 8) 金涌佳雅 : 高齢孤立死の現状-法医学からの報告. *老年精神医学雑誌* 2019; 30 (5) :520-526.

学会発表

- 1) 勝山碧, 長谷場健, 奥田貴久 : アルコールがマウス腎に及ぼす影響. 第 39 回アルコール医学生物学研究会学術集会, 2020. 1.
- 2) 勝山碧 : アルコール摂取がマウスの腎臓に及ぼす形態変化と生化学的変動. 第 88 回日本法医学会学術関東地方集会 (誌上開催), 2019. 10.
- 3) 奥田貴久, 勝山碧, 長谷場健, 成尾宗浩, 根岸靖幸 : 多臓器を対象としたアルコール基礎研究の問題点. 2019 年度アルコール薬物依存関連学会合同学術総会, 2019. 10.
- 4) 奥田貴久, 成尾宗浩, 根岸靖幸, 勝山 碧, 長谷場健, 大野曜吉 : 慢性アルコール性骨粗鬆症発症についての免疫学的考察. 第 103 次日本法医学会学術全国集会, 2019. 6.
- 5) 勝山 碧, 長谷場 健, 佐佐木 喜広, 和田 健太郎, 丸山 基世, 秋元 敏雄, 奥田 貴久 : 慢性エタノール摂取マウスにおける腎の形態的变化~1か月摂取での検討~. 第 62 回日本腎臓学会学術総会, 2019. 6.
- 6) 金涌佳雅, 崔范来, 平川慶子, 福永龍繁 : 異状死地理空間情報データベースの構築に関する検証. 第 103 次日本法医学会学術全国集会, 2019. 6.

13 医療管理学分野

研究業績

論文等

- 1) Rieko Ueda, Yuji Nishizaki, Yasuhiro Homma, Shoji Sanada, Toshiaki Otsuka, Shinji Yasuno, Kotone Matsuyama, Naotake Yanagisawa, Masashi Nagao, Kazutoshi Fujibayashi, Shuko Nojiri, Yumiko Seo, Natsumi Yamada, Patrick Devos, Hiroyuki Daida : Importance of quality assessment in clinical research in Japan. *Frontiers in Pharmacology* 2019; 10:1228. doi: 10.3389/fphar.2019.01228.
- 2) Hiroshi Hayashi, Koji Iwasaki, Izumi Kumagai, Saki Yokoshiki, Kayoko Kikuchi, Shinobu Shimizu, Mayumi Teramachi, Yuki Kagayama, Kotone Matsuyama, Hiroi Kasai, Makiko Uchiyama, Manabu Yamamoto : Preparation of standard operating procedures reflected the latest information for investigator-initiated clinical trials. *Japanese Pharmacology and Therapeutics* 2019; 47:S134-S147.
- 3) 松山 琴音 : Quality by Design による臨床研究の計画—特集 QbD による臨床試験の実践. *Pharm stage / 技術情報協会 編* 2019; 19 (1) :23-29.
- 4) 松山 琴音 : 【医療機器・介護機器開発を正しくおこなうための関連法とガイドラインの理解】臨床研究における品質確保 Risk based Approach と Quality by Design. *医療機器学* 2019; 89 (4) :388-395. doi: 10.4286/jjmi.89.388.
- 5) 林 宏至, 岩崎 幸司, 熊谷 いづみ, 横式 沙紀, 菊地 佳代子, 清水 忍, 寺町 真由美, 加賀山 祐樹, 松山 琴音, 笠井 宏委, 内山 麻希子, 山本 学 : 医師主導治験における標準業務手順書の適切な作成と効率的な運用に向けた検討. *薬理と治療* 2019; 47 (Suppl.2) :s134-s147.

〔3〕先端医学研究所

1 分子細胞構造学分野

研究業績

論文等

- 1) Castro M, Laviña B, Ando K, Álvarez-Aznar A, Abu Taha A, Brakebusch C, Dejana E, Betsholtz C, Gaengel K : CDC42 Deletion Elicits Cerebral Vascular Malformations via Increased MEKK3-Dependent KLF4 Expression. *Circulation research* 2019; 124 (8) :1240-1252. doi: 10.1161/CIRCRESAHA.118.314300.
- 2) Norihiko Sasaki, Fujiya Gomi, Fumio Hasegawa, Kazumi Hirano, Masakazu Fujiwara, Masashi Toyoda, Toshiyuki Ishiwata : Characterization of the metastatic potential of the floating cell component of MIA PaCa-2, a human pancreatic cancer cell line. *Biochemical and biophysical research communications* 2020; 522 (4) :881-888. doi: 10.1016/j.bbrc.2019.11.120.
- 3) Isao Kobayashi, Jingjing Kobayashi-Sun, Yuto Hirakawa, Madoka Ouchi, Koyuki Yasuda, Hiroyasu Kamei, Shigetomo Fukuhara, Masaaki Yamaguchi : Dual role of Jam3b in early hematopoietic and vascular development. *Development (Cambridge, England)* 2020; 147 (1) doi: 10.1242/dev.181040.
- 4) Norihiko Sasaki, Masashi Toyoda, Fumio Hasegawa, Masakazu Fujiwara, Fujiya Gomi, Toshiyuki Ishiwata : Fetal bovine serum enlarges the size of human pancreatic cancer spheres accompanied by an increase in the expression of cancer stem cell markers. *Biochemical and biophysical research communications* 2019; 514 (1) :112-117. doi: 10.1016/j.bbrc.2019.04.117.
- 5) Szandor Simmons, Naoko Sasaki, Eiji Umemoto, Yutaka Uchida, Shigetomo Fukuhara, Yusuke Kitazawa, Michiyo Okudaira, Asuka Inoue, Kazuo Tohya, Keita Aoi, Junken Aoki, Naoki Mochizuki, Kenjiro Matsuno, Kiyoshi Takeda, Masayuki Miyasaka, Masaru Ishii : High-endothelial cell-derived S1P regulates dendritic cell localization and vascular integrity in the lymph node. *eLife* 2019; 8 doi: 10.7554/elife.41239.
- 6) Noishiki C* & Yuge S* (equal contribution), Ando K, Wakayama Y, Mochizuki N, Ogawa R, Fukuhara S : Live imaging of angiogenesis during cutaneous wound healing in adult zebrafish. *Angiogenesis* 2019; 22 (2) :341-354. doi: 10.1007/s10456-018-09660-y.
- 7) Seung-Sik Rho, Isao Kobayashi, Eri Oguri-Nakamura, Koji Ando, Masakazu Fujiwara, Naomi Kamimura, Hiromi Hirata, Atsuo Iida, Yoshiko Iwai, Naoki Mochizuki, Shigetomo Fukuhara : Rap1b Promotes Notch-Signal-Mediated Hematopoietic Stem Cell Development by Enhancing Integrin-Mediated Cell Adhesion. *Developmental cell* 2019; 49 (5) :681-696. doi: 10.1016/j.devcel.2019.03.023.
- 8) Rho SS, Kobayashi I, Oguri-Nakamura E, Ando K, Fujiwara M, Kamimura N, Hirata H, Iida A, Iwai Y, Mochizuki M, Fukuhara S : Rap1b promotes notch signal-mediated hematopoietic stem cell development by enhancing integrin-mediated cell adhesion. *Developmental Cell* 2019; 49:1-16.
- 9) Shin M, Nozaki T, Idrizi F, Isogai S, Ogasawara K, Ishida K, Yuge S, Roscoe B, Wolfe SA, Fukuhara S, Mochizuki N, Deguchi T, Lawson ND : Valves Are a Conserved Feature of the Zebrafish Lymphatic System. *Developmental cell* 2019; 51 (3) :374-386. doi: 10.1016/j.devcel.2019.08.019.
- 10) 岡里良平, 木瀬亮次, 可野邦行, 可野邦行, 川原敦雄, 藤原正和, 福原茂朋, 青木淳賢, 青木淳賢 : ゼブラフィッシュを用いた ATX-LPA シグナルの血管形成機構の解析. 次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォラム講演要旨集 2019; 18th
- 11) 岡里良平, 木瀬亮次, 可野邦行, 川原敦雄, 藤原正和, 福原茂朋 : ゼブラフィッシュを用いた ATX-LPA シグナルの血管形成機構の解析. 日本生化学会大会プログラム・講演要旨集 2019; 92回:[3T05m-01].
- 12) 弓削進弥, 安藤康史, 福原茂朋, 小川令 : ゼブラフィッシュ成魚の創傷治癒で起こる血管新生と周皮細胞のライブイメージング. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :246.
- 13) 弓削進弥, 西山功一, 有馬勇一郎, 花田三四郎, 花田保之, 若山勇紀, 横川隆司, 三浦岳, 望月直樹, 福原茂朋 : 内腔圧が損傷血管の伸長を制御する過程と機構. 日本心血管内分泌代謝学会学術総会プログラム及び抄録集 2019; 23rd
- 14) 福原茂朋, 弓削進弥, 西山功一, 有馬勇一郎, 花田三四郎, 花田保之, 横川隆司, 三浦岳, 望月直樹 : 創傷治癒過程の血管新生における内腔圧の新たな役割. 日本生化学会大会 2019; 92nd

- 15) 弓削進弥, 西山功一, 有馬勇一郎, 花田三四郎, 花田保之, 若山勇紀, 横川隆司, 三浦岳, 望月直樹, 福原茂朋 : 創傷治癒過程の血管新生における内腔圧の新たな役割. 日本分子生物学会年会プログラム・要旨集 2019; 42nd
- 16) 安藤康史 : 血管壁細胞の基礎. 医学のあゆみ 2019; 270 (1) :45 - 50.
- 17) 福原 茂朋, 盧 承湜 : 血管系と造血系の発生とその関連性 (第1土曜特集 血管新生 : 基礎と臨床) -- (血管 : 発生・再生担当細胞). 医学のあゆみ 2019; 270 (1) :4-9.

学会発表

- 1) Nishiyama, K, Yuge, S, Arima, Y, Hanada, Y, Hanada, S, Ryuji Yokokawa, R, Miura, T, Fukuhara, S : Vascular intraluminal pressure load inhibits directed endothelial cell migration and branch elongation. Angiogenesis in Gordon Research Conference 2019. (Salve Regina University, Newport, RI, USA) , 2019. 8.
- 2) Noishiki, C, Yuge, S, Ando, K, Wakayama, Y, Mochizuki, N, Ogawa, R, Fukuhara, S : Visualizing endothelial cells and pericytes during cutaneous wound angiogenesis in living adult zebrafish. 4th Annual Meeting - Plastic Surgery Research Council. (Hyatt Regency Baltimore Inner Harbor, Baltimore, MD, USA) , 2019. 5.
- 3) 弓削 進弥, 安藤 康史, 小川 令, 福原 茂朋 : ゼブラフィッシュ成魚の創傷治癒で起こる血管新生と周皮細胞のライブイメージング. 第87回日本医科大学医学会総会. (東京 (日本医科大学 橘桜会館)) , 2019. 9.
- 4) 弓削 進弥, 西山 功一, 有馬 勇一郎, 花田 三四郎, 花田 保之, 若山 勇紀, 横川 隆司, 三浦 岳, 望月 直樹, 福原 茂朋 : 内腔圧が損傷血管の伸長を制御する過程と機構. 第27回日本血管生物医学会学術集会 (心血管代謝週間 CVMW2019) , 2019. 12.
- 5) 弓削 進弥, 西山 功一, 有馬 勇一郎, 花田 三四郎, 花田 保之, 若山 勇紀, 横川 隆司, 三浦 岳, 望月 直樹, 福原 茂朋 : 内腔圧による血管新生の新たな制御機構の解明. メカノトランスダクション会議. (岡山) , 2019. 9.
- 6) 弓削 進弥, 西山 功一, 有馬 勇一郎, 花田 三四郎, 花田 保之, 若山 勇紀, 横川 隆司, 三浦 岳, 望月 直樹, 福原 茂朋 : 創傷治癒過程の血管新生における内腔圧の新たな役割. 第42回日本分子生物学会年会, 2019. 12.

2 細胞生物学分野

研究業績

論文等

- 1) Chie Miyabe, Yoshishige Miyabe, Jun Nagai, Noriko N Miura, Naohito Ohno, Jerold Chun, Ryoji Tsuboi, Hiroshi Ueda, Masayuki Miyasaka, Nobuyuki Miyasaka, Toshihiro Nanki : Abrogation of lysophosphatidic acid receptor 1 ameliorates murine vasculitis. *Arthritis research & therapy* 2019; 21 (1) :191. doi: 10.1186/s13075-019-1973-0.
- 2) Miyabe Y, Miyabe C, Mani V, Mempel TR, Luster AD : Atypical complement receptor C5aR2 transports C5a to initiate neutrophil adhesion and inflammation. *Science immunology* 2019; 4 (35) doi: 10.1126/sciimmunol.aav5951.
- 3) Yoshishige Miyabe, Jeffrey Lian, Chie Miyabe, Andrew D Luster : Chemokines in rheumatic diseases: pathogenic role and therapeutic implications. *Nature reviews. Rheumatology* 2019; 15 (12) :731-746. doi: 10.1038/s41584-019-0323-6.
- 4) Miyabe C, Miyabe Y, Moreno L, Lian J, Rahimi RA, Miura NN, Ohno N, Iwakura Y, Kawakami T, Luster AD : Dectin-2-induced CCL2 production in tissue-resident macrophages ignites cardiac arteritis. *The Journal of clinical investigation* 2019; 130 (9) :3610-3624. doi: 10.1172/JCI123778.
- 5) Kamimura N, Wolf AM, Iwai Y : Development of Cancer Immunotherapy Targeting the PD-1 Pathway. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (1) :10-14. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-2.
- 6) Katsuya Iuchi, Kiyomi Nishimaki, Naomi Kamimura, Shigeo Ohta : Molecular hydrogen suppresses free-radical-induced cell death by mitigating fatty acid peroxidation and mitochondrial dysfunction. *Canadian journal of physiology and pharmacology* 2019; 97 (10) :999-1005. doi: 10.1139/cjpp-2018-0741.
- 7) 柏田 建, 西槇 貴代美, 上村 尚美, 清家 正博, 弦間 昭彦, 岩井 佳子 : PD-1 結合能を有する可溶性 PD-L1(sPD-L1)を検出する ELISA 系を用いた、非小細胞肺癌への免疫チェックポイント阻害剤の効果予測(Soluble PD-L1 with PD-1-binding capacity as a biomarker for anti-PD-1/PD-L1 therapy for non-small cell lung cancer). *日本癌学会総会記事* 2019; 78 回:P-2309.
- 8) Seung-Sik Rho, Isao Kobayashi, Eri Oguri-Nakamura, Koji Ando, Masakazu Fujiwara, Naomi Kamimura, Hiromi Hirata, Atsuo Iida, Yoshiko Iwai, Naoki Mochizuki, Shigetomo Fukuhara : Rap1b Promotes Notch-Signal-Mediated Hematopoietic Stem Cell Development by Enhancing Integrin-Mediated Cell Adhesion. *Developmental cell* 2019; 49 (5) :681-696. doi: 10.1016/j.devcel.2019.03.023.
- 9) 柏田 健, 西槇 貴代美, 上村 尚美, 清家 正博, 弦間 昭彦, 岩井 佳子 : 血中の PD-1 結合能を有する可溶性 PD-L1 を用いた非小細胞肺癌の免疫チェックポイント阻害薬の効果予測. 第 78 回日本癌学会総会 2019
- 10) 宮部 斉重, 岩井 佳子 : 関節内インビボイメージングを用いた関節炎病態の解明. *日本医科大学医学会雑誌* 2020; 16 (1) :6-7.

3 遺伝子制御学分野

研究業績

論文等

- 1) 上原郁野, 田中信之 : 2-デオキシグルコースは炎症関連癌の治療薬候補である. 日本癌学会学術総会抄録集 2019; 78th
- 2) Katsuhiko Itoh, Takahiro Ebata, Hiroaki Hirata, Takeru Torii, Wataru Sugimoto, Keigo Onodera, Wataru Nakajima, Ikuno Uehara, Daisuke Okuzaki, Shota Yamauchi, Yemima Budirahardja, Takahito Nishikata, Nobuyuki Tanaka, Keiko Kawauchi : DMPK is a new candidate mediator of tumor suppressor p53-dependent cell death. *Molecules* 2019; 24 (17) doi: 10.3390/molecules24173175.
- 3) Manzo Suzuki, Yoshinori Abe, Yusuke Taguchi, Hiroyasu Bito : Effect of Remifentanyl-Based Anesthesia on Perioperative Phagocytic Function of Human Monocytes. *BPB Reports* 2020; 3 (1) :45-49.
- 4) 佐野匠, 阿部芳憲, 田中信之 : KRAS 遺伝子変異を持つ肺癌発症の新しい分子機構の解析と治療への応用. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4)
- 5) Abe Y, Suzuki Y, Kawamura K, Tanaka N : MEP50/PRMT5-mediated methylation activates G11 in Hedgehog signalling through inhibition of ubiquitination by the ITCH/NUMB complex. *Communications biology* 2019; 2:23. doi: 10.1038/s42003-018-0275-4.
- 6) Wataru Sugimoto, Katsuhiko Ito, Hiroaki Hirata, Yoshinori Abe, Takeru Torii, Yasumasa Mitsui, Yemima Budirahardja, Nobuyuki Tanaka, Keiko Kawauchi : MMP24 as a Target of YAP is a Potential Prognostic Factor in Cancer Patients. *Bioengineering* 2020; 7 (18) :1-12. doi: 10.3390/bioengineering7010018.
- 7) 上原郁野, 梶田満子, 田中信之 : cGAS-STING 経路を介して産生される I 型インターフェロンのがん細胞における役割. 日本分子生物学会年会プログラム・要旨集 2019; 42nd
- 8) 取井猛流, 伊藤功彦, 江畑貴弘, 平田宏聡, 杉本渉, 小野寺恵吾, 中嶋亘, 上原郁野, 奥崎大介, 山内翔太, BUDIRAHARDJA Yemima, 西方敬人, 田中信之, 川内敬子 : アポトーシスを誘導する p73 の新規標的分子の同定. 日本分子生物学会年会プログラム・要旨集 2019; 42nd
- 9) 中嶋亘, 浅野由ミ, 田中信之 : トリプルネガティブ乳がんにおける化学療法抵抗性分子機構の解析. 日本分子生物学会年会プログラム・要旨集 2019; 42nd
- 10) 中嶋亘, 栗田智子, 阪口正洋, 坂谷貴司, 内藤善弥, 武井寛幸, 田中信之 : トリプルネガティブ乳癌における微小管阻害薬パクリタキセルに対する細胞死誘導機構の解析(Analysis of Microtubule-targeting agents-induced apoptosis in triple-negative breast cancer). 日本癌学会総会記事 2019; 78 回:P-3242.
- 11) 阿部芳憲, 田中信之 : 恒常的に hedgehog シグナル伝達経路が活性化した癌細胞における MEP50/PRMT5 複合体の役割. 日本癌学会学術総会抄録集 2019; 78th
- 12) 阿部芳憲, 田中信之 : 恒常的に hedgehog シグナル伝達経路が活性化した癌細胞における MEP50/PRMT5 複合体の役割. 日本分子生物学会年会プログラム・要旨集 2019; 42nd

学会発表

- 1) 谷村篤子, 中里茜, 田中信之 : MYD88 シグナルの恒常的活性化は NF- κ B/HIF-1 α を介して癌化を促進する. 日本分子生物学会年会プログラム・要旨集(Web), 2019.

4 生体機能制御学分野

研究業績

論文等

- 1) Takashi Yagi, Yuka Toyoshima, Reiko Tokita, Yusuke Taguchi, Yoshihisa Okamoto, Shin-Ichiro Takahashi, Hisanori Kato, Shiro Minami : Low-protein diet enhances adiponectin secretion in rats. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry* 2019; 83 (9) :1774-1781. doi: 10.1080/09168451.2019.1621153.
- 2) Dhungel S, Rai D, Terada M, Orihara C, Nishimori K, Sakuma Y, Kondo Y : Oxytocin is indispensable for conspecific-odor preference and controls the initiation of female, but not male, sexual behavior in mice. *Neuroscience Research* 2019; 148:34-41. doi: 10.1016/j.neures.2018.11.008.
- 3) 高橋伸一郎, 伯野史彦, 山中大介, 中林靖, 豊島由香, 竹中麻子 : インスリン様シグナルと代謝制御性アミノ酸シグナル—次世代栄養学「AI Nutrition」の提唱—. *実験医学* 2019; 37 (4) :514-520.
- 4) 石川 真由美, 豊村 順子, 田口 雄亮, 八木 孝, 中田 朋子, 豊島 由香, 杉原 仁, 南 史朗 : 成長ホルモン単独欠損ラットにおける XBP-1 の発現と膵島の形態異常について. *日本内分泌学会雑誌* 2019; 95 (1) :491.
- 5) 福嶋沙良, 熊野未佳子, 西宏起, 山中大介, 豊島由香, 竹中麻子, 片岡直行, 伯野史彦, 高橋伸一郎 : 肝細胞においてオルニチンを介した新規アミノ酸シグナル経路が mTOR 非依存的に G6Pase 遺伝子発現を制御する. *日本分子生物学会年会プログラム・要旨集* 2019; 42nd

学会発表

- 1) Kato Y, Katsumata H, Minami S, Orihara C : Effects of cell-specific ablation of MCH neurons on parental behavior in mice., 2019.
- 2) 折笠千登世, 加藤陽子, 勝又晴美, 南史朗 : 長期の社会的隔離が性的未経験マウスの養育行動を促進する, 2019.

5 タンパク質間相互作用学講座（社会連携講座）

研究業績

論文等

- 1) Fujiwara K, Tsuji AB, Sudo H, Sugyo A, Akiba H, Iwanari H, Kusano-Arai O, Tsumoto K, Momose T, Hamakubo T, Higashi T : ¹¹¹In-labeled anti-cadherin17 antibody D2101 has potential as a noninvasive imaging probe for diagnosing gastric cancer and lymph-node metastasis. *Annals of nuclear medicine* 2019; 34 (1) :13-23. doi: 10.1007/s12149-019-01408-y.
- 2) Tachibana K, Ishimoto K, Takahashi R, Kadono H, Awaji T, Yuzuriha T, Tanaka T, Hamakubo T, Sakai J, Kodama T, Aoki S, Doi T : Development of a Ligand Screening Tool Using Full-Length Human Peroxisome Proliferator-Activated Receptor-Expressing Cell Lines to Ameliorate Metabolic Syndrome. *Chemical & pharmaceutical bulletin* 2019; 67 (3) :199-202. doi: 10.1248/cpb.c18-00627.
- 3) Akiba H, Takayanagi K, Kusano-Arai O, Iwanari H, Hamakubo T, Tsumoto K : Generation of biparatopic antibody through two step targeting of fragment antibodies on antigen using SpyTag and SpyCatcher. *Biotechnology Reports* 2020; 25:e00418. doi: 10.1016/j.btre.2020.e00418.
- 4) Waku T, Nakamura N: Koji M, Watanabe H, Katoh H, Tatsumi C, Tamura N, Hatanaka A, Hirose S, Katayama H, Tani M, Kubo Y, Hamazaki J, Hamakubo T, Watanabe A, Murata S, Kobayashi A : NRF3-POMP-20S proteasome assembly axis promotes cancer development via ubiquitin-independent proteolysis of p53 and Rb. *Molecular and Cellular Biology* (in press) 2020
- 5) Toshiyuki Kitoh, Tsuyoshi Ohara, Taichiro Muto, Akihisa Okumura, Yusuke Koizumi, Yuka Yamagishi, Hiroshige Mikamo, Reizo Baba, Kenji Daigo, Takao Hamakubo : PENTRAXIN 3 is the Best Biomarker of Kawasaki Disease: Predictor of IVIG Non-Responder and Coronary Artery Lesion and Sequellae. *EUROPEAN JOURNAL OF PEDIATRICS* 2019; 178 (11) :1799.
- 6) Alén F, Gómez-Redondo I, Rivera P, Suárez J, Ramos-Ibeas P, Pericuesta E, Fernández-González R, Perez-Cerezales S, Horiuchi K, Orio L, Rodriguez de, Fonseca F, Gutiérrez-Adán A : Sex-Dimorphic Behavioral Alterations and Altered Neurogenesis in U12 Intron Splicing-Defective *Zrsr1* Mutant Mice. *International journal of molecular sciences* 2019; 20 (14) doi: 10.3390/ijms20143543.
- 7) Hidetsugu Asada, Asuka Inoue, Francois Marie Ngako Kadji, Kunio Hirata, Yuki Shiimura, Dohyun Im, Tatsuro Shimamura, Norimichi Nomura, Hiroko Iwanari, Takao Hamakubo, Osamu Kusano-Arai, Hiromi Hisano, Tomoko Uemura, Chiyo Suno, Junken Aoki, So Iwata : The Crystal Structure of Angiotensin II Type 2 Receptor with Endogenous Peptide Hormone. *Structure* 2019; 28:1-8. doi: 10.1016/j.str.2019.12.003.
- 8) 由井杏奈, 菊池智佳, 郷田秀一郎, 工藤翔太, 秋葉宏樹, 中木戸誠, 黒田大祐, 黒田大祐, 長門石暁, 長門石暁, 新井修, 岩成宏子, 浜窪隆雄, 津本浩平, 津本浩平 : がん転移に関する LI-cadherin 一塩基多型の分子メカニズム. *日本生化学会大会* 2019; 92nd
- 9) 太期 健二 : 自然免疫系で機能する液性パターン認識受容体ペントラキシン3複合体のプロテオミクス. *炎症と免疫* 2020; 28 (1) :15-20.

学会発表

- 1) 太期 健二 : ペントラキシン3 (PTX3) 複合体による自然免疫系の宿主防御機構. 第63回日本医真菌学会総会・学術集会, 2019. 10.

〔4〕 臨床医学

1 総合医療・健康科学分野

研究業績

論文等

- 1) 星野 慎太郎, 川見 典之, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : "Esophageal Rosette" を認めないアカラシア患者の内視鏡所見. *Gastroenterological Endoscopy* 2019; 61 (Suppl.1) :896.
- 2) 吉村 祐亮, 柴山 雅行, 岡村 律子, 塚田 弥生[哲翁], 望月 徹, 岳野 光洋, 松田 潔, 安武 正弘 : 2018-2019 年シーズン流行期の成人ヒトパルボウイルス B19 感染症の臨床的特徴. *日本病院総合診療医学会雑誌* 2019; 15 (6) :582.
- 3) 久金翔, 藤田和恵, 菅野哲平, 高野夏希, 二島駿一, 高橋聡, 田中徹, 柏田建, 渥美健一郎, 武内進, 宮永晃彦, 林宏紀, 齋藤好信, 久保田馨, 木村弘, 清家正博, 弦間昭彦 : EBUS-TBNA 後に気管支内穿破, 内腔にポリープ状の隆起性病変を来した結核性リンパ節炎の 1 例. *気管支学* 2019; 41 (Suppl.) :S255.
- 4) Tomohide Tanabe, Shintaro Hoshino, Noriyuki Kawami, Yoshimasa Hoshikawa, Yuriko Hanada, Nana Takenouchi, Osamu Goto, Mitsuru Kaise, Katsuhiko Iwakiri : Efficacy of long-term maintenance therapy with 10-mg vonoprazan for proton pump inhibitor-resistant reflux esophagitis. *Esophagus : official journal of the Japan Esophageal Society* 2019; 16 (4) :377-381. doi: 10.1007/s10388-019-00676-x.
- 5) 松木 寛, 渥美 健一郎, 芳賀 三四郎, 田中 徹, 清水 理光, 湯浅 瑞希, 二島 駿一, 柏田 建, 田中 庸介, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 木村 弘, 清家 正博, 弦間 昭彦 : HIV-PCP の治療中に CMV 感染症を発症した一例. *日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部学会・日本呼吸器学会関東地方会合同学会プログラム・抄録集* 2020; 177 回・238 回:23.
- 6) Natsue Hosono Honda, Kotaro Aoki, Toshiro Kamisasanuki, Naoto Matsuda, Masako To, Hisao Matsushima, Yoshikazu Ishii, Kosuke Haruki : Isolation of three distinct carbapenemase-producing Gram-negative bacteria from a Vietnamese medical tourist. *Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy* 2019; 25 (10) :811-815. doi: 10.1016/j.jiac.2019.03.020.
- 7) Yagi T, Toyoshima Y, Tokita R, Taguchi Y, Okamoto Y, Takahashi SI, Kato H, Minami S : Low-protein diet enhances adiponectin secretion in rats. *Bioscience, biotechnology, and biochemistry* 2019; 83 (9) :1774-1781. doi: 10.1080/09168451.2019.1621153.
- 8) 肥田 舞, 川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 田邊 智英, 門馬 絵理, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : P-CAB 抵抗性 NERD 患者における逆流 pH 値・到達部位と症状出現の評価. *日本消化管学会雑誌* 2020; 4 (Suppl.) :298.
- 9) 川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 田邊 智英, 肥田 舞, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : P-CAB 抵抗性 NERD 患者における逆流 pH 値・到達部位と症状出現の関係. *日本消化器病学会雑誌* 2019; 116 (臨増大会) :A747.
- 10) 田邊 智英, 北迫 勇一, 星野 慎太郎, 川見 典之, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 抵抗性逆流性食道炎患者における唾液分泌能の検討. *日本食道学会学術集会プログラム・抄録集* 2019; 73 回:397.
- 11) 田邊 智英, 北迫 勇一, 肥田 舞, 星野 慎太郎, 川見 典之, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 抵抗性逆流性食道炎患者における唾液分泌能の検討. *日本消化管学会雑誌* 2020; 4 (Suppl.) :297.
- 12) 田邊 智英, 北迫 勇一, 星野 慎太郎, 川見 典之, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 抵抗性逆流性食道炎患者における唾液分泌量および唾液の酸緩衝能の検討. *日本消化器病学会雑誌* 2019; 116 (臨増大会) :A747.
- 13) 星野 慎太郎, 川見 典之, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 治療が有効な NERD 患者に対するポノプラザン 20mg による on demand 療法の有用性. *日本食道学会学術集会プログラム・抄録集* 2019; 73 回:398.
- 14) 酒瀬川 典子, 八木 孝, 曾我 彬美, 濱口 暁, 梁井 香那子, 石川 真由美, 福田 いずみ, 杉原 仁, 南 史朗 : PSL 内服で低血糖を回避できた高分子 IGF-2 産生腫瘍の一例. *日本内分泌学会雑誌* 2019; 95 (2) :816.
- 15) Mariko Ishibashi, Risa Takahashi, Asako Tsubota, Makoto Sasaki, Hiroshi Handa, Yoichi Imai, Norina Tanaka, Yutaka Tsukune, Sakae Tanosaki, Shigeki Ito, Toshio Asayama, Mika Sunakawa, Yuta Kaito, Yasuko Kuribayashi-Hamada, Asaka Onodera, Keiichi Moriya, Norio Komatsu, Junji Tanaka, Takeshi Odajima, Hiroki Sugimori, Koiti Inokuchi, Hideto Tamura : SLAMF3-Mediated Signaling via ERK Pathway Activation Promotes Aggressive Phenotypic Behaviors in Multiple Myeloma. *Molecular cancer research : MCR* 2020 doi: 10.1158/1541-7786.MCR-19-0391.

- 16) Wakakuri H, Hyodo H, Ohara T, Yasutake M : Serum Hepcidin-25 Levels Reflect the Presence of Bacteremia in Patients with Systemic Inflammatory Response Syndrome. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (2) :91-97. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-204.
- 17) Miwako Omori, Yoshinobu Saito, Yukiko Miura, Toru Tanaka, Takeru Kashiwada, Kenichiro Atsumi, Hiroki Hayashi, Yuji Minegishi, Kazue Fujita, Arata Azuma, Masahiro Seike, Akihiko Gemma : Severe Pneumonitis with Alveolar Hemorrhage Associated with Herbal Medicines: A Case Report. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (5) :296-300. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-504.
- 18) Tsung-Hao Hsieh, Yong Song Liu, Sheng-Fu Liang, Masahiro Yasutake, Akira Ishibashi : The Tent-type Clean Unit System Platform for Air Cleaning and Non-contact Sleep Assessment. *Proceedings of the 2019 3rd International Conference on Computational Biology and Bioinformatics - ICCBB '19* 2019:47-51. doi: 10.1145/3365966.3365979.
- 19) Naoto Tani, Mayumi Ishikawa, Miho Watanabe, Tomoya Ikeda, Takaki Ishikawa : Thyroid-related hormones as potential markers of hypoxia/ischemia. *Human cell* 2020; 33 (3) :545-558. doi: 10.1007/s13577-020-00341-x.
- 20) Noriyuki Kawami, Shintaro Hoshino, Yoshimasa Hoshikawa, Nana Takenouchi, Yuriko Hanada, Tomohide Tanabe, Osamu Goto, Mitsuru Kaise, Katsuhiko Iwakiri : Validity of the Cutoff Value for Integrated Relaxation Pressure Used in the Starlet High-Resolution Manometry System. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2020; 86 (6) :322-326. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-608.
- 21) 松本 道宏, 松川 隼也, 酒井 真志人, 長沼 孝雄, 満島 勝, 赤星 志織, 八木 孝, 矢野 宏行, 春日 雅人 : グルカゴン応答性メチル化酵素 SETX は SIRT1 を介して代謝と肝腫瘍形成を制御する. *糖尿病* 2019; 62 (Suppl.1) :S-191.
- 22) 松川隼也, 酒井真志人, 満島勝, 長沼孝雄, 赤星志織, 八木孝, 矢野宏行, 春日雅人, 松本道宏 : グルカゴン応答性メチル化酵素 SETX は SIRT1 を介して肝臓の代謝と腫瘍形成を制御する. *日本糖尿病・肥満動物学会年次学術集会プログラム・講演抄録集* 2019; 33rd
- 23) 松川 隼也, 酒井 真志人, 長沼 孝雄, 赤星 志織, 満島 勝, 八木 孝, 矢野 宏行, 春日 雅人, 松本 道宏 : グルカゴン応答性メチル化酵素 SETX を介した肝臓の糖代謝・発癌の制御機構の解明. *日本臨床分子医学会学術総会プログラム・抄録集* 2019; 56 回:49.
- 24) 岡村 賢, 野呂 林太郎, 藤田 和恵, 呉 壮香, 功刀 しのぶ, 高野 仁司, 齋藤 好信, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : プロテイン C 欠乏症による深部静脈血栓症に、侵襲性肺アスペルギルス症による急性呼吸不全呼吸不全を併発した 1 例. *日本内科学会関東地方会* 2019; 650 回:39.
- 25) 曾我 彬美, 梁井 香那子, 八木 孝, 石川 真由美, 南 史朗, 横山 雄章, 岡本 淳一, 窪倉 浩俊 : ベムプロリズマブ中止後に ACTH 単独欠損症を発症した一例. *日本内分泌学会雑誌* 2019; 95 (2) :778.
- 26) 松田 直人, 渡邊 浩祥, 飯田 俊, 荻野 幸伴, 田村 肇, 宮澤 真理恵, 利光 美保, 李 はい来, 朝日 公一, 安武 正弘, 齋藤 登 : 不明熱で紹介された汎血球減少と急性腎機能障害を伴う骨髄サルコイドーシスの一例. *日本病院総合診療医学会雑誌* 2019; 15 (6) :606.
- 27) 八木 孝, 小林 和陽, 福田 いずみ, 濱口 暁, 曾我 彬美, 石川 真由美, 清水 楓由音, 福永 ヒトミ, 金子 佳世, 杉原 仁, 南 史朗 : 低血糖に対する高濃度糖液の投与ルートとして PICC が有用であった高分子 IGF-II 産生腫瘍の一例. *日本病態栄養学会誌* 2020; 23 (Suppl.) :S-101.
- 28) 門馬 絵理, 川見 典之, 星野 慎太郎, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 内視鏡下胃機能検査法の開発、胃内圧、CO2 注入量と上腹部症状、おくびとの関連. *Gastroenterological Endoscopy* 2019; 61 (Suppl.2) :2166.
- 29) 八木 孝, 曾我 彬美, 大槻 昌子, 梁井 香那子, 石川 真由美, 杉原 仁, 南 史朗 : 副腎性クッシング症候群術後に ACTH 単独欠損症が判明した一例. *日本内分泌学会雑誌* 2019; 95 (2) :774.
- 30) 星野 慎太郎, 川見 典之, 肥田 舞, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 夜間睡眠時の胃食道逆流と睡眠深度. *日本消化器病学会雑誌* 2019; 116 (臨増大会) :A746.
- 31) 星野 慎太郎, 川見 典之, 門馬 絵里, 肥田 舞, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 夜間睡眠時の胃食道逆流と睡眠深度の関係. *日本消化管学会雑誌* 2020; 4 (Suppl.) :298.
- 32) 小原 俊彦, 若栗 大朗, 山方 俊弘, 上原 和幸, 出川 龍哉, 須崎 真, 小野寺 直子, 松田 直人, 兵働 英也, 川井 真, 安武 正弘 : 大病院総合診療科にて病院総合診療専門医の育成は可能か? 本院および全国の大学の現状をふまえて. *日本病院総合診療医学会雑誌* 2019; 15 (6) :585.

- 33) 川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 田邊 智英, 肥田 舞, 門馬 絵理, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 好酸球性消化管疾患の診断と治療の現状 好酸球性食道炎及び好酸球性食道筋炎患者の食道運動機能を含めた臨床的特徴. 日本消化管学会雑誌 2020; 4 (Suppl.) :157.
- 34) 肥田 舞, 川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 田邊 智英, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 好酸球性食道炎患者に対する high resolution manometry を用いた食道運動機能評価. 日本消化器病学会雑誌 2019; 116 (臨増大会) :A748.
- 35) 出川 龍哉, 松田 直人, 小原 俊彦, 安武 正弘: 左大腿部痛を主訴に当科受診に至った化膿性仙腸関節炎, 腸骨筋・腸腰筋膿瘍の 1 例. 日本感染症学会東日本地方会学術集会・日本化学療法学会東日本支部総会合同学会プログラム・抄録集 2019; 68th-66th
- 36) 出川 龍哉, 松田 直人, 小原 俊彦, 安武 正弘: 左大腿部痛を主訴に当科受診に至った化膿性仙腸関節炎, 腸骨筋・腸腰筋膿瘍の 1 例. 感染症学雑誌 2020; 94 (2) :286.
- 37) 北川 真吾, 林 宏紀, 高野 夏希, 二島 駿一, 久金 翔, 高橋 聡, 田中 徹, 柏田 建, 菅野 哲平, 渥美 健一郎, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 木村 弘, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦: 当院における気管支サーモプラスティの使用経験. 気管支学 2019; 41 (Suppl.) :S349.
- 38) 北川 真吾, 林 宏紀, 高野 夏希, 二島 駿一, 久金 翔, 高橋 聡, 田中 徹, 柏田 建, 菅野 哲平, 渥美 健一郎, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 木村 弘, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦: 当院における気管支サーモプラスティの使用経験. 第 42 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2019
- 39) 松田 直人, 田村 肇, 桐木 園子, 利光 美保, 宮澤 真理恵, 李 バイ来, 朝日 公一, 齋藤 登: 感情認識 AI『Affectiva』を利用した医師の視線および表情解析. 日本病院総合診療医学会雑誌 2019; 15 (3) :197.
- 40) 石川 真由美, 豊村 順子, 田口 雄亮, 八木 孝, 中田 朋子, 豊島 由香, 杉原 仁, 南 史朗: 成長ホルモン単独欠損ラットにおける XBP-1 の発現と膵島の形態異常について. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (1) :491.
- 41) 石川 真由美, 八木 孝, 曾我 彬美, 杉原 仁, 南 史朗: 成長ホルモン補充療法の中断後に耐糖能が増悪した一症例. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (2) :720.
- 42) 寺嶋 勇人, 曾我 彬美, 成田 宏介, 八木 孝, 石川 真由美: 抗 PD-1 抗体投与中に劇症 1 型糖尿病を発症した 1 例. 日本内科学会関東地方会 2019; 656 回:42.
- 43) 千田 絵里佳, 渥美 健一郎, 林 杏奈, 清水 理光, 二島 駿一, 田中 徹, 柏田 建, 林 宏紀, 藤田 和恵, 寺崎 泰弘, 櫻井 侑美, 谷口 泰之, 齋藤 好信, 木村 弘, 清家 正博, 弦間 昭彦: 早期治療介入をするも難治性末梢神経障害と大腸潰瘍を来した EGPA の 1 例. 日本結核病学会関東支部学会・日本呼吸器学会関東地方会合同学会プログラム・抄録集 2019; 176 回・236 回:27.
- 44) 八木 孝, 横山 雄章, 塩田 美桜, 水谷 聡, 石川 真由美, 南 史朗: 汎下垂体機能低下症を合併した両側副腎原発悪性リンパ腫 (DLBCL) の一例. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (1) :375.
- 45) 酒巻 雅典, 三品 雅洋, 八木 孝, 鈴木 静香, 畠 星羅, 阿部 新, 水越 元気, 石川 真由美, 木村 和美: 糖質・鉍質コルチコイドが奏功した、治療可能な認知症についての検討. 臨床神経学 2019; 59 (Suppl.) :S268.
- 46) 長沼 孝雄, 松川 隼也, 酒井 真志人, 満島 勝, 矢野 宏行, 八木 孝, 春日 雅人, 松本 道宏: 絶食誘導性長鎖ノンコーディング RNA の代謝調節における機能的役割の解明. 糖尿病 2019; 62 (Suppl.1) :S-332.
- 47) 小林 倫子, 岡本 淳一, 石川 真由美, 許田 典男, 大橋 隆治, 窪倉 浩俊, 白田 実男: 縦隔腫瘍に SIADH を偶然併発した 1 例. 気管支学 2019; 41 (5) :529.
- 48) 高橋 應仁, 若栗 大朗, 出川 龍哉, 須崎 真, 川井 真, 安武 正弘, 青木 悠人, 清水 哲也, 吉岡 正人, 吉田 寛: 腰椎化膿性脊椎炎から 2 次性胆嚢炎を来した 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :249.
- 49) 若栗 大朗, 出川 龍哉, 三枝 太郎, 須崎 真, 桐木 園子, 小野寺 麻加, 小野寺 直子, 兵働 英也, 小原 俊彦, 川井 真, 安武 正弘: 菌血症患者における血清ヘプシジン-25 値と血清鉄動態の経時的変化の解析. 日本病院総合診療医学会雑誌 2019; 15 (3) :244.
- 50) 出川 龍哉, 三枝 太郎, 須崎 真, 若栗 大朗, 桐木 園子, 小野寺 麻加, 兵働 英也, 小原 俊彦, 川井 真, 安武 正弘: 適切な抗菌薬治療後も再発を認めた腸チフスの 1 例. 日本病院総合診療医学会雑誌 2019; 15 (3) :205.
- 51) 石川 真由美, 八木 孝, 弘世 貴久, 杉原 仁, 南 史朗: 長期の成長ホルモン補充療法による糖代謝への影響. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (Suppl.Update) :15-17.
- 52) 塚田 弥生[哲翁], 安武 正弘: 首都圏における高齢者心不全患者の病診連携について 地域医療機関のアンケート結果から. 日本病院総合

診療医学会雑誌 2020; 16 (臨増 1) :51.

- 53) 淀川 顕司, 小原 俊彦, 八島 正明, 清水 渉 : 高分解能心電図を用いた心サルコイドーシスの不整脈基質評価法 ウェーブレット解析を用いた検討. 心電図 2020; 40 (Suppl.2) :S-50.
- 54) 八木 孝, 木全 亮二, 富田 祐司, 望月 徹, 佐々木 佳枝, 金子 佳世, 福永 ヒトミ, 石川 真由美, 杉原 仁, 南 史朗 : 高血糖緊急症・敗血症の治療後に前立腺膿瘍を呈した2症例. 糖尿病 2019; 62 (Suppl.1) :S-322.
- 55) 肥田 舞, 星野 慎太郎, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 川見 典之, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 高齢者のPPI 抵抗性逆流性食道炎患者の臨床的特徴. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 73 回:396.

学会発表

- 1) 吉村 祐亮, 柴山 雅行, 岡村 律子, 塚田 弥生[哲翁], 望月 徹, 岳野 光洋, 松田 潔, 安武 正弘 : 2018-2019 年シーズン流行期の成人ヒトパルボウイルス B19 感染症の臨床的特徴. 日本病院総合診療医学会雑誌, 2019. 11.
- 2) 松田 直人, 田村 肇, 桐木 園子, 利光 美保, 宮澤 真理恵, 李 バイ来, 朝日 公一, 齋藤 登 : 感情認識 AI『Affectiva』を利用した医師の視線および表情解析. 日本病院総合診療医学会雑誌, 2019. 5.
- 3) 塚田 弥生[哲翁], 安武 正弘 : 首都圏における高齢者心不全患者の病診連携について 地域医療機関のアンケート結果から. 日本病院総合診療医学会雑誌, 2020. 2.

2 循環器内科学分野

研究業績

論文等

- 1) Hitomi Fujii, Eitaro Kodani, Tomohiro Kaneko, Hiroyuki Nakamura, Hajime Sasabe, Yutaka Tamura : "Yubi-wakka" (Finger-Ring) Test: A Tool to Detect Prefrailty in Elderly Populations, a Pilot Study. *Journal of clinical medicine research* 2019; 11 (9) :623-628. doi: 10.14740/jocmr3917.
- 2) Towbin JA, McKenna WJ, Abrams DJ, Ackerman MJ, Calkins H, Darrieux FCC, Daubert JP, de Chillou C, DePasquale EC, Desai MY, Estes NAM, Hua W, Indik JH, Ingles J, James CA, John RM, Judge DP, Keegan R, Krahn AD, Link MS, Marcus FI, McLeod CJ, Mestroni L, Priori SG, Saffitz JE, Sanatani S, Shimizu W, van Tintelen JP, Wilde AAM, Zareba W : 2019 HRS expert consensus statement on evaluation, risk stratification, and management of arrhythmogenic cardiomyopathy. *Heart rhythm* 2019; 16 (11) :e301-e372. doi: 10.1016/j.hrthm.2019.05.007.
- 3) Towbin JA, McKenna WJ, Abrams DJ, Ackerman MJ, Calkins H, Darrieux FCC, Daubert JP, de Chillou C, DePasquale EC, Desai MY, Estes NAM, Hua W, Indik JH, Ingles J, James CA, John RM, Judge DP, Keegan R, Krahn AD, Link MS, Marcus FI, McLeod CJ, Mestroni L, Priori SG, Saffitz JE, Sanatani S, Shimizu W, van Tintelen JP, Wilde AAM, Zareba W : 2019 HRS expert consensus statement on evaluation, risk stratification, and management of arrhythmogenic cardiomyopathy: Executive summary. *Heart rhythm* 2019; 16 (11) :e373-e407. doi: 10.1016/j.hrthm.2019.09.019.
- 4) 福岡 長知, 高圓 雅博, 時田 美和, 清水 渉 : 2次性高血圧症の診断と治療 冠動脈疾患における原発性アルドステロン症のスクリーニングと MR 活性. *日本心臓病学会学術集会抄録* 2019; 67 回:S-2.
- 5) 横山 眞美, 佐藤 杏, 長野 陽子, 中原 慶, 中村 利枝, 佐藤 寛之, 小伊藤 保雄, 金子 朋広, 小谷 英太郎 : 3D-RV Tracking 法を用いた右室機能評価の試み. *超音波検査技術* 2019; 44 (Suppl.) :S161. doi: 10.11272/jssabst.44.0_S161_2.
- 6) 岩田 琴美, 関根 鉄朗, 安藤 高浩, 汲田 伸一郎, 井守 洋一, 松田 淳也, 高野 仁司 : 4D Flow MRI 撮像の際に取得した magnitude imaging の dephasing を利用した乱流運動エネルギー測定 閉塞性肥大型心筋症患者における臨床応用. *日本医科大学医学会雑誌* 2019; 15 (4) :258-259.
- 7) 松田 淳也, 高野 仁司, 関根 鉄郎, 三軒 豪仁, 久保田 芳明, 井守 洋一, 中田 淳, 西城 由之, 宮地 秀樹, 太良 修平, 時田 祐吉, 山本 剛, 汲田 伸一郎, 清水 渉 : 4D flow MRI を用いた閉塞性肥大型心筋症に対する血流解析. *日本心臓病学会学術集会抄録* 2019; 67 回:O-019.
- 8) Tazawa H, Suzuki T, Komo T, Kubota H, Tahara S, Sada H, Hadano N, Shimizu W, Ishiyama K, Onoe T, Sudo T, Shimizu Y, Tashiro H : A Case of Advanced Gastric Cancer with Peritoneal Metastasis Treated Successfully with Nivolumab. *Case reports in oncology* 2019; 12 (2) :523-528. doi: 10.1159/000501717.
- 9) Inoue M, Tanemura M, Yuba T, Miyamoto T, Yamaguchi M, Irei T, Seo S, Misumi T, Shimizu W, Suzuki T, Onoe T, Sudo T, Shimizu Y, Hinoi T, Tashiro H : A case of hepatic pseudolymphoma in a patient with primary biliary cirrhosis. *Clinical case reports* 2019; 7 (10) :1863-1869. doi: 10.1002/ccr3.2378.
- 10) Sairaku A, Matsumoto T, Kinoshita H, Matsumura H, Oguri N, Morishima N : A mimic of tachycardia-bradycardia syndrome in a patient with long-standing persistent atrial fibrillation. *Clinical case reports* 2019; 7 (4) :661-664. doi: 10.1002/ccr3.2058.
- 11) Fumitaka Okajima, Osamu Kurihara, Masamichi Takano : Acute coronary syndrome and postprandial delayed hyperchylomicronemia. *Aging* 2019; 11 (9) :2549-2550. doi: 10.18632/aging.101969.
- 12) Taishi Okuno, Jiro Aoki, Kengo Tanabe, Koichi Nakao, Yukio Ozaki, Kazuo Kimura, Junya Ako, Teruo Noguchi, Satoshi Yasuda, Satoru Suwa, Kazuteru Fujimoto, Yasuharu Nakama, Takashi Morita, Wataru Shimizu, Yoshihiko Saito, Atsushi Hirohata, Yasuhiro Morita, Teruo Inoue, Atsunori Okamura, Toshiaki Mano, Kazuhito Hirata, Yoshisato Shibata, Mafumi Owa, Kenichi Tsujita, Hiroshi Funayama, Nobuaki Kokubu, Ken Kozuma, Shiro Uemura, Tetsuya Tobaru, Keiji Saku, Shigeru Ohshima, Kunihiro

- Nishimura, Yoshihiro Miyamoto, Hisao Ogawa, Masaharu Ishihara : Admission Heart Rate Is a Determinant of Effectiveness of Beta-Blockers in Acute Myocardial Infarction Patients. *Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society* 2019; 83 (5) :1054-1063. doi: 10.1253/circj.CJ-18-0995.
- 13) Hyung Oh Kim, Chong-Jin Kim, Osamu Kurihara, Vikas Thondapu, Michele Russo, Erika Yamamoto, Tomoyo Sugiyama, Francesco Fracassi, Hang Lee, Taishi Yonetsu, Ik-Kyung Jang : Angiographic features of patients with coronary plaque erosion. *International journal of cardiology* 2019; 288:12-16. doi: 10.1016/j.ijcard.2019.03.039.
 - 14) Miyoshi T, Maeno Y, Hamasaki T, Inamura N, Yasukochi S, Kawataki M, Horigome H, Yoda H, Taketazu M, Nii M, Hagiwara A, Kato H, Shimizu W, Shiraishi I, Sakaguchi H, Ueda K, Katsuragi S, Yamamoto H, Sago H, Ikeda T, Japan Fetal Arrhythmia Group : Antenatal Therapy for Fetal Supraventricular Tachyarrhythmias: Multicenter Trial. *Journal of the American College of Cardiology* 2019; 74 (7) :874-885. doi: 10.1016/j.jacc.2019.06.024.
 - 15) Taishi Okuno, Jiro Aoki, Kengo Tanabe, Koichi Nakao, Yukio Ozaki, Kazuo Kimura, Junya Ako, Teruo Noguchi, Satoshi Yasuda, Satoru Suwa, Kazuteru Fujimoto, Yasuharu Nakama, Takashi Morita, Wataru Shimizu, Yoshihiko Saito, Atsushi Hirohata, Yasuhiro Morita, Teruo Inoue, Atsunori Okamura, Toshiaki Mano, Kazuhito Hirata, Yoshisato Shibata, Mafumi Owa, Kenichi Tsujita, Hiroshi Funayama, Nobuaki Kokubu, Ken Kozuma, Shiro Uemura, Tetsuya Tobaru, Keiji Saku, Shigeru Ohshima, Kunihiko Nishimura, Yoshihiro Miyamoto, Hisao Ogawa, Masaharu Ishihara : Association of onset-season with characteristics and long-term outcomes in acute myocardial infarction patients: results from the Japanese registry of acute myocardial infarction diagnosed by universal definition (J-MINUET) substudy. *Heart and vessels* 2019; 34 (12) :1899-1908. doi: 10.1007/s00380-019-01426-w.
 - 16) Yukihiko Koretsune, Takeshi Yamashita, Masaharu Akao, Hirotsugu Atarashi, Takanori Ikeda, Ken Okumura, Wataru Shimizu, Hiroyuki Tsutsui, Kazunori Toyoda, Atsushi Hirayama, Masahiro Yasaka, Takenori Yamaguchi, Satoshi Teramukai, Tetsuya Kimura, Jumpei Kaburagi, Atsushi Takita, Hiroshi Inoue : Baseline Demographics and Clinical Characteristics in the All Nippon AF in the Elderly (ANAFIE) Registry. *Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society* 2019; 83 (7) :1538-1545. doi: 10.1253/circj.CJ-19-0094.
 - 17) Yasuyuki Shiraishi, Shun Kohsaka, Toshiomi Katsuki, Kazumasa Harada, Tetsuro Miyazaki, Takamichi Miyamoto, Kenichi Matsushita, Kiyoshi Iida, Makoto Takei, Yoshiya Yamamoto, Akito Shindo, Daisuke Kitano, Yuji Nagatomo, Takahiro Jimba, Takeshi Yamamoto, Ken Nagao, Morimasa Takayama : Benefit and harm of intravenous vasodilators across the clinical profile spectrum in acute cardiogenic pulmonary oedema patients. *Eur Heart J Acute Cardiovasc Care* 2020; 9 (5) :448-458. doi: 10.1177/2048872619891075.
 - 18) Imori Y, Takano H, Mase H, Matsuda J, Sangen H, Izumi Y, Tokita Y, Yamamoto T, Shimizu W : Bisoprolol transdermal patch for perioperative care of non-cardiac surgery in patients with hypertrophic obstructive cardiomyopathy. *BMC cardiovascular disorders* 2019; 19 (1) :316. doi: 10.1186/s12872-019-01274-6.
 - 19) 中野 由紀子, 廣延 直也, 清水 渉, 高木 雅彦, 森田 宏, 草野 研吾, 相庭 武司, 大野 聖子, 鎌倉 令, 堀江 稔, 木原 康樹 : Brugada 症候群の新知見 Brugada 症候群の心臓突然死リスク予測モデルを用いたリスク階層化. *日本心臓病学会学術集会抄録* 2019; 67 回:S11-2.
 - 20) Hironobe N, Sairaku A, Nakano Y, Tokuyama T, Okamura S, Okubo Y, Shimizu W, Kihara Y : Cardiac electrophysiological characteristics of silent paroxysmal atrial fibrillation: What causes asymptomaticity?. *Journal of cardiovascular electrophysiology* 2019; 30 (12) :2716-2723. doi: 10.1111/jce.14216.
 - 21) Yuki Komatsu, Méléze Hocini, Akihiko Nogami, Philippe Maury, Petr Peichl, Yu-Ki Iwasaki, Keita Masuda, Arnaud Denis, Quentin Voglimacci-Stephanopoli, Dan Wichterle, Mitsuharu Kawamura, Seiji Fukamizu, Yasuhiro Yokoyama, Yasushi Mukai, Tomoo Harada, Kentaro Yoshida, Ryobun Yasuoka, Masayuki Igawa, Koji Ohira, Wataru Shimizu, Kazutaka Aonuma, Josef Kautzner, Michel Haïssaguerre, Masaki Ieda : Catheter Ablation of Refractory Ventricular Fibrillation Storm After Myocardial Infarction. *Circulation* 2019; 139 (20) :2315-2325. doi: 10.1161/CIRCULATIONAHA.118.037997.
 - 22) Michele Russo, Hyung Oh Kim, Osamu Kurihara, Makoto Araki, Hiroki Shinohara, Vikas Thondapu, Taishi Yonetsu, Tsunenari Soeda, Yoshiyasu Minami, Takumi Higuma, Hang Lee, Francesco Fracassi, Rocco Vergallo, Giampaolo Niccoli, Filippo Crea, Valentin Fuster, Ik-Kyung Jang : Characteristics of non-culprit plaques in acute coronary syndrome patients with layered culprit plaque.

- European heart journal cardiovascular Imaging 2019 doi: 10.1093/ehjci/jez308.
- 23) Akihiro Shirakabe, Kuniya Asai, Toshiaki Otsuka, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Masato Matsushita, Yusaku Shibata, Hiroki Goda, Shota Shigihara, Kazuhiro Asano, Kazutaka Kiuchi, Kenichi Tani, Tatsuhiro Nishiwaki, Noritake Hata, Wataru Shimizu : Clinical Approach to Shortening Length of Hospital Stay in Elderly Patients With Acute Heart Failure Requiring Intensive Care. *Circulation reports* 2020; 2 (2) :95-103. doi: 10.1253/circrep.CR-19-0132.
 - 24) Hiroaki Shiraki, Manabu Kasamoto, Masamichi Yasutomi, Shuichiro Kaji, Koichi Akutsu, Yutaka Furukawa, Wataru Shimizu, Nobutaka Inoue : Clinical Features of Spontaneous Isolated Dissection of Abdominal Visceral Arteries. *Journal of clinical medicine research* 2020; 12 (1) :13-17. doi: 10.14740/jocmr3916.
 - 25) Daigo Chinen, Toshiyuki Nagai, Kazunori Uemura, Yukio Aikawa, Tetsufumi Motokawa, Yasuhide Asaumi, Takeshi Ogo, Hideaki Kanzaki, Teruo Noguchi, Toshihisa Anzai, Wataru Shimizu, Hisao Ogawa, Masaru Sugimachi, Satoshi Yasuda : Clinical Usefulness of an Echo-Doppler Model in Predicting Elevated Pulmonary Capillary Wedge Pressure in Patients With Heart Failure. *The American journal of cardiology* 2019; 123 (9) :1464-1469. doi: 10.1016/j.amjcard.2019.01.053.
 - 26) Erika Yamamoto, Taishi Yonetsu, Tsunekazu Kakuta, Tsunenari Soeda, Yoshihiko Saito, Bryan P. Yan, Osamu Kurihara, Masamichi Takano, Giampaolo Niccoli, Takumi Higuma, Shigeki Kimura, Yoshiyasu Minami, Junya Ako, Tom Adriaenssens, Niklas F. Boeder, Holger M. Nef, Francesco Fracassi, Tomoyo Sugiyama, Hang Lee, Filippo Crea, Takeshi Kimura, James G. Fujimoto, Valentin Fuster, Ik - Kyung Jang : Clinical and laboratory predictors for plaque erosion in patients with acute coronary syndromes. *Journal of the American Heart Association* 2019; 8 (21) :e012322. doi: 10.1161/jaha.119.012322.
 - 27) Ichiro Sakuma, Shinichiro Uchiyama, Hirotosugu Atarashi, Hiroshi Inoue, Takanari Kitazono, Takeshi Yamashita, Wataru Shimizu, Takanori Ikeda, Masahiro Kamouchi, Koichi Kaikita, Koji Fukuda, Hideki Origasa, Hiroaki Shimokawa : Clinical risk factors of stroke and major bleeding in patients with non-valvular atrial fibrillation under rivaroxaban: the EXPAND Study sub-analysis. *Heart and vessels* 2019; 34 (11) :1839-1851. doi: 10.1007/s00380-019-01425-x.
 - 28) Tsunenori Saito, Kuniya Asai, Naoko Saito-Sato, Kosuke Mozawa, Eiichiro Oka, Shigeru Sato, Kyoichi Mizuno, Roberta A. Gottlieb, Wataru Shimizu : Comparison Between Ultrastructural Features and Causative Genes of Dilated Cardiomyopathy Detected by Whole Exome Sequencing. *CIRCULATION* 2019; 140
 - 29) Shibuya J, Kobayashi N, Asai K, Tsurumi M, Shibata Y, Uchiyama S, Okazaki H, Goda H, Tani K, Shirakabe A, Takano M, Shimizu W : Comparison of Coronary Culprit Lesion Morphology Determined by Optical Coherence Tomography and Relation to Outcomes in Patients Diagnosed with Acute Coronary Syndrome During Winter -vs- Other Seasons. *The American journal of cardiology* 2019; 124 (1) :31-38. doi: 10.1016/j.amjcard.2019.03.045.
 - 30) Vikas Thondapu, Osamu Kurihara, Taishi Yonetsu, Michele Russo, Hyung Oh Kim, Hang Lee, Tsunenari Soeda, Yoshiyasu Minami, Ik-Kyung Jang : Comparison of Rosuvastatin Versus Atorvastatin for Coronary Plaque Stabilization. *The American journal of cardiology* 2019; 123 (10) :1565-1571. doi: 10.1016/j.amjcard.2019.02.019.
 - 31) Osamu Kurihara, Vikas Thondapu, Hyung Oh Kim, Michele Russo, Tomoyo Sugiyama, Erika Yamamoto, Francesco Fracassi, Yoshiyasu Minami, Zhao Wang, Hang Lee, Taishi Yonetsu, Ik-Kyung Jang : Comparison of Vascular Response to Statin Therapy in Patients With Versus Without Diabetes Mellitus. *The American journal of cardiology* 2019; 123 (10) :1559-1564. doi: 10.1016/j.amjcard.2019.02.020.
 - 32) Akihiro Nakajima, Makoto Araki, Osamu Kurihara, Yoshiyasu Minami, Tsunenari Soeda, Taishi Yonetsu, Filippo Crea, Masamichi Takano, Takumi Higuma, Tsunekazu Kakuta, Tom Adriaenssens, Hang Lee, Sunao Nakamura, Ik-Kyung Jang : Comparison of post-stent optical coherence tomography findings among three subtypes of calcified culprit plaques in patients with acute coronary syndrome. *Catheterization and cardiovascular interventions : official journal of the Society for Cardiac Angiography & Interventions* 2020 doi: 10.1002/ccd.28847.
 - 33) Yasuo Okumura, Koichi Nagashima, Masaru Arai, Ryuta Watanabe, Katsuaki Yokoyama, Naoya Matsumoto, Takayuki Otsuka, Shinya Suzuki, Akio Hirata, Masato Murakami, Mitsuru Takami, Masaomi Kimura, Hidehira Fukaya, Shiro Nakahara, Takeshi Kato, Wataru Shimizu, Yu-Ki Iwasaki, Hiroshi Hayashi, Tomoo Harada, Ikutaro Nakajima, Ken Okumura, Junjiroh Koyama, Michifumi

- Tokuda, Teiichi Yamane, Yukihiro Momiyama, Kojiro Tanimoto, Kyoko Soejima, Noriko Nonoguchi, Koichiro Ejima, Nobuhisa Hagiwara, Masahide Harada, Kazumasa Sonoda, Masaru Inoue, Koji Kumagai, Hidemori Hayashi, Kazuhiro Satomi, Yoshinao Yazaki, Yuji Watari : Current Status and Clinical Outcomes of Oral Anticoagulant Discontinuation After Ablation for Atrial Fibrillation in Japan - Findings From the AF Frontier Ablation Registry. *Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society* 2019; 83 (12) :2418-2427. doi: 10.1253/circj.CJ-19-0602.
- 34) Biolè C, Huczek Z, Nuñez-Gil I, Boccuzzi G, Autelli M, Montefusco A, Trabattini D, Ryan N, Venuti G, Imori Y, Takano H, Matsuda J, Shimizu W, Muscoli S, Montabone A, Wojakowski W, Rognoni A, Helft G, Gallo D, Parma R, De Luca L, Figini F, Mitomo S, Pennone M, Mattesini A, Templin C, Quadri G, Waña W, Cerrato E, Smolka G, Protasiewicz M, Kuliczowski W, Rolfo C, Cortese B, Capodanno D, Chieffo A, Morbiducci U, Iannaccone M, Gili S, di Mario C, D'Amico M, Romeo F, Lüscher TF, Sheiban I, Escaned J, Varbella F, D'Ascenzo F : Daily risk of adverse outcomes in patients undergoing complex lesions revascularization: A subgroup analysis from the RAIN-CARDIOGROUP VII study (veRy thin stents for patients with left mAIn or bifurcation in real life). *International journal of cardiology* 2019; 290:64-69. doi: 10.1016/j.ijcard.2019.03.038.
- 35) Yuki Sakamoto, Yasuhiro Nishiyama, Yu-Ki Iwasaki, Hiroyuki Daida, Kazunori Toyoda, Kazuo Kitagawa, Ken Okumura, Kengo Kusano, Nobuhisa Hagiwara, Shigeru Fujimoto, Susumu Miyamoto, Toshiaki Otsuka, Yasuyuki Iguchi, Takuya Kanamaru, Teppei Yamamoto, Jumpei Kaburagi, Tetsuya Kimura, Takuyuki Matsumoto, Kazumi Kimura, Wataru Shimizu : Design and rationale of the STroke secondary prevention with catheter ABLation and EDoxaban clinical trial in patients with non-valvular atrial fibrillation: The STABLED study. *Journal of cardiology* 2019; 74 (6) :539-542. doi: 10.1016/j.jjcc.2019.06.002.
- 36) Uetake S, Maruyama M, Mitsuishi T, Takahashi K, Miyauchi Y, Seino Y, Shimizu W : Diastolic wall strain predicts progression from paroxysmal to persistent or permanent atrial fibrillation in structurally normal hearts. *Journal of cardiology* 2019; 74 (4) :339-346. doi: 10.1016/j.jjcc.2019.03.016.
- 37) Ando M, Inden Y, Yoshida Y, Sairaku A, Yanagisawa S, Suzuki H, Watanabe R, Takenaka M, Maeda M, Murohara T : Differences in prothrombotic response between the uninterrupted and interrupted apixaban therapies in patients undergoing cryoballoon ablation for paroxysmal atrial fibrillation: a randomized controlled study. *Heart and vessels* 2019; 34 (9) :1533-1541. doi: 10.1007/s00380-019-01370-9.
- 38) Cameron A Best, Jason M Szafron, Kevin A Rocco, Jacob Zbinden, Ethan W Dean, Mark W Maxfield, Hirotosugu Kurobe, Shuhei Tara, Paul S Bagi, Brooks V Udelsman, Ramak Khosravi, Tai Yi, Toshiharu Shinoka, Jay D Humphrey, Christopher K Breuer : Differential outcomes of venous and arterial tissue engineered vascular grafts highlight the importance of coupling long-term implantation studies with computational modeling. *Acta biomaterialia* 2019; 94:183-194. doi: 10.1016/j.actbio.2019.05.063.
- 39) Kosuke Mozawa, Tsunenori Saito, Eiichiro Oka, Naoko Saito-Sato, Eitaro Kodani, Yu-ki Iwasaki, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Dilated Cardiomyopathy Includes Arrhythmogenic Cardiomyopathy as a Type With Severe Myocardial Degeneration. *CIRCULATION* 2019; 140
- 40) 松田 淳也, 高野 仁司, 井守 洋一, 時田 祐吉, 三軒 豪仁, 福泉 偉, 野間 さつき, 久保田 芳明, 西城 由之, 中田 淳, 宮地 秀樹, 太良 修平, 細川 雄亮, 山本 剛, 清水 渉 : Double balloon technique により標的中隔心筋を分離させ経皮の中隔心筋焼灼術を行い得た 3 例. *日本心血管インターベンション治療学会抄録集* 2019; 28 回:[MO34-002].
- 41) Shoko Nakagawa, Takeshi Aiba, Kenzaburo Nakajima, Naoya Kataoka, Tsukasa Kamakura, Mitsuru Wada, Kohei Ishibashi, Kenichiro Yamagata, Yuko Inoue, Koji Miyamoto, Satoshi Nagase, Takashi Noda, Yoshihiro Miyamoto, Satoshi Yasuda, Wataru Shimizu, Kengo Kusano : Earthquake-Induced Torsade de Pointes in Long-QT Syndrome. *CIRCULATION JOURNAL* 2019; 83 (9) :1968-+. doi: 10.1253/circj.CJ-18-1306.
- 42) Ikeda T, Shiga T, Shimizu W, Kinugawa K, Sakamoto A, Nagai R, Daimon T, Oki K, Okamoto H, Yamashita T, J-L, II Study Investigators : Efficacy and Safety of the Ultra-Short-Acting β 1-Selective Blocker Landiolol in Patients With Recurrent Hemodynamically Unstable Ventricular Tachyarrhythmias - Outcomes of J-Land II Study. *Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society* 2019; 83 (7) :1456-1462. doi: 10.1253/circj.CJ-18-1361.
- 43) Ito-Hagiwara K, Iwasaki YK, Hayashi M, Maru Y, Fujimoto Y, Oka E, Takahashi K, Hayashi H, Yamamoto T, Yodogawa K,

- Miyauchi Y, Shimizu W : Electrocardiographic characteristics in the patients with a persistent left superior vena cava. *Heart and vessels* 2019; 34 (4) :650-657. doi: 10.1007/s00380-018-1278-2.
- 44) Tadashi Ashida, Tsukasa Yagi, Ken Nagao, Norihiro Kuroki, Tadateru Takayama, Yusuke Hosokawa, Jun Nakata, Masanari Kuwabara, Takeshi Yamamoto, Morimasa Takayama : First-Line Vasopressor Agent for Cardiogenic Shock Due to Acute Myocardial Infarction: Results From Tokyo CCU Network Registry. *CIRCULATION* 2019; 140
- 45) Iwata K, Matsuda J, Imori Y, Sekine T, Takano H : Four-dimensional flow magnetic resonance imaging reveals the reduction in turbulent kinetic energy after percutaneous transluminal septal myocardial ablation in hypertrophic obstructive cardiomyopathy. *European heart journal* 2019; 41 (14) :1454. doi: 10.1093/eurheartj/ehz618.
- 46) Iwata K, Matsuda J, Imori Y, Sekine T, Takano H, Co : Four-dimensional Flow MRI reveals the reduction in turbulent kinetic energy after percutaneous transluminal septal myocardial ablation in hypertrophic obstructive cardiomyopathy. *European Heart Journal* 2019
- 47) Hiroyuki Okura, Yoshihiko Saito, Tsunenari Soeda, Koichi Nakao, Yukio Ozaki, Kazuo Kimura, Junya Ako, Teruo Noguchi, Satoshi Yasuda, Satoru Suwa, Kazuteru Fujimoto, Yasuharu Nakama, Takashi Morita, Wataru Shimizu, Atsushi Hirohata, Yasuhiro Morita, Teruo Inoue, Atsunori Okamura, Masaaki Uematsu, Kazuhito Hirata, Kengo Tanabe, Yoshisato Shibata, Mafumi Owa, Kenichi Tsujita, Kunihiro Nishimura, Yoshihiro Miyamoto, Masaharu Ishihara : Frequency and prognostic impact of intravascular imaging-guided urgent percutaneous coronary intervention in patients with acute myocardial infarction: results from J-MINUET. *Heart and vessels* 2019; 34 (4) :564-571. doi: 10.1007/s00380-018-1285-3.
- 48) Matsushita M, Shirakabe A, Kobayashi N, Okazaki H, Shibata Y, Goda H, Uchiyama S, Tani K, Kiuchi K, Hata N, Asai K, Shimizu W : Gender Differences in the Social Determinants of the Long-term Prognosis for Severely Decompensated Acute Heart Failure in Patients over 75 Years of Age. *Internal medicine (Tokyo, Japan)* 2019; 58 (20) :2931-2941. doi: 10.2169/internalmedicine.2757-19.
- 49) Koichi Inoue, Kenzo Hirao, Kazutaka Aonuma, Koichiro Kumagai, Masaomi Kimura, Yasushi Miyauchi, Eiki Tsushima, Ken Okumura : HAS-BLED score as a predictor of bleeding complications from catheter ablation of atrial fibrillation: A subanalysis of the Japanese Anti-Coagulation Regimen Exploration in AF Catheter Ablation Registries. *Journal of cardiology* 2020; 75 (1) :82-89. doi: 10.1016/j.jjcc.2019.06.007.
- 50) 岡部 杏慈, 東 直行, 齋藤 恒徳, 草間 芳樹, 佐伯 秀久 : HLA-DR4 陽性であった巨細胞性動脈炎の 1 例. *臨床皮膚科* 2020; 74(2):127-131.
- 51) 中田 淳, 松田 淳也, 三軒 豪仁, 西城 由之, 太良 修平, 細川 雄亮, 山本 剛, 高野 仁司, 清水 渉 : Hemodynamics assist device:when and how to use? インペラを用いた心原性ショック治療戦略. *日本心血管インターベンション治療学会抄録集* 2019; 28 回:[S37-2].
- 52) Higuchi S, Suzuki M, Horiuchi Y, Tanaka H, Saji M, Yoshino H, Nagao K, Yamamoto T, Takayama M : Higher non-cardiac mortality and lesser impact of early revascularization in patients with type 2 compared to type 1 acute myocardial infarction: results from the Tokyo CCU Network registry. *Heart and vessels* 2019; 34 (7) :1140-1147. doi: 10.1007/s00380-019-01350-z.
- 53) Shirakabe A, Okazaki H, Matsushita M, Shibata Y, Goda H, Uchiyama S, Tani K, Kiuchi K, Kobayashi N, Hata N, Asai K, Shimizu W : Hyperuricemia complicated with acute kidney injury is associated with adverse outcomes in patients with severely decompensated acute heart failure. *International journal of cardiology. Heart & vasculature* 2019; 23:100345. doi: 10.1016/j.ijcha.2019.03.005.
- 54) 蜂須賀 誠人, 林 洋史, 三室 嶺, 丸 有人, 藤本 雄飛, 岡 英一郎, 萩原 かな子, 山本 哲平, 淀川 顕司, 岩崎 雄樹, 八島 正明, 清水 渉 : ICD/CRT-D 植込み患者における経口アミオダロン減量中止後の臨床転帰. *心電図* 2020; 40 (Suppl.2) :S-18.
- 55) Eitaro Kodani, Hiroshi Inoue, Hirotugu Atarashi, Ken Okumura, Takeshi Yamashita, Hideki Origasa : Impact of Digitalis Use on Mortality in Japanese Patients With Non-Valvular Atrial Fibrillation - A Subanalysis of the J-RHYTHM Registry. *Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society* 2019; 83 (8) :1644-1652. doi: 10.1253/circj.CJ-19-0267.
- 56) Yoichi Imori, Tsutomu Yoshikawa, Tsutomu Murakami, Toshiaki Isogai, Tetsuo Yamaguchi, Yuichiro Maekawa, Konomi Sakata, Hiroki Mochizuki, Kenshiro Arai, Toshiaki Otsuka, Ken Nagao, Takeshi Yamamoto, Morimasa Takayama : Impact of Trigger on Outcome of Takotsubo Syndrome - Multi-Center Registry From Tokyo Cardiovascular Care Unit Network. *Circulation reports* 2019; 1 (11) :493-501. doi: 10.1253/circrep.CR-19-0045.

- 57) Eitaro Kodani, Hiroshi Inoue, Hirotugu Atarashi, Ken Okumura, Takeshi Yamashita, Hideki Origasa : Impact of hemoglobin concentration and platelet count on outcomes of patients with non-valvular atrial fibrillation: A subanalysis of the J-RHYTHM Registry. *International journal of cardiology* 2020; 302:81-87. doi: 10.1016/j.ijcard.2019.11.127.
- 58) Takahashi K, Nakata J, Kurita J, Ishii Y, Shimizu W, Nitta T : Impella-assisted coronary artery bypass grafting for acute myocardial infarction. *Asian cardiovascular & thoracic annals* 2019; 28 (2) :218492319888053-117. doi: 10.1177/0218492319888053.
- 59) van der Werf C, Lieve KV, Bos JM, Lane CM, Denjoy I, Roses-Noguer F, Aiba T, Wada Y, Ingles J, Leren IS, Rudic B, Schwartz PJ, Maltret A, Sacher F, Skinner JR, Krahn AD, Roston TM, Tfelt-Hansen J, Swan H, Robyns T, Ohno S, Roberts JD, van den Berg MP, Kammeraad JA, Probst V, Kannankeril PJ, Blom NA, Behr ER, Borggrefe M, Haugaa KH, Semsarian C, Horie M, Shimizu W, Till JA, Leenhardt A, Ackerman MJ, Wilde AA : Implantable cardioverter-defibrillators in previously undiagnosed patients with catecholaminergic polymorphic ventricular tachycardia resuscitated from sudden cardiac arrest. *European heart journal* 2019; 40 (35) :2953-2961. doi: 10.1093/eurheartj/ehz309.
- 60) Furuse E, Tanabe J, Tajiri M, Kawanaka H, Shimizu W : In-stent restenosis caused by calcified nodule 11 years after paclitaxel eluting stent implantation treated with drug-coated balloon following rotational atherectomy. *Cardiovascular intervention and therapeutics* 2019 doi: 10.1007/s12928-019-00597-7.
- 61) Masato Matsushita, Masamichi Takano, Yasushi Miyauchi, Wataru Shimizu : Intravascular images of common femoral artery stenosis as a complication of repeated use of a suture-mediated closure device. *Angioscopy* 2019; 5:14-18.
- 62) Akutsu K, Yoshino H, Shimokawa T, Ogino H, Kunihara T, Takahashi T, Usui M, Watanabe K, Tobaru T, Hagiya K, Shimizu W, Niino T, Kawata M, Masuhara H, Watanabe Y, Yoshida N, Yamamoto T, Nagao K, Takayama M, Tokyo CCU Network, Tokyo Acute Aortic Super Network : Is systolic blood pressure high in patients with acute aortic dissection on first medical contact before hospital transfer?. *Heart and vessels* 2019; 34 (11) :1748-1757. doi: 10.1007/s00380-019-01419-9.
- 63) Hiroyuki Tsutsui, Mitsuaki Isobe, Hiroshi Ito, Hiroshi Ito, Ken Okumura, Minoru Ono, Masafumi Kitakaze, Koichiro Kinugawa, Yasuki Kihara, Yoichi Goto, Issei Komuro, Yoshikatsu Saiki, Yoshihiko Saito, Yasushi Sakata, Naoki Sato, Yoshiki Sawa, Akira Shiose, Wataru Shimizu, Hiroaki Shimokawa, Yoshihiko Seino, Koichi Node, Taiki Higo, Atsushi Hirayama, Miyuki Makaya, Tohru Masuyama, Toyooki Murohara, Shin-Ichi Momomura, Masafumi Yano, Kenji Yamazaki, Kazuhiro Yamamoto, Tsutomu Yoshikawa, Michihiro Yoshimura, Masatoshi Akiyama, Toshihisa Anzai, Shiro Ishihara, Takayuki Inomata, Teruhiko Imamura, Yu-Ki Iwasaki, Tomohito Ohtani, Katsuya Onishi, Takatoshi Kasai, Mahoto Kato, Makoto Kawai, Yoshiharu Kinugasa, Shintaro Kinugawa, Toru Kuratani, Shigeki Kobayashi, Yasuhiko Sakata, Atsushi Tanaka, Koichi Toda, Takashi Noda, Kotaro Nochioka, Masaru Hatano, Takayuki Hidaka, Takeo Fujino, Shigeru Makita, Osamu Yamaguchi, Uichi Ikeda, Takeshi Kimura, Shun Kohsaka, Masami Kosuge, Masakazu Yamagishi, Akira Yamashina : JCS 2017/JHFS 2017 Guideline on Diagnosis and Treatment of Acute and Chronic Heart Failure - Digest Version. *Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society* 2019; 83 (10) :2084-2184. doi: 10.1253/circj.CJ-19-0342.
- 64) Kazuo Kimura, Takeshi Kimura, Masaharu Ishihara, Yoshihisa Nakagawa, Koichi Nakao, Katsumi Miyauchi, Tomohiro Sakamoto, Kenichi Tsujita, Nobuhisa Hagiwara, Shunichi Miyazaki, Junya Ako, Hirokuni Arai, Hideki Ishii, Hideki Origuchi, Wataru Shimizu, Hirofumi Takemura, Yoshio Tahara, Yoshihiro Morino, Kenji Iino, Tomonori Itoh, Yoshitaka Iwanaga, Keiji Uchida, Hirohisa Endo, Ken Kongoji, Kenji Sakamoto, Hiroki Shiomi, Takao Shimohama, Atsushi Suzuki, Jun Takahashi, Ichiro Takeuchi, Akihito Tanaka, Toshihiro Tamura, Takahiro Nakashima, Teruo Noguchi, Daisuke Fukamachi, Tomohiro Mizuno, Junichi Yamaguchi, Kenji Yodogawa, Masami Kosuge, Shun Kohsaka, Hideaki Yoshino, Satoshi Yasuda, Hiroaki Shimokawa, Atsushi Hirayama, Takashi Akasaka, Kazuo Haze, Hisao Ogawa, Hiroyuki Tsutsui, Tsutomu Yamazaki : JCS 2018 Guideline on Diagnosis and Treatment of Acute Coronary Syndrome. *Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society* 2019; 83 (5) :1085-1196. doi: 10.1253/circj.CJ-19-0133.
- 65) Takahiro Jimba, Masao Yamasaki, Akito Shindo, Kazunori Takemura, Youichi Iwasaki, Junya Matsuda, Yoshiya Yamamoto, Makoto Takei, Daisuke Kitano, Yasuyuki Shiraishi, Shigeto Tsukamoto, Shun Kohsaka, Yuji Nagatomo, Tetsuro Miyazaki, Kenichi Matsushita, Takamichi Miyamoto, Kiyoshi Iida, Shinji Koba, Toshiaki Otsuka, Kazumasa Harada, Takeshi Yamamoto, Ken Nagao,

- Morimasa Takayama : Lag Effect of Temperature and Atmospheric Pressure Affects the Incidents and the Manner of Acute Heart Failure. *CIRCULATION* 2019; 140
- 66) Akabane S, Suzuki T, Hinoi T, Shimizu Y, Sudo T, Onoe T, Ishiyama K, Shimizu W, Tazawa H, Hadano N, Misumi T, Kojima M, Kubota H, Zaitsu J, Taniyama D, Kuraoka K, Tashiro H : Laproscopic treatment for small bowel bleeding after detection by double-balloon endoscopy: A case report. *International journal of surgery case reports* 2019; 59:63-65. doi: 10.1016/j.ijscr.2019.05.003.
- 67) Takeshi Yagyu, Satoshi Yasuda, Noritoshi Nagaya, Kaori Doi, Takeshi Nakatani, Kazuhiro Satomi, Wataru Shimizu, Kengo Kusano, Toshihisa Anzai, Teruo Noguchi, Hajime Ohgushi, Soichiro Kitamura, Kenji Kangawa, Hisao Ogawa : Long-Term Results of Intracardiac Mesenchymal Stem Cell Transplantation in Patients With Cardiomyopathy. *Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society* 2019; 83 (7) :1590-1599. doi: 10.1253/circj.CJ-18-1179.
- 68) Hideki Wada, Manabu Ogita, Satoru Suwa, Koichi Nakao, Yukio Ozaki, Kazuo Kimura, Junya Ako, Teruo Noguchi, Satoshi Yasuda, Kazuteru Fujimoto, Yasuharu Nakama, Takashi Morita, Wataru Shimizu, Yoshihiko Saito, Atsushi Hirohata, Yasuhiro Morita, Inoue Teruo, Atsunori Okamura, Toshiaki Mano, Kazuhito Hirata, Kengo Tanabe, Yoshisato Shibata, Mafumi Owa, Kenichi Tsujita, Hiroshi Funayama, Nobuaki Kokubu, Ken Kozuma, Shiro Uemura, Tetsuya Toubaru, Keijirou Saku, Shigeru Ohshima, Kunihiro Nishimura, Yoshihiro Miyamoto, Hisao Ogawa, Masaharu Ishihara : Long-term Outcomes in Acute Myocardial Infarction Patients With Cardiogenic Shock: A Landmark Sub-analysis From Japanese Registry of Acute Myocardial Infarction Diagnosed by Universal Definition (j-minuet) Registry. *CIRCULATION* 2019; 140
- 69) Tsukasa Kamakura, Tetsuji Shinohara, Kenji Yodogawa, Nobuyuki Murakoshi, Hiroshi Morita, Naohiko Takahashi, Yasuya Inden, Wataru Shimizu, Akihiko Nogami, Minoru Horie, Takeshi Aiba, Kengo Kusano : Long-term prognosis of patients with J-wave syndrome. *Heart (British Cardiac Society)* 2020; 106 (4) :299-306. doi: 10.1136/heartjnl-2019-315007.
- 70) Masato Matsushita, Akihiro Shirakabe, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Yusaku Shibata, Hiroki Goda, Shota Shigihara, Kazuhiro Asano, Kenichi Tani, Kazutaka Kiuchi, Fumitaka Okajima, Noritake Hata, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Mechanisms of Urgently Presenting Acute Heart Failure. *International heart journal* 2020; 61 (2) :316-324. doi: 10.1536/ihj.19-523.
- 71) Tomohiro Kaneko, Eitaro Kodani, Hitomi Fujii, Hiroyuki Nakamura, Hajime Sasabe, Yutaka Tamura, Shuichi Tsuruoka : Medical and Dental Visits of Chronic Kidney Disease-Diagnosed Participants Analyzed From the Specific Health Checkups Results in Japan: TAMA MED Project-CKD. *Journal of clinical medicine research* 2020; 12 (2) :115-121. doi: 10.14740/jocmr4085.
- 72) 藤本 竜平, 小松 祐美, 松原 啓祐, 今村 友典, 金子 光伸, 岡林 賢, 浅野 和弘, 太良 修平, 中田 淳, 金井 尚之 : Onco-cardiology 時代における救急医のあり方とは? 肺癌関連循環器疾患の 2 症例からの検討. *日本臨床救急医学会雑誌* 2019; 22 (2) :287.
- 73) Imori Y, Takano H, Kitamura M, Aoyama R, Sangen H, Kenta O, Matsuda J, Kubota Y, Tokita Y, Yamamoto T, Asai K, Takayama M, Shimizu W : Percutaneous transluminal septal myocardial ablation for hypertrophic obstructive cardiomyopathy through non-left anterior descending septal perforators. *Heart and vessels* 2019; 35 (5) :647-654. doi: 10.1007/s00380-019-01525-8.
- 74) Tsunenori Saito, Meiso Hayashi, Wataru Shimizu : Phospholipidosis in cardiomyocytes suffering flecainide intoxication. *European heart journal* 2020; 41 (10) :1141. doi: 10.1093/eurheartj/ehz833.
- 75) Masato Matsushita, Akihiro Shirakabe, Hirotake Okazaki, Yusaku Shibata, Hiroki Goda, Shota Shigihara, Kazuhiro Asano, Kenichi Tani, Kazutaka Kiuchi, Takayo Murase, Takashi Nakamura, Tsutomu Takayasu, Miwako Asano, Fumitaka Okajima, Nobuaki Kobayashi, Noritake Hata, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Plasma Xanthine Oxidoreductase (XOR) Activity in Cardiovascular Disease Outpatients. *Circulation reports* 2020; 2 (2) :104-112. doi: 10.1253/circrep.CR-19-0116.
- 76) Okazaki H, Shirakabe A, Matsushita M, Shibata Y, Sawatani T, Uchiyama S, Tani K, Murase T, Nakamura T, Takayasu T, Asano M, Kobayashi N, Hata N, Asai K, Shimizu W : Plasma xanthine oxidoreductase activity in patients with decompensated acute heart failure requiring intensive care. *ESC heart failure* 2019; 6 (2) :336-343. doi: 10.1002/ehf2.12390.
- 77) Kamiya M, Sato N, Matsuda J, Nozaki A, Akiya M, Sato T, Okazaki H, Takahashi Y, Shimizu W : Predictors of responders for low-dose carperitide monotherapy in patients with acute heart failure. *Heart and vessels* 2019; 35 (1) :59-68. doi: 10.1007/s00380-019-01450-w.
- 78) Akihiro Shirakabe, Kuniya Asai, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Masato Matsushita, Yusaku Shibata, Hiroki Goda, Shota Shigihara, Kazuhiro Asano, Kenichi Tani, Kazutaka Kiuchi, Noritake Hata, Wataru Shimizu : Prognostic Value of Both Plasma Volume

- Status and Nutritional Status in Patients With Severely Decompensated Acute Heart Failure. *CJC open* 2019; 1 (6) :305-315. doi: 10.1016/j.cjco.2019.10.001.
- 79) Kazutaka Kiuchi, Akihiro Shirakabe, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Masato Matsushita, Yusaku Shibata, Hiroki Goda, Shota Shigihara, Kazuhiro Asano, Kenichi Tani, Noritake Hata, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Prognostic impact of new-onset atrial fibrillation associated with worsening heart failure in aging patients with severely decompensated acute heart failure. *International journal of cardiology* 2020; 302:88-94. doi: 10.1016/j.ijcard.2019.09.020.
- 80) Kinoshita H, Sairaku A, Morishima N, Dohi Y, Sada Y, Higashi A, Yamabe S, Kihara Y : Prognostic significance of oscillatory ventilation at rest in patients with advanced heart failure undergoing cardiopulmonary exercise testing. *International journal of cardiology* 2019 doi: 10.1016/j.ijcard.2019.11.098.
- 81) 細川 雄亮, 山本 剛, 松田 淳也, 三軒 豪仁, 中田 淳, 宮地 秀樹, 太良 修平, 時田 祐吉, 高野 仁司, 清水 渉 : Recent MI の予後は良好か?. *日本心血管インターベンション治療学会抄録集* 2019; 28 回:[MO79-004].
- 82) Michael R. MacDonald, Wan Ting Tay, Tiew - Hwa Katherine Teng, Inder Anand, Lieng Hsi Ling, Jonathan Yap, Jasper Tromp, Gurpreet S. Wander, Ajay Naik, Tachapong Ngarmukos, Bambang B. Siswanto, Chung - Lieh Hung, A. Mark Richards, Carolyn S. P. Lam, Hounng Bang Liew, Calambur Narasimhan, Sang Weon Park, Eugenio Reyes, Wataru Shimizu, Shu Zhang, Liqun Wu, Tianyou Ling, Xinli Li, Haifeng Zhang, Yangang Su, Cheuk Man Yu, B K S Sastry, Arun Gopi, K Raghu, C Sridevi, Daljeet Kaur, Keyur Parikh, Anish Chandarana, Urmil Shah, Milan Chag, Hemang Baxi, Satya Gupta, Jyoti Bhatia, Vaishali Khakhkhar, Vineet Sankhla, Tejas Patel, Vipul Kapoor, Rohit Tandon, Vijay Chopra, Manoj Kumar, Hatinder Jeet Singh Sethi, Rashmi Verma, Jitendra Sawhney, Manish Kr. Sharma, Mohanan Padinhare Purayil, Muhammad Munawar, Jimmy Agung Pambudi, Antonia Lukito, Ingrid Pardede, Alvin Thengker, Vito Damay, Siska Suridanda Danny, Rarsari Surarso, Ryoubun Yasuoka, Kuniya Asai, Takatori Ikeda, Sang - Weon Park, Suk Keun Hong, SookJin Lee, Lim Dal Soo, Dong - Hyeok Kim, Jaemin Shim, Seong - Mi Park, Seung - Young Roh, Young Hoon Kim, Mina Kim, Jong - Il Choi, Jin Oh Na, Seung Woon Rha, Hong Seog Seo, Dong Joo Oh, Chang Gyu Park, Eung Ju Kim, Sunki Lee, Boyoung Joung, Jae - Sun Uhm, Moon Hyoung Lee, In - Jeong Cho, Hui - Nam Park, Hyung - Wook Park, Jeong - Gwan Cho, Namsik Yoon, KiHong Lee, Kye Hun Kim, Seong Hwan Kim, Hounng Bang Liew, Sahrin Saharudin, Boon Cong Beh, Yu Wei Lee, Chia How Yen, Mohd Khairi Othman, Amie - Anne Augustine, Mohd Hariz Mohd Asnawi, Roberto Angelo Mojolou, You Zhuan Tan, Aida Nurbaini Arbain, Chii Koh Wong, Azmee Mohd Ghazi, Surinder Kaur Khelae, David S.P. Chew, Lok Bin Yap, Azlan Hussin, Zulkeflee Muhammad, Imran Zainal Abidin, Ahmad Syadi Bin Mahmood Zhudi, Nor Ashikin Md Sari, Ganiga Srinivasaiah Sridhar, Ahmad Syadi Mahmood Zuhdi, Muhammad Dzafir Ismail, Tiong Kiam Ong, Yee Ling Cham, Ning Zan Khiew, Asri Bin Said, Alan Yean Yip Fong, Nor Hanim Mohd Amin, Keong Chua Seng, Sian Kong Tan, Kuan Leong Yew, Eugenio Reyes, Jones Santos, Allan Lim, Raul Lapitan, Ryan Andal, Eleanor Lopez, Kheng Leng David Sim, Boon Yew Tan, Choon Pin Lim, Louis L.Y. Teo, Laura L. H. Chan, Ping Chai, Ching Chiew Raymond Wong, Kian Keong Poh, Poh Shuan Daniel Yeo, Evelyn M. Lee, Seet Yong Loh, Min Er Ching, Deanna Z.L. Khoo, Min Sen Yew, Wenjie Huang, Jia Hao Jason See, Yaozong Benji Lim, Svenszeat Tan, Colin Yeo, Siang Chew Chai, Fazlur Rehman Jaufeerally, Hareesh Tulsidas, Than Aung, Hean Yee Ong, Lee Fong Ling, Dinna Kar Nee Soon, Hung - I Yeh, Jen - Yuan Kuo, Chih - Hsuan Yen, Juey - Jen Hwang, Kuo - Liong Chien, Ta - Chen Su, Lian - Yu Lin, Jyh - Ming Juang, Yen - Hung Lin, Fu - Tien Chiang, Jiunn - Lee Lin, Yi - Lwun Ho, Chii - Ming Lee, Po - Chih Lin, Chi - Sheng Hung, Sheng - Nan Chang, Jou - Wei Lin, Chih - Neng Hsu, Wen - Chung Yu, Tze - Fan Chao, Shih - Hsien Sung, Kang - Ling Wang, Hsin - Bang Leu, Yenn - Jiang Lin, Shih - Lin Chang, Po - Hsun Huang, Li - Wei Lo, Cheng - Hsueh Wu, Hsin - Yueh Liang, Shih - Sheng Chang, Lien - Cheng Hsiao, Yu - Chen Wang, Chiung - Ray Lu, Hung - Pin Wu, Yen - Nien Lin, Ke - Wei Chen, Ping - Han Lo, Chung - Ho Hsu, Li - Chuan Hsieh, Mann Chandavimol, Teerapat Yingchoncharoen, Prasart Laothavorn, Wanwarang Wongcharoen, Arintaya Phrommintikul : Regional Variation of Mortality in Heart Failure With Reduced and Preserved Ejection Fraction Across Asia: Outcomes in the ASIAN - HF Registry. *Journal of the American Heart Association* 2020; 9 (1) doi: 10.1161/jaha.119.012199.
- 83) Kuniya Asai, Akihiro Shirakabe, Kazutaka Kiuchi, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Masato Matsushita, Yusaku Shibata, Hiroki Goda, Shota Shigihara, Kazuhiro Asano, Kenichi Tani, Fumitaka Okajima, Noritake Hata, Wataru Shimizu : Relation of Low

- Triiodothyronine Syndrome Associated With Aging and Malnutrition to Adverse Outcome in Patients With Acute Heart Failure. *The American journal of cardiology* 2020; 125 (3) :427-435. doi: 10.1016/j.amjcard.2019.10.051.
- 84) Kenichi Matsushita, Kazumasa Harada, Tetsuro Miyazaki, Takamichi Miyamoto, Shun Kohsaka, Kiyoshi Iida, Yoshiya Yamamoto, Yuji Nagatomo, Hideaki Yoshino, Takeshi Yamamoto, Ken Nagao, Morimasa Takayama : Reply to: Heart Failure With Preserved Ejection Fraction in Older Adults. *J Am Geriatr Soc* 2019 doi: 10.1111/jgs.16301.
- 85) Sairaku A, Nakano Y, Onohara Y, Hironobe N, Matsumura H, Shimizu W, Kihara Y : Residual anticoagulation activity in atrial fibrillation patients with temporary interrupted direct oral anticoagulants: Comparisons across 4 drugs. *Thrombosis research* 2019; 183:119-123. doi: 10.1016/j.thromres.2019.10.006.
- 86) Matsuura H, Kishida M, Shimizu W : Right upper quadrant pain with positive Murphy's sign in 19-year-old woman. *Gastroenterology* 2019 doi: 10.1053/j.gastro.2019.10.046.
- 87) Toshio Kinoshita, Kenichi Hashimoto, Koichiro Yoshioka, Yosuke Miwa, Kenji Yodogawa, Eiichi Watanabe, Kohki Nakamura, Mikiko Nakagawa, Kentaro Nakamura, Tetsu Watanabe, Satoru Yusu, Motomi Tachibana, Shiro Nakahara, Koichi Mizumaki, Takanori Ikeda : Risk stratification for cardiac mortality using electrocardiographic markers based on 24-hour Holter recordings: the JANIES-SHD study. *Journal of cardiology* 2020; 75 (2) :155-163. doi: 10.1016/j.jjcc.2019.07.012.
- 88) Akihiro Shirakabe, Masato Matsushita, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Scoring system in patients with acute heart failure. *International journal of cardiology* 2019; 296:122-123. doi: 10.1016/j.ijcard.2019.08.012.
- 89) Matsushita M, Takano M, Miyauchi Y, Shimizu W : Sealed Rupture of the Superficial Femoral Artery After Endovascular Treatment Via the Controlled Antegrade and Retrograde Subintimal Tracking Technique for Chronic Total Occlusion. *JACC. Cardiovascular interventions* 2019; 12 (10) :995-997. doi: 10.1016/j.jcin.2019.01.001.
- 90) Amioka M, Nakano Y, Ochi H, Onohara Y, Sairaku A, Tokuyama T, Motoda C, Matsumura H, Tomomori S, Hironobe N, Okubo Y, Okamura S, Chayama K, Kihara Y : Ser96Ala genetic variant of the human histidine-rich calcium-binding protein is a genetic predictor of recurrence after catheter ablation in patients with paroxysmal atrial fibrillation. *PloS one* 2019; 14 (3) :e0213208. doi: 10.1371/journal.pone.0213208.
- 91) Shun-Ichiro Sakamoto, Atsushi Hiromoto, Hiroshige Murata, Kenji Suzuki, Jiro Kurita, Yasuhiro Kawase, Takashi Sasaki, Yasuo Miyagi, Yosuke Ishii, Tetsuro Morota, Wataru Shimizu, Takashi Nitta : Surgical procedure for targeting arrhythmogenic substrates in the treatment of ventricular tachycardia associated with cardiac tumors. *Heart rhythm* 2020; 17 (2) :238-242. doi: 10.1016/j.hrthm.2019.08.025.
- 92) Yamamoto T, Yoshida N, Takayama M, Tokyo CCU Network : Temporal Trends in Acute Myocardial Infarction Incidence and Mortality Between 2006 and 2016 in Tokyo - Report From the Tokyo CCU Network. *Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society* 2019; 83 (6) :1405-1409. doi: 10.1253/circj.CJ-19-0187.
- 93) Shirakabe A, Kobayashi N, Okazaki H, Matsushita M, Shibata Y, Goda H, Shigihara S, Asano K, Kiuchi K, Hata N, Asai K, Shimizu W : Trends in the Management of Acute Heart Failure Requiring Intensive Care. *The American journal of cardiology* 2019; 124 (7) :1076-1084. doi: 10.1016/j.amjcard.2019.06.025.
- 94) 長尾毅彦, 安西香織, 熊谷裕通, 小谷英太郎, 木村和美 : VKORC1 遺伝子多型の血中ビタミン K 濃度とワルファリンコントロールに及ぼす影響. *日本血栓止血学会学術標準化委員会シンポジウム* 2019; 13th:35.
- 95) 蜂須賀誠人, 蜂須賀誠人, 林洋史, 三室嶺, 丸有人, 藤本雄飛, 岡英一郎, 萩原かな子, 村田広茂, 山本哲平, 西樂顕典, 淀川顕司, 岩崎雄樹, 宮内靖史, 清水渉 : VT ストームに対するアブレーション手技中にヘパリン起因性血小板減少症(HIT)に伴う心筋梗塞を合併し, 早期の血行再建により対処しえた症例. *日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション委員会公開研究会プログラム・抄録集* 2019; 2019
- 96) Yayoi Tetsuo Tsukada, Miwa Tokita, Hiroshige Murata, Yasuhiro Hirasawa, Kenji Yodogawa, Yu-Ki Iwasaki, Kuniya Asai, Wataru Shimizu, Nahoko Kasai, Hiroshi Nakashima, Shingo Tsukada : Validation of wearable textile electrodes for ECG monitoring. *Heart and vessels* 2019; 34 (7) :1203-1211. doi: 10.1007/s00380-019-01347-8.
- 97) Kosuke Sakai, Maiko Toda, Hiroyuki Kyoyama, Hiroaki Nishimura, Akitoshi Kojima, Yoshiki Kuwabara, Yumiko Kobayashi, Satoshi Kikuchi, Yusuke Hirata, Gaku Moriyama, Wataru Watanabe, Koichi Akutsu, Maki Nakai, Takeshi Yamada, Akihiko Gemma, Kazutsugu Uematsu : Vascular Ehlers-Danlos Syndrome with a Novel Missense Mutation in COL3A1: A Man in His 50s with Aortic Dissection

- after Interventional Treatment for Hemothorax as the First Manifestation. Internal medicine (Tokyo, Japan) 2019; 58 (23) :3441-3447. doi: 10.2169/internalmedicine.2983-19.
- 98) Oka E, Iwasaki YK, Shimizu W : What Determines the Response to Landiolol? - Reply. Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society 2019; 83 (7) :1618-1619. doi: 10.1253/circj.CJ-19-0447.
- 99) Shirakabe A, Hata N, Kobayashi N, Okazaki H, Matsushita M, Shibata Y, Uchiyama S, Sawatani T, Asai K, Shimizu W : Worsening renal failure in patients with acute heart failure: the importance of cardiac biomarkers. ESC heart failure 2019; 6 (2) :416-427. doi: 10.1002/ehf2.12414.
- 100) Matsushita K, Harada K, Miyazaki T, Miyamoto T, Kohsaka S, Iida K, Yamamoto Y, Nagatomo Y, Yoshino H, Yamamoto T, Nagao K, Takayama M : Younger- vs Older-Old Patients with Heart Failure with Preserved Ejection Fraction. Journal of the American Geriatrics Society 2019; 67 (10) :2123-2128. doi: 10.1111/jgs.16050.
- 101) 佐藤 達志, 中田 淳 : 【ICU 治療指針 I】 循環器疾患と管理 大動脈内バルーンパンピング(IABP). 救急・集中治療 2020; 31 (2) :728-731.
- 102) 藤本 雄飛, 山本 剛 : 【ICU 治療指針 III】 緊急病態と処置 カルディオバージョン(頻脈性不整脈のために). 救急・集中治療 2020; 31 (4) :1482-1484.
- 103) 藤本 雄飛, 山本 剛 : 【ICU 治療指針 III】 緊急病態と処置 緊急ペーシング(経皮的および経静脈的一時). 救急・集中治療 2020; 31 (4) :1479-1481.
- 104) 茂澤 幸右, 山本 剛 : 【ICU 治療指針 I】 循環器疾患と管理 抗凝固・血栓溶解療法. 救急・集中治療 2019; 31 (2) :714-718.
- 105) 星加 優, 山本 剛 : 【ICU 治療指針 I】 循環器疾患と管理 深部静脈血栓症(DVT). 救急・集中治療 2019; 31 (2) :678-680.
- 106) 齋藤 恒徳 : 【U40 世代が描く心不全診療の現状と未来-基礎研究を識り,臨床を素心深考する】 心筋症 心筋症の reversibility を病理所見から予測する. 循環器ジャーナル 2020; 68 (1) :94-98.
- 107) 岩崎 雄樹 : 【不整脈管理 Up to date】 非代償期心不全と不整脈管理. ICU と CCU 2020; 44 (1) :27-32.
- 108) 林 洋史, 清水 渉 : 【不整脈非薬物治療の現状と未来】 皮下植込み型除細動器(S-ICD)の適応と有効性. 循環器内科 2019; 85 (5) :655-659.
- 109) 小谷 英太郎 : 【循環器症候群(第 3 版)-その他の循環器疾患を含めて-】 冠動脈・静脈疾患・走行異常 急性心筋虚血と虚血耐性. 日本臨床 2019; 別冊(循環器症候群 II) :76-80.
- 110) 村田 広茂, 清水 渉 : 【心臓電気生理を理解して不整脈診療に活かす】 治す QT 延長症候群に β 遮断薬をどう使うか?. Heart View 2019; 23 (6) :598-603.
- 111) 山下 武志, 岩崎 雄樹, 八木 直治, 志賀 剛, 有田 卓人 : 【抗不整脈薬の使い方】 抗不整脈薬 先輩から後輩へのメッセージ. Cardio-Coagulation 2019; 6 (2) :74-82.
- 112) 岩崎 雄樹, 清水 渉 : 【睡眠時無呼吸症候群:基礎から臨床】 全身疾患としての睡眠障害 機序と臨床 心房細動と高血圧. THE LUNG-perspectives 2020; 28 (1) :35-38.
- 113) 井守 洋一, 吉川 勉, 村上 力, 磯貝 俊明, 山口 徹雄, 前川 裕一郎, 坂田 好美, 望月 宏樹, 荒尾 憲司郎, 長尾 建, 山本 剛, 高山 守正, 東京都 CCU ネットワーク学術委員会 : たこつぼ症候群の誘因ストレスが予後に与える影響. ICU と CCU 2019; 43(別冊):S38-S39.
- 114) 木村 晃久, 吉川 勉, 磯貝 俊明, 田中 博之, 上田 哲郎, 山口 徹雄, 井守 洋一, 前川 裕一郎, 坂田 好美, 村上 力, 望月 宏樹, 荒尾 憲司郎, 長尾 建, 山本 剛, 高山 守正, 東京都 CCU ネットワーク学術委員会 : たこつぼ症候群患者において入院時体温が院内転帰に与える影響 東京都 CCU ネットワークレジストリ研究. ICU と CCU 2019; 43 (別冊) :S114.
- 115) 望月 宏樹, 吉川 勉, 前川 裕一郎, 上田 哲郎, 坂田 好美, 山口 徹雄, 磯貝 俊明, 井守 洋一, 荒尾 憲司郎, 寺岡 邦彦, 木村 晃久, 村上 力, 長尾 建, 山本 剛, 高山 守正, 東京都 CCU ネットワーク : たこつぼ症候群患者における D ダイマー値と院内死亡率に関する検討. ICU と CCU 2019; 43 (別冊) :S112-S113.
- 116) 淀川 顕司 : みて覚える心電図ギャラリー(第 31 回) 58 歳男性、心電図異常を指摘された。失神歴あり。日本医事新報 2020; (4996) :16.
- 117) WAKITA Masaki, KUBOTA Yoshiaki, KOEN Masahiro, MURAI Koji, ASAI Kuniya, SHIMIZU Wataru : より良い治療結果のために 駆出率を維持した高尿酸血症性 CHF 患者群にトピロキソスタットを使用する提案の研究(SOUGHTstudy). 日本心不全学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 23rd

- 118)高木 元, 桐木 園子, 太良 修平, 宮地 秀樹, 宮本 正章, 清水 渉 : エビデンスレポート 2017-2018 臨床下肢虚血. 日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 2019; 54 (Suppl.) :ER-1.
- 119)村田 広茂 : エピゲノム・データベースとゲノム構造化解析、包括的パイオインフォマティクス技術を用いた全ゲノム解析による遺伝性不整脈疾患の疾患メカニズムの解明. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :231.
- 120)村田 広茂 : エピゲノム・データベースとゲノム構造化解析、包括的パイオインフォマティクス技術を用いた全ゲノム解析による遺伝性不整脈疾患の疾患メカニズムの解明. 福田記念医療技術振興財団情報 2019; (32) :119-128.
- 121)大塚 俊昭, 小谷 英太郎 : オンシロメトリック法による上腕動脈 Volume elastic modulus(VE)の左右差に関する検討. 日本臨床生理学会雑誌 2019; 49 (4) :86.
- 122)稲田 慎, 相庭 武司, 柴田 仁太郎, 原口 亮, 芦原 貴司, 草野 研吾, 清水 渉, 池田 隆徳, 中沢 一雄 : コンピュータシミュレーションを用いた右室流出路を起源とする不整脈発生機序の検討. 医療情報学連合大会論文集 2019; 39 回:426-429.
- 123)淀川 顕司 : ステロイド増量後に心室頻拍の再燃をきたした心臓サルコイドーシスの一例. 日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会雑誌 2019; 39 (1-2) :118.
- 124)丸 有人, 岩崎 雄樹, 八島 正明, 淀川 顕司, 山本 哲平, 村田 広茂, 西樂 顕典, 林 洋史, 岡 英一郎, 萩原 かな子, 藤本 雄飛, 新井 俊樹, 清水 渉 : ソタロールの減量に伴い VF 再発を来した特異性 QT 短縮症候群の 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15(4):262.
- 125)村田 哲平, 山本 剛, 原 信博, 間淵 圭, 水野 篤, 田辺 康宏, 久武 真二, 野里 寿史, 尾林 徹, 長尾 建, 高山 守正, 東京都 CCU ネットワーク学術委員会 : ハイリスク肺塞栓患者の 2006~2015 年の 10 年間の変化 Tokyo CCU Network. ICU と CCU 2019; 43 (別冊) :S93-S94.
- 126)村田 広茂 : パイオインフォマティクス技術を用いた全ゲノム解析による遺伝性不整脈疾患の疾患メカニズムの解明. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :234-235.
- 127)岡村 賢, 野呂 林太郎, 藤田 和恵, 呉 壮香, 功刀 しのぶ, 高野 仁司, 齋藤 好信, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : プロテイン C 欠乏症による深部静脈血栓症に、侵襲性肺アスペルギルス症による急性呼吸不全呼吸不全を併発した 1 例. 日本内科学会関東地方会 2019; 650 回:39.
- 128)淀川 顕司, 相庭 武司, 住友 直方, 清水 渉 : ホルター心電図における QT/RR 関係を用いた QT 延長症候群 1 型と 2 型の鑑別診断. 心電図 2020; 40 (Suppl.2) :S-45.
- 129)志村亜由香, 岩崎雄樹, 戸村泰規, 新井俊貴, 石原翔, 三室嶺, 蜂須賀誠人, 小林典之, 丸有人, 藤本雄飛, 萩原かな子, 岡英一郎, 林洋史, 山本哲平, 西樂顕典, 淀川顕司, 鈴木健一, 清水渉, 市場晋吾 : ロングアジリスシース内からの SOUNDSTAR による左心房 3 次元画像構築の有用性. 日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション委員会公開研究会プログラム・抄録集 2019; 2019
- 130)西川 慈人, 福嶋 善光, 汲田 伸一郎, 桐木 園子, 高木 元, 宮本 正章 : 下肢骨髄炎例における定量解析併用 Ga-SPECT/CT の診断能. 核医学 2019; 56 (1) :37.
- 131)中山 拓也, 鈴木 健一, 豊富 達智, 市場 晋吾, 太良 修平, 宮地 秀樹, 高木 元, 桐木 園子, 増野 智彦, 宮本 正章 : 保険点数改定に伴う急性 CO 中毒に対する HBO 施行回数の変化. 日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 2019; 54 (4) :275.
- 132)茂澤 幸右, 松田 淳也, 細川 雄亮, 鈴木 憲治, 村田 智洋, 佐藤 達志, 木村 徳宏, 浅野 和宏, 藤本 竜平, 三軒 豪仁, 中田 淳, 太良 修平, 山本 剛, 高野 仁司, 新田 隆, 清水 渉 : 側壁心筋梗塞後心破裂から心嚢血腫をきたし、遅発性心タンポナーデに陥り治療方針の決定に苦慮した 1 例. ICU と CCU 2019; 43 (別冊) :S115.
- 133)林 洋史, 岩崎 雄樹, 蜂須賀 誠人, 三室 嶺, 丸 有人, 藤本 雄飛, 岡 英一郎, 萩原 かな子, 高橋 健太, 山本 哲平, 淀川 顕司, 清水 渉, 宮内 靖史 : 僧帽弁 5 時に位置する房室結節-心室間副伝導路を頻拍回路に含む顕性 WPW 症候群の 1 例. 臨床心臓電気生理 2019; 42:259-266.
- 134)磯貝 俊明, 吉川 勉, 木村 晃久, 上田 哲郎, 山口 徹雄, 井守 洋一, 前川 裕一郎, 坂田 好美, 村上 力, 寺岡 邦彦, 望月 宏樹, 荒尾 憲司郎, 長尾 建, 山本 剛, 高山 守正, 東京都 CCU ネットワーク学術委員会 : 入院時の総コレステロール値はたこつば症候群患者の院内予後を予測する 東京都 CCU ネットワークレジストリ研究. ICU と CCU 2019; 43 (別冊) :S102-S107.
- 135)野里 寿史, 山本 剛, 水野 篤, 間淵 圭, 村田 哲平, 久武 真二, 正司 真, 原 信博, 辻田 裕昭, 高山 守正, 東京都 CCU ネットワーク学術委員会 : 入院時高血糖と肺塞栓症の院内予後の関係 東京都 CCU ネットワークデータベースからの解析. 脈管学 2019; 59 (Suppl.) :S218.

- 136)戸村 泰規, 岩崎 雄樹, 林 洋史, 淀川 顕司, 林 明聡, 清水 渉, 吉村 祐輝, 菊地 舜, 志村 亜由香, 中山 拓也, 山田 知見, 豊 富 達智, 田高 朋宏, 鈴木 健一, 市場 晋吾 : 右室流出路中隔側起源の心室性期外収縮に対するカテーテルアブレーションにより AMI を合併した症例の検討. 日本臨床工学技士会誌 2019; (66) :174.
- 137)稲田 慎, 相庭 武司, 柴田 仁太郎, 原口 亮, 芦原 貴司, 草野 研吾, 清水 渉, 池田 隆徳, 中沢 一雄 : 右室流出路伝導障害が引き起こす心室性不整脈のメカニズムのシミュレーションによる検討. 生体医工学 2019; Annual57 (Abstract) :S20_1. doi: 10.11239/jsmbe.annual57.s20_1.
- 138)小谷 英太郎 : 地域や臨床の場から得られた性差のエビデンス この結果を実臨床にどう生かすか? 心房細動における性差のエビデンス J-RHYTHM Registry からの考察. 日本循環器病予防学会誌 2019; 54 (2) :96.
- 139)大野 敦, 足立 淳一郎, 植木 彬夫, 小谷 英太郎, 宮川 高一, 宮城 調司 : 多摩地域における糖尿病とCKDに関するアンケート結果の推移(第2報). 日本腎臓学会誌 2019; 61 (6) :765.
- 140)大野 敦, 足立 淳一郎, 植木 彬夫, 小谷 英太郎, 宮川 高一, 宮城 調司, 糖尿病治療多摩懇話会 : 多摩地域における糖尿病とCKDに関するアンケート調査結果の年次推移. 日本成人病(生活習慣病)学会会誌 2020; 46:59.
- 141)大野 敦, 植木 彬夫, 小谷 英太郎, 宮川 高一, 宮城 調司 : 多摩地域の内科医における糖尿病神経障害に関するアンケート調査. 糖尿病 2019; 62 (7) :412.
- 142)大野 敦, 足立 淳一郎, 植木 彬夫, 小谷 英太郎, 宮川 高一, 宮城 調司 : 多摩地域の内科医対象のアンケート調査結果からみた糖尿病合併高血圧患者における降圧薬選択. 日本内科学会雑誌 2020; 109 (Suppl.) :238.
- 143)伊藤 亮介, 山下 淳, 三ツ橋 佑哉, 岸 幹夫, 岩田 洋, 佐地 真育, 鈴木 誠, 間瀬 卓顕, 樋口 聡, 吉川 雅智, 田中 博之, 山崎 正雄, 宮内 克己, 山本 剛, 長尾 建, 高山 守正 : 学術委員会報告 亜急性心筋梗塞の臨床的特徴 : 東京都 CCU ネットワークデータベースからの報告—Clinical Features of Recent Myocardial Infarction : Insights from Tokyo CCU Network Database—第 38 回 東京 CCU 研究会 報告集. ICU と CCU = Japanese journal of intensive care medicine : 集中治療医学 2019; 43 (別冊) :S95-99.
- 144)星加 優, 高野 仁司, 久保田 芳明, 福泉 偉, 野間 さつき, 松田 淳也, 三軒 豪仁, 井守 洋一, 西城 由之, 中田 淳, 宮地 秀樹, 細川 雄亮, 太良 修平, 時田 祐吉, 山本 剛, 清水 渉 : 家族性コレステロール血症のない患者におけるアキレス腱肥厚と冠動脈アテローム性動脈硬化症の重症度との関連性. 日本心血管インターベンション治療学会抄録集 2019; 28 回:[MP5-006].
- 145)清水 渉, 相庭武司, 堀江稔, 野上昭彦, 蒔田直昌, 宮本恵宏, 牧山武, 森田宏, 中野由紀子, 林研至, 岩崎雄樹, 村田広茂 : 小児期遺伝性不整脈疾患の睡眠中突然死予防に関する研究 先天性QT延長症候群における遺伝子検査の有用性に関する研究. 小児期遺伝性不整脈疾患の睡眠中突然死予防に関する研究 平成 30 年度 総括・分担研究報告書 2019
- 146)萩原かな子, 岩崎雄樹, 新井俊貴, 石原翔, 蜂須賀誠人, 三室嶺, 小林典之, 丸有人, 藤本雄飛, 岡英一郎, 林洋史, 山本哲平, 村田広茂, 西樂顕典, 淀川顕司, 清水 渉 : 左上肺静脈遺残併存症例に対する心房細動カテーテルアブレーションの長期成績. 日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション委員会公開研究会プログラム・抄録集 2019; 2019
- 147)新井 正徳, 山本 剛, 吉井 久美, 岸川 洋昭, 清水 渉, 高橋 浩, 坂本 篤裕, 横田 裕行 : 当院における Medical Emergency Team(MET)導入後の活動状況. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :844.
- 148)細川 雄亮, 山本 剛, 谷田 篤史, 松田 淳也, 三軒 豪仁, 林 洋史, 中田 淳, 宮地 秀樹, 太良 修平, 時田 祐吉, 清水 渉 : 当院における重症肺塞栓症の治療成績と今後の課題. 心臓 2019; 51 (7) :753.
- 149)富永 直樹, 新井 正徳, 山本 剛, 吉井 久美, 岸川 洋昭, 清水 渉, 高橋 浩, 坂本 篤裕, 横田 裕行 : 当院における院内心停止の発生状況. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :743.
- 150)服部夏衣, 沼田香織, 村上智亮, 太良修平, 中澤靖元 : 循環器系組織工学材料を指向したシルクフィブロイン・カーボネート系ポリマー混合不織布の作製と分解性評価. 日本バイオマテリアル学会大会予稿集 2019; 41st
- 151)白壁章宏, 小林宣明, 岡崎大武, 柴田祐作, 合田浩紀, 内山沙央里, 谷憲一, 浅井邦也, 清水 渉 : 循環器系集中治療室における各種モニタリング. 日本集中治療医学会学術集会 2019; 46th
- 152)藤本竜平, 松田淳也, 細川雄亮, 中田淳, 三軒豪仁, 浅野和弘, 木村徳宏, 太良修平, 山本剛, 清水 渉 : 心タンポナーデによる閉塞性ショックから重度の低酸素性肝炎を呈した心筋梗塞後左室自由壁破裂の一例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2019; 40 (1)
- 153)松田 淳也, 中田 淳, 山本 剛, 藤本 雄飛, 塩村 玲子, 野間 さつき, 三軒 豪仁, 久保田 芳明, 井守 洋一, 西城 由之, 宮地 秀樹, 太良 修平, 細川 雄亮, 時田 祐吉, 高野 仁司, 清水 渉 : 心原性ショックを伴う急性心筋梗塞に対する Impella 補助の有効性に関する

- 検討. 日本心血管インターベンション治療学会抄録集 2019; 28 回:[MO71-002].
- 154)三軒 豪仁, 木村 徳弘, 関 俊樹, 福泉 偉, 塩村 玲子, 野間 さつき, 松田 淳也, 中村 有希, 久保田 芳明, 井守 洋一, 西城 由之, 中田 淳, 宮地 秀樹, 細川 雄亮, 太良 修平, 時田 祐吉, 山本 剛, 高野 仁司, 清水 渉 : 心原性ショックを呈した3枝病変合併重症大動脈弁狭窄症に対し、Impella 補助下に BAV、PCI を施行し、救命し得た一例. 日本心血管インターベンション治療学会抄録集 2019; 28 回:[MO104-001].
- 155)林洋史, 新井俊貴, 石原翔, 蜂須賀誠人, 三室嶺, 小林典之, 丸有人, 藤本雄飛, 岡英一郎, 萩原かな子, 山本哲平, 西樂顕典, 淀川顕司, 岩崎雄樹, 清水渉 : 心外膜側に限局した心室頻拍のリエントリー回路が同定された拡張相肥大型心筋症の 1 例. 日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション委員会公開研究会プログラム・抄録集 2019; 2019
- 156)丸 有人, 山本 哲平, 蜂須賀 誠人, 三室 嶺, 藤本 雄飛, 岡 英一郎, 淀川 顕司, 岩崎 雄樹, 清水 渉 : 心房細動アブレーション中に出現した、1 心拍毎に頻拍周期が交互に入れ替る心房頻拍の 1 症例. 心臓 2019; 51 (Suppl.1) :21.
- 157)小谷 英太郎, 赤尾 昌治, 清水 渉 : 心房細動患者における高血圧の意義と抗凝固療法中の血圧管理の重要性. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (1) :12-23. doi: 10.1272/manms.15.12.
- 158)小谷 英太郎 : 心房細動患者に対する血圧管理の重要性. Cardio-coagulation = カーディオコアギュレーション : 循環器における抗凝固療法 2020; 7 (1) :36-41.
- 159)村田広茂, 清水渉 : 心臓電気生理を理解して不整脈診療に活かす 11 QT 延長症候群に β 遮断薬をどう使うか?. Heart View 2019; 23 (6)
- 160)中田 淳, 山本 剛, 浅野 和弘, 木村 徳宏, 松田 淳也, 三軒 豪仁, 細川 雄亮, 太良 修平, 清水 渉 : 心血管病を診断・治療する新しいモダリティ 心原性ショック治療における新しい補助循環デバイス"Impella". 日本循環制御医学会総会プログラム・抄録集 2019; 40 回:39.
- 161)星加 優, 小谷 英太郎, 佐藤 達志, 西 祐吾, 澁谷 淳介, 鈴木 啓士, 黄 俊憲, 中野 博之, 森澤 太一郎, 清水 渉 : 急性冠症候群患者の 2 次予防における目標 LDL-C 値の達成率に関する検討. 日本成人病(生活習慣病)学会誌 2020; 46:83.
- 162)SHIRAKABE Akihiro, OKAZAKI Hirotake, SHIBATA Yusaku, GODA Hiroki, SHIGIHARA Syota, ASANO Kazuhiro, ASAI Kuniya, SHIMIZU Wataru : 急性心不全の臨床研究アプローチと最新基礎研究. 日本心血管内分泌代謝学会学術総会プログラム及び抄録集 2019; 23rd
- 163)小谷 英太郎 : 抗凝固療法の用法・用量 : ワルファリンと DOAC を症例により使い分ける (特集 心房細動の診断と治療のトピックス). 循環器内科 = Cardioangiology 2019; 86 (4) :427-435.
- 164)菊地舜, 岩崎雄樹, 丸有人, 藤本雄飛, 萩原かな子, 岡英一郎, 林洋史, 山本哲平, 淀川顕司, 林明聡, 清水渉, 吉村祐輝, 志村亜由香, 戸村泰規, 中山拓也, 山田知見, 豊富達智, 田高朋宏, 鈴木健一, 市場晋吾 : 拡張型心筋症に伴う Electrical storm に対して心腔内超音波画像ガイドによる高周波通電が有用であった一例. 日本不整脈心電学会学術大会プログラム・抄録集 2019; 66th
- 165)岩崎 雄樹 : 放射線透視"ニアゼロ"心房細動カテーテルアブレーション. 循環器内科 2020; 87 (3) :340-345.
- 166)泉 佑樹, 吉永 綾, 吉川 雅智, 時田 祐吉, 岩崎 雄樹, 本間 博, 清水 渉 : 日常臨床における心血管エコー計測項目の選択と計測方法:ガイドラインの使い方 多施設間における検査標準化のための工夫. 超音波医学 2019; 46 (Suppl.) :S268.
- 167)宮國 知世, 小宮山 英徳, 高野 雅充, 浅井 邦也, 國分 裕人, 堤 正将, 木内 一貴, 轟 崇弘, 池田 健, 松下 誠人, 小林 宣明, 清野 精彦, 清水 渉 : 末梢動脈疾患に対する下肢血行再建が筋肉量および糖代謝、脂質代謝に及ぼす影響. 日本心血管インターベンション治療学会抄録集 2019; 28 回:[MO138-002].
- 168)三軒 豪仁, 木村 徳弘, 塩村 玲子, 松田 淳也, 西城 由之, 中田 淳, 細川 雄亮, 太良 修平, 山本 剛, 高野 仁司, 清水 渉 : 東京都における三次救急選定された急性心筋梗塞の検討. 日本心血管インターベンション治療学会抄録集 2019; 28 回:[MO50-004].
- 169)小谷 英太郎, 金子 朋広, 藤井 仁美, 中村 弘之, 佐々部 一, 田村 豊, 清水 渉 : 特定健診における慢性腎臓病の重症度と新規心房細動発症率 多摩市医師会プロジェクト AF・CKD. 日本心臓病学会学術集会抄録 2019; 67 回:O-058.
- 170)小谷 英太郎, 金子 朋広, 藤井 仁美, 中村 弘之, 佐々部 一, 田村 豊, 清水 渉 : 特定健診受診者における心房細動有病率の年次推移 多摩市医師会プロジェクト AF. 心電図 2020; 40 (Suppl.2) :S-8.
- 171)太良修平, 坂田智恵美, 田中綾, 島田香寿美, 中澤靖元 : 理想的な血管再生を誘導する多層性シートの創製. 多血小板血漿(PRP)療法研究会プログラム・抄録集 2019; 11th
- 172)坂田智恵美, 太良修平, 田中綾, 島田香寿美, 中澤靖元 : 生体吸収性動脈グラフトを指向した階層型シルクフィブロイン基板材料の開

- 発. 日本バイオマテリアル学会大会予稿集 2019; 41st
- 173)田中 匡成, 久保田 芳明, 内山 沙央里, 高圓 雅博, 村田 広茂, 時田 祐吉, 岩崎 雄樹, 清水 渉 : 産褥期に心不全を発症した先天性心疾患術後の症例. 日本内科学会関東地方会 2019; 655 回:47.
- 174)池上 晴彦, 大塚 俊昭, 小谷 英太郎, 酒部 宏一, 高見 光央, 幡野 浩一, 弘中 学, 深井 健一, 吉本 一哉 : 睡眠の質の低下は発作性心房細動と関連する 玉川医師会心房細動横断研究から. 日本睡眠学会定期学術集会プログラム・抄録集 2019; 44 回:224.
- 175)大野 敦, 植木 彬夫, 小谷 英太郎, 宮川 高一, 宮城 調司 : 神経障害 糖尿病神経障害の薬物療法に関するアンケート調査結果の年次推移(第2報) 多摩地域での 2012 年と 2018 年の比較. 糖尿病合併症 2019; 33 (Suppl.1) :190.
- 176)淀川 顕司 : 福島論文に対する Editorial Comment. 心臓 2020; 52 (3) :306.
- 177)大野 敦, 植木 彬夫, 小谷 英太郎, 宮川 高一, 宮城 調司 : 糖尿病患者の脂質異常症管理方針に関するアンケート調査結果の年次推移と PCSK9 阻害薬の使用状況. 肥満研究 2019; 25 (Suppl.) :268.
- 178)大野 敦, 植木 彬夫, 小谷 英太郎, 宮川 高一, 宮城 調司, 糖尿病治療多摩懇話会 : 糖尿病神経障害の薬物療法に関するアンケート調査 多摩地域での 2012,18 年の結果の比較. 糖尿病 2019; 62 (Suppl.1) :S-237.
- 179)黒木 識敬, 長尾 建, 高山 忠輝, 細川 雄亮, 足田 匡史, 中田 淳, 桑原 政成, 山本 剛, 高山 守正, 東京都 CCU ネットワーク学術委員会 : 経皮的心肺補助装置(ECMO/PCPS)を必要とした心原性ショック・心停止に対する大動脈内バルーンポンピング(IABP)の併用の有効性について. ICU と CCU 2019; 43 (別冊) :S36-S37.
- 180)大野 敦, 足立 淳一郎, 植木 彬夫, 小谷 英太郎, 宮川 高一, 宮城 調司 : 腎症 多摩地域における糖尿病と CKD に関するアンケート調査(第3報). 糖尿病合併症 2019; 33 (Suppl.1) :199.
- 181)荒川 将史, 戸田 諭補, 小澤 明子, 谷 憲一, 浅井 那也, 山崎 峰雄, 木村 和美 : 腎細胞癌に対しニボルマブ、イビリムマブ投与2週間後に重症筋無力症、筋炎、心筋炎を発症し全経過12日で死亡した77歳男性例. 臨床神経学 2019; 59 (7) :471.
- 182)中込 裕太, 宮地 秀樹, 渡邊 将央, 関 俊樹, 岡 英一郎, 西樂 顕典, 林 洋史, 村田 広茂, 清水 渉 : 著明な低心機能を伴う心不全管理を長期にわたり管理しえた野生型 ATTR アミロイドーシスの1例. 日本内科学会関東地方会 2019; 656 回:38.
- 183)大高 永字, 宮地 秀樹, 脇田 真希, 石原 翔, 堤 正将, 泉 佑樹, 清水 渉, 石井 庸介, 鈴木 憲治, 新田 隆 : 薬物抵抗性の Streptococcus sanguis による亜急性感染性心内膜炎に対し複数回の外科手術で治癒した1例. 日本内科学会関東地方会 2019; 650 回:30.
- 184)小柳英里, 坂田智恵美, 太良修平, 中澤靖元 : 血管再生を指向したシルクフィブロイン傾斜材料の開発. 繊維学会予稿集 2019; 74 (2 (CD-ROM))
- 185)大森郁子, 山口博樹, 太良修平, 黄俊憲, 山本剛, 遠矢嵩, 名島悠峰, 垣花和彦, 大橋一輝, 猪口孝一 : 造血幹細胞移植(SCT)に伴って発症したシクロフォスファミド(CY)による心筋症の3例. 日本内科学会雑誌 2019; 108 (Suppl.) :201.
- 186)大森郁子, 山口博樹, 太良修平, 黄俊憲, 中田淳, 山本剛, 遠矢嵩, 土岐典子, 名島悠峰, 垣花和彦, 丸毛淳史, 山中聡, 阪口正洋, 藤原裕介, 脇田知志, 岡部雅弘, 岡本宗雄, 由井俊輔, 大橋一輝, 猪口孝一 : 造血幹細胞移植に伴って発症したシクロフォスファミドによる心筋症の3例. 日本造血細胞移植学会総会プログラム・抄録集 2019; 41st
- 187)中田 淳, 藤本 雄飛, 塩村 玲子, 松田 淳也, 三軒 豪仁, 西城 由之, 太良 修平, 細川 雄亮, 山本 剛, 高野 仁司, 清水 渉 : 重症急性心筋梗塞に挑む Impella を用いた重症心筋梗塞治療. 日本心臓病学会学術集会抄録 2019; 67 回:S-6.
- 188)小谷 英太郎 : 関塚論文に対する Editorial Comment 日本人の心房細動有病率とリスク因子. 心臓 2019; 51 (12) :1269.
- 189)時田 祐吉, 内山 沙央里, 萩原 かな子, 小玉 麻衣, 吉永 綾, 泉 佑樹, 吉川 雅智, 本間 博, 清水 渉 : 非心臓手術前ドブタミン負荷心エコー図所見と周術期心筋傷害の関連に関する検討. 超音波医学 2019; 46 (Suppl.) :S614.
- 190)福泉 偉, 時田 祐吉, 塩村 玲子, 野間 さつき, 松田 淳也, 久保田 芳明, 井守 洋一, 西城 由之, 中田 淳, 宮地 秀樹, 太良 修平, 高野 仁司, 清水 渉 : 順行性及び逆行性アプローチによる慢性完全閉塞性病変治療後の慢性期ステント部血管内視鏡所見に関する検討. 日本冠疾患学会誌 2019; (Suppl.2019) :168.
- 191)淀川 顕司, 小原 俊彦, 八島 正明, 清水 渉 : 高分解能心電図を用いた心サルコイドーシスの不整脈基質評価法 ウェーブレット解析を用いた検討. 心電図 2020; 40 (Suppl.2) :S-50.
- 192)高木 元, 桐木 園子, 太良 修平, 宮地 秀樹, 宮本 正章, 清水 渉 : 高気圧酸素治療の最新エビデンスレポート 2017-2018 臨床 下肢虚血. 日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 2019; 54 (4) :217.

著書

- 1) 高野 仁司 : 〔分担執筆〕閉塞性肥大型心筋症 別冊日本臨床 循環器症候群 I (第3版) . 2019
- 2) 高木 元 : 〔分担執筆〕糖尿病性足病変 循環器症候群. 2019; pp.588-591, 日本臨床社.
- 3) 植竹 俊介, 宮内 靖史 :心房細動に対するホットバルーンアブレーション治療 (特集 不整脈非薬物治療の現状と未来). 2019,循環器内科. 85巻5号 pp.619-624. 2019.5

学会発表

- 1) Yu Hoshika, Hitoshi Takano, Yoshiaki Kubota, Satsuki Noma, Jyunya Matsuda, Hideto, Sangen, Yoichi Imori, Yoshiyuki Saiki, Jun Nakata, Hideki Miyachi, Yusuke Hosokawa, Shuhei Tara, Yukichi Tokita, Takeshi Yamamoto, Wataru Shimizu : Achilles tendon thickness is associated with the severity of coronary atherosclerosis in patients without familial hypercholesteremia. 第28回日本心血管インターベンション治療学会 CVIT 2019, 2019. 9.
- 2) 齋藤 恒徳 : Comparison between ultrastructural features and causative genes of dilated cardiomyopathy detected by whole exome sequencing. American Heart Association Scientific Sessions 2019, 2019. 11.
- 3) Masato Hachisuka, Hiroshi Hayashi, Rei Mimuro, Yujin Maru, Yuhi Fujimoto, Eiichiro Oka, Kanako Hagiwara, Ippei Tsuboi, Teppei Yamamoto, Kenji Yodogawa, Yu-ki Iwasaki, Michio Ogano, Meiso Hayashi, Wataru Shimizu : Efficacy and Safety of Radiofrequency Catheter Ablation for Atrial Fibrillation in Patients undergoing Hemodialysis. European Society of Cardiology Congress, 2019. 8.
- 4) Hiroshi Hayashi, Toshiki Arai, Kakeru Ishihara, Masato Hachisuka, Rei Mimuro, Noriyuki Kobayashi, Yujin Maru, Yuhi Fujimoto, Eiichiro Oka, Kanako Hagiwara, Teppei Yamamoto, Hiroshige Murata, Kenji Yodogawa, Yu-ki Iwasaki, Wataru Shimizu : High Incidence of Atrial Tachycardia Following Catheter Ablation of Atrial Fibrillation in Patients with Hypertrophic Cardiomyopathy. The 84th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2020. 3.
- 5) 蜂須賀誠人, 林 洋史, 三室 嶺, 丸 有人, 藤本雄飛, 岡 英一郎, 萩原かな子, 山本哲平, 淀川顕司, 岩崎雄樹, 清水 渉 : ICD/CRT-D 植込み患者における経口アミオダロン減量中止の臨床転帰. 第五回不整脈薬物療法講演会, 2019. 4.
- 6) 蜂須賀誠人, 林 洋史, 三室 嶺, 丸 有人, 藤本雄飛, 岡 英一郎, 萩原かな子, 山本哲平, 淀川顕司, 岩崎雄樹, 八島正明, 清水 渉 : ICD/CRT-D 植込み患者における経口アミオダロン減量中止後の臨床転帰. 日本ホルター・ノンインベシブ心電学研究会, 2019. 6.
- 7) 太良 修平 : Multidisciplinary approach to an intractable critical limb ischemia. Asian Pacific Society of Cardiology 2019 Congress, 2019. 5.
- 8) 高木 元 : NST による臨床栄養評価—循環器での応用—. 私立医科大学病院管理栄養士研修会 (第6回) . (東京), 2019. 11.
- 9) Masato Hachisuka, Yuhi Fujimoto, Yu-ki Iwasaki, Rei Mimuro, Yujin Maru, Eiichiro Oka, Hiroshi Hayashi, Hiroshige Murata, Teppei Yamamoto, Akinori Sairaku, Kenji Yodogawa, Wataru Shimizu : Perioperative Coronary Artery Spasms in Patients with Radiofrequency Catheter Ablation of Atrial Fibrillation Under Deep Sedation. American Heart Association's Scientific Sessions, 2019. 11.
- 10) Masato Hachisuka, Hiroshi Hayashi, Toshiki Arai, Kakeru Ishihara, Rei Mimuro, Yujin Maru, Yuhi Fujimoto, Eiichiro Oka, Kanako Hagiwara, Hiroshige Murata, Teppei Yamamoto, Akinori Sairaku, Kenji Yodogawa, Yu-ki Iwasaki, Wataru Shimizu : The Influence and Safety of Oral Amiodarone Discontinuation on Appropriate and Inappropriate Shock After Implantation of Implantable Cardioverter Defibrillator. Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session, 2019. 10.
- 11) 蜂須賀誠人, 林 洋史, 三室 嶺, 丸 有人, 藤本雄飛, 岡 英一郎, 萩原かな子, 村田広茂, 山本哲平, 西樂顕典, 淀川顕司, 岩崎雄樹, 宮内靖史, 清水 渉 : VT ストームに対するアブレーション手技中にヘパリン起因性血小板減少症 (HIT) に伴う心筋梗塞を合併し, 早期の血行再建により対処しえた症例. カテーテルアブレーション関連秋季大会, 2019. 11.
- 12) 高木 元 : 世界に先駆ける遺伝子治療への CVT の役割. ECHO AWAJI CV IMAGING 2019. (淡路島), 2019. 11.
- 13) 星加優, 久保田芳明, 茂澤幸右, 脇田真希, 高木元, 宮本正章, 清水渉 : 亜急性心筋梗塞を契機に糖尿病性ケトシドーシスを発症し救命し得た一例. 第57回日本糖尿病学会 関東甲信越地方会, 2020. 1.
- 14) 高野雅充 : 冠動脈内視鏡のもたらす知見. 第6回日本心血管脳卒中学会, 2019. 6.
- 15) 高木 元, 宮本正章, 太良修平, 高木郁代, 清水渉 : 包括的慢性下肢虚血治療の要点と展望. 日本創傷治療学会 (第49回) . (東京), 2019. 12.

- 16) 医療現場で求められる 循環器系医療材料. つくば医工連携フォーラム 2020, 2020. 1.
- 17) 高木 元 : 安全なダイビングのために知っておきたい循環器知識. 第 21 回安全潜水を考える会 研究集会. (淡路島), 2019. 11.
- 18) 理想的な血管再生を誘導する 多層性シートの創製. 第 9 回 DDS 再生医療研究会, 2019. 12.
- 19) 高木 元 : 糖尿病足病変と栄養の関わり. 私立医科大学病院管理栄養士研修会 (第 6 回). (東京), 2019. 11.
- 20) 臨床現場で求められる医療材料. 付加価値向上を目指した革新的材料開発プラットフォーム, 2019. 4.
- 21) 高野雅充 : 血管内視鏡による診断. 第 33 回 日本心臓血管内視鏡学会 (第 17 回 講習会), 2019. 10.
- 22) 重症心血管疾患への集学的治療における closed CCU の 役割から心臓血管系集中治療医の育成を考える. 第 47 回日本集中治療医学会学術集会, 2020. 3.

3 神経内科学分野

研究業績

論文等

- 1) Yuki Sakamoto, Chikako Nito, Yasuhiro Nishiyama, Satoshi Suda, Noriko Matsumoto, Junya Aoki, Takashi Shimoyama, Takuya Kanamaru, Kentaro Suzuki, Yuki Go, Masahiro Mishina, Kazumi Kimura : Accurate etiology diagnosis in patients with stroke and atrial fibrillation: A role for brain natriuretic peptide. *Journal of the neurological sciences* 2019; 400:153-157. doi: 10.1016/j.jns.2019.03.031.
- 2) Junya Aoki, Yasuyuki Iguchi, Takao Urabe, Hiroshi Yamagami, Kenichi Todo, Shigeru Fujimoto, Koji Idomari, Nobuyuki Kaneko, Takeshi Iwanaga, Tadashi Terasaki, Ryota Tanaka, Nobuaki Yamamoto, Akira Tsujino, Koichi Nomura, Koji Abe, Masaaki Uno, Yasushi Okada, Hideki Matsuoka, Sen Yamagata, Yasumasa Yamamoto, Toshiro Yonehara, Takeshi Inoue, Yoshiki Yagita, Kazumi Kimura : Acute Aspirin Plus Cilostazol Dual Therapy for Noncardioembolic Stroke Patients Within 48 Hours of Symptom Onset. *Journal of the American Heart Association* 2019; 8 (15) :e012652. doi: 10.1161/JAHA.119.012652.
- 3) Okuno T, Aoki J, Tanabe K, Nakao K, Ozaki Y, Kimura K, Ako J, Noguchi T, Yasuda S, Suwa S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita T, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Mano T, Hirata K, Shibata Y, Owa M, Tsujita K, Funayama H, Kokubu N, Kozuma K, Uemura S, Tobaru T, Saku K, Ohshima S, Nishimura K, Miyamoto Y, Ogawa H, Ishihara M, J-MINUET Investigators : Admission Heart Rate Is a Determinant of Effectiveness of Beta-Blockers in Acute Myocardial Infarction Patients. *Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society* 2019; 83 (5) :1054-1063. doi: 10.1253/circj.CJ-18-0995.
- 4) Yusuke Toda, Mineo Yamazaki, Yukiko Ozawa, Tomohiro Ota, Kazumi Kimura : Adult-onset Rasmussen's encephalitis with persistent infection of herpes simplex virus. *eNeurologicalSci* 2019; 17:100210. doi: 10.1016/j.ensci.2019.100210.
- 5) Aoki J, Suzuki K, Kanamaru T, Kutsuna A, Katano T, Takayama Y, Nishi Y, Takeshi Y, Nakagami T, Numao S, Abe A, Suda S, Nishiyama Y, Kimura K : Association between initial NIHSS score and recanalization rate after endovascular thrombectomy. *Journal of the neurological sciences* 2019; 403:127-132. doi: 10.1016/j.jns.2019.06.033.
- 6) Joshua Santucci, Takashi Shimoyama, Ken Uchino : Can Normal Electrocardiogram Rule Out Newly Diagnosed Atrial Fibrillation in Ischemic Stroke Patients. *STROKE* 2020; 51
- 7) Takeshi Y, Suda S, Shimoyama T, Aoki J, Suzuki K, Okubo S, Mizuta I, Mizuno T, Kimura K : Cerebral Autosomal Dominant Arteriopathy With Subcortical Infarcts and Leukoencephalopathy Associated With a Novel In-Frame Mutation in the NOTCH3 Gene in a Japanese Patient. *Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association* 2020; 29 (1) :104482. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2019.104482.
- 8) Genki Usui, Yohei Takayama, Hirotsugu Hashimoto, Takehiro Katano, Masahiro Yanagiya, Masashi Kusakabe, Tamaki Miura, Jun Matsumoto, Hajime Horiuchi, Seiji Okubo : Cerebral Embolism Caused by Thrombus in the Pulmonary Vein Stump after Left Lower Lobectomy: A Case Report and Literature Review. *Internal medicine (Tokyo, Japan)* 2019; 58 (9) :1349-1354. doi: 10.2169/internalmedicine.1962-18.
- 9) Satoshi Suda, Junya Aoki, Takashi Shimoyama, Takuya Kanamaru, Kanako Muraga, Kentaro Suzuki, Yuki Sakamoto, Akihito Kutsuna, Takuya Nishimura, Noriko Matsumoto, Chikako Nito, Yasuhiro Nishiyama, Masahiro Mishina, Kazumi Kimura : Characteristics of Acute Spontaneous Intracerebral Hemorrhage in Patients Receiving Oral Anticoagulants. *Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association* 2019; 28 (4) :1007-1014. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2018.12.013.
- 10) 渡辺 翔吾, 杉本 直三, 木村 裕一, 根本 充貴, 石井 一成, 三品 雅洋 : DaTSCAN SPECT 画像を用いた機械学習によるパーキンソン症候群の診断支援システムの多施設間頑健性の評価. システム制御情報学会研究発表講演会講演論文集 2019; 63:453-455.
- 11) Sakamoto Y, Nishiyama Y, Iwasaki YK, Daida H, Toyoda K, Kitagawa K, Okumura K, Kusano K, Hagiwara N, Fujimoto S, Miyamoto S, Otsuka T, Iguchi Y, Kanamaru T, Yamamoto T, Kaburagi J, Kimura T, Matsumoto T, Kimura K, Shimizu W,

- STABLED Study Investigators : Design and rationale of the STroke secondary prevention with catheter ABLation and EDoxaban clinical trial in patients with non-valvular atrial fibrillation: The STABLED study. *Journal of cardiology* 2019; 74 (6) :539-542. doi: 10.1016/j.jjcc.2019.06.002.
- 12) 坂本 悠記, 鈴木 健太郎, 青木 淳哉, 金丸 拓也, 片野 雄大, 澤田 和貴, 沼尾 紳一郎, 木村 龍太郎, 木村 和美 : Door-to-Reperfusion 短縮と術者の負担・疲労軽減を目指した院内体制構築の試み. *脳血管内治療* 2019; 4 (Suppl.) :S224.
- 13) Kazunori Toyoda, Shinichiro Uchiyama, Takenori Yamaguchi, J Donald Easton, Kazumi Kimura, Haruhiko Hoshino, Nobuyuki Sakai, Yasushi Okada, Kortaro Tanaka, Hideki Origasa, Hiroaki Naritomi, Kiyohiro Houkin, Keiji Yamaguchi, Masanori Isobe, Kazuo Minematsu : Dual antiplatelet therapy using cilostazol for secondary prevention in patients with high-risk ischaemic stroke in Japan: a multicentre, open-label, randomised controlled trial. *The Lancet. Neurology* 2019; 18 (6) :539-548. doi: 10.1016/S1474-4422(19)30148-6.
- 14) Satoshi Suda, Kanako Muraga, Akiko Ishiwata, Takuya Nishimura, Junya Aoki, Takuya Kanamaru, Kentaro Suzuki, Yuki Sakamoto, Takehiro Katano, Koichiro Nagai, Seira Hatake, Sera Sato, Noriko Matsumoto, Chikako Nito, Yasuhiro Nishiyama, Masahiro Mishina, Kazumi Kimura : Early Cognitive Assessment Following Acute Stroke: Feasibility and Comparison between Mini-Mental State Examination and Montreal Cognitive Assessment. *Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association* 2020; 29 (4) :104688. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2020.104688.
- 15) Satoshi Suda, Takuya Nishimura, Akiko Ishiwata, Kanako Muraga, Junya Aoki, Takuya Kanamaru, Kentaro Suzuki, Yuki Sakamoto, Takehiro Katano, Yasuhiro Nishiyama, Masahiro Mishina, Kazumi Kimura : Early Cognitive Impairment after Minor Stroke: Associated Factors and Functional Outcome. *Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association* 2020; 29 (5) :104749. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2020.104749.
- 16) David Baker, Dinesh Jillella, Takashi Shimoyama, Ken Uchino : Effect of Early Blood Pressure Reduction on Infarct Size in Patients With Large Vessel Occlusion. *STROKE* 2020; 51
- 17) Toshiyuki Hayashi, Masahiro Mishina, Masanori Sakamaki, Yuki Sakamoto, Satoshi Suda, Kazumi Kimura : Effect of brain atrophy in quantitative analysis of 123I-ioflupane SPECT. *Annals of nuclear medicine* 2019; 33 (8) :579-585. doi: 10.1007/s12149-019-01367-4.
- 18) Shoji Yokobori, Kazuma Sasaki, Takahiro Kanaya, Yutaka Igarashi, Ryuta Nakae, Hidetaka Onda, Tomohiko Masuno, Satoshi Suda, Kota Sowa, Masataka Nakajima, Markus S Spurlock, Lee Onn Chieng, Tom G Hazel, Karl Johe, Shyam Gajavelli, Akira Fuse, M Ross Bullock, Hiroyuki Yokota : Feasibility of Human Neural Stem Cell Transplantation for the Treatment of Acute Subdural Hematoma in a Rat Model: A Pilot Study. *Frontiers in neurology* 2019; 10:82. doi: 10.3389/fneur.2019.00082.
- 19) Takaya Kitano, Kenichi Todo, Shinichi Yoshimura, Kazutaka Uchida, Hiroshi Yamagami, Nobuyuki Sakai, Manabu Sakaguchi, Hajime Nakamura, Haruhiko Kishima, Hideki Mochizuki, Masayuki Ezura, Yasushi Okada, Kazuo Kitagawa, Kazumi Kimura, Makoto Sasaki, Norio Tanahashi, Kazunori Toyoda, Eisuke Furui, Yuji Matsumaru, Kazuo Minematsu, Takeshi Morimoto : Futile complete recanalization: patients characteristics and its time course. *Scientific reports* 2020; 10 (1) :4973. doi: 10.1038/s41598-020-61748-y.
- 20) Yuki Sakamoto, Seiji Okubo, Chikako Nito, Yasuhiro Nishiyama, Satoshi Suda, Noriko Matsumoto, Junya Aoki, Takashi Shimoyama, Takuya Kanamaru, Kanako Muraga, Kentaro Suzuki, Masahiro Mishina, Kazumi Kimura : Ischemic stroke during anticoagulant interruption by healthcare professionals in stroke patients with atrial fibrillation. *Journal of the neurological sciences* 2019; 400:113-118. doi: 10.1016/j.jns.2019.03.018.
- 21) Satoshi Suda, Yasuyuki Iguchi, Shigeru Fujimoto, Yoshiki Yagita, Yu Kono, Masayuki Ueda, Kenichi Todo, Tomoyuki Kono, Takayuki Mizunari, Mineo Yamazaki, Takao Kanzawa, Seiji Okubo, Kimito Kondo, Nobuhito Nakajima, Takeshi Inoue, Takeshi Iwanaga, Makoto Nakajima, Ichiro Imafuku, Kensaku Shibazaki, Masahiro Mishina, Koji Adachi, Koichi Nomura, Masataka Nakajima, Hiroshi Yaguchi, Sadahisa Okamoto, Masato Osaki, Yuka Terasawa, Takehiko Nagao, Kazumi Kimura : Multicenter Prospective Analysis of Stroke Patients Taking Oral Anticoagulants: The PASTA Registry - Study Design and Characteristics. *Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association* 2019; 28 (12) :104456. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2019.104456.
- 22) 青木 淳哉, 鈴木 健太郎, 金丸 拓也, 沓名 章仁, 中上 徹, 沼尾 紳一郎, 西山 康裕, 木村 和美 : NIHSS スコアは血栓回収療法による再開通現象の予測因子である. *臨床神経学* 2019; 59 (Suppl.) :S346.

- 23) Aoki J, Suzuki K, Suda S, Okubo S, Mishina M, Kimura K : Negative-FLAIR vascular hyperintensities serve as a marker of no recanalization during hospitalization in acute stroke. *Journal of clinical neuroscience : official journal of the Neurosurgical Society of Australasia* 2020; 72:233-237. doi: 10.1016/j.jocn.2019.11.032.
- 24) 永山 寛, 狩野 修, 村上 秀友, 濱田 雅, 戸田 達史, 仙石 錬平, 下 泰司 : Parkinson 病の気分障害における istradefylline の効果. *パーキンソン病・運動障害疾患コンgresプログラム・抄録集* 2019; 13 回:128.
- 25) Lucy Q. Zhang, Joshua Santucci, Takashi Shimoyama, L. Samuel Handshoe, Bhagee Mulpur, Ken Uchino : Radiologic Characteristic of Perioperative Large Vessel Occlusions in Patients Who Underwent Transcatheter and Surgical Valve Replacement. *STROKE* 2020; 51
- 26) Yuki Sakamoto, Kentaro Suzuki, Arata Abe, Junya Aoki, Takuya Kanamaru, Yohei Takayama, Takehiro Katano, Akihito Kutsuna, Satoshi Suda, Yasuhiro Nishiyama, Chikako Nito, Kazumi Kimura : Reducing door-to-reperfusion time in acute stroke endovascular therapy using magnetic resonance imaging as a screening modality. *Journal of neurointerventional surgery* 2020; 12 (11) :1080-1084. doi: 10.1136/neurintsurg-2019-015625.
- 27) Takashi Shimoyama, Sibaji Gaj, Kunio Nakamura, Shivakrishna Kovi, Ken Uchino : Risk Factors and Clinical Significances of the Quantitative CTA Vascular Calcification in Ischemic Stroke Patients. *STROKE* 2020; 51
- 28) Masahiro Yasaka, Kazuo Minematsu, Kazunori Toyoda, Etsuro Mori, Teruyuki Hirano, Toshimitsu Hamasaki, Hiroshi Yamagami, Takehiko Nagao, Shinichi Yoshimura, Shinichiro Uchiyama : Rivaroxaban administration after acute ischemic stroke: The RELAXED study. *PloS one* 2019; 14 (2) :e0212354. doi: 10.1371/journal.pone.0212354.
- 29) Ryotaro Konoike, Keijiro Suzuki, Ken Tanizawa, Satoshi Suda, Hiroyuki Matsuura, Shu Namiki, Hitoshi Kawashima, Kazuhiro Ikeda : SiN/Si double-layer platform for ultralow-crosstalk multiport optical switches. *Optics express* 2019; 27 (15) :21130-21141. doi: 10.1364/OE.27.021130.
- 30) Yasuhiro Nishiyama, Masayuki Ueda, Kanako Muraga, Takahiro Ota, Hiroshi Horikawa, Kazumi Kimura : Successful endovascular recanalization of massive cerebral venous sinus thrombosis in a patient with tuberous sclerosis and protein S deficiency: a case report. *Oxford medical case reports* 2019; 2019 (7) :omz060. doi: 10.1093/omcr/omz060.
- 31) Kentaro Suzuki, Kazumi Kimura, Masataka Takeuchi, Masafumi Morimoto, Ryuzaburo Kanazawa, Yuki Kamiya, Keigo Shigeta, Norihiro Ishii, Yohei Takayama, Yorio Koguchi, Tomoji Takigawa, Mikito Hayakawa, Takahiro Ota, Seiji Okubo, Hiromichi Naito, Kazunori Akaji, Noriyuki Kato, Masato Inoue, Teruyuki Hirano, Kazunori Miki, Toshihiro Ueda, Yasuyuki Iguchi, Shigeru Fujimoto, Toshiaki Otsuka, Yuji Matsumaru : The randomized study of endovascular therapy with versus without intravenous tissue plasminogen activator in acute stroke with ICA and M1 occlusion (SKIP study). *International journal of stroke : official journal of the International Stroke Society* 2019; 14 (7) :752-755. doi: 10.1177/1747493019840932.
- 32) Suda Satoshi, Kazumi Kimura : Therapeutic potential of AMPA receptor antagonist perampanel against cerebral ischemia: beyond epileptic disorder. *Neural Regeneration Research* 2019; 14 (9) :1525-1526. doi: 10.4103/1673-5374.255964.
- 33) Takashi Shimoyama, Takahiro Sato, Yuki Sakamoto, Koichiro Nagai, Satoshi Suda, Yasuhiro Nishiyama, Kazumi Kimura : Urinary Biomarker of Kidney Tubular Function, Risk of Acute Kidney Injury, and Mortality in Acute Stroke Patients. *STROKE* 2020; 51
- 34) Takashi Shimoyama, Kunio Nakamura, Sibaji Gaj, Shivakrishna Kovi, Ken Uchino : Vascular Calcification, Atherosclerosis Burden, and Stroke Mechanism in Ischemic Stroke. *STROKE* 2020; 51
- 35) Vincent J Huber, Hironaka Igarashi, Satoshi Ueki, Mika Terumitsu-Tsujita, Chikako Nito, Ken Ohno, Yuji Suzuki, Kosuke Itoh, Ingrid L Kwee, Tsutomu Nakada : Visualizing the Distribution of Matrix Metalloproteinases in Ischemic Brain Using In Vivo 19F-Magnetic Resonance Spectroscopic Imaging. *Contrast media & molecular imaging* 2019; 2019:8908943. doi: 10.1155/2019/8908943.
- 36) Akiko Ozawa, Mineo Yamazaki, Yusuke Toda, Takuya Ebata, Seiichiro Mine, Kazumi Kimura : [Successful palliative surgical treatment for drug-resistant epilepsy after anti-N-methyl-D-aspartate (NMDA) receptor encephalitis: Two case reports]. *Rinsho shinkeigaku = Clinical neurology* 2020; 60 (1) :32-36. doi: 10.5692/clinicalneuro.cn-001266.
- 37) 山崎 峰雄 : 【新時代「令和」の前頭側頭葉変性症はいずこへ】前頭側頭葉変性症と関連疾患 認知症を伴う運動ニューロン疾患 運動ニューロン疾患型前頭側頭型認知症. *老年精神医学雑誌* 2019; 30 (10) :1145-1150.
- 38) 山崎 峰雄 : 【認知症対策の基礎と臨床 アルツハイマー型認知症を中心に】アルツハイマー病の疫学と診断の現状と課題. *ファルマシア*

- 2019; 55 (9) :833-837.
- 39) 長井 弘一郎, 下山 隆, 山口 博樹, 坂本 悠記, 須田 智, 西山 康弘, 木村 和美 : プライマリーケア医が知っておくべき"治療可能な"2次性頭痛 慢性骨髄増殖性腫瘍と頭痛. 日本頭痛学会誌 2019; 46 (2) :370.
- 40) 北里 美南子, 畠 星羅, 鈴木 静香, 酒巻 雅典, 三品 雅洋, 木村 和美 : 両側性水平注視麻痺で発症した多発性硬化症の一例. 臨床神経学 2019; 59 (Suppl.) :S462.
- 41) 沼尾 紳一郎, 鈴木 健太郎, 片野 雄大, 金丸 拓也, 青木 淳哉, 西山 康裕, 木村 和美 : 中大脳動脈開存内頸動脈閉塞例に対する血行再建術後の転帰関連因子の検討. 脳血管内治療 2019; 4 (Suppl.) :S215.
- 42) 杓名 章仁, 鈴木 健太郎, 沼尾 紳一郎, 竹子 優歩, 片野 雄大, 金丸 拓也, 齋藤 智成, 青木 淳哉, 西山 康裕, 大久保 誠二, 木村 和美 : 主幹動脈閉塞を伴う脳梗塞急性期に対する血管内治療後の虚血再灌流傷害に対する局所脳冷却灌流療法の試み. 脳血管内治療 2019; 4 (Suppl.) :S254.
- 43) 曾原 康二, 関根 鉄郎, 館野 周, 水村 直, 永山 寛, 須田 匡也, 桑子 智之, 桐山 智成, 福嶋 善光, 大久保 善郎, 汲田 伸一郎 : 健常者に対する DAT SPECT と DAT PET の線条体集積比の比較検討 PNEURO と Da TView、DaTQUANT による解析. 核医学 2019; 56 (Suppl.) :S162.
- 44) 青木 淳哉, 鈴木 健太郎, 金丸 拓也, 片野 雄大, 杓名 章仁, 西山 康裕, 木村 和美 : 動脈硬化性の内頸動脈閉塞例に対する急性期血行再建術. 脳血管内治療 2019; 4 (Suppl.) :S134.
- 45) 高橋瑞穂, 松本典子, 西村拓哉, 村賀香名子, 須田智, 西山康裕, 木村和美 : 卵円孔開存を伴う脳梗塞症例の再発に関する検討. 日本心血管脳卒中学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 6th
- 46) 沼尾紳一郎, 鈴木健太郎, 駒井侯太, 西村拓哉, 藤澤洋輔, 金丸拓也, 熊谷智昭, 須田智, 西山康裕, 仁藤智香子, 永山寛, 木村和美 : 同時に脳塞栓症と肺血栓塞栓症を発症した肺脳卒中の1例. 日本神経学会学術大会プログラム・抄録集 2019; 60th (Suppl.) :450-S323.
- 47) 沼尾 紳一郎, 鈴木 健太郎, 駒井 侯太, 西村 拓哉, 藤澤 洋輔, 金丸 拓也, 熊谷 智昭, 須田 智, 西山 康裕, 仁藤 智香子, 永山 寛, 木村 和美 : 同時に脳塞栓症と肺血栓塞栓症を発症した肺脳卒中の1例. 臨床神経学 2019; 59 (Suppl.) :S323.
- 48) 鈴木 文昭, 鈴木 健太郎, 片野 雄大, 沼尾 紳一郎, 澤田 和貴, 坂本 悠記, 金丸 拓也, 青木 淳哉, 西山 康裕, 木村 和美 : 回収血栓病理によりアスペルギルスによる血管閉塞と診断し得た左内頸動脈閉塞の一例. 脳血管内治療 2019; 4 (Suppl.) :S333.
- 49) 鈴木 亨尚, 杓名 章仁, 仁藤 智香子, 長井 弘一郎, 青木 淳哉, 西山 康裕, 永山 寛, 木村 和美 : 外眼筋麻痺が先行し、心筋症、呼吸筋麻痺を呈した筋サルコイドーシスの1例. 日本内科学会関東地方会 2019; 650 回:42.
- 50) 櫻庭 未多, 渡邊 晋二, 鈴木 幹人, 名和田 隆司, 五野 貴久, 桑名 正隆, 駒井 侯太, 須田 智, 西山 康裕, 木村 和美, 田村 秀人 : 小脳・脳幹病変初発の進行性多巣性白質脳症を合併した全身性エリテマトーデスの1例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :267.
- 51) 下山 隆, 佐藤 貴洋, 坂本 悠記, 須田 智, 西山 康裕, 木村 和美 : 尿中 L-FABP は急性期脳梗塞患者の急性腎障害発症を予測するバイオマーカーである. 臨床神経学 2019; 59 (Suppl.) :S228.
- 52) 富安 泰生, 金丸 拓也, 青木 淳哉, 鈴木 健太郎, 片野 雄大, 澤田 和貴, 坂本 悠記, 沼尾 紳一郎, 木村 龍太郎, 高橋 康大, 木村 和美 : 左上腕動脈閉塞症に対し頭蓋内血栓回収デバイスを用いた1例. 脳血管内治療 2019; 4 (Suppl.) :S336.
- 53) 杓名 章仁, 鈴木 健太郎, 中上 徹, 沼尾 紳一郎, 竹子 優歩, 西 佑治, 金丸 拓也, 青木 淳哉, 西山 康裕, 木村 和美 : 当院における後方循環の脳梗塞急性期に対する血管内治療の治療成績. 臨床神経学 2019; 59 (Suppl.) :S348.
- 54) 中上 徹, 鈴木 健太郎, 青木 淳哉, 木村 和美 : 後方循環系の症状性頭蓋内狭窄に対して経皮的血管形成術を施行した症例の転帰良好因子の検討. 神経治療学 2019; 36 (6) :S237.
- 55) 里井セラ, 須田智, 村賀香名子, 西村拓哉, 青木淳哉, 下山隆, 金丸拓也, 鈴木健太郎, 杓名章仁, 松本典子, 仁藤智香子, 西山康裕, 三品雅洋, 石渡明子, 木村和美 : 急性期脳卒中患者の認知機能障害の実態. 日本神経学会学術大会プログラム・抄録集 2019; 60th (Suppl.) :477-S350.
- 56) 里井 セラ, 須田 智, 村賀 香名子, 西村 拓哉, 青木 淳哉, 下山 隆, 金丸 拓也, 鈴木 健太郎, 杓名 章仁, 松本 典子, 仁藤 智香子, 西山 康裕, 三品 雅洋, 石渡 明子, 木村 和美 : 急性期脳卒中患者の認知機能障害の実態. 臨床神経学 2019; 59 (Suppl.) :S350.
- 57) 須田 智, 村賀 香名子, 西村 拓哉, 青木 淳哉, 金丸 拓也, 鈴木 健太郎, 西山 康裕, 石渡 明子, 三品 雅洋, 木村 和美 : 急性期脳卒中患者の認知機能障害の実態 MMSE と MoCA-J との比較. Dementia Japan 2019; 33 (4) :558.
- 58) 須田智, 村賀香名子, 西村拓哉, 青木淳哉, 金丸拓也, 鈴木健太郎, 西山康裕, 石渡明子, 三品雅洋, 木村和美 : 急性期脳卒中患者

- の認知機能障害の実態:MMSE と MoCA-J との比較. *Dementia Japan* 2019; 33 (4)
- 59) 金丸 拓也, 杵名 章仁, 沼尾 紳一郎, 片野 雄大, 鈴木 健太郎, 青木 淳哉, 木村 和美 : 急性期血行再建術における頭蓋内動脈狭窄症例に対する PTA. *脳血管内治療* 2019; 4 (Suppl.) :S45.
- 60) 駒井 侯太, 藤澤 洋輔, 須田 智, 西山 康裕, 永山 寛, 木村 和美 : 急速に進行した小脳・脳幹型進行性多巣性白質脳症の 50 歳女性例. *臨床神経学* 2019; 59 (9) :613.
- 61) 高橋 康大, 片野 雄大, 村賀 香名子, 鈴木 健太郎, 鈴木 文昭, 鈴木 亨尚, 木村 和美, 由井 俊輔, 山口 博樹, 猪口 孝一 : 急速に進行する多発動脈狭窄と脳梗塞を伴った本態性血小板血症の 1 例. *日本医科大学医学会雑誌* 2019; 15 (4) :265.
- 62) 中上 徹, 戸田 諭補, 横瀬 紀夫, 山崎 峰雄, 木村 和美 : 意識障害、特異な上肢不随意運動で発症し、両側尾状核の血流増加を認め、脳炎発症が疑われたびまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫(DLCL)の 75 歳男性例. *臨床神経学* 2020; 60 (1) :87.
- 63) 青木 淳哉, 鈴木 健太郎, 金丸 拓也, 片野 雄大, 杵名 章仁, 西山 康裕, 木村 和美 : 僧帽弁閉鎖不全症は急性血栓回収療法後の転帰不良に関連する独立因子である. *脳血管内治療* 2019; 4 (Suppl.) :S230.
- 64) 小澤 明子, 山崎 峰雄, 戸田 諭補, 江畑 琢也, 峯 清一郎, 木村 和美 : 抗 N-methyl-D-aspartate(NMDA)受容体脳炎後に発症した薬剤抵抗性てんかんに対して、緩和的外科的治療が有用であった 2 症例. *臨床神経学* 2020; 60 (1) :32-36.
- 65) 戸田 諭補, 荒川 将史, 山崎 明子, 中上 徹, 西村 拓哉, 山崎 峰雄, 木村 和美 : 抗体価が陰転化後再上昇し、軽微な精神症状で再発した抗 LGI1 抗体陽性自己免疫性脳炎の 64 歳男性例. *臨床神経学* 2019; 59 (9) :616.
- 66) 須田 智, 井口 保之, 藤本 茂, 八木田 佳樹, 木村 和美, PASTA investigators : 抗凝固療法中の脳梗塞の実態 PASTA study からの解析. *脳循環代謝* 2019; 31 (1) :107.
- 67) 平川 慶子, 大野 曜吉, 小川 令, 金涌 佳雅, 山崎 峰雄, 足立 好司 : 振動工学におけるモード解析の概念を取り入れた脳腫瘍およびアルツハイマー型認知症の新規血清診断法の開発. *日本医科大学医学会雑誌* 2019; 15 (4) :246-247.
- 68) 仁藤 智香子 : 時間で追う脳虚血の病態と治療:(3)慢性期 虚血性脳卒中における歯髄幹細胞をはじめとした細胞治療の展望. *脳循環代謝* 2019; 31 (1) :70.
- 69) 沼尾 紳一郎, 鈴木 健太郎, 中上 徹, 竹子 優歩, 杵名 章仁, 片野 雄大, 金丸 拓也, 青木 淳哉, 西山 康裕, 木村 和美 : 椎骨動脈解離に対してステント留置術を施行した 3 例. *神経治療学* 2019; 36 (6) :S266.
- 70) 仁藤智香子, 岨康太, 岡田尚巳, 木村和美 : 歯髄由来幹細胞(DPSC)による虚血性脳卒中の治療法開発. *神経治療学* 2019; 36 (6)
- 71) 古寺 紘人, 杵名 章仁, 青木 淳哉, 鈴木 亨尚, 西 佑治, 武井 悠香子, 仁藤 智香子, 西山 康裕, 永山 寛, 木村 和美 : 片側の舞踏運動・バリズムをきたした中大脳動脈狭窄症の 1 例. *臨床神経学* 2019; 59 (4) :215.
- 72) 鈴木 健太郎, 青木 淳哉, 沼尾 紳一郎, 片野 雄大, 金丸 拓也, 西山 康裕, 木村 和美 : 病型別の治療戦略. *脳血管内治療* 2019; 4 (Suppl.) :S52.
- 73) 片野 雄大, 鈴木 健太郎, 沼尾 紳一郎, 鈴木 文昭, 澤田 和貴, 金丸 拓也, 青木 淳哉, 木村 和美 : 発症から 6 時間以上経過した中大脳動脈 M2 閉塞に対する急性期血栓回収療法の有効性の検討. *脳血管内治療* 2019; 4 (Suppl.) :S142.
- 74) 酒巻 雅典, 三品 雅洋, 八木 孝, 鈴木 静香, 島 星羅, 阿部 新, 水越 元気, 石川 真由美, 木村 和美 : 糖質・鈣質コルチコイドが奏功した、治療可能な認知症についての検討. *臨床神経学* 2019; 59 (Suppl.) :S268.
- 75) 中上 徹, 村賀 香名子, 熊谷 智昭, 鈴木 健太郎, 永山 寛, 曾根 淳, 木村 和美 : 緩徐進行性の小脳失調を呈した成人型核内封入体病の 73 歳女性例. *臨床神経学* 2019; 59 (7) :465.
- 76) 徳元 悠木, 松本 典子, 本 隆央, 沼尾 紳一郎, 竹子 優歩, 鈴木 健太郎, 村賀 香名子, 下山 隆, 西山 康裕, 永山 寛, 木村 和美 : 肺癌術後の左肺静脈内血栓に伴う脳塞栓症の 2 例. *臨床神経学* 2019; 59 (Suppl.) :S326.
- 77) 齊藤 理帆, 荒川 将史, 戸田 諭補, 小澤 明子, 小齊平 聖治, 山崎 峰雄, 木村 和美 : 肺癌に抗 PD-L1 ヒト化モノクローナル抗体アテゾリズマブ投与中に発症した自己免疫性脳炎の 78 歳男性例. *臨床神経学* 2019; 59 (5) :296.
- 78) 仁藤 智香子, 岨 康太, 岡田 尚巳, 木村 和美 : 脳卒中におけるトランスレーショナル・リサーチ 歯髄由来幹細胞(DPSC)による虚血性脳卒中の治療法開発. *神経治療学* 2019; 36 (6) :S127.
- 79) 中上 徹, 鈴木 健太郎, 青木 淳哉, 金丸 拓也, 杵名 章仁, 沼尾 紳一郎, 西山 康裕, 木村 和美 : 脳底動脈閉塞に対する血行再開通療法 病型別の検討. *脳血管内治療* 2019; 4 (Suppl.) :S233.
- 80) 木村 龍太郎, 鈴木 健太郎, 青木 淳哉, 金丸 拓也, 坂本 悠記, 片野 雄大, 澤田 和貴, 沼尾 紳一郎, 高橋 康大, 富安 泰生, 木

- 村 和美：脳底動脈閉塞症に対して血栓回収療法が奏功した APS 合併の Libman-Sacks 型心内膜炎の SLE の 1 例. 脳血管内治療 2019; 4 (Suppl.) :S337.
- 81) 中上 徹, 西村 拓哉, 藤澤 洋輔, 金丸 拓也, 須田 智, 西山 康裕, 永山 寛, 木村 和美：脳梗塞および心不全の発症リスクを伴った全身型重症筋無力症の 81 歳男性例. 臨床神経学 2019; 59 (5) :305.
- 82) 高橋 康大, 片野 雄大, 青木 淳哉, 鈴木 健太郎, 金丸 拓也, 坂本 悠記, 澤田 和貴, 沼尾 紳一郎, 富安 泰生, 木村 龍太郎, 木村 和美：脳梗塞急性期にステント留置術による血行再建術が奏功した椎骨動脈解離の 1 例. 脳血管内治療 2019; 4 (Suppl.) :S372.
- 83) 澤田 和貴, 青木 淳哉, 鈴木 健太郎, 金丸 拓也, 片野 雄大, 杵名 章仁, 木村 和美：脳梗塞急性期例に対する頸部ステント留置術の安全性と有効性に関する検討. 脳血管内治療 2019; 4 (Suppl.) :S221.
- 84) 金丸 拓也, 須田 智, 青木 淳哉, 鈴木 健太郎, 杵名 章仁, 中上 徹, 沼尾 紳一郎, 木村 和美：脳梗塞急性期血栓回収療法施行例におけるアルブミン尿の意義. 臨床神経学 2019; 59 (Suppl.) :S263.
- 85) 片野 雄大, 宮本 享, 木村 和美：脳腫瘍に合併した脳梗塞. 臨床神経学 2019; 59 (Suppl.) :S326.
- 86) 荒川 将史, 戸田 諭輔, 小澤 明子, 谷 憲一, 浅井 邦也, 山崎 峰雄, 木村 和美：腎細胞癌に対しニボルマブ、イビリムマブ投与 2 週間後に重症筋無力症、筋炎、心筋炎を発症し全経過 12 日で死亡した 77 歳男性例. 臨床神経学 2019; 59 (7) :471.
- 87) 山下 真里, 稲垣 千草, 加藤 真衣, 根本 留美, 川西 智也, 並木 香奈子, 井上 志津子, 長久 美江子, 野村 俊明, 三品 雅洋, 北村 伸：若年性アルツハイマー病における体験とニューズ 混合研究法による検討. 老年精神医学雑誌 2020; 31 (2) :187-199.
- 88) 稲垣 千草, 加藤 真衣, 山下 真里, 根本 留美, 並木 香奈子, 井上 志津子, 長久 美江子, 樫村 正美, 野村 俊明, 北村 伸, 三品 雅洋：若年認知症の人と家族の語りの分析(その 1) ある夫婦間における認知症の認識の比較. 老年精神医学雑誌 2019; 30 (増刊 II) :186.
- 89) 加藤 真衣, 稲垣 千草, 山下 真里, 根本 留美, 並木 香奈子, 井上 志津子, 長久 美江子, 樫村 正美, 北村 伸, 野村 俊明, 三品 雅洋：若年認知症の人と家族の語りの分析(その 2) 関係性の変化に伴う語りの質的分析. 老年精神医学雑誌 2019; 30 (増刊 II) :186.
- 90) 鈴木 亨尚, 仁藤 智香子, 杵名 章仁, 長井 弘一郎, 青木 淳哉, 西山 康裕, 永山 寛, 木村 和美：茎状突起過長症による左内頸動脈解離と脳梗塞を発症後、茎状突起切断術を施行した 1 例. 神経治療学 2019; 36 (6) :S265.
- 91) 仁藤智香子：虚血性脳卒中における歯髄幹細胞をはじめとした細胞治療の展望. 脳循環代謝 2019; 31 (1)
- 92) 高橋 瑞穂, 松本 典子, 片野 雄大, 沼尾 紳一郎, 鈴木 健太郎, 金丸 拓也, 青木 淳哉, 西山 康裕, 功刀 しのぶ, 木村 和美：血栓回収療法を行った脳梗塞の塞栓源と回収された血栓病理所見. 脳血管内治療 2019; 4 (Suppl.) :S337.
- 93) 山崎 峰雄, 葛谷 聡, 平川 慶子, 金涌 佳雅, 木村 和美, 小池 薫：血清 NMR データを用いた新たなアルツハイマー病診断法の開発. 臨床神経学 2019; 59 (Suppl.) :S217.
- 94) 辻川 幸一郎, 松本 典子, 佐藤 俊, 築山 敦, 森田 明夫, 西山 康裕, 永山 寛, 木村 和美：診断まで時間を要した脳脊髄液減少症の 1 例. 神経治療学 2019; 36 (6) :S235.
- 95) 西村拓哉, 木村和美：診療力を上げる! 症例問題集 第 7 章 神経・筋 症例問題 一過性脳虚血発作(TIA)を繰り返し,左内頸動脈閉塞症と判明した 1 例. 内科 2019; 123 (4)
- 96) 駒井 侯太, 松本 典子, 須田 智, 畠 星羅, 村賀 香名子, 青木 淳哉, 西山 康裕, 木村 和美：認知機能低下の原因としてコレステロール塞栓症の関与が疑われた 1 例. 神経治療学 2019; 36 (6) :S223.
- 97) 山崎 峰雄：認知症 病理から新規診断法の開発まで. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :220.
- 98) 山崎 峰雄：認知症の神経病理学. Dementia Japan 2019; 33 (4) :468.
- 99) 下山隆, 松本典子, 西村拓哉, 武井悠香子, 西山康裕, 木村和美：超音波を使用した医療のあり方を探る 1)心房細動に対するカテーテルアブレーション後に発症した脳梗塞例の心臓超音波検査所見. 超音波 Techno 2019; 31 (3)
- 100) 本 隆央, 永山 寛, 沼尾 紳一郎, 鈴木 健太郎, 村賀 香名子, 松本 典子, 下山 隆, 木村 和美：非小細胞肺癌に対する Pembrolizumab 使用後に小脳性運動失調が出現した 1 例. パーキンソン病・運動障害疾患コンgresプログラム・抄録集 2019; 13 回:125.
- 101) 長井 弘一郎, 下山 隆, 須田 智, 西山 康裕, 木村 和美, 山口 博樹, 猪口 孝一：頭部 MRI 画像を用いた慢性骨髄増殖性腫瘍と脳血管障害に関する検討. 臨床神経学 2019; 59 (Suppl.) :S244.

学会発表

- 1) 青木淳哉：急性期の Time Clock・組織予後と画像診断. 第 44 回日本脳卒中学会学術集会, 横浜:2019, 2019.

- 2) 里井セラ, 須田智, 村賀香名子, 西村拓哉, 青木淳哉, 下山隆, 金丸拓也, 鈴木健太郎, 杳名章仁, 松本典子, 仁藤智香子, 西山康裕, 三品雅洋, 石渡明子, 木村和美: 急性期脳卒中患者の認知機能障害の実態. 日本神経学会学術大会プログラム・抄録集, 2019.
- 3) 須田 智, 村賀 香名子, 西村 拓哉, 青木 淳哉, 金丸 拓也, 鈴木 健太郎, 西山 康裕, 石渡 明子, 三品 雅洋, 木村 和美: 急性期脳卒中患者の認知機能障害の実態 MMSE と MoCA-J との比較. Dementia Japan, 2019. 10.
- 4) 坂本 悠記, 佐藤 貴洋, 仁藤 智香子, 西山 康裕, 須田 智, 松本 典子, 青木 淳哉, 金丸 拓也, 村賀 香名子, 鈴木 健太郎, 木村 和美: 脳内出血に対する年齢と脳小血管病の影響 ～被殻出血と視床出血は異なる成因により発症する～. STROKE2020, 2020. 3.
- 5) 大橋 豊, 廣中 浩平, 太組 一朗, 足立 好司, 三品 雅洋: 脳深部刺激療法後パーキンソン病患者の歩行に関する理学療法効果の検証. 日本定位・機能神経外科学会プログラム・抄録集, 2019. 12.

4 腎臓内科学分野

研究業績

論文等

- 1) Hitomi Fujii, Eitaro Kodani, Tomohiro Kaneko, Hiroyuki Nakamura, Hajime Sasabe, Yutaka Tamura : "Yubi-wakka" (Finger-Ring) Test: A Tool to Detect Prefrailty in Elderly Populations, a Pilot Study. *Journal of clinical medicine research* 2019; 11 (9) :623-628. doi: 10.14740/jocmr3917.
- 2) 横山 眞美, 佐藤 杏, 長野 陽子, 中原 慶, 中村 利枝, 佐藤 寛之, 小伊藤 保雄, 金子 朋広, 小谷 英太郎 : 3D-RV Tracking 法を用いた右室機能評価の試み. *超音波検査技術* 2019; 44 (Suppl.) :S161.
- 3) Aratani S, Yamakawa H, Suzuki S, Otsuka T, Sakai Y, Shimizu A, Tsuruoka S : A case of female Fabry disease revealed by renal biopsy. *CEN case reports* 2019; 9 (1) :24-29. doi: 10.1007/s13730-019-00420-5.
- 4) Yamada T, Itagaki F, Aratani S, Kawasaki S, Terada K, Mugishima K, Kashiwagi T, Shimizu A, Tsuruoka S : A case of membranous nephropathy diagnosed with lupus nephritis 11 years after onset. *CEN case reports* 2019; 8 (4) :301-307. doi: 10.1007/s13730-019-00412-5.
- 5) Yuichiro Sumi, Yukinao Sakai, Kosuke Terada, Yusuke Otsuka, Tomoyuki Otsuka, Shuichi Tsuruoka : Association of adipocytokines with peritoneal function. *Peritoneal Dialysis International: Journal of the International Society for Peritoneal Dialysis* 2020; 41 (1) :089686081989613. doi: 10.1177/0896860819896133.
- 6) 高橋 應仁, 荒谷 紗絵, 中川 雄太, 保富 亮介, 住 祐一郎, 三井 亜希子, 酒井 行直, 鶴岡 秀一 : Bacillus 属による腹膜透析関連腹膜炎の1例. *日本内科学会関東地方会* 2019; 652 回:41.
- 7) 中川 雄太, 荒谷 紗絵, 高橋 應仁, 保富 亮介, 住 祐一郎, 三井 亜希子, 酒井 行直, 鶴岡 秀一 : Bacillus 属による腹膜透析関連腹膜炎を呈した1例. *日本腎臓学会誌* 2019; 61 (6) :730.
- 8) Yusuke Arakawa, Kentaro Ushijima, Hiroyoshi Tsuchiya, Jun - ichi Morishige, Akiko Mii, Hitoshi Ando, Shu - ichi Tsuruoka, Akio Fujimura : Influence of renal ischaemia - reperfusion injury on renal neutrophil gelatinase - associated lipocalin receptor (24p3R) in rats. *Clinical and Experimental Pharmacology and Physiology* 2019; 46 (12) :1166-1173. doi: 10.1111/1440-1681.13129.
- 9) 荒川 裕輔, 三井 亜希子, 鶴岡 秀一, 清水 章 : MN with TIP lesion. *日本医科大学医学会雑誌* 2019; 15 (4) :242.
- 10) 荒川 裕輔, 三井 亜希子, 清水 章, 鶴岡 秀一 : Membranous Nephropathy with TIP lesion. *日本腎臓学会誌* 2019; 61 (3) :337.
- 11) Yusuke Kajimoto, Yoko Endo, Mika Terasaki, Shinobu Kunugi, Toru Igarashi, Akiko Mii, Yasuhiro Terasaki, Akira Shimizu : Pathologic glomerular characteristics and glomerular basement membrane alterations in biopsy-proven thin basement membrane nephropathy. *Clinical and experimental nephrology* 2019; 23 (5) :638-649. doi: 10.1007/s10157-018-01687-1.
- 12) Aratani S, Aburakawa S, Ryotokuji T, Marumo A, Sakai Y, Inokuchi K, Tsuruoka S : Primary Tumor Infiltration and Severe Acute Kidney Injury in Patients With Acute Myeloblastic Leukemia. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 87 (1) :43-48. doi: 10.1272/jnms.jnms.2020_87-108.
- 13) Kohsuke Terada, Yukinao Sakai, Yuichiro Sumi, Koji Mugishima, Sayuri Kawasak, Fumiaki Itagaki, Takehisa Yamada, Shuichi Tsuruoka : Prognostic markers of heart failure in patients undergoing peritoneal dialysis. *Renal Replacement Therapy* 2019; 5:36.
- 14) Mii A, Shimizu A, Yamaguchi H, Tsuruoka S : Renal Complications after Hematopoietic Stem Cell Transplantation: Role of Graft-Versus-Host Disease in Renal Thrombotic Microangiopathy. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019 doi: 10.1272/jnms.jnms.2020_87-102.
- 15) Sakaguchi M, Nakayama K, Yamaguchi H, Mii A, Shimizu A, Inai K, Onai D, Marumo A, Omori I, Yamanaka S, Fujiwara Y, Fukunaga K, Ryotokuji T, Hirakawa T, Okabe M, Tamai H, Okamoto M, Wakita S, Yui S, Tsuruoka S, Inokuchi K : Risk Factors for Acute Kidney Injury and Chronic Kidney Disease following Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Hematopoietic Malignancies. *Acta haematologica* 2019; 143 (5) :1-13. doi: 10.1159/000504354.
- 16) 荒川裕輔, 三井亜希子, 清水章, 鶴岡秀一 : TIP lesion を合併した膜性腎症. *日本腎臓学会誌* 2019; 61 (3) :337.

- 17) Moriyama Y, Hara M, Aratani S, Ishikawa H, Kono K, Tamaki M: The association between six month intra-dialytic resistance training and muscle strength or physical performance in patients with maintenance hemodialysis: a multicenter retrospective observational study. BMC nephrology 2019; 20 (1) :172. doi: 10.1186/s12882-019-1375-1.
- 18) 三井 亜希子, 清水 章: 【全身性疾患と腎 update】(第5章)血液疾患 血栓性微小血管症・腎臓専門医・病理専門医の視点より. 腎と透析 2019; 86 (増刊) :278-283.
- 19) 楊 朋洋, 酒井 行直, 鶴岡 秀一: 【全身性疾患と腎 update】(第8章)電解質異常 低カリウム血症・腎臓専門医の視点より. 腎と透析 2019; 86 (増刊) :477-480.
- 20) 大塚 智之: 【腎泌尿器における高血圧最前線】薬剤誘発性高血圧. 腎臓内科・泌尿器科 2019; 10 (1) :25-30.
- 21) 中里玲, 草薙茉莉奈, 堀越匠, 久能木俊之介, 油川翔, 麦島康司, 大塚智之, 酒井行直, 鶴岡秀一: ノカルジア感染による PD 関連腹膜炎の一例. 腎と透析 2019; 87
- 22) 中里 玲, 鈴木 静香, 久能木 俊之介, 麦島 康司, 酒巻 雅典, 大塚 智之, 三井 亜希子, 清水 章, 鶴岡 秀一: 免疫吸着療法が奏功した膜性腎症合併の視神経脊髄炎の一例. 日本透析医学会雑誌 2019; 52 (Suppl.1) :456.
- 23) 下田 奈央子, 池田 まり子, 荒川 裕輔, 平間 章郎, 三井 亜希子, 酒井 行直, 鶴岡 秀一: 多発性嚢胞腎(PKD)患者における tolvaptan(TLV)中止の影響. 臨床薬理 2019; 50 (Suppl.) :S344.
- 24) 下田 奈央子, 池田 まり子, 堀越 匠, 楊 朋洋, 荒川 裕輔, 平間 章郎, 三井 亜希子, 酒井 行直, 鶴岡 秀一: 常染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKD)におけるトルバプタン(TLV)服薬中止の影響. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (3) :353.
- 25) 山田剛久, 山崎直人, 柏木哲也, 鶴岡秀一: 当院における CART の治療成績. 日本透析医学会雑誌 2019; 52 (Supplement 1)
- 26) 山田剛久, 柏木哲也, 鶴岡秀一: 当院における腹水濾過濃縮再静注療法の治療成績. 日本内科学会雑誌 2019; 108
- 27) 関 美也子, 上條 夏実, 草薙 茉莉奈, 奥畑 好章, 大塚 祐介, 大塚 智之, 鶴岡 秀一: 感染源不明の敗血症性ショックによって急性腎障害を発症し一時的な血液浄化療法を要した1例. 日本透析医学会雑誌 2019; 52 (Suppl.1) :801.
- 28) 荒谷 紗絵, 田川 雅子, 酒井 行直, 清水 章, 鶴岡 秀一: 放射線誘導による細胞老化と腎臓病変の関わり モデルラットを用いた検証. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (3) :330.
- 29) 小谷 英太郎, 金子 朋広, 藤井 仁美, 中村 弘之, 佐々部 一, 田村 豊, 清水 渉: 特定健診における慢性腎臓病の重症度と新規心房細動発症率 多摩市医師会プロジェクト AF・CKD. 日本心臓病学会学術集会抄録 2019; 67 回:O-058.
- 30) 小谷 英太郎, 金子 朋広, 藤井 仁美, 中村 弘之, 佐々部 一, 田村 豊, 清水 渉: 特定健診受診者における心房細動有病率の年次推移 多摩市医師会プロジェクト AF. 心電図 2020; 40 (Suppl.2) :S-8.
- 31) 岡野翔, 楊朋洋, 下田奈央子, 大辻弘朗, 住祐一郎, 平間章郎, 酒井行直, 鶴岡秀一: 精神発達遅滞を合併したダウン症候群の患者に腹膜透析を導入した一例. 腎と透析 2019; 87
- 32) 中里 玲, 三井 亜希子, 荒川 裕輔, 平間 章郎, 酒井 行直, 鶴岡 秀一: 腎障害を伴う悪性高血圧 15 例の臨床的検討. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (3) :369.
- 33) 中里 玲, 三井 亜希子, 荒川 裕輔, 酒井 行直, 鶴岡 秀一: 腎障害を伴う悪性高血圧 15 例の臨床的検討. 日本高血圧学会総会プログラム・抄録集 2019; 42 回:264.
- 34) 植草 茉弓, 三井 亜希子, 荒川 裕輔, 酒井 行直, 清水 章, 鶴岡 秀一: 膀胱癌治療中に発症した Gemcitabine 関連腎血栓性微小血管症の1例. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (6) :716.
- 35) 林田 真由子, 荒川 裕輔, 荒谷 紗絵, 船越 俊貴, 三井 亜希子, 酒井 行直, 鶴岡 秀一: 自然軽快した成人微小変化型ネフローゼ症候群(MCNS)の2例. 日本内科学会関東地方会 2019; 652 回:38.
- 36) 神戸 勇人, 三井 亜希子, 下田 奈央子, 荒川 裕輔, 酒井 行直, 清水 章, 鶴岡 秀一: 難治性眼サルコイドーシスに対するアダリムマブ投与開始後に腎機能障害が進行した一例. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (6) :757.
- 37) 楊朋洋, 酒井行直, 鶴岡秀一: 電解質異常 2.低カリウム血症・腎臓専門医の視点より. 腎と透析 2019; 86
- 38) 上條 夏実, 三井 亜希子, 船越 俊貴, 荒川 裕輔, 平間 章郎, 酒井 行直, 山崎 香里, 佐伯 秀久, 鶴岡 秀一: 顕微鏡的多発血管炎による慢性腎臓病の経過中に急性腎障害を発症し急性血液浄化療法を要した1例. 日本透析医学会雑誌 2019; 52 (Suppl.1) :785.
- 39) 河合 貴広, 荒谷 紗絵, 田村 秀人, 三井 亜希子, 酒井 行直, 清水 章, 鶴岡 秀一: 骨髄腫腎に間質性腎炎を合併した一例. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (6) :768.

著書

- 1) 船越 俊貴, 三井 亜希子, 鶴岡 秀一 : 【Cl⁻:電解質のクイーン】集合管の酸塩基調節能 集合管 IC-A 細胞 管腔 H⁺ポンプと側底膜アニオン交換体(Cl⁻/HCO₃⁻). 2020, 東京医学社 腎と透析.
- 2) 三井 亜希子, 清水 章 : 【全身性疾患と腎 update】(第 5 章)血液疾患 血栓性微小血管症・腎臓専門医・病理専門医の視点より. 2019, 東京医学社 腎と透析.

学会発表

- 1) 荒谷 紗絵 : Irradiation-induced glomerular endothelial cellular senescence may contribute to the senescence-associated secretory phenotype by activating the NF-κB signaling pathway. American Society of Nephrology, 2019. 10.
- 2) 荒谷 紗絵 : Productive aging を目指した超高齢者への腹膜透析導入. 第 71 回日本老年病学会 関東甲信越地方会, 2020. 3.
- 3) 放射線誘導による細胞老化と腎臓病変の関わり-モデルラットを用いた検証-. 第 62 回 日本腎臓学会総会, 2019. 6.

5 内分泌糖尿病代謝内科学分野

研究業績

論文等

- 1) Takeshi Oba, Shunsuke Kobayashi, Yuko Nakamura, Mototsugu Nagao, Kandai Nozu, Izumi Fukuda, Kazumoto Iijima, Hitoshi Sugihara : A Case of Gitelman Syndrome that Was Difficult to Distinguish from Hypokalemic Periodic Paralysis Caused by Graves' Disease. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (5) :301-306. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-505.
- 2) Okajima F, Kurihara O, Takano M : Acute coronary syndrome and postprandial delayed hyperchylomicronemia. *Aging* 2019; 11 (9) :2549-2550. doi: 10.18632/aging.101969.
- 3) Oktawia Nilsson, Rita Del Giudice, Mototsugu Nagao, Caitriona Grönberg, Lena Eliasson, Jens O Lagerstedt : Apolipoprotein A-I primes beta cells to increase glucose stimulated insulin secretion. *Biochimica et biophysica acta. Molecular basis of disease* 2020; 1866 (3) :165613. doi: 10.1016/j.bbadis.2019.165613.
- 4) Kanda N, Okajima F : Atopic Dermatitis-Like Rash During Evolocumab Treatment of Familial Hypercholesterolemia. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (3) :187-190. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-309.
- 5) 羽田 幹子, 山口 祐司, 岡島 史宜, 杉原 仁, 江本 直也 : Basedow 病患者のリスク評価に関わる意思決定についての行動経済学的分析. *日本内分泌学会雑誌* 2020; 95 (4) :1376.
- 6) 長尾 元嗣 : CD36 を起点としてエキソサイトーシス障害に至る β 細胞機能障害機構の解明. *日本医科大学医学会雑誌* 2019; 15 (4) :235.
- 7) 長尾 元嗣, 浅井 明, Wollheim Claes B, 及川 眞一, Eliasson Lena, 杉原 仁 : CD36 を起点としてエキソサイトーシス障害に至る新たな β 細胞脂肪毒性惹起経路の同定. *日本内分泌学会雑誌* 2019; 95 (1) :332.
- 8) Lisa M Nicholas, Mototsugu Nagao, Laura C Kusinski, Denise S Fernandez-Twinn, Lena Eliasson, Susan E Ozanne : Exposure to maternal obesity programs sex differences in pancreatic islets of the offspring in mice. *Diabetologia* 2020; 63 (2) :324-337. doi: 10.1007/s00125-019-05037-y.
- 9) Jonathan L S Esguerra, Jones K Ofori, Mototsugu Nagao, Yuki Shuto, Alexandros Karagiannopoulos, Joao Fadista, Hitoshi Sugihara, Leif Groop, Lena Eliasson : Glucocorticoid induces human beta cell dysfunction by involving riborepressor GAS5 LincRNA. *Molecular metabolism* 2020; 32:160-167. doi: 10.1016/j.molmet.2019.12.012.
- 10) Masato Matsushita, Akihiro Shirakabe, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Yusaku Shibata, Hiroki Goda, Shota Shigihara, Kazuhiro Asano, Kenichi Tani, Kazutaka Kiuchi, Fumitaka Okajima, Noritake Hata, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Mechanisms of Urgently Presenting Acute Heart Failure. *International heart journal* 2020; 61 (2) :316-324. doi: 10.1536/ihj.19-523.
- 11) Akira Asai, Yuki Shuto, Mototsugu Nagao, Momoyo Kawahara, Teruo Miyazawa, Hitoshi Sugihara, Shinichi Oikawa : Metformin Attenuates Early-Stage Atherosclerosis in Mildly Hyperglycemic Oikawa-Nagao Mice. *Journal of atherosclerosis and thrombosis* 2019; 26 (12) :1075-1083. doi: 10.5551/jat.48223.
- 12) 酒瀬川 典子, 八木 孝, 曾我 彬美, 濱口 暁, 梁井 香那子, 石川 真由美, 福田 いずみ, 杉原 仁, 南 史朗 : PSL 内服で低血糖を回避できた高分子 IGF-2 産生腫瘍の一例. *日本内分泌学会雑誌* 2019; 95 (2) :816.
- 13) Nagamine T, Noh JY, Emoto N, Kogai T, Hishinuma A, Okajima F, Sugihara H : Painless destructive thyroiditis in a patient with resistance to thyroid hormone: a case report. *Thyroid research* 2019; 12:8. doi: 10.1186/s13044-019-0072-2.
- 14) Kuniya Asai, Akihiro Shirakabe, Kazutaka Kiuchi, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Masato Matsushita, Yusaku Shibata, Hiroki Goda, Shota Shigihara, Kazuhiro Asano, Kenichi Tani, Fumitaka Okajima, Noritake Hata, Wataru Shimizu : Relation of Low Triiodothyronine Syndrome Associated With Aging and Malnutrition to Adverse Outcome in Patients With Acute Heart Failure. *The American journal of cardiology* 2020; 125 (3) :427-435. doi: 10.1016/j.amjcard.2019.10.051.
- 15) Kyoko Tanimura-Inagaki, Mototsugu Nagao, Taro Harada, Hitoshi Sugihara, Shigeki Moritani, Jun Sasaki, Suminori Kono, Shinichi Oikawa : Sitagliptin Improves Plasma Apolipoprotein Profile in Type 2 Diabetes: A Randomized Clinical Trial of Sitagliptin Effect on

- Lipid and Glucose Metabolism (SLIM) Study. Diabetes research and clinical practice 2020; 162:108119. doi: 10.1016/j.diabres.2020.108119.
- 16) 福田 いずみ, 杉原 仁 : 【内分泌 Up To Date】間脳・下垂体 重症成人成長ホルモン分泌不全症. 内科 2019; 124 (6) :2437-2439.
 - 17) 名尾 敬子, 周東 佑樹, 羽田 幹子, 大庭 健史, 小林 俊介, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 福田 いずみ, 杉原 仁 : サイトメガロウイルス感染が発症契機と疑われた劇症1型糖尿病の1例. 糖尿病 2019; 62 (7) :423.
 - 18) 竹内 彬, 柴 久美子, 辻本 和峰, 小宮 力, 泉山 肇, 橋本 貢士, 吉本 貴宣, 福田 いずみ, 山田 哲也 : ステロイド治療が奏功し、その経過をFGMで観察し得た非膵島腫瘍性低血糖症の1例. 糖尿病 2019; 62 (7) :447.
 - 19) 安藤 久恵, 根本 崇宏, 福田 いずみ, 杉原 仁 : ニコチン投与母ラットからの出生仔における成長後の耐糖能異常の検討. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (1) :452.
 - 20) 長峯 朋子, 稲垣 恭子, 小林 俊介, 周東 佑樹, 仲村 優子, 山口 祐司, 原田 太郎, 田村 秀樹, 福田 いずみ, 及川 眞一, 杉原 仁 : パセドウ病治療前後のコレステロール合成・吸収マーカーおよび脂質パラメータの解析. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (1) :419.
 - 21) 名尾 敬子, 安藤 久恵, 竹内 晴紀, 福永 悦也, 山口 祐司, 北島 優子, 長尾 元嗣, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 福田 いずみ, 杉原 仁 : ベバシズマブが誘因と考えられたインスリン自己免疫症候群の一例. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (2) :757.
 - 22) 柴山 雅行, 小林 俊介, 安藤 久恵, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 寺崎 美佳, 田原 重志, 井下 尚子, 藤沢 治樹, 梶村 益久, 福田 いずみ, 杉原 仁 : リンパ球性汎下垂体炎が疑われた中枢性尿崩症の一例. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (2) :780.
 - 23) 山田 裕士, 久保田 万葉, 仲村 優子, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 福田 いずみ, 杉原 仁 : ロスバスタチン開始後、高血糖症状が出現し糖尿病性ケトアシドーシスに至った1例. 糖尿病 2019; 62 (7) :430.
 - 24) 福田 いずみ : 下垂体ホルモンを読み解く 内分泌機能検査の実際と解釈. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (2) :686.
 - 25) 大野 万葉, 福田 いずみ, 曾我 彬美, 田原 重志, 森田 明夫, 杉原 仁 : 下垂体偶発腫と症候性下垂体腫瘍の比較. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (1) :492.
 - 26) 八木 孝, 小林 和陽, 福田 いずみ, 濱口 暁, 曾我 彬美, 石川 真由美, 清水 楓由音, 福永 ヒトミ, 金子 佳世, 杉原 仁, 南 史朗 : 低血糖に対する高濃度糖液の投与ルートとして PICC が有用であった高分子 IGF-II 産生腫瘍の一例. 日本病態栄養学会誌 2020; 23 (Suppl.) :S-101.
 - 27) 羽田 幹子, 守屋 綾子, 福田 いずみ, 杉原 仁 : 原発性アルドステロン症と耐糖能異常についての検討. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (1) :457.
 - 28) 山田 裕士, 松浦 暢孝, 木内 一貴, 岡島 史宜, 杉谷 巖, 江本 直也 : 嚥下障害のためチアマゾール点滴投与を要したパセドウ病、甲状腺左葉腫瘍の1例. 日本内分泌学会雑誌 2020; 95 (3) :979.
 - 29) 大野 万葉, 仲村 優子, 山田 裕士, 福田 いずみ, 杉谷 巖, 菱沼 昭, 杉原 仁 : 妊娠により甲状腺中毒症が増悪し鑑別が困難であった症例. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (Suppl.Update) :41-44.
 - 30) 山口 祐司, 稲垣 恭子, 大庭 健史, 福田 いずみ, 杉原 仁 : 妊娠前 BMI による妊娠糖尿病患者の周産期合併症の検討. 肥満研究 2019; 25 (Suppl.) :291.
 - 31) 橘 香穂里, 岡島 史宜, 齋木 厚人, 小幡 新太郎, 石川 源, 木下 俊彦, 龍野 一郎, 江本 直也, 印旛市郡妊娠糖尿病対策協議会 : 妊娠糖尿病の診療状況に関する産後のアンケート調査と啓蒙カードによる活動の中間報告. 糖尿病 2019; 62 (Suppl.1) :S-233.
 - 32) 橘 香穂里, 岡島 史宜, 齋木 厚人, 小幡 新太郎, 石川 源, 木下 俊彦, 龍野 一郎, 江本 直也 : 妊娠糖尿病の診療状況に関する産後アンケート調査と啓蒙活動の中間報告. 糖尿病と妊娠 2019; 19 (3) :S-89.
 - 33) 柴山 雅行, 矢田 季子, 安藤 久恵, 羽田 幹子, 長峯 朋子, 中島 泰, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 福田 いずみ, 杉原 仁 : 当院で経験したニボルマブによる1型糖尿病の2症例. 糖尿病 2019; 62 (7) :430.
 - 34) 名尾 敬子, 安藤 久恵, 柴山 雅行, 鈴木 綾子, 山口 祐司, 長峯 朋子, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 福田 いずみ, 杉原 仁 : 悪性黒色腫に対する免疫チェックポイント阻害薬投与後に急性発症1型糖尿病とACTH単独欠損症を発症した1例. 日本内科学会関東地方会 2019; 650回:36.
 - 35) 福田 いずみ : 成人成長ホルモン分泌不全症 GH 治療の実際と将来への展望. 日本内分泌学会雑誌 2020; 95 (3) :933.
 - 36) 石川 真由美, 豊村 順子, 田口 雄亮, 八木 孝, 中田 朋子, 豊島 由香, 杉原 仁, 南 史朗 : 成長ホルモン単独欠損ラットにおけるXBP-1の発現と膵島の形態異常について. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (1) :491.
 - 37) 大庭 健史, 小林 俊介, 長尾 元嗣, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 福田 いずみ, 杉原 仁, 桑名 正隆 : 持続血糖モニタリング(CGM)を用

- いて IGF-1 製剤の治療効果を検証した B 型インスリン抵抗症の 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :266.
- 38) 名尾 敬子, 安藤 久恵, 鈴木 綾子, 長峯 朋子, 山口 祐司, 長尾 元嗣, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 田原 重志, 寺崎 美佳, 井野元 智恵, 長村 義之, 福田 いずみ, 杉原 仁 : 治療に難渋した巨大下垂体腺腫による若年性先端巨大症の一例. 日本内分泌学会雑誌 2020; 95 (3) :986.
- 39) 大野 万葉, 稲垣 恭子, 山田 裕士, 小林 俊介, 仲村 優子, 福田 いずみ, 杉原 仁 : 治療抵抗性の高コレステロール血症に対してロミタピドが有効であった家族性高コレステロール血症の一例. 日本動脈硬化学会総会プログラム・抄録集 2019; 51 回:2-3.
- 40) 福田 いずみ : 治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 高プロラクチン血症(ブララクチノーマを中心に). 日本医事新報 2019; (4955) :43.
- 41) 山口 祐司, 岡島 史宜, 仲村 優子, 長峯 朋子, 周東 佑樹, 久保田 大紀, 後町 清子, 亀谷 修平, 高橋 浩, 杉原 仁, 江本 直也 : 眼底動脈壁所見と生活習慣病に関する各種因子の検討. 日本動脈硬化学会総会プログラム・抄録集 2019; 51 回:1-2.
- 42) 山口 祐司, 岡島 史宜, 仲村 優子, 長峯 朋子, 周東 佑樹, 久保田 大紀, 後町 清子, 亀谷 修平, 高橋 浩, 杉原 仁, 江本 直也 : 眼底動脈壁所見と生活習慣病に関する検討. 糖尿病 2019; 62 (Suppl.1) :S-284.
- 43) 曾我 彬美, 江本 直也, 福田 いずみ, 稲垣 恭子, 原田 太郎, 杉原 仁, 後藤 励 : 糖尿病患者の危険回避度と合理的判断能力. 糖尿病 2019; 62 (Suppl.1) :S-349.
- 44) 岡島 史宜, 山口 祐司, 仲村 優子, 長峯 朋子, 周東 佑樹, 杉原 仁, 江本 直也 : 糖尿病教育入院における強化インスリン療法による血糖コントロール後の血糖変動は頸動脈硬化の独立した危険因子である. 日本動脈硬化学会総会プログラム・抄録集 2019; 51 回:2.
- 45) 岡島 史宜, 山口 祐司, 仲村 優子, 長峯 朋子, 周東 佑樹, 杉原 仁, 江本 直也 : 糖尿病教育入院における強化インスリン療法を用いた血糖コントロール後の血糖変動の意義. 糖尿病 2019; 62 (Suppl.1) :S-245.
- 46) 岡島 史宜 : 糖尿病診療における夜間低血糖の重要性とその対処. 日本内分泌学会雑誌 2020; 95 (3) :1013.
- 47) 長濱 絵美, 蝶名林 美波, 関 宏子, 足立 由布子, 竹内 彬, 加計 剛, 柴 久美子, 辻本 和峰, 小宮 力, 橋本 貢士, 泉山 肇, 吉本 貴宣, 田村 郁, 福田 いずみ, 山田 哲也 : 著明な低血糖発作をきたした非膵頭腫瘍性低血糖症の 2 症例. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (2) :816.
- 48) 神田 奈緒子, 岡島 史宜 : 薬物アレルギー-1 抗 proprotein convertase subtilisin/kexin type 9 抗体エボロクマブ投与中に生じたアトピー性皮膚炎様皮疹. アレルギー 2019; 68 (4-5) :504.
- 49) 大庭 健史, 早瀬 健人, 阿部 恵理子, 大塚 英明, 半田 忠靖, 山口 祐司, 小林 俊介, 周東 佑樹, 長尾 元嗣, 稲垣 恭子, 福田 いずみ, 岩切 勝彦, 杉原 仁 : 薬物療法(SGLT 阻害薬 2) SGLT-2 阻害薬の投与を契機に糖尿病ケトアシドーシスと急性壊死性食道炎を発症した 1 例. 糖尿病合併症 2019; 33 (Suppl.1) :218.
- 50) 佐藤 隆明, 金子 正儀, 福武 嶺一, 松林 泰弘, 岩永 みどり, 山田 貴穂, 藤原 和哉, 曾根 博仁, 福田 いずみ, 長嶋 洋治 : 術前に経カテーテル動脈塞栓術(TAE)を施行した骨盤内 IGF-2 産生腫瘍による低血糖症の 1 例. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (1) :495.
- 51) 大野 万葉, 安藤 久恵, 山田 裕士, 大庭 健史, 仲村 優子, 稲垣 恭子, 原田 太郎, 福田 いずみ, 杉原 仁 : 褐色細胞腫術後に血糖改善を認めた糖尿病の 1 例. 日本内科学会関東地方会 2019; 650 回:35.
- 52) 石川 真由美, 八木 孝, 弘世 貴久, 杉原 仁, 南 史朗 : 長期の成長ホルモン補充療法による糖代謝への影響. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (Suppl.Update) :15-17.
- 53) 福田 いずみ, 田原 重志, 澤田 杏理, 寺崎 美佳, 清水 章, 藤沢 治樹, 梶村 益久, 杉原 仁 : 間脳-下垂体系の診断と治療の up-date リンパ球性漏斗下垂体後葉炎の臨床. 日本内分泌学会雑誌 2020; 95 (4) :1436.
- 54) 田原 重志, 服部 裕次郎, 寺本 紳一郎, 福田 いずみ, 杉原 仁, 井野元 智恵, 長村 義之, 寺本 明, 森田 明夫 : 間脳-下垂体系の診断と治療の up-date 自己免疫性下垂体炎に対する経鼻的生検術の実際. 日本内分泌学会雑誌 2020; 95 (4) :1436.
- 55) 八木 孝, 木全 亮二, 富田 祐司, 望月 徹, 佐々木 佳枝, 金子 佳世, 福永 ヒトミ, 石川 真由美, 杉原 仁, 南 史朗 : 高血糖緊急症・敗血症の治療後に前立腺膿瘍を呈した 2 症例. 糖尿病 2019; 62 (Suppl.1) :S-322.

学会発表

- 1) 名尾 敬子, 周東 佑樹, 羽田 幹子, 大庭 健史, 小林 俊介, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 福田 いずみ, 杉原 仁 : サイトメガロウイルス感染が発症契機と疑われた劇症 1 型糖尿病の 1 例. 糖尿病, 2019. 7.

- 2) 長峯 朋子, 稲垣 恭子, 小林 俊介, 周東 佑樹, 仲村 優子, 山口 祐司, 原田 太郎, 田村 秀樹, 福田 いずみ, 及川 眞一, 杉原 仁 : パセドウ病治療前後のコレステロール合成・吸収マーカーおよび脂質パラメータの解析. 日本内分泌学会雑誌, 2019. 4.
- 3) 名尾 敬子, 安藤 久恵, 竹内 晴紀, 福永 悦也, 山口 祐司, 北島 優子, 長尾 元嗣, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 福田 いずみ, 杉原 仁 : ベバシズマブが誘因と考えられたインスリン自己免疫症候群の一例. 日本内分泌学会雑誌, 2019. 10.
- 4) 柴山 雅行, 小林 俊介, 安藤 久恵, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 寺崎 美佳, 田原 重志, 井下 尚子, 藤沢 治樹, 梶村 益久, 福田 いずみ, 杉原 仁 : リンパ球性汎下垂体炎が疑われた中枢性尿崩症の一例. 日本内分泌学会雑誌, 2019. 10.
- 5) 山田 裕士, 久保田 万葉, 仲村 優子, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 福田 いずみ, 杉原 仁 : ロスバスタチン開始後、高血糖症状が出現し糖尿病性ケトアシドーシスに至った1例. 糖尿病, 2019. 7.
- 6) 山口 祐司, 稲垣 恭子, 大庭 健史, 福田 いずみ, 杉原 仁 : 妊娠前 BMI による妊娠糖尿病患者の周産期合併症の検討. 肥満研究, 2019. 10.
- 7) 柴山 雅行, 矢田 季子, 安藤 久恵, 羽田 幹子, 長峯 朋子, 中島 泰, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 福田 いずみ, 杉原 仁 : 当院で経験したニボルマブによる1型糖尿病の2症例. 糖尿病, 2019. 7.
- 8) 大庭 健史, 小林 俊介, 長尾 元嗣, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 福田 いずみ, 杉原 仁, 桑名 正隆 : 持続血糖モニタリング(CGM)を用いて IGF-1 製剤の治療効果を検証した B 型インスリン抵抗症の1例. 日本医科大学医学会雑誌, 2019. 10.
- 9) 名尾 敬子, 安藤 久恵, 鈴木 綾子, 長峯 朋子, 山口 祐司, 長尾 元嗣, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 田原 重志, 寺崎 美佳, 井野元 智恵, 長村 義之, 福田 いずみ, 杉原 仁 : 治療に難渋した巨大下垂体腺腫による若年性先端巨大症の一例. 日本内分泌学会雑誌, 2020. 1.
- 10) 大野 万葉, 稲垣 恭子, 山田 裕士, 小林 俊介, 仲村 優子, 福田 いずみ, 杉原 仁 : 治療抵抗性の高コレステロール血症に対してロミタビドが有効であった家族性高コレステロール血症の一例. 日本動脈硬化学会総会プログラム・抄録集, 2019. 7.
- 11) 曾我 彬美, 江本 直也, 福田 いずみ, 稲垣 恭子, 原田 太郎, 杉原 仁, 後藤 励 : 糖尿病患者の危険回避度と合理的判断能力. 糖尿病, 2019. 4.

6 アレルギー膠原病内科学分野

研究業績

論文等

- 1) 吉村祐亮, 柴山雅行, 岡村律子, 塚田(哲翁)弥生, 望月徹, 望月徹, 岳野光洋, 松田潔, 安武正弘 : 2018-2019 年シーズン流行期の成人ヒトパルボウイルス B19 感染症の臨床的特徴. 日本病院総合診療医学会雑誌 2019; 15 (6) :582.
- 2) 岳野光洋 : 2018 改訂ベーチェット症候群の診療に関する EULAR 推奨. 月刊リウマチ科 2019; 61 (6) :582-588.
- 3) Yoshiya Tanaka, Masataka Kuwana, Takao Fujii, Hideto Kameda, Yoshinao Muro, Keishi Fujio, Yasuhiko Itoh, Hidekata Yasuoka, Shusaku Fukaya, Konomi Ashihara, Daisuke Hirano, Koichiro Ohmura, Yuya Tabuchi, Hisanori Hasegawa, Ryo Matsumiya, Yuichiro Shirai, Takehisa Ogura, Yumi Tsuchida, Mariko Ogawa-Momohara, Hidehiko Narazaki, Yoshino Inoue, Ippei Miyagawa, Kazuhisa Nakano, Shintaro Hirata, Masaaki Mori : 2019 Diagnostic criteria for mixed connective tissue disease (MCTD): From the Japan research committee of the ministry of health, labor, and welfare for systemic autoimmune diseases. *Modern rheumatology* 2020; 31 (1) :1-5. doi: 10.1080/14397595.2019.1709944.
- 4) Aoyama J, Hayashi H, Yajima C, Takoi H, Tanaka T, Kashiwada T, Kokuho N, Terasaki Y, Nishikawa A, Gono T, Kuwana M, Saito Y, Abe S, Seike M, Gemma A : Anti-MDA5 antibody-positive rapidly progressive interstitial pneumonia without cutaneous manifestations. *Respiratory medicine case reports* 2019; 26:193-196. doi: 10.1016/j.rmcr.2019.01.012.
- 5) Yuko Kaneko, Takahiro Nunokawa, Yoshinori Taniguchi, Yukie Yamaguchi, Takahisa Gono, Kenichi Masui, Atsushi Kawakami, Yasushi Kawaguchi, Shinji Sato, Masataka Kuwana, Yutaka Okano, Naoshi Nishina, Maasa Tamura, Yohei Kirino, Kei Ikeda, Jun Kikuchi, Makoto Kubo, Yoshinori Tanino, Shinjiro Kaieda, Taio Naniwa, Masaki Watanabe, Tatsuhiko Harada, Taro Ukichi, Taisuke Kazuyori, Hideto Kameda, Makoto Kaburaki, Yasuo Matsuzawa, Shunji Yoshida, Yasuko Yoshioka, Takuya Hirai, Katsuaki Asakawa, Yoko Wada, Koji Ishii, Sakuhei Fujiwara, Takeshi Saraya, Kozo Morimoto, Tetsu Hara, Hiroki Suzuki, Hideki Shibuya, Yoshinao Muro, Ryoichi Aki, Takuo Shibayama, Shiro Ohshima, Yuko Yasuda, Masaki Terada, Yoshie Kawahara : Clinical characteristics of cancer-associated myositis complicated by interstitial lung disease: A large-scale multicentre cohort study. *Rheumatology (United Kingdom)* 2020; 59 (1) :112-119. doi: 10.1093/rheumatology/kez238.
- 6) Suzuki Takeharu, Horita Nobuyuki, Takeuchi Masaki, Ishido Takehito, Mizuki Yuki, Mizuki Ryuta, Kawagoe Tatsukata, Shibuya Etsuko, Yuta Kentaro, Yamane Takahiro, Hayashi Takahiko, Meguro Akira, Ishido Mizuho, Minegishi Kaoru, Yoshimi Ryusuke, Kirino Yohei, Kato Shingo, Arimoto Jun, Fukumoto Takeshi, Ishigatsubo Yoshiaki, Kurosawa Michiko, Takeno Mitsuhiro, Kaneko Takeshi, Mizuki Nobuhisa : Clinical features of early-stage possible Behçet's disease patients with a variant-type major organ involvement in Japan. *Modern rheumatology* 2019; 29 (4) :640-646. doi: 10.1080/14397595.2018.1494501.
- 7) Ogawa A, Ogawa Y, Mukai S, Shimizu E, Kuwana M, Kawakami Y, Tsubota K : Cluster of differentiation 30 expression in lacrimal gland and conjunctival tissues in patients with Sjögren's syndrome: Case series. *Medicine* 2019; 98 (29) :e16390. doi: 10.1097/MD.00000000000016390.
- 8) Takahisa Gono, Masataka Kuwana : Current understanding and recent advances in myositis-specific and -associated autoantibodies detected in patients with dermatomyositis. *Expert review of clinical immunology* 2020; 16 (1) :79-89. doi: 10.1080/1744666X.2019.1699059.
- 9) Cosimo Bruni, Yuichiro Shirai, Masataka Kuwana, Marco Matucci-Cerinic : Cyclophosphamide: similarities and differences in the treatment of SSc and SLE. *Lupus* 2019; 28 (5) :571-574. doi: 10.1177/0961203319840433.
- 10) Yuko Ota, Masataka Kuwana : Endothelial cells and endothelial progenitor cells in the pathogenesis of systemic sclerosis. *European journal of rheumatology* 2019;1-8. doi: 10.5152/eurjrheum.2019.19158.
- 11) Hidekata Yasuoka, Yuen Yu Angela Tam, Yuka Okazaki, Yuichi Tamura, Koichi Matsuo, Carol Feghali-Bostwick, Tsutomu Takeuchi, Masataka Kuwana : Fos-related antigen-1 transgenic mouse as a model for systemic sclerosis: A potential role of M2 polarization. *Journal of Scleroderma and Related Disorders* 2019; 4 (2) :137-148. doi: 10.1177/2397198319838140.

- 12) Butler EA, Baron M, Fogo AB, Frech T, Ghossein C, Hachulla E, Hoa S, Johnson SR, Khanna D, Mouthon L, Nikpour M, Proudman S, Steen V, Stern E, Varga J, Denton C, Hudson M, Scleroderma Clinical Trials Consortium Scleroderma Renal Crisis Working Group : Generation of a Core Set of Items to Develop Classification Criteria for Scleroderma Renal Crisis Using Consensus Methodology. *Arthritis & rheumatology (Hoboken, N.J.)* 2019; 71 (6) :964-971. doi: 10.1002/art.40809.
- 13) Yutaro Soejima, Yohei Kirino, Mitsuhiro Takeno, Michiko Kurosawa, Ryusuke Yoshimi, Nobuhisa Mizuki, Hideaki Nakajima : Identification of a Distinct Intestinal Behcet's Disease Cluster in Japan: A Nationwide Retrospective Observational Study. *ARTHRITIS & RHEUMATOLOGY* 2019; 71
- 14) Mitsuaki Isobe, Koichi Amano, Yoshihiro Arimura, Akihiro Ishizu, Shuichi Ito, Shinya Kaname, Shigeto Kobayashi, Yoshinori Komagata, Issei Komuro, Kimihiro Komori, Kei Takahashi, Kazuo Tanemoto, Hitoshi Hasegawa, Masayoshi Harigai, Shouichi Fujimoto, Tatsuhiko Miyazaki, Tetsuro Miyata, Hidehiro Yamada, Akitoshi Yoshida, Takashi Wada, Yoshinori Inoue, Haruhito A Uchida, Hideki Ota, Takahiro Okazaki, Mitsuho Onimaru, Tamihiko Kawakami, Reiko Kinouchi, Atsushi Kurata, Hisanori Kosuge, Ken-Ei Sada, Kunihiro Shigematsu, Eiichi Suematsu, Eijun Sueyoshi, Takahiko Sugihara, Hitoshi Sugiyama, Mitsuhiro Takeno, Naoto Tamura, Michi Tsutsumino, Hiroaki Dobashi, Yoshikazu Nakaoka, Kenji Nagasaka, Yasuhiro Maejima, Hajime Yoshifuji, Yoshiko Watanabe, Shoichi Ozaki, Takeshi Kimura, Hiroshi Shigematsu, Keiko Yamauchi-Takahara, Toyooki Murohara, Shin-Ichi Momomura : JCS 2017 Guideline on Management of Vasculitis Syndrome - Digest Version. *Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society* 2020; 84 (2) :299-359. doi: 10.1253/circj.CJ-19-0773.
- 15) Oliver Distler, Kristin B Highland, Martina Gahlemann, Arata Azuma, Aryeh Fischer, Maureen D Mayes, Ganesh Raghu, Wiebke Sauter, Mannaig Girard, Margarida Alves, Emmanuelle Clerisme-Beaty, Susanne Stowasser, Kay Tetzlaff, Masataka Kuwana, Toby M Maher : Nintedanib for Systemic Sclerosis-Associated Interstitial Lung Disease. *The New England journal of medicine* 2019; 380 (26) :2518-2528. doi: 10.1056/NEJMoa1903076.
- 16) Masataka Kuwana, Arata Azuma : Nintedanib: New indication for systemic sclerosis-associated interstitial lung disease. *Modern rheumatology* 2020; 30 (2) :225-231. doi: 10.1080/14397595.2019.1696505.
- 17) Elhai M, Boubaya M, Distler O, Smith V, Matucci-Cerinic M, Alegre Sancho JJ, Truchetet ME, Braun-Moscovici Y, Iannone F, Novikov PI, Lescoat A, Siegert E, Castellví I, Airó P, Vettori S, De Langhe E, Hachulla E, Erler A, Ananieva L, Krusche M, López-Longo FJ, Distler JHW, Hunzelmann N, Hoffmann-Vold AM, Riccieri V, Hsu VM, Pozzi MR, Ancuta C, Rosato E, Mihai C, Kuwana M, Saketkoo LA, Chizzolini C, Hesselstrand R, Ullman S, Yavuz S, Rednic S, Caimmi C, Bloch-Queyrat C, Allano Y, for EUSTAR network : Outcomes of patients with systemic sclerosis treated with rituximab in contemporary practice: a prospective cohort study. *Annals of the rheumatic diseases* 2019; 78 (7) :979-987. doi: 10.1136/annrheumdis-2018-214816.
- 18) 岳野 光洋 : PDE4 阻害剤アプレミラストの臨床現場を考える PDE4 阻害剤アプレミラストと炎症性疾患. *日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会抄録集* 2019; 29 回:68.
- 19) Yasuhiro Hamaguchi, Masataka Kuwana, Kazuhiko Takehara : Performance evaluation of a line blot assay system for detection of anti-PM-Scl antibody in Japanese patients with systemic sclerosis. *International journal of rheumatic diseases* 2019; 22 (9) :1746-1751. doi: 10.1111/1756-185X.13638.
- 20) Takeno M : Positioning of apremilast in treatment of Behçet's disease. *Modern rheumatology* 2020; 30 (2) :219-224. doi: 10.1080/14397595.2019.1696504.
- 21) Seiji Kobayashi, Hoichi Amano, Hiroyuki Terawaki, Yoshindo Kawaguchi, Takashi Yokoo : Prediction of presepsin concentrations through commensurate decline in kidney function in the elderly. *Clinica chimica acta; international journal of clinical chemistry* 2020; 500:1-9. doi: 10.1016/j.cca.2019.09.012.
- 22) Eri Watanabe, Takahisa Gono, Masataka Kuwana, Chihiro Terai : Predictive factors for sustained remission with stratification by myositis-specific autoantibodies in adult polymyositis/dermatomyositis. *Rheumatology (Oxford, England)* 2020; 59 (3) :586-593. doi: 10.1093/rheumatology/kez328.
- 23) Elizabeth R Volkman, Donald P Tashkin, Masataka Kuwana, Ning Li, Michael D Roth, Julio Charles, Faye N Hant, Galina S Bogatkevich, Tanjina Akter, Grace Kim, Jonathan Goldin, Dinesh Khanna, Philip J Clements, Daniel E Furst, Robert M Elashoff,

- Richard M Silver, Shervin Assassi : Progression of Interstitial Lung Disease in Systemic Sclerosis: The Importance of Pneumoproteins Krebs von den Lungen 6 and CCL18. *Arthritis & rheumatology* (Hoboken, N.J.) 2019; 71 (12) :2059-2067. doi: 10.1002/art.41020.
- 24) Ryosuke Fukue, Mitsuhiro Takeno, Daisuke Miyamoto, Yuichiro Shirai, Kiyotaka Nagahama, Akira Shimizu, Masataka Kuwana : Rapid progression to end-stage renal disease in a young female with mixed immunopathological features of lupus and ANCA-associated vasculitis. *International journal of rheumatic diseases* 2019; 22 (5) :956-958. doi: 10.1111/1756-185X.13573.
- 25) Hirokazu Kashiwagi, Masataka Kuwana, Takaaki Hato, Toshiro Takafuta, Kingo Fujimura, Yoshiyuki Kurata, Mitsuru Murata, Yoshiaki Tomiyama : Reference guide for management of adult immune thrombocytopenia in Japan: 2019 Revision. *International journal of hematology* 2020; 111 (3) :329-351. doi: 10.1007/s12185-019-02790-z.
- 26) 桑名 正隆 : SENCIS trial からみた強皮症に伴う間質性肺疾患に対する抗線維化療法 (特集 呼吸器病学 TOPICS 2019-20) -- (びまん性肺疾患). *分子呼吸器病* 2020; 24 (1) :32-35.
- 27) Kobayashi S, Amano H, Terawaki H, Ogura M, Kawaguchi Y, Yokoo T : Spot urine protein/creatinine ratio as a reliable estimate of 24-hour proteinuria in patients with immunoglobulin A nephropathy, but not membranous nephropathy. *BMC nephrology* 2019; 20 (1) :306. doi: 10.1186/s12882-019-1486-8.
- 28) Hatemi Gülen, Mahr Alfred, Ishigatsubo Yoshiaki, Song Yeong-Wook, Takeno Mitsuhiro, Kim Doyoung, Melikoğlu Melike, Cheng Sue, McCue Shannon, Paris Maria, Chen Mindy, Yazici Yusuf : Trial of Apremilast for Oral Ulcers in Behçet's Syndrome. *The New England journal of medicine* 2019; 381 (20) :1918-1928. doi: 10.1056/NEJMoa1816594.
- 29) Takahisa Gono, Yoshinori Tanino, Ayumi Nishikawa, Takaya Kawamata, Kenichiro Hirai, Yuka Okazaki, Yoko Shibata, Masataka Kuwana : Two cases with autoantibodies to small ubiquitin-like modifier activating enzyme: A potential unique subset of dermatomyositis-associated interstitial lung disease. *International journal of rheumatic diseases* 2019; 22 (8) :1582-1586. doi: 10.1111/1756-185X.13593.
- 30) Watanabe E, Tanaka A, Sugawara H, Nishina K, Yabe H, Gono T, Terai C : Unclassified Vasculitis with Episcleritis, Thrombophlebitis, Deep Vein Thrombosis, Pulmonary Vasculitis, and Intracranial Vasculitis: An Autopsy Case Report. *The American journal of case reports* 2019; 20:886-895. doi: 10.12659/AJCR.915527.
- 31) 桑名 正隆 : 【Immunology～進化する自己免疫疾患治療～】関節リウマチ領域 最新の関節リウマチ治療戦略. *クリニシアン* 2019; 66 (12) :987-995.
- 32) 五野 貴久 : 【リウマチ性疾患の診断・疾患活動性評価のバイオマーカー】多発性筋炎・皮膚筋炎. *リウマチ科* 2020; 63 (1) :14-19.
- 33) 白井 悠一郎 : 【リウマチ性疾患の診断・疾患活動性評価のバイオマーカー】強皮症. *リウマチ科* 2020; 63 (1) :20-27.
- 34) 寺崎 浩子, 後藤 浩, 岳野 光洋, 白根 雅子 : 【免疫異常と眼炎症】免疫異常と眼のかかわり. *日本医師会雑誌* 2019; 148 (5) :865-878.
- 35) 小林 政司, 桑名 正隆 : 【全身性疾患と腎 update】(第1章)膠原病、血管炎、自己免疫疾患 全身性強皮症・リウマチ専門医の視点より. *腎と透析* 2019; 86 (増刊) :24-27.
- 36) 白井 悠一郎, 桑名 正隆 : 【病気とくすり 2020 基礎と実践 Expert's Guide】免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節の病気とくすり 免疫・炎症・アレルギー疾患 強皮症. *薬局* 2020; 71 (4) :813-816.
- 37) 白井 悠一郎, 桑名 正隆 : 【病気とくすり 2020 基礎と実践 Expert's Guide】免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節の病気とくすり 免疫・炎症・アレルギー疾患 混合性結合組織病. *薬局* 2020; 71 (4) :817-821.
- 38) 岳野 光洋 : 【知らなきゃ手古摺る乾癬治療!アプレミラスト 200%活用術!】(Part1)アプレミラストの基礎を学ぶ!(総説3) Behcet 病に対するアプレミラスト治療. *Visual Dermatology* 2019; 18 (10) :998-999.
- 39) 田村 雄一, 白井 悠一郎, 杉村 宏一郎, 須田 理香, 谷口 悠 : 【第 6 回肺高血圧症ワールドシンポジウム-併用療法-】. *Pulmonary Hypertension Update* 2019; 5 (1) :12-21.
- 40) 白井 悠一郎 : 【第 6 回肺高血圧症ワールドシンポジウム-併用療法-】 State of the Art(第 6 回) 肺高血圧症ワールドシンポジウム 併用療法 膠原病に伴う肺高血圧症. *Pulmonary Hypertension Update* 2019; 5 (1) :37-45.
- 41) 佐藤 徹, 白井 悠一郎, 新家 俊郎, 田邊 信宏, 田村 雄一 : 【第 6 回肺高血圧症ワールドシンポジウム-併用療法以外の話題-】 【第 6 回肺高血圧症ワールドシンポジウム-併用療法以外の話題-】. *Pulmonary Hypertension Update* 2019; 5 (2) :88-98.
- 42) 白井 悠一郎, 桑名 正隆 : 【肺高血圧症 ガイドラインとニース会議提言を紐解く】 PAH 治療のポイントを紐解く 膠原病性肺動脈性肺高血圧症治療のポイント. *呼吸器ジャーナル* 2019; 67 (4) :610-618.

- 43) 白井 悠一郎：【肺高血圧症診療 up to date 最新の知見を診療に活かすために】識る 膠原病性 PAH の早期診断. Heart View 2020; 24 (3):234-238.
- 44) 桑名 正隆：【膠原病の最前線】強皮症診療の現状と課題. 医学と薬学 2019; 76 (10) :1411-1417.
- 45) 桑名 正隆：【自己免疫と血液疾患】免疫性血小板減少症. 臨床免疫・アレルギー科 2020; 73 (3) :264-270.
- 46) 鈴木 幹人, 名和田 隆司, 櫻庭 未多, 大田 ゆう子, 白井 悠一郎, 五野 貴久, 岳野 光洋, 渥美 健一郎, 林 宏紀, 桑名 正隆：トシリズマブ中断後に多房性膿胸を発症した若年性特発性関節炎の 1 例. 日本内科学会関東地方会 2019; 656 回:43.
- 47) 白井 悠一郎, 桑名 正隆：トシリズマブ投与の減量・中止は早期びまん皮膚硬化型強皮症(dcSSc)を再燃させる. 日本臨床免疫学会総会プログラム・抄録集 2019; 47 回:110.
- 48) 石ヶ坪良明, 桐野洋平, 吉見隆介, 岳野光洋, 蕪城俊克, 盛里子, 迫野卓士, 竹内正樹, 渋谷悦子, 安倍清美, 水木信久：ペーチェット病に関する調査研究 厚労省ペーチェット病斑作成の HP からの患者相談実態の解析(第 7 報). ペーチェット病に関する調査研究 平成 30 年度 総括・分担研究報告書 2019
- 49) 黒沢美智子, 岳野光洋, 桐野洋平, 水木信久, 副島裕太郎：ペーチェット病に関する調査研究 特殊型ペーチェット(腸管型,血管型,神経型)の発症リスク:臨床調査個人票を用いて. ペーチェット病に関する調査研究 平成 30 年度 総括・分担研究報告書 2019
- 50) 川端 真里佐, 小林 政司, 白井 悠一郎, 五野 貴久, 岳野 光洋, 桑名 正隆：乳房外 Paget 病を併発した抗 RNA ポリメラーゼ III 抗体陽性全身性強皮症の 1 例. 日本内科学会関東地方会 2020; 657 回:73.
- 51) 桑名 正隆：免疫疾患の診療に有用な新しい臨床検査. 日本臨床免疫学会総会プログラム・抄録集 2019; 47 回:106.
- 52) 岳野光洋：免疫難病における小児から成人への transition の課題と対策 小児ペーチェット病 vs.成人ペーチェット病. 炎症と免疫 2019; 28 (1) :56-61.
- 53) 桑名正隆：全身性強皮症(全身性硬化症). 週刊日本医事新報 2019; (4966) :50.
- 54) 桑名 正隆：全身性強皮症による肺高血圧症(特集 肺高血圧症：診断・治療の最新動向)--(肺高血圧症の治療). 日本臨床 = Japanese journal of clinical medicine 2019; 77 (7) :1140-1146.
- 55) 五野 貴久, 仁科 直, 佐藤 慎二, 桑名 正隆：多発性筋炎/皮膚筋炎に併発した間質性肺疾患における日常診療で測定可能な血清バイオマーカーを用いた治療反応性の層別化に関する検討. 日本内科学会雑誌 2020; 109 (Suppl.) :183.
- 56) 櫻庭 未多, 渡邊 晋二, 鈴木 幹人, 名和田 隆司, 五野 貴久, 桑名 正隆, 駒井 侯太, 須田 智, 西山 康裕, 木村 和美, 田村 秀人：小脳・脳幹病変初発の進行性多巣性白質脳症を合併した全身性エリテマトーデスの 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :267.
- 57) 桑名正隆, 浅野善英, 川口鎮司, 後藤大輔, 神人正寿, 竹原和彦, 波多野将, 藤本学, 牧野貴充, 佐藤伸一, 白井悠一郎, 尹浩信：強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究 強皮症の早期分類基準の検証. 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究 平成 30 年度 総括・分担研究報告書 2019
- 58) 白井 悠一郎：形質細胞様樹状細胞が TLR8 を介して強皮症の病態を促進する. リウマチ科 2019; 61 (5) :481-487.
- 59) 吉田 晃, 五野 貴久, 福栄 亮介, 川端 真里佐, 内山 竣介, 渡邊 晋二, 小林 政司, 白井 悠一郎, 岳野 光洋, 桑名 正隆：手指壊疽を呈した抗アミノアシル tRNA 合成酵素(ARS)抗体陽性の一例. 日本リウマチ学会関東支部学術集会プログラム・抄録集 2019; 30 回:71.
- 60) 五野 貴久, 佐藤 慎二, 桑名 正隆：抗 MDA5 抗体陽性間質性肺疾患における予後不良因子に基づいた三剤併用療法の有効性に関する層別化. 日本臨床免疫学会総会プログラム・抄録集 2019; 47 回:129.
- 61) 大庭 健史, 小林 俊介, 長尾 元嗣, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 福田 いずみ, 杉原 仁, 桑名 正隆：持続血糖モニタリング(CGM)を用いて IGF-1 製剤の治療効果を検証した B 型インスリン抵抗症の 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :266.
- 62) 桑名 正隆：治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 特発性血小板減少性紫斑病. 日本医事新報 2020; (4996) :47.
- 63) 五野 貴久：皮疹を症状にする免疫疾患 皮膚筋炎 皮疹と間質性肺疾患の update. 日本臨床免疫学会総会プログラム・抄録集 2019; 47 回:70.
- 64) 岳野光洋：知らなきゃ手古摺る乾癬治療!アプレミラスト 200%活用術!総説 4 Part1.アプレミラストの基礎を学ぶ!Behcet 病に対するアプレミラスト治療. Visual Dermatology 2019; 18 (10) :998-999.
- 65) 五野 貴久：筋炎関連間質性肺疾患における予後予測と治療の層別化. 自己抗体と自己免疫 2019; (19) :1-8.
- 66) 桑名 正隆：膠原病に合併する呼吸器疾患(特集 全身性疾患と呼吸器疾患). 呼吸器内科 = Respiratory medicine 2019; 36 (6) :523-527.
- 67) 桑名 正隆：膠原病患者の心血管疾患を管理する 膠原病患者にみられる肺高血圧症の管理. 日本心臓病学会学術集会抄録 2019; 67 回:SS-2.
- 68) 桑名 正隆：膠原病診療における身体診察の重要性：診断から予後予測まで(第 47 回内科学の展望 全身を診る内科学)--(全身を診る). 日

本内科学会雑誌 2020; 109 (3) :412-418.

- 69) 田中良哉, 伊藤保彦, 亀田秀人, 桑名正隆, 藤井隆夫, 藤尾圭志, 室慶直, 井上嘉乃, 大村浩一郎, 久保智史, 小倉剛久, 白井悠一郎, 田淵裕也, 中野和久, 長谷川久紀, 平野史生, 平田信太郎, 深谷修作, 松宮遼, 安岡秀剛: 自己免疫疾患に関する研究 混合性結合組織病(MCTD)の診断基準,重症度分類,診断ガイドラインに関する研究. 自己免疫疾患に関する調査研究 平成 30 年度 総括・分担研究報告書 2019
- 70) 渡邊 晋二, 五野 貴久, 川端 真里佐, 内山 竣介, 吉田 晃, 小林 政司, 白井 悠一郎, 岳野 光洋, 桑名 正隆: 血栓性微小血管障害 (TMA)を主病態とした抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎(DM)の 1 例. 日本リウマチ学会関東支部学術集会プログラム・抄録集 2019; 30 回:64.
- 71) 岳野光洋, 桑名正隆: 診療力を上げる!症例問題集 第 6 章 膠原病・アレルギー 症例問題 突然出現した左頸部の拍動性腫瘍. 内科 2019; 123 (4) :827-828.
- 72) 桑名 正隆: 関節リウマチにおける自己抗体の病因的意義. 日本リウマチ学会関東支部学術集会プログラム・抄録集 2019; 30 回:34.
- 73) 桑名 正隆: 難治性疾患の病因病態論 強皮症の病態 臨床試験データからの知見. 日本臨床免疫学会総会プログラム・抄録集 2019; 47 回:53.
- 74) 先崎 香朱実, 白井 悠一郎, 名和田 隆司, 内山 竣介, 小林 政司, 五野 貴久, 岳野 光洋, 高木 郁代, 桑名 正隆: 高安動脈炎における疾患活動性の指標として血管超音波検査が有用であった 1 例. 日本内科学会関東地方会 2019; 654 回:34.
- 75) 高木香朱実, 白井悠一郎, 名和田隆司, 名和田隆司, 内山竣介, 小林政司, 五野貴久, 岳野光洋, 高木郁代, 桑名正隆: 高安動脈炎の疾患活動性と血管超音波検査所見. 日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2019; 63rd:416.

著書

- 1) 岳野光洋:〔分担執筆〕関節リウマチ、皮膚筋炎、ベーチェット病. イヤーノート Topics 2020-2021. 2020
- 2) 桑名 正隆:〔分担執筆〕全身性強皮症. ガイドライン 外来診療 2020. 2020, 日経メディカル開発.
- 3) 岳野光洋:〔分担執筆〕免疫病・アレルギー性疾患・膠原病. クエスチョン・バンク CBT 2020 vol.6 最新復元問題 第 10 版. 2020
- 4) 岳野光洋:〔分担執筆〕関節病変、精巣上体炎、血管病変、中枢神経病変、腸管病変、治療総論. ベーチェット病診療ガイドライン 2020. 2020
- 5) 桑名 正隆:〔分担執筆〕混合性結合組織病. 今日の治療指針 Vol62 私はこう治療している. 2020, 医学書院.
- 6) 桑名 正隆:〔分担執筆〕水島 裕, 宮本 昭正, 浦部 晶夫, 島田 和幸, 川合 眞一:〔分担執筆〕今日の治療薬 2020: 解説と便覧. 2020, 南江堂.
- 7) 岳野光洋:〔分担執筆〕ベーチェット病. 今日の疾患辞典. 2019
- 8) 桑名 正隆:〔分担執筆〕多発性筋炎・皮膚筋炎. 今日の診断指針 第 8 版. 2020, 医学書院.
- 9) 桑名 正隆:〔分担執筆〕強皮症. 内科学書 改訂版 9 版 Vol.2. 2019, 中山書店.
- 10) 桑名 正隆:〔分担執筆〕膠原病. 内科学書 改訂版 9 版 Vol.3. 2019, 中山書店.
- 11) 岳野光洋:〔分担執筆〕免疫病・アレルギー性疾患・膠原病. 内科系専門医試験 Quick Question18 版. 2020
- 12) 岳野光洋:〔分担執筆〕免疫病・アレルギー性疾患・膠原病. 医師国家試験のためのレビューブック 内科・外科 2020-2021. 2019
- 13) 尹 浩信, 竹原 和彦, 佐藤 伸一, 桑名 正隆:〔分担執筆〕強皮症のすべてがわかる本:発症から検査、治療、サポート体制まで. 2019, 保健同人社.
- 14) 桑名 正隆:〔分担執筆〕全身性硬化症(強皮症). 新臨床内科学 第 10 版. 2020
- 15) 白井 悠一郎:〔分担執筆〕日本肺高血圧, 肺循環学会. 結合組織病に伴う肺動脈性肺高血圧症 診療ガイドライン. 2019
- 16) 岳野光洋:〔分担執筆〕ベーチェット病. 自己炎症性疾患一病態解明から診療体制の確立まで(別冊). 2019
- 17) 桑名 正隆:〔分担執筆〕全身性強皮症. 診療ガイドライン UP-TO-DATE 2020-2021. 2020, メディカルレビュー社.

学会発表

- 1) 小林政司, 門田寛子, 渡邊晋二, 白井悠一郎, 五野貴久, 岳野光洋, 桑名正隆: ANCA 関連血管炎患者における中耳炎の予後因子の検討. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2019. 4.
- 2) Kuwana M: Are we on the verge of cracking the nut in systemic sclerosis?. 21st Asia Pacific League of Associations for Rheumatology Congress. APLAR2019, 2019. 4.

- 3) 桑名正隆 : Current problems and future direction of management of systemic sclerosis. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2019. 4.
- 4) KUWANA Masataka : Immunity Inflammation and Rheumatology. The Sixteenth International Conference on Endothelin, 2019. 9.
- 5) Kuwana M : Low risk ≠ No risk: Further exploration of AMBITION CTD data. Annual European Congress of Rheumatology EULAR2019, 2019. 6.
- 6) 岳野光洋 : MHC-I-opathy としての乾癬と関節炎の治療. 第 58 回日本リウマチ学会九州・沖縄支部会学術集会, 2019. 9.
- 7) 岳野光洋 : Meet the Expert ベーチェット病. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2019. 4.
- 8) KUWANA Masataka : PH Management and activity of PH society in Japan. 第 4 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会, 2019. 6.
- 9) Yuko Ota, Warren Strober, Atsushi Kitani : PI3K-Akt pathway plays a crucial role in production of collagen in Fli1 deficient condition and its inhibitor has the therapeutic potential in treating fibrosis. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2019. 4.
- 10) Yuichiro Shirai : Risk stratification in CTD-PAH. 1st East Asia Society of Pulmonary Hypertension, 2019. 4.
- 11) Watanabe Shinji, Takahisa Gono, Ryosuke Fukue, Seiji Kobayashi, Yuichiro Shirai, Mitsuhiro Takeno, Masataka Kuwana : Treatment with Biologic DMARDs Does Not Increase Risk of Severe Pulmonary Events in Patients with Rheumatoid Arthritis and Pre-existing Lung Disease. 2019 American College of Rheumatology Annual Meeting, 2019. 11.
- 12) Yuichiro Shirai, Hidekata Yasuoka, Yuichi Tamura, Masataka Kuwana : Utility of risk stratification in predicting outcomes in patients with connective tissue disease-associated pulmonary arterial hypertension. The 84th Annual Scientific Meeting of American College of Rheumatology, 2019. 11.
- 13) Yuichiro Shirai, Noriyuki Kawami, Katsuhiko Iwakiri, Masataka Kuwana : Vonoprazan, a novel potassium-competitive acid blocker, for treatment of proton pump inhibitor-resistant reflux esophagitis in patients with systemic sclerosis. The 84th Annual Scientific Meeting of American College of Rheumatology, 2019. 11.
- 14) 磯村洋平, 渡邊晋二, 白井悠一郎, 小林政司, 五野貴久, 岳野光洋, 桑名正隆 : アダリムマブ中止後に Mycobacterium avium による皮膚潰瘍が増悪した関節リウマチの一例. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2019. 4.
- 15) 鈴木 幹人, 五野 貴久, 渡邊 晋二, 白井 悠一郎, 小林 政司, 岳野 光洋, 桑名 正隆 : シェーグレン症候群 免疫チェックポイント阻害薬投与後に発症した Sjogren 症候群の臨床的特徴. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集, 2019. 4.
- 16) 鈴木 幹人, 名和田 隆司, 櫻庭 未多, 大田 ゆう子, 白井 悠一郎, 五野 貴久, 岳野 光洋, 渥美 健一郎, 林 宏紀, 桑名 正隆 : トシリズマブ中断後に多房性膿胸を発症した若年性特発性関節炎の 1 例. 第 656 回日本内科学会関東地方会, 2019. 12.
- 17) 白井 悠一郎, 桑名 正隆 : トシリズマブ投与の減量・中止は早期びまん皮膚硬化型強皮症(dcSSc)を再燃させる. 第 47 回日本臨床免疫学会総会プログラム・抄録集, 2019. 10.
- 18) 岳野光洋 : ベーチェット病に対する Apremilast 治療. 第 29 回 日本リウマチ学会北海道東北支部学術集会, 2019. 11.
- 19) 岳野光洋 : ベーチェット病の病態と病像の変遷, 日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集 63 回 878,2019.3..
- 20) 岳野光洋 : ベーチェット病の診療ガイドライン. 第 63 回 日本リウマチ学会, 2019. 4.
- 21) 岳野光洋 : ベーチェット病治療戦略における口腔内病変の位置づけ. 第 3 回日本ベーチェット病学会, 2019. 11.
- 22) 海野 幸紀, 岳野 光洋, 名和田 隆司, 白井 悠一郎, 五野 貴久, 桑名 正隆 : リウマチ性疾患の臨床検査-1 リウマチ性疾患における NUDT15 遺伝子多型に関連するアザチオプリン有害事象. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集, 2019. 4.
- 23) 川端 真里佐, 小林 政司, 白井 悠一郎, 五野 貴久, 岳野 光洋, 桑名 正隆 : 乳房外 Paget 病を併発した抗 RNA ポリメラーゼ III 抗体陽性全身性強皮症の 1 例. 第 657 回日本内科学会関東地方会, 2020. 2.
- 24) 鈴木幹人, 五野貴久, 渡邊晋二, 白井悠一郎, 小林政司, 岳野光洋, 桑名正隆 : 免疫チェックポイント阻害薬投与後に発症した Sjogren 症候群の臨床的特徴. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2019. 4.
- 25) 櫻庭 未多, 門田 寛子, 五野 貴久, 山口 由衣, 渡邊 萌理, 岡崎 有佳, 渡邊 晋二, 白井 悠一郎, 小林 政司, 岳野 光洋, 寺井 千尋, 桑名 正隆 : 多発性筋炎・皮膚筋炎-4 同時性重複癌を有する悪性腫瘍関連筋炎の臨床的検討. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集, 2019. 4.
- 26) 門田 寛子, 五野 貴久, 山口 由衣, 渡邊 萌理, 岡崎 有佳, 白井 悠一郎, 小林 政司, 岳野 光洋, 寺井 千尋, 桑名 正隆 : 多発性筋炎・皮膚筋炎-4 悪性腫瘍関連筋炎(CAM)における皮膚・筋症状の寛解に関する規定因子の同定. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集, 2019. 4.

- 27) 白井 悠一郎, 桑名 正隆: 強皮症-3 強皮症(SSc)における食道機能と関連した臨床特徴の解析. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集, 2019. 4.
- 28) 名和田 隆司, 白井 悠一郎, 桑名 正隆: 強皮症-3 強皮症関連間質性肺疾患における経時的な胸部筋量変化の解析. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集, 2019. 4.
- 29) 桑名 正隆: 難治性疾患の病因病態論 強皮症の病態: 臨床試験データからの知見. 第 47 回日本臨床免疫学会総会 (Web 開催), 2019. 10.
- 30) 門田寛子, 五野貴久, 山口由衣, 渡邊萌理, 岡崎有佳, 白井悠一郎, 小林政司, 岳野光洋, 寺井千尋, 桑名正隆: 悪性腫瘍関連筋炎 (CAM) における皮膚・筋症状の寛解に関する規定因子の同定. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2019. 4.
- 31) 吉田 晃, 五野 貴久, 福栄 亮介, 川端 真里佐, 内山 峻介, 渡邊 晋二, 小林 政司, 白井 悠一郎, 岳野 光洋, 桑名 正隆: 手指壊疽を呈した抗アミノアシル tRNA 合成酵素(ARS)抗体陽性の一例. 第 30 回日本リウマチ学会関東支部学術集会プログラム・抄録集, 2019. 12.
- 32) 桑名 正隆: 新たな概念による膠原病診療 全身性エリテマトーデス、全身性強皮症の克服に向けた試み. 日本医師会生涯教育講座「第 154 回山口県医師会生涯研修セミナー」, 2019. 11.
- 33) 渡邊晋二, 五野貴久, 白井悠一郎, 小林政司, 岳野光洋, 桑名正隆: 既存肺病変を有する関節リウマチ患者における新規肺イベントに対する生物学的製剤の影響に関する検討. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2019. 4.
- 34) 福栄亮介, 五野貴久, 白井悠一郎, 岳野光洋, 桑名正隆: 早期関節リウマチにおけるリウマトイド因子力価変化の臨床的意義. 第 5 回日本骨免疫学会, 2019. 6.
- 35) 岳野光洋: 病態からみた乾癬の治療. 第 30 回日本リウマチ学会中国四国支部学術集会, 2019. 12.
- 36) 桑名 正隆: 続・強皮症診療のよくある 10 の間違い. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2019. 4.
- 37) 桑名 正隆: 膠原病患者の心血管疾患を管理する 膠原病患者にみられる肺高血圧症の管理. 第 67 回日本心臓病学会学術集会, 2019. 9.
- 38) 桑名 正隆: 膠原病診療における身体診察の重要性～診断から予後予測まで～. 日本内科学会学術集会 第 47 回内科学の展望 全身を診る内科学, 2019. 10.
- 39) 白井悠一郎, 安岡秀剛, 田村雄一, 桑名正隆: 膠原病 (CTD) 性肺動脈性肺高血圧症 (PAH) のリスク分類. 第 4 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会, 2019. 6.
- 40) 渡邊晋二, 五野貴久, 川端真理里佐, 内山峻介, 吉田晃, 小林誠司, 白井悠一郎, 岳野光洋, 桑名正隆: 血栓性微小血管障害 (TMA) を主病態とした抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎 (DM) の 1 例. 第 30 回日本リウマチ学会関東支部学術集会, 2019. 12.
- 41) 小林 政司, 門田 寛子, 渡邊 晋二, 白井 悠一郎, 五野 貴久, 岳野 光洋, 桑名 正隆: 血管炎(ANCA 関連血管炎)-1 ANCA 関連血管炎患者における中耳炎の予測因子の検討. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集, 2019. 4.
- 42) 高木 香朱実, 白井 悠一郎, 名和田 隆司, 内山 峻介, 小林 政司, 五野 貴久, 岳野 光洋, 高木 郁代, 桑名 正隆: 血管炎(大型血管炎)-1 高安動脈炎の疾患活動性と血管超音波検査所見. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集, 2019. 4.
- 43) 渡邊 晋二, 五野 貴久, 白井 悠一郎, 小林 政司, 岳野 光洋, 桑名 正隆: 関節リウマチの合併症 既存肺病変を有する関節リウマチ患者における新規肺イベントに対する生物学的製剤の影響に関する検討. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集, 2019. 4.
- 44) 先崎 香朱実, 白井 悠一郎, 名和田 隆司, 内山 峻介, 小林 政司, 五野 貴久, 岳野 光洋, 高木 郁代, 桑名 正隆: 高安動脈炎における疾患活動性の指標として血管超音波検査が有用であった 1 例. 第 654 回日本内科学会関東地方会, 2019. 10.

7 血液内科学分野

研究業績

論文等

- 1) Yoshinobu Kanda, Shun-Ichi Kimura, Masaki Iino, Takahiro Fukuda, Emiko Sakaida, Tatsuo Oyake, Hiroki Yamaguchi, Shin-Ichiro Fujiwara, Yumi Jo, Akinao Okamoto, Hiroyuki Fujita, Yasushi Takamatsu, Yoshio Saburi, Itaru Matsumura, Jun Yamanouchi, Souichi Shiratori, Moritaka Gotoh, Shingen Nakamura, Kazuo Tamura : D-Index-Guided Early Antifungal Therapy Versus Empiric Antifungal Therapy for Persistent Febrile Neutropenia: A Randomized Controlled Noninferiority Trial. *Journal of clinical oncology : official journal of the American Society of Clinical Oncology* 2020; 38 (8) :815-822. doi: 10.1200/JCO.19.01916.
- 2) Shunichiro Yasuda, Yuho Najima, Tatsuya Konishi, Yuta Yamada, Toshiaki Takezaki, Shuhei Kurosawa, Masahiro Sakaguchi, Kaito Harada, Kosuke Yoshioka, Aiko Igarashi, Kyoko Inamoto, Takashi Toya, Takeshi Kobayashi, Noriko Doki, Kazuhiko Kakihana, Hisashi Sakamaki, Noritaka Sekiya, Kazuteru Ohashi : Disseminated adenovirus infection in a patient with relapsed refractory multiple myeloma undergoing autologous stem cell transplantation and pomalidomide/dexamethasone as salvage regimens. *Journal of Infection and Chemotherapy* 2019; 25 (5) :371-375. doi: 10.1016/j.jiac.2018.11.011.
- 3) Yamaguchi H, Funasaka Y, Saeki H : Effect of frequency doubled Q-switched Nd:YAG laser on hairless mice harboring eumelanin and pheomelanin in the epidermis. *J Nippon Med Sch* 2019; 86 (1) :27-31.
- 4) Hideto Tamura, Mariko Ishibashi, Mika Sunakawa, Koiti Inokuchi : Immunotherapy for Multiple Myeloma. *Cancers* 2019; 11 (12) doi: 10.3390/cancers11122009.
- 5) Fujiwara Y, Yamaguchi H, Yui S, Tokura T, Inai K, Onai D, Omori I, Marumo A, Yamanaka S, Sakaguchi M, Terada K, Nakagome S, Arai K, Kitano T, Okabe M, Okamoto M, Tamai H, Nakayama K, Tajika K, Wakita S, Inokuchi K : Importance of prognostic stratification via gene mutation analysis in elderly patients with acute myelogenous leukemia. *International journal of laboratory hematology* 2019; 41 (4) :461-471. doi: 10.1111/ijlh.13025.
- 6) Nishikawa T, Yamaguchi H, Ikawa K, Nakayama K, Higashi E, Miyahara E, Abematsu T, Nakagawa S, Kodama Y, Tanabe T, Shigemitsu A, Shinkoda Y, Okamoto Y, Takeda Y, Kawano Y : Influence of GST polymorphisms on busulfan pharmacokinetics in Japanese children. *Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society* 2019 doi: 10.1111/ped.13859.
- 7) 阪口正洋, 山口博樹, 名島悠峰, 白杵憲祐, 植木俊充, 翁家国, 森慎一郎, 河田英里, 魚嶋伸彦, 小林裕, 賀古真一, 田近賢二, 鐘野勝洋, 栢森健介, 萩原政夫, 諫田淳也, 内山人二, 黒田純也, 内田直之, 久保田寧, 木村晋也, 黒澤彩子, 中島菜々, 由井俊輔, 脇田知志, 垣花和彦, 神田善伸, 神田善伸, 大橋一輝, 福田隆浩, 猪口孝一 : NPM1 変異陽性かつ FLT3-ITD 低アレル比の急性骨髄性白血病に対する第一寛解期での同種移植の意義. *日本造血細胞移植学会総会プログラム・抄録集* 2019; 41st
- 8) Mii A, Shimizu A, Yamaguchi H, Tsuruoka S : Renal Complications after Hematopoietic Stem Cell Transplantation: Role of Graft-Versus-Host Disease in Renal Thrombotic Microangiopathy. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019 doi: 10.1272/jnms.JNMS.2020_87-102.
- 9) Sakaguchi M, Nakayama K, Yamaguchi H, Mii A, Shimizu A, Inai K, Onai D, Marumo A, Omori I, Yamanaka S, Fujiwara Y, Fukunaga K, Ryotokuji T, Hirakawa T, Okabe M, Tamai H, Okamoto M, Wakita S, Yui S, Tsuruoka S, Inokuchi K : Risk Factors for Acute Kidney Injury and Chronic Kidney Disease following Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Hematopoietic Malignancies. *Acta haematologica* 2019; 143 (5) :1-13. doi: 10.1159/000504354.
- 10) Mariko Ishibashi, Ryosuke Kinoshita, Koiti Inokuchi, Hiroshi Handa, Makoto Sasaki, Norio Komatsu, Yoichi Imai, Norina Hiroike, Junji Tanaka, Sakae Tanosaki, Shigeki Ito, Mika Sunakawa, Toshio Asayama, Yasuko Kuribayashi-hamada, Rimpei Morita, Hideto Tamura : Serum Soluble CD86, Still a Prognostic Factor in the Novel Agent Era in Multiple Myeloma Patients, Is Produced By Myeloma Cells with High CD86 Variant 3 Expression. *BLOOD* 2019; 134 doi: 10.1182/blood-2019-124635.
- 11) Masahiro Sakaguchi, Hiroki Yamaguchi, Marika Kuboyama, Yuho Najima, Kensuke Usuki, Toshimitsu Ueki, Iekuni Oh, Shinichiro

- Mori, Eri Kawata, Nobuhiko Uoshima, Yutaka Kobayashi, Shinichi Kako, Kenji Tajika, Katsuhiro Shono, Kensuke Kayamori, Masao Hagihara, Junya Kanda, Hitoshi Uchiyama, Junya Kuroda, Naoyuki Uchida, Yasushi Kubota, Shinya Kimura, Saiko Kurosawa, Kenta Date, Nana Nakajima, Atsushi Marumo, Ikuko Omori, Yusuke Fujiwara, Kazuki Terada, Shunsuke Yui, Satoshi Wakita, Kunihito Arai, Tomoaki Kitano, Kazuhiko Kakihana, Yoshinobu Kanda, Kazuteru Ohashi, Takahiro Fukuda, Koiti Inokuchi : Significance of FLT3-tyrosine kinase domain mutation as a prognostic factor for acute myeloid leukemia. *International journal of hematology* 2019; 110 (5) :566-574. doi: 10.1007/s12185-019-02720-z.
- 12) Hiroki Yamaguchi, Naoki Takezako, Kazuteru Ohashi, Koji Oba, Takashi Kumagai, Yasuji Kozai, Hisashi Wakita, Koh Yamamoto, Akira Fujita, Tadahiko Igarashi, Chikashi Yoshida, Kazuma Ohyashiki, Shinichiro Okamoto, Junichi Sakamoto, Hisashi Sakamaki, Koiti Inokuchi : Treatment-free remission after first-line dasatinib treatment in patients with chronic myeloid leukemia in the chronic phase: the D-NewS Study of the Kanto CML Study Group. *International journal of hematology* 2020; 111 (3) :401-408. doi: 10.1007/s12185-019-02801-z.
- 13) Tatsuya Konishi, Noriko Doki, Akihito Nagata, Yuta Yamada, Toshiaki Takezaki, Satoshi Kaito, Shuhei Kurosawa, Masahiro Sakaguchi, Kaito Harada, Shunichiro Yasuda, Kosuke Yoshioka, Kyoko Inamoto, Takashi Toya, Aiko Igarashi, Yuho Najima, Takeshi Kobayashi, Kazuhiko Kakihana, Hisashi Sakamaki, Kazuteru Ohashi : Unmanipulated haploidentical hematopoietic stem cell transplantation using very low-dose antithymocyte globulin and methylprednisolone in adults with relapsed/refractory acute leukemia. *Annals of Hematology* 2020; 99 (1) :147-155. doi: 10.1007/s00277-019-03865-x.
- 14) Keiichi Moriya, Hideto Tamura, Toshio Asayama, Yasuko Kuribayashi, Muneo Okamoto, Koiti Inokuchi : [Amebic liver abscesses developing during R-CHOP chemotherapy in a patient with mantle cell lymphoma]. [*Rinsho ketsueki*] *The Japanese journal of clinical hematology* 2019; 60 (8) :929-931. doi: 10.11406/rinketsu.60.929.
- 15) 中嶋 亘, 栗田 智子, 阪口 正洋, 坂谷 貴司, 内藤 善弥, 武井 寛幸, 田中 信之 : トリプルネガティブ乳癌における微小管阻害薬パクリタキセルに対する細胞死誘導機構の解析. *日本癌学会学術総会抄録集* 2019; 78th
- 16) 安田 優輝, 脇田 知志, 由井 俊輔, 山方 俊弘, 丸毛 淳史, 大森 郁子, 岡本 宗雄, 山口 博樹, 猪口 孝一 : フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病と鑑別が困難であった慢性骨髄性白血病の急性転化. *臨床血液* 2019; 60 (10) :1497.
- 17) 長井 弘一郎, 下山 隆, 山口 博樹, 坂本 悠記, 須田 智, 西山 康弘, 木村 和美 : プライマリーケア医が知っておくべき"治療可能な"2次性頭痛 慢性骨髄増殖性腫瘍と頭痛. *日本頭痛学会誌* 2019; 46 (2) :370.
- 18) 高橋 康大, 片野 雄大, 村賀 香名子, 鈴木 健太郎, 鈴木 文昭, 鈴木 亨尚, 木村 和美, 由井 俊輔, 山口 博樹, 猪口 孝一 : 急速に進行する多発動脈狭窄と脳梗塞を伴った本態性血小板血症の1例. *日本医科大学医学会雑誌* 2019; 15 (4) :265.
- 19) 稲井 一貴, 山口 博樹, 海渡 裕太, 尾内 大志, 由井 俊輔, 脇田 知志, 岡本 宗雄, 田村 秀人, 丸毛 淳史, 猪口 孝一 : 新鮮凍結血漿補充により診断に苦慮した後天性第V因子欠乏症の1例. *臨床血液* 2019; 60 (5) :520-521.
- 20) 丸毛 淳史, 山口 博樹, 平川 経晃, 稲井 一貴, 尾内 大志, 大森 郁子, 山中 聡, 藤原 裕介, 阪口 正洋, 岡部 雅弘, 脇田 知志, 岡本 宗雄, 由井 俊輔, 猪口 孝一 : 末梢血幹細胞採取を単回でおこなう為の最適な時期予測における前骨髄球発現の有用性の検討. *日本医科大学医学会雑誌* 2019; 15 (4) :241.
- 21) 尾内 大志, 稲井一貴, 海渡裕太, 丸毛淳史, 阪口正洋, 由井俊輔, 脇田知志, 岡本宗雄, 山口博樹, 猪口孝一 : 血液内科病棟におけるバンコマイシン(VCM)とピペラシリン/タゾバクタム(PIPC/TAZ)併用療法の急性腎障害(AKI)発症に関する検討. *日本内科学会雑誌* 2019; 108
- 22) 砂川 実香, 石橋 真理子, 海渡 裕太, 木下 量介, 朝山 敏夫, 守屋 慶一, 半田 寛, 佐々木 純, 今井 陽一, 田中 紀奈, 伊藤 薫樹, 田野崎 栄, 田中 淳司, 小松 則夫, 猪口 孝一, 田村 秀人 : 血清 KL-6 値は多発性骨髄腫の予後予測因子となりうる(KL-6 may be an excellent predictor of prognosis in multiple myeloma). *International Journal of Myeloma* 2019; 9 (1) :86.
- 23) 遠矢 嵩, 吉本 五一, 山口 博樹 : 誌上再現!Clinical Debate at JSH2019 【Clinical Debate 5:AML】FLT3-ITD 陽性急性骨髄性白血病は第一寛解期に同種造血幹細胞移植の適応があるのか?. *臨床血液* 2020; 61 (2) :150-155.
- 24) 大森郁子, 山口博樹, 太良修平, 黄俊憲, 中田淳, 山本剛, 遠矢嵩, 土岐典子, 名島悠峰, 垣花和彦, 丸毛淳史, 山中聡, 阪口正洋, 藤原裕介, 脇田知志, 岡部雅弘, 岡本宗雄, 由井俊輔, 大橋一輝, 猪口孝一 : 造血幹細胞移植に伴って発症したシクロフォスファミドによる心筋症の3例. *日本造血細胞移植学会総会プログラム・抄録集* 2019; 41st

- 25) 長井 弘一郎, 下山 隆, 須田 智, 西山 康裕, 木村 和美, 山口 博樹, 猪口 孝一: 頭部 MRI 画像を用いた慢性骨髄増殖性腫瘍と脳血管障害に関する検討. 臨床神経学 2019; 59 (Suppl.) :S244.

学会発表

- 1) 新井 悠, 脇田 知志, 植木 俊充, 白杵 憲祐, 小林 裕, 田近 賢二, 黒澤 彩子, 神田 真志, 丸毛 淳史, 大森 郁子, 阪口 正洋, 藤原 裕介, 由井 俊輔, 寺田 和樹, 荒井 邦仁, 北野 智章, 福田 隆浩, 猪口 孝一: ASXL1 ならびに EZH2 遺伝子変異陽性急性骨髄性白血病の臨床像. 第 81 回日本血液学会学術集会, 2019. 10.
- 2) 久保山 まりか, 伊達 健太, 阪口 正洋, 植木 俊充, 白杵 憲祐, 小林 裕, 田近 賢二, 五味 聖二, 黒澤 彩子, 土蔵 太一郎, 稲井 一貴, 尾内 大志, 丸毛 淳史, 大森 郁子, 山中 聡, 藤原 裕介, 由井 俊輔, 脇田 知志, 岡本 宗雄, 宮田 美保, 荒井 邦仁, 北野 智章, 寺田 和樹, 福田 隆浩, 山口 博樹, 猪口 孝一: Cohesin 複合体遺伝子群に変異を伴う急性骨髄性白血病の臨床的特徴と予後. 第 81 回日本血液学会学術集会, 2019. 10.
- 3) 神田 真志, 脇田 知志, 新井 悠, 名島 悠峰, 白杵 憲祐, 植木 俊充, 翁 家国, 森 慎一郎, 魚嶋 伸彦, 小林 裕, 賀古 真一, 田近 賢二, 鐘野 勝, 栢森 健, 萩原 政, 諫田 淳, 内山人, 黒田 純, 内田 直, 久保田, 木村 晋, 黒澤 彩, 中島 菜々, 阪口 正洋, 垣花 和彦, 神田 善伸, 大橋 一輝, 福田 隆浩, 山口 博樹, 猪口 孝一: FLT3-ITD 陽性急性骨髄性白血病を対象とした 13 番染色体長腕ヘテロ接合性消失の解析. 第 81 回日本血液学会学術集会, 2019. 10.
- 4) 中嶋 亘, 栗田 智子, 阪口 正洋, 坂谷 貴司, 内藤 善弥, 武井 寛, 田中 信之: トリプルネガティブ乳癌における微小管阻害薬パクリタキセルに対する細胞死誘導機構の解析. 第 78 回日本癌学会学術集会, 2019. 9.
- 5) 山口 博樹: 骨髄不全症の診断をもう一度見直そう～再生不良性貧血と骨髄異形成症候群の鑑別のポイント～. 日本赤十字社医学会総会 (第 55 回). (広島), 2019. 10.

8 消化器内科学分野

研究業績

論文等

- 1) 星野 慎太郎, 川見 典之, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : "Esophageal Rosette" を認めないアカラシア患者の内視鏡所見. *Gastroenterological Endoscopy* 2019; 61 (Suppl.1) :896.
- 2) 吉田 祐土, 厚川 正則, 新井 泰央, 大久保 知美, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 川本 智章, 岩切 勝彦 : 2型DM合併患者の肝病態に対するカナグリフロジンの影響の解析. *肝臓* 2019; 60 (Suppl.2) :A684.
- 3) 田邊 智英, 厚川 正則, 吉田 祐土, 新井 泰央, 肥田 舞, 大久保 知美, 葉山 惟信, 岩下 愛, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 張本 滉智, 金子 恵子, 川本 智章, 岩切 勝彦 : 2型糖尿病を有する NAFLD 患者における SGLT2 阻害薬の有効性についての解析. *肝臓* 2019; 60 (Suppl.1) :A503.
- 4) 吉田祐土, 厚川正則, 新井泰央, 肥田舞, 田邊智英, 大久保知美, 葉山惟信, 岩下愛, 糸川典夫, 近藤千紗, 張本滉智, 金子恵子, 川本智章, 岩切勝彦 : 2型糖尿病合併 NAFLD 患者の肝病態に対する SGLT2 阻害薬の影響. *日本消化器病学会雑誌* 2019; 116
- 5) Kazutoshi Higuchi, Mitsuru Kaise, Kumiko Kirita, Eriko Koizumi, Hiroto Noda, Takamitsu Umeda, Teppei Akimoto, Jun Omori, Osamu Goto, Katsuhiko Iwakiri : 3-DIMENSIONAL FLEXIBLE ENDOSCOPY ENHANCES THE QUALITY OF PRE-ESD ASSESSMENT FOR EARLY GASTRIC CANCER. *GASTROINTESTINAL ENDOSCOPY* 2019; 89 (6) :AB634. doi: 10.1016/j.gie.2019.03.1109.
- 6) Shuhei Agawa, Seiji Futagami, Hiroshi Yamawaki, Go Ikeda, Hiroto Noda, Kumiko Kirita, Kazutoshi Higuchi, Makoto Murakami, Yasuhiro Kodaka, Nobue Ueki, Takashi Akamizu, Katsuhiko Iwakiri : Acylated ghrelin levels were associated with depressive status, physical quality of life, endoscopic findings based on Kyoto classification in Japan. *Journal of clinical biochemistry and nutrition* 2019; 65 (1) :65-70. doi: 10.3164/jcfn.18-111.
- 7) Taeang Arai, Masanori Atsukawa, Akihito Tsubota, Mai Koeda, Yuji Yoshida, Tomomi Okubo, Ai Nakagawa, Norio Itokawa, Chisa Kondo, Katsuhisa Nakatsuka, Takushi Masu, Keizo Kato, Noritomo Shimada, Tsutomu Hatori, Naoya Emoto, Masayoshi Kage, Katsuhiko Iwakiri : Association of vitamin D levels and vitamin D-related gene polymorphisms with liver fibrosis in patients with biopsy-proven nonalcoholic fatty liver disease. *Digestive and liver disease : official journal of the Italian Society of Gastroenterology and the Italian Association for the Study of the Liver* 2019; 51 (7) :1036-1042. doi: 10.1016/j.dld.2018.12.022.
- 8) Hiroshi Yamawaki, Seiji Futagami, Gou Ikeda, Hiroto Noda, Shuhei Agawa, Yasuhiro Kodaka, Nobue Ueki, Katsuhiko Iwakiri : CAMOSTAT MESILATE, PANCRELIPASE AND RABEPRAZOLE COMBINATION THERAPY IMPROVES EPIGASTRIC PAIN IN EARLY CHRONIC PANCREATITIS AND FUNCTIONAL DYSPEPSIA WITH PANCREATIC ENZYME ABNORMALITIES. *GASTROENTEROLOGY* 2019; 156 (6) :S1023.
- 9) Hiroshi Yamawaki, Seiji Futagami, Keiko Kaneko, Shuhei Agawa, Kazutoshi Higuchi, Makoto Murakami, Mako Wakabayashi, Noriko Sakasegawa, Yasuhiro Kodaka, Nobue Ueki, Katya Gudis, Chiaki Kawamoto, Katsuhiko Iwakiri : Camostat Mesilate, Pancrelipase, and Rabeprazole Combination Therapy Improves Epigastric Pain in Early Chronic Pancreatitis and Functional Dyspepsia with Pancreatic Enzyme Abnormalities. *Digestion* 2019; 99 (4) :283-292. doi: 10.1159/000492813.
- 10) Shunji Fujimori : Capsule endoscopy for investigating the digestion process. *VideoGIE : an official video journal of the American Society for Gastrointestinal Endoscopy* 2020; 5 (1) :14-15. doi: 10.1016/j.vgie.2019.10.009.
- 11) Shiko Kuribayashi, Katsuhiko Iwakiri, Tomohiro Shinozaki, Hiroko Hosaka, Akiyo Kawada, Noriyuki Kawami, Shintaro Hoshino, Nana Takenouchi, Yasuyuki Shimoyama, Osamu Kawamura, Motoyasu Kusano, Toshio Uraoka : Clinical impact of different cut-off values in high-resolution manometry systems on diagnosing esophageal motility disorders. *Journal of gastroenterology* 2019; 54 (12) :1078-1082. doi: 10.1007/s00535-019-01608-3.
- 12) Seiji Futagami, Hiroshi Yamawaki, Shuhei Agawa, Go Ikeda, Hiroto Noda, Kumiko Kirita, Kazutoshi Higuchi, Katya Gudis, Makoto Murakami, Yasuhiro Kodaka, Nobue Ueki, Katsuhiko Iwakiri : Comparison of Functional Dyspepsia and Early Chronic Pancreatitis.

Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2020; 87 (1) :2-6. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2020_87-101.

- 13) Futagami S, Yamawaki H, Agawa S, Ikeda G, Noda H, Kirita K, Higuchi K, Gudis K, Murakami M, Kodaka Y, Ueki N, Iwakiri K : Comparison of functional dyspepsia with early chronic pancreatitis. J Nippon Med Sch 2019
- 14) 小高 康裕, 二神 生爾, 山脇 博士, 阿川 周平, 植木 信江, 桐田 久美子, 柴田 喜明, 大森 順, 貝瀬 満, 岩切 勝彦, 千原 直人, 渡辺 昌則, 谷合 信彦, 新倉 量太, 山道 信毅, 泉 健太郎, 北條 麻理子, 山本 貴嗣 : DOAC 服用中の大腸憩室出血患者を対象とした多施設共同研究 DOAC、ワルファリン、抗血小板薬の比較検討(第1報). 日本消化器病学会雑誌 2019; 116 (臨増大会) :A815.
- 15) Hoshihara Y, Yamada A, Hoshino S, Hoshikawa Y, Kawami N, Aida J, Takubo K, Iwakiri K : Defining the Position of the Right Wall of the Esophageal Hiatus to Identify the Circumferential Distribution of Small Lesions of the Lower Esophagus. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2020; 88 (1) :32-38. doi: 10.1272/jnms.jnms.2021_88-102.
- 16) Fukunishi Shinya, Yokohama Keisuke, Asai Akira, Higuchi Kazuhide, Shima Toshihide, Okanoue Takeshi, Genda Takuya, Aizawa Yoshio, Oikawa Tsunekazu, Matsumoto Yoshihiro, Arai Taeang, Kondo Chisa, Atsukawa Masanori : EFFICACY AND SAFETY OF GLECAPREVIR/PIBRENTASVIR IN PATIENTS WITH SEVERE RENAL IMPAIRMENT IN JAPAN: A PROSPECTIVE, MULTICENTER STUDY (KTK 49 LIVER STUDY GROUP). HEPATOLOGY 2019; 70:960A-961A.
- 17) Hiroto Noda, Mitsuru Kaise, Kumiko Kirita, Eriko Koizumi, Shuhei Agawa, Kazutoshi Higuchi, Teppei Akimoto, Hiroshi Yamawaki, Osamu Goto, Nobue Ueki, Seiji Futagami, Katsuhiko Iwakiri : ENDOCYTOSCOPY, A CONTACT-TYPE ULTRAHIGH-MAGNIFICATION ENDOSCOPY, CAN PREDICT HISTOLOGIC TYPES OF EARLY GASTRIC CACER. GASTROINTESTINAL ENDOSCOPY 2019; 89 (6) :AB624-AB625. doi: 10.1016/j.gie.2019.03.1085.
- 18) Makoto Chuma, Haruki Uojima, Kazushi Numata, Hisashi Hidaka, Hidenori Toyoda, Atsushi Hiraoka, Toshifumi Tada, Shunji Hirose, Masanori Atsukawa, Norio Itokawa, Taeang Arai, Makoto Kako, Takahide Nakazawa, Naohisa Wada, Shuitirou Iwasaki, Yuki Miura, Satoshi Hishiki, Shuhei Nishigori, Manabu Morimoto, Nobuhiro Hattori, Katsuaki Ogushi, Akito Nozaki, Hiroyuki Fukuda, Tatehiro Kagawa, Kojiro Michitaka, Takashi Kumada, Shin Maeda : Early Changes in Circulating FGF19 and Ang-2 Levels as Possible Predictive Biomarkers of Clinical Response to Lenvatinib Therapy in Hepatocellular Carcinoma. Cancers 2020; 12 (2) doi: 10.3390/cancers12020293.
- 19) Atsushi Hiraoka, Takashi Kumada, Masanori Atsukawa, Masashi Hirooka, Kunihiko Tsuji, Toru Ishikawa, Koichi Takaguchi, Kazuya Kariyama, Ei Itobayashi, Kazuto Tajiri, Noritomo Shimada, Hiroshi Shibata, Hironori Ochi, Toshifumi Tada, Hidenori Toyoda, Kazuhiro Nouse, Akemi Tsutsui, Takuya Nagano, Norio Itokawa, Korenobu Hayama, Michitaka Imai, Kouji Joku, Yohei Koizumi, Yoichi Hiasa, Kojiro Michitaka : Early Relative Change in Hepatic Function with Lenvatinib for Unresectable Hepatocellular Carcinoma. Oncology 2019; 97 (6) :334-340. doi: 10.1159/000502095.
- 20) Yoshikazu Kinoshita, Yuuichi Sakurai, Nobuyoshi Takabayashi, Kentaro Kudou, Takahiro Araki, Takuya Miyagi, Katsuhiko Iwakiri, Kiyoshi Ashida : Efficacy and Safety of Vonoprazan in Patients With Nonerosive Gastroesophageal Reflux Disease: A Randomized, Placebo-Controlled, Phase 3 Study. Clinical and translational gastroenterology 2019; 10 (11) :e00101. doi: 10.14309/ctg.000000000000101.
- 21) Masanori Atsukawa, Makoto Nakamuta, Takashi Kumada, Hidenori Toyoda, Koichi Takaguchi, Tsunamasa Watanabe, Hiroki Ikeda, Akito Nozaki, Atsushi Hiraoka, Kojiro Michitaka, Hiroshi Abe, Keizo Kato, Noritomo Shimada, Toru Asano, Haruki Uojima, Chikara Ogawa, Shinya Fukunishi, Akira Asai, Takuya Genda, Shigeru Mikami, Tadashi Ikegami, Akihito Tsubota, Yoshio Aizawa, Naoki Hotta, Shinichi Fujioka, Hironao Okubo, Norio Itokawa, Taeang Arai, Chisa Kondo, Etsuko Iio, Yasuhiro Tanaka, Katsuhiko Iwakiri : Efficacy and safety of glecaprevir/pibrentasvir in patients with severe renal impairment in Japan: A prospective, multicenter study (KTK 49 Liver Study Group). JOURNAL OF HEPATOLOGY 2019; 70 (1) :E709.
- 22) Masanori Atsukawa, Akihito Tsubota, Hidenori Toyoda, Koichi Takaguchi, Makoto Nakamuta, Tsunamasa Watanabe, Toshifumi Tada, Akemi Tsutsui, Hiroki Ikeda, Hiroshi Abe, Keizo Kato, Haruki Uojima, Tadashi Ikegami, Toru Asano, Chisa Kondo, Mai Koeda, Tomomi Okubo, Taeang Arai, Ai Iwashita-Nakagawa, Norio Itokawa, Takashi Kumada, Katsuhiko Iwakiri : Efficacy and safety of ombitasvir/paritaprevir/ritonavir and ribavirin for chronic hepatitis patients infected with genotype 2a in Japan. Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology 2019; 49 (4) :369-376. doi: 10.1111/hepr.13292.
- 23) Tomohide Tanabe, Shintaro Hoshino, Noriyuki Kawami, Yoshimasa Hoshikawa, Yuriko Hanada, Nana Takenouchi, Osamu Goto,

- Mitsuru Kaise, Katsuhiko Iwakiri : Efficacy of long-term maintenance therapy with 10-mg vonoprazan for proton pump inhibitor-resistant reflux esophagitis. *Esophagus : official journal of the Japan Esophageal Society* 2019; 16 (4) :377-381. doi: 10.1007/s10388-019-00676-x.
- 24) Yoshimasa Hoshikawa, Noriyuki Kawami, Shintaro Hoshino, Tomohide Tanabe, Mariko Umezawa, Mitsuru Kaise, Katsuhiko Iwakiri : Efficacy of on-demand therapy using 20-mg vonoprazan for non-erosive reflux disease. *Esophagus : official journal of the Japan Esophageal Society* 2019; 16 (2) :201-206. doi: 10.1007/s10388-018-00654-9.
- 25) Mitsuru Kaise, Naoyoshi Nagata, Naoki Ishii, Jun Omori, Osamu Goto, Katsuhiko Iwakiri : Epidemiology of colonic diverticula and recent advances in the management of colonic diverticular bleeding. *Digestive endoscopy : official journal of the Japan Gastroenterological Endoscopy Society* 2020; 32 (2) :240-250. doi: 10.1111/den.13547.
- 26) Ikeda H, Watanabe T, Atsukawa M, Toyoda H, Takaguchi K, Nakamuta M, Matsumoto N, Okuse C, Tada T, Tsutsui A, Yamashita N, Kondo C, Hayama K, Kato K, Itokawa N, Arai T, Shimada N, Asano T, Uojima H, Ogawa C, Mikami S, Ikegami T, Fukunishi S, Asai A, Iio E, Tsubota A, Hiraoka A, Nozaki A, Okubo H, Tachi Y, Moriya A, Oikawa T, Matsumoto Y, Tsuruoka S, Tani J, Kikuchi K, Iwakiri K, Tanaka Y, Kumada T : Evaluation of 8-week glecaprevir/pibrentasvir treatment in direct-acting antiviral-naïve noncirrhotic HCV genotype 1 and 2infected patients in a real-world setting in Japan. *Journal of viral hepatitis* 2019; 26 (11) :1266-1275. doi: 10.1111/jvh.13170.
- 27) Hoshikawa Y, Nikaki K, Sonmez S, Nakagawa K, Yazaki E, Sifrim D, Woodland P : Exacerbation of gastroesophageal reflux symptoms after discontinuation of proton pump inhibitors is not associated with increased esophageal acid exposure. *Neurogastroenterology and motility : the official journal of the European Gastrointestinal Motility Society* 2019 doi: 10.1111/nmo.13735.
- 28) 阿川 周平, 二神 生爾, 桐田 久美子, 野田 啓人, 樋口 和寿, 池田 剛, 飽本 哲兵, 山脇 博士, 小高 康裕, 植木 信江, 河越 哲郎, 赤水 尚史, 岩切 勝彦 : FD 患者における臨床症状、消化管運動能、京都分類に対するバイオマーカーとしての血清アシル化グレリン値の有用性の検討. *日本消化器病学会雑誌* 2019; 116 (臨増大会) :A752.
- 29) Taeang Arai, Masanori Atsukawa, Akihito Tsubota, Tadamichi Kawano, Mai Koeda, Yuji Yoshida, Tomohide Tanabe, Tomomi Okubo, Korenobu Hayama, Ai Iwashita, Norio Itokawa, Chisa Kondo, Keiko Kaneko, Chiaki Kawamoto, Tsutomu Hatori, Naoya Emoto, Etsuko Iio, Yasuhito Tanaka, Katsuhiko Iwakiri : Factors influencing subclinical atherosclerosis in patients with biopsy-proven nonalcoholic fatty liver disease. *PloS one* 2019; 14 (11) :e0224184. doi: 10.1371/journal.pone.0224184.
- 30) Osamu Goto, Motoki Sasaki, Teppei Akimoto, Atsushi Tatsuguchi, Mitsuru Kaise, Katsuhiko Iwakiri, Naohisa Yahagi : Feasibility and safety of third-space endoscopic full-thickness resection in ex vivo and in vivo porcine models. *Endoscopy international open* 2019; 7 (4) :E471-E476. doi: 10.1055/a-0858-2210.
- 31) 辰口 篤志, 川見 典之, 岩切 勝彦 : GERD 治療の進歩と問題点 長期高ガストリン血症の胃粘膜に及ぼす影響. *日本消化器病学会雑誌* 2019; 116 (臨増大会) :A577.
- 32) Naoyoshi Nagata, Naoki Ishii, Noriaki Manabe, Kenji Tomizawa, Yoshihisa Urita, Tomohiro Funabiki, Shunji Fujimori, Mitsuru Kaise : Guidelines for Colonic Diverticular Bleeding and Colonic Diverticulitis: Japan Gastroenterological Association. *Digestion* 2019; 99 Suppl 1:1-26. doi: 10.1159/000495282.
- 33) 長谷川 雄太, 貝瀬 満, 箕輪 真寿美, 池田 英里子, 桐田 久美子, 野田 啓人, 樋口 和寿, 梅田 隆満, 大森 順, 岩下 愛, 後藤 修, 岩切 勝彦 : H.Pylori 未感染の前庭部に発生した早期胃癌(高分化管状腺癌)の1例. *Progress of Digestive Endoscopy* 2019; 95 (Suppl.) :s93.
- 34) 野田 啓人, 貝瀬 満, 樋口 和寿, 小泉 英里子, 飽本 哲兵, 植木 信江, 後藤 修, 和田 龍一, 岩切 勝彦 : H.pylori 除菌後胃癌と現感染胃癌の臨床病理学的特徴の比較. *日本ヘリコバクター学会学術集会プログラム・抄録集* 2019; 25 回:107.
- 35) 小泉 英里子, 桐田 久美子, 貝瀬 満, 後藤 修, 岩切 勝彦 : Helicobacter pylori 未感染・除菌後胃癌の内視鏡診断 未分化型胃癌におけるピロリ菌現感染と除菌後・既感染症例の臨床的・内視鏡所見の比較検討. *Progress of Digestive Endoscopy* 2019; 96 (Suppl.) :s97.
- 36) Naohiko Akimoto, Ryuichi Wada, Katsuhiko Iwakiri, Zenya Naito : Histology and molecular biology studies on the expression and localization of angiopoietin-like protein 8 in human tissues. *Biomedical Reports* 2019; 11 (5) :215-221. doi: 10.3892/br.2019.1243.
- 37) 野田 啓人, 貝瀬 満, 和田 龍一, 小泉 英里子, 桐田 久美子, 樋口 和寿, 飽本 哲兵, 後藤 修, 岩切 勝彦 : Hp 陰性胃癌の研究と診療の進歩 H.pylori 除菌後胃癌と現感染胃癌の臨床病理学的特徴の比較. *日本消化管学会雑誌* 2020; 4 (Suppl.) :190.
- 38) Atsushi Hiraoka, Takashi Kumada, Masanori Atsukawa, Masashi Hirooka, Kunihiko Tsuji, Toru Ishikawa, Koichi Takaguchi,

- Kazuya Kariyama, Ei Itobayashi, Kazuto Tajiri, Noritomo Shimada, Hiroshi Shibata, Hironori Ochi, Toshifumi Tada, Hidenori Toyoda, Kazuhiro Nouse, Akemi Tsutsui, Takuya Nagano, Norio Itokawa, Korenobu Hayama, Michitaka Imai, Kouji Joko, Hironori Tanaka, Tsutomu Tamai, Yohei Koizumi, Yoichi Hiasa, Kojiro Michitaka, Masatoshi Kudo : Important Clinical Factors in Sequential Therapy Including Lenvatinib against Unresectable Hepatocellular Carcinoma. *Oncology* 2019; 97 (5) :277-285. doi: 10.1159/000501281.
- 39) 川見典之, 星野慎太郎, 岩切勝彦 : Jackhammer esophagus の臨床像と治療法に関する検討. *Gastroenterological Endoscopy* 2019; 61 (Supplement1) :P69-8.
- 40) 山脇博士, 二神生爾, 岩切勝彦 : LPS 刺激 Urocortin2 脳槽内投与ラットを用いた小腸粘膜内炎症および消化管運動能の解析-acotiamide による小腸粘膜に対する抗炎症作用の解析-. *Gastroenterological Endoscopy* 2019; 61 (Supplement2)
- 41) 山脇 博士, 酒瀬川 典子, 阿川 周平, 小高 康裕, 植木 信江, 二神 生爾 : LPS 投与後脳槽内 Urocortin 投与ラットモデルを用いた粘膜内・筋層内の炎症細胞浸潤の検討. *潰瘍* 2019; 46:62-65.
- 42) 金子 恵子, 吉田 祐士, 河野 惟道, 大野 弘貴, 田邊 智英, 岩下 愛, 葉山 惟信, 厚川 正則, 川本 智章, 岩切 勝彦 : MN 有する IPMN における手術決定における EUS と MRI の比較および血清 CA19-9 の検討. *日本消化器病学会雑誌* 2019; 116 (臨増大会) :A853.
- 43) 河野 惟道, 厚川 正則, 肥田 舞, 吉田 祐士, 大久保 知美, 新井 泰央, 岩下 愛, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 加藤 慶三, 島田 紀朋, 坪田 昭人, 岩切 勝彦 : NAFLD 患者の vitamin D 代謝の特徴 vitamin D 介入試験の結果も含めて. *肝臓* 2019; 60 (Suppl.1) :A338.
- 44) 新井 泰央, 厚川 正則, 吉田 祐士, 大久保 知美, 岩下 愛, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 岩切 勝彦 : NAFLD 患者の動脈硬化に影響を及ぼす因子の解析 実臨床における高リスク群の拾い上げを含めて. *肝臓* 2019; 60 (Suppl.2) :A687.
- 45) 樋口 和寿, 後藤 修, 柿沼 大輔, 金沢 義一, 貝瀬 満, 吉田 寛, 岩切 勝彦 : NEWS(non-exposed endoscopic wall-inversion surgery) : NEWS の適応と方法 (特集 消化器腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術(LECS)update) -- (各種 LECS 手技). *外科 = Surgery : 臨床雑誌* 2019; 81 (11) :1130-1135.
- 46) Toshifumi Tada, Takashi Kumada, Atsushi Hiraoka, Kojiro Michitaka, Masanori Atsukawa, Masashi Hirooka, Kunihiko Tsuji, Toru Ishikawa, Koichi Takaguchi, Kazuya Kariyama, Ei Itobayashi, Kazuto Tajiri, Noritomo Shimada, Hiroshi Shibata, Hironori Ochi, Satoshi Yasuda, Hidenori Toyoda, Shinya Fukunishi, Hideko Ohama, Kazuhito Kawata, Shinichiro Nakamura, Kazuhiro Nouse, Akemi Tsutsui, Takuya Nagano, Norio Itokawa, Korenobu Hayama, Taeang Arai, Michitaka Imai, Kouji Joko, Yohei Koizumi, Yoichi Hiasa : Neutrophil-lymphocyte ratio is associated with survival in patients with unresectable hepatocellular carcinoma treated with lenvatinib. *Liver international : official journal of the International Association for the Study of the Liver* 2020; 40 (4) :968-976. doi: 10.1111/liv.14405.
- 47) 肥田 舞, 川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 田邊 智英, 門馬 絵理, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : P-CAB 抵抗性 NERD 患者における逆流 pH 値・到達部位と症状出現の評価. *日本消化管学会雑誌* 2020; 4 (Suppl.) :298.
- 48) 川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 田邊 智英, 肥田 舞, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : P-CAB 抵抗性 NERD 患者における逆流 pH 値・到達部位と症状出現の関係. *日本消化器病学会雑誌* 2019; 116 (臨増大会) :A747.
- 49) 田邊 智英, 北迫 勇一, 星野 慎太郎, 川見 典之, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 抵抗性逆流性食道炎患者における唾液分泌能の検討. *日本食道学会学術集会プログラム・抄録集* 2019; 73 回:397.
- 50) 田邊 智英, 北迫 勇一, 肥田 舞, 星野 慎太郎, 川見 典之, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 抵抗性逆流性食道炎患者における唾液分泌能の検討. *日本消化管学会雑誌* 2020; 4 (Suppl.) :297.
- 51) 田邊 智英, 北迫 勇一, 星野 慎太郎, 川見 典之, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 抵抗性逆流性食道炎患者における唾液分泌量および唾液の酸緩衝能の検討. *日本消化器病学会雑誌* 2019; 116 (臨増大会) :A747.
- 52) 星野 慎太郎, 川見 典之, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 治療が有効な NERD 患者に対するポノプラザン 20mg による on demand 療法の有用性. *日本食道学会学術集会プログラム・抄録集* 2019; 73 回:398.
- 53) Nakagawa K, Sawada A, Hoshikawa Y, Nikaki K, Sonmez S, Woodland P, Yazaki E, Sifrim D : Persistent Postprandial Regurgitation vs Rumination in Patients With Refractory Gastroesophageal Reflux Disease Symptoms: Identification of a Distinct Rumination Pattern Using Ambulatory Impedance-pH Monitoring. *The American journal of gastroenterology* 2019 doi: 10.14309/ajg.000000000000295.
- 54) Jun Omori, Shunji Fujimori, Yuki Kosugi, Katsuya Yukiko, Shinsuke Takagi, Takayoshi Nishimoto, Wataru Sato, Takamitsu Umeda,

- Hiroaki Kataoka, Naohiko Akimoto, Keigo Mitsui, Katsuhiko Iwakiri : Pilot Study Indicates Helicobacter pylori Infection May Induce Small Intestinal Mucosal Injury. *Digestion* 2019; 99 (1) :66-71. doi: 10.1159/000494415.
- 55) Hoshikawa Y, Hoshino S, Kawami N, Tanabe T, Hanada Y, Takenouchi N, Goto O, Kaise M, Iwakiri K : Possible new endoscopic finding in patients with achalasia: "Ginkgo leaf sign". *Esophagus : official journal of the Japan Esophageal Society* 2019; 17 (2) :208-213. doi: 10.1007/s10388-019-00684-x.
- 56) Atsushi Hiraoka, Takashi Kumada, Shinya Fukunishi, Masanori Atsukawa, Masashi Hirooka, Kunihiko Tsuji, Toru Ishikawa, Koichi Takaguchi, Kazuya Kariyama, Ei Itobayashi, Kazuto Tajiri, Noritomo Shimada, Hiroshi Shibata, Hironori Ochi, Toshifumi Tada, Hidenori Toyoda, Keisuke Yokohama, Kazuhiro Nouse, Akemi Tsutsui, Takuya Nagano, Norio Itokawa, Korenobu Hayama, Taeang Arai, Michitaka Imai, Kouji Joko, Yohei Koizumi, Yoichi Hiasa, Kojiro Michitaka, Masatoshi Kudo : Post-Progression Treatment Eligibility of Unresectable Hepatocellular Carcinoma Patients Treated with Lenvatinib. *Liver cancer* 2020; 9 (1) :73-83. doi: 10.1159/000503031.
- 57) Atsushi Hiraoka, Takashi Kumada, Masanori Atsukawa, Masashi Hirooka, Kunihiko Tsuji, Toru Ishikawa, Koichi Takaguchi, Kazuya Kariyama, Ei Itobayashi, Kazuto Tajiri, Noritomo Shimada, Hiroshi Shibata, Hironori Ochi, Toshifumi Tada, Hidenori Toyoda, Kazuhiro Nouse, Akemi Tsutsui, Takuya Nagano, Norio Itokawa, Korenobu Hayama, Michitaka Imai, Kouji Joko, Yohei Koizumi, Yoichi Hiasa, Kojiro Michitaka, Masatoshi Kudo : Prognostic factor of lenvatinib for unresectable hepatocellular carcinoma in real-world conditions-Multicenter analysis. *Cancer medicine* 2019; 8 (8) :3719-3728. doi: 10.1002/cam4.2241.
- 58) Kimio Isshi, Nobuyuki Matsushashi, Takashi Joh, Kazuhide Higuchi, Katsuhiko Iwakiri, Takeshi Kamiya, Noriaki Manabe, Maiko Ogawa, Seiji Arihiro, Ken Haruma, Koji Nakada : Proton pump inhibitor monotherapy is effective to attenuate dyspepsia symptoms associated with gastroesophageal reflux disease: a multicenter prospective observational study. *Journal of gastroenterology* 2019; 54 (6) :492-500. doi: 10.1007/s00535-019-01546-0.
- 59) Hiroshi Yamawaki : Raman spectroscopy of solid-phase n-dodecane and methyl oleate under high pressure. *Spectrochimica acta. Part A, Molecular and biomolecular spectroscopy* 2020; 227:117756. doi: 10.1016/j.saa.2019.117756.
- 60) Nana Takenouchi, Shintaro Hoshino, Yoshimasa Hoshikawa, Tomohide Tanabe, Mai Koeda, Eri Momma, Yumiko Ishikawa, Noriyuki Kawami, Mitsuru Kaise, Katsuhiko Iwakiri : Risk of hemorrhage and stricture significantly increases in elderly patients with proton pump inhibitor (PPI)-resistant reflux esophagitis. *Esophagus : official journal of the Japan Esophageal Society* 2020; 17 (1) :87-91. doi: 10.1007/s10388-019-00702-y.
- 61) Toshifumi Tada, Takashi Kumada, Atsushi Hiraoka, Kojiro Michitaka, Masanori Atsukawa, Masashi Hirooka, Kunihiko Tsuji, Toru Ishikawa, Koichi Takaguchi, Kazuya Kariyama, Ei Itobayashi, Kazuto Tajiri, Noritomo Shimada, Hiroshi Shibata, Hironori Ochi, Hidenori Toyoda, Kazuhiro Nouse, Akemi Tsutsui, Takuya Nagano, Norio Itokawa, Korenobu Hayama, Michitaka Imai, Kouji Joko, Yohei Koizumi, Yoichi Hiasa : Safety and efficacy of lenvatinib in elderly patients with unresectable hepatocellular carcinoma: A multicenter analysis with propensity score matching. *Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology* 2020; 50 (1) :75-83. doi: 10.1111/hepr.13427.
- 62) Sadahisa Ogasawara, Yoshihiko Ooka, Norio Itokawa, Masanori Inoue, Shinichiro Okabe, Atsuyoshi Seki, Yuki Haga, Masamichi Obu, Masanori Atsukawa, Ei Itobayashi, Hideaki Mizumoto, Nobuyuki Sugiura, Ryosaku Azemoto, Kengo Kanayama, Hiroaki Kanzaki, Susumu Maruta, Takahiro Maeda, Yuko Kusakabe, Masayuki Yokoyama, Kazufumi Kobayashi, Soichiro Kiyono, Masato Nakamura, Tomoko Saito, Eiichiro Suzuki, Shingo Nakamoto, Shin Yasui, Akinobu Tawada, Tetsuhiro Chiba, Makoto Arai, Tatsuo Kanda, Hitoshi Maruyama, Naoya Kato : Sequential therapy with sorafenib and regorafenib for advanced hepatocellular carcinoma: a multicenter retrospective study in Japan. *Investigational new drugs* 2020; 38 (1) :172-180. doi: 10.1007/s10637-019-00801-8.
- 63) Keizo Kato, Noritomo Shimada, Masanori Atsukawa, Hiroshi Abe, Norio Itokawa, Yoshihiro Matsumoto, Rie Agata, Akihito Tsubota : Single nucleotide polymorphisms associated with elevated alanine aminotransferase in patients receiving asunaprevir plus daclatasvir combination therapy for chronic hepatitis C. *PloS one* 2019; 14 (7) :e0219022. doi: 10.1371/journal.pone.0219022.
- 64) Etsuko Iio, Kentaro Matsuura, Noritomo Shimada, Masanori Atsukawa, Norio Itokawa, Hiroshi Abe, Keizo Kato, Koichi Takaguchi, Tomonori Senoh, Yuichiro Eguchi, Hideyuki Nomura, Kai Yoshizawa, Jong-Hon Kang, Takeshi Matsui, Noboru Hirashima,

- Atsunori Kusakabe, Tomokatsu Miyaki, Kei Fujiwara, Kayoko Matsunami, Susumu Tsutsumi, Katsuhiko Iwakiri, Yasuhito Tanaka : TLL1 variant associated with development of hepatocellular carcinoma after eradication of hepatitis C virus by interferon-free therapy. *Journal of gastroenterology* 2019; 54 (4) :339-346. doi: 10.1007/s00535-018-1526-3.
- 65) Akito Nozaki, Masanori Atsukawa, Chisa Kondo, Hidenori Toyoda, Makoto Chuma, Makoto Nakamuta, Haruki Uojima, Koichi Takaguchi, Hiroki Ikeda, Tsunamasa Watanabe, Shintaro Ogawa, Norio Itokawa, Taeang Arai, Atsushi Hiraoka, Toru Asano, Shinichi Fujioka, Tadashi Ikegami, Toshihide Shima, Chikara Ogawa, Takehiro Akahane, Noritomo Shimada, Shinya Fukunishi, Hiroshi Abe, Akihito Tsubota, Takuya Genda, Hironao Okubo, Shigeru Mikami, Asahiro Morishita, Akio Moriya, Joji Tani, Yoshihiko Tachi, Naoki Hotta, Toru Ishikawa, Takeshi Okanoue, Yasuhito Tanaka, Takashi Kumada, Katsuhiko Iwakiri, Shin Maeda : The effectiveness and safety of glecaprevir/pibrentasvir in chronic hepatitis C patients with refractory factors in the real world: a comprehensive analysis of a prospective multicenter study. *Hepatology International* 2020; 14 (2) :225-238. doi: 10.1007/s12072-020-10019-z.
- 66) Masanori Atsukawa, Akihito Tsubota, Hidenori Toyoda, Koichi Takaguchi, Makoto Nakamuta, Tsunamasa Watanabe, Kojiro Michitaka, Tadashi Ikegami, Akito Nozaki, Haruki Uojima, Shinya Fukunishi, Takuya Genda, Hiroshi Abe, Naoki Hotta, Kunihiko Tsuji, Chikara Ogawa, Yoshihiko Tachi, Toshihide Shima, Noritomo Shimada, Chisa Kondo, Takehiro Akahane, Yoshio Aizawa, Yasuhito Tanaka, Takashi Kumada, Katsuhiko Iwakiri : The efficacy and safety of glecaprevir plus pibrentasvir in 141 patients with severe renal impairment: a prospective, multicenter study. *Alimentary pharmacology & therapeutics* 2019; 49 (9) :1230-1241. doi: 10.1111/apt.15218.
- 67) Susumu Maruta, Sadahisa Ogasawara, Yoshihiko Ooka, Masanori Inoue, Norio Itokawa, Masamichi Obu, Atsuyoshi Seki, Yuki Haga, Shinichiro Okabe, Ei Itobayashi, Masanori Atsukawa, Ryosaku Azemoto, Hideaki Mizumoto, Nobuyuki Sugiura, Takahiro Maeda, Kazufumi Kobayashi, Eiichiro Suzuki, Shingo Nakamoto, Shin Yasui, Akinobu Tawada, Tetsuhiro Chiba, Makoto Arai, Tatsuo Kanda, Hitoshi Maruyama, Naoya Kato : The real world practice of systemic therapies in patients with advanced hepatocellular carcinoma in Japan: what has changed since lenvatinib approval?. *JOURNAL OF HEPATOLOGY* 2019; 70 (1) :E614-E615. doi: 10.1016/S0618-8278(19)31226-5.
- 68) Hidenori Toyoda, Masanori Atsukawa, Haruki Uojima, Akito Nozaki, Hideyuki Tamai, Koichi Takaguchi, Shinichi Fujioka, Makoto Nakamuta, Toshifumi Tada, Satoshi Yasuda, Makoto Chuma, Tomonori Senoh, Akemi Tsutsui, Naoki Yamashita, Atsushi Hiraoka, Kojiro Michitaka, Toshihide Shima, Takehiro Akahane, Ei Itobayashi, Tsunamasa Watanabe, Hiroki Ikeda, Etsuko Iio, Shinya Fukunishi, Toru Asano, Yoshihiko Tachi, Tadashi Ikegami, Kunihiko Tsuji, Hiroshi Abe, Keizo Kato, Shigeru Mikami, Hironao Okubo, Noritomo Shimada, Toru Ishikawa, Yoshihiro Matsumoto, Norio Itokawa, Taeang Arai, Akihito Tsubota, Katsuhiko Iwakiri, Yasuhito Tanaka, Takashi Kumada : Trends and Efficacy of Interferon-Free Anti-hepatitis C Virus Therapy in the Region of High Prevalence of Elderly Patients, Cirrhosis, and Hepatocellular Carcinoma: A Real-World, Nationwide, Multicenter Study of 10 688 Patients in Japan. *Open forum infectious diseases* 2019; 6 (5) :ofz185. doi: 10.1093/ofid/ofz185.
- 69) Kazutoshi Higuchi, Mitsuru Kaise, Hiroto Noda, Go Ikeda, Teppei Akimoto, Hiroshi Yamawaki, Osamu Goto, Nobue Ueki, Seiji Futagami, Katsuhiko Iwakiri : Usefulness of 3-Dimensional Flexible Endoscopy in Esophageal Endoscopic Submucosal Dissection in an Ex Vivo Animal Model. *Gastroenterology research and practice* 2019; 2019:4051956. doi: 10.1155/2019/4051956.
- 70) Xue Shao, Haruki Uojima, Toru Setsu, Tomomi Okubo, Masanori Atsukawa, Yoshihiro Furuichi, Yoshitaka Arase, Hisashi Hidaka, Yoshiaki Tanaka, Takahide Nakazawa, Makoto Kako, Tatehiro Kagawa, Katsuhiko Iwakiri, Shuji Terai, Wasaburo Koizumi : Usefulness of autotaxin for the complications of liver cirrhosis. *World journal of gastroenterology* 2020; 26 (1) :97-108. doi: 10.3748/wjg.v26.i1.97.
- 71) Noriyuki Kawami, Shintaro Hoshino, Yoshimasa Hoshikawa, Nana Takenouchi, Yuriko Hanada, Tomohide Tanabe, Osamu Goto, Mitsuru Kaise, Katsuhiko Iwakiri : Validity of the Cutoff Value for Integrated Relaxation Pressure Used in the Starlet High-Resolution Manometry System. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2020; 86 (6) :322-326. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-608.
- 72) 星野慎太郎, 川見典之, 田邊智英, 星川吉正, 花田優理子, 竹之内菜菜, 後藤修, 貝瀬満, 岩切勝彦 : “Esophageal Rosette”を認めな

- いアカラシア患者の内視鏡所見. *Gastroenterological Endoscopy* 2019; 61 (Supplement1)
- 73) 二神 生爾, 山脇 博士, 阿川 周平, 小高 康裕, 植木 信江: 【機能的消化管疾患:上部-最新の診断と治療-】基礎研究 上腹部症状の原因臓器としての十二指腸. *日本臨床* 2019; 77 (10) :1625-1631.
- 74) 樋口 和寿, 後藤 修, 柿沼 大輔, 金沢 義一, 貝瀬 満, 吉田 寛, 岩切 勝彦: 【消化器腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術(LECS)update】各種 LECS 手技 NEWS(non-exposed endoscopic wall-inversion surgery) NEWS の適応と方法. *外科* 2019; 81 (11) :1130-1135.
- 75) 山脇 博士, 二神 生爾, 岩切 勝彦: 【消化管症候群(第 3 版)-その他の消化管疾患を含めて-】胃 機能的疾患 胃神経症. *日本臨床* 2019; 別冊 (消化管症候群 I) :14-19.
- 76) 河越 哲郎: 【消化管症候群(第 3 版)-その他の消化管疾患を含めて-】胃 腫瘍性疾患 胃カポジ肉腫. *日本臨床* 2019; 別冊 (消化管症候群 I) :296-299.
- 77) 川見 典之, 岩切 勝彦: 【消化管症候群(第 3 版)-その他の消化管疾患を含めて-】食道 Mallory-Weiss 症候群. *日本臨床* 2020; 別冊 (消化管症候群 II) :87-90.
- 78) 野村 務, 松谷 毅, 萩原 信敏, 岩切 勝彦, 吉田 寛: 【消化管症候群(第 3 版)-その他の消化管疾患を含めて-】食道 食道小細胞癌. *日本臨床* 2020; 別冊 (消化管症候群 II) :145-148.
- 79) 小泉 英里子, 後藤 修, 辰口 篤志, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 【消化管症候群(第 3 版)-その他の消化管疾患を含めて-】食道 食道粘膜下腫瘍. *日本臨床* 2020; 別冊 (消化管症候群 II) :170-174.
- 80) 貝瀬 満, 小泉 英里子, 野田 啓人, 樋口 和寿, 後藤 修, 岩切 勝彦: 【胃癌診断を極める】[総論]背景胃粘膜・癌組織型に応じた早期胃癌内視鏡診断の基本. *消化器内視鏡* 2020; 32 (1) :25-40.
- 81) 山脇 博士, 二神 生爾, 金子 恵子, 川本 智章, 岩切 勝彦: 【膵炎診療の最新トピックス】慢性膵炎 早期慢性膵炎の診断と治療. *消化器の臨床* 2019; 22 (3) :219-225.
- 82) 川見 典之, 岩切 勝彦: 【食道の炎症を視る】逆流性食道炎 逆流性食道炎の内視鏡所見と機能診断. *消化器内視鏡* 2019; 31 (8) :1153-1157.
- 83) 二神 生爾, 山脇 博士: 【高齢者の消化管疾患】超高齢化時代の消化管機能疾患にどう向き合うか?. *Geriatric Medicine* 2019; 57 (6) :549-552.
- 84) 小泉 英里子, 後藤 修, 鮑本 哲兵, 桐田 久美子, 梅田 隆満, 野田 啓人, 樋口 和寿, 大森 順, 貝瀬 満, 矢作 直久, 岩切 勝彦: あたらしい内視鏡診断、治療法をめざして-腫瘍性疾患、機能的疾患を含め- 胃粘膜下腫瘍における円形率を用いた非侵襲的鑑別法の提案. *日本消化管学会雑誌* 2020; 4 (Suppl.) :212.
- 85) 星川 吉正, 星野 慎太郎, 川見 典之, 岩切 勝彦: アカラシア: 内視鏡検査時にここに注意すれば軽症を見逃さない (特集 食道疾患を見落とすな!: 内視鏡検査時に食道疾患を見落とさないために). *消化器内科* 2020; 2 (2) :64-68.
- 86) 梅田隆満, 藤森俊二, 星本相理, 橋野史彦, 片岡宏章, 高木信介, 西本崇良, 大森順, 佐藤航, 秋元直彦, 米澤真興, 三井啓吾, 田中周, 辰口篤志, 岩切勝彦: カプセル内視鏡で診断された小腸血管性病変における背景因子とその特徴. *日本小腸学会学術集会プログラム・抄録集* 2019; 57th:55.
- 87) 小池 智幸, 藤原 靖弘, 沢田 明也, 阿部 泰明, 川見 典之, 竹内 利寿, 塩谷 昭子, 杉本 光繁, 栗林 志行, 草野 元康, 岩切 勝彦, 樋口 和秀: カリウムイオン競合型アシッドブロッカー抵抗性逆流性食道炎の臨床的特徴. *日本高齢消化器病学会誌* 2019; 22 (1) :95.
- 88) 大森 順, 貝瀬 満, 星本 相理, 橋野 史彦, 片岡 宏章, 梅田 隆満, 高木 信介, 西本 崇良, 秋元 直彦, 佐藤 航, 三井 啓吾, 田中 周, 辰口 篤志, 藤森 俊二, 岩切 勝彦: ガイドライン出版後の大腸憩室症診療の現状と今後 大腸憩室出血に対する経カテーテル的血管造影および血管塞栓術に関する検討. *日本消化管学会雑誌* 2020; 4 (Suppl.) :204.
- 89) 濱窪 亮平, 張本 滉智, 金沢 秀典, 岩下 愛, 葉山 惟信, 金子 恵子, 厚川 正則, 川本 智章, 岩切 勝彦: シャント塞栓術および TIPS により難治性腹水が改善しその後直接作用型抗ウイルス薬にて SVR を得た A-P シャント合併 C 型肝硬変の 1 例. *日本門脈圧亢進症学会雑誌* 2019; 25 (2) :136-141. doi: 10.11423/jsph.25.136.
- 90) 岩切 勝彦, 川見 典之, 星野 慎太郎: ポノブラザン登場により明らかとなってきた新たな GERD の病態と治療戦略. *日本消化管学会雑誌* 2019; 3 (1) :7-15.
- 91) 坂本 譲, 由雄 祥代, 河合 裕成, 島垣 智成, 森 泰三, 松田 道隆, 土肥 弘義, 青木 孝彦, 吉田 祐士, 新井 泰央, 糸川 典夫, 大澤 陽介, 考藤 達哉, 武富 紹信: マスサイトメトリーを用いた NAFLD 患者における免疫病態の網羅的解析. *肝臓* 2019; 60 (Suppl.2) :A683.

- 92) 小泉 英里子, 後藤 修, 野田 啓人, 樋口 和寿, 飽本 哲兵, 貝瀬 満, 吉田 寛, 岩切 勝彦: リンパ節転移リスクと手術リスクを考慮した胃 ESD 非治癒切除症例における新しい治療戦略の提案. 日本消化器病学会雑誌 2019; 116 (臨増大会):A760.
- 93) 田中 周, 梅田 隆満, 大森 順, 星本 相理, 橋野 史彦, 片岡 宏章, 高木 信介, 西本 崇良, 秋元 直彦, 佐藤 航, 三井 啓吾, 辰口 篤志, 藤森 俊二, 岩切 勝彦: レーザー内視鏡診療の現状と近未来 特殊光色彩強調機能(LCI)を用いた内視鏡観察と通常白色光観察における大腸腺腫発見率の比較 非盲検のランダム化比較試験. 日本消化管学会雑誌 2020; 4 (Suppl.):224.
- 94) 小泉 英里子, 貝瀬 満, 後藤 修, 岩切 勝彦: 上部消化管における同時性・異時性多発癌早期発見のためのスクリーニング・サーベイランス法 同時多発早期胃癌の特徴と内視鏡観察時の注意点. Progress of Digestive Endoscopy 2019; 95 (Suppl.):s81.
- 95) 金子 恵子, 葉山 惟信, 河野 惟道, 新井 泰央, 岩下 愛, 張本 秀典, 厚川 正則, 川本 智章, 岩切 勝彦: 下大静脈狭窄が原因と考えられた下行性食道静脈瘤の1例. 日本門脈圧亢進症学会雑誌 2019; 25 (3):180.
- 96) 門馬 絵理, 田邊 智英, 星野 慎太郎, 川見 典之, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 内視鏡下胃内圧検査法の開発 上腹部症状・おくびと胃内圧・CO2 送気量の関係. 日本消化管学会雑誌 2020; 4 (Suppl.):254.
- 97) 門馬 絵理, 川見 典之, 星野 慎太郎, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 内視鏡下胃機能検査法の開発, 胃内圧, CO2 注入量と上腹部症状, おくびとの関連. Gastroenterological Endoscopy 2019; 61 (Suppl.2):2166.
- 98) 門馬 絵理, 川見 典之, 星野 慎太郎, 田邊 智英, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 内視鏡下胃機能検査法の開発, 胃内圧, CO2 注入量と上腹部症状との関連. Gastroenterological Endoscopy 2019; 61 (Suppl.1):895.
- 99) 大森 順, 後藤 修, 桐田 久美子, 小泉 英里子, 野田 啓人, 樋口 和寿, 梅田 隆満, 飽本 哲兵, 秋元 直彦, 鈴木 将大, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 内視鏡的手縫い縫合における 3D 内視鏡の有用性に関する机上実験. Gastroenterological Endoscopy 2019; 61 (Suppl.1):940.
- 100)河越 哲郎, 池田 剛, 大城 雄, 丸木 雄太, 金子 恵子, 岩切 勝彦: 切除不能・再発食道扁平上皮癌における S-1 単独治療. 日本消化器病学会雑誌 2019; 116 (臨増大会):A833.
- 101)河越 哲郎, 池田 剛, 大城 雄, 丸木 雄太, 星野 慎太郎, 川見 典之, 金子 恵子, 岩切 勝彦: 切除不能・再発食道扁平上皮癌における S-1 単独治療の成績. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 73 回:183.
- 102)吉田 祐士, 厚川 正則, 河野 惟道, 肥田 舞, 田邊 智英, 大久保 知美, 新井 泰央, 葉山 惟信, 岩下 愛, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 金子 恵子, 川本 智章, 岩切 勝彦: 切除不能進行肝細胞癌に対するレンパチニブの初期使用経験. 肝臓 2019; 60 (Suppl.1):A433.
- 103)星本相理, 辰口篤志, 橋野史彦, 梅田隆満, 片岡宏章, 高木信介, 西本崇良, 大森順, 秋元直彦, 三井啓吾, 米澤真興, 田中周, 藤森俊二, 岩切勝彦: 原発性小腸腺癌における PD-1/PD-L1 の局在. 日本小腸学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 57th:51.
- 104)星本 相理, 辰口 篤志, 山田 岳史, 橋野 史彦, 片岡 宏章, 梅田 隆満, 高木 信介, 西本 崇良, 大森 順, 佐藤 航, 秋元 直彦, 三井 啓吾, 田中 周, 藤森 俊二, 岩切 勝彦: 原発性小腸腺癌における Programmed cell death 1、Programmed cell death-ligand 1、2 の臨床病理学的意義. 日本消化管学会雑誌 2020; 4 (Suppl.):307.
- 105)星本相理, 辰口篤志, 山田岳史, 片岡宏章, 橋野史彦, 梅田隆満, 高木信介, 西本崇良, 秋元直彦, 大森順, 佐藤航, 三井啓吾, 米澤真興, 田中周, 藤森俊二, 岩切勝彦: 原発性小腸腺癌における Programmed cell death ligand1 の局在. 日本消化器病学会雑誌 2019; 116
- 106)星本 相理, 辰口 篤志, 山田 岳史, 橋野 史彦, 片岡 宏章, 梅田 隆満, 高木 信介, 西本 崇良, 大森 順, 佐藤 航, 秋元 直彦, 三井 啓吾, 米澤 真興, 田中 周, 藤森 俊二, 岩切 勝彦: 原発性小腸腺癌における Programmed cell death(PD)-1/PD-L1 の局在とその臨床病理学的意義. 日本消化器病学会雑誌 2019; 116 (臨増大会):A794.
- 107)石川 裕美子, 辰口 篤志, 山田 岳史, 星本 相理, 梅田 隆満, 片岡 宏章, 高木 信介, 西本 崇良, 橋野 史彦, 大森 順, 秋元 直彦, 佐藤 航, 三井 啓吾, 米澤 真興, 田中 周, 藤森 俊二, 岩切 勝彦: 原発性小腸腺癌における上皮成長因子受容体(EGFR)ファミリーの発現の臨床病理学的意義. 日本消化管学会雑誌 2020; 4 (Suppl.):307.
- 108)辰口 篤志, 三井 啓吾, 田中 周, 佐藤 航, 秋元 直彦, 大森 順, 梅田 隆満, 片岡 宏章, 高木 信介, 西本 崇良, 米澤 真興, 山田 岳史, 藤森 俊二, 河越 哲郎, 岩切 勝彦: 原発性空腸・回腸腺癌に対する化学療法の治療成績についての報告. 日本大腸肛門病学会雑誌 2019; 72 (5):341.
- 109)星野 慎太郎, 川見 典之, 肥田 舞, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 夜間睡眠時の胃食道逆流と睡眠深度. 日本消化器病学会雑誌 2019; 116 (臨増大会):A746.
- 110)星野 慎太郎, 川見 典之, 門馬 絵里, 肥田 舞, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝

- 彦：夜間睡眠時の胃食道逆流と睡眠深度の関係. 日本消化管学会雑誌 2020; 4 (Suppl.) :298.
- 111)大森 順, 貝瀬 満, 星本 相理, 橋野 史彦, 片岡 宏章, 梅田 隆満, 高木 信介, 西本 崇良, 秋元 直彦, 佐藤 航, 三井 啓吾, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤志, 岩切 勝彦：大腸憩室出血に対する内視鏡的クリップ止血術と早期再出血軽減の関連性について. Gastroenterological Endoscopy 2019; 61 (Suppl.2) :2176.
- 112)川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 田邊 智英, 肥田 舞, 門馬 絵理, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦：好酸球性消化管疾患の診断と治療の現状 好酸球性食道炎及び好酸球性食道筋炎患者の食道運動機能を含めた臨床的特徴. 日本消化管学会雑誌 2020; 4 (Suppl.) :157.
- 113)肥田 舞, 川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 田邊 智英, 貝瀬 満, 岩切 勝彦：好酸球性食道炎患者に対する high resolution manometry を用いた食道運動機能評価. 日本消化器病学会雑誌 2019; 116 (臨増大会) :A748.
- 114)梅田 隆満, 田中 周, 星本 相理, 橋野 史彦, 片岡 宏章, 高木 信介, 西本 崇良, 大森 順, 秋元 直彦, 佐藤 航, 米澤 真興, 三井 啓吾, 辰口 篤志, 藤森 俊二, 岩切 勝彦：小腸 GIST の診断と治療 (特集 小腸腫瘍：診断と治療). 消化器・肝臓内科 = Gastroenterology & hepatology 2019; 5 (4) :398-403.
- 115)西本 崇良, 辰口 篤志, 山田 岳史, 星本 相理, 橋野 史彦, 梅田 隆満, 片岡 宏章, 高木 信介, 大森 順, 秋元 直彦, 佐藤 航, 三井 啓吾, 河越 哲郎, 田中 周, 藤森 俊二, 岩切 勝彦：小腸腫瘍の診療の実際:診断から内視鏡治療、手術治療、化学療法まで 原発性小腸腺癌の臨床病理学的特徴と治療の検討. 日本消化管学会雑誌 2020; 4 (Suppl.) :231.
- 116)野村 務, 萩原 信敏, 松谷 毅, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 牧野 浩司, 岩切 勝彦, 吉田 寛：巨大食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡手術 当施設における手技のポイント. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 73 回:70.
- 117)門馬 絵理, 辰口 篤志, 星本相理, 橋野史彦, 梅田隆満, 片岡宏章, 高木信介, 西本崇良, 大森順, 秋元直彦, 三井啓吾, 米澤真興, 田中周, 藤森俊二, 岩切勝彦：当院における原発性小腸癌の臨床病理学的特徴の検討. 日本小腸学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 57th:51.
- 118)大久保 知美, 厚川 正則, 肥田 舞, 吉田 祐士, 新井 泰央, 岩下 愛, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 川本 智章, 岩切 勝彦：慢性肝疾患に合併したサルコペニアと Vitamin D の関連性及び Vitamin D 投与の有効性について. 肝臓 2019; 60 (Suppl.2) :A677.
- 119)大久保 知美, 厚川 正則, 吉田 祐士, 新井 泰央, 岩下 愛, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 岩切 勝彦, 川本 智章：慢性肝疾患に合併したサルコペニアにおける Vitamin D 濃度との関連性及び Vitamin D 投与の有効性について. 肝臓 2019; 60 (Suppl.1) :A399.
- 120)葉山 惟信, 厚川 正則, 糸川 典夫, 高口 浩一, 平岡 淳, 豊田 秀典, 熊田 卓, 永松 洋明, 石川 達, 島田 紀明, 守谷 昭男, 森下 朝洋, 三上 繁, 飯尾 悦子, 岩切 勝彦：慢性肝疾患皮膚そう痒症に対するナルフィラフィンの有効性と効果予測因子の解析. 肝臓 2019; 60 (Suppl.2) :A691.
- 121)葉山 惟信, 厚川 正則, 高口 浩一, 平岡 淳, 豊田 秀徳, 熊田 卓, 永松 洋明, 石川 達, 島田 紀明, 糸川 典夫, 岩切 勝彦：慢性肝疾患皮膚そう痒症に対するナルフラフィンの有効性と効果予測因子の解析. 肝臓 2019; 60 (Suppl.1) :A323.
- 122)星本 相理, 田中 周, 岩切 勝彦：憩室性疾患：Meckel 憩室を中心に (特集 ここまで明らかになった小腸疾患) -- (小腸の各疾患) 2020; 108 (1) :5,79-82.
- 123)二神 生爾, 桐田 久美子, 小高 康裕, 阿川 周平, 山脇 博士, 植木 信江, 岩切 勝彦, 山道 信毅, 北條 麻理子, 山本 貴嗣：抗血栓薬と出血性有害事象 多施設共同研究における超高齢者大腸憩室出血患者群を対象にした DOAC 内服患者像検討の試み. 臨床薬理 2019; 50 (Suppl.) :S142.
- 124)桐田 久美子, 二神 生爾, 柴田 喜明, 山道 信毅, 北條 麻理子, 山本 貴嗣, 岩切 勝彦：抗血栓薬内服高齢者における大腸憩室出血を来すリスク因子の検討 多施設共同研究の試み. 日本臨床生理学会雑誌 2019; 49 (4) :61.
- 125)長谷川 雄太, 二神 生爾, 桐田 久美子, 阿川 周平, 池田 剛, 樋口 和寿, 恩田 毅, 山脇 博士, 小高 康裕, 植木 信江, 金子 恵子, 渡邊 嘉行, 岩切 勝彦：早期慢性膵炎群と膵酵素異常を伴う FD 患者における EUS 所見の比較検討. Gastroenterological Endoscopy 2019; 61 (Suppl.2) :2163.
- 126)樋口 和寿, 後藤 修, 小泉 英里子, 桐田 久美子, 野田 啓人, 鮑本 哲兵, 大森 順, 貝瀬 満, 岩切 勝彦：早期胃癌の内視鏡診断における 3D 内視鏡の有用性. 日本胃癌学会総会記事 2020; 92 回:490.
- 127)樋口 和寿, 貝瀬 満, 桐田 久美子, 小泉 英里子, 野田 啓人, 梅田 隆満, 鮑本 哲兵, 大森 順, 後藤 修, 岩切 勝彦：早期胃癌の範囲診断における 3D 内視鏡の有用性の検証. Gastroenterological Endoscopy 2019; 61 (Suppl.1) :857.

- 128)野田啓人, 貝瀬満, 岩切勝彦: 早期胃癌診断における endocytoscopy の検討. *Gastroenterological Endoscopy* 2019; 61 (Supplement1)
- 129)阿川 周平, 山脇 博士, 二神 生爾: 機能性消化管障害研究の最前線 超音波内視鏡を用いた機能性ディスペプシアへのアプローチ. *日本臨床生理学会雑誌* 2019; 49 (5) :151-154.
- 130)川見 典之, 星野 慎太郎, 岩切 勝彦: 機能性食道疾患の最新の知見～病態から診断治療まで～ P-CAB 抵抗性 NERD 患者における逆流 pH 値・到達部位と症状出現の関連. *日本食道学会学術集会プログラム・抄録集* 2019; 73 回:31.
- 131)川見 典之, 岩切 勝彦: 消化器疾患の漢方治療: 胃食道逆流症と嚥下障害 (特集 消化器疾患と漢方). *消化器・肝臓内科* 2019; 6 (4) :279-284.
- 132)藤森 俊二, 星本 相理, 橋野 史彦, 片岡 宏章, 梅田 隆満, 高木 信介, 西本 崇良, 大森 順, 岩切 勝彦: 特集 原因不明消化管出血(OGIB) III.患者背景と病歴から組み立てる OGIB の診断戦略(3)肝疾患を背景にもつ小腸出血. *INTESTINE* 2019; 23 (4) :334-338. doi: 10.19020/int.0000000368.
- 133)田中 周, 星本 相理, 橋野 史彦, 梅田 隆満, 大森 順, 三井 啓吾, 辰口 篤志, 藤森 俊二, 岩切 勝彦: 特集 原因不明消化管出血(OGIB) X. OGIB 診療における保険診療上の注意点と今後の課題. *INTESTINE* 2019; 23 (4) :375-378. doi: 10.19020/int.0000000376.
- 134)塩田 香織, 葉山 惟信, 半田 忠靖, 吉田 祐士, 大久保 知美, 新井 泰央, 岩下 愛, 糸川 典夫, 金子 恵子, 厚川 正則, 川本 智章, 岩切 勝彦: 経過観察中に多発肝結節を認めた IV 型 Budd-Chiari 症候群の若年 2 症例. *日本消化器病学会関東支部例会プログラム・抄録集* 2019; 356 回:38.
- 135)葉山惟信, 厚川正則, 岩下愛, 田邊智英, 張本滉智, 金子恵子, 川本智章, 岩切勝彦, 吉田祐士, 大久保知美, 新井泰央, 糸川典夫: 肝性浮腫に対する tolvaptan の短期治療効果にはどの時点での腎機能が重要か?. *日本消化器病学会雑誌* 2019; 116
- 136)新井 泰央, 厚川 正則, 肥田 舞, 河野 惟道, 吉田 祐士, 大久保 知美, 岩下 愛, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 田中 靖人, 岩切 勝彦: 肝線維化進展 NAFLD 患者における動脈硬化症の特徴 FIB4-index の拾い上げにおける有用性を含めた検討. *肝臓* 2019; 60 (Suppl.1):A335.
- 137)池田 剛, 二神 生爾, 植木 信江, 村上 舞琴, 阿川 周平, 野田 啓人, 樋口 和寿, 山脇 博士, 小高 康裕, 河越 哲郎, 岩切 勝彦: 胃癌 ESD 患者群および H.pylori 陽性胃炎患者における COX-2 1195、COX-2 1290、IL-1 β 511、TNF- α 308、mPGES-1 genotype と京都分類との比較検討の試み. *日本消化器病学会雑誌* 2019; 116 (臨増大会) :A755.
- 138)川見 典之, 岩切 勝彦: 胃食道逆流症の分類: NERD, reflux hypersensitivity, functional heartburn の違いを含めて (特集 機能性消化管疾患: 上部: 最新の診断と治療) -- (診断と治療). *日本臨床* 2019; 77 (10) :1638-1643.
- 139)吉村 祐亮, 阿川 周平, 牧田 智彦, 田邊 智英, 山脇 博士, 小高 康裕, 植木 信江, 大橋 隆治, 二神 生爾: 腹水を伴った好酸性球性胃腸炎に対して、ステロイド内服が著効した一例. *日本消化器病学会関東支部例会プログラム・抄録集* 2020; 358 回:25.
- 140)大庭 健史, 早瀬 健人, 阿部 恵理子, 大塚 英明, 半田 忠靖, 山口 祐司, 小林 俊介, 周東 佑樹, 長尾 元嗣, 稲垣 恭子, 福田 いずみ, 岩切 勝彦, 杉原 仁: 薬物療法(SGLT 阻害薬 2) SGLT-2 阻害薬の投与を契機に糖尿病ケトアシドーシスと急性壊死性食道炎を発症した 1 例. *糖尿病合併症* 2019; 33 (Suppl.1) :218.
- 141)早瀬 健人, 河越 哲郎, 池田 剛, 大城 雄, 金子 恵子, 岩切 勝彦: 誤飲ボタン電池を経口腸管洗浄剤と大腸内視鏡で回収し得た 1 例. *日本消化器病学会関東支部例会プログラム・抄録集* 2020; 358 回:43.
- 142)松井 隆典, 柿沼 大輔, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 松野 邦彦, 下田 朋宏, 高 和英, 樋口 和寿, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦, 吉田 寛: 貧血・低蛋白血症に対し胃全摘術が有効であった若年性ポリポーシスの 1 例. *Progress of Digestive Endoscopy* 2019; 95 (Suppl.) :s93.
- 143)野田 啓人, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 超拡大内視鏡診断 早期胃癌診断における endocytoscopy の検討. *Gastroenterological Endoscopy* 2019; 61 (Suppl.1) :796.
- 144)辰口篤志, 辰口篤志, 川見典之, 岩切勝彦: 長期高ガストリン血症の胃粘膜に及ぼす影響. *Gastroenterological Endoscopy* 2019; 61 (Supplement2)
- 145)葉山 惟信, 金澤 秀典, 新井 泰央, 岩下 愛, 金子 恵子, 張本 滉智, 厚川 正則, 川本 智章, 岩切 勝彦: 門亢症に対する IVR 治療の進歩～難治例・難渋例に対する工夫～ 難治性腹水に対する TIPS の治療成績. *日本門脈圧亢進症学会雑誌* 2019; 25 (3) :65.
- 146)葉山 惟信, 金沢 秀典, 岩切 勝彦: 難治性腹水・肝性胸水を呈した肝内動脈門脈瘻 5 例に対する TIPS の治療成績. *肝臓* 2019; 60 (Suppl.1) :A363.
- 147)阿川 周平, 二神 生爾, 桐田 久美子, 樋口 和寿, 池田 剛, 山脇 博士, 小高 康裕, 植木 信江, 岩切 勝彦: 非アルコール性慢性炎症の拾い上げにおける Trypsin、Elastase-1 測定の有用性及び Elastography を用いた上乗せ効果の検討. *日本消化器病学会雑誌* 2019;

- 116 (臨増大会) :A860.
- 148)岩切 勝彦 : 食道運動機能診断. *Gastroenterological Endoscopy* 2019; 61 (Supplement1) :652-653. doi: 10.11280/gee.61.652.
- 149)川見 典之, 星野 慎太郎, 岩切 勝彦 : 食道運動機能障害の診断と治療 Jackhammer esophagus の臨床像と治療法に関する検討. *Gastroenterological Endoscopy* 2019; 61 (Suppl.1) :759.
- 150)樋口 和秀, 藤原 靖弘, 眞部 紀明, 山下 博司, 岩切 勝彦, 保坂 浩子, 小池 智幸, 北條 麻理子, 木下 芳一, 春日井 邦夫, 日本高齢消化器病学会 : 高齢者 GERD ガイドライン. *日本高齢消化器病学会誌* 2019; (Supplement) :7-23.
- 151)肥田 舞, 星野 慎太郎, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 川見 典之, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 高齢者の PPI 抵抗性逆流性食道炎患者の臨床的特徴. *日本食道学会学術集会プログラム・抄録集* 2019; 73 回:396.
- 152)星野 慎太郎, 川見 典之, 岩切 勝彦 : 高齢者の PPI 抵抗性逆流性食道炎患者の臨床的特徴. *日本医科大学医学雑誌* 2019; 15 (4) :263.
- 153)柿沼 大輔, 後藤 修, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 松野 邦彦, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 岩切 勝彦, 吉田 寛 : 高齢者胃癌に対し腹腔鏡・内視鏡合同手術にて治療を行った 3 例. *日本消化器外科学会総会* 2019; 74 回:P60-3.
- 154)大城 雄, 池田 剛, 金子 恵子, 河越 哲郎, 岩切 勝彦 : 高齢者膵癌に対するゲムシタピン・アブラキササン併用療法の安全性と有効性. *日本高齢消化器病学会誌* 2019; 22 (1) :104.
- 155)肥田 舞, 糸川 典夫, 厚川 正則, 藤森 俊二, 羽鳥 努, 岩切 勝彦 : 黄疸と全身性の結節性黄色腫を契機に診断された原発性胆汁性胆管炎の一例. *日本消化器病学会関東支部例会プログラム・抄録集* 2019; 355 回:44.

著書

- 1) 二神生爾, 山脇博士 : 超高齢化時代の消化管機能疾患にどう向き合うか? . *Geriatric Medicine* 57(6):549-552. 2019,6.
- 2) 二神生爾, 山脇博士, 阿川周平, 小高康裕, 植木信江 : 上腹部症状の原因臓器としての十二指腸. *日本臨牀* 77(10): pp.1625-1631 2019,10.
- 3) 二神生爾, 山脇博士 : [分担執筆] 便秘偏 : 専門医に紹介するタイミングはどう判断するのか? . 中島淳, 前田耕太郎編著. かかりつけ医のための便秘・便失禁診療 Q&A. 2019, 日本医事新報社.
- 4) 二神生爾, 山脇博士 : [分担執筆] 便秘症診断のコツ 鑑別診断のポイント～悪性疾患のサインを見逃さない～. なぜ? どうする? がわかる! 便秘症の診かたと治し方. 2019, 南江堂.
- 5) 山脇博士, 二神生爾, 岩切勝彦 : [分担執筆] 【消化管症候群(第 3 版)-その他の消化管疾患を含めて-】胃 機能的疾患 胃神経症. 別冊 日本臨牀 消化管症候群. 2019, 日本臨牀社.

学会発表

- 1) 星野 慎太郎, 川見 典之, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : "Esophageal Rosette" を認めないアカラシア患者の内視鏡所見. *Gastroenterological Endoscopy*, 2019. 5.
- 2) 吉田 祐士, 厚川 正則, 新井 泰央, 大久保 知美, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 川本 智章, 岩切 勝彦 : 2 型 DM 合併患者の肝病態に対するカナグリフロジンの影響の解析. 第 27 回日本消化器関連学会週間(JDDW2019) (第 23 回日本肝臓学会大会), 2019. 11.
- 3) 田邊 智英, 厚川 正則, 吉田 祐士, 新井 泰央, 肥田 舞, 大久保 知美, 葉山 惟信, 岩下 愛, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 張本 滉智, 金子 恵子, 川本 智章, 岩切 勝彦 : 2 型糖尿病を有する NAFLD 患者における SGLT2 阻害薬の有効性についての解析. *肝臓*, 2019. 4.
- 4) 吉田祐士, 厚川正則, 新井泰央, 肥田舞, 田邊智英, 大久保知美, 葉山惟信, 岩下愛, 糸川典夫, 近藤千紗, 張本滉智, 金子恵子, 川本智章, 岩切勝彦 : 2 型糖尿病合併 NAFLD 患者の肝病態に対する SGLT2 阻害薬の影響. *日本消化器病学会雑誌(Web)*, 2019.
- 5) K. Higuchi, M. Kaise, K. Kirita, E. Koizumi, H. Noda, T. Umeda, T. Akimoto, J. Omori, O. Goto, K. Iwakiri : 3-DIMENSIONAL FLEXIBLE ENDOSCOPY ENHANCES THE QUALITY OF PRE-ESD ASSESSMENT FOR EARLY GASTRIC CANCER. *DDW2019*, 2019. 5.
- 6) S. Agawa, S. Futagami, M. Murakami, K. Kirita, G. Ikeda, K. Higuchi, H. Noda, H. Yamawaki, Y. Kodaka, N. Ueki, K. Iwakiri : ACYLATED GHRELIN LEVELS WERE ASSOCIATED WITH DEPRESSIVE STATUS, PHYSICAL QUALITY OF LIFE AND ENDOSCOPIC FINDINGS BASED ON KYOTO CLASSIFICATION IN FUNCTIONAL DYSPEPSIA IN JAPAN. *DDW2019*, 2019. 5.
- 7) K. Hayama, K. Kaneko, T. Tanabe, A. Iwashita, H. Harimoto, M. Atsukawa, C. Kawamoto, K. Iwakiri : ADD-ON EFFECT OF AT-

- III IN THROMBOLYTIC THERAPY FOR PORTAL VEIN THROMBOSIS. DDW2019, 2019. 5.
- 8) K. Kirita, S. Futagami, G. Ikeda, K. Higuchi, S. Agawa, H. Noda, H. Yamawaki, Y. Kodaka, N. Ueki, K. Iwakiri : APURINIC/APYRIMIDINIC ENDONUCLEASE-1 IS ASSOCIATED WITH ANGIOGENESIS AND VEGF PRODUCTION VIA UPREGULATION OF COX-2. DDW2019, 2019. 5.
 - 9) K. Kaneko, T. Tanabe, A. Iwashita, K. Hayama, H. Harimoto, M. Atsukawa, C. Kawamoto, K. Iwakiri : ASSESSMENT OF ENDOSCOPIC ULTRASOUND (EUS) AND MAGNETIC RESONANCE IMAGING (MRI) AND SERUM LEVELS OF CA19-9. FOR INTRADUCTAL PAPILLARY MUCINOUS NEOPLASM (IPMN) WITH MURAL NODULES. DDW2019, 2019. 5.
 - 10) 糸川典夫, 厚川正則, 岩切勝彦 : B型慢性肝炎患者に対するTAF療法におけるHBs抗原低下作用の検討. 第105回日本消化器病学会総会, 2019. 5.
 - 11) 山脇 博士 : Camostat Mesilate, Pancrelipase and Rabeprazole Combination Therapy Improves Epigastric Pain in Early Chronic Pancreatitis and Functional Dyspepsia with Pancreatic Emzyme Abnormalities. Digestive Disease Week 2019, 2019. 5.
 - 12) 小高 康裕, 二神 生爾, 桐田久美子 : DOAC、ワルファリン服用中の大腸憩室出血患者を対象とした多施設共同研究. 第109回 日本消化器内視鏡学会関東支部例会, 2019. 12.
 - 13) 小高康裕, 二神生爾, 山脇博士, 阿川周平, 植木信江, 桐田久美子, 柴田喜明, 大森順, 貝瀬満, 岩切勝彦, 千原直人, 渡辺昌則, 谷合信彦, 新倉量太, 山道信毅, 泉健太郎, 北條麻里子, 山本貴嗣 : DOAC服用中の大腸憩室出血患者を対象とした多施設共同研究 – DOAC, ワルファリン, 抗血小板薬の比較検討 – (第1報). DDW2019 第27回日本消化器関連学会週間, 2019. 11.
 - 14) T. Tanabe, S. Hoshino, N. Kawami, Y. Hoshikawa, E. Monma, O. Goto, M. Kaise, K. Iwakiri : EFFICACY OF 20-MG VONOPRAZAN (VPZ) ON-DEMAND THERAPY FOR NON-EROSIVE REFLUX DISEASE. DDW2019, 2019. 5.
 - 15) H. Noda, M. Kaise, K. Kirita, E. Koizumi, S. Agawa, K. Higuchi, T. Akimoto, H. Yamawaki, O. Goto, N. Ueki, S. Futagami, K. Iwakiri : ENDOCYTOSCOPY, A CONTACT-TYPE ULTRAHIGH-MAGNIFICATION ENDOSCOPY, CAN PREDICT HISTOLOGIC TYPES OF EARLY GASTRIC CACER. DDW2019, 2019. 5.
 - 16) E. Monma, N. Kawami, S. Hoshino, T. Tanabe, Y. Hoshikawa, O. Goto, M. Kaise, K. Iwakiri : ENDOSCOPIC GASTRIC FUNCTION TEST: THE RELATIONSHIP BETWEEN GASTRIC PRESSURE, CO2 INSUFFLATION VOLUME, AND UPPER ABDOMINAL SYMPTOMS. DDW2019, 2019. 5.
 - 17) 阿川 周平, 山脇 博士, 二神 生爾, 桐田 久美子, 池田 剛, 野田 啓人, 樋口 和寿, 鮑本 哲兵, 小高 康裕, 金子 恵子, 植木 信江, 河越 哲郎, 岩切 勝彦 : EUSによる慢性膵炎スコアからみた分枝型IPMNのリスク評価—早期慢性膵炎群との比較検討—. 第105回日本消化器病学会総会, 2019. 5.
 - 18) 阿川 周平, 二神 生爾, 山脇 博士, 小高 康裕, 植木 信江, 岩切 勝彦 : FD患者における臨床症状、消化管運動能、京都分類に対するバイオマーカーとしての血清アシル化グレリン値の有用性の検討. 第47回日本潰瘍学会, 2020. 1.
 - 19) 阿川周平, 二神生爾, 桐田久美子, 野田啓人, 樋口和寿, 池田剛, 鮑本哲兵, 山脇博士, 小高康裕, 植木信江, 河越哲郎, 赤水尚史, 岩切勝彦 : FD患者における臨床症状、消化管運動能、京都分類に対するバイオマーカーとしての血清アシル化グレリン値の有用性の検討. JDDW2019 第27回日本消化器関連学会週間, 2019. 11.
 - 20) 辰口 篤志, 川見 典之, 岩切 勝彦 : GERD治療の進歩と問題点 長期高ガストリン血症の胃粘膜に及ぼす影響. 日本消化器病学会雑誌, 2019. 11.
 - 21) 野田 啓人, 貝瀬 満, 和田 龍一, 小泉 英里子, 桐田 久美子, 樋口 和寿, 鮑本 哲兵, 後藤 修, 岩切 勝彦 : H. pylori除菌後胃癌と現感染胃癌の臨床病理学的特徴の比較. 第16回日本消化管学会総会学術集会, 2020. 2.
 - 22) 長谷川 雄太, 貝瀬 満, 箕輪 真寿美, 池田 英里子, 桐田 久美子, 野田 啓人, 樋口 和寿, 梅田 隆満, 大森 順, 岩下 愛, 後藤 修, 岩切 勝彦 : H.Pylori未感染の前庭部に発生した早期胃癌(高分化管状腺癌)の1例. 第108回日本消化器内視鏡学会関東支部例会, 2019. 6.
 - 23) A. Tatsuguchi, S. Hoshino, N. Kawami, K. Gudis, K. Iwakiri : HYPERGASTRINEMIA SECONDARY TO LONG-TERM PROTON PUMP INHIBITOR TREATMENT DOES NOT CAUSE NEUROENDOCRINE TUMOR IN STOMACH. DDW2019, 2019. 5.
 - 24) 川見 典之, 星野 慎太郎, 岩切 勝彦 : Jackhammer esophagusの臨床像と治療法に関する検討. 第97回日本消化器内視鏡学会総会, 2019. 5.
 - 25) 山脇 博士, 二神 生爾, 岩切 勝彦 : LPS刺激 Urocortin 2 脳槽内投与ラットを用いた小腸粘膜内炎症および消化管運動能の解析-

- acotiamide による小腸粘膜に対する抗炎症作用の解析-. JDDW2019 第 27 回日本消化器関連学会週間, 2019. 11.
- 26) 山脇 博士, 二神 生爾, 岩切 勝彦 : LPS 前投与 urocortin 1 脳槽内投与ラットを用いた小腸粘膜内炎症および消化管運動能の解析-acotiamide による小腸粘膜に対する抗炎症作用の解析-, 2019. 11.
- 27) 金子恵子, 吉田祐士, 河野惟道, 大野弘貴, 田邊智英, 岩下愛, 葉山惟信, 厚川正則, 川本智章, 岩切勝彦 : MN 有する IPMN における手術決定における EUS と MRI の比較および血清 CA19-9 の検討. 日本消化器病学会雑誌(Web), 2019.
- 28) 新井 泰央, 厚川 正則, 吉田 祐士, 大久保 知美, 岩下 愛, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 岩切 勝彦 : NAFLD 患者の動脈硬化に影響を及ぼす因子の解析～実臨床における高リスク群の拾い上げを含めて～. 第 27 回日本消化器関連学会週間(JDDW2019) (第 23 回日本肝臓学会大会) , 2019. 11.
- 29) 川見 典之, 星野 慎太郎, 岩切 勝彦 : P-CAB 抵抗性 NERD 患者における逆流 pH 値・到達部位と症状出現の関連. 第 73 回日本食道学会学術集会, 2019. 6.
- 30) 肥田 舞, 川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 田邊 智英, 門馬 絵理, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : P-CAB 抵抗性 NERD 患者における逆流 pH 値・到達部位と症状出現の評価. 日本消化管学会雑誌, 2020. 1.
- 31) 川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 田邊 智英, 肥田 舞, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : P-CAB 抵抗性 NERD 患者における逆流 pH 値・到達部位と症状出現の関係. 日本消化器病学会雑誌, 2019. 11.
- 32) 田邊 智英, 北迫 勇一, 星野 慎太郎, 川見 典之, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 抵抗性逆流性食道炎と唾液分泌能についての検討. 第 28 回消化器疾患病態治療研究会, 2019. 9.
- 33) 星野 慎太郎, 川見 典之, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 抵抗性逆流性食道炎に対するボノプラザン 10mg の長期維持療法の成績. 第 105 回日本消化器病学会総会, 2019. 5.
- 34) 田邊 智英, 北迫 勇一, 星野 慎太郎, 川見 典之, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 抵抗性逆流性食道炎患者における唾液分泌能の検討. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集, 2019. 6.
- 35) 田邊 智英, 北迫 勇一, 肥田 舞, 星野 慎太郎, 川見 典之, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 抵抗性逆流性食道炎患者における唾液分泌能の検討. 日本消化管学会雑誌, 2020. 1.
- 36) 田邊 智英, 北迫 勇一, 星野 慎太郎, 川見 典之, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 抵抗性逆流性食道炎患者における唾液分泌量および唾液の酸緩衝能の検討. 日本消化器病学会雑誌, 2019. 11.
- 37) 星野 慎太郎, 川見 典之, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 治療が有効な NERD 患者に対するボノプラザン 20mg による on demand 療法の有用性. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集, 2019. 6.
- 38) T. Tanabe, S. Hoshino, N. Kawami, Y. Kitasako, Y. Hoshikawa, O. Goto, M. Kaise, K. Iwakiri : SALIVA SECRETION IN PATIENTS WITH PPI-RESISTANT SEVERE REFLUX ESOPHAGITIS. DDW2019, 2019. 5.
- 39) 糸川 典夫, 厚川 正則, 島田 紀朋, 安部 宏, 三上 繁, 浅野 徹, 平岡 淳, 中牟田 誠, 魚嶋 晴紀, 小川 力, 高口 浩一, 坪田 昭人, 岩切 勝彦 : TAF 療法における HBs 抗原低下作用に関する検討. 第 27 回日本消化器関連学会週間(JDDW2019) (第 23 回日本肝臓学会大会) , 2019. 11.
- 40) K. Hayama, H. Kanazawa, T. Tanabe, A. Iwashita, H. Harimoto, K. Kaneko, M. Atsukawa, C. Kawamoto, K. Iwakiri : THERAPEUTIC OUTCOMES OF A TRANSJUGULAR INTRAHEPATIC PORTOSYSTEMIC SHUNT ON 5 PATIENTS OF INTRAHEPATIC ARTERIOPORTAL. DDW2019, 2019. 5.
- 41) K. Higuchi, O. Goto, K. Kirita, E. Koizumi, H. Noda, T. Umeda, T. Akimoto, J. Omori, M. Kaise, K. Iwakiri : USEFULNESS OF THE FLEXIBLE TRACTION METHOD IN GASTRIC ENDOSCOPIC SUBMUCOSAL DISSECTION: AN IN-VIVO ANIMAL STUDY. DDW2019, 2019. 5.
- 42) 阿川周平, 二神生爾, 桐田久美子, 樋口和寿, 池田剛, 山脇博士, 小高康裕, 植木信江, 岩切勝彦 : ○非アルコール性早期慢性膵炎の拾い上げにおける Trypsin, Elastase-1 測定の有用性及び Elastography を用いた上乘せ効果の検討. JDDW2019 第 27 回日本消化器関連学会週間, 2019. 11.
- 43) 小池 智幸, 藤原 靖弘, 沢田 明也, 阿部 泰明, 川見 典之, 竹内 利寿, 塩谷 昭子, 杉本 光繁, 栗林 志行, 草野 元康, 岩切 勝彦, 樋口 和秀 : カリウムイオン競合型アシッドブロッカー抵抗性逆流性食道炎の臨床的特徴. 日本高齢消化器病学会誌, 2019. 7.
- 44) 濱窪 亮平, 張本 滉智, 金沢 秀典, 岩下 愛, 葉山 惟信, 金子 恵子, 厚川 正則, 川本 智章, 岩切 勝彦 : シェント塞栓術および

- TIPSにより難治性腹水が改善しその後直接作用型抗ウイルス薬にてSVRを得たA-Pシャント合併C型肝硬変の1例. 日本門脈圧亢進症学会雑誌, 2019. 7.
- 45) 岩切 勝彦, 川見 典之, 星野 慎太郎: ポノプラザン登場により明らかとなってきた新たな GERD の病態と治療戦略. 日本消化管学会雑誌, 2019. 9.
- 46) 小泉 英里子, 後藤 修, 野田 啓人, 樋口 和寿, 飽本 哲兵, 貝瀬 満, 吉田 寛, 岩切 勝彦: リンパ節転移リスクと手術リスクを考慮した胃 ESD 非治療切除症例における新しい治療戦略の提案. 第 27 回日本消化器関連学会週間(JDDW2019) (第 61 回日本消化器病学会大会), 2019. 11.
- 47) 金子 恵子, 葉山 惟信, 河野 惟道, 新井 泰央, 岩下 愛, 張本 秀典, 厚川 正則, 川本 智章, 岩切 勝彦: 下大静脈狭窄が原因と考えられた下行性食道静脈瘤の1例. 日本門脈圧亢進症学会雑誌, 2019. 9.
- 48) 川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 田邊 智英, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 全身性強皮症患者における食道運動機能と逆流性食道炎合併の関連. 第 105 回日本消化器病学会総会, 2019. 5.
- 49) 門馬 絵理, 田邊 智英, 星野 慎太郎, 川見 典之, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 内視鏡下胃内圧検査法の開発 上腹部症状・おくびと胃内圧・CO₂送気量の関係. 日本消化管学会雑誌, 2020. 1.
- 50) 門馬 絵理, 田邊 智英, 星野 慎太郎, 川見 典之, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 内視鏡下胃内圧検査法の開発～上腹部症状・おくびと胃内圧・CO₂送気量の関係～. 第 16 回日本消化管学会総会学術集会, 2020. 2.
- 51) 門馬 絵理, 川見 典之, 星野 慎太郎, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 内視鏡下胃機能検査法の開発、胃内圧、CO₂注入量と上腹部症状、おくびとの関連. Gastroenterological Endoscopy, 2019. 10.
- 52) 門馬 絵理, 川見 典之, 星野 慎太郎, 田邊 智英, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 内視鏡下胃機能検査法の開発、胃内圧、CO₂注入量と上腹部症状との関連. Gastroenterological Endoscopy, 2019. 5.
- 53) 門馬 絵理, 川見 典之, 星野 慎太郎, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 内視鏡下胃機能検査法の開発、胃内圧、CO₂注入量と上腹部症状、おくびとの関連. 第 27 回日本消化器関連学会週間(JDDW2019) (第 98 回日本消化器内視鏡学会総会), 2019. 11.
- 54) 大森 順, 後藤 修, 桐田 久美子, 小泉 英里子, 野田 啓人, 樋口 和寿, 梅田 隆満, 飽本 哲兵, 秋元 直彦, 鈴木 将大, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 内視鏡的縫い縫いにおける 3D 内視鏡の有用性に関する机上実験. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会, 2019. 6.
- 55) 河越 哲郎, 池田 剛, 大城 雄, 丸木 雄太, 星野 慎太郎, 川見 典之, 金子 恵子, 岩切 勝彦: 切除不能・再発食道扁平上皮癌における S-1 単独治療の成績. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集, 2019. 6.
- 56) 吉田 祐士, 厚川 正則, 河野 惟道, 肥田 舞, 田邊 智英, 大久保 知美, 新井 泰央, 葉山 惟信, 岩下 愛, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 金子 恵子, 川本 智章, 岩切 勝彦: 切除不能進行肝細胞癌に対するレンバチニブの初期使用経験. 肝臓, 2019. 4.
- 57) 河越 哲郎, 池田 剛, 大城 雄, 丸木 雄太, 早瀬 健人, 長谷川 雄太, 中村 真寿美, 門馬 絵理, 金子 恵子, 辰口 篤志, 岩切 勝彦: 切除不能進行胃癌・化学療法著効 2 例の特徴. 第 105 回日本消化器病学会総会, 2019. 5.
- 58) 星本 相理, 辰口 篤志, 山田 岳史, 橋野 史彦, 片岡 宏章, 梅田 隆満, 高木 信介, 西本 崇良, 大森 順, 佐藤 航, 秋元 直彦, 三井 啓吾, 米澤 真興, 田中 周, 藤森 俊二, 岩切 勝彦: 原発性小腸腺癌における Programmed cell death (PD)-1/PD-L1 の局在とその臨床病理学的意義. 第 27 回日本消化器関連学会週間(JDDW2019) (第 61 回日本消化器病学会大会), 2019. 11.
- 59) 星本 相理, 辰口 篤志, 山田 岳史, 橋野 史彦, 片岡 宏章, 梅田 隆満, 高木 信介, 西本 崇良, 大森 順, 佐藤 航, 秋元 直彦, 三井 啓吾, 田中 周, 藤森 俊二, 岩切 勝彦: 原発性小腸腺癌における Programmed cell death 1, Programmed cell death-ligand 1, 2 の臨床病理学的意義. 第 16 回日本消化管学会総会学術集会, 2020. 2.
- 60) 星本 相理, 辰口 篤志, 山田 岳史, 片岡 宏章, 橋野 史彦, 梅田 隆満, 高木 信介, 西本 崇良, 秋元 直彦, 大森 順, 佐藤 航, 三井 啓吾, 米澤 真興, 田中 周, 藤森 俊二, 岩切 勝彦: 原発性小腸腺癌における Programmed cell death ligand 1 の局在. 第 105 回日本消化器病学会総会, 2019. 5.
- 61) 石川 裕美子, 辰口 篤志, 山田 岳史, 星本 相理, 梅田 隆満, 片岡 宏章, 高木 信介, 西本 崇良, 橋野 史彦, 大森 順, 秋元 直彦, 佐藤 航, 三井 啓吾, 米澤 真興, 田中 周, 藤森 俊二, 岩切 勝彦: 原発性小腸腺癌における上皮成長因子受容体(EGFR)ファミリーの発現の臨床病理学的意義, 2020. 2.
- 62) 西本 崇良, 辰口 篤志, 山田 岳史, 星本 相理, 橋野 史彦, 梅田 隆満, 片岡 宏章, 高木 信介, 大森 順, 秋元 直彦, 佐藤 航,

- 三井 啓吾, 河越 哲郎, 田中 周, 藤森 俊二, 岩切 勝彦: 原発性小腸腺癌の臨床病理学的特徴と治療の検討. 第 16 回日本消化管学会総会学術集会, 2020. 2.
- 63) 小泉 英里子, 貝瀬 満, 後藤 修, 岩切 勝彦: 同時多発早期胃癌の特徴と内視鏡観察時の注意点. 第 108 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会, 2019. 6.
- 64) 栗林 志行, 岩切 勝彦, 川見 典之, 竹之内 菜菜, 星野 慎太郎, 保坂 浩子, 下山 康之, 河村 修, 草野 元康, 浦岡 俊夫: 国内製高解像度食道内圧検査機器“Stalet”における distal contractile integral の基準値に関する検討. 第 105 回日本消化器病学会総会, 2019. 5.
- 65) 小高康裕, 二神生爾, 桐田久美子, 阿川周平, 新井泰央, 山脇博士, 小泉英里子, 樋口和寿, 池田剛, 植木信江, 河越哲郎, 柴田喜明, 岩切勝彦: 多施設共同研究における大腸憩室出血患者群を対象にした DOAC 内服、抗血小板内服患者群の比較検討の試み. 第 15 回日本消化管学会総会学術集会, 2019.
- 66) 桐田 久美子, 二神 生爾, 岩切 勝彦: 多施設共同研究における超高齢者大腸憩室出血患者群を対象にした DOAC 内服患者群と非内服患者群の比較検討の試み. JDDW2019 第 27 回日本消化器関連学会週間, 2019. 11.
- 67) 中村拳, 阿川周平, 新井泰央, 山脇博士, 小高康裕, 植木信江, 二神生爾, 岩切勝彦: 多発胃ポリープから大量出血を認め緊急上部内視鏡で止血を要した 1 例. 第 350 回 日本消化器病学会関東支部例会, 2019. 7.
- 68) 星野 慎太郎, 川見 典之, 肥田 舞, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 夜間睡眠時の胃食道逆流と睡眠深度. 日本消化器病学会雑誌, 2019. 11.
- 69) 星野 慎太郎, 川見 典之, 門馬 絵里, 肥田 舞, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 夜間睡眠時の胃食道逆流と睡眠深度の関係. 日本消化管学会雑誌, 2020. 1.
- 70) 大森 順, 貝瀬 満, 星本 相理, 橋野 史彦, 片岡 宏章, 梅田 隆満, 高木 信介, 西本 崇良, 秋元 直彦, 佐藤 航, 三井 啓吾, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤志, 岩切 勝彦: 大腸憩室出血に対する内視鏡的クリップ止血術と早期再出血軽減の関連性について. 第 27 回日本消化器関連学会週間(JDDW2019) (第 98 回日本消化器内視鏡学会総会), 2019. 11.
- 71) 大森 順, 貝瀬 満, 星本 相理, 橋野 史彦, 片岡 宏章, 梅田 隆満, 高木 信介, 西本 崇良, 秋元 直彦, 佐藤 航, 三井 啓吾, 田中 周, 辰口 篤志, 藤森 俊二, 岩切 勝彦: 大腸憩室出血に対する経カテーテル的血管造影および血管塞栓術に関する検討. 第 16 回日本消化管学会総会学術集会, 2020. 2.
- 72) 川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 田邊 智英, 肥田 舞, 門馬 絵理, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 好酸球性消化管疾患の診断と治療の現状 好酸球性食道炎及び好酸球性食道筋炎患者の食道運動機能を含めた臨床的特徴. 日本消化管学会雑誌, 2020. 1.
- 73) 川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 田邊 智英, 肥田 舞, 門馬 絵理, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 好酸球性食道炎及び好酸球性食道筋炎患者の食道運動機能を含めた臨床的特徴. 第 16 回日本消化管学会総会学術集会, 2020. 2.
- 74) 肥田 舞, 川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 田邊 智英, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 好酸球性食道炎患者に対する high resolution manometry を用いた食道運動機能評価. 日本消化器病学会雑誌, 2019. 11.
- 75) 野村 務, 萩原 信敏, 松谷 毅, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 牧野 浩司, 岩切 勝彦, 吉田 寛: 巨大食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡手術: 当施設における手技のポイント. 第 73 回日本食道学会学術集会, 2019. 6.
- 76) 二神 生爾: 慢性便秘症治療の新時代. JDDW2019 第 27 回日本消化器関連学会週間, 2019. 11.
- 77) 大久保 知美, 厚川 正則, 肥田 舞, 吉田 祐士, 新井 泰央, 岩下 愛, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 川本 智章, 岩切 勝彦: 慢性肝疾患に合併したサルコペニアと Vitamin D の関連性及び Vitamin D 投与の有効性について. 第 27 回日本消化器関連学会週間(JDDW2019) (第 23 回日本肝臓学会大会), 2019. 11.
- 78) 葉山 惟信, 厚川 正則, 糸川 典夫, 高口 浩一, 平岡 淳, 豊田 秀典, 熊田 卓, 永松 洋明, 石川 達, 島田 紀明, 守谷 昭男, 森下 朝洋, 三上 繁, 飯尾 悦子, 岩切 勝彦: 慢性肝疾患皮膚そう痒症に対するナルフィラフィンの有効性と効果予測因子の解析. 肝臓, 2019. 10.
- 79) 葉山 惟信, 厚川 正則, 高口 浩一, 平岡 淳, 豊田 秀徳, 熊田 卓, 永松 洋明, 石川 達, 島田 紀明, 糸川 典夫, 岩切 勝彦: 慢性肝疾患皮膚そう痒症に対するナルフラフィンの有効性と効果予測因子の解析. 肝臓, 2019. 4.
- 80) 葉山 惟信, 厚川 正則, 糸川 典夫, 高口 浩一, 平岡 淳, 豊田 秀典, 熊田 卓, 永松 洋明, 石川 達, 島田 紀明, 守谷 昭男, 森下 朝洋, 三上 繁, 飯尾 悦子, 岩切 勝彦: 慢性肝疾患皮膚搔痒症に対するナルフィラフィンの有効性と効果予測因子の解析. 第 27 回

- 日本消化器関連学会週間(JDDW2019) (第 23 回日本肝臓学会大会), 2019. 11.
- 81) 中村拳, 阿川周平, 新井泰央, 山脇博士, 小高康裕, 植木信江, 二神生爾, 岩切勝彦: 早期慢性膵炎と膵酵素異常を伴う FD 患者群の鑑別診断における早期胃排出能の有用性の検討. 第 350 回 日本消化器病学会関東支部例会, 2019. 7.
- 82) 阿川 周平, 山脇 博士, 小高 康裕, 植木 信江, 二神 生爾: 早期慢性膵炎と膵酵素異常を伴う心窩部痛症候群に対する超音波内視鏡像の比較検討. 第 109 回 日本消化器内視鏡学会関東支部例会, 2019. 12.
- 83) 長谷川雄太, 二神生爾, 桐田久美子, 阿川周平, 池田剛, 樋口和寿, 恩田毅, 山脇博士, 小高康裕, 植木信江, 金子恵子, 渡邊嘉行, 岩切勝彦: 早期慢性膵炎群と膵酵素異常を伴う FD 患者における EUS 所見の比較検討. JDDW2019 第 27 回日本消化器関連学会週間, 2019. 11.
- 84) 樋口 和寿, 貝瀬 満, 桐田 久美子, 小泉 英里子, 野田 啓人, 梅田 隆満, 飽本 哲兵, 大森 順, 後藤 修, 岩切 勝彦: 早期胃癌の範囲診断における 3D 内視鏡の有用性の検討. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会, 2019. 5.
- 85) 野田 啓人, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 早期胃癌診断における endocytoscopy の検討. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会, 2019. 6.
- 86) 小泉英里子, 桐田久美子, 貝瀬 満, 後藤 修, 岩切勝彦: 未分化型胃癌におけるピロリ菌現感染と除菌後・既感染症例の臨床的・内視鏡所見の比較検討. 第 109 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会, 2019. 12.
- 87) 新井 泰央, 厚川 正則, 肥田 舞, 吉田 祐士, 大久保 知美, 岩下 愛, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 田中 靖人, 岩切 勝彦: 本邦の NAFLD 患者における動脈硬化症の特徴. 第 105 回日本消化器病学会総会, 2019. 5.
- 88) 川見 典之, 星野 慎太郎, 岩切 勝彦: 機能的食道疾患の最新の知見～病態から診断治療まで～ P-CAB 抵抗性 NERD 患者における逆流 pH 値・到達部位と症状出現の関連. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集, 2019. 6.
- 89) 門馬 絵理, 川見 典之, 星野 慎太郎, 田邊 智英, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切勝彦: 機能的異常に伴う上腹部症状の解明に向けた胃内圧検査の開発. 第 28 回消化器疾患病態治療研究会, 2019. 9.
- 90) 白井 清香, 安井 大祐, 上田 達夫, 杉原 史恵, 齊藤 英正, 葉山 惟信, 川本 智章, 汲田 伸一郎: 無漿膜野の肝細胞癌に対してマイクロバルーンによる血流変化下に肝動脈化学塞栓術を行った一例. 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌, 2019. 5.
- 91) 田中 周, 梅田 隆満, 大森 順, 星本 相理, 橋野 史彦, 片岡 宏章, 高木 信介, 西本 崇良, 秋元 直彦, 佐藤 航, 三井 啓吾, 辰口 篤志, 藤森 俊二, 岩切 勝彦: 特殊光色彩調機能(LCI)を用いた内視鏡観察と通常白色光観察における大腸腺腫発見率の比較一非盲検のランダム化比較試験一. 第 16 回日本消化管学会総会学術集会, 2020. 2.
- 92) 塩田 香織, 葉山 惟信, 半田 忠靖, 吉田 祐士, 大久保 知美, 新井 泰央, 岩下 愛, 糸川 典夫, 金子 恵子, 厚川 正則, 川本 智章, 岩切 勝彦: 経過観察中に多発肝結節を認めた IV 型 Budd-Chiari 症候群の若年 2 症例. 日本消化器病学会関東支部例会プログラム・抄録集, 2019. 9.
- 93) 葉山惟信, 厚川正則, 岩下愛, 田邊智英, 張本滉智, 金子恵子, 川本智章, 岩切勝彦, 吉田祐士, 大久保知美, 新井泰央, 糸川典夫: 肝性浮腫に対する tolvaptan の短期治療効果にはどの時点での腎機能が重要か?. 日本消化器病学会雑誌(Web), 2019.
- 94) 岩下愛, 厚川正則, 岩切勝彦: 肝性浮腫を伴う肝硬変患者においてどのような因子が中長期予後に影響を与えるか. 第 105 回日本消化器病学会総会, 2019. 5.
- 95) 樋口 和寿, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: ESD 困難症例に対する工夫 胃 ESD における内視鏡的手縫い技術の応用. 第 108 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会, 2019. 6.
- 96) 池田剛, 二神生爾, 植木信江, 村上真琴, 阿川周平, 野田啓人, 樋口和寿, 山脇博士, 小高康裕, 河越哲郎, 岩切勝彦: 胃癌 ESD 患者群および H. pylori 陽性胃炎患者における COX-2 1195, COX-2 1290, IL-1 β 511, TNF- α 308, mPGES-1 genotype と京都分類との比較検討の試み. JDDW2019 第 27 回日本消化器関連学会週間, 2019. 11.
- 97) 池田 剛, 二神 生爾, 植木 信江, 村上 舞琴, 桐田 久美子, 阿川 周平, 野田 啓人, 樋口 和寿, 飽本 哲兵, 丸木 雄太, 山脇 博士, 小高 康裕, 河越 哲郎, 岩切 勝彦: 胃癌 ESD 患者群および H. pylori 陽性胃炎患者における, 京都分類と IL-1 β 511, TNF- α 308, mPGES-1 genotype との相関関係の解析. 第 105 回日本消化器病学会総会, 2019. 5.
- 98) 小泉 英里子, 後藤 修, 飽本 哲兵, 桐田 久美子, 梅田 隆満, 野田 啓人, 樋口 和寿, 大森 順, 貝瀬 満, 矢作 直久, 岩切 勝彦: 胃粘膜下腫瘍における円形率を用いた非侵襲的鑑別法の提案. 第 16 回日本消化管学会総会学術集会, 2020. 2.
- 99) 植木 信江, 飽本 哲兵, 桐田 久美子, 池田 剛, 野田 啓人, 樋口 和寿, 阿川 周平, 山脇 博士, 小高 康裕, 河越 哲郎, 貝瀬 満, 二神 生爾, 岩切 勝彦: 胃腫瘍に対する ESD 症例におけるワルファリンと DOAC の影響. 第 105 回日本消化器病学会総会, 2019. 5.

- 100)厚川 正則, 豊田 秀徳, 熊田 卓, 中牟田 誠, 高口 浩一, 渡邊 綱正, 岩切 勝彦 : 血液透析合併 C 型慢性肝炎患者における Glecaprevir・Pibrentasvir の薬物動態の解析. 第 105 回日本消化器病学会総会, 2019. 5.
- 101)桐田 久美子, 二神 生爾, 岩切 勝彦, 小高 康裕, 山脇 博士, 阿川 周平, 植木 信江, 池田 剛, 野田 啓人, 樋口 和寿, 飽本 哲平, 丸木 雄太, 河越 哲郎, 柴田 喜明, 四宮 航, 宮本 真由子 : 超高齢者大腸憩室出血患者群を対象にした, DOAC 内服と非 DOAC 内服患者群の比較検討の試み—調査票を用いた多施設共同研究. 第 105 回日本消化器病学会総会, 2019. 5.
- 102)山脇 博士, 二神 生爾, 岩切 勝彦 : 酸分泌抑制薬治療抵抗性の心窩部痛症候群に対する治療戦略~年齢を考慮して~. 第 22 回日本高齢消化器病学会総会, 2019. 8.
- 103)辰口 篤志, 川見 典之, 岩切 勝彦 : 長期高ガストリン血症の胃粘膜に及ぼす影響. 第 27 回日本消化器関連学会週間(JDDW2019) (第 61 回日本消化器病学会大会・第 98 回日本消化器内視鏡学会総会) , 2019. 11.
- 104)葉山 惟信, 金澤 秀典, 新井 泰央, 岩下 愛, 金子 恵子, 張本 滉智, 厚川 正則, 川本 智章, 岩切 勝彦 : 門亢症に対する IVR 治療の進歩~難治例・難渋例に対する工夫~ 難治性腹水に対する TIPS の治療成績. 日本門脈圧亢進症学会雑誌, 2019. 9.
- 105)大久保知美, 厚川正則, 岩切勝彦 : 難治因子を有する C 型慢性肝炎に対するグレカプレビル・ピブレンタスビルの実臨床における有効性と安全性. 第 105 回日本消化器病学会総会, 2019. 5.
- 106)山脇 博士, 二神 生爾, 岩切 勝彦 : 難治性心窩部痛症候群に対する治療戦略. 第 105 回日本消化器病学会総会, 2019. 5.
- 107)葉山 惟信, 金澤 秀典, 新井 泰央, 岩下 愛, 金子 恵子, 張本 滉智, 厚川 正則, 川本 智章, 岩切 勝彦 : 難治性腹水に対する TIPS の治療成績. 第 26 回日本門脈圧亢進症学会総会, 2019. 9.
- 108)葉山 惟信, 金沢 秀典, 岩切 勝彦 : 難治性腹水・肝性胸水を呈した肝内動脈門脈瘻 5 例に対する TIPS の治療成績. 肝臓, 2019. 4.
- 109)樋口 和寿, 二神 生爾, 山脇 博士, 金子 恵子, 岩切 勝彦 : 非アルコール性早期慢性膵炎から慢性膵炎へと移行しうるのか—早期慢性膵炎に対する治療介入における EUS スコアの経時的解析の試み—. 第 105 回日本消化器病学会総会, 2019. 5.
- 110)阿川 周平, 二神 生爾, 桐田 久美子, 樋口 和寿, 池田 剛, 山脇 博士, 小高 康裕, 植木 信江, 岩切 勝彦 : 非アルコール性早期慢性膵炎の拾い上げにおける Trypsin, Elastase-1 測定の有用性及び Elastography を用いた上乗せ効果の検討. 第 27 回日本消化器関連学会週間(JDDW2019) (第 61 回日本消化器病学会大会) , 2019. 11.
- 111)岩切 勝彦 : 食道運動機能診断. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会, 2019. 6.
- 112)川見 典之, 星野 慎太郎, 岩切 勝彦 : 食道運動機能障害の診断と治療 Jackhammer esophagus の臨床像と治療法に関する検討. Gastroenterological Endoscopy, 2019. 5.
- 113)肥田 舞, 星野 慎太郎, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 川見 典之, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 高齢者の PPI 抵抗性逆流性食道炎患者の臨床的特徴. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集, 2019. 6.
- 114)大城 雄, 池田 剛, 金子 恵子, 河越 哲郎, 岩切 勝彦 : 高齢者膵癌に対するゲムシタビン・アブラキサン併用療法の安全性と有効性. 第 22 回日本高齢消化器病学会総会, 2019. 8.
- 115)肥田 舞, 糸川 典夫, 藤森 俊二, 厚川 正則, 岩切勝彦, 羽鳥務 : 黄疸と全身性の結節性黄色腫を契機に診断された原発性胆汁胆管炎の一例. 日本消化器病学会関東支部第 355 回例会, 2019. 7.

9 呼吸器内科学分野

研究業績

論文等

- 1) 櫻井 侑美, 菅野 哲平, 中山 幸二, 久金 翔, 柏田 建, 峯岸 裕司, 野呂 林太郎, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : 13 次治療の Osimertinib 再投与にて腫瘍縮小が得られた EGFR 陽性肺腺癌の 1 例. 日本肺癌学会関東支部学術集会 2019; 59 (4) :441.
- 2) 田中 健彦, 嶋田 善久, 牧野 洋二郎, 前原 幸夫, 萩原 優, 垣花 昌俊, 岡野 哲也, 梶原 直央, 大平 達夫, 池田 徳彦 : 3D プリンター技術:術前シミュレーションや教育への応用 3D プリンターを応用した肺葉モデルを用いた手術シミュレーション. 気管支学 2019; 41 (Suppl.) :S169.
- 3) Yozo Sato, Namiko Taniuchi, Shota Kaburaki, Naohiro Aruga, Kaoru Kubota, Masahiro Seike, Yoshimitsu Yamano, Akihiko Gemma : A 10-Year History of Anti-Smoking Campaigns and Enlightenment Activities for Chronic Obstructive Pulmonary Disease for Citizens at the Plaza in Ebina City. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2019; 86 (1) :32-37. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-6.
- 4) Pere Gascón, Rajnish Nagarkar, Martin Šmakal, Konstantinos N Syrigos, Carlos H Barrios, Jesús Cárdenas Sánchez, Li Zhang, David H Henry, David Gordon, Vera Hirsh, Kaoru Kubota, Sergey Orlov, Gary Thomas, Tilman Steinmetz, Jin-Hyoung Kang, Dianne K Tomita, Alexander N Fleishman, Joseph K Park, Císio De Oliveira Brandao : A Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled, Phase III Noninferiority Study of the Long-Term Safety and Efficacy of Darbeopetin Alfa for Chemotherapy-Induced Anemia in Patients With Advanced NSCLC. Journal of thoracic oncology : official publication of the International Association for the Study of Lung Cancer 2020; 15 (2) :190-202. doi: 10.1016/j.jtho.2019.10.005.
- 5) Yozo Sato, Yosuke Tanaka, Mitsunori Hino, Masahiro Seike, Akihiko Gemma : A case of nivolumab-induced isolated adrenocorticotrophic hormone (ACTH) deficiency. Respiratory Medicine Case Report 2019; 26:223-226.
- 6) Sato Y, Tanaka Y, Hino M, Seike M, Gemma A : A case of nivolumab-induced isolated adrenocorticotrophic hormone (ACTH) deficiency. Respiratory medicine case reports 2019; 26:223-226. doi: 10.1016/j.rmcr.2019.01.021.
- 7) Omori M, Saito Y, Miura Y, Tanaka T, Kashiwada T, Atsumi K, Hayashi H, Minegishi Y, Fujita K, Azuma A, Seike M, Gemma A : A case of severe pneumonitis with alveolar hemorrhage associated with herbal medicines. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2019; 86 (5) :296-300. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-504.
- 8) 中道 真仁, 清家 正博, 宮永 晃彦, 野呂 林太郎, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : ALK 陽性肺癌に対する新規治療戦略研究. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:O48-4.
- 9) Takoi H, Fujita K, Hyodo H, Matsumoto M, Otani S, Gorai M, Mano Y, Saito Y, Seike M, Furuya N, Gemma A : Acinetobacter baumannii can be transferred from contaminated nitrile examination gloves to polypropylene plastic surfaces. American Journal of Infection Control 2019; 47 (10) :1171-1175. doi: 10.1016/j.ajic.2019.04.009.
- 10) Yoshida GJ, Azuma A, Miura Y, Orimo A : Activated Fibroblast Program Orchestrates Tumor Initiation and Progression; Molecular Mechanisms and the Associated Therapeutic Strategies. International journal of molecular sciences 2019; 20 (9) doi: 10.3390/ijms20092256.
- 11) Nariaki Kokuho, Yasuhiro Terasaki, Shinobu Kunugi, Yoshinobu Saito, Hirokazu Urushiyama, Mika Terasaki, Hiroki Hayashi, Akihiko Gemma, Akira Shimizu : Analyses of alveolar epithelial injury via lipid-related stress in mammalian target of rapamycin inhibitor-induced lung disease. Laboratory investigation; a journal of technical methods and pathology 2019; 99 (6) :853-865. doi: 10.1038/s41374-018-0158-9.
- 12) Aoyama J, Hayashi H, Yajima C, Takoi H, Tanaka T, Kashiwada T, Kokuho N, Terasaki Y, Nishikawa A, Gono T, Kuwana M, Saito Y, Abe S, Seike M, Gemma A : Anti-MDA5 antibody-positive rapidly progressive interstitial pneumonia without cutaneous manifestations. Respiratory medicine case reports 2019; 26:193-196. doi: 10.1016/j.rmcr.2019.01.012.
- 13) 佐原 知子, 中井 麻木, 三宅 秀彦, 渡邊 淳, 黒瀬 圭輔, 高橋 吾郎, 保坂 愛, 鈴木 由美, 野呂 林太郎, 武井 寛幸, 吉田 寛,

- 山田 岳史 : BRCA1/2 遺伝学的検査陽性結果後のフォローアップ. 日本遺伝カウンセリング学会誌 2019; 40 (2) :150.
- 14) 勝俣 範之, 岡本 淳一, 日本医科大学武蔵小杉病院 Cancer Board 勉強会 : Cancer Board Conference 1 ヶ月持続する発熱で発見された原発不明がんの1例 日本医科大学武蔵小杉病院 Cancer Board 勉強会. Cancer Board Square 2019; 5 (1) :5-15.
- 15) Akihiko Miyanaga, Izumi Horikawa, Masaru Matsumoto, Takahiro Oike, Jessica Beck, Hiromi Tanaka, Ana I. Robles, Masahiro Seike, Akihiko Gemma, Curtis C. Harris : Cellular senescence and transformation induced by an oncogenic EML4-ALK fusion gene in normal and immortalized human cells. CANCER RESEARCH 2019; 79 (13) doi: 10.1158/1538-7445.AM2019-4648.
- 16) Kazuo Tamura, Toshihiro Nukiwa, Akihiko Gemma, Nobuyuki Yamamoto, Masaya Mizushima, Kaori Ochai, Rie Ikeda, Hisaya Azuma, Yoichi Nakanishi : Correction to: Real-world treatment of over 1600 Japanese patients with EGFR mutation-positive non-small cell lung cancer with daily afatinib. International journal of clinical oncology 2019; 24 (9) :1169. doi: 10.1007/s10147-019-01488-w.
- 17) Kentaro Watanabe, Hiroshi Ishii, Fumiaki Kiyomi, Yasuhiro Terasaki, Akira Hebisawa, Yoshinori Kawabata, Takeshi Johkoh, Fumikazu Sakai, Yasuhiro Kondoh, Yoshikazu Inoue, Arata Azuma, Takafumi Suda, Takashi Ogura, Naohiko Inase, Sakae Homma : Criteria for the diagnosis of idiopathic pleuroparenchymal fibroelastosis: A proposal. Respiratory investigation 2019; 57 (4) :312-320. doi: 10.1016/j.resinv.2019.02.007.
- 18) Liqiang Zhao, Kentaro Tanaka, Hirofumi Tazoe, Tsuyoshi Iizuka, Kaoru Kubota, Naoko Murakami-Sugihara, Kotaro Shirai : Determination of the geographical origin of marine mussels (*Mytilus* spp.) using 143Nd/144Nd ratios. Marine environmental research 2019; 148:12-18. doi: 10.1016/j.marenvres.2019.05.002.
- 19) Takehiro Tozuka, Satoru Kitazono, Hiroaki Sakamoto, Hiroshi Yoshida, Yoshiaki Amino, Shinya Uematsu, Takahiro Yoshizawa, Tsukasa Hasegawa, Ken Uchibori, Noriko Yanagitani, Atsushi Horiike, Takeshi Horai, Masahiro Seike, Akihiko Gemma, Makoto Nishio : Dissociated responses at initial computed tomography evaluation is a good prognostic factor in non-small cell lung cancer patients treated with anti-programmed cell death-1/ligand 1 inhibitors. BMC cancer 2020; 20 (1) :207. doi: 10.1186/s12885-020-6704-z.
- 20) 戸塚 猛大, 清家 正博, 田中 徹, 菅野 哲平, 渥美 健一郎, 林 宏紀, 齋藤 好信, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : EBUS-GS-TBB の診断率に影響を与える因子. 気管支学 2020; 42 (1) :14-20.
- 21) 久金 翔, 藤田 和恵, 菅野 哲平, 高野 夏希, 二島 駿一, 高橋 聡, 田中 徹, 柏田 建, 渥美 健一郎, 武内 進, 宮永 晃彦, 林 宏紀, 齋藤 好信, 久保田 馨, 木村 弘, 清家 正博, 弦間 昭彦 : EBUS-TBNA 後に気管支内穿破, 内腔にポリープ状の隆起性病変を来した結核性リンパ節炎の1例. 気管支学 2019; 41 (Suppl.) :S255.
- 22) 久金 翔, 藤田 和恵, 菅野 哲平, 高野 夏希, 二島 駿一, 高橋 聡, 田中 徹, 柏田 建, 渥美 健一郎, 武内 進, 宮永 晃彦, 林 宏紀, 齋藤 好信, 久保田 馨, 木村 弘, 清家 正博, 弦間 昭彦 : EBUS-TBNA 後に気管支内穿破, 内腔にポリープ状の隆起性病変を来した結核性リンパ節炎の1例. 第42回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2019
- 23) 戸塚 猛大, 清家 正博, 村田 泰規, 菅野 哲平, 中道 真仁, 峯岸 裕司, 野呂 林太郎, 廣瀬 敬, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌患者における脳転移リスク因子. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:O60-5.
- 24) Kimura H, Ota H, Kimura Y, Takasawa S : Effects of Intermittent Hypoxia on Pulmonary Vascular and Systemic Diseases. Int J Environ Res Public Health. 2019; 16 (17)
- 25) Kenji Tamura, Kosei Hasegawa, Noriyuki Katsumata, Koji Matsumoto, Hirofumi Mukai, Shunji Takahashi, Hiroyuki Nomura, Hironobu Minami : Efficacy and safety of nivolumab in Japanese patients with uterine cervical cancer, uterine corpus cancer, or soft tissue sarcoma: Multicenter, open-label phase 2 trial. Cancer science 2019; 110 (9) :2894-2904. doi: 10.1111/cas.14148.
- 26) Yohei Kawaguchi, Tetsuya Okano, Kentaro Imai, Sachio Maehara, Junichi Maeda, Koichi Yoshida, Masaru Hagiwara, Masatoshi Kakihana, Naohiro Kajiura, Tatsuo Ohira, Jun Matsubayashi, Norihiko Ikeda : Epidermal growth factor receptor mutation subtype has differential effects on adjuvant chemotherapy for resected adenocarcinoma pathological stages II-III. Oncology letters 2019; 18 (6) :6451-6458. doi: 10.3892/ol.2019.11050.
- 27) Kaoru Kubota, Yusuke Yokoyama, Tsuyoshi Ishikawa, Takuya Sagawa, Minoru Ikehara, Toshitsugu Yamazaki : Equatorial Pacific seawater pCO₂ variability since the last glacial period. Scientific reports 2019; 9 (1) :13814. doi: 10.1038/s41598-019-49739-0.
- 28) Haruhiro Saito, Tatsuro Fukuhara, Naoki Furuya, Kana Watanabe, Shunichi Sugawara, Shunichiro Iwasawa, Yoshio Tsunetsuka, Ou Yamaguchi, Morihito Okada, Kozo Yoshimori, Ichiro Nakachi, Akihiko Gemma, Koichi Azuma, Futoshi Kurimoto, Yukari Tsubata,

- Yuka Fujita, Hiromi Nagashima, Gyo Asai, Satoshi Watanabe, Masaki Miyazaki, Koichi Hagiwara, Toshihiro Nukiwa, Satoshi Morita, Kunihiko Kobayashi, Makoto Maemondo : Erlotinib plus bevacizumab versus erlotinib alone in patients with EGFR-positive advanced non-squamous non-small-cell lung cancer (NEJ026): interim analysis of an open-label, randomised, multicentre, phase 3 trial. *The Lancet. Oncology* 2019; 20 (5) :625-635. doi: 10.1016/S1470-2045(19)30035-X.
- 29) Naoyuki Kuse, Koichiro Kamio, Arata Azuma, Kuniko Matsuda, Minoru Inomata, Jiro Usuki, Akemi Morinaga, Toru Tanaka, Takeru Kashiwada, Kenichiro Atsumi, Hiroki Hayashi, Yoshinobu Saito, Masahiro Seike, Akihiko Gemma : Exosome-derived microRNA-22 ameliorates pulmonary fibrosis by regulating fibroblast-to-myofibroblast differentiation both in vitro and in vivo. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 87 (3) :118-128. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2020_87-302.
- 30) Yukio Hosomi, Satoshi Morita, Shunichi Sugawara, Terufumi Kato, Tatsuro Fukuhara, Akihiko Gemma, Kazuhisa Takahashi, Yuka Fujita, Toshiyuki Harada, Koichi Minato, Kei Takamura, Koichi Hagiwara, Kunihiko Kobayashi, Toshihiro Nukiwa, Akira Inoue : Gefitinib Alone Versus Gefitinib Plus Chemotherapy for Non-Small-Cell Lung Cancer With Mutated Epidermal Growth Factor Receptor: NEJ009 Study. *Journal of clinical oncology : official journal of the American Society of Clinical Oncology* 2020; 38 (2) :115-123. doi: 10.1200/JCO.19.01488.
- 31) Noro Rintaro, Miyanaga Akihiko, Fukuizumi Aya, Kunugi Shinobu, Sugano Teppei, Omori Miwako, Minegishi Yuji, Usuda Jitsuo, Seike Masahiro, Kubota Kaoru, Hirao Mamiko, Matsuda Kuniko, Gemma Akihiko : Genomic profiling of lung cancer associated with idiopathic pulmonary fibrosis. *CANCER RESEARCH* 2019; 79 (13) doi: 10.1158/1538-7445.AM2019-1602.
- 32) 松木 寛, 渥美 健一郎, 芳賀 三四郎, 田中 徹, 清水 理光, 湯浅 瑞希, 二島 駿一, 柏田 建, 田中 庸介, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 木村 弘, 清家 正博, 弦間 昭彦 : HIV-PCP の治療中に CMV 感染症を発症した一例. *日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部学会・日本呼吸器学会関東地方会合同学会プログラム・抄録集* 2020; 177 回・238 回:23.
- 33) Teppei Sugano, Masahiro Seike, Yoshinobu Saito, Takeru Kashiwada, Yasuhiro Terasaki, Natsuki Takano, Kakeru Hisakane, Satoshi Takahashi, Toru Tanaka, Susumu Takeuchi, Akihiko Miyanaga, Yuji Minegishi, Rintaro Noro, Kaoru Kubota, Akihiko Gemma : Immune checkpoint inhibitor-associated interstitial lung diseases correlate with better prognosis in patients with advanced non-small-cell lung cancer. *Thoracic cancer* 2020 doi: 10.1111/1759-7714.13364.
- 34) Yasuhiro Kato, Yukio Hosomi, Kageaki Watanabe, Makiko Yomota, Shoko Kawai, Yusuke Okuma, Kaoru Kubota, Masahiro Seike, Akihiko Gemma, Tatsuru Okamura : Impact of clinical features on the efficacy of osimertinib therapy in patients with T790M-positive non-small cell lung cancer and acquired resistance to epidermal growth factor receptor tyrosine kinase inhibitors. *Journal of thoracic disease* 2019; 11 (6) :2350-2360. doi: 10.21037/jtd.2019.06.03.
- 35) Natsuki Takano, Ryo Ariyasu, Junji Koyama, Tomoaki Sonoda, Masafumi Saiki, Yosuke Kawashima, Tomoyo Oguri, Kakeru Hisakane, Ken Uchibori, Shingo Nishikawa, Satoru Kitazono, Noriko Yanagitani, Fumiyoshi Ohyanagi, Atsushi Horiike, Akihiko Gemma, Makoto Nishio : Improvement in the survival of patients with stage IV non-small-cell lung cancer: Experience in a single institutional 1995-2017. *Lung cancer (Amsterdam, Netherlands)* 2019; 131:69-77. doi: 10.1016/j.lungcan.2019.03.008.
- 36) Gemma A, Kusumoto M, Kurihara Y, Masuda N, Banno S, Endo Y, Houzawa H, Ueno N, Ohki E, Yoshimura A : Interstitial Lung Disease Onset and Its Risk Factors in Japanese Patients With ALK-Positive NSCLC After Treatment With Crizotinib. *Journal of thoracic oncology : official publication of the International Association for the Study of Lung Cancer* 2019; 14 (4) :672-682. doi: 10.1016/j.jtho.2018.11.022.
- 37) Fumio Terasaki, Arata Azuma, Toshihisa Anzai, Nobukazu Ishizaka, Yoshio Ishida, Mitsuaki Isobe, Takayuki Inomata, Hatsue Ishibashi-Ueda, Yoshinobu Eishi, Masafumi Kitakaze, Kengo Kusano, Yasushi Sakata, Noriharu Shijubo, Akihito Tsuchida, Hiroyuki Tsutsui, Takatomo Nakajima, Satoshi Nakatani, Taiko Horii, Yoshikazu Yazaki, Etsuro Yamaguchi, Tetsuo Yamaguchi, Tomomi Ide, Hideo Okamura, Yasuchika Kato, Masahiko Goya, Mamoru Sakakibara, Kyoko Soejima, Toshiyuki Nagai, Hiroshi Nakamura, Takashi Noda, Takuya Hasegawa, Hideaki Morita, Tohru Ohe, Yasuki Kihara, Yoshihiko Saito, Yukihiko Sugiyama, Shin-Ichiro Morimoto, Akira Yamashina : JCS 2016 Guideline on Diagnosis and Treatment of Cardiac Sarcoidosis - Digest Version. *Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society* 2019; 83 (11) :2329-2388. doi: 10.1253/circj.CJ-19-0508.
- 38) 山田岳史, 山田岳史, 山口達郎, 田中屋宏爾, 近範泰, 鈴木興秀, 中井麻木, 高橋吾郎, 高橋吾郎, 野呂林太郎, 吉田寛, 石田秀

- 行 : Lynch 症候群大腸癌における ARID1A 変異. 日本家族性腫瘍学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 25th:147.
- 39) Shunichi Sugawara, Naoki Inui, Masashi Kanehara, Masahiro Morise, Kozo Yoshimori, Toru Kumagai, Tomoya Fukui, Koichi Minato, Akira Iwashima, Yuichiro Takeda, Kaoru Kubota, Toshiaki Saeki, Tomohide Tamura : Multicenter, placebo-controlled, double-blind, randomized study of fosnetupitant in combination with palonosetron for the prevention of chemotherapy-induced nausea and vomiting in patients receiving highly emetogenic chemotherapy. *Cancer* 2019; 125 (22) :4076-4083. doi: 10.1002/cncr.32429.
- 40) Oliver Distler, Kristin B Highland, Martina Gahlemann, Arata Azuma, Aryeh Fischer, Maureen D Mayes, Ganesh Raghu, Wiebke Sauter, Mannaig Girard, Margarida Alves, Emmanuelle Clerisme-Beaty, Susanne Stowasser, Kay Tetzlaff, Masataka Kuwana, Toby M Maher : Nintedanib for Systemic Sclerosis-Associated Interstitial Lung Disease. *The New England journal of medicine* 2019; 380 (26) :2518-2528. doi: 10.1056/NEJMoa1903076.
- 41) Masataka Kuwana, Arata Azuma : Nintedanib: New indication for systemic sclerosis-associated interstitial lung disease. *Modern rheumatology* 2020; 30 (2) :225-231. doi: 10.1080/14397595.2019.1696505.
- 42) Kashiwada Takeru, Minegishi Yuji, Saito Yoshinobu, Kato Tomomi, Atsumi Kenichiro, Seike Masahiro, Kubota Kaoru, Terasaki Yasuhiro, Gemma Akihiko : Organizing Pneumonia after Nivolumab Treatment in a Patient with Pathologically Proven Idiopathic Pulmonary Fibrosis. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (1) :43-47. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-8.
- 43) Richeldi L, Crestani B, Azuma A, Kolb M, Selman M, Stansen W, Quaresma M, Stowasser S, Cottin V : Outcomes following decline in forced vital capacity in patients with idiopathic pulmonary fibrosis: Results from the INPULSIS and INPULSIS-ON trials of nintedanib. *Respiratory medicine* 2019; 156:20-25. doi: 10.1016/j.rmed.2019.08.002.
- 44) Nakamichi Shinji, Masahiro Seike, Miyanaga Akihiko, Takahashi Akiko, Noro Rintaro, Kubota Kaoru, Gemma Akihiko : Overcoming drug-tolerant cancer cell subpopulations showing AXL activation and epithelial-mesenchymal transition is critical in conquering ALK-positive lung cancer. *CANCER RESEARCH* 2019; 79 (13) doi: 10.1158/1538-7445.SABCS18-3806.
- 45) 村田 泰規, 岡村 賢, 中山 幸治, 恩田 直美, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 廣瀬 敬 : PD-1/PD-L1 阻害剤による薬剤性間質性肺疾患(ILD)の検討. *肺癌* 2019; 59 (6) :817.
- 46) 村田 泰規, 岡村 賢, 中山 幸治, 恩田 直美, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 廣瀬 敬 : PD-1/PD-L1 阻害剤による薬剤性間質性肺疾患(ILD)の検討. 第 60 回日本肺癌学会学術集会 2019
- 47) 柏田 建, 西横 貴代美, 上村 尚美, 清家 正博, 弦間 昭彦, 岩井 佳子 : PD-1 結合能を有する可溶性 PD-L1(sPD-L1)を検出する ELISA 系を用いた、非小細胞肺癌への免疫チェックポイント阻害剤の効果予測(Soluble PD-L1 with PD-1-binding capacity as a biomarker for anti-PD-1/PD-L1 therapy for non-small cell lung cancer). *日本癌学会総会記事* 2019; 78 回:P-2309.
- 48) Tony S K Mok, Yi-Long Wu, Iveta Kudaba, Dariusz M Kowalski, Byoung Chul Cho, Hande Z Turna, Gilberto Castro Jr, Vichien Srimuninnimit, Konstantin K Laktionov, Igor Bondarenko, Kaoru Kubota, Gregory M Lubiniecki, Jin Zhang, Debra Kush, Gilberto Lopes : Pembrolizumab versus chemotherapy for previously untreated, PD-L1-expressing, locally advanced or metastatic non-small-cell lung cancer (KEYNOTE-042): a randomised, open-label, controlled, phase 3 trial. *Lancet (London, England)* 2019; 393 (10183) :1819-1830. doi: 10.1016/S0140-6736(18)32409-7.
- 49) 岡村 賢, 岡野 哲也, 青山 純一, 林 宏紀, 小齋平 聖治, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦 : Pembrolizumab の投与後に高度腎機能障害を来し免疫関連有害事象が疑われた一例. *日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部学会・日本呼吸器学会関東地方会合同学会プログラム・抄録集* 2020; 177 回・238 回:32.
- 50) Makoto Nishio, Haruyasu Murakami, Yuichiro Ohe, Toyoaki Hida, Hiroshi Sakai, Kazuo Kasahara, Fumio Imamura, Tomohisa Baba, Kaoru Kubota, Yukio Hosomi, Tsuneo Shimokawa, Hidetoshi Hayashi, Kazutaka Miyadera, Tomohide Tamura : Phase I study of TAS-121, a third-generation epidermal growth factor receptor (EGFR) tyrosine kinase inhibitor, in patients with non-small-cell lung cancer harboring EGFR mutations. *Investigational new drugs* 2019; 37 (6) :1207-1217. doi: 10.1007/s10637-019-00732-4.
- 51) Akihiko Miyanaga, Kaoru Kubota, Yukio Hosomi, Yusuke Okuma, Koichi Minato, Sakae Fujimoto, Hiroaki Okamoto, Miyako Satouchi, Hiroshi Isobe, Hiromi Aono, Yuichi Takiguchi, Akihiko Gemma : Phase II trial of S-1 plus cisplatin combined with bevacizumab for advanced non-squamous non-small cell lung cancer (TCOG LC-1202). *Japanese journal of clinical oncology* 2019; 49 (8) :749-754. doi: 10.1093/jjco/hyz064.

- 52) Yasuhiro Kato, Yosuke Tanaka, Mitsunori Hino, Akihiko Gemma : ProGRP as early predictive marker of non-small-cell lung cancer to small-cell lung cancer transformation after EGFR-TKI treatment. *Respiratory Medicine Case Report* 2019; 27:100837. doi: 10.1016/j.rmcr.2019.100837.
- 53) 野呂 林太郎 : ROS1/TRK 阻害薬. *腫瘍内科* 2020; 25 (3) :340-344.
- 54) Tomohisa Baba, Fumikazu Sakai, Terufumi Kato, Masahiko Kusumoto, Hirotugu Kenmotsu, Hiroaki Sugiura, Junya Tominaga, Katsunori Oikado, Masafumi Sata, Masahiro Endo, Noriyo Yanagawa, Shinichi Sasaki, Tae Iwasawa, Yoshinobu Saito, Yutaka Fujiwara, Yuichiro Ohe, Naoya Yamazaki, Takahiko Sakamoto, Takashi Koshiba, Kazuyoshi Kuwano : Radiologic features of pneumonitis associated with nivolumab in non-small-cell lung cancer and malignant melanoma. *Future oncology (London, England)* 2019; 15 (16) :1911-1920. doi: 10.2217/fon-2019-0102.
- 55) Kaoru Kubota, Hideo Kunitoh, Takashi Seto, Naoki Shimada, Masahiro Tsuboi, Tatsuo Ohhira, Hiroaki Okamoto, Noriyuki Masuda, Riichiro Maruyama, Masahiko Shibuya, Koshiro Watanabe : Randomized phase II trial of adjuvant chemotherapy with docetaxel plus cisplatin versus paclitaxel plus carboplatin in patients with completely resected non-small cell lung cancer: TORG 0503. *Lung cancer (Amsterdam, Netherlands)* 2020; 141:32-36. doi: 10.1016/j.lungcan.2019.11.009.
- 56) Tamura K, Nukiwa T, Gemma A, Yamamoto N, Mizushima M, Ochai K, Ikeda R, Azuma H, Nakanishi Y : Real-world treatment of over 1600 Japanese patients with EGFR mutation-positive non-small cell lung cancer with daily afatinib. *International journal of clinical oncology* 2019; 24 (8) :917-926. doi: 10.1007/s10147-019-01439-5.
- 57) Ota H, Fujita Y, Yamauchi M, Muro S, Kimura H, Takasawa S : Relationship Between Intermittent Hypoxia and Type 2 Diabetes in Sleep Apnea Syndrome. *Int J Mol Sci* 2019; 20 (19)
- 58) Yasuhiro Kondoh, Arata Azuma, Jun Tagawa, Sakae Homma : Reply to: Thrombomodulin Did Not Benefit Acute Exacerbation of Idiopathic Pulmonary Fibrosis in a Trial. *American journal of respiratory and critical care medicine* 2020; 202 (1) :151-152. doi: 10.1164/rccm.202003-0666LE.
- 59) Yasuhiro Kondoh, Arata Azuma, Jun Tagawa, Natsuki Yamamori, Sakae Homma : Reply to: Too Premature to Deny the Potential of Thrombomodulin-alfa in Idiopathic Pulmonary Fibrosis. *American journal of respiratory and critical care medicine* 2020; 201 (11) :1450-1451. doi: 10.1164/rccm.202002-0398LE.
- 60) Masuda N, Ohe Y, Gemma A, Kusumoto M, Yamada I, Ishii T, Yamamoto N : Safety and effectiveness of alectinib in a real-world surveillance study in patients with ALK-positive non-small-cell lung cancer in Japan. *Cancer science* 2019; 110 (4) :1401-1407. doi: 10.1111/cas.13977.
- 61) Takashi Ogura, Nagio Takigawa, Keisuke Tomii, Kazuma Kishi, Yoshikazu Inoue, Eiki Ichihara, Sakae Homma, Kazuhisa Takahashi, Hiroaki Akamatsu, Satoshi Ikeda, Naohiko Inase, Tae Iwasawa, Yuichiro Ohe, Hiromitsu Ohta, Hiroshi Onishi, Isamu Okamoto, Kazumasa Ogawa, Kazuo Kasahara, Hiroki Karata, Takumi Kishimoto, Yuka Kitamura, Akihiko Gemma, Hirotugu Kenmotsu, Hiroyuki Sakashita, Susumu Sakamoto, Katsutoshi Sekine, Yuichi Takiguchi, Yuji Tada, Shinichi Toyooka, Yuko Nakayama, Yasuhiko Nishioka, Koichi Hagiwara, Masaki Hanibuchi, Junya Fukuoka, Yuji Minegishi, Toyoshi Yanagihara, Nobuyuki Yamamoto, Hiromasa Yamamoto, Mina Gaga, Kwun M Fong, Charles A Powell, Katsuyuki Kiura : Summary of the Japanese Respiratory Society statement for the treatment of lung cancer with comorbid interstitial pneumonia. *Respiratory investigation* 2019; 57(6):512-533. doi: 10.1016/j.resinv.2019.06.001.
- 62) Eiji Iwama, Yasushi Goto, Haruyasu Murakami, Shinsuke Tsumura, Hiroyuki Sakashita, Yoshiaki Mori, Noriaki Nakagaki, Yuka Fujita, Masahiro Seike, Akihiro Bessho, Manabu Ono, Masaru Nishitsuji, Hiroaki Akamatsu, Ryotaro Morinaga, Takanori Akagi, Takayuki Shimose, Shoji Tokunaga, Nobuyuki Yamamoto, Yoichi Nakanishi, Kenji Sugio, Isamu Okamoto : Survival Analysis for Patients with ALK Rearrangement-Positive Non-Small Cell Lung Cancer and a Poor Performance Status Treated with Alectinib: Updated Results of Lung Oncology Group in Kyushu 1401. *The oncologist* 2019 doi: 10.1634/theoncologist.2019-0728.
- 63) Fujita Y, Yamauchi M, Uyama H, Oda H, Igaki M, Yoshikawa M, Kimura H : The effects of heated humidification to nasopharynx on nasal resistance and breathing pattern. *PLoS One.* 2019; 14 (2) :e0210957. doi: 10.1371/journal.pone.0210957.
- 64) Cottin V, Azuma A, Raghu G, Stansen W, Stowasser S, Schlenker-Herceg R, Kolb M : Therapeutic effects of nintedanib are not

- influenced by emphysema in the INPULSIS trials. The European respiratory journal 2019; 53 (4) doi: 10.1183/13993003.01655-2018.
- 65) 工藤 勇人, 岡野 哲也, 垣花 昌俊, 濱中 和嘉子, 田中 裕紀, 山田 祐揮, 矢崎 裕紀, 松林 純, 萩原 優, 本多 英俊, 梶原 直央, 大平 達夫, 長尾 俊孝, 池田 徳彦 : Tissue biopsy vs Liquid biopsy 当院における EGFR 遺伝子変異検査に対する Liquid Biopsy と Tissue Biopsy の現状. 気管支学 2019; 41 (Suppl.) :S162.
- 66) Ueno N, Banno S, Endo Y, Tamura M, Sugaya K, Hashigaki S, Ohki E, Yoshimura A, Gemma A : Treatment status and safety of crizotinib in 2028 Japanese patients with ALK-positive NSCLC in clinical settings. Japanese journal of clinical oncology 2019; 49 (7) :676-686. doi: 10.1093/jjco/hyz049.
- 67) Kosuke Sakai, Joji Kuramoto, Akitoshi Kojima, Hiroaki Nishimura, Yoshiki Kuwabara, Maiko Toda, Yumiko Kobayashi, Satoshi Kikuchi, Yusuke Hirata, Yuriko Mikami-Saito, Shintaro Mikami, Hiroyuki Kyoyama, Gaku Moriyama, Akihiko Gemma, Kazutsugu Uematsu : Validation of prognostic impact of number of extrathoracic metastases according to the eighth TNM classification: a single-institution retrospective study in Japan. International journal of clinical oncology 2019; 24 (12) :1549-1557. doi: 10.1007/s10147-019-01525-8.
- 68) Ayako Matsuda, Kenichi Inoue, Manami Momiyama, Kunihiko Kobayashi, Kaoru Kubota, Takayoshi Ohkubo, Maarten J Fischer, Judith R Kroep, Soerindra S R S Ramai, Ad A Kaptein, Kazue Yamaoka : Validity and Reliability of the Japanese Version of the 10-Item Perceived Efficacy in Patient-Physician Interactions (PEPPI-10) Scale in Breast Cancer Outpatients. The Tohoku journal of experimental medicine 2019; 249 (2) :121-126. doi: 10.1620/tjem.249.121.
- 69) Kosuke Sakai, Maiko Toda, Hiroyuki Kyoyama, Hiroaki Nishimura, Akitoshi Kojima, Yoshiki Kuwabara, Yumiko Kobayashi, Satoshi Kikuchi, Yusuke Hirata, Gaku Moriyama, Wataru Watanabe, Koichi Akutsu, Maki Nakai, Takeshi Yamada, Akihiko Gemma, Kazutsugu Uematsu : Vascular Ehlers-Danlos Syndrome with a Novel Missense Mutation in COL3A1: A Man in His 50s with Aortic Dissection after Interventional Treatment for Hemothorax as the First Manifestation. Internal medicine (Tokyo, Japan) 2019; 58 (23) :3441-3447. doi: 10.2169/internalmedicine.2983-19.
- 70) Aya Fukuizumi, Yuji Minegishi, Miwako Omori, Kenichiro Atsumi, Natsuki Takano, Kakeru Hisakane, Satoshi Takahashi, Kenichi Kobayashi, Teppei Sugano, Susumu Takeuchi, Rintaro Noro, Masahiro Seike, Kaoru Kubota, Arata Azuma, Akihiko Gemma : Weekly paclitaxel in combination with carboplatin for advanced non-small-cell lung cancer complicated by idiopathic interstitial pneumonias: a single-arm phase II study. International journal of clinical oncology 2019; 24 (12) :1543-1548. doi: 10.1007/s10147-019-01516-9.
- 71) Yumiko Kobayashi, Namiko Taniuchi, Masamitsu Shimizu, Yasunori Murata, Akihiko Gemma, Takashi Hirose : [Serious S-1-Induced Lung Injury Diagnosed by Early Lung Biopsy-A Case Report]. Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy 2019; 46 (9) :1457-1460.
- 72) 大澤 潤一郎, 嶋田 善久, 前原 幸夫, 前田 純一, 萩原 優, 垣花 昌俊, 岡野 哲也, 梶原 直央, 大平 達夫, 池田 徳彦 : c-IA 期肺腺癌における病理組織学的分化度と EGFR 遺伝子変異の関連性. 日本呼吸器外科学会雑誌 2019; 33 (3) :P62-4.
- 73) 勝俣 範之 : 【CKD 患者におけるがん化学療法-透析患者を中心に】「がん免疫療法」の問題点. 臨床透析 2019; 35 (7) :806-807.
- 74) 勝俣 範之 : 【CKD 患者におけるがん化学療法-透析患者を中心に】がん薬物療法の特性 殺細胞性抗がん剤 その他. 臨床透析 2019; 35 (7) :759-770.
- 75) 海老井 佳織, 勝俣 範之 : 【おさらい!「がん」の基本 がん関連処方備える、患者さんを支える】「かたち」で紐解くがんのカガク ワクチンで防ぐ?子宮頸がん. Rp.+ 2020; 19 (1) :092.
- 76) 此松 晶子, 勝俣 範之 : 【おさらい!「がん」の基本 がん関連処方備える、患者さんを支える】要点整理!がんノート(No.7) 子宮体がん/子宮頸がん. Rp.+ 2020; 19 (1) :046-047.
- 77) 上森 恵里, 勝俣 範之 : 【おさらい!「がん」の基本 がん関連処方備える、患者さんを支える】要点整理!がんノート(No.8) 卵巣がん. Rp.+ 2020; 19 (1) :048-049.
- 78) 勝俣 範之 : 【これ一冊でパーフェクト!!泌尿器科薬物療法】がん薬物療法における支持療法 G-CSF. 泌尿器外科 2019; 32 (特別号) :153-155.
- 79) 勝俣 範之 : 【緩和ケア実践マニュアル Start Up & Beyond PEACE】(Part1)タイムラインとイベントからみる ACP 実践 ACP の実践はこうやっています. Cancer Board Square 2019; 5(1) : 20-27.
- 80) 勝俣 範之 : 【緩和ケア実践マニュアル Start Up & Beyond PEACE】(Part4)がん治療と緩和ケアの Q&A 死の希望 もう終わりにしたい、早くお迎えがきてほしい、と話されたときにどう答えるべきでしょうか. Cancer Board Square 2019; 5(1):158

- 81) 板倉 潮人, 吾妻 安良太 : 【びまん性肺疾患診療の新しい展開】好酸球性肺炎(eosinophilic pneumonia(EP)). 臨牀と研究 2019; 96 (10) :1156-1158.
- 82) 勝俣 範之 : 【ノーモア見逃し!日常の検査と画像に潜むピットフォール】検査結果での落とし穴と限界 腫瘍マーカー. 総合診療 2019; 29 (8) :920-922.
- 83) 菅野 哲平, 久保田 馨 : 【リンパ腫・骨髄腫に対する免疫療法の現状と展望】免疫チェックポイント阻害薬の有害事象マネジメント. 血液内科 2019; 78 (4) :510-513.
- 84) 横山 雄章, 勝俣 範之 : 【不明熱を不明にしないために-実践から考えるケーススタディ】悪性腫瘍 腫瘍熱 種類,鑑別診断,診療のポイント. Medicina 2019; 56 (11) :1780-1783.
- 85) 猪俣 稔, 吾妻 安良太 : 【全身性疾患と腎 update】(第1章)膠原病, 血管炎, 自己免疫疾患 サルコイドーシス・呼吸器専門医の視点より. 腎と透析 2019; 86 (増刊) :122-124.
- 86) 林 宏紀, 吾妻 安良太 : 【検査項目と異常値からみた-緊急・重要疾患レッドページ】(5章)呼吸器疾患 間質性肺炎. 臨床検査 2019; 63 (4) :476-478.
- 87) 伊藤 亮治, 勝俣 範之 : 【産婦人科救急・当直対応マニュアル】婦人科編 オンコロジック・エマージェンシーへの対応法 発熱性好中球減少症. 臨床婦人科産科 2019; 73 (4) :148-151.
- 88) 小野寺 恵子, 勝俣 範之 : 【病気とくすり 2020 基礎と実践 Expert's Guide】病原微生物・悪性新生物とくすり 悪性腫瘍 乳癌. 薬局 2020; 71 (4) :2150-2158.
- 89) 此松 晶子, 勝俣 範之 : 【病気とくすり 2020 基礎と実践 Expert's Guide】病原微生物・悪性新生物とくすり 悪性腫瘍 卵巣癌. 薬局 2020; 71 (4) :2146-2149.
- 90) 此松 晶子, 勝俣 範之 : 【病気とくすり 2020 基礎と実践 Expert's Guide】病原微生物・悪性新生物とくすり 悪性腫瘍 子宮癌. 薬局 2020; 71 (4) :2141-2145.
- 91) 輪湖 哲也, 勝俣 範之 : 【病気とくすり 2020 基礎と実践 Expert's Guide】病原微生物・悪性新生物とくすり 悪性腫瘍 肉腫(骨・軟部腫瘍). 薬局 2020; 71 (4) :2159-2164.
- 92) 久金 翔, 久保田 馨 : 【老人保健施設で必要な呼吸器疾患の知識】がんの緩和ケア. 呼吸器内科 2019; 35 (4) :312-318.
- 93) 柏田 建, 久保田 馨 : 【肺がん・頭頸部がん】EGFR 阻害薬と血管新生阻害薬併用の臨床的意義. 腫瘍内科 2019; 23 (5) :467-470.
- 94) 吾妻 安良太, 林 宏紀, 阿部 信二 : 【血液浄化療法の現状と展望】間質性肺炎と血液浄化療法. 日本医師会雑誌 2019; 148 (3) :452.
- 95) 伊藤 亮治, 勝俣 範之 : 【貧血 鉄欠乏の一步先へ】貧血 貧血の日常診療に必要な具体的知識とその活用 がん患者の貧血. Medical Practice 2019; 36 (8) :1245-1248.
- 96) 勝俣 範之 : 【逸脱症例から学ぶ がん薬物療法 標準治療の実践!】(第1章)がん薬物治療 卵巣がん. 薬事 2019; 61 (10) :1775-1778.
- 97) 野呂 林太郎 : 【逸脱症例から学ぶ がん薬物療法 標準治療の実践!】(第2章)がん合併症マネジメント がん性胸水. 薬事 2019; 61(10):1818-1821.
- 98) 野呂林太郎 : がん合併症マネジメント 2 がん性胸水. 月刊薬事 2019; 61 (10) :1818 - 1821.
- 99) 平田 公一, 河野 浩二, 弦間 昭彦, 柴田 亜希子, 袴田 健一, 水島 恒和, 竹政 伊知朗, 清家 正博, 石戸 圭之輔, 及能 大輔, 鶴間 哲弘, 及能 依子 : がん診療ガイドラインのさらなる進歩と今後 推奨医療の提案と検証の新たな体制を考える. 日本癌治療学会学術集会 2019; 57 回:GSY-8.
- 100) 重福 俊佑, 嶋田 善久, 田中 健彦, 古本 秀行, 今井 健太郎, 萩原 優, 垣花 昌俊, 岡野 哲也, 梶原 直央, 大平 達夫, 池田 徳彦 : すりガラス陰影優位小型肺腺癌における組織亜型予測因子の検討. 日本呼吸器外科学会雑誌 2019; 33 (3) :P54-4.
- 101) 魚住 知美, 帆足 俊彦, 高山 良子, 石原 優里, 五十嵐 由美, 田中 真百合, 船坂 陽子, 佐伯 秀久, 武内 進, 清家 正博, 弦間 昭彦, 安齋 眞一 : アファチニブによる両下腿潰瘍の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2019; 129 (9) :1925.
- 102) 垣花 昌俊, 工藤 勇人, 濱中 和嘉子, 萩原 優, 岡野 哲也, 梶原 直央, 大平 達夫, 池田 徳彦 : コンベックス走査式超音波気管支鏡ガイド下針生検における virtual bronchosocopic navigation(VBN)の応用. 気管支学 2019; 41 (Suppl.) :S203.
- 103) 齊藤 翔, 中道 真仁, 清水 理光, 菅野 哲平, 峯岸 裕司, 野呂 林太郎, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦 : シスプラチン+ベメトレキセド+ベムプロリズマブ治療開始による急性腎障害を発症した2例. 日本肺癌学会関東支部会 2020; 60 (2) :137-138.
- 104) 芳賀 三四郎, 菅野 哲平, 松木 覚, 中山 幸治, 田中 徹, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦 : シスプラ

- チンによる SIADH を合併した肺腺癌の 1 例. 日本内科学会関東地方会 2019; 654 回:37.
- 105)岡村 賢, 恩田 直美, 中山 幸治, 村田 泰規, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦, 廣瀬 敬: ステロイドパルス治療が不応の特発性肺胞出血に対し血漿交換治療が奏功した一例. 日本結核病学会関東支部学会・日本呼吸器学会関東地方会合同学会プログラム・抄録集 2019; 176 回・236 回:5.
- 106)李 英姫, 加藤 活人, 稲垣 弘文, 川田 智之, 吾妻 安良太: ディーゼル排気ガス曝露による気道炎症病態における Nrf2 の役割. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :245.
- 107)鈴木 幹人, 名和田 隆司, 櫻庭 未多, 大田 ゆう子, 白井 悠一郎, 五野 貴久, 岳野 光洋, 渥美 健一郎, 林 宏紀, 桑名 正隆: トシリズマブ中断後に多房性膿胸を発症した若年性特発性関節炎の 1 例. 日本内科学会関東地方会 2019; 656 回:43.
- 108)林 杏奈, 宮永 晃彦, 鈴木 彩奈, 高野 夏希, 久金 翔, 高橋 聡, 菅野 哲平, 武内 進, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 齋藤 好信, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦, 功刀 しのぶ, 坂谷 貴司: ニボルマブにより薬剤性肺障害を発症した間質性肺炎合併肺扁平上皮癌の 1 剖検例. 肺癌 2019; 59 (3) :323.
- 109)林 杏奈, 宮永 晃彦, 鈴木 彩奈, 高野 夏希, 久金 翔, 高橋 聡, 菅野 哲平, 武内 進, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 齋藤 好信, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦, 功刀 しのぶ, 坂谷 貴司: ニボルマブにより薬剤性肺障害を発症した間質性肺炎合併肺扁平上皮癌の 1 剖検例. 日本肺癌学会関東支部学術集会 2019
- 110)岡村 賢, 野呂 林太郎, 藤田 和恵, 呉 壮香, 功刀 しのぶ, 高野 仁司, 齋藤 好信, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦: プロテイン C 欠乏症による深部静脈血栓症に、侵襲性肺アスペルギルス症による急性呼吸不全呼吸不全を併発した 1 例. 日本内科学会関東地方会 2019; 650 回:39.
- 111)大谷 圭志, 前原 幸夫, 今井 健太郎, 古本 秀行, 萩原 優, 垣花 昌俊, 岡野 哲也, 梶原 直央, 大平 達夫, 池田 徳彦: 低出力レーザー光を用いた末梢肺病変の位置同定法. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:SF-005.
- 112)古本 秀行, 嶋田 善久, 今井 健太郎, 前原 幸夫, 前田 純一, 萩原 優, 岡野 哲也, 垣花 昌俊, 梶原 直央, 大平 達夫, 池田 徳彦: 充実成分主体の cIA 期肺腺癌における 3D-CTR を用いた悪性度予測. 日本呼吸器外科学会雑誌 2019; 33 (3) :O5-5.
- 113)堀之内 秀仁, 安宅 信二, 大泉 聡史, 大橋 圭明, 加藤 智浩, 上月 稔幸, 清家 正博, 曾根 崇, 祖父江 友孝, 時任 高章, 原田 英幸, 前田 忠士, 三尾 直士, 城阪 郁江, 村上 晴泰: 切除不能ステージ III 非小細胞肺癌患者における標準治療の実態調査 SOLUTION study. 日本癌治療学会学術集会 2019; 57 回:O48-3.
- 114)勝俣 範之: 医学統計 臨床に生かすために知っておきたい医学統計. 癌の臨床 2020; 65 (1) :11-22.
- 115)岡村 賢, 菅野 哲平, 田中 徹, 中西 明日香, 高野 夏希, 久金 翔, 高橋 聡, 武内 進, 宮永 晃彦, 峯岸 裕司, 野呂 林太郎, 齋藤 好信, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦: 原発巣、歯肉、上顎洞、大腸転移巣にて PD-L1 強陽性を認め Pembrolizumab が著効した肺腺癌の 1 例. 日本肺癌学会関東支部学術集会 2019; 59 (2) :187.
- 116)穂山 真理, 久保田 馨, 清家 正博, 輪湖 哲也: 外来化学療法予定患者への苦痛スクリーニング導入によるつらさの実態と今後の課題. 日本がん看護学会学術集会 2020; 34 回:[P38-304].
- 117)清家 正博, 西横 貴代美, 上村 尚美, 柏田 建, 弦間 昭彦, 岩井 佳子: 実臨床におけるリキッドバイオプシーの役割 血中の PD-1 結合能を有する可溶性 PD-L1 を用いた非小細胞肺癌の免疫チェックポイント阻害薬の効果予測. 肺癌 2019; 59 (6) :576.
- 118)岡田 浩一, 大家 基嗣, 木崎 昌弘, 弦間 昭彦: 座談会 分子標的薬,免疫療法薬の副作用: 専門医からかかりつけ医へのメッセージ (特集 がんの分子標的薬,免疫療法薬の知っておきたい副作用). 日本医師会雑誌 = The Journal of the Japan Medical Association 2020; 148 (10) :1923-1937.
- 119)高橋 聡, 清家 正博, 湯浅 瑞希, 清水 理光, 高野 夏希, 福泉 彩, 中道 真仁, 菅野 哲平, 峯岸 裕司, 野呂 林太郎, 久保田 馨, 弦間 昭彦: 当院における免疫チェックポイント阻害薬併用薬物療法の後方視的検討. 肺癌 2019; 59 (6) :792.
- 120)高橋 聡, 清家 正博, 湯浅 瑞希, 清水 理光, 高野 夏希, 福泉 彩, 中道 真仁, 菅野 哲平, 峯岸 裕司, 野呂 林太郎, 久保田 馨, 弦間 昭彦: 当院における免疫チェックポイント阻害薬併用薬物療法の後方視的検討. 第 60 回日本肺癌学会学術集会 2019.
- 121)北川 真吾, 林 宏紀, 高野 夏希, 二鳥 駿一, 久金 翔, 高橋 聡, 田中 徹, 柏田 建, 菅野 哲平, 渥美 健一郎, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 木村 弘, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦: 当院における気管支サーモプラスチックの使用経験. 気管支学 2019; 41 (Suppl.) :S349.
- 122)北川 真吾, 林 宏紀, 高野 夏希, 二鳥 駿一, 久金 翔, 高橋 聡, 田中 徹, 柏田 建, 菅野 哲平, 渥美 健一郎, 藤田 和恵, 齋藤

- 好信, 木村 弘, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦: 当院における気管支サーモプラスチックの使用経験. 第 42 回日本呼吸器内視鏡学会
学術集会 2019
- 123) 田中 裕紀, 工藤 勇人, 岡野 哲也, 垣花 昌俊, 松林 純, 濱中 和嘉子, 本多 英俊, 萩原 優, 梶原 直央, 大平 達夫, 長尾 俊孝,
池田 徳彦: 当院における進行・再発非小細胞肺癌に対する気管支鏡検体を用いた PD-L1 検査の現状. 気管支学 2019; 41 (Suppl.):S233.
- 124) 峯岸 裕司, 高野 夏希, 高橋 聡, 菅野 哲平, 野呂 林太郎, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦: 当院における非小細胞肺癌に対する
抗 PD-1/PD-11 抗体再投与例の検討. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:P88-6.
- 125) 田中 弘人, 田中 弘人, 輪湖 哲也, 輪湖 哲也, 井ノ口 岳洋, 井ノ口 岳洋, 伊勢雄也, 片山 志郎, 久保田 馨: 当院外来化学療法室におけ
るニボルマブの使用状況とチーム医療の取り組み. 日本臨床腫瘍薬学会学術大会講演要旨集 2019; 2019
- 126) 勝俣 範之: 循環器学 2019 年の進歩 臨床腫瘍領域の進歩. 循環器専門医 2019; 28:109-111.
- 127) 高木 聡, 板倉 潮人, 岩永 光世, 小林 和陽, 中村 康一, 齋藤 浩子, 齋藤 桂輔, 唐木 文江, 吾妻 安良太: 挿管非希望(DNI)条件
の高齢患者に対する呼吸管理から見える、RST の継続的な関わり的重要性. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 2019; 29(Suppl.):229s.
- 128) 勝俣 範之: 日常臨床に潜む hidden curriculum-professionalism は学習可能か? 医師のプロフェッショナルリズムとがん医療. ジェネラリスト
教育コンソーシアム 2019; 12:141-145.
- 129) 千田 絵里佳, 渥美 健一郎, 林 杏奈, 清水 理光, 二島 駿一, 田中 徹, 柏田 建, 林 宏紀, 藤田 和恵, 寺崎 泰弘, 櫻井 侑美,
谷口 泰之, 齋藤 好信, 木村 弘, 清家 正博, 弦間 昭彦: 早期治療介入をするも難治性末梢神経障害と大腸潰瘍を来した EGPA の 1 例.
日本結核病学会関東支部学会・日本呼吸器学会関東地方会合同学会プログラム・抄録集 2019; 176 回・236 回:27.
- 130) 清家 正博: 最適使用推進ガイドラインとは?. 呼吸器内科 2019; 35 (6) :540-544.
- 131) 千田 絵里佳, 柏田 建, 湯浅 瑞希, 二島 駿一, 恩田 直美, 田中 徹, 渥美 健一郎, 峯岸 裕司, 田中 庸介, 齋藤 好信, 木村 弘,
清家 正博, 弦間 昭彦: 気管支動脈蔓状血管腫に肺血栓塞栓症を合併した 1 例. 第 172 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会 2020; 42
(4) :356-357.
- 132) 芳賀 三四郎, 田中 徹, 湯浅 瑞希, 清水 理光, 二島 駿一, 柏田 建, 渥美 健一郎, 田中 庸介, 齋藤 好信, 寺崎 泰弘, 木村 弘,
久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦: 気管支鏡にて診断した汎血球減少改善に伴い発症したメトトレキサート肺炎の 1 例. 日本呼吸器内視
鏡学会関東支部会 2019.
- 133) 芳賀 三四郎, 田中 徹, 湯浅 瑞希, 清水 理光, 二島 駿一, 柏田 建, 渥美 健一郎, 田中 庸介, 齋藤 好信, 寺崎 泰弘, 木村 弘,
久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦: 気管支鏡にて診断した汎血球減少改善に伴い発症したメトトレキサート肺炎の 1 例. 気管支学 2020;
42 (1) :99.
- 134) 田中 徹, 徳田 均: 生物学的製剤の投与患者に起こる免疫再構築症候群について 結核発症時の生物学的製剤中止に伴い免疫再構築症候群
を生じることがある. 日本医事新報 2019; (4990) :58-59.
- 135) 清水 理光, 谷内 七三子, 戸塚 猛大, 恩田 直美, 村田 泰規, 廣瀬 敬, 細根 勝, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦: 肺扁平上皮
癌に合併した pulmonary tumor thrombotic microangiopathy(PTTM) の 1 剖検例. 肺癌 2019..
- 136) 清水 理光, 谷内 七三子, 戸塚 猛大, 恩田 直美, 村田 泰規, 廣瀬 敬, 細根 勝, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦: 肺扁平上皮
癌に合併した pulmonary tumor thrombotic microangiopathy(PTTM) の 1 剖検例. 日本肺癌学会関東支部学術集会 2019; 59 (2) :184-185.
- 137) 宮寺 恵希, 中道 真仁, 宮下 稜太, 清水 理光, 菅野 哲平, 峯岸 裕司, 野呂 林太郎, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦: 肺癌の
薬物療法中に上腸間膜動脈症候群を合併した 2 例. 日本内科学会関東地方会 2019; 655 回:45.
- 138) KASHIWADA Takeru, SAITO Yoshinobu, TERASAKI Yasuhiro, HISAKANE Kakeru, TAKEUCHI Susumu, SUGANO Teppei,
MIYANAGA Akihiko, NORO Rintaro, MINEGISHI Yuji, SEIKE Masahiro, KUBOTA Kaoru, GEMMA Akihiko: 肺癌患者における
ナノ粒子アルブミン結合パクリタキセル治療に関連する間質性肺疾患. Japanese Journal of Clinical Oncology 2019; 49 (2)
- 139) 牧野 洋二郎, 嶋田 善久, 前田 純一, 萩原 優, 岡野 哲也, 垣花 昌俊, 梶原 直央, 大平 達夫, 池田 徳彦: 肺腺癌術後補助化学療
法の効果予測における FDG PET/CT の有用性. 日本呼吸器外科学会雑誌 2019; 33 (3) :RO21-4.
- 140) 矢崎 裕紀, 萩原 優, 牧野 洋二郎, 前原 幸夫, 嶋田 善久, 垣花 昌俊, 岡野 哲也, 梶原 直央, 大平 達夫, 池田 徳彦: 肺野病変
を有さない肺腺癌縦隔リンパ節転移の 1 切除例. 肺癌 2019; 59 (3) :329.
- 141) 田中 健彦, 嶋田 善久, 牧野 洋二郎, 前原 幸夫, 前田 純一, 萩原 優, 垣花 昌俊, 岡野 哲也, 梶原 直央, 大平 達夫, 池田 徳
彦: 臨床病期 IA 期肺腺癌における術前 PET パラメータを用いたリンパ節転移の予測能に関する検討. 日本呼吸器外科学会雑誌 2019; 33

(3) :P54-6.

- 142) 柏田 健, 西槇 貴代美, 上村 尚美, 清家 正博, 弦間 昭彦, 岩井 佳子 : 血中のPD-1 結合能を有する可溶性PD-L1 を用いた非小細胞肺癌の免疫チェックポイント阻害薬の効果予測. 第78回日本癌学会総会 2019
- 143) 高野 夏希, 峯岸 裕司, 久金 翔, 高橋 聡, 菅野 哲平, 宮永 晃彦, 野呂 林太郎, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦 : 進行再発非小細胞肺癌に対するアテゾリズマブ単剤療法の有効性と安全性に関する後方視的検討. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :241-242.
- 144) 野呂 林太郎, 宮永 晃彦, 福泉 彩, 功刀 しのぶ, 松田 久仁子, 平尾 真李子, 峯岸 裕司, 本橋 春香, 西脇 和考, 森本 正弘, 大和田 勇人, 白田 実男, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : 間質性肺炎合併肺癌関連遺伝子プロファイルの解析. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57回:O47-2.
- 145) 嶋田 善久, 田中 健彦, 重福 俊祐, 前原 幸夫, 前田 純一, 萩原 優, 垣花 昌俊, 岡野 哲也, 梶原 直央, 大平 達夫, 池田 徳彦 : 隣接臓器合併切除を要する胸部悪性腫瘍の治療戦略 肺尖部胸壁浸潤肺癌の治療成績 切除群と非切除群の検討. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119回:SY-18.
- 146) 菅野 哲平, 清家 正博, 齋藤 好信, 高野 夏希, 久金 翔, 高橋 聡, 田中 徹, 柏田 建, 中道 真仁, 武内 進, 宮永 晃彦, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : 非小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害薬による薬剤性肺障害と治療効果の検討. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57回:O60-4.
- 147) 渡辺 昌則, 勝俣 範之, 野村 聡, 埜 秀暁, 三島 圭介, 水谷 聡, 谷合 信彦, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 食道癌に対する3週毎5FU+CDDP+毎週PTX療法の第I/II相試験の最終結果. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 73回:177.
- 148) 清水 理光, 中道 真仁, 宮下 稜太, 宮寺 恵希, 村田 泰規, 菅野 哲平, 峯岸 裕司, 野呂 林太郎, 廣瀬 敬, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦 : 高齢者進行再発非小細胞肺癌に対する抗PD-1/PD-L1抗体の有効性と安全性の検討. 肺癌 2019; 59 (6) :731.
- 149) 清水 理光, 中道 真仁, 宮下 稜太, 宮寺 恵希, 村田 泰規, 菅野 哲平, 峯岸 裕司, 野呂 林太郎, 廣瀬 敬, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦 : 高齢者進行再発非小細胞肺癌に対する抗PD-1/PD-L1抗体の有効性と安全性の検討. 第60回日本肺癌学会学術集会 2019.

著書

- 1) 渥美健一郎, 木村弘 : [分担執筆] 肺動脈性肺高血圧症 呼吸器疾患最新の治療 2019-2020. 2019, 南江堂.
- 2) 渥美健一郎, 吾妻安良太 : [分担執筆] II呼吸器疾患 9. 間質性肺炎 (特発性・膠原病性・薬剤性) 日常臨床に活かす診療ガイドライン UP-TO-DATE 2020-2021. 2020; pp.135-142, メディカルレビュー社.
- 3) 渥美健一郎, 阿部信二 : [分担執筆] 第V章 各種疾患の気管支鏡所見と診断 血管炎 気管支鏡テキスト 第3版. 2019, 医学書院.

学会発表

- 1) Ganesh Raghu, Oliver Distler, Arata Azuma, Kristin B Highland, Masataka Kuwana, Maureen D Mayes, Daniel Wachtlin, Susanne Stowasser, Margarida Alves, Martina Gahlemann, Toby M, Maher on behalf of the, SENSICIS trial investigators : (encore of your ERS2019 Poster) Effects of nintedanib in patients with systemic sclerosis-associated ILD (SSc-ILD) and differing extents of fibrotic ILD: the SENSICIS® trial. Mayo. Clinic CTD-ILD2019, 2019. 10.
- 2) 吾妻 安良太 : Clinical benefit of Pirfenidone in IPF in Japanese experiences. KATRD2019, 2019. 11.
- 3) H. Chiba, K. Ikeda, A. Azuma, Y. Kondoh, T. Ogura, Y. Taguchi, M. Ebina, S. Miyazawa, H. Sakaguchi, M. Suga, Y. Sugiyama, T. Nukiwa, S. Kudoh, H. Takahashi : Clinical significance of serum SP-D as a biomarker for antifibrotics in idiopathic pulmonary fibrosis (IPF): Post hoc analysis of a phase 3 trial of pirfenidone in Japan. ERS2019, 2019. 9.
- 4) 久金 翔, 藤田 和恵, 菅野 哲平, 高野 夏希, 二島 駿一, 高橋 聡, 田中 徹, 柏田 建, 渥美 健一郎, 武内 進, 宮永 晃彦, 林 宏紀, 齋藤 好信, 久保田 馨, 木村 弘, 清家 正博, 弦間 昭彦 : EBUS-TBNA 後に気管支内穿破, 内腔にポリープ状の隆起性病変を来した結核性リンパ節炎の1例. 第42回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2019. 7.
- 5) Ganesh Raghu, Oliver Distler, Arata Azuma, Kristin B Highland, Masataka Kuwana, Maureen D Mayes, Daniel Wachtlin, Susanne Stowasser, Margarida Alves, Martina Gahlemann, Toby M, Maher on behalf of the, SENSICIS trial investigators : Effects of nintedanib in patients with systemic sclerosis-associated ILD (SSc-ILD) and differing extents of fibrotic ILD: the SENSICIS® trial. ERS2019, 2019. 9.
- 6) Kristin B Highland, Oliver Distler, Masataka Kuwana, Yannick Allanore, Shervin Assasi, Arata Azuma, Arnaud Bourdin,

- Christopher P Denton, Jörg HW Distler, Anna Maria Hoffmann-Vold, Dinesh Khanna, Maureen D Mayes, Ganesh Raghu, Madelon C Vonk, Martina Gahlemann, Mannaig Girard, Susanne Stowasser, Donald Zoz, Toby M, Maher on behalf of the, SENSISCIS trial investigators : Efficacy and Safety of Nintedanib in Patients with Systemic Sclerosis-Associated Interstitial Lung Disease by Use of Mycophenolate at Baseline:Subgroup Analysis of the SENSISCIS® Trial. 米国リウマチ学会, 2019. 11.
- 7) Toby M. Maher, Kristin B. Highland, Martina Gahlemann, Arata Azuma, Aryeh Fischer, Maureen D. Mayes, Ganesh Raghu, Wiebke Sauter, Mannaig Girard, Margarida Alves, Emmanuelle Clerisme-Beaty, Veronika Kohlbrenner, Masataka Kuwana, Oliver Distler on behalf of the, SENSISCIS trial investigators : GASTROINTESTINAL ADVERSE EVENTS IN PATIENTS WITH SYSTEMIC SCLEROSIS-ASSOCIATED INTERSTITIAL LUNG DISEASE (SSC-ILD) TREATED WITH NINTEDANIB: DATA FROM THE SENSISCIS TRIAL. EULAR2019(ヨーロッパリウマチ学会), 2019. 6.
- 8) 松木 覚, 渥美 健一郎, 芳賀 三四郎, 田中 徹, 清水 理光, 湯浅 瑞希, 二島 駿一, 柏田 建, 田中 庸介, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 木村 弘, 清家 正博, 弦間 昭彦 : HIV-PCP の治療中に CMV 感染症を発生した一例. 日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部学会・日本呼吸器学会関東地方会合同学会プログラム・抄録集, 2020. 2.
- 9) 齋藤好信 : ICI 薬剤性肺障害における BAL,TBLB(画像所見との組み合わせ). 第 59 回日本呼吸器学会学術講演会, 2019. 4.
- 10) 清家 正博 : III 期非小細胞肺癌のパラダイムシフト. 相模原呼吸器疾患セミナー, 2019. 6.
- 11) Yosuke Tanaka, Mitsunori Hino, Masahiro Seike, Akihiko Gemma : Interim report: Long-term influence of bosentan on prognosis, activities of daily living (ADL), cardiac function and pulmonary function in patients with pulmonary hypertension secondary to COPD. the 24th Congress of the Asian Pacific Society of Respiriology in Hanoi, Vietnam, 2019. 11.
- 12) 吾妻安良太 : Lecture1. 「History of Nintedanib」. SSC-ILD 適応追加記念講演会～OFEV は新たなステージへ～ 於横浜ベイホテル東急 (主催 : 日本ペーリンガーインゲルハム株式会社), 2020. 2.
- 13) Oliver Distler, Kristin B. Highland, Martina Gahlemann, Arata Azuma, Aryeh Fischer, Maureen D. Mayes, Ganesh Raghu, Wiebke Sauter, Mannaig Girard, Margarida Alves, Emmanuelle Clerisme-Beaty, Susanne Stowasser, Masataka Kuwana, Toby M, Maher on behalf of the, SENSISCIS trial investigators : NINTEDANIB REDUCED DECLINE IN FORCED VITAL CAPACITY ACROSS SUBGROUPS OF PATIENTS WITH SYSTEMIC SCLEROSIS-ASSOCIATED INTERSTITIAL LUNG DISEASE: DATA FROM THE SENSISCIS TRIAL. EULAR2019(ヨーロッパリウマチ学会), 2019. 6.
- 14) O.Distler, K.B.Highland, M.Gahlemann, A Azuma, A.Fischer, M.D.Mayes, G.Raghu, W.Sauter, M.Girard, M.Alves, E.Clerisme-Beaty, S.Stowasser, K.Telzlaff, M.Kuwana, T.M.Maher, Zurich, Switzerland : Nintedanib Reduces lung Function Decline in Patients with Systemic Sclerosis-Associated Interstitial Lung Disease:Results of the SENSISCIS Trial. ATS2019 Dallas,TX, 2019. 5.
- 15) Distler O, Highland KB, Gahlemann M, Azuma A, Fischer A, Mayes MD, Raghu G, Sauter W, Girard M, Alves M, Clerisme-Beaty E, Stowasser S, Tetzlaff K, Kuwana M, Maher TM, SENSISCIS Trial Investigators : Nintedanib for Systemic Sclerosis-Associated Interstitial Lung Disease. ATS2019 Dallas,TX, 2019. 5.
- 16) Oliver Distler, Kristin B. Highland, Martina Gahlemann, Arata Azuma, Toby M. Maher, on behalf of the, SENSISCIS trial investigators : Nintedanib reduced the decline in forced vital capacity across subgroups of patients with systemic sclerosis-associated interstitial lung disease: data from the SENSISCIS trial. ASHP2019 (米国薬剤師学会) , 2019. 6.
- 17) Kenichiro Atsumi, Hiroki Hayashi, Shunichi Nishima, Toru Tanaka, Takeru Kashiwada, Yoshinobu Saito, Masahiro Seike, Akihiko Gemma, Yoshiaki Kubota, Yoshimitsu Fukushima, Hiroshi Kimura : Novel evaluation of pulmonary hypertension with chronic lung disease by perfusion SPECT/CT. European Respiratory Society (ERS). (Madrid) , 2019. 9.
- 18) 岡村 賢, 岡野 哲也, 青山 純一, 林 宏紀, 小齋平 聖治, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦 : Pembrolizumab の投与後に高度腎機能障害を来し免疫関連有害事象が疑われた一例. 日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部学会・日本呼吸器学会関東地方会合同学会プログラム・抄録集, 2020. 2.
- 19) Takashi Ogura, Yasuhiko Nishioka, Takefumi Saito, Keisuke Tomii, Koichiro Kamio, Hiromi Tomioka, Shu Hisata, Susumu Sakamoto, Tomohiro Handa, Yasunari Miyazaki, Sakae Homma, Arata Azuma : Phase 2, multi-center, open label, single-arm study of TAS-115, a novel multi-kinase inhibitor in patients with idiopathic pulmonary fibrosis. ERS2019, 2019. 9.
- 20) Oliver Distler, Kristin B Highland, Maureen D Mayes, Masataka Kuwana, Lesley Ann Sacketkoo, Madelon C Vonk, Michael Kreuter,

- Laura Hummers, Ute von Wangenheim, Martina Gahlemann, Veronika Kohlbrenner, Margarida Alves, Emmanuelle Clerisme-Beaty, Arata Azuma on, behalf of the, SENSISCIS trial investigators : Safety and Tolerability of Nintedanib in Patients with Systemic Sclerosis-Associated Interstitial Lung Disease (SSc-ILD) in the SENSISCIS® Trial: Subgroup Analysis Based on Demographic Characteristics. 米国リウマチ学会, 2019. 11.
- 21) Kristin B. Highland, Oliver Distler, Martina Gahlemann, Arata Azuma, Toby M, Maher on behalf of the, SENSISCIS trial investigators : Safety profile of nintedanib in patients with systemic sclerosis-associated interstitial lung disease and idiopathic pulmonary fibrosis(ASHP2019). ASHP 2019 (米国薬剤師学会) , 2019. 6.
- 22) Masahiro Seike : Significance of Monotherapy in the Age of ICI Combination Therapy. 2019 日本肺癌学会プリセプターシッププログラム, 2019. 11.
- 23) Speakers : Symposium: Interstitial lung disease 2 Venue: Hall 2. Management of IPF – ongoing studies and future. Speakers (Nov.16). APSR2019(ハノイ), 2019. 11.
- 24) Junichi Aoyama, Yosuke Tanaka, Seiji Kosaihiro, Tetuya Okano, Mitunori Hino, Masahiro Seike, Akihiko Gemma : The effect of addition of ICS/LABA on COPD patients treated with LAMA alone was examined. THE 24TH CONGRESS OF THE ASIAN PACIFIC SOCIETY OF RESPIROLOGY (APSR 2019). (Hanoi, Vietnam) , 2019. 11.
- 25) 工藤 勇人, 岡野 哲也, 垣花 昌俊, 濱中 和嘉子, 田中 裕紀, 山田 祐揮, 矢崎 裕紀, 松林 純, 萩原 優, 本多 英俊, 梶原 直央, 大平 達夫, 長尾 俊孝, 池田 徳彦 : Tissue biopsy vs Liquid biopsy 当院における EGFR 遺伝子変異検査に対する Liquid Biopsy と Tissue Biopsy の現状. 気管支学, 2019. 6.
- 26) 吾妻 安良太 : non-IPF fibrosing ILD. KATRD2019, 2019. 11.
- 27) 吾妻 安良太 : もし間質性肺炎(IPF)と思ったら? ~現状の問題と今後について~. 第 160 回高知病診連携フォーラム(主催:ペーリンガーインゲルハイム株式会社), 2019. 7.
- 28) 櫻井侑美, 田中徹, 二島駿一, 武内進, 柏田建, 渥美健一郎, 林宏紀, 藤田和恵, 齋藤好信, 木村弘, 久保田馨, 清家正博, 弦間昭彦 : インフルエンザおよび黄色ブドウ球菌重複感染による気管支肺炎に, 脳梁膨大部病変を伴う脳症を併発した 1 例. 日本呼吸器学会関東地方会 (第 234 回) . (東京) , 2019. 5.
- 29) 垣花 昌俊, 工藤 勇人, 濱中 和嘉子, 萩原 優, 岡野 哲也, 梶原 直央, 大平 達夫, 池田 徳彦 : コンベックス走査式超音波気管支鏡ガイド下針生検における virtual bronchosocopic navigation(VBN)の応用. 気管支学, 2019. 6.
- 30) 清家 正博 : デュルバルマブで変わる III 期非小細胞肺癌治療. 第 33 回がん治療懇話会, 2019. 6.
- 31) 林 杏奈, 宮永 晃彦, 鈴木 彩奈, 高野 夏希, 久金 翔, 高橋 聡, 菅野 哲平, 武内 進, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 齋藤 好信, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦, 功刀 しのぶ, 坂谷 貴司 : ニボルマブにより薬剤性肺障害を発症した間質性肺炎合併肺扁平上皮癌の 1 剖検例. 肺癌, 2019. 6.
- 32) 吾妻安良太 : ニンテダニブによる早期診断と治療. IPF Web Academy (主催 : 日本ペーリンガーインゲルハイム株式会社), 2019. 12.
- 33) 清家 正博 : バイオマーカーに基づいた非小細胞肺癌治療. 第 45 回肺癌診断会, 2019. 7.
- 34) 岡村 賢, 野呂 林太郎, 藤田 和恵, 呉 壮香, 功刀 しのぶ, 高野 仁司, 齋藤 好信, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : プロテイン C 欠乏症による深部静脈血栓症に, 侵襲性肺炎アスペルギルス症による急性呼吸不全呼吸不全を併発した 1 例. 日本内科学会関東地方会, 2019. 5.
- 35) 清家 正博 : 医工連携による肺癌バイオマーカー研究. 第 6 回日本医科大学・東京医科大学合同シンポジウム, 2019. 12.
- 36) 岡村 賢, 菅野 哲平, 田中 徹, 中西 明日香, 高野 夏希, 久金 翔, 高橋 聡, 武内 進, 宮永 晃彦, 峯岸 裕司, 野呂 林太郎, 齋藤 好信, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦 : 原発巣、歯肉、上顎洞、大腸転移巣にて PD-L1 強陽性を認め Pembrolizumab が著効した肺腺癌の 1 例. 肺癌, 2019. 4.
- 37) 岡村賢, 林宏紀, 須賀実佑里, 戸塚猛大, 北川真吾, 田中徹, 柏田建, 渥美健一郎, 藤田和恵, 齋藤好信, 功刀しのぶ, 寺崎泰弘, 石原翔, 廣本敦之, 清家正博, 久保田馨, 木村弘, 弦間昭彦 : 収縮性心膜炎を合併し心膜切除術を施行した結核性心膜炎の一例. 日本呼吸器学会関東地方会 (第 234 回) . (東京) , 2019. 5.
- 38) 北川 真吾, 林 宏紀, 高野 夏希, 二島 駿一, 久金 翔, 高橋 聡, 田中 徹, 柏田 建, 菅野 哲平, 渥美 健一郎, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 木村 弘, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦 : 当院における気管支サーモプラスティの使用経験. 第 42 回日本呼吸器内視鏡学会

- 学術集会, 2019. 7.
- 39) 田中 裕紀, 工藤 勇人, 岡野 哲也, 垣花 昌俊, 松林 純, 濱中 和嘉子, 本多 英俊, 萩原 優, 梶原 直央, 大平 達夫, 長尾 俊孝, 池田 徳彦: 当院における進行・再発非小細胞肺癌に対する気管支鏡検体を用いた PD-L1 検査の現状. 気管支学, 2019. 6.
 - 40) 宮下稜太, 二島駿一, 柏田建, 宮寺恵希, 清水理光, 田中徹, 中道真仁, 渥美健一郎, 林宏紀, 藤田和恵, 齊藤好信, 功刀しのぶ, 木村弘, 清家正博, 弦間昭彦: 抗 ARS 抗体症候群に過敏性肺炎が合併した 1 例. 日本呼吸器学会関東地方会 (第 237 回), 2019. 11.
 - 41) 寺嶋 勇人, 曾我 彬美, 成田 宏介, 八木 孝, 石川 真由美: 抗 PD-1 抗体投与中に劇症 1 型糖尿病を発症した 1 例. 第 656 回日本内科学会関東地方会, 2019. 12.
 - 42) 千田 絵里佳, 渥美 健一郎, 林 杏奈, 清水 理光, 二島 駿一, 田中 徹, 柏田 建, 林 宏紀, 藤田 和恵, 寺崎 泰弘, 櫻井 侑美, 谷口 泰之, 齋藤 好信, 木村 弘, 清家 正博, 弦間 昭彦: 早期治療介入をするも難治性末梢神経障害と大腸潰瘍を来した EGPA の 1 例. 日本結核病学会関東支部学会・日本呼吸器学会関東地方会合同学会プログラム・抄録集 176 回・236 回, 2019. 9.
 - 43) 芳賀三四郎, 田中徹, 湯浅瑞希, 清水理光, 二島駿一, 柏田建, 渥美健一郎, 田中庸介, 齋藤好信, 寺崎泰弘, 木村弘, 久保田馨, 清家正博, 弦間昭彦: 気管支鏡にて診断した汎血球減少改善に伴い発症したメトトレキサート肺炎の 1 例. 日本呼吸器内視鏡学会関東支部会 (第 171 回). (東京), 2019. 12.
 - 44) 芳賀 三四郎, 田中 徹, 湯浅 瑞希, 清水 理光, 二島 駿一, 柏田 建, 渥美 健一郎, 田中 庸介, 齋藤 好信, 寺崎 泰弘, 木村 弘, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦: 気管支鏡にて診断した汎血球減少改善に伴い発症したメトトレキサート肺炎の 1 例. 気管支学, 2020. 1.
 - 45) 吾妻安良太: 特別講演 特発性肺線維症(IPF)治療の最新知見と今後の展望. New insights of the respiratory treatment~特長を活かして患者さんのために最大限活用する~ (主催: 日本ベ-リソカ-インゲルハム株式会社), 2019. 10.
 - 46) 柏田建, 齋藤好信, 渥美健一郎, 戸塚猛大, 田中徹, 林宏紀, 神尾孝一郎, 藤田和恵, 木村弘, 久保田馨, 吾妻安良太, 清家正博, 弦間昭彦: 特発性肺線維症急性増悪例の分類改定案の自験例による検証. 日本呼吸器学会学術講演会 (第 59 回). (東京), 2019. 4.
 - 47) 吾妻 安良太: 特発性肺線維症(IPF) 治療の最新知見と今後の展望. 第 6 回呼吸器治療フォーラム, 2019. 11.
 - 48) 渥美健一郎, 林宏紀, 二島駿一, 田中徹, 柏田建, 齋藤好信, 清家正博, 弦間昭彦, 久保田芳明, 福嶋善光, 木村弘: 肺換気血流 SPECT/CT による 3 群 PH の治療適応症例の追求と評価. 日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 (第 4 回). (浜松), 2019. 6.
 - 49) 渥美健一郎, 林宏紀, 二島駿一, 田中徹, 嶋井浩行, 柏田建, 藤田和恵, 齋藤好信, 清家正博, 弦間昭彦, 久保田芳明, 福嶋善光, 木村弘: 肺疾患に伴う肺高血圧症に対する肺換気血流 SPECT/CT による治療評価. 日本呼吸器学会学術講演会 (第 59 回). (東京), 2019. 4.
 - 50) KASHIWADA Takeru, SAITO Yoshinobu, TERASAKI Yasuhiro, HISAKANE Kakeru, TAKEUCHI Susumu, SUGANO Teppei, MIYANAGA Akihiko, NORO Rintaro, MINEGISHI Yuji, SEIKE Masahiro, KUBOTA Kaoru, GEMMA Akihiko: 肺癌患者におけるナノ粒子アルブミン結合パクリタキセル治療に関連する間質性肺疾患. Japanese Journal of Clinical Oncology (Web), 2019.
 - 51) 清家 正博: 血中の PD-1 結合能を有する可溶性 PD-L1 を用いた非小細胞肺癌の免疫チェックポイント阻害薬の効果予測. 第 60 回日本肺癌学会学術集会, 2019. 12.
 - 52) 野呂 林太郎, 宮永 晃彦, 福泉 彩, 功刀 しのぶ, 松田 久仁子, 平尾 真李子, 峯岸 裕司, 本橋 春香, 西脇 和考, 森本 正弘, 大和田 勇人, 白田 実男, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦: 間質性肺炎合併肺癌関連遺伝子プロファイルの解析. 第 57 回日本癌治療学会学術集会 2019 年, 2019. 10.
 - 53) 特別講演, 吾妻安良太: 間質性肺線維症は疾患か? 病態か? “Rethinking Framework of the Interstitial Lung Diseases”. 第 14 回呼吸器疾患連携セミナー, 2020. 2.
 - 54) 菅野 哲平, 清家 正博, 齋藤 好信, 高野 夏希, 久金 翔, 高橋 聡, 田中 徹, 柏田 建, 中道 真仁, 武内 進, 宮永 晃彦, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 久保田 馨, 弦間 昭彦: 非小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害薬による薬剤性肺障害と治療効果の検討. 日本癌治療学会学術集会抄録集, 2019. 10.
 - 55) 清家 正博: 非小細胞肺癌の薬物療法最前線~実臨床にどう生かすか~. 第 42 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2019. 7.

10 精神・行動医学分野

研究業績

論文等

- 1) Suzuki C, Ikeda Y, Tateno A, Okubo Y, Fukayama H, Suzuki H : Acute Atomoxetine Selectively Modulates Encoding of Reward Value in Ventral Medial Prefrontal Cortex. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (2) :98-107. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-205.
- 2) Ikeda Y, Funayama T, Tateno A, Fukayama H, Okubo Y, Suzuki H : Bupropion increases activation in nucleus accumbens during anticipation of monetary reward. *Psychopharmacology* 2019 doi: 10.1007/s00213-019-05337-6.
- 3) Masami Kashimura, Toshiaki Nomura, Akiko Ishiwata, Shin Kitamura, Amane Tateno : Cognitive Behavioral Therapy for Improving Mood in an Older Adult with Mild Cognitive Impairment: A Case Report. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2020; 86 (6) :352-356. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-603.
- 4) Lindberg Anton, Nag Sangram, Schou Magnus, Arakawa Ryosuke, Nogami Tsuyoshi, Moein Mohammad Mahdi, Elmore Charles S, Pike Victor W, Halldin Christer : Development of a F-labeled PET radioligand for imaging 5-HT receptors: [F]AZ10419096. *Nuclear medicine and biology* 2019; 78-79:11-16. doi: 10.1016/j.nucmedbio.2019.10.003.
- 5) Hiroyuki Karibe, Michihiko Koeda, Kyoko Aoyagi-Naka, Yuichi Kato, Amane Tateno, Hidenori Suzuki, Yoshiro Okubo : Differences in the perception of dental sounds: a preliminary study. *Patient Preference and Adherence* 2019; Volume 13:1051-1056. doi: 10.2147/ppa.s204465.
- 6) Arakawa Ryosuke, Takano Akihiro, Stenkrona Per, Stepanov Vladimir, Nag Sangram, Jahan Mahabuba, Grybäck Per, Bolin Martin, Chen Laigao, Zhang Lei, He Ping, Villalobos Anabella, McCarthy Timothy J, Halldin Christer, Varrone Andrea : PET imaging of beta-secretase 1 in the human brain: radiation dosimetry, quantification, and test-retest examination of [F]PF-06684511. *European journal of nuclear medicine and molecular imaging* 2020 doi: 10.1007/s00259-020-04739-5.
- 7) 肥田道彦 : PET/fMRI を用いた脳機能画像研究の知見を基にプラセボを科学する. *精神科* 2019; 35 (1) :35-40.
- 8) 荒川亮介 : PET による抗うつ薬の評価. *医学のあゆみ* 2019; 270 (9)
- 9) Lindberg Anton, Arakawa Ryosuke, Nogami Tsuyoshi, Nag Sangram, Schou Magnus, Elmore Charles S, Farde Lars, Pike Victor W, Halldin Christer : Potential for imaging the high-affinity state of the 5-HT receptor: a comparison of three PET radioligands with differing intrinsic activity. *EJNMMI research* 2019; 9 (1) :100. doi: 10.1186/s13550-019-0570-1.
- 10) Kotaro Hatta, Yasuhiro Kishi, Ken Wada, Takashi Takeuchi, Naoko Hashimoto, Kiyoko Suda, Toshihiro Taira, Kazuo Tsuchida, Takashi Ohmori, Nobuya Akizuki, Yuko Nishio, Yukiko Nakanishi, Chie Usui, Akiko Kurata, Naoki Horikawa, Hiroshi Eguchi, Shigeo Ito, Hitoshi Muto, Hiroyuki Nakamura, Naohisa Uchimura : Real-World Effectiveness of Ramelteon and Suvorexant for Delirium Prevention in 948 Patients With Delirium Risk Factors. *The Journal of clinical psychiatry* 2019; 81 (1) doi: 10.4088/JCP.19m12865.
- 11) Nag Sangram, Varnas Katarina, Arakawa Ryosuke, Jahan Mahabuba, Schou Magnus, Farde Lars, Halldin Christer : Synthesis, biodistribution and radiation dosimetry of a novel mGluR5 radioligand: [18F]AZD9272. *ACS chemical neuroscience* 2020 doi: 10.1021/acchemneuro.9b00680.
- 12) Varnäs Katarina, Cselényi Zsolt, Arakawa Ryosuke, Nag Sangram, Stepanov Vladimir, Moein Mohammad Mahdi, Johnström Peter, Kingston Lee, Elmore Charles S, Halldin Christer, Farde Lars : The pro-psychotic metabotropic glutamate receptor compounds fenobam and AZD9272 share binding sites with monoamine oxidase-B inhibitors in humans. *Neuropharmacology* 2019:107809. doi: 10.1016/j.neuropharm.2019.107809.
- 13) 岸 泰宏 : 【内科医に求められる他科の知識-専門家が伝える Do/Don't】(第9章)精神神経科 せん妄. *内科* 2019; 124 (3) :1975-1977.
- 14) 岸 泰宏 : 【内科疾患とうつ病 up-to-date】内科疾患とうつ病の統合的ケアシステム(協働ケア). *精神科治療学* 2019; 34 (7) :741-746.
- 15) 下田 健吾, 木村 真人 : 【動脈硬化診療のすべて】(V 章)動脈硬化と心血管疾患の治療 血管性うつ病. *日本医師会雑誌* 2019; 148 (特別

- 2) :S292-S294.
- 16) 吉川 栄省 : 【栄養精神医学が拓く精神科治療の新たな可能性】職域領域における食習慣と抑うつに関連について. 臨床精神薬理 2019; 22 (11) :1079-1085.
- 17) 坂寄 健 : 【知っておきたい稀な精神症候・症候群-症例から学ぶ-】カタトニア. 精神科治療学 2019; 34 (増刊) :77-79.
- 18) 木村 真人 : うつ病に関連した脳部位と最新の診断治療. Journal of International Society of Life Information Science 2019; 37 (2) :163.
- 19) 八田 耕太郎, 橋本 直子, 須田 潔子, 平 俊浩, 和田 健, 内村 直尚, 岸 泰宏, 竹内 崇, 土田 和生, 白井 千恵, 秋月 伸哉, 西尾 優子, 中西 幸子, 倉田 明子, 堀川 直希, 江口 寛, 伊藤 滋朗, 武藤 仁志, 大森 隆史 : せん妄の新たな予防方略とその実効性を高める発症予測の研究展開 せん妄の新たな予防方略の展開とそのエビデンス. 精神神経学雑誌 2019; (2019 特別号) :S693.
- 20) 岸 泰宏 : せん妄の最新事情～日本発のエビデンス～ せん妄予防のエビデンス. Palliative Care Research 2019; 14 (Suppl.) :S180.
- 21) 岸 泰宏 : せん妄をモニターする せん妄の病態生理と診断. 臨床モニター 2019; 30 (Suppl.) :28.
- 22) 土居 照代, 小田桐 栄佳, 萩倉 早耶, 木村 真人 : ブリーフセラピーと動作法の併用が奏効した適応障害の一例. 催眠と科学 2019; 32-33 (1) :75-81.
- 23) 土居 照代, 小田桐 栄佳, 鈴木 清人, 石田 留生, 澤谷 篤, 下田 健吾, 木村 真人 : ブリーフセラピーと動作法の併用面接が有効であった2症例. 精神神経学雑誌 2019; (2019 特別号) :S772.
- 24) 肥田道彦 : 不安障害の脳形態と fMRI を用いた脳機能イメージング. 医学のあゆみ 2019; 270 (9) :801-808.
- 25) 曾原 康二, 関根 鉄郎, 館野 周, 水村 直, 永山 寛, 須田 匡也, 桑子 智之, 桐山 智成, 福嶋 善光, 大久保 善郎, 汲田 伸一郎 : 健常者に対する DAT SPECT と DAT PET の線条体集積比の比較検討 PNEURO と Da TView、DaTQUANT による解析. 核医学 2019; 56 (Suppl.) :S162.
- 26) 大矢 智之, 増岡 孝浩, 大高 靖史, 坂寄 健, 朝山 健太郎, 館野 周, 大久保 善郎 : 出産直後に発症した重症うつ病に対し、ECT にて加療したのち退院後のサポート体制を策定した1例. 精神神経学雑誌 2019; 121 (4) :313.
- 27) 下田健吾, 木村真人 : 動脈硬化と心血管疾患の治療 E 血管性うつ病. 日本医師会雑誌 2019; 148 (特別 2) :S292 - S294-S294.
- 28) 下田 健吾, 木村 真人, 大久保 義朗 : 双極スペクトラム障害と双極性障害の形態学的脳変化の相違について 拡散テンソル画像を用いた検討. 精神神経学雑誌 2019; (2019 特別号) :S456.
- 29) 二宮 美香, 上原 嘉子, 伊藤 滋朗, 岸 泰宏 : 日本医科大学武蔵小杉病院におけるリエゾンチーム活動の報告. 総合病院精神医学 2019; 31 (Suppl.) :S-217.
- 30) 藤原 佳美, 二宮 美香, 青山 豊子, 上原 嘉子, 宮内 秀典, 横山 雄章, 岸 泰宏, 赤羽 日出男 : 終末期患者の希望の実現に向けての意思決定支援 看護師である患者への介入. 日本がん看護学会学術集会 2020; 34 回:[P40-350].
- 31) 肥田道彦, 濱智子, 中島創一郎, 秋山友美, 池田裕美子, 館野周, 鈴木秀典, 大久保善郎 : 経頭蓋直流刺激による安静時機能的 MRI 施行時の機能的結合に対する影響:予備的 fMRI 研究. 日本生物学的精神医学会 2019; 41st
- 32) 中島創一郎, 肥田道彦, 濱智子, 秋山友美, 池田裕美子, 館野周, 鈴木秀典, 大久保善郎 : 経頭蓋直流刺激による言語流暢性課題施行時の脳賦活に対する影響:予備的 fMRI 研究. 日本生物学的精神医学会 2019; 41st
- 33) 肥田道彦 : 統合失調症における音声社会認知時の脳機能画像による評価:魅力的プロソディー認知時の脳賦活に関する機能的 MRI 研究. 日本生物学的精神医学会誌 2019; 30 (2) :67-72.
- 34) 吉川 栄省, 西 大輔, 松岡 豊 : 職域領域の抑うつと敵意の関連におけるレジリエンスの役割について. 総合病院精神医学 2019; 31 (Suppl.) :S-162.
- 35) 木村 真人 : 脳卒中後のうつとアパシー その病態と対応について. Journal of International Society of Life Information Science 2020; 38 (1) :17.
- 36) 下田 健吾, 木村 真人 : 脳血管障害に伴ううつ病への対応. Depression Strategy 2019; 9 (3) :13-16.
- 37) 岸 泰宏 : 認知症とせん妄の救急医療・急性期医療 救急医療におけるせん妄対応. 老年精神医学雑誌 2019; 30 (増刊 II) :136.
- 38) 朝山 健太郎, 岸 泰宏, 館野 周, 大久保 善郎 : 迷走神経刺激療法を行う難治症候性てんかんの精神症状についての考察. 総合病院精神医学 2019; 31 (Suppl.) :S-230.
- 39) 内富庸介, 奥山徹, 稲垣正俊, 松島英介, 谷向仁, 井上真一郎, 松田能宣, 秋月伸哉, 足立浩祥, 稲田修士, 岡本禎晃, 角甲純, 岸泰宏, 佐々木千幸, 菅野康二, 竹内麻理, 堂谷知香子, 蓮尾英明, 蓮尾英明, 藤澤大介, 藤澤大介, 吉村匡史, 和田佐保 : 高齢者がん診療指針策定に必要な基盤整備に関する研究 高齢者がん患者のサイコオンコロジー. 高齢者がん診療指針策定に必要な基盤整備に関する

研究 平成 30 年度 総括・分担研究報告書 2019

- 40) 榎村正美, 野村俊明, 野村俊明, 石渡明子, 館野周 : 高齢者の不安・うつ症状に対する認知行動療法の試み—事例からみる介入プログラムの安全性・有用性の可能性について—. 老年精神医学雑誌 2019; 30

学会発表

- 1) 肥田道彦, 長峰 愛, 川良徳広, 大久保善朗 : うつ病患者における非言語性情動音声を用いた感情評価に関する予備的研究. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 2019. 6.
- 2) 肥田道彦, 小澤頌, 濱智子, 守屋洋紀, 坂寄健, 館野周, 大久保善朗 : 中脳辺縁系ネットワークとドパミントランスポーター密度の機能的相関 : 機能的 MRI-ポジトロン CT 研究. 第 25 回国際ヒト脳機能マッピング学会定期総会, 2019. 6.
- 3) 濱智子, 肥田道彦, 池田裕美子, 館野周, 大久保善朗 : 情動認知脳内ネットワークと主観的情動評価に対するブプロピオンの効果. 第 25 回国際ヒト脳機能マッピング学会定期総会, 2019. 6.
- 4) 坂寄健, 山本憲, 増岡孝浩, 朝山健太郎, 館野周, 大久保善朗 : 日本医科大学付属病院における継続・維持電気けいれん療法の現状について. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 2019.
- 5) 坂寄健, 大久保善朗, 上田諭, 和田健 : 日本総合病院精神医学会電気けいれん療法(ECT)研修施設における多施設後方視観察研究. 第 32 回日本総合病院精神医学会総会, 2019.
- 6) 肥田道彦, 濱 智子, 中島創一郎, 池田裕美子, 館野 周, 鈴木秀典, 大久保善朗 : 経頭蓋直流刺激による安静時機能的 MRI 施行時の機能的結合に対する影響 : 予備的 fMRI 研究. 第 41 回日本生物学的精神医学会, 2019. 6.

11 小児・思春期医学分野

研究業績

論文等

- 1) Yoshiya Tanaka, Masataka Kuwana, Takao Fujii, Hideto Kameda, Yoshinao Muro, Keishi Fujio, Yasuhiko Itoh, Hidekata Yasuoka, Shusaku Fukaya, Konomi Ashihara, Daisuke Hirano, Koichiro Ohmura, Yuya Tabuchi, Hisanori Hasegawa, Ryo Matsumiya, Yuichiro Shirai, Takehisa Ogura, Yumi Tsuchida, Mariko Ogawa-Momohara, Hidehiko Narazaki, Yoshino Inoue, Ippei Miyagawa, Kazuhisa Nakano, Shintaro Hirata, Masaaki Mori : 2019 Diagnostic criteria for mixed connective tissue disease (MCTD): From the Japan research committee of the ministry of health, labor, and welfare for systemic autoimmune diseases. *Modern rheumatology* 2020; 31 (1) :1-5. doi: 10.1080/14397595.2019.1709944.
- 2) 五十嵐 徹, 竹田 幸代, 梶崎 秀彦, 伊藤 保彦 : 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会での麻疹流行対応を過去から学ぶ. *日本小児科学会雑誌* 2020; 124 (2) :220.
- 3) Motoi Yamashita, Ryosuke Wakatsuki, Tamaki Kato, Tsubasa Okano, Shingo Yamanishi, Nobuko Mayumi, Mayuri Tanaka, Yumi Ogura, Hirokazu Kanegane, Shigeaki Nonoyama, Kohsuke Imai, Tomohiro Morio : A synonymous splice site mutation in IL2RG gene causes late-onset combined immunodeficiency. *International journal of hematology* 2019; 109 (5) :603-611. doi: 10.1007/s12185-019-02619-9.
- 4) Uchimura R, Ueda T, Fukazawa R, Hayakawa J, Ohashi R, Miura NN, Ohno N, Migita M, Itoh Y : Adipose tissue-derived stem cells suppress coronary arteritis of Kawasaki disease in vivo. *Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society* 2019; 62 (1) :14-21. doi: 10.1111/ped.14062.
- 5) Shingo Yamanishi, Ruby Pawankar : Current advances on the microbiome and role of probiotics in upper airways disease. *Current opinion in allergy and clinical immunology* 2020; 20 (1) :30-35. doi: 10.1097/ACI.0000000000000604.
- 6) Takahiro Ueda, Toshikazu Itabashi, Shingo Yamanishi, Yujiro Tanabe, Makoto Migita, Yasuhiko Itoh : Cytokine Profile Changes During the Initial Stage of Treatment for Childhood Epstein-Barr Virus-Associated Hemophagocytic Lymphohistiocytosis. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2020; 87 (3) :166-170. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2020_87-307.
- 7) Igarashi T, Ohsawa I, Kobayashi M, Umemoto Y, Arima T, Suzuki H, Igarashi T, Otsuka T, Takahashi H : Effects of hydrogen in prevention of corneal endothelial damage during phacoemulsification: a prospective randomized clinical trial. *American journal of ophthalmology* 2019; 207:10-17. doi: 10.1016/j.ajo.2019.04.014.
- 8) M. Gorelik, Y Lee, M. Abe, T. Andrews, L. Davis, J. Patterson, S. Chen, T. R. Crother, G. J. Aune, M. Noval Rivas, M. Arditi : IL - 1 receptor antagonist, anakinra, prevents myocardial dysfunction in a mouse model of Kawasaki disease vasculitis and myocarditis. *Clinical & Experimental Immunology* 2019; 198(1):101-110. doi: 10.1111/cei.13314.
- 9) M. Abe, D. D. Rastelli, A. C. Gomez, E. Cingolani, Y. Lee, P. R. Soni, M. C. Fishbein, T. J. A. Lehman, K. Shimada, T. R. Crother, S. Chen, M. Noval Rivas, M. Arditi : IL - 1 - dependent electrophysiological changes and cardiac neural remodeling in a mouse model of Kawasaki disease vasculitis. *Clinical & Experimental Immunology* 2019 doi: 10.1111/cei.13401.
- 10) Yoshio Shima, Shohei Matsukawa, Kentaro Yashiro, Makoto Migita : Interfacility neonatal transfer for convalescent care -efforts toward achieving better regionalized care. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2020; 87 (6) :334-338. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2020_87-604.
- 11) Yoshiaki Hashimoto, Ryuji Fukazawa, Noriko Nagi-Miura, Naohito Ohno, Nobuko Suzuki, Yasuhiro Katsube, Mitsuhiro Kamisago, Miharu Akao, Makoto Watanabe, Koji Hashimoto, Kanae Tsuno, Ryosuke Matsui, Yasuhiko Itoh : Interleukin-1beta Inhibition Attenuates Vasculitis in a Mouse Model of Kawasaki Disease. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (2) :108-116. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-206.
- 12) Magali Noval Rivas, Daiko Wakita, Michael K Franklin, Thacyana T Carvalho, Amanda Abolhesn, Angela C Gomez, Michael C Fishbein, Shuang

- Chen, Thomas J Lehman, Kazuki Sato , Akira Shibuya , Alessio Fasano, Hiroshi Kiyono, Masanori Abe, Narihito Tatsumoto, Michifumi Yamashita, Timothy R Crother, Kenichi Shimada, Moshe Arditi: Intestinal Permeability and IgA Provoke Immune Vasculitis Linked to Cardiovascular Inflammation. *Immunity* 2019 doi: 10.1016/j.immuni.2019.05.021.
- 13) Hara R, Umebayashi H, Takei S, Okamoto N, Iwata N, Yamasaki Y, Nakagishi Y, Kizawa T, Kobayashi I, Imagawa T, Kinjo N, Amano N, Takahashi Y, Mori M, Itoh Y, Yokota S : Intravenous abatacept in Japanese patients with polyarticular-course juvenile idiopathic arthritis: results from a phase III open-label study. *Pediatric rheumatology online journal* 2019; 17 (1) :17. doi: 10.1186/s12969-019-0319-4.
- 14) Ohashi R, Fukazawa R, Shimizu A, Ogawa S, Ochi M, Nitta T, Itoh Y : M1 macrophage is the predominant phenotype in coronary artery lesions following Kawasaki disease. *Vascular medicine (London, England)* 2019; 24 (6) :484-492. doi: 10.1177/1358863X19878495.
- 15) 山西 慎吾, 田辺 雄次郎, 竹下 輝, 檜崎 秀彦, 五十嵐 徹, 伊藤 保彦 : MCTD 発症から長期経過中に多彩な自己抗体を認めオーバークラップ症候群(SSc, SLE)に移行した 1 例. *日本小児リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集* 2019; 29 回:133.
- 16) Kajimoto Y, Endo Y, Terasaki M, Kunugi S, Igarashi T, Mii A, Terasaki Y, Shimizu A : Pathologic glomerular characteristics and glomerular basement membrane alterations in biopsy-proven thin basement membrane nephropathy. *Clinical and experimental nephrology* 2019; 23 (5) :638-649. doi: 10.1007/s10157-018-01687-1.
- 17) Genki Yamato, Hideki Muramatsu, Tomoyuki Watanabe, Takao Deguchi, Shotaro Iwamoto, Daisuke Hasegawa, Kiminori Terui, Takahiro Ueda, Tomoko Yokosuka, Shiro Tanaka, Ryu Yanagisawa, Katsuyoshi Koh, Akiko Saito, Keizo Horibe, Yasuhide Hayashi, Souichi Adachi, Shuki Mizutani, Takashi Taga, Etsuro Ito, Kenichiro Watanabe : Predictive Factors of Leukemia in Patients With Transient Abnormal Myelopoiesis: JCCG JPLSG TAM-10 Study. *PEDIATRIC BLOOD & CANCER* 2019; 66:S36.
- 18) Genki Yamato, Hideki Muramatsu, Tomoyuki Watanabe, Takao Deguchi, Shotaro Iwamoto, Daisuke Hasegawa, Kiminori Terui, Takahiro Ueda, Tomoko Yokosuka, Tsutomu Toki, Shiro Tanaka, Ryu Yanagisawa, Katsuyoshi Koh, Akiko M. Saito, Keizo Horibe, Yasuhide Hayashi, Souichi Adachi, Shuki Mizutani, Takashi Taga, Etsuro Ito, Kenichiro Watanabe : Predictive Factors of the Development of Leukemia in Patients with Transient Abnormal Myelopoiesis and Down Syndrome: The Jccg Study JPLSG TAM-10. *BLOOD* 2019; 134 doi: 10.1182/blood-2019-125465.
- 19) Masaru Miura, Tohru Kobayashi, Toru Igarashi, Hiromichi Hamada, Naomi Iwata, Yoshifumi Sasaki, Miyuki Matsukawa, Noriko Sato, Hajime Kubo, Syuji Takei : Real-world Safety and Effectiveness of Infliximab in Pediatric Patients With Acute Kawasaki Disease. *The Pediatric Infectious Disease Journal* 2020; 39 (1) :41-47. doi: 10.1097/inf.0000000000002503.
- 20) Masaki Miyao, Tsubasa Takahashi, Mikihiro Okusa, Makoto Kusakabe, Ryotaro Takano, Yuka Masuda, Mampei Kawashima, Hiroshi Yoshida : Recurrent Bowel Obstruction Caused by Cecal Volvulus: A Case Report. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (3) :183-186. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-308.
- 21) Suzuki K, Sasaki T, Kunugi S, Shima Y, Fukazawa R, Shimizu A, Nitta T : Resection of Kommerell's diverticulum in an infant with prenatal diagnosis of right aortic arch. *Surgical case reports* 2019; 5 (1) :172. doi: 10.1186/s40792-019-0726-2.
- 22) Tsutomu Igarashi, Kenji Nakamoto, Maika Kobayashi, Hisaharu Suzuki, Yutaro Tobita, Toru Igarashi, Takahisa Okuda, Takashi Okada, Hiroshi Takahashi : Serum brain-derived neurotrophic factor in glaucoma patients in Japan: An observational study. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2020; 87 (6) :339-345. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2020_87-605.
- 23) Takahiro Ueda, Makoto Migita, Toshikazu Itabashi, Yujiro Tanabe, Ryoichi Uchimura, Yoshihiro Gocho, Miho Yamanishi, Fumiko Kobayashi, Mio Yoshino, Atsushi Fujita, Shingo Yamanishi, Kiyohiko Kaizu, Jun Hayakawa, Takeshi Asano, Miho Maeda, Yasuhiko Itoh : Therapy-related Secondary Malignancy After Treatment of Childhood Malignancy: Cases from a Single Center. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (4) :207-214. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2018_86-401.
- 24) Makoto Watanabe, Ryuji Fukazawa, Shunichi Ogawa, Takashi Ohkubo, Masanori Abe, Koji Hashimoto, Yoshiaki Hashimoto, Yasuhiko Itoh : Virtual histology intravascular ultrasound evaluation of coronary artery lesions within 1 year and more than 10 years after the onset of Kawasaki disease. *Journal of Cardiology* 2019; 75 (2) :171-176. doi: 10.1016/j.jjcc.2019.06.015.
- 25) 高木 篤史, 喜納 裕美, 笠原 優子, 川上 保彦, 伊藤 保彦, 岡田 尚巳 : md χ マウス行動解析による情動障害定量的評価システムの構築. *日本筋学会学術集会プログラム・抄録集* 2019; 5 回:170.

- 26) 島 義雄：【周産期相談 310 お母さんへの回答マニュアル 第3版】新生児・乳児編 全身 新生児期 シャッキリはどうして出るのですか？ どうすればよいですか？. 周産期医学 2019; 49 (増刊) :528-529.
- 27) 島 義雄：【周産期相談 310 お母さんへの回答マニュアル 第3版】新生児・乳児編 全身 新生児期 生まれた翌日から全身あちこちに赤い発疹がみられますが？. 周産期医学 2019; 49 (増刊) :524-525.
- 28) 島 義雄：【周産期相談 310 お母さんへの回答マニュアル 第3版】新生児・乳児編 全身 新生児期 生まれてすぐから皮がむけるのですが？. 周産期医学 2019; 49 (増刊) :526-527.
- 29) 松本 多絵：【外国人の子どもの診療～いまからでも間に合う!～】受付・待合室で心に留めておくこと. チャイルドヘルス 2019; 22 (12) :886-890.
- 30) 松本 多絵：【外国人の子どもの診療～いまからでも間に合う!～】日本から海外に広がる母子手帳. チャイルドヘルス 2019; 22 (12) :904-907.
- 31) 松本 多絵：【外国人の子どもの診療～いまからでも間に合う!～】診察室の中で気をつけること. チャイルドヘルス 2019; 22 (12) :892-895.
- 32) 檜崎 秀彦, 伊藤 保彦：【小児リウマチ性疾患の診療～これまでのエビデンスに基づく最近の知見～】混合性結合組織病. Pharma Medica 2019; 37 (7) :31-36.
- 33) 山西 慎吾：【小児消化器疾患-最近の話題】腸内細菌と疾患. 小児科 2020; 61 (2) :141-148.
- 34) 植田 高弘：【知っていますか?小児科領域のスポーツ障害】慢性スポーツ障害 スポーツ貧血. 小児科診療 2020; 83 (2) :183-189.
- 35) 伊藤 保彦：【自己抗体の up-to-date】抗 Ro 抗体症候群の考え方. 臨床免疫・アレルギー科 2019; 71 (5) :461-467.
- 36) 山西 慎吾, 伊藤 保彦：【自己炎症疾患の臨床と最新の知見】自己炎症疾患におけるカナキヌマブの役割. リウマチ科 2019; 61 (5) :453-460.
- 37) 永井 博之, 峯 牧子, 松本 多絵, 赤尾 見春, 山西 慎吾, 早川 潤, 右田 真：インフリキシマブ被投与母体児 7 例の薬剤血中濃度と生ワクチン接種時期の検討. 日本小児科学会雑誌 2020; 124 (2) :287.
- 38) 高木 啓倫, 勝部 康弘, 赤尾 見春, 松井 亮介, 小林 光一, 長嶺 美和, 佐野 透美, 宮田 真貴子, 田辺 雄次郎, 田嶋 華子, 柳原 剛, 川上 康彦：ペントラキシン3が高値を示した冠動脈瘤合併川崎病の1例. 心臓 2019; 51 (12) :1297-1303.
- 39) 鈴木 憲治, 佐々木 孝, 上田 仁美, 廣本 敦之, 栗田 二郎, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 石井 庸介, 師田 哲郎, 深澤 隆治, 新田 隆：今だから考える、先天性心疾患における MICS 小児低侵襲心臓手術を目指した側開胸心房中隔欠損閉鎖手術の検討. 日本小児循環器学会雑誌 2019; 35 (Suppl.1) :s1-155.
- 40) 根岸 靖幸, 加藤 雅彦, 島 義雄, 市川 智子, 竹下 俊行, 森田 林平, 高橋 秀実：免疫疾患と妊娠 免疫学的知見による新しい流早産発症メカニズムの解明. 日本臨床免疫学会総会プログラム・抄録集 2019; 47 回:78.
- 41) 松本 多絵：呼吸器疾患児が航空機旅行をする前にすべきこと 呼吸機能評価と事前準備でトラブル回避を. 日本小児呼吸器学会雑誌 2019; 30 (1) :48-55.
- 42) 柳原 剛：学校検尿で早期に発見され予後良好と考えられる ANCA 関連腎炎の1例. じん 2019; (41) :14-16.
- 43) 井上祐三朗, 岩田直美, 小林一郎, 檜崎秀彦, 西山進, 野澤智, 野中由希子, 富板美奈子：小児期および成人移行期小児リウマチ患者の全国調査データの解析と両者の異同性に基づいた全国的「シームレス」診療ネットワーク構築による標準的治療の均てん化 小児期シェーグレン症候群の移行期医療に向けた支援ガイドブック作成と小児-成人レジストリの確立. 小児期および成人移行期小児リウマチ患者の全国調査データの解析と両者の異同性に基づいた全国的「シームレス」診療ネットワーク構築による標準的治療の均てん化 平成 30 年度 研究報告書 2019
- 44) 高橋 翼, 宮尾 昌樹, 吉田 寛：小児白線ヘルニアに対する弧状切開による臍 sliding-window 法. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:SF-1.
- 45) 深澤 隆治：川崎病. 別冊 日本臨床 循環器症候群 (第3版) 2019:115-122.
- 46) 田辺 雄次郎, 築野 香苗, 橋本 康司, 板橋 寿和, 山西 慎吾, 柳原 剛, 五十嵐 徹, 伊藤 保彦：当科で経験した急性巣状細菌性腎炎の17例の検討. 日本小児科学会雑誌 2020; 124 (2) :420.
- 47) 大高 永字, 檜崎 秀彦, 築野 香苗, 橋本 康司, 渡邊 誠, 中江 竜太, 源田 雄紀, 市場 晋吾, 伊藤 保彦：急速に増悪したインフルエンザ肺炎合併縦隔気腫に対する ECMO 導入で生還した7歳男児の一例. 日本小児感染症学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2019; 51

回:152.

- 48) 板橋 寿和, 植田 高弘, 福永 遼平, 関根 鉄朗, 右田 真, 前田 美穂, 伊藤 保彦: 感染症との鑑別を要した肺病変を認めたホジキンリンパ腫の1例. 日本小児血液・がん学会雑誌 2019; 56 (4) :298.
- 49) 橋本 康司, 築野 香苗, 橋本 佳亮, 渡邊 誠, 赤尾 見春, 上砂 光裕, 勝部 康弘, 深澤 隆治, 鈴木 憲治, 佐々木 孝: 新生児遷延性肺高血圧にて、PGI₂ の離脱に Selexipag が有効と思われた両大血管右室起始症のダウン症の1例. 日本小児循環器学会雑誌 2019; 35 (Suppl.1) :s1-379.
- 50) 島 義雄, 熊坂 栄, 根岸 靖幸: 早産児の慢性肺疾患と傷害関連分子パターンとしての High Mobility Group Box-1(HMGB-1). 日本周産期・新生児医学会雑誌 2019; 55 (2) :454.
- 51) 板橋 寿和, 植田 高弘, 田辺 雄次郎, 山西 慎吾, 前田 美穂, 伊藤 保彦: 松果体胚細胞腫瘍治療後 Ewing 肉腫を発症した1例. 日本小児科学会雑誌 2019; 123 (8) :1316.
- 52) 柳原 剛, 楊井 瑛美, 吉崎 薫, 大橋 隆治, 清水 章, 伊藤 保彦: 肉眼的血尿発症翌日に AKI を呈した IgA 腎症の一例. 日本小児腎臓病学会雑誌 2019; 32 (1Suppl.) :121.
- 53) 針金 幸代, 深見 武彦, 黒木 睦実, 稲垣 知子, 加藤 雅彦, 渡邊 朝子, 針金 永佳, 新村 裕樹, 角田 陽平, 松島 隆, 米山 剛一, 竹下 俊行, 島 義雄: 胎児期の超音波所見を観察し得た Zimmer 症候群の1例. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2019; 55 (2) :577.
- 54) 楊井 瑛美, 熊坂 栄, 寺田 有佑, 赤羽 洋祐, 来住 修, 島 義雄, 内藤 悦雄: 胎児脳構造異常を契機に診断したビルビン酸脱水素酵素複合体欠損症の女児. 日本小児科学会雑誌 2019; 123 (5) :849-854.
- 55) 福永 遼平, 植田 高弘, 板橋 寿和, 尤 礼佳, 石木 義人, 右田 真, 前田 美穂, 伊藤 保彦: 腸重積症を契機に診断した回盲部原発非 Hodgkin リンパ腫の1例. 日本小児科学会雑誌 2019; 123 (11) :1706.
- 56) 田中良哉, 伊藤保彦, 亀田秀人, 桑名正隆, 藤井隆夫, 藤尾圭志, 室慶直, 井上嘉乃, 大村浩一郎, 久保智史, 小倉剛久, 白井悠一郎, 田淵裕也, 中野和久, 長谷川久紀, 平野史生, 平田信太郎, 深谷修作, 松宮遼, 安岡秀剛: 自己免疫疾患に関する研究 混合性結合組織病(MCTD)の診断基準,重症度分類,診断ガイドラインに関する研究. 自己免疫疾患に関する調査研究 平成 30 年度 総括・分担研究報告書 2019
- 57) 岡田 創, 高木 篤史, 伊藤 保彦, 服部 裕次郎: 軽微頭部外傷後に急性脳梗塞をきたした1例. 日本小児科学会雑誌 2019; 123(11):1709.
- 58) 上春 光司, 柳原 剛, 五十嵐 徹, 福永 遼平, 吉田 圭志, 宮武 千晴, 阿部 正徳, 藤田 敦士, 浅野 健, 伊藤 保彦: 過去 5 年間に当院で経験した急性巣状細菌性腎炎の4例. 日本小児科学会雑誌 2020; 124 (2) :420.
- 59) 来住 修, 猪狩 直之, 熊坂 栄, 島 義雄: 静脈管狭窄を疑った胎児肝内石灰化病変. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2019; 55 (2) :574.

著書

- 1) 檜崎秀彦: [分担執筆] 混合性結合組織病 Pharma Medica 37 巻 7 号. 2019; pp.31-36 メディカルレビュー社.
- 2) 五十嵐徹: [分担執筆] 高血圧・可逆性後頭葉白質脳症など 小児科ステロイドの使い方・止め方・続け方 効果は最大, 副作用は最小をめざす診療のすべて. 2019, 文光堂.
- 3) 深澤 隆治: [編集] V 遠隔期の検査・治療・管理 川崎病学. 2019; pp.150-160, 診断と治療社.
- 4) 五十嵐 徹, 高山良子: [分担執筆] 血管炎(ヘノッホ・シェーンライン紫斑病) 皮膚科・小児科の専門医がやさしく教えるこどもの皮膚のみかたすべての医師・メディカルスタッフのために. 2019, 診断と治療社.

学会発表

- 1) 五十嵐 徹, 竹田 幸代, 檜崎 秀彦, 伊藤 保彦: 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会での麻疹流行対応を過去から学ぶ. 日本小児科学会雑誌, 2020. 2.
- 2) 橋本 佳亮, 橋本 康司, 築野 香苗, 渡邊 誠, 赤尾 見春, 上砂 光裕, 勝部 康弘, 深澤 隆治, 伊藤 保彦: HACEK 群による感染性心内膜炎を来し、内科・外科の治療を行った Rastelli 手術後 TGA の1例. 日本小児科学会雑誌, 2019. 6.
- 3) 山西 慎吾, 田辺 雄次郎, 竹下 輝, 檜崎 秀彦, 五十嵐 徹, 伊藤 保彦: MCTD 発症から長期経過中に多彩な自己抗体を認めオーバーラップ症候群(SSc, SLE)に移行した1例. 第 29 回 日本小児リウマチ学会総会・学術集会, 2019. 10.
- 4) 高木 篤史, 喜納 裕美, 笠原 優子, 川上 保彦, 伊藤 保彦, 岡田 尚巳: md χ マウス行動解析による情動障害定量的評価システムの構

- 築. 第5回日本筋学会学術集会, 2019. 8.
- 5) 伊藤保彦: モデル・コア・カリキュラムにおける小児科の現状と課題. 第19回日本小児医学教育研究会, 2019. 12.
 - 6) 檜崎 秀彦, 山口 賢一, 今川 智之, 井上 祐三朗, 森 雅亮, 日本小児リウマチ学会疾患登録制度委員会: 小児リウマチ性疾患登録(レジストリ)研究 PRICURE ver.2. 日本小児リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集, 2019. 10.
 - 7) 河合 慧, 五十嵐 徹, 飯島 将由, 塚田 裕伍, 鈴木 竜太郎, 齊藤 博大, 福島 富士子, 泉 維昌, 神崎 美玲, 河野 達夫: 急性間質性肺炎を伴い早期から多剤免疫抑制療法を導入した抗 TIF1- γ 抗体陽性若年性皮膚筋炎の3歳女児例. 第29回日本小児リウマチ学会総会・学術集会, 2019. 10.
 - 8) 大高 永字, 檜崎 秀彦, 築野 香苗, 橋本 康司, 渡邊 誠, 中江 竜太, 源田 雄紀, 市場 晋吾, 伊藤 保彦: 急速に増悪したインフルエンザ肺炎合併縦隔気腫に対する ECMO 導入で生還した7歳男児の一例. 第51回 日本小児感染症学会総会, 2019. 10.
 - 9) 伊藤 保彦: 抗 Ro 抗体と小児の SS. 第28回日本シェーグレン症候群学会学術集会, 2019. 9.
 - 10) 板橋 寿和, 植田 高弘, 田辺 雄次郎, 山西 慎吾, 前田 美穂, 伊藤 保彦: 松果体胚細胞腫瘍治療後 Ewing 肉腫を発症した1例. 日本小児科学会雑誌 123 巻 8 号 Page1316, 2019. 8.
 - 11) 柳原 剛, 楊井 瑛美, 吉崎 薫, 大橋 隆治, 清水 章, 伊藤 保彦: 肉眼的血尿発症翌日に AKI を呈した IgA 腎症の一例. 日本小児腎臓病学会雑誌, 2019. 5.

12 臨床放射線医学分野

研究業績

論文等

- 1) 黒瀬 宗麻, 町田 幹, 中岡 雄次郎, 西川 慈人, 岡山 真弓, 武田 美那子, 箱崎 謙太, 桑子 智之, 林 宏光, 汲田 伸一郎 : 256 列 Dual Energy GSI による腹部術前 3D-mapping の有用性. Japanese Journal of Radiology 2020; 38 (Suppl) :11.
- 2) 栗田 二郎, 師田 哲郎, 廣本 敦之, 村田 智洋, 上田 達夫, 川俣 博志, 新田 隆 : 2debranching TEVAR 術後に合併した RTAD に対する緊急手術 送血路や開胸の工夫. 日本血管外科学会雑誌 2019; 28 (Suppl.) :P67-1.
- 3) Mitsuo Matsumoto, Kyoshiro Takegahara, Tatsuya Inoue, Masatoki Nakaza, Tetsuro Sekine, Jitsuo Usuda : 4D Flow MR Imaging Reveals a Decrease of Left Atrial Blood Flow in a Patient with Cardioembolic Cerebral Infarction after Pulmonary Left Upper Lobectomy. Magnetic resonance in medical sciences : MRMS : an official journal of Japan Society of Magnetic Resonance in Medicine 2020; 19 (4) :290-293. doi: 10.2463/mrms.ici.2019-0142.
- 4) 安藤 高浩, 関根 鉄朗, 村井 保夫, 織田 絵里香, 高木 亮, 天野 康雄, 小原 真, 岩田 琴美, 仲座 方辰, 汲田 伸一郎 : 4D Flow MRI を用いた片側内頸動脈狭窄症患者を対象とした血流 multiparametric flow 解析. 日本磁気共鳴医学会雑誌 2020; 40 (1) :36-38.
- 5) 岩田 琴美, 関根 鉄朗, 安藤 高浩, 汲田 伸一郎, 井守 洋一, 松田 淳也, 高野 仁司 : 4D Flow MRI 撮像の際に取得した magnitude imaging の dephasing を利用した乱流運動エネルギー測定 閉塞性肥大型心筋症患者における臨床応用. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :258-259.
- 6) 松田 淳也, 高野 仁司, 関根 鉄郎, 三軒 豪仁, 久保田 芳明, 井守 洋一, 中田 淳, 西城 由之, 宮地 秀樹, 太良 修平, 時田 祐吉, 山本 剛, 汲田 伸一郎, 清水 渉 : 4D flow MRI を用いた閉塞性肥大型心筋症に対する血流解析. 日本心臓病学会学術集会抄録 2019; 67 回:O-019.
- 7) Tatsuo Ueda, Hiroyuki Tajima, Satoru Murata, Kotomi Iwata, Hidemasa Saitou, Izumi Miki, Daisuke Yasui, Fumie Sugihara, Shiro Onozawa, Tetsuro Morota, Shin-ichiro Kumita : An Extremely Rare Complication: Abdominal Aortic Aneurysm Rupture Caused by Migration of a Zenith Main Body Years After Repair of the Suprarenal Stent Separation. Journal of endovascular therapy : an official journal of the International Society of Endovascular Specialists 2019; 26 (2) :269-272. doi: 10.1177/1526602819830979.
- 8) Takayuki Nose, Koji Masui, Tadashi Takenaka, Hideya Yamazaki, Katsuya Nakata, Yuki Otani, Shinichiro Kumita : An easy and novel method for safer brachytherapy: Real-time fluoroscopic verification of high-dose-rate 192 Ir source position using a flat-panel detector. Journal of Radiation Research 2019; 60:412-415. doi: 10.1093/jrr/rrz013.
- 9) Nguyen Tien Linh Doan, 小野 真平, 林 宏光, 秋山 豪, 小川 令 : CT 血管造影を用いた橈骨動脈浅掌枝とその穿通枝の血管解剖研究. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (3) :143.
- 10) Hidemasa Saito, Hiromitsu Hayashi, Tatsuo Ueda, Takahiko Mine, Shin-ichiro Kumita : Changes in Aortic Wall Thickness at a Site of Entry Tear on Computed Tomography before Development of Acute Aortic Dissection. Annals of vascular diseases 2019; 12 (3) :379-384. doi: 10.3400/avd.oa.19-00051.
- 11) Erika Orita, Yasuo Murai, Tetsuro Sekine, Ryo Takagi, Yasuo Amano, Takahiro Ando, Kotomi Iwata, Makoto Obara, Shinichiro Kumita : Four-Dimensional Flow MRI Analysis of Cerebral Blood Flow Before and After High-Flow Extracranial-Intracranial Bypass Surgery With Internal Carotid Artery Ligation. Neurosurgery 2019; 85 (1) :58-64. doi: 10.1093/neuros/nyy192.
- 12) Iwata K, Matsuda J, Imori Y, Sekine T, Takano H, Co : Four-dimentional Flow MRI reveals the reduction in turbulent kinetic energy after percutaneous transluminal septal myocardial ablation in hypertrophic obstructive cardiomyopathy. European Heart Journal 2019
- 13) 阿部 雅志, 池亀 敏, 嶺 貴彦, 井手口 稔, 小南 修史, 森田 明夫 : Gd-DTPA を用いたフラットパネル装置による基礎検討. 脳血管内治療 2019; 4 (Suppl.) :S424.
- 14) Yoshitaka Isaka, Hiromitsu Hayashi, Kazutaka Aonuma, Masaru Horio, Yoshio Terada, Kent Doi, Yoshihide Fujigaki, Hideo Yasuda, Taichi Sato, Tomoyuki Fujikura, Ryohei Kuwatsuru, Hiroshi Toei, Ryusuke Murakami, Yoshihiko Saito, Atsushi Hirayama, Toyooki

- Murohara, Akira Sato, Hideki Ishii, Tadateru Takayama, Makoto Watanabe, Kazuo Awai, Seitaro Oda, Takamichi Murakami, Yukinobu Yagy, Nobuhiko Joki, Yasuhiro Komatsu, Takamasa Miyauchi, Yugo Ito, Ryo Miyazawa, Yoshihiko Kanno, Tomonari Ogawa, Hiroki Hayashi, Eri Koshi, Tomoki Kosugi, Yoshinari Yasuda : Guideline on the Use of Iodinated Contrast Media in Patients With Kidney Disease 2018. *Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society* 2019; 83 (12) :2572-2607. doi: 10.1253/circj.CJ-19-0783.
- 15) Yoshitaka Isaka, Hiromitsu Hayashi, Kazutaka Aonuma, Masaru Horio, Yoshio Terada, Kent Doi, Yoshihide Fujigaki, Hideo Yasuda, Taichi Sato, Tomoyuki Fujikura, Ryohei Kuwatsuru, Hiroshi Toei, Ryusuke Murakami, Yoshihiko Saito, Atsushi Hirayama, Toyooki Murohara, Akira Sato, Hideki Ishii, Tadateru Takayama, Makoto Watanabe, Kazuo Awai, Seitaro Oda, Takamichi Murakami, Yukinobu Yagy, Nobuhiko Joki, Yasuhiro Komatsu, Takamasa Miyauchi, Yugo Ito, Ryo Miyazawa, Yoshihiko Kanno, Tomonari Ogawa, Hiroki Hayashi, Eri Koshi, Tomoki Kosugi, Yoshinari Yasuda : Guideline on the use of iodinated contrast media in patients with kidney disease 2018. *Clinical and experimental nephrology* 2020; 24 (1) :1-44. doi: 10.1007/s10157-019-01750-5.
- 16) Yoshitaka Isaka, Hiromitsu Hayashi, Kazutaka Aonuma, Masaru Horio, Yoshio Terada, Kent Doi, Yoshihide Fujigaki, Hideo Yasuda, Taichi Sato, Tomoyuki Fujikura, Ryohei Kuwatsuru, Hiroshi Toei, Ryusuke Murakami, Yoshihiko Saito, Atsushi Hirayama, Toyooki Murohara, Akira Sato, Hideki Ishii, Tadateru Takayama, Makoto Watanabe, Kazuo Awai, Seitaro Oda, Takamichi Murakami, Yukinobu Yagy, Nobuhiko Joki, Yasuhiro Komatsu, Takamasa Miyauchi, Yugo Ito, Ryo Miyazawa, Yoshihiko Kanno, Tomonari Ogawa, Hiroki Hayashi, Eri Koshi, Tomoki Kosugi, Yoshinari Yasuda : Guideline on the use of iodinated contrast media in patients with kidney disease 2018. *Japanese journal of radiology* 2020; 38 (1) :3-46. doi: 10.1007/s11604-019-00850-2.
- 17) Jun Akatsuka, Yoichiro Yamamoto, Tetsuro Sekine, Yasushi Numata, Hiromu Morikawa, Kotaro Tsutsumi, Masato Yanagi, Yuki Endo, Hayato Takeda, Tatsuro Hayashi, Masao Ueki, Gen Tamiya, Ichiro Maeda, Manabu Fukumoto, Akira Shimizu, Toyonori Tsuzuki, Go Kimura, Yukihiro Kondo : Illuminating Clues of Cancer Buried in Prostate MR Image: Deep Learning and Expert Approaches. *Biomolecules* 2019; 9 (11) doi: 10.3390/biom9110673.
- 18) Hiroshi Kawamata, Hiroyuki Tajima, Tatsuo Ueda, Hidemasa Saito, Daisuke Yasui, Tadashi Kaneshiro, Naoko Takenoshita, Shouhei Mizushima, Takahiko Mine, Jiro Kurita, Yosuke Ishii, Tetsuro Morota, Takashi Nitta, Yuji Maruyama, Hajime Imura, Dai Nishina, Masahiro Fujii, Ryuzo Bessho : Long-term outcomes of endovascular aortic aneurysm repair with the Zenith AAA endovascular graft: a single-center study. *Japanese journal of radiology* 2020; 38 (1) :77-84. doi: 10.1007/s11604-019-00892-6.
- 19) Tsunenori Saito, Kuniya Asai, Masaki Tachi, Shigeru Sato, Kosuke Mozawa, Akiko Adachi, Yoshihiro Sasaki, Yasuo Amano, Kyoichi Mizuno, Shin-Ichiro Kumita, Wataru Shimizu : Long-term prognostic value of ultrastructural features in dilated cardiomyopathy: comparison with cardiac magnetic resonance. *ESC heart failure* 2020 doi: 10.1002/ehf2.12662.
- 20) 福嶋善光, 汲田伸一郎 : Quantitative Assessment of Lower-limb Perfusion for Patients with Peripheral Artery Disease. *Annals of Nuclear Cardiology* 2019; 5 (1) :89-94.
- 21) Kumita S, Yoshinaga K, Miyagawa M, Momose M, Kiso K, Kasai T, Naya M, Committee for, diagnosis of cardiac, sarcoidosis using, F-FDG PET, Japanese, Society of Nuclear Cardiology : Recommendations for ¹⁸F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography imaging for diagnosis of cardiac sarcoidosis-2018 update: Japanese Society of Nuclear Cardiology recommendations. *Journal of nuclear cardiology : official publication of the American Society of Nuclear Cardiology* 2019 doi: 10.1007/s12350-019-01755-3.
- 22) Satoh Y, Sekine T, Omiya Y, Onishi H, Motosugi U : Reduction of the fluorine-18-labeled fluorodeoxyglucose dose for clinically dedicated breast positron emission tomography. *EJNMMI physics* 2019; 6 (1) :21. doi: 10.1186/s40658-019-0256-9.
- 23) 水嶋翔平, 嶺貴彦, 吉尾敬秀, 上嶋総, 樫村剛司, 井関陽平, 仁科大, 藤井正大, 別所竜蔵 : Squid-Capture 法を用いた Stentgraft 開窓により Stent-in-Stent で修復した腹部大動脈閉塞症の一例. *日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌* 2019; 34 (Suppl.) :327.
- 24) Hidenori Yamaguchi, Satoru Murata, Shiro Onozawa, Fumie Sugihara, Hiromitsu Hayashi, Shin-Ichiro Kumita : Strategy for the treatment of spontaneous isolated visceral artery dissection. *European journal of radiology open* 2019; 6:9-15. doi: 10.1016/j.ejro.2018.11.003.
- 25) Yosuke Ishii, Shin-Ichiro Kumita, Takashi Nitta : Therapeutic efficacy of coronary artery bypass grafting evaluated by hybrid cardiac single-photon emission computed tomography/computed tomography imaging. *European journal of cardio-thoracic surgery : official journal of the*

European Association for Cardio-thoracic Surgery 2019; 56 (6) :1206. doi: 10.1093/ejcts/ezz152.

- 26) 嶺 貴彦, 水嶋 翔平, 樫村 剛司, 上嶋 聡, 安井 大祐, 上田 達夫 : Triaxial B-glue System を用いた加温 Glue による血管塞栓術. 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌 2019; 34 (Suppl.) :309.
- 27) 田島 廣之, 金城 忠志, 竹ノ下 尚子, 川俣 博志 : VTE ガイドライン(肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症の診断、治療、予防に関するガイドライン) 静脈血栓塞栓症に対するカテーテル的治療と下大静脈フィルター. 静脈学 2019; 30 (2) :148.
- 28) 安井 大祐, 村田 智, 上田 達夫, 杉原 史恵, 齋藤 英正, 白井 清香, 伊藤 博, 小林 正行, 汲田 伸一郎 : VX2 担癌ウサギを用いた単分散系ミリプラチン懸濁液の安全性と有効性に関する検討(Experiment on the safety and efficacy of mono-disperse miriplatin emulsion using VX-2 rabbit model). 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌 2019; 34 (Suppl.) :282.
- 29) 織田 絵里香, 関根 鉄朗 : 【MRI で読み解く心臓と脈管:流れと機能】 頸頭部領域の 4D-flow MRI. 臨床画像 2020; 36 (1) :13-23.
- 30) 福嶋 善光, 汲田 伸一郎 : 【ここまで見える! 泌尿器科における可視化の進歩】 機器の発達 PET/CT 検査による泌尿器腫瘍の病変検出能および腫瘍活性評価能. 臨床泌尿器科 2019; 73 (9) :615-625.
- 31) 桐山 智成, 須田 匡也 : 【冠動脈疾患と心不全の診療に活かす心臓核医学の新技術】 半導体カメラによる 2 核種同時収集. Rad Fan 2019; 17 (9) :35-38.
- 32) 上田 達夫, 村田 智, 田島 廣之, 杉原 史恵, 安井 大祐, 齋藤 英正, 汲田 伸一郎 : 【救急 IVR の最前線】 動脈損傷に対するゴアバイオバーステントグラフトを用いた血管内治療. Rad Fan 2019; 17 (5) :44-48.
- 33) 齋藤 英正, 上田 達夫, 林 宏光, 汲田 伸一郎 : 【救急疾患の鑑別診断のポイント】 (第 8 章) 体腔内の液体貯留 心嚢内液貯留の鑑別. 画像診断 2019; 39 (11) :A146-A149.
- 34) 町田 幹 : 【腎臓の画像診断 up to date】 腎疾患の CT 診断. 腎臓内科 2020; 11 (3) :226-231.
- 35) 松本 大河, 齋藤 英正, 杉原 史恵, 田島 廣之, 横田 裕之, 汲田 伸一郎 : 上腸間膜動脈塞栓症に対し早期 IVR 治療により腸管切除を回避し得た一例. 日本医学放射線学会秋季臨床大会抄録集 2019; 55 回:S572.
- 36) 竹ノ下 尚子, 田島 廣之, 金城 忠志, 川俣 博志, 一色 彩子, 中摩 健二, 石原 嗣郎 : 下大静脈フィルターの有効性と合併症-立ち位置を見直す 下大静脈フィルター使用/回収状況は変化したか?. 静脈学 2019; 30 (2) :165.
- 37) 西川 慈人, 福嶋 善光, 汲田 伸一郎, 桐木 園子, 高木 元, 宮本 正章 : 下肢骨髄炎例における定量解析併用 Ga-SPECT/CT の診断能. 核医学 2019; 56 (1) :37.
- 38) 田中 泉, 上田 達夫, 杉原 史恵, 安井 大祐, 齋藤 英正, 白井 清香, 小谷 映午, 汲田 伸一郎 : 下部消化管出血に対する N-butyl Cyanoacrylate を用いた塞栓術の有効性と安全性に関する検討. 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌 2019; 34 (Suppl.) :270.
- 39) 曾原 康二, 関根 鉄郎, 館野 周, 水村 直, 永山 寛, 須田 匡也, 桑子 智之, 桐山 智成, 福嶋 善光, 大久保 善郎, 汲田 伸一郎 : 健常者に対する DAT SPECT と DAT PET の線条体集積比の比較検討 PNEURO と Da TView、DaTQUANT による解析. 核医学 2019; 56 (Suppl.) :S162.
- 40) 白井 清香, 上田 達夫, 田島 廣之, 汲田 伸一郎 : 加温 NBCA により止血し得た気管支動脈瘤破裂の 1 例. 日本医学放射線学会秋季臨床大会抄録集 2019; 55 回:S576.
- 41) 上田 達夫, 杉原 史恵, 安井 大祐, 齋藤 英正, 田中 泉, 白井 清香, 小谷 映午, 村田 智, 田島 廣之, 汲田 伸一郎 : 動脈損傷に対する VIABAHN ステントグラフト治療 15 例の初期および中期成績. 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌 2019; 34 (Suppl.) :294.
- 42) 齋藤 英正, 上田 達夫, 杉原 史恵, 安井 大祐, 田中 泉, 白井 清香, 小谷 映午, 汲田 伸一郎 : 動脈瘤ステントグラフト内挿術後の type 2 endoleak に対する IVR 経動脈的塞栓術と経皮的塞栓術の比較検討. 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌 2019; 34 (Suppl.) :251.
- 43) 伊東 泰夫, 太田 峯男, 松澤 美和, 結城 英実, 金原 和也, 町田 幹, 藤倉 輝道, 横田 裕行, 竹下 俊行 : 医療面接実習や OSCE に参加した模擬患者が感じる現実との違和感. 医学教育 2019; 50 (Suppl) :224.
- 44) 桐山 智成 : 半導体 SPECT を用いた心筋血流の定量法. 日本心臓核医学会ニュースレター 2019; 21 (2) :44.
- 45) 福嶋 善光, 木村 剛, 赤塚 純, 濱名 輝彦, 塚越 智啓, 安藤 嵩浩, 汲田 伸一郎 : 去勢抵抗性前立腺癌骨転移例に対する定量解析併用骨 SPECT/CT の予後予測能. 核医学 2019; 56 (Suppl.) :S141.
- 46) 塚越 智啓, 福嶋 善光, 濱名 輝彦, 安藤 嵩浩, 汲田 伸一郎 : 呼吸器疾患患者の予後に対する肺灌流/換気 SPECT/CT の有用性. 核医

- 学 2019; 56 (Suppl.) :S181.
- 47) 高橋 賢一郎, 関根 鉄朗, 栗田 二郎, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 石井 庸介, 師田 哲郎, 新田 隆 : 大動脈瘤・大動脈解離の成因 急性 A 型大動脈解離術後患者における偽腔血流と遠隔期解離性大動脈瘤形成の関連に関する 4D Flow MRI 解析. 脈管学 2019; 59 (Suppl.) :S148-S149.
- 48) Sugihara Fumie, Ueda Tatsuo, Yasui Daisuke, Saito Hidemasa, Tanaka Izumi, Sirai Sayaka, Kodani Eigo, Kondo Yukihiro, Kumita Shin-ichiro : 小型腎腫瘍に対する CT ガイド下針生検の有用性(Utility of Computed Tomography-Guided Needle Biopsy for Small Renal Masses). 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌 2019; 34 (Suppl.) :222.
- 49) 上嶋 聡, 嶺 貴彦, 水嶋 翔平, 井関 洋平, 山田 直輝, 樫村 剛司, 吉尾 敬秀, 仁科 大, 藤井 正大, 別所 竜蔵 : 広範囲血栓閉塞を伴う遺残坐骨動脈瘤に対して血管内アプローチのみで血行再建を完遂した一例. 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌 2019; 34 (Suppl.) :290.
- 50) 大林 康太郎, 木村 剛, 栗林 茂彦, 長谷川 裕也, 天河 亮, 柴山 慶太, 秋本 裕義, 武田 隼人, 林 達郎, 濱崎 務, 前林 勝也, 汲田 伸一郎, 近藤 幸尋 : 当院における限局性前立腺癌に対する低線量率ヨウ素 125 密封小線源療法後に発生した膀胱癌の臨床病理学的検討. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107 回:PP2-013.
- 51) 森嶋 素子, 石井 庸介, 泉二 佑輔, 網谷 亮輔, 上田 仁美, 高橋 賢一郎, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 川瀬 康裕, 佐々木 孝, 宮城 泰雄, 坂本 俊一郎, 師田 哲郎, 桐山 智成, 福嶋 善光, 汲田 伸一郎, 新田 隆 : 心筋 SPECT を用いた CABG 術後早期および遠隔期の心筋虚血と脂肪酸代謝の変化の検討. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集 2020; 50 回:P40-4.
- 52) 桐山 智成 : 心筋シンチ読影における真の集積低下とアーチファクトの鑑別の考え方. ニュータウンカンファレンス: 心臓核医学 2019; 44:22-23.
- 53) 桐山 智成 : 心筋血流の「定量評価」を臨床に活かす 半導体 SPECT を用いた心筋血流定量による虚血評価. 核医学 2019; 56 (Suppl.) :S87.
- 54) 船橋 孝斉, 小野口 昌久, 澁谷 孝行, 須田 匡也, 吉田 伸二郎, 桐山 智成 : 心臓専用半導体 SPECT 装置の QFOV 内における心筋ポジショニングが画像評価へ与える影響. 核医学技術 2019; 39 (予稿集) :392.
- 55) 福嶋 善光, 石井 庸介, 桐山 智成, 新田 隆, 汲田 伸一郎 : 心臓脂肪酸代謝 SPECT/CT 融合画像検査による CABG 後の冠動脈疾患例における遷延虚血性心筋障害の要因検索. 日本心臓核医学会ニューズレター 2019; 21 (2) :106.
- 56) 高橋賢一郎, 関根鉄朗, 栗田二郎, 坂本俊一郎, 石井庸介, 師田哲郎, 汲田伸一郎, 新田隆 : 急性 A 型大動脈解離術後患者の残存偽腔に対する 4D FLOW MRI 解析. 日本胸部外科学会定期学術集会 2019; 72nd
- 57) 関根 鉄朗, 織田 絵里香, 村井 保夫, 高木 亮, 安藤 嵩浩, 岩田 琴美, 小川 匡史, 小原 真, 汲田 伸一郎 : 浅側頭動脈から中大脳動脈へのバイパス手術前後の脳血流についての 4D Flow MRI 分析(4D Flow MRI Analysis of Cerebral Blood Flow Before and After Superficial Temporal Artery to Middle Cerebral Artery Bypass Surgery). 日本医学放射線学会秋季臨床大会抄録集 2019; 55 回:S488-S489.
- 58) 白井 清香, 安井 大祐, 上田 達夫, 杉原 史恵, 齊藤 英正, 葉山 惟信, 川本 智章, 汲田 伸一郎 : 無漿膜野の肝細胞癌に対してマイクロバルーンによる血流改変下に肝動脈化学塞栓術を行った一例. 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌 2019; 34 (Suppl.) :352.
- 59) 井上 幸次, 宮崎 大, 馬場 高志, 石倉 涼子, 松浦 一貴, 長谷川 晶子, 諸星 計, 小松 恵子, 小松 直樹, 唐下 千寿, 寺坂 祐樹, 富長 岳史, 三原 幸子, 宮野 佐智子, 佐々木 慎一, 川本 由紀美, 春木 智子, 井上 美智子, 大谷 史江, 稲田 耕大, 魚谷 竜, 清水 大輔, 三宅 瞳, 江原 二三枝, 郭 権慧, 矢倉 慶子, 清水 由美子, 大橋 裕一, 下村 嘉一, 白井 正彦, 姚 玉峰, 外園 千恵, 井上 智之, 鈴木 崇, 加藤 四郎, 上田 重晴, 前田 一洋, 佐々木 裕美, 坂本 雅子, 山田 雅夫, 林 皓三郎, 塩田 洋, 綾塚 祐二, 佐々木 香る, 浅利 誠志, 砂田 淳子, 木村 圭吾, 福田 昌彦, 江口 洋, 秦野 寛, 細貝 真弓, 山上 聡, 海老原 伸行, 鈴木 弘, 星 最智, 横倉 俊二, 望月 清文, 横村 浩一, 矢口 貴志, 錫谷 達夫, 小杉 伊三夫, 門田 遊, 子島 良平, 八木 彰子, 古川 敏仁 : 眼感染症への取り組み 基礎から臨床まで. 日本眼科学会雑誌 2020; 124 (3) :155-184.
- 60) 鈴木香緒里, 帆足俊彦, 吉田 舞, 中平奈那美, 浅原麻里子, 江崎英子, 田中真百合, 市山 進, 山瀬 綾, 伊藤路子, 安齋真一, 船坂陽子, 中島創一郎, 坂寄 健, 大久保善朗, 栗林茂彦, 前林勝也, 佐伯秀久 : 統合失調症を伴った Stage IV 外陰部乳房外 Paget 病の 1 例. 皮膚科の臨床 2019; 61 (10) :1487-1491.
- 61) 久城 正紀, 山本 真梨子, 太田黒 崇伸, 水嶋 翔平, 嶺 貴彦, 松本 尚 : 脾損傷における脾仮性動脈瘤のマネジメント. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :687.
- 62) 小谷 映午, 上田 達夫, 杉原 史恵, 安井 大祐, 齋藤 英正, 田中 泉, 白井 清香, 汲田 伸一郎 : 腹部大動脈瘤に対するステントグラ

- フト術前の子防的大動脈分枝塞栓術の有用性に関する検討. 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌 2019; 34 (Suppl.) :253.
- 63) 白井 清香, 上田 達夫, 杉原 史恵, 安井 大祐, 齋藤 英正, 金 史英, 横田 裕行, 吉田 寛, 汲田 伸一郎: 門亢症に対する IVR 治療の進歩～難治例・難渋例に対する工夫～ 腸管壊死を伴う超重症門脈血栓症に対して、腸管切除及び開腹下 IVR によるハイブリッド治療により良好な転機を辿った 2 例. 日本門脈圧亢進症学会雑誌 2019; 25 (3) :62.
- 64) 関根 鉄朗: 頭頸部領域の 4D Flow MRI 最近のトピックとこれからの方向性. 日本磁気共鳴医学会雑誌 2019; 39 (3) :90-95.
- 65) 村田 智, 小野澤 志郎, 田島 廣之: 【最近の腓インターベンション】腓閉鎖回路による動注化学療法. 臨床画像 2019;35(12); 1436-1441.

著書

- 1) 上田 達夫, 村田 智, 田島 廣之, 杉原 史恵, 安井 大祐, 齋藤 英正, 汲田 伸一郎: 【救急 IVR の最前線】動脈損傷に対するゴアバイアバーステントグラフトを用いた血管内治療. 2019, メディカルアイ.
- 2) 関根 鉄朗: [共著] IV 部 6 章 7 節 減弱補正 (PET/MRI). 日本核医学技術学会: 新核医学技術総論. 2020, 山代印刷出版部.

学会発表

- 1) 関根 鉄朗: 4D Flow MRI の基礎と臨床応用 -流速定量から乱流推定まで-. (60 分、依頼講演). 第 47 回東京 MR 励起会. 東京 2019.6., 2019. 6.
- 2) 関根 鉄朗: 4D Flow MRI で見るマクロからミクロな動き -乱流運動エネルギー定量の原理と臨床応用 (依頼講演, 講師, 55 分, 日本語). 第 15 回動態機能研究会, 2020. 1.
- 3) 関根 鉄朗: 4D Flow MRI 流体解析の頭頸部領域における臨床応用 (依頼講演, ランチョン, 55 分, 日本語). 日本脳神経外科学会 関東支部 学術集会, 2019. 12.
- 4) 関根 鉄朗: AIR テクノロジーとその臨床応用 (依頼講演, ランチョン, 25 分). 第 47 回 磁気共鳴医学会 大会, 2019. 9.
- 5) 関根 鉄朗: Air ロードショー (依頼講演, 講師, 55 分, 日本語), 2020. 1.
- 6) 上田 達夫: Emergency Endovascular Treatment of 16 Peripheral Artery Injuries with VIABAHN® Stent-Graft: Mid-Term Results. Cardiovascular and Interventional Radiological Society of Europe (CIRSE) 2019, 2019. 9.
- 7) 上田 達夫: Initial and Mid-Term Results of VIABAHN® Stent-Graft Treatment for Injured Arteries. 第 48 回日本 IVR 学会総会, 2019. 5.
- 8) 関根 鉄朗: Neurovascular 4D Flow MRI. (KCR ジョイントシンポジウム, 英語, 15 分). 78th annual meeting of JRS. 横浜 2019.04., 2019. 4.
- 9) 関根 鉄朗: Quantification in PET/CT and PET/MRI tests for radiotherapy treatment planning (依頼講演, 講師, 30 分, 英語). IAEA Regional Workshop on PET/CT PET/MRI for Radiotherapy Treatment Planning., 2019. 12.
- 10) 上田 達夫: VIABAHN®を用いた止血術. 第 7 回救急・外傷 IVR 症例検討会 (SIRET2019), 2019. 5.
- 11) 安井 大祐, 村田 智, 上田 達夫, 杉原 史恵, 齋藤 英正, 白井 清香, 伊藤 博, 小林 正行, 汲田 伸一郎: VX2 担癌ウサギを用いた単分散系ミリプラチン懸濁液の安全性と有効性に関する検討 (Experiment on the safety and efficacy of mono-disperse miriplatin emulsion using VX-2 rabbit model). 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌, 2019. 5.
- 12) 松本 大河, 齋藤 英正, 杉原 史恵, 田島 廣之, 横田 裕之, 汲田 伸一郎: 上腸間膜動脈塞栓症に対し早期 IVR 治療により腸管切除を回避し得た一例. 日本医学放射線学会秋季臨床大会抄録集, 2019. 9.
- 13) 田中 泉, 上田 達夫, 杉原 史恵, 安井 大祐, 齋藤 英正, 白井 清香, 小谷 映午, 汲田 伸一郎: 下部消化管出血に対する N-butyl Cyanoacrylate を用いた塞栓術の有効性と安全性に関する検討. 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌, 2019. 5.
- 14) 谷 瞳: 乳房デジタルトモシンセシスでの石灰化病変の診断における 2D および 3D 再構成画像の有用性. 第 78 回日本医学放射線学会, 2019. 4.
- 15) 上田 達夫, 杉原 史恵, 安井 大祐, 齋藤 英正, 田中 泉, 白井 清香, 小谷 映午, 村田 智, 田島 廣之, 汲田 伸一郎: 動脈損傷に対する VIABAHN ステントグラフト治療 15 例の初期および中期成績. 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌, 2019. 5.
- 16) 齋藤 英正, 上田 達夫, 杉原 史恵, 安井 大祐, 田中 泉, 白井 清香, 小谷 映午, 汲田 伸一郎: 動脈瘤ステントグラフト内挿術後の type 2 endoleak に対する IVR 経動脈的塞栓術と経皮的塞栓術の比較検討. 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌, 2019. 5.
- 17) 関根 鉄朗: 明日から出来る 4D Flow MRI 解析 (依頼講演, ランチョン, 25 分). 72nd Annual Scientific meeting of the Japanese Association for Thoracic Surgery., 2019. 11.

- 18) 白井 清香, 安井 大祐, 上田 達夫, 杉原 史恵, 齊藤 英正, 葉山 惟信, 川本 智章, 汲田 伸一郎 : 無漿膜野の肝細胞癌に対してマイクロバルーンによる血流改変下に肝動脈化学塞栓術を行った一例. 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌, 2019. 5.
- 19) 上田達夫 : 第二回 Gore® Viabahn®血管損傷治療セッション、ランディングとリークの有無について. 第 48 回日本 IVR 学会総会, 2019. 5.
- 20) 小谷 映午, 上田 達夫, 杉原 史恵, 安井 大祐, 齋藤 英正, 田中 泉, 白井 清香, 汲田 伸一郎 : 腹部大動脈瘤に対するステントグラフト術前の予防的大動脈分枝塞栓術の有用性に関する検討. 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌, 2019. 5.
- 21) 関根 鉄朗 : 造影 4D Flow MRI と PET/MR における research topic と臨床応用-University Hospital Zurich との共同研究を中心に- (60 分、依頼講演). 第 39 回 Radiology Forum. 甲府 2019.8., 2019. 8.
- 22) 白井 清香, 上田 達夫, 杉原 史恵, 安井 大祐, 齊藤 英正, 金 史英, 横田 裕行, 吉田 寛, 汲田 伸一郎 : 門亢症に対する IVR 治療の進歩～難治例・難渋例に対する工夫～ 腸管壊死を伴う超重症門脈血栓症に対して、腸管切除及び開腹下 IVR によるハイブリッド治療により良好な転機を辿った 2 例. 日本門脈圧亢進症学会雑誌, 2019. 9.

13 皮膚粘膜病態学分野

研究業績

論文等

- 1) Yoko Funasaka : Aesthetic Dermatology and Cosmetic Therapy. *Fragrance Journal* 2019; sp22:54-57.
- 2) Naoko Kanda, Fumitaka Okajima : Atopic Dermatitis-Like Rash During Evolocumab Treatment of Familial Hypercholesterolemia. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (3) :187-190. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-309.
- 3) Norito Katoh, Hidehisa Saeki, Yoko Kataoka, Takafumi Etoh, Satoshi Teramukai, Hiroki Takagi, Yuki Tajima, Marius Ardeleanu, Elena Rizova, Kazuhiko Arima : Atopic dermatitis disease registry in Japanese adult patients with moderate to severe atopic dermatitis (ADDRESS-J): Baseline characteristics, treatment history and disease burden. *The Journal of dermatology* 2019; 46 (4) :290-300. doi: 10.1111/1346-8138.14787.
- 4) Yuri Ichikawa, Hajime Nakano, Shinichi Ansai, Toshihiko Hoashi, Hidehisa Saeki, Naoko Kanda : Case of Hailey-Hailey disease with a novel missense/in-frame deletion mutation in ATP2C1 successfully treated with cyclosporine. *The Journal of dermatology* 2019; 46 (12) :e482-e483. doi: 10.1111/1346-8138.15081.
- 5) Naoko Kanda, Mototaka Koto, Toshihiko Hoashi, Hidehisa Saeki : Case of alopecia areata during dupilumab treatment for atopic dermatitis. *The Journal of dermatology* 2019; 46 (9) :e332-e333. doi: 10.1111/1346-8138.14880.
- 6) Sota Kikuchi, Yoshimasa Nobeyama, Hidehisa Saeki, Akihiko Asahina : Characteristics of cutaneous adverse drug reactions caused by triple - combination drug therapy used for *Helicobacter pylori* eradication. *The Journal of Dermatology* 2020; 47 (3) :277-282. doi: 10.1111/1346-8138.15208.
- 7) Yasuhiro Fujisawa, Shusuke Yoshikawa, Akane Minagawa, Tatsuya Takenouchi, Kenji Yokota, Hiroshi Uchi, Naoki Noma, Yasuhiro Nakamura, Jun Asai, Junji Kato, Susumu Fujiwara, Satoshi Fukushima, Jiro Uehara, Toshihiko Hoashi, Tatsuya Kaji, Taku Fujimura, Kenjiro Namikawa, Manabu Yoshioka, Naoki Murata, Dai Ogata, Kanako Matsuyama, Naohito Hatta, Yoshitsugu Shibayama, Toshiharu Fujiyama, Masashi Ishikawa, Daisuke Yamada, Akiko Kishi, Yoshiyuki Nakamura, Takatoshi Shimauchi, Kazuyasu Fujii, Manabu Fujimoto, Hironobu Ihn, Norito Katoh : Classification of 3097 patients from the Japanese melanoma study database using the American joint committee on cancer eighth edition cancer staging system. *Journal of dermatological science* 2019; 94(2):284-289. doi: 10.1016/j.jdermsci.2019.04.003.
- 8) Yasuhiro Fujisawa, Shusuke Yoshikawa, Akane Minagawa, Tatsuya Takenouchi, Kenji Yokota, Hiroshi Uchi, Naoki Noma, Yasuhiro Nakamura, Jun Asai, Junji Kato, Susumu Fujiwara, Satoshi Fukushima, Jiro Uehara, Toshihiko Hoashi, Tatsuya Kaji, Taku Fujimura, Kenjiro Namikawa, Manabu Yoshioka, Naoki Murao, Dai Ogata, Kanako Matsuyama, Naohito Hatta, Yoshitsugu Shibayama, Toshiharu Fujiyama, Masashi Ishikawa, Daisuke Yamada, Akiko Kishi, Yoshiyuki Nakamura, Takatoshi Shimauchi, Kazuyasu Fujii, Manabu Fujimoto, Hironobu Ihn, Norito Katoh : Clinical and histopathological characteristics and survival analysis of 4594 Japanese patients with melanoma. *Cancer medicine* 2019; 8 (5) :2146-2156. doi: 10.1002/cam4.2110.
- 9) Norito Katoh, Yukihiko Ohya, Masanori Ikeda, Tamotsu Ebihara, Ichiro Katayama, Hidehisa Saeki, Naoki Shimojo, Akio Tanaka, Takeshi Nakahara, Mizuho Nagao, Michihiro Hide, Yuji Fujita, Takao Fujisawa, Masaki Futamura, Koji Masuda, Hiroyuki Murota, Kiwako Yamamoto-Hanada : Clinical practice guidelines for the management of atopic dermatitis 2018. *The Journal of dermatology* 2019; 46 (12) :1053-1101. doi: 10.1111/1346-8138.15090.
- 10) Yamashita H, Morita T, Ito M, Okazaki S, Koto M, Ichikawa Y, Takayama R, Hoashi T, Saeki H, Kanda N : Dietary habits in Japanese patients with psoriasis and psoriatic arthritis: Low intake of meat in psoriasis and high intake of vitamin A in psoriatic arthritis. *The Journal of dermatology* 2019; 46 (9) :759-769. doi: 10.1111/1346-8138.15032.
- 11) Ito M, Morita T, Okazaki S, Koto M, Ichikawa Y, Takayama R, Hoashi T, Saeki H, Kanda N : Dietary habits in adult Japanese patients with atopic dermatitis. *The Journal of dermatology* 2019; 46 (6) :515-521. doi: 10.1111/1346-8138.14881.

- 12) Yamaguchi H, Funasaka Y, Saeki H : Effect of frequency doubled Q-switched Nd:YAG laser on hairless mice harboring eumelanin and pheomelanin in the epidermis. *J Nippon Med Sch* 2019; 86 (1) :27-31.
- 13) Saeki H, Kawashima M, Sugaya S, Oshiden K, Tsubouchi H : Efficacy and safety of OPA-15406, a new phosphodiesterase 4 inhibitor, in Japanese patients with atopic dermatitis for 8 weeks: a phase 2, randomized, double-blind, placebo-controlled study. *J Dermatol* 2019; 46 (8) :672-679.
- 14) Toshie Nako, Hitomi Fukumoto, Hideki Hasegawa, Hidehisa Saeki, Harutaka Katano : Functional Analysis of Trichodysplasia Spinulosa-Associated Polyomavirus-Encoded Large T Antigen. *Japanese journal of infectious diseases* 2020; 73 (2) :132-139. doi: 10.7883/yoken.JJID.2019.391.
- 15) 岡部 杏慈, 東 直行, 齋藤 恒徳, 草間 芳樹, 佐伯 秀久 : HLA-DR4 陽性であった巨細胞性動脈炎の 1 例. *臨床皮膚科* 2020; 74(2):127-131.
- 16) Ito K, Ansai S, Saeki H : Immunohistochemical study of non-epithelial cells in spiradenoma. *J Nippon Med Sch* 2019; 86 (1) :15-21. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-3.
- 17) Saeki H, Terui T, Morita A, Sano S, Imafuku S, Asahina A, Komine M, Etoh T, Igarashi A, Torii H, Abe M, Nakagawa H, Watanabe A, Yotsuyanagi H, Ohtsuki M, Biologics Review, Committee of, the, Japanese Dermatological Association for, Psoriasis: Chair, Mamitaro Ohtsuki : Japanese guidance for use of biologics for psoriasis (the 2019 version). *The Journal of dermatology* 2020; 47 (3) :201-222. doi: 10.1111/1346-8138.15196.
- 18) Naoko Kanda, Nanami Nakadaira, Yohei Otsuka, Norito Ishii, Toshihiko Hoashi, Hidehisa Saeki : Linear IgA bullous dermatosis associated with ulcerative colitis: A case report and literature review. *The Australasian journal of dermatology* 2020; 61 (1) :e82-e86. doi: 10.1111/ajd.13121.
- 19) Umezawa Y, Itakura H, Morisaki Y, Elmaraghy H, Nakajo K, Saeki H : Long-term efficacy and safety results from an open-label phase 3 study (UNCOVER-J) in Japanese plaque psoriasis patients: impact of treatment withdrawal and retreatment of ixekizumab. *J Eur Acad Dermatol Venereol* 2019; 33 (3) :568-576.
- 20) Yayoi Tomura, Mai Noto, Norito Ishii, Takashi Hashimoto, Motomu Manabe, Shin - Ichi Osada : Nodular formation in anti - laminin γ 1 pemphigoid. *The Journal of Dermatology* 2020 doi: 10.1111/1346-8138.15227.
- 21) 伊東 慶悟 : Pigmented epithelioid melanocytoma(PEM)とは? WHO 分類に記載された新概念. *日本医科大学医学会雑誌* 2020; 16 (1) :18-24.
- 22) Shin-Ichi Osada, Yusuke Fujiwara, Naoyuki Higashi, Kazutaka Nakayama, Masaru Hosone, Koiti Inokuchi, Hidehisa Saeki : Primary cutaneous diffuse large B - cell lymphoma, leg type, localized in the right periorbital region. *The Journal of Dermatology* 2019; 46 (4) :e130-e131. doi: 10.1111/1346-8138.14657.
- 23) 井上 由貴, 池田 真帆, 琴 基天, 岡崎 静, 神田 奈緒子, 伊東 慶悟, 安齋 眞一, 佐伯 秀久 : Pseudolymphoma 様の細胞浸潤を伴う Lupus erythematosus tumidus の 1 例. *日本皮膚科学会雑誌* 2020; 130 (3) :393.
- 24) Ichiyama S, Hoashi T, Kanda N, Hashimoto H, Matsushita M, Nozawa K, Ueno T, Saeki H : Psoriasis vulgaris associated with systemic lupus erythematosus successfully treated with apremilast. *J. Dermatol.* 2019; 46:e219-e221.
- 25) Susumu Ichiyama, Toshihiko Hoashi, Naoko Kanda, Hiroshi Hashimoto, Masakazu Matsushita, Kazuhisa Nozawa, Takashi Ueno, Hidehisa Saeki : Psoriasis vulgaris associated with systemic lupus erythematosus successfully treated with apremilast. *The Journal of dermatology* 2019; 46 (6) :e219-e221-e221. doi: 10.1111/1346-8138.14728.
- 26) Ozaki S, Higo S, Iwata K, Saeki H, Ozawa H : Region-specific changes in brain kisspeptin receptor expression during estrogen depletion and the estrous cycle. *Histochem Cell Biol* 2019; 152 (1) :25-34. doi: 10.1007/s00418-018-01767-z.
- 27) Yamaguchi Hanao, Funasaka Yoko, Saeki Hidehisa : The Effect of a Frequency-Doubled Q-Switched Nd:YAG Laser on Hairless Mice Harboring Eumelanin and Pheomelanin in the Epidermis. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (1) :27-31. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-5.
- 28) Naoko Kanda, Toshihiko Hoashi, Hidehisa Saeki : The Roles of Sex Hormones in the Course of Atopic Dermatitis. *International journal of molecular sciences* 2019; 20 (19) doi: 10.3390/ijms20194660.

- 29) Kanda N, Hoashi T, Saeki H : The roles of sex hormones in the course of atopic dermatitis. *Int J Mol Sci* 2019; 20 (19) :4660.
- 30) Mikami E, Kudo M, Ohashi R, Kawahara K, Kawamoto Y, Teduka K, Fujii T, Kitamura T, Kure S, Ishino K, Sakatani T, Wada R, Saeki H, Naito Z : Toll-like receptor 4 mediates the suppressive effect on the tumor behavior in cutaneous squamous cell carcinoma. *Int J Oncol* 2019; 54 (6) :2179-2188. doi: 10.3892/ijo.2019.4790.
- 31) Ichiyama S, Komatsu T, Hoashi T, Kanda N, Nagai K, Yamada Y, Ansai SI, Saeki H : Treatment with apremilast was beneficial for chronic graft-versus-host disease skin lesion in a patient with psoriasis. *J. Dermatol.* 2019; 46:e218-e219.
- 32) Susumu Ichiyama, Tomomi Komatsu, Toshihiko Hoashi, Naoko Kanda, Kojiro Nagai, Yuta Yamada, Shin-Ichi Ansai, Hidehisa Saeki : Treatment with apremilast was beneficial for chronic graft-versus-host disease skin lesion in a patient with psoriasis. *The Journal of dermatology* 2019; 46 (6) :e218-e219-e219. doi: 10.1111/1346-8138.14766.
- 33) 奈古 利恵, 福本 瞳, 片岡 紀代, 長谷川 秀樹, 片野 晴隆, 李 天成, 松永 智子, 梁 明秀, 佐伯 秀久 : Trichodysplasia-spinulosa associated polyomavirus の試験管内複製実験系の確立. *日本皮膚科学会雑誌* 2020; 130 (3) :407.
- 34) 石原 優里, 帆足 俊彦, 魚住 知美, 五十嵐 由美, 片岡 佳憧, 市山 進, 田中 真百合, 安齋 眞一, 船坂 陽子, 佐伯 秀久 : pinwheel 皮弁を用いた頭部基底細胞癌切除術・再建術の一例. *日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会プログラム・抄録集* 2019; 35 回:130.
- 35) 伊東 慶悟 : 【スキルアップ!ダーモスコピー】(Part1.)表皮の同じ構造を比べてみよう(パターン 1) 「色素ネットワーク」がみられる疾患(case2) 色素細胞母斑. *Visual Dermatology* 2019; 18 (6) :560-562.
- 36) 船坂 陽子 : 【外用療法の理論と実際】(Part2)外用療法の実際 美容皮膚科における外用療法. *Visual Dermatology* 2019; 18 (5) :498-501.
- 37) 鈴木 香緒里, 帆足 俊彦, 吉田 舞, 中平 奈那美, 浅原 麻里子, 江崎 英子, 田中 真百合, 市山 進, 山瀬 綾, 伊藤 路子, 安齋 眞一, 船坂 陽子, 中島 創一郎, 坂寄 健, 大久保 善朗, 栗林 茂彦, 前林 勝也, 佐伯 秀久 : 【悪性上皮系腫瘍】統合失調症を伴った Stage IV 外陰部乳房外 Paget 病の 1 例. *皮膚科の臨床* 2019; 61 (10) :1487-1491.
- 38) 山口 貴子, 福地 修, 伊東 慶悟, 延山 嘉眞, 朝比奈 昭彦 : 【悪性上皮系腫瘍】背部巨大基底細胞癌に連続してケロイド様結節を認めた 1 例. *皮膚科の臨床* 2019; 61 (10) :1471-1474.
- 39) 山崎 香里, 帆足 俊彦, 市山 進, 田中 真百合, 伊澤 有香, 船坂 陽子, 佐伯 秀久 : 【水疱症・膿疱症】肺塞栓症をきたした類天疱瘡の 1 例. *皮膚科の臨床* 2020; 62 (2) :134-138.
- 40) 市山 進, 山下 裕子, 佐伯 秀久 : 【皮疹から疾患を考える】急激に進んだ皮膚疾患のメカニズムの解明と治療 尋常性乾癬 乾癬の病態に関する最新の知見. *内科* 2020; 125 (3) :443-446.
- 41) 帆足 俊彦, 多田 弥生, 菅谷 誠, 矢野 正一郎 : 【皮疹から疾患を考える】皮膚科医から内科医にお伝えしたいこと. *内科* 2020; 125 (3) :455-464.
- 42) 船坂 陽子 : 【目もと】くすみ・クマのメカニズム. *Bella Pelle* 2019; 4 (4) :244-248.
- 43) 朝山 美佳, 岡崎 静, 森田 孝, 丸山 佳織, 吉田 祐士, 佐伯 秀久, 神田 奈緒子 : 【肉芽腫症】B 型肝炎ウイルスキャリアに生じたサルコイドーシスの 1 例. *皮膚科の臨床* 2019; 61 (11) :1615-1619.
- 44) 新田 悠介, 能登 舞, 石河 軌久, 長田 真一, 眞鍋 求, 河野 通浩 : 【見逃してはいけない薬疹】肝機能障害が遅延したラモトリギンによる中毒性表皮壊死症. *皮膚病診療* 2020; 42 (2) :144-147.
- 45) 江崎 英子, 帆足 俊彦, 山崎 香里, 市山 進, 田中 真百合, 伊澤 有香, 船坂 陽子, 安齋 眞一, 佐伯 秀久 : 【間葉系腫瘍】前腕に生じた筋周皮腫の 1 例. *皮膚科の臨床* 2019; 61 (8) :1219-1222.
- 46) 瀧浪 紗也子, 重野 和彦, 村橋 整, 住永 莉華子, 利根川 守, 伊東 慶悟, 江藤 隆史 : 【間葉系腫瘍】背部に発生した Spindle Cell Lipoma の 1 例. *皮膚科の臨床* 2019; 61 (8) :1207-1210.
- 47) 旗野 翠, 安原 美帆, 高山 良子, 小畑 裕之, 茂呂 修, 佐伯 秀久, 船坂 陽子, 畑 三恵子 : アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎患者を対象とした固形石鹸の使用試験. *日本化粧品学会誌* 2020; 44 (1) :6-12.
- 48) 加藤 則人, 佐伯 秀久, 片岡 葉子, 江藤 隆史, 手良向 聡, 田嶋 雄樹, 藤田 浩之, Ardelanu M, Rizova E, 有馬 和彦 : アトピー性皮膚炎患者の長期前向き疾患観察研究 各種重症度評価指標間の相関を探る. *日本皮膚科学会雑誌* 2019; 129 (5) :1175.
- 49) 片岡 葉子, 加藤 則人, 佐伯 秀久, 江藤 隆史, 手良向 聡, 高木 弘毅, 藤田 浩之, Ardelanu M, Rizova E, 有馬 和彦 : アトピー性皮膚炎患者の長期前向き疾患観察研究 治療反応に影響する因子解析. *日本皮膚科学会雑誌* 2019; 129 (5) :1175.
- 50) 旗野 翠, 安原 美帆, 高山 良子, 小畑 裕之, 茂呂 修, 佐伯 秀久, 船坂 陽子, 畑 三恵子 : アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎患者を

- 対象とした固形石鹸の使用試験. 日本化粧品学会誌 2020; 44 (1) :6-12. doi: 10.11469/koshohin.44.6.
- 51) 魚住 知美, 帆足 俊彦, 高山 良子, 石原 優里, 五十嵐 由美, 田中 真百合, 船坂 陽子, 佐伯 秀久, 武内 進, 清家 正博, 弦間 昭彦, 安齋 眞一: アファチニブによる両下腿潰瘍の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2019; 129 (9) :1925.
- 52) 船坂 陽子: ケミカルピーリングの注意点 2019年時点で注意すべき事を中心に. *Aesthetic Dermatology* 2020; 30 (1) :1-7.
- 53) 船坂 陽子: シミ:老人性色素斑・肝斑・光老化に対するレーザー治療—特集 レーザー治療の実践: エキスパートにコツを学ぶ. *美容皮膚医学 beauty* 2019; 2 (12) :29-37.
- 54) 池田 真帆, 藤本 和久, 伊澤 有香, 江崎 英子, 市山 進, 片岡 佳憧, 山口 華央, 帆足 俊彦, 佐伯 秀久, 藤沢 篤夫: トリアムシノロンアセトニド注射液によるアナフィラキシーショックの1例. 日本皮膚科学会雑誌 2019; 129 (4) :586.
- 55) 鈴木 香緒里, 木下 侑里, 濱田 理沙, 萩野 哲平, 新井 悠江, 白川 典子, 荻田 あづさ, 安齋 眞一: ヒドロキシクロロキンが頭部脱毛に奏功した円板状紅斑性狼瘡の2例. 日本皮膚科学会雑誌 2020; 130 (1) :64.
- 56) 石原 優里, 白川 典子, 山田 麻以, 鈴木 香緒理, 新井 悠江, 松田 秀則, 荻田 あづさ, 伊東 慶悟, 安齋 眞一, 佐伯 秀久: ビダラビン脳症と考えられた1例. 日本皮膚科学会雑誌 2020; 130 (1) :63.
- 57) 藤本 和久, 池田 真帆, 魚住 知美, 片岡 佳憧, 五十嵐 由美, 石原 優里, 田中 真百合, 帆足 俊彦, 佐伯 秀久, 横山 智穂, 斉藤 聡志, 大見 良裕: リドカイン塩酸塩ゼリーに含まれるカルボキシメチルセルロース(カルメロース)によるアナフィラキシーの2例. 日本皮膚免疫アレルギー学会雑誌 2019; 3 (1) :226.
- 58) 佐伯 秀久, 加藤 則人, 片岡 葉子, 江藤 隆史, 手良向 聡, 高木 弘毅, 藤田 浩之, Ardelanu M, Rizova E, 有馬 和彦: 中等〜重症アトピー性皮膚炎成人患者の長期前向き疾患観察研究 1年中間解析. 日本皮膚科学会雑誌 2019; 129 (5) :1174-1175.
- 59) 岩間 理沙, 池田 英里, 貞安 杏奈, 梅垣 知子, 石崎 純子, 田中 勝, 伊東 慶悟, 安齋 眞一: 乳癌全切除および放射線治療後の瘢痕に生じた皮膚石灰沈着症の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2020; 130 (2) :244.
- 60) 足立 剛也, 貝沼 圭吾, 浅野 浩一郎, 天谷 雅行, 新井 洋由, 石井 健, 伊藤 浩明, 内尾 英一, 海老澤 元宏, 岡野 光博, 梶島 健治, 近藤 健二, 今野 哲, 佐伯 秀久, 園部 まり子, 長尾 みづほ, 檜澤 伸之, 福島 敦樹, 藤枝 重治, 松本 健治, 森田 英明, 山本 一彦, 吉本 明美, 玉利 真由美: 免疫アレルギー疾患研究 10 年戦略 2030 「見える化」による安心社会の醸成. *アレルギー* 2020; 69 (1) :23-33.
- 61) 高澤 摩耶, 梅本 尚可, 山田 朋子, 川瀬 正昭, 出光 俊郎, 辻仲 眞康, 田中 亨, 伊東 慶悟: 初診時悪性黒色腫も考えた、黒色調の肛門管癌続発性バジェット病の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2020; 130 (3) :403.
- 62) 江崎英子, 帆足俊彦, 山崎香里, 市山 進, 田中真百合, 伊澤有香, 船坂陽子, 安齋眞一, 佐伯秀久: 前腕に生じた筋周皮腫の1例. *皮膚科の臨床* 2019; 61 (8) :1219-1222.
- 63) 船坂 陽子: 化粧品,医薬部外品による美白—特集 統合医療における美容医療: サプリ・漢方・化粧品・プラセンタ・美容鍼・ドラッグデリバリー. *美容皮膚医学 beauty* 2020; 3 (2) :69-78.
- 64) 市川 有里, 岡部 杏慈, 森田 孝, 神田 奈緒子, 吉野 綾穂, 加来 知恵美, 石井 文人, 古賀 浩嗣, 亦野 蓉子, 佐伯 秀久: 咽頭・喉頭・口腔内にびらんが多発した抗 BP180 型粘膜炎天疱瘡の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2020; 130 (1) :85.
- 65) 江崎英子, 帆足俊彦, 浅原麻里子, 岡部杏慈, 市山進, 船坂陽子, 佐伯秀久: 壊死性筋膜炎に生じたコンパートメント症候群の1例. *皮膚科の臨床* 2019; 6 (12) :1909-1912.
- 66) 森田 孝, 市川 有里, 琴 基天, 岡崎 静, 神田 奈緒子, 佐伯 秀久: 妊娠中に生じた Sweet 病の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2019; 129 (6) :1350.
- 67) 長田 眞一: 新・皮膚科セミナーium 発癌の仕組み 有棘細胞癌の発癌の仕組み. 日本皮膚科学会雑誌 2019; 129 (11) :2313-2319.
- 68) 大槻 マミ太郎, 佐伯 秀久, 照井 正, 森田 明理, 佐野 栄紀, 今福 信一, 朝比奈 昭彦, 小宮根 真弓, 江藤 隆史, 鳥居 秀嗣, 安部 正敏, 中川 秀己, 渡辺 彰, 四柳 宏, 日本皮膚科学会乾癬生物学的製剤検討委員会: 日本皮膚科学会マニュアル 乾癬における生物学的製剤の使用ガイドライン(2019年版). 日本皮膚科学会雑誌 2019; 129 (9) :1845-1907.
- 69) 伊東 慶悟: 母斑と母斑症. 日本皮膚科学会雑誌 2019; 129 (5) :1059.
- 70) 石原 優里, 帆足 俊彦, 魚住 知美, 五十嵐 由美, 田中 真百合, 安齋 眞一, 船坂 陽子, 佐伯 秀久: 水疱性類天疱瘡(BP)を発症した筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2020; 130 (3) :410-411.
- 71) 堀江 咲織, 能登 舞, 長田 眞一, 河野 通浩: 水疱様外観を呈した巨大毛母腫の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2020; 130 (3) :402.

- 72) 五十嵐 由美, 佐伯 秀久, 松田 秀則, 荻田 あづさ, 安齋 眞一: 汗管分化と脂腺分化を伴った基底細胞癌の 1 例. 日本皮膚科学会雑誌 2019; 129 (4) :584.
- 73) 宮崎 駿, 帆足 俊彦, 田中 真百合, 岩井 麻里子, 水野 真希, 山崎 香里, 山田 麻以, 井瀨 善聖, 船坂 陽子, 佐伯 秀久, 安齋 眞一: 炎症を繰り返す右耳耳瘻孔の 1 例. 日本皮膚科学会雑誌 2020; 130 (2) :242.
- 74) 廣瀬 京, 貞安 杏奈, 渡邊 莊子, 石崎 純子, 田中 勝, 中村 さくらこ, 安田 菜穂子, 伊東 慶悟, 安齋 眞一, 塩田 剛彰: 環状紅斑から診断した Sjoegren 症候群の小児例. 日本皮膚科学会雑誌 2019; 129 (4) :598.
- 75) 松本 崇直, 川瀬 正昭, 出光 俊郎, 伊東 慶悟: 病理組織像で非典型的肉芽腫性病変を呈した頭部皮内腫瘍の 1 例. 日本皮膚病理組織学会抄録集 2019; 35 回:51,32.
- 76) 菅谷 誠, 中村 泰大, 安齋 眞一, 吉野 公二, 帆足 俊彦, 藤澤 康弘, 大塚 幹夫, 古賀 弘志: 皮膚悪性腫瘍診療ガイドライン改訂作業の進捗状況. 日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会プログラム・抄録集 2019; 35 回:109.
- 77) 伊東 慶悟: 皮膚炎症性疾患のトピックス: 日常診断の際、知っておきたい最新の病態と治療 乾癬の最新知見と病理像. 日本病理学会誌 2020; 109 (1) :221.
- 78) 伊東 慶悟: 皮膚病理医が語る母斑・母斑症. 日本皮膚科学会雑誌 2019; 129 (5) :1087.
- 79) 山崎 香里, 帆足 俊彦, 市山 進, 田中 真百合, 伊澤 有香, 船坂 陽子, 佐伯 秀久: 眼窩横膜切開を行った眼窩蜂窩織炎の 1 例. 日本皮膚科学会雑誌 2020; 130 (1) :49.
- 80) 魚住 知美, 帆足 俊彦, 浅原 麻里子, 江崎 英子, 山瀬 綾, 船坂 陽子, 佐伯 秀久: 硝酸による右拇指化学熱傷の 1 例. 皮膚科の臨床 2019; 61 (9) :1383-1386. doi: 10.18888/hi.0000001541.
- 81) 鈴木香緒里, 帆足俊彦, 吉田 舞, 中平奈那美, 浅原麻里子, 江崎英子, 田中真百合, 市山 進, 山瀬 綾, 伊藤路子, 安齋眞一, 船坂陽子, 中島創一郎, 坂寄 健, 大久保善朗, 栗林茂彦, 前林勝也, 佐伯秀久: 統合失調症を伴った Stage IV 外陰部乳房外 Paget 病の 1 例. 皮膚科の臨床 2019; 61 (10) :1487-1491.
- 82) 林 和紀子, 能登 舞, 佐藤 有里子, 水澤 雄太, 豊島 あや, 円山 尚子, 赤間 智範, 山田 勝裕, 加藤 真紀, 眞鍋 求, 長田 真一: 耳垂に生じた Merkel 細胞癌の 1 例. 皮膚科の臨床 2020; 62 (1) :96-99.
- 83) 山崎香里, 帆足俊彦, 市山進, 田中真百合, 伊澤有香, 船坂陽子, 佐伯秀久: 肺塞栓症をきたした類天疱瘡の 1 例. 皮膚科の臨床 2020; 62 (2) :134-138. doi: 10.18888/hi.0000001788.
- 84) 加茂 沢子, 帆足 俊彦, 萩野 哲平, 山崎 香里, 市山 進, 尾崎 紗恵子, 高山 良子, 船坂 陽子, 佐伯 秀久, 遠藤 勇気, 近藤 幸尋: 腎盂癌・膀胱癌に対し Pembrolizumab を導入し、落葉状天疱瘡が悪化した 1 例. 日本皮膚科学会雑誌 2020; 130 (1) :58.
- 85) 江崎 英子, 帆足 俊彦, 萩野 哲平, 池田 真帆, 鈴木 香緒里, 片岡 佳憧, 市山 進, 船坂 陽子, 佐伯 秀久: 臨床上鑑別が困難であった前胸部の皮下嚢腫の 2 例. 日本皮膚科学会雑誌 2019; 129 (5) :1209.
- 86) 伊東 慶悟: 色素細胞腫瘍. 日本皮膚科学会雑誌 2019; 129 (5) :1106.
- 87) 琴 基天, 岡崎 静, 幸野 健, 神田 奈緒子, 安齋 眞一, 佐伯 秀久: 薬剤誘発性が疑われた表在播種型汗孔角化症の 1 例. 西日本皮膚科 2019; 81 (3) :265.
- 88) 神田 奈緒子, 岡島 史宜: 薬物アレルギー-1 抗 proprotein convertase subtilisin/kexin type 9 抗体エボロクマブ投与中に生じたアトピー性皮膚炎様皮疹. アレルギー 2019; 68 (4-5) :504.
- 89) 藤本和久: 金属アレルギー. 日本医事新報 2019; 4976:46.
- 90) 瀧浪 紗也子, 重野 和彦, 江藤 隆史, 利根川 守, 伊東 慶悟: 長期にわたり胸部に限局して出現している Primary cutaneous anaplastic large cell lymphoma(ALCL)の 1 例. 日本皮膚科学会雑誌 2019; 129 (4) :590.
- 91) 上條 夏実, 三井 亜希子, 船越 俊貴, 荒川 裕輔, 平間 章郎, 酒井 行直, 山崎 香里, 佐伯 秀久, 鶴岡 秀一: 顕微鏡的多発血管炎による慢性腎臓病の経過中に急性腎障害を発症し急性血液浄化療法を要した 1 例. 日本透析医学会雑誌 2019; 52 (Suppl.1) :785.
- 92) 小原 明希, 青笹 尚彦, 向川 早紀, 角田 麻衣子, 播摩 瑤子, 野々垣 彰, 沖永 昌悟, 玉木 毅, 伊東 慶悟, 安齋 眞一: 鼠径部の有茎性基底細胞癌の 1 例. 日本皮膚科学会雑誌 2020; 130 (1) :53.
- 93) 阿部 佳奈美, 川瀬 正昭, 竹下 雅子, 出光 俊郎, 伊東 慶悟: 鼻尖部の黒褐色と赤黒色が混合した色素斑の 1 例. 日本皮膚病理組織学会抄録集 2019; 35 回:49,26.

著書

- 1) 船坂 陽子：〔分担執筆〕老人性色素斑・肝斑. 1361 専門家による私の治療. 2019; pp.146-147, 日本医事新報社.
- 2) 船坂 陽子：〔分担執筆〕美白剤. 宮地良樹, 葛西健一郎編：エビデンスに基づく美容皮膚科治療. 2019; pp.172-179, 中山書店.
- 3) 藤本和久：〔分担執筆〕ラテックスアレルギー. 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 監修：今日の治療指針 2020 年版 (Vol.62) ; pp.854-855, 2020, 医学書院.
- 4) 船坂 陽子：〔共著〕女性ホルモンや女性ホルモン製剤が皮膚に与える影響と皮膚病変. 産婦人科臨床 6 女性ヘルスケア. 2019; pp.247-253, 中山書店.
- 5) 神田 奈緒子：〔分担執筆〕深在性エリテマトーデス. 皮膚疾患最新の治療 2019-2020. 2019, 南江堂.
- 6) 船坂 陽子：〔分担執筆〕ムダ毛処理の正しい方法. 美容皮膚医学 BEAUTY 9. 2019; pp.50-57, 医学出版.
- 7) 船坂 陽子：〔分担執筆〕グリコール酸ピーリング 主要薬剤別の手技および注意点 ケミカルピーリングのコツ. 美容皮膚医学 BEAUTY 2. 2019; pp.15-21, 医学出版.

学会発表

- 1) ICHIYAMA Susumu : A reddish-brown nodule that required differentiation from malignant neoplasms. The 18th Annual meeting of Korean Society for Dermatopathology: Tumors of the Skin appendages., 2019. 5.
- 2) 横田将大, 成瀬貴文, 船坂陽子, 佐伯秀久 : Intense Pulsed Light の UVB 照射による DNA 損傷及びアポトーシス誘導における作用の解析. 日本医科大学医学会総会 (第 87 回) . (東京) , 2019. 9.
- 3) 石原優里, 帆足俊彦, 魚住知美, 五十嵐由美, 片岡佳憧, 市山 進, 田中真百合, 安齋眞一, 船坂陽子, 佐伯秀久 : pinwheel 皮弁を用いた頭部基底細胞癌切除術・再建術の 1 例. 日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 (第 35 回) . (神戸) , 2019. 5.
- 4) 船坂陽子 : いつまでも若々しい皮膚を保つために知っておきたい事 ! . 公益社団法人日本女医会 長寿社会福祉委員会主催 市民公開講座. (東京) , 2020. 2.
- 5) 魚住知美, 帆足俊彦, 高山良子, 石原優里, 五十嵐由美, 田中真百合, 竹内 進, 清家正博, 弦間昭彦, 安齋眞一, 船坂陽子, 佐伯秀久 : アファチニブによる両下腿浮腫の 1 例. 日本皮膚科学会東京地方会 (第 884 回) . (東京) , 2019. 5.
- 6) 船坂 陽子 : アンチエイジング 教育講演. 日本美容皮膚科学会総会学術大会 (第 37 回) . (熊本) , 2019. 7.
- 7) 神田奈緒子, 岡島 史宜 : エポロクマブ投与中に生じたアトピー性皮膚炎様皮疹. 第 68 回日本アレルギー学会学術大会, 2019. 6.
- 8) 船坂 陽子 : ケミカルピーリングの注意点 教育講演. 日本皮膚科学会総会 (第 118 回) . (名古屋) , 2019. 6.
- 9) 船坂 陽子 : シミ治療 update. 日本美容皮膚科学会総会学術大会 (第 37 回) . (熊本) , 2019. 7.
- 10) 岡部杏慈, 東 直行, 佐伯秀久 : テガフル・ウラシル配合薬(UFT)による DLE 型薬疹と爪の色素沈着をきたした 1 例. 第 118 回日本皮膚科学会総会, 2019. 6.
- 11) 神田奈緒子, 琴 基天, 帆足俊彦, 佐伯秀久 : デュピルマブによるアトピー性皮膚炎の治療中に円形脱毛症を生じた症例. 第 118 回日本皮膚科学会総会, 2019. 5.
- 12) 山崎香里, 帆足俊彦, 井上由貴, 井瀧善聖, 大瀧 薫, 山田麻衣, 岩井麻里子, 水野真希, 田中真百合, 船坂陽子, 佐伯秀久, 船坂 陽子 : ヒトアジュバント病の 1 例. 日本皮膚科学会東京地方会 (第 888 回) , 2020. 1.
- 13) 高山良子, 船坂陽子, 佐伯秀久 : 下眼瞼のパンダ様太田母斑と左頬部の対称性真皮メラノサイトーシスを合併した真皮メラノサイトーシスの 1 例. 日本美容皮膚科学会総会学術大会 (第 37 回) . (熊本) , 2019. 7.
- 14) 山口華央, 船坂陽子, 山下裕子, 佐伯秀久 : 両側上下眼瞼に局限して色素斑を認めた太田母斑の 1 例. 日本皮膚科学会総会 (第 118 回) . (名古屋) , 2019. 6.
- 15) 船坂 陽子 : 光老化研究の展望～可視光線・近赤外線的作用について～. 日本光医学・光生物学会 (第 41 回) . (富山) , 2019. 7.
- 16) 田中真百合, 帆足俊彦, 伊藤路子, 西松寛明, 徳永まゆ子, 安齋眞一, 清水 章, 船坂陽子, 佐伯秀久 : 前立腺癌に合併した好酸球性筋膜炎の 1 例. 日本皮膚科学会総会 (第 118 回) . (名古屋) , 2019. 6.
- 17) 渡邊幸夫, 伊藤久夫, 東 直行, 山田幸子, 牧野 亮, 毒島圭一朗, 澤田忠信 : 加水分解セリシン成分含有石けんの in vivo 皮膚残留性に関する経皮研究. 第 66 回日本シルク学会研究発表会, 2019. 11.
- 18) 船坂陽子 : 化粧品医療の皮膚科学的意義 記念講演. 日本化粧品医療学会学術総会 (第 1 回) , 2020. 2.

- 19) 市山 進：尋常性乾癬と全身性エリテマトーデスが併存し、アブレミラストが奏功した1例. 第34回日本乾癬学会, 2019. 8.
- 20) 五十嵐由美, 東 直行, 佐伯秀久：成人の鶏卵アレルギーの1例. 第49回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会, 2019. 11.
- 21) 石原優里, 帆足俊彦, 魚住知美, 五十嵐由美, 田中真百合, 安齋眞一, 船坂陽子, 佐伯秀久：水疱性類天疱瘡(BP)を発症した筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者の1例. 日本皮膚科学会東部支部合同学術学会(第83回). (東京), 2019. 11.
- 22) 濱田里沙, 帆足俊彦, 加茂沢子, 石原優里, 魚住知美, 岩井麻里子, 尾崎紗恵子, 江崎英子, 安齋眞一, 船坂陽子, 佐伯秀久：浅側頭動脈に生じた結節の1例. 日本皮膚科学会東京地方会(第889回), 2020. 2.
- 23) 宮崎 駿, 帆足俊彦, 田中真百合, 岩井麻里子, 水野真希, 山崎香里, 山田麻以, 井瀧善聖, 安齋眞一, 船坂陽子, 佐伯秀久：炎症を繰り返す右耳耳瘻孔の1例. 日本皮膚科学会東京地方会(第887回). (東京), 2019. 12.
- 24) 渡邊幸夫, 川原貴佳, 東 直行, 田北美紀, 益永章裕：界面活性剤のin vivo皮膚残留性に関する経皮研究. 第118回日本皮膚科学会総会, 2019. 6.
- 25) 船坂 陽子：皮膚科医として知っておくべき疾患. Sendagi Dermatology forum 2019, 2020. 1.
- 26) 山崎香里, 帆足俊彦, 市山 進, 田中真百合, 伊澤有香, 船坂陽子, 佐伯秀久：眼窩横膜切開を行った眼窩蜂窩織炎の1例. 日本皮膚科学会東京地方会合同臨床地方会(第885回). (東京), 2019. 7.
- 27) 船坂 陽子：老人性色素斑のレーザー照射による治療戦略. 日本レーザー医学会総会(第40回). (浜松), 2019. 10.
- 28) 加茂沢子, 帆足俊彦, 萩野哲平, 山崎香里, 市山進, 尾崎紗恵子, 高山良子, 船坂陽子, 遠藤勇氣, 近藤幸尋, 佐伯秀久：腎盂癌・膀胱癌に対しPembrolizumabを導入し、落葉状天疱瘡が憎悪した1例. 日本皮膚科学会東京地方会(第886回). (東京), 2019. 10.
- 29) 江崎英子, 帆足俊彦, 萩野哲平, 池田真帆, 鈴木香緒里, 片岡佳憧, 市山進, 船坂陽子, 佐伯秀久：臨床上識別が困難であった前胸部の皮下嚢腫の2例. 日本皮膚科学会総会(第118回). (名古屋), 2019. 6.
- 30) 魚住知美, 帆足俊彦, 井上由貴, 大瀧 薫, 加茂沢子, 市川有里, 市山 進, 尾崎紗恵子, 江崎英子, 安齋眞一, 川端康浩, 船坂陽子, 佐伯秀久, 船坂 陽子：臨床的に悪性腫瘍を考えた右拇趾爪甲下化膿性肉芽腫の1例. 日本皮膚科学会東京地方会(第888回), 2020. 1.
- 31) 安念節晃, 東 直行, 池田真帆, 安齋眞一, 佐伯秀久：被髪頭部に生じた基底細胞癌の1例. 日本皮膚科学会第886回東京地方会, 2019. 10.
- 32) 五十嵐由美, 高山良子, 魚住知美, 田中真百合, 帆足俊彦, 安齋眞一, 船坂陽子, 佐伯秀久：関節リウマチ患者に生じた非結核性抗酸菌症の1例. 日本皮膚科学会東部支部合同学術大会(第83回). (東京), 2019. 11.
- 33) 山口華央, 船坂陽子, 佐伯秀久：顔面から頸部広範囲に生じた色素沈着症の1例. 日本皮膚科学会東部支部合同学術大会(第83回). (東京), 2019. 11.
- 34) 井上由貴, 帆足俊彦, 江崎英子, 市山 進, 尾崎紗恵子, 市川有里, 大瀧薫, 加茂沢子, 明樂重夫, 青木悠人, 船坂陽子, 佐伯秀久：鼠経管に発生した異所性子宮内膜症の1例. 日本皮膚科学会東京地方会(第888回), 2020. 1.

14 消化器外科学分野

研究業績

論文等

- 1) 松井 隆典, 山田 岳史, 栗山 翔, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 琢磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 上田 康二, 吉田 寛 : 5年間無再発生存を継続しているS状結腸扁平上皮癌の1例. 日本大腸肛門病学会雑誌 2019; 72 (9) :A263.
- 2) Kazuhiko Yoshimatsu, Keiichiro Ishibashi, Keiji Koda, Hajime Yokomizo, Noritaka Oda, Mitsuru Oshiro, Hiroyuki Kato, Masatoshi Oya, Hideo Nakajima, Shinji Ooki, Hiroshi Maekawa, Toshio Matsunami, Masahiro Tsubaki, Takeshi Yamada, Michiya Kobayashi, Kohji Tanakaya, Masaru Yokoyama, Hideyuki Ishida : A Japanese multicenter phase II study of adjuvant chemotherapy with mFOLFOX6/CAPOX for stage III colon cancer treatment after D2/D3 lymphadenectomy. Surgery Today 2019; 49 (6) :498-506. doi: 10.1007/s00595-019-1771-y.
- 3) Yoichiro Yoshida, Takeshi Yamada, Hiroshi Matsuoka, Hiromichi Sonoda, Atsuko Fukazawa, Hiroshi Yoshida, Hideyuki Ishida, Keiji Hirata, Suguru Hasegawa, Kazuhiro Sakamoto, Toshiaki Otsuka, Keiji Koda : A Trial Protocol of Biweekly TAS-102 and Bevacizumab as Third-Line Chemotherapy for Advanced/Recurrent Colorectal Cancer: A Phase II Multicenter Clinical Trial (The TAS-CC4 Study). Journal of the anus, rectum and colon 2019; 3 (3) :136-141. doi: 10.23922/jarc.2018-043.
- 4) Kazuhito Ishii, Masumi Shimizu, Hideki Kogo, Yasuyuki Negishi, Hideto Tamura, Rimpei Morita, Hidemi Takahashi : A combination of check-point blockade and α -galactosylceramide elicits long-lasting suppressive effects on murine hepatoma cell growth in vivo. Immunobiology 2019;151860. doi: 10.1016/j.imbio.2019.10.009.
- 5) Ho Kyoung Hwang, Wada K, Kim HY, Nagakawa Y, Hijikata Y, Kawasaki Y, Nakamura Y, Lee LS, Dong Sup Yoon, Lee WJ, Chang Moo Kang : A nomogram to preoperatively predict 1-year disease-specific survival in resected pancreatic cancer following neoadjuvant chemoradiation therapy. Chinese journal of cancer research = Chung-kuo yen cheng yen chiu 2020 doi: 10.21147/j.issn.1000-9604.2020.01.12.
- 6) Matsuda Akihisa, Sekiguchi Kumiko, Suzuki Hideyuki, Matsutani Takeshi, Yamada Takeshi, Miyashita Masao, Yoshida Hiroshi : ASSOCIATION OF BLOOD PCSK9 LEVELS AND POSTOPERATIVE COMPLICATIONS AFTER ELECTIVE DIGESTIVE SURGERY. SHOCK 2019; 51 (6) :116.
- 7) Kohki Takeda, Takeshi Yamada, Goro Takahashi, Takuma Iwai, Koji Ueda, Sho Kuriyama, Michihiro Koizumi, Akihisa Matsuda, Seiichi Shinji, Ryo Ohta, Yasuyuki Yokoyama, Masahiro Hotta, Keisuke Hara, Hiroshi Yoshida : Analysis of colorectal cancer-related mutations by liquid biopsy: Utility of circulating cell-free DNA and circulating tumor cells. Cancer science 2019; 110 (11) :3497-3509. doi: 10.1111/cas.14186.
- 8) 佐原 知子, 中井 麻木, 三宅 秀彦, 渡邊 淳, 黒瀬 圭輔, 高橋 吾郎, 保坂 愛, 鈴木 由美, 野呂 林太郎, 武井 寛幸, 吉田 寛, 山田 岳史 : BRCA1/2 遺伝学的検査陽性結果後のフォローアップ. 日本遺伝カウンセリング学会誌 2019; 40 (2) :150.
- 9) Akihisa Matsuda, Marina Yamada, Satoshi Matsumoto, Nobuyuki Sakurazawa, Youichi Kawano, Kumiko Sekiguchi, Takeshi Yamada, Takeshi Matsutani, Masao Miyashita, Hiroshi Yoshida : Blood Galectin-3 Levels Predict Postoperative Complications after Colorectal Cancer Surgery. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2019; 86 (3) :142-148. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-302.
- 10) Takuma Iwai, Takeshi Yamada, Goro Takahashi, Kohki Takeda, Michihiro Koizumi, Seiichi Shinji, Akihisa Matsuda, Yasuyuki Yokoyama, Keisuke Hara, Kohji Ueda, Ryo Ohta, Nobuhiko Taniai, Hiroshi Yoshida : Circulating cell-free long DNA fragments predict post-hepatectomy recurrence of colorectal liver metastases. European journal of surgical oncology : the journal of the European Society of Surgical Oncology and the British Association of Surgical Oncology 2020; 46 (1) :108-114. doi: 10.1016/j.ejso.2019.08.010.
- 11) Akihisa Matsuda, Masao Miyashita, Satoshi Matsumoto, Nobuyuki Sakurazawa, Youichi Kawano, Kazuya Yamahatsu, Kumiko Sekiguchi, Marina Yamada, Tsutomu Hatori, Hiroshi Yoshida : Colonic stent-induced mechanical compression may suppress cancer cell

- proliferation in malignant large bowel obstruction. *Surgical endoscopy* 2019; 33 (4) :1290-1297. doi: 10.1007/s00464-018-6411-x.
- 12) Yokoyama T, Makino H, Hirakata A, Ueda J, Takata H, Okusa M, Kawashima M, Tsujino T, Hosone M, Matsushita A, Nakamura Y, Yoshida H : Conversion Surgery for Metastatic Pancreatic Mucinous Carcinoma Responsive to Systemic Chemotherapy with Modified FOLFIRINOX: A Case Report. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (5) :284-290. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-502.
 - 13) Hiroshi Yoshida, Nobuhiko Taniai, Masato Yoshioka, Atsushi Hirakata, Youichi Kawano, Tetsuya Shimizu, Junji Ueda, Hideyuki Takata, Yoshiharu Nakamura, Yasuhiro Mamada : Current Status of Laparoscopic Hepatectomy. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (4) :201-206. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-411.
 - 14) 兵藤 文紀, 江藤 比奈子, 中路 睦子, 長沼 辰弥, 中田 亮輔, 庄田 真一, 村田 正治, 松尾 政之 : DNP-MRI を用いた非アルコール性脂肪肝炎の早期診断へ向けたレドックスメカニズムの解明. *日本薬学会年会要旨集 2020; 140 年会:27P-am124.*
 - 15) 小高 康裕, 二神 生爾, 山脇 博士, 阿川 周平, 植木 信江, 桐田 久美子, 柴田 喜明, 大森 順, 貝瀬 満, 岩切 勝彦, 千原 直人, 渡辺 昌則, 谷合 信彦, 新倉 量太, 山道 信毅, 泉 健太郎, 北條 麻理子, 山本 貴嗣 : DOAC 服用中の大腸憩室出血患者を対象とした多施設共同研究 DOAC、ワルファリン、抗血小板薬の比較検討(第1報). *日本消化器病学会雑誌* 2019; 116 (臨増大会) :A815.
 - 16) Takahiro Haruna, Akihisa Matsuda, Michihiro Koizumi, Takeshi Yamada, Seiichi Shinji, Yasuyuki Yokoyama, Goro Takahashi, Masahiro Hotta, Takuma Iwai, Keisuke Hara, Kohki Takeda, Hiroshi Yoshida : Development of transomental hernia shortly after laparoscopic colonic surgery: a case report. *Surgical case reports* 2020; 6 (1) :8. doi: 10.1186/s40792-020-0783-6.
 - 17) 武田 幸樹, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 原 敬介, 上田 康二, 吉田 寛 : Digital PCR を用いた liquid biopsy sample(CTC、ccfDNA)からの KRAS 遺伝子変異の同定. *日本外科学会定期学術集会抄録集* 2019; 119 回:PS-152.
 - 18) Ryota Kondo, Kousuke Ishino, Ryuichi Wada, Hideyuki Takata, Wei-Xia Peng, Mitsuhiro Kudo, Shoko Kure, Yohei Kaneya, Nobuhiko Taniai, Hiroshi Yoshida, Zenya Naito : Downregulation of protein disulfide-isomerase A3 expression inhibits cell proliferation and induces apoptosis through STAT3 signaling in hepatocellular carcinoma. *International journal of oncology* 2019; 54 (4) :1409-1421. doi: 10.3892/ijo.2019.4710.
 - 19) 藤田 逸郎, 金澤 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 新井 洋紀, 萩原 信敏, 松谷 毅, 牧野 浩司, 野村 務, 吉田 寛 : ESD 後非治癒切除症例に対する根治的胃切除術の検討. *日本消化器外科学会総会* 2019; 74 回:P55-1.
 - 20) Masato Yoshioka, Nobuhiko Taniai, Youichi Kawano, Tetsuya Shimizu, Ryota Kondo, Yohei Kaneya, Yuto Aoki, Hiroshi Yoshida : Effectiveness of Laparoscopic Repeat Hepatectomy for Recurrent Liver Cancer. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (4) :222-229. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-410.
 - 21) Seiichi Shinji, Norihiko Sasaki, Takeshi Yamada, Michihiro Koizumi, Ryo Ohta, Akihisa Matsuda, Yasuyuki Yokoyama, Goro Takahashi, Masahiro Hotta, Keisuke Hara, Kohki Takeda, Koji Ueda, Sho Kuriyama, Toshiyuki Ishiwata, Yoshibumi Ueda, Takashi Murakami, Yoshikazu Kanazawa, Hiroshi Yoshida : Establishment and characterization of a novel neuroendocrine carcinoma cell line derived from a human ascending colon tumor. *Cancer science* 2019; 110 (12) :3708-3717. doi: 10.1111/cas.14221.
 - 22) Motoda N, Nakamura Y, Kuroki M, Yoneyama K, Isshiki S, Ohashi R, Naito Z : Exfoliation of alveolar rhabdomyosarcoma cells in the ascites of a 50-year-old woman: A diagnostic pitfall with a literature review. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019 doi: 10.1272/jnms.JNMS.2018_86-404.
 - 23) Tomohiro Shimoda, Ryuichi Wada, Shoko Kure, Kousuke Ishino, Mitsuhiro Kudo, Ryuji Ohashi, Itsuo Fujita, Eiji Uchida, Hiroshi Yoshida, Zenya Naito : Expression of protein disulfide isomerase A3 and its clinicopathological association in gastric cancer. *Oncology reports* 2019; 41 (4) :2265-2272. doi: 10.3892/or.2019.6999.
 - 24) 長嶺 嘉通, 岩井 拓磨, 牧野 浩司, 野村 聡, 丸山 弘, 横山 正, 吉田 寛 : FOLFOX 療法が奏功した多発肝転移を伴う進行胃癌の 1 例. *日本胃癌学会総会記事* 2020; 92 回:452.
 - 25) Masahiro Hotta, Takashi Sakatani, Kousuke Ishino, Ryuichi Wada, Mitsuhiro Kudo, Yasuyuki Yokoyama, Takeshi Yamada, Hiroshi Yoshida, Zenya Naito : Farnesoid X receptor induces cell death and sensitizes to TRAIL-induced inhibition of growth in colorectal cancer cells through the up-regulation of death receptor 5. *Biochemical and biophysical research communications* 2019; 519 (4) :824-831. doi:

10.1016/j.bbrc.2019.09.033.

- 26) 安康 勝喜, 近藤 亮太, 松下 晃, 青木 悠人, 金谷 洋平, 神田 知洋, 清水 哲也, 吉岡 正人, 中村 慶春, 吉田 寛 : Follicular pancreatitis の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (10) :1946.
- 27) 水谷 聡, 中田 亮輔, 村田 正治, 塩田 美桜, 助川 誠, 渡辺 昌則, 鈴木 英之, 谷合 信彦, 吉田 寛 : Forster resonance energy transfer(FRET)標識ナノプローブを用いた活性化腭液瘻の検討. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:SF-5.
- 28) 吉岡 正人, 吉田 寛, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 神田 知洋, 古木 裕康, 松下 晃, 中村 慶春 : ICG 蛍光法ナビゲーションシステム併用した腹腔鏡下再肝切除術. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:O29-3.
- 29) Yokoyama Y, Sakatani T, Wada R, Ishino K, Kudo M, Koizumi M, Yamada T, Yoshida H, Naito Z : In vitro and in vivo studies on the association of long non-coding RNAs H19 and urothelial cancer associated 1 with the susceptibility to 5-fluorouracil in rectal cancer. Int J Oncol. 2019; 55 (6) :1361-1371. doi: 10.3892/ijo.2019.4895.
- 30) Naoto Chihara, Hideyuki Suzuki, Makoto Sukegawa, Ryosuke Nakata, Tsutomu Nomura, Hiroshi Yoshida : Is the Laparoscopic Approach Feasible for Reduction and Herniorrhaphy in Cases of Acutely Incarcerated/Strangulated Groin and Obturator Hernia?: 17-Year Experience from Open to Laparoscopic Approach. Journal of laparoendoscopic & advanced surgical techniques. Part A 2019; 29 (5) :631-637. doi: 10.1089/lap.2018.0506.
- 31) Masato Yoshioka, Nobuhiko Taniai, Youichi Kawano, Tetsuya Shimizu, Ryota Kondo, Yohei Kaneya, Yuto Aoki, Hiroshi Yoshida : Laparoscopic Repeat Hepatectomy with Indocyanine Green Fluorescence Navigation: A Case Report. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2019; 86 (5) :291-295. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-503.
- 32) 中井 麻木, 范姜 明志, 栗田 智子, 武井 寛幸, 山田 岳史 : Li-Fraumeni 症候群の 1 例. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2019; 27 回:693.
- 33) Takeshi Yamada, Akihisa Matsuda, Michihiro Koizumi, Seiichi Shinji, Goro Takahashi, Takuma Iwai, Kohki Takeda, Kohji Ueda, Yasuyuki Yokoyama, Keisuke Hara, Masahiro Hotta, Satoshi Matsumoto, Hiroshi Yoshida : Liquid Biopsy for the Management of Patients with Colorectal Cancer. Digestion 2019; 99 (1) :39-45. doi: 10.1159/000494411.
- 34) 武田 幸樹, 山田 岳史, 小泉 岐博, 松田 明久, 進士 誠一, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 古木 裕康, 原 敬介, 篠塚 恵理子, 上田 康二, 栗山 翔, 吉田 寛 : Liquid biopsy を用いた大腸癌 Precision Surgery. 日本大腸肛門病学会雑誌 2019; 72 (9) :A154.
- 35) 山田 岳史, 小泉 岐博, 松田 明久, 進士 誠一, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 篠塚 恵理子, 上田 康二, 栗山 翔, 松本 智司, 吉田 寛 : Liquid biopsy を用いた大腸癌 Precision Surgery. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:RT20-1.
- 36) 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 上田 康二, 吉田 寛 : Liquid biopsy を用いた大腸癌 Real-time Precision Medicine. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:P143-1.
- 37) 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 上田 康二, 横山 康行, 堀田 正啓, 栗山 翔, 松本 智司, 吉田 寛 : Liquid biopsy を用いた大腸癌に対する real-time precision medicine. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:SF-086.
- 38) 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 上田 康二, 栗山 翔, 吉田 寛 : Liquid biopsy を用いた大腸癌肝転移に対する Conversion surgery. 日本消化器外科学会雑誌 2019; 52 (Suppl.2) :213.
- 39) 山田 岳史, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 堀田 正啓, 原 敬介, 松田 明久, 松本 智司, 内田 英二 : Liquid biopsy 大腸癌個別化治療. 日本大腸肛門病学会雑誌 2019; 72 (5) :243.
- 40) Yutaka Kimura, Kazuhiro Nishikawa, Kentaro Kishi, Kentaro Inoue, Jin Matsuyama, Yusuke Akamaru, Shigeyuki Tamura, Junji Kawada, Tomono Kawase, Ryohei Kawabata, Yoshiyuki Fujiwara, Hitoshi Kanno, Takeshi Yamada, Toshio Shimokawa, Hiroshi Imamura : Long-term effects of an oral elemental nutritional supplement on post-gastrectomy body weight loss in gastric cancer patients (KSES002). Annals of gastroenterological surgery 2019; 3 (6) :648-656. doi: 10.1002/ags3.12290.
- 41) 山田岳史, 山田岳史, 山口達郎, 田中屋宏爾, 近範泰, 鈴木興秀, 中井麻木, 高橋吾郎, 高橋吾郎, 野呂林太郎, 吉田寛, 石田秀

- 行 : Lynch 症候群大腸癌における ARID1A 変異. 日本家族性腫瘍学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 25th
- 42) 野村 幸世, 保田 智彦, 豊田 武士, 内田 英二, 吉田 寛, 瀬戸 泰之 : MEK 阻害剤 Selumetinib による H.pylori 感染スナネズミ胃粘膜の化生粘膜の回復. *Gastroenterological Endoscopy* 2019; 61 (Suppl.1) :915.
- 43) Yoshibumi Ueda, Tatsuhito Ii, Yuki Aono, Naotoshi Sugimoto, Seiichi Shinji, Hiroshi Yoshida, Moritoshi Sato : Membrane dynamics induced by a phosphatidylinositol 3,4,5-trisphosphate optogenetic tool. *Analytical Sciences* 2019; 35 (1) :57-63. doi: 10.2116/analsci.18SDP06.
- 44) 樋口 和寿, 後藤 修, 柿沼 大輔, 金沢 義一, 貝瀬 満, 吉田 寛, 岩切 勝彦 : NEWS(non-exposed endoscopic wall-inversion surgery) : NEWS の適応と方法 (特集 消化器腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術(LECS)update) -- (各種 LECS 手技). *外科 = Surgery : 臨床雑誌* 2019; 81 (11) :1130-1135.
- 45) Tadashi Yokoyama, Hiroshi Makino, Natsuki Seki, Junji Ueda, Masaru Hosone, Hironori Katayama, Hiroyuki Takei, Hiroshi Yoshida : Neoadjuvant chemotherapy of capecitabine + epirubicin + cyclophosphamide combination therapy ('CEX' therapy) for HER-2 negative breast cancer, as retrospective study in our institute. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 87 (2) :73-79. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2020_87-204.
- 46) Hidekazu Yamamoto, Shirin E. Khorsandi, Miriam Cortes - Cerisuelo, Yoichi Kawano, Anil Dhawan, John McCall, Hector Vilca - Melendez, Mohamed Rela, Nigel Heaton : Outcomes of Liver Transplantation in Small Infants. *Liver Transplantation* 2019; 25 (10) :1561-1570. doi: 10.1002/lt.25619.
- 47) 山下 貴正, 松田 明久, 山田 岳史, 太田 竜, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 原 敬介, 栗山 翔, 吉田 寛 : Persistent descending mesocolon を合併した S 状結腸癌に対して腹腔鏡下切除術を施行した 1 例. *日本大腸肛門病学会雑誌* 2019; 72 (9) :A262.
- 48) Supaschin Jamjitrong, Akihisa Matsuda, Satoshi Matsumoto, Tunyaporn Kamonvarapitak, Nobuyuki Sakurazawa, Youichi Kawano, Takeshi Yamada, Hideyuki Suzuki, Masao Miyashita, Hiroshi Yoshida : Postoperative non-steroidal anti-inflammatory drugs and anastomotic leakage after gastrointestinal anastomoses: Systematic review and meta-analysis. *Annals of gastroenterological surgery* 2020; 4 (1) :64-75. doi: 10.1002/ags3.12300.
- 49) Akihisa Matsuda, Takeshi Yamada, Satoshi Matsumoto, Nobuyuki Sakurazawa, Youichi Kawano, Eriko Shinozuka, Kumiko Sekiguchi, Hideyuki Suzuki, Hiroshi Yoshida : Pretreatment Neutrophil-to-Lymphocyte Ratio Predicts Survival After TAS-102 Treatment of Patients With Metastatic Colorectal Cancer. *Anticancer research* 2019; 39 (8) :4343-4350. doi: 10.21873/anticancer.13602.
- 50) Hideki Ueno, Megumi Ishiguro, Eiji Nakatani, Toshiaki Ishikawa, Hiroyuki Uetake, Chu Matsuda, Yoshihiko Nakamoto, Masanori Kotake, Kiyotaka Kurachi, Tomohisa Egawa, Keigo Yasumasa, Kohei Murata, Osamu Ikawa, Seiichi Shinji, Kenta Murotani, Shigeyuki Matsui, Satoshi Teramukai, Naohiro Tomita, Kenichi Sugihara : Prospective multicenter study on the prognostic and predictive impact of tumor budding in stage II colon cancer: Results from the SACURA trial. *Journal of Clinical Oncology* 2019; 37 (22) :1886-1894. doi: 10.1200/JCO.18.02059.
- 51) 近藤 亮太, 石野 孔祐, 吉岡 正人, 清水 哲也, 神田 知洋, 高田 英志, 金谷 洋平, 青木 悠人, 吉田 寛, 内藤 善哉 : Protein disulfide-isomerase A3 は STAT3 シグナルを介して肝細胞癌の進展を促進する. *日本消化器外科学会総会* 2019; 74 回:P183-4.
- 52) Ueda J, Makino H, Yokoyama T, Maruyama H, Hirakata A, Takata H, Seki N, Kikuchi Y, Yoshioka M, Irie T, Yoshida H : Rare Case of Synchronous Cystic Duct Metastasis from Renal Cell Carcinoma. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (4) :242-247. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2018_86-405.
- 53) 松田 明久, 宮下 正夫, 関口 久美子, 松谷 毅, 鈴木 英之, 吉田 寛 : Recent Progress in Shock Research 脂質関連メディエーターから見た外科術後合併症の発生機序と予測. *Shock: 日本 Shock 学会雑誌* 2019; 34 (1) :24.
- 54) 松田 明久, 宮下 正夫, 関口 久美子, 山田 真史奈, 松谷 毅, 山田 岳史, 吉田 寛 : Recent Progress in Shock Research 脂質関連メディエーターから見た外科術後合併症の発生機序と予測. *Shock: 日本 Shock 学会雑誌* 2020; 34 (2) :2-8.
- 55) Masaki Miyao, Tsubasa Takahashi, Mikihiro Okusa, Makoto Kusakabe, Ryotaro Takano, Yuka Masuda, Mampei Kawashima, Hiroshi Yoshida : Recurrent Bowel Obstruction Caused by Cecal Volvulus: A Case Report. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (3) :183-186. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-308.
- 56) Masato Nakamura, Takeshi Yamada, Shun Ishiyama, Masanobu Enomoto, Hajime Yokomizo, Chihiro Kosugi, Hiromichi Sonoda, Kei Ishimaru, Keiichiro Ishibashi, Hidekazu Kuramochi, Keiji Nozawa, Ryo Ohta, Makoto Takahashi, Hiroshi Yoshida, Yojiro

- Hashiguchi, Keiji Hirata, Kenji Katsumata, Hideyuki Ishida, Keiji Koda, Kazuhiro Sakamoto : Regorafenib dose escalation therapy for patients with refractory metastatic colorectal cancer (RECC Study). JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY 2020; 38 (4) doi: 10.1007/s10147-022-02179-9.
- 57) 横田 峻, 水谷 聡, 谷合 信彦, 山岸 征嗣, 古木 裕康, 塩谷 猛, 和田 尚人, 山際 亮, 吉田 寛 : Segmental Arterial Mediolysis(SAM)による腹腔内出血の経験. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :407.
- 58) Akihisa Matsuda, Takeshi Yamada, Satoshi Matsumoto, Nobuyuki Sakurazawa, Youichi Kawano, Kumiko Sekiguchi, Takeshi Matsutani, Masao Miyashita, Hiroshi Yoshida : Short-term outcomes of a self-expandable metallic stent as a bridge to surgery vs. a transanal decompression tube for malignant large-bowel obstruction: a meta-analysis. Surgery today 2019; 49 (9) :728-737. doi: 10.1007/s00595-019-01784-y.
- 59) Hideyuki Takata, Hiroshi Makino, Tadashi Yokoyama, Hiroshi Maruyama, Atsushi Hirakata, Junji Ueda, Hiroshi Yoshida : Successful surgical treatment for intrahepatic arteriportal fistula with severe portal hypertension: a case report. Surgical case reports 2019; 5 (1) :67. doi: 10.1186/s40792-019-0623-8.
- 60) 柴本 峰彩子, 福田 俊, 岡 大嗣, 谷島 翔, 三島 圭介, 工藤 滋弘, 吉井 貴子, 有馬 美和子, 田中 洋一, 川島 吉之 : T4 症例を中心とした当院での食道癌サルベージ手術の検討. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 73 回:268.
- 61) 上田 康二, 萩原 信敏, 神田 知洋, 香中 伸太郎, 遠藤 憲彦, 山下 貴正, 塩田 美桜, 松田 明久, 野村 務, 吉田 寛 : TAPP 術後の腹膜閉鎖部間隙に小腸の嵌頓を認めた 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :307.
- 62) 原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 上田 康二, 栗山 翔, 吉田 寛 : UFT/UZEL 投与による類洞障害の長期経過. 日本大腸肛門病学会雑誌 2019; 72 (9) :A162.
- 63) Naoto Chihara, Nobuhiko Taniai, Hideyuki Suzuki, Ryosuke Nakata, Mio Shioda, Hiroshi Yoshida : Use of a Novel Open Posterior Wall Technique for Laparoscopic Excision of Hydrocele of the Canal of Nuck in an Adult Female: Case Report. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2020; 86 (6) :345-348. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-601.
- 64) Hideaki Matoba, Atsushi Hirakata, Hiroshi Yoshida, Shinsuke Seta, Hiroshi Makino, Tadashi Yokoyama, Hiroshi Maruyama, Junji Ueda, Hideyuki Takata, Yuta Kikuchi, Koji Ueda, Teppei Miyashita, Masafumi Yoshioka, Makoto Kusakabe, Keiichi Asami : [A Case of Survival Following Fourth-Line Outpatient Chemotherapy 19 Months after Surgery for Small Intestinal Cancer with Multiple Liver Metastases in a Patient with Good General Condition]. Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy 2019; 46 (5) :949-952.
- 65) Koji Ueda, Seiichi Shinji, Takeshi Yamada, Michihiro Koizumi, Akihisa Matsuda, Ryo Ohta, Yasuyuki Yokoyama, Goro Takahashi, Masahiro Hotta, Kohki Takeda, Keisuke Hara, Sho Kuriyama, Hiroshi Yoshida : [Consideration for Prognostic Indicators of Ovarian Metastasis of Colorectal Cancer]. Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy 2019; 46 (13) :2386-2388.
- 66) Keisuke Hara, Takeshi Yamada, Michihiro Koizumi, Seiichi Shinji, Akihisa Matsuda, Ryo Oota, Goro Takahashi, Masahiro Hotta, Kohki Takeda, Koji Ueda, Shou Kuriyama, Hiroshi Yoshida : [Effectiveness of Chemoradiotherapy for the Treatment of Local Recurrence in Rectal Cancer-A Case Report]. Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy 2019; 46 (13) :2143-2145.
- 67) Fumihiko Ando, Akihisa Matsuda, Hideyuki Suzuki, Satoshi Matsumoto, Nobuyuki Sakurazawa, Youichi Kawano, Kazuya Yamahatsu, Masao Miyashita, Hiroshi Yoshida : [Long-Term Complete Response in an Unresectable Advanced Gastric Cancer Patient Treated with Low-Dose S-1]. Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy 2019; 46 (10) :1573-1575.
- 68) Kentaro Maejima, Nobuhiko Taniai, Hiroshi Yoshida, Ai Kazama, Yasushi Takatsuno, Ito Kondo, Kumi Hasegawa, Jun Kaneko, Shizuaki Maejima : [Study on Gastric Cancer Surgery in an Aged Society]. Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy 2020; 47 (1) :189-191.
- 69) 前島 顕太郎, 谷合 信彦, 吉田 寛, 風間 愛, 高角 康志, 近藤 純由, 長谷川 久美, 兼子 順, 前島 静顕 : cStageI 胃癌における腹腔鏡下噴門側胃切除術と開腹術の比較検討. 日本消化管学会雑誌 2020; 4 (Suppl.) :261.
- 70) 上田 康二, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 原 敬介, 近谷 賢一, 石田 秀行, 吉田 寛 : cfDNA による右半結腸癌における BRAFV600E 遺伝子変異についての検討. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:SF-021.
- 71) 横山 康行, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 太田 竜, 高橋 吾郎, 原 敬介, 武田 幸樹, 上田 康二, 吉田 寛 : long non-coding

- RNA H19 および UCA1 の発現と直腸癌の術前化学療法に対する感受性との関連. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:RS11-1.
- 72) 原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 吉田 寛 : mFOLFOX6 投与による類洞障害の長期経過. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:P88-3.
- 73) 原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 上田 康二, 栗山 翔, 吉田 寛 : 【Complicated appendicitis の診断と治療戦略】複雑性虫垂炎に対する待機的虫垂切除の妥当性. 日本腹部救急医学会雑誌 2019; 39 (4) :649-653.
- 74) 吉岡 正人, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 吉田 寛 : 【ICG 蛍光法を用いた肝胆道外科手術】ICG 蛍光ナビゲーションシステムを用いた腹腔鏡下再肝切除術. 手術 2019; 73 (10) :1423-1429.
- 75) 松田 明久, 山田 岳史, 松本 智司, 小泉 岐博, 進士 誠一, 太田 竜, 高橋 吾郎, 原 敬介, 吉田 寛 : 【Innovative な大腸癌診断・治療】閉塞性大腸癌に対するステント治療の適応と安全な手技. 外科 2019; 81 (10) :1064-1069.
- 76) 菅野 仁士 : 【どうする?胃食道逆流、下痢、腹部膨満……etc 経腸栄養トラブル発生時の対処法】経腸栄養における合併症と対策 消化管関連合併症. Nutrition Care 2019; 12 (10) :924-927.
- 77) 江原 一尚, 三島 圭介, 新井 修, 伊藤 謙, 福田 俊, 山田 達也, 川島 吉之, 坂本 裕彦 : 【徹底解説! 噴門側胃切除術】私の手技 リンパ節郭清 腹腔鏡下での下縦隔郭清 経裂孔的な郭清手技の手順とポイント. 臨床外科 2019; 74 (7) :814-820.
- 78) 松田 明久, 山田 岳史, 松本 智司, 小泉 岐博, 進士 誠一, 太田 竜, 高橋 吾郎, 原 敬介, 篠塚 恵理子, 関口 久美子, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 【悪性消化管狭窄に対するステント治療】大腸ステント留置例に対する化学療法. 消化器・肝臓内科 2019; 5 (6) :604-610.
- 79) 丸山 弘, 吉田 寛 : 【感染症の発熱とその治療-患者背景からの診断・治療のコツ】入院患者における感染症の発熱と治療 消化器外科手術後患者. 感染と抗菌薬 2020; 23 (1) :60-65.
- 80) 山田 岳史, 松田 明久, 進士 誠一, 太田 竜, 園田 寛道, 高橋 吾郎, 岩井 琢磨, 武田 幸樹, 上田 康二, 栗山 翔, 吉田 寛 : 【最新の周術期リハビリテーション・栄養管理】大腸癌の周術期リハビリテーションと栄養管理. 消化器外科 2020; 43 (2) :185-190.
- 81) 松田 明久, 山田 岳史, 松本 智司, 小泉 岐博, 進士 誠一, 太田 竜, 高橋 吾郎, 原 敬介, 吉田 寛 : 【消化器ステント留置】消化管ステント留置 大腸狭窄に対する内視鏡的ステント留置術. 臨床消化器内科 2019; 34 (10) :1221-1227.
- 82) 中村 慶春, 松下 晃, 古木 裕康, 神田 知洋, 吉田 寛 : 【消化器疾患に対する機能温存・再建手術】肝胆膵領域 脾温存腹腔鏡下脾体尾部切除. 外科 2019; 81 (5) :585-589.
- 83) 樋口 和寿, 後藤 修, 柿沼 大輔, 金沢 義一, 貝瀬 満, 吉田 寛, 岩切 勝彦 : 【消化器腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術(LECS)update】各種 LECS 手技 NEWS(non-exposed endoscopic wall-inversion surgery) NEWS の適応と方法. 外科 2019; 81 (11) :1130-1135.
- 84) 渡邊 昌則, 三島 圭介, 松谷 毅, 吉田 寛 : 【消化管症候群(第3版)-その他の消化管疾患を含めて-】食道 大動脈食道瘻. 日本臨床 2020; 別冊(消化管症候群 II) :106-109.
- 85) 野村 務, 松谷 毅, 萩原 信敏, 岩切 勝彦, 吉田 寛 : 【消化管症候群(第3版)-その他の消化管疾患を含めて-】食道 食道小細胞癌. 日本臨床 2020; 別冊(消化管症候群 II) :145-148.
- 86) 渡邊 昌則, 野村 聡, 吉田 寛 : 【消化管症候群(第3版)-その他の消化管疾患を含めて-】食道 食道気管支瘻、食道気管瘻. 日本臨床 2020; 別冊(消化管症候群 II) :102-105.
- 87) 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 吉田 寛 : 【消化管症候群(第3版)-その他の消化管疾患を含めて-】食道 食道粘表皮癌. 日本臨床 2020; 別冊(消化管症候群 II) :141-144.
- 88) 松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 吉田 寛 : 【消化管症候群(第3版)-その他の消化管疾患を含めて-】食道 食道肉腫. 日本臨床 2020; 別冊(消化管症候群 II) :162-166.
- 89) 牧野 浩司, 野村 聡, 丸山 弘, 吉田 寛 : 【消化管症候群(第3版)-その他の消化管疾患を含めて-】食道 食道腺扁平上皮癌. 日本臨床 2020; 別冊(消化管症候群 II) :137-140.
- 90) 神田 知洋, 中村 慶春, 松下 晃, 吉岡 正人, 清水 哲也, 金谷 洋平, 近藤 亮太, 古木 裕康, 青木 悠人, 吉田 寛 : 【肝胆膵】総胆管結石治療のベストプラクティス 当科における胃切除術後の腹腔鏡下胆管十二指腸吻合術の治療成績. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:WS32-10.
- 91) 松下 晃, 中村 慶春, 神田 知洋, 清水 哲也, 吉岡 正人, 吉田 寛 : 【肝胆膵外科における低侵襲手術と臓器温存手術】良～低悪性度腫瘍に対する膵中央切除術(CP). 手術 2020; 74 (1) :57-63.

- 92) 清水 哲也, 吉岡 正人, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 神田 知洋, 青木 悠人, 松下 晃, 中村 慶春, 真々田 裕宏, 吉田 寛 : 【胆膵】医原性胆道損傷に対する至適アプローチ 医原性胆道損傷の原因と対応 術後に判明した離断型胆管損傷と ERCP 関連胆道損傷に対するアプローチ方法. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:WS22-8.
- 93) 神田 知洋, 中村 慶春, 松下 晃, 吉岡 正人, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 古木 裕康, 青木 悠人, 吉田 寛 : 【胆膵】医原性胆道損傷に対する至適アプローチ 腹腔鏡下胆嚢摘出術における胆管損傷の原因と対策. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:WS22-6.
- 94) 清水 哲也, 吉岡 正人, 松下 晃, 金子 恵子, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 中村 慶春, 真々田 裕宏, 吉田 寛 : 【胆膵内視鏡トラブルシューティング-こうやって切り抜ける-】ERCP に関連した後腹膜穿孔の原因、治療方針、予防について. 胆と膵 2019; 40 (6) :473-478.
- 95) 松下 晃, 中村 慶春, 吉田 寛 : 【腹腔鏡下肝胆膵手術の新時代-ラパロからロボティクスへ-】膵臓 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術の術野展開法. 肝・胆・膵 2019; 79 (1) :121-126.
- 96) 古木 裕康, 中村 慶春, 吉田 寛, 倉藤 晶子, 政井 友子 : 【術者の考えが手にとるようにわかる!実況中継!消化器外科手術の"山場" LIVE!】膵臓. オペナーシング 2019; 34 (7) :677-688.
- 97) 吉田 寛 : 【門脈圧亢進症 up to date】門脈圧亢進症に対する手術療法と IVR. 日本消化器病学会雑誌 2019; 116 (5) :404-411.
- 98) 萩原 信敏, 野村 務, 松谷 毅, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 高 和英, 太田 恵一朗, 吉田 寛 : 【食道】高度食道裂孔ヘルニアに対する内視鏡外科手術の工夫 混合型・傍食道型食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡手術 当施設における手技のポイント. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:WS5-7.
- 99) 山田 岳史, 金沢 義一, 吉田 寛 : がん教育:外部講師としての実践に向けて がん学校教育の経験 外部講師の立場から. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:PSY-3.
- 100) 太田 竜, 山田 岳史, 幸田 圭史, 石橋 敬一郎, 田中屋 宏爾, 椿 昌裕, 中島 日出夫, 大矢 雅敏, 吉田 寛, 石田 秀行, FACOS study group : オキサリプラチンによる大腸癌術後補助化学療法後の脾臓容積変化と肝類洞拡張の関連性. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:RS11-4.
- 101) 山際 亮, 水谷 聡, 谷合 信彦, 古木 裕康, 吉田 寛 : コレステロール塞栓症(CCE)に合併した急性膵炎、後腹膜膿瘍に対してこう腹膜ドレナージが奏功した1例. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :314.
- 102) 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 太田 恵一朗, 吉田 寛 : トラブルシューティングと手術の工夫 消化器外科手術時の赤外観察カメラシステムを用いた術中 ICG 蛍光法による術中補助診断. 日本外科系連合学会誌 2019; 44 (3) :457.
- 103) 高橋 吾郎, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 太田 竜, 横山 康行, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 原 敬介, 上田 康二, 太田 恵一朗, 吉田 寛 : プレシジョン・メディシンの外科学への応用 プレシジョン・メディシンのバイオマーカーへの応用 希少癌における circulating tumor DNA は monitoring marker となりうるか. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:WS-25.
- 104) 塙 秀暁, 渡辺 昌則, 野村 聡, 清水 貴夫, 千原 直人, 水谷 聡, 谷合 信彦, 吉田 寛 : リデューススリーブを用いたセプラフィルム搬入法の検討. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:P41-5.
- 105) 小泉 英里子, 後藤 修, 野田 啓人, 樋口 和寿, 飽本 哲兵, 貝瀬 満, 吉田 寛, 岩切 勝彦 : リンパ節転移リスクと手術リスクを考慮した胃 ESD 非治療切除症例における新しい治療戦略の提案. 日本消化器病学会雑誌 2019; 116 (臨増大会) :A760.
- 106) 久下 恒明, 櫻澤 信行, 渡辺 昌則, 松本 智司, 川野 陽一, 山初 和也, 上田 純志, 新井 洋紀, 篠塚 恵理子, 関口 久美子, 浅見 敬一, 吉森 大悟, 犬飼 惇, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 上部消化管癌術後に発症した難治性乳糜漏に対しリンパ管造影を施行した3例. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :MO106-6.
- 107) 林 光希, 清水 哲也, 吉岡 正人, 松下 晃, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 川野 陽一, 吉田 寛 : 下大静脈血栓症を合併した巨大肝嚢胞の一例. 日本消化器病学会関東支部例会プログラム・抄録集 2020; 358 回:47.
- 108) 小泉 岐博, 山田 岳史, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 上田 康二, 太田 竜, 菅 隼人, 太田 恵一朗, 吉田 寛 : 下部直腸癌に対する術前治療 ネオアジュバント化学療法で治療した直腸癌患者の腫瘍学的転帰 (Oncologic outcomes in patients with rectal cancer treated with neoadjuvant chemotherapy). 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:PD-4.
- 109) 竹ヶ原 京志郎, 松本 充生, 松井 琢真, 井上 達哉, 白田 実男 : 中心型早期肺癌に対する光線力学的治療の現況. 気管支学 2019; 41

(Suppl.) :S246.

- 110)関 奈紀, 横山 正, 丸山 弘, 牧野 浩司, 吉田 寛, 武井 寛幸 : 乳癌術後半年で骨髄癌を呈し急速な転帰で死亡に至った 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :182-186.
- 111)長嶺 嘉通, 松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 下田 朋宏, 太田 恵一朗, 外園 優, 梅澤 裕己, 吉田 寛 : 二期的分割手術で切除・再建した冠動脈バイパス術後ハイリスク胸部食道癌の 1 例. 日本外科系連合学会誌 2019; 44 (3) :599.
- 112)上田 純志, 川野 陽一, 山初 和也, 横山 正, 平方 敦史, 高田 英志, 谷合 信彦, 吉岡 正人, 清水 哲也, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 古木 裕康, 青木 悠斗, 吉田 寛 : 亜全胃温存膵頭十二指腸切除術、術後晩期に発症した胃空腸吻合穿孔の検討. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :319.
- 113)太田 竜, 富澤 悠真, 左近 龍太, 井上 貴博, 小根山 正貴, 成田 和弘, 後藤 学, 関川 浩司 : 低侵襲を目指した当科における下部直腸癌治療の変遷と方向性. 日本大腸肛門病学会雑誌 2019; 72 (5) :279.
- 114)安藤 文彦, 松田 明久, 鈴木 英之, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 山初 和也, 宮下 正夫, 吉田 寛 : 低用量 S-1 投与により長期 CR が得られた切除不能進行胃癌の 1 例. 癌と化学療法 2019; 46 (10) :1573-1575.
- 115)濱口 暁, 青木 悠人, 神田 知洋, 武田 幸樹, 増田 有香, 野村 務, 吉田 寛 : 体外からの圧迫が嵌頓解除に有効であった閉鎖孔ヘルニア嵌頓の一手術例. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :878.
- 116)塩田 美桜, 山田 岳史, 原 敬介, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 琢磨, 武田 幸樹, 上田 康二, 栗山 翔, 吉田 寛 : 保存的加療後に虫垂癌が診断された 3 例. 日本大腸肛門病学会雑誌 2019; 72 (9) :A268.
- 117)岡本 浩和, 横山 康行, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 原 敬介, 上田 康二, 松本 智司, 太田 恵一朗, 吉田 寛 : 保存的治療を受けた単純性虫垂炎における白血球数と CRP 値の推移の有用性. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:SF-010.
- 118)青木 悠人, 相田 順子, 川野 陽一, 中村 慶春, 仲村 賢一, 石川 直, 新井 富生, 吉岡 正人, 松下 晃, 清水 哲也, 神田 知洋, 谷合 信彦, 吉田 寛, 田久保 海蒼, 石渡 俊行 : 先天性胆道拡張症のテロメア短縮時期の考察. 日本膵・胆管合流異常研究会プロシーディングス 2019; 42:49.
- 119)櫻澤 信行, 松本 智司, 川野 陽一, 山初 和也, 上田 純志, 新井 洋紀, 篠塚 恵理子, 関口 久美子, 久下 恒明, 浅見 敬一, 渡辺 昌則, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 先端吸引鉗子を用いた術中出血に対するトラブルシューティング. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :PT2-4.
- 120)犬飼 惇, 上田 純志, 鈴木 英之, 松本 智司, 桜澤 信行, 川野 陽一, 新井 洋紀, 吉岡 正人, 清水 哲也, 神田 知洋, 高田 英志, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 古木 裕康, 青木 悠斗, 平方 敦史, 松下 晃, 谷合 信彦, 吉田 寛 : 先進部が盲腸に及んだメッケル憩室による腸重積症の 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :329.
- 121)太田 竜, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 高橋 吾郎, 武田 幸樹, 堀田 正啓, 上田 康二, 原 敬介, 横山 康行, 栗山 翔, 吉田 寛 : 内視鏡外科時代の腸閉塞について考える 腹腔鏡下大腸癌術後腸閉塞の現況 腸閉塞全国調査より. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :397.
- 122)上田純志, 川野陽一, 真々田裕宏, 谷合信彦, 吉岡正人, 平方敦史, 清水哲也, 神田知洋, 高田英志, 吉田寛 : 内視鏡技術認定医への道. 肝臓内視鏡外科研究会プログラム・抄録集 2019; 13th
- 123)吉岡 正人, 吉田 寛, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 神田 知洋, 松下 晃, 中村 慶春 : 再発肝癌に対する腹腔鏡下再肝切除術のピットフォール. 日本消化器外科学会雑誌 2019; 52 (Suppl.2) :235.
- 124)春名 孝洋, 高田 英志, 横山 正, 平方 敦史, 上田 純志, 吉田 寛 : 出血を繰り返す胆管空腸吻合部静脈瘤に対し部分的脾動脈塞栓術 (PSE)が有効であった一例. 日本門脈圧亢進症学会雑誌 2019; 25 (3) :196.
- 125)篠塚 恵理子, 山田 岳史, 松田 明久, 松本 智司, 小泉 岐博, 進士 誠一, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 武田 幸樹, 上田 康二, 関口 久美子, 栗山 翔, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 切除不能再発大腸癌に対する Aflibercept の使用経験と血液学的炎症・免疫マーカーによる治療効果予測の検討. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :639.
- 126)松田 明久, 山田 岳史, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 篠塚 恵理子, 関口 久美子, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 切除不能再発大腸癌治療におけるアフリベルセプトの使用経験と治療効果予測. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57

回:P20-7.

- 127)前島 顕太郎, 谷合 信彦, 吉田 寛 : 切除不能進行再発胃癌に対する S-1+シスプラチン療法の有害事象対策と外来化学療法. 日本医科大学医学雑誌 2019; 15 (3) :128-133.
- 128)原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 上田 康二, 栗山 翔, 吉田 寛 : 単純性虫垂炎に対する Delayed Appendectomy の治療成績. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:PS-107.
- 129)太田 竜, 富澤 悠希, 左近 龍太, 井上 貴博, 小根山 正貴, 伊藤 慎吾, 下島 礼子, 原 義明, 成田 和弘, 後藤 学, 日月 裕司, 関川 浩司 : 原発巣の側性から検討した当科における大腸癌治療成績の差異. 日本大腸肛門病学会雑誌 2019; 72 (5) :304.
- 130)星本 相理, 辰口 篤志, 山田 岳史, 橋野 史彦, 片岡 宏章, 梅田 隆満, 高木 信介, 西本 崇良, 大森 順, 佐藤 航, 秋元 直彦, 三井 啓吾, 田中 周, 藤森 俊二, 岩切 勝彦 : 原発性小腸腺癌における Programmed cell death 1、Programmed cell death-ligand 1、2 の臨床病理学的意義. 日本消化管学会雑誌 2020; 4 (Suppl.) :307.
- 131)星本相理, 辰口篤志, 山田岳史, 片岡宏章, 橋野史彦, 梅田隆満, 高木信介, 西本崇良, 秋元直彦, 大森順, 佐藤航, 三井啓吾, 米澤真興, 田中周, 藤森俊二, 岩切勝彦 : 原発性小腸腺癌における Programmed cell death ligand1 の局在. 日本消化器病学会雑誌 2019; 116
- 132)星本 相理, 辰口 篤志, 山田 岳史, 橋野 史彦, 片岡 宏章, 梅田 隆満, 高木 信介, 西本 崇良, 大森 順, 佐藤 航, 秋元 直彦, 三井 啓吾, 米澤 真興, 田中 周, 藤森 俊二, 岩切 勝彦 : 原発性小腸腺癌における Programmed cell death(PD)-1/PD-L1 の局在とその臨床病理学的意義. 日本消化器病学会雑誌 2019; 116 (臨増大会) :A794.
- 133)石川 裕美子, 辰口 篤志, 山田 岳史, 星本 相理, 梅田 隆満, 片岡 宏章, 高木 信介, 西本 崇良, 橋野 史彦, 大森 順, 秋元 直彦, 佐藤 航, 三井 啓吾, 米澤 真興, 田中 周, 藤森 俊二, 岩切 勝彦 : 原発性小腸腺癌における上皮成長因子受容体(EGFR)ファミリーの発現の臨床病理学的意義. 日本消化管学会雑誌 2020; 4 (Suppl.) :307.
- 134)辰口 篤志, 三井 啓吾, 田中 周, 佐藤 航, 秋元 直彦, 大森 順, 梅田 隆満, 片岡 宏章, 高木 信介, 西本 崇良, 米澤 真興, 山田 岳史, 藤森 俊二, 河越 哲郎, 岩切 勝彦 : 原発性空腸・回腸腺癌に対する化学療法の治療成績についての報告. 日本大腸肛門病学会雑誌 2019; 72 (5) :341.
- 135)篠塚 恵理子, 松本 智司, 関口 久美子, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 松田 明久, 上田 純志, 久下 恒明, 浅見 敬一, 渡辺 昌則, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 右側結腸癌に対する鏡視下剪刀を用いた安全で精緻な郭清手技. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :MO272-2.
- 136)牧野 浩司, 丸山 弘, 横山 正, 平方 敦史, 上田 純志, 高田 英志, 菊池 友太, 岩井 拓磨, 吉岡 将史, 吉田 寛 : 右側胸腔鏡下の低侵襲な食道胃接合部癌の下縦隔リンパ節郭清と吻合. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:P9-1.
- 137)水谷 聡, 谷合 信彦, 村田 正治, 中田 亮輔, 古木 裕康, 千原 直人, 吉田 寛 : 各臓器手術後における最適なドレーン管理の実際 Foerster resonance energy transfer(FRET)標識ナノプローブを用いて、ドレーン感染と腭液瘦活性化の関連を検討する. 日本外科感染症学会雑誌 2019; 16 (5) :493.
- 138)今村 博司, 木村 豊, 西川 和宏, 岸 健太郎, 井上 健太郎, 松山 仁, 赤丸 祐介, 田村 茂行, 川田 純司, 川瀬 朋乃, 川端 良平, 藤原 義之, 菅野 仁士, 山田 岳史, 下川 敏雄, 関西栄養療法研究会 : 周術期の栄養療法 胃癌術後早期の栄養介入の意義に関するランダム化比較試験(KSES-001 試験)の長期成績. 日本外科系連合学会誌 2019; 44 (3) :545.
- 139)竹ヶ原 京志郎, 松本 充生, 松井 琢真, 井上 達哉, 白田 実男 : 呼吸器外科医によるトランスレーショナルリサーチ アンチエイジング遺伝子 Klotho 発現を利用した分子標的治療の可能性. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:WS-8.
- 140)的場 秀亮, 平方 敦史, 吉田 寛, 瀬田 真祐, 牧野 浩司, 横山 正, 丸山 弘, 上田 純志, 高田 英志, 菊池 友太, 上田 康二, 宮下 哲平, 吉岡 将史, 日下部 誠, 浅見 敬一 : 外来で各種抗癌剤を選択し 1 年 7 ヶ月の生存を得た多発肝転移を伴う進行小腸癌の 1 例. 癌と化学療法 2019; 46 (5) :949-952.
- 141)金沢 義一, 藤田 逸郎, 山田 岳史, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 加藤 俊二, 吉田 寛 : 外科とサルコペニア・フレイル 胃癌手術患者における予後と大腰筋断面面積術後変化との相関. 日本外科系連合学会誌 2019; 44 (3) :513.
- 142)赤丸 祐介, 木村 豊, 西川 和宏, 岸 健太郎, 井上 健太郎, 松山 仁, 田村 茂行, 川田 純司, 菅野 仁士, 山田 岳史, 下川 敏雄, 今村 博司 : 外科感染症制御を念頭に置いた栄養管理 胃癌術後患者に対する成分栄養剤による早期栄養介入の長期的な効果に関する検討. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :403.
- 143)今村 博司, 木村 豊, 西川 和宏, 岸 健太郎, 井上 健太郎, 松山 仁, 田村 茂行, 菅野 仁士, 山田 岳史, 内田 英二, 下川 敏雄 :

- 外科治療における多職種介入栄養管理-NSTが目指すアウトカム 胃癌術後早期の栄養介入の意義に関するランダム化比較試験(KSES-001 試験)の長期成績. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:WS-9.
- 144)進士 誠一, 市川 雅男, 山田 岳史, 太田 竜, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 原 敬介, 武田 幸樹, 上田 康二, 可世木 華子, 明樂 重夫, 竹下 俊行, 吉田 寛: 多科での協働と連携 腸官子宮内膜症手術 他科との連携. 日本外科系連合学会誌 2019; 44 (3) :438.
- 145)松田 明久, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 篠塚 恵理子, 関口 久美子, 山田 岳史, 鈴木 英之, 吉田 寛: 大腸ステント留置後手術における予後因子の検討. 日本大腸肛門病学会雑誌 2019; 72 (9) :A89.
- 146)鈴木 興秀, 山口 達郎, 江口 英孝, 近 範泰, 石橋 敬一郎, 田中屋 宏爾, 山田 岳史, 岡崎 康司, 石田 秀行: 大腸癌の Precision medicine の現状と展望 多遺伝子パネルを用いたミスマッチ修復欠損腫瘍大腸癌の検討. 日本大腸肛門病学会雑誌 2019; 72 (9) :A70.
- 147)野村 聡, 渡辺 昌則, 谷合 信彦, 埴 秀暁, 豊田 哲鎬, 清水 貴夫, 山際 亮, 許田 典男, 大橋 隆治, 吉田 寛: 大腸癌を重複した食道癌に対して術前補助化学療法後に分割手術を施行した1例. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 73 回:116.
- 148)上田 康二, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 武田 幸樹, 吉田 寛: 大腸癌患者における腹水および洗浄液の digital 細胞診の開発. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:P151-1.
- 149)日下部 誠, 山田 岳史, 太田 竜, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 上田 康二, 横山 康行, 堀田 正啓, 原 敬介, 吉田 寛: 大腸癌症例における尿中 cell-free DNA の抽出および RAS 変異解析の試み. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:SF-049.
- 150)日下部 誠, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 高橋 吾郎, 武田 幸樹, 上田 康二, 横山 康行, 吉田 寛: 大腸癌症例における尿中 cell-free DNA の抽出および RAS 変異解析の試み. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:P105-3.
- 151)豊田 哲鎬, 横山 康行, 和田 由大, 高橋 宏一, 谷合 信彦, 吉田 寛: 大腸癌腸閉塞に対しステント留置後に待機的腹腔鏡下根治手術を施行した症例の治療成績. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :MO048-3.
- 152)原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 上田 康二, 栗山 翔, 吉田 寛: 大腸穿孔に対する治療戦略 大腸憩室疾患の治療成績. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :272.
- 153)渡辺 昌則, 鈴木 英之, 松本 智司, 桜澤 信行, 川野 陽一, 谷合 信彦, 吉田 寛: 大腸穿孔手術の創汚染度細分類による SSI 発生率. 日本外科感染症学会雑誌 2019; 16 (5) :583.
- 154)園川 卓海, 松井 琢真, 竹ヶ原 京志郎, 井上 達哉, 白田 実男: 妊娠中に発症した月経随伴性気胸の1例. 気管支学 2019; 41 (4) :370-374.
- 155)岩井 拓磨, 吉田 寛, 牧野 浩司, 丸山 弘, 平方 敦史: 妊婦に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術における工夫と注意点. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :MO051-5.
- 156)太田 竜, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 上田 康二, 横山 康行, 堀田 正啓, 原 啓介, 吉田 寛: 安全性を考慮した taTME の導入と変遷 1 チームから 2 チームへ. 日本大腸肛門病学会雑誌 2019; 72 (9) :A117.
- 157)高橋 翼, 宮尾 昌樹, 吉田 寛: 小児白線ヘルニアに対する弧状切開による臍 sliding-window 法. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:SF-1.
- 158)西本 崇良, 辰口 篤志, 山田 岳史, 星本 相理, 橋野 史彦, 梅田 隆満, 片岡 宏章, 高木 信介, 大森 順, 秋元 直彦, 佐藤 航, 三井 啓吾, 河越 哲郎, 田中 周, 藤森 俊二, 岩切 勝彦: 小腸腫瘍の診療の実際:診断から内視鏡治療、手術治療、化学療法まで 原発性小腸腺癌の臨床病理学的特徴と治療の検討. 日本消化管学会雑誌 2020; 4 (Suppl.) :231.
- 159)横山 康行, 豊田 哲鎬, 和田 由大, 高橋 宏一, 谷合 信彦, 吉田 寛: 尾側および頭側アプローチを組み合わせた腹腔鏡下中結腸動脈周囲リンパ節郭清の手技. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :SF019-1.
- 160)松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 下田 朋宏, 太田 恵一朗, 吉田 寛: 局所進行食道癌手術における診断的胸腔鏡の有用性. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:P20-4.
- 161)井上 達哉, 竹ヶ原 京志郎, 松井 琢真, 松本 充生, 白田 実男: 左上葉切除術後の左上肺静脈断端に生ずる血栓形成の要因についての検討. 日本呼吸器外科学会雑誌 2019; 33 (3) :P99-2.
- 162)松本 充生, 松井 琢真, 竹ヶ原 京志郎, 井上 達哉, 白田 実男: 左上葉肺癌術後の脳梗塞発症症例に対する MRI を用いた左房内血流解析について. 日本呼吸器外科学会雑誌 2019; 33 (3) :P98-3.

- 163)和田 由大, 横山 康行, 豊田 哲鎬, 高橋 宏一, 谷合 信彦, 吉田 寛 : 左側結腸手術の内側アプローチで確実に結腸間膜背側の層に入る工夫. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :MO279-5.
- 164)向後 英樹, 山本 一仁, 宮坂 俊光, 吉森 大悟, 牧野 浩司, 吉田 寛 : 巨大肝膿瘍を伴う上行結腸癌に対し、感染制御後に根治術を施行し得た一例. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :848.
- 165)香中 伸太郎, 松下 晃, 中村 慶春, 古木 裕康, 神田 知洋, 青木 悠人, 清水 哲也, 吉岡 正人, 吉田 寛 : 巨大膵粘液性嚢胞腺腫に対して安全に腹腔鏡下膵体尾部切除術を施行するための手術手技. 日本消化器外科学会雑誌 2019; 52 (Suppl.2) :156.
- 166)野村 務, 萩原 信敏, 松谷 毅, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 牧野 浩司, 岩切 勝彦, 吉田 寛 : 巨大食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡手術 当施設における手技のポイント. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 73 回:70.
- 167)高橋 吾郎, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 太田 竜, 横山 康行, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 上田 康二, 吉田 寛 : 希少がんにおける circulating tumor DNA の有用性. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:O46-1.
- 168)高橋 吾郎, 山田 岳史, 小泉 岐博, 太田 竜, 進士 誠一, 松田 明久, 横山 康行, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 上田 康二, 吉田 寛 : 希少がんにおける circulating tumor DNA の有用性. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:O63-3.
- 169)松野 邦彦, 柿沼 大輔, 高 和英, 金沢 義一, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 牧野 浩二, 桜澤 信行, 加藤 俊二, 吉田 寛 : 当施設における残胃癌の手術症例の検討. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :614.
- 170)野村 聡, 牧野 浩司, 岩井 拓磨, 関 奈紀, 高田 英志, 平方 敦史, 丸山 弘, 吉田 寛 : 当科での胸腔鏡下食道切除術における手術操作の至適順序への取り組み. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :MO130-4.
- 171)川野陽一, 上田純志, 吉岡正人, 清水哲也, 近藤亮太, 金谷洋平, 青木悠人, 平方敦史, 高田英志, 谷合信彦, 吉田寛 : 当科での腹腔鏡下胆嚢板胆摘術の工夫. 肝臓内視鏡外科研究会プログラム・抄録集 2019; 13th
- 172)太田 竜, 後藤 学, 日月 裕司, 関川 浩司 : 当科で切除した原発性小腸腫瘍の治療現況. 日本大腸肛門病学会雑誌 2019; 72 (5) :335.
- 173)篠塚 恵理子, 松田 明久, 松本 智司, 関口 久美子, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 当科で経験した腹腔鏡補助下 DST 吻合後に再吻合を施行した3症例. 日本大腸肛門病学会雑誌 2019; 72 (9) :A225.
- 174)青木 悠人, 吉岡 正人, 清水 哲也, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 松下 晃, 中村 慶春, 吉田 寛 : 当科における ICG 蛍光法を用いた腹腔鏡下肝部分切除術 現状と展望. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :SF010-5.
- 175)進士 誠一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 内田 英二 : 当科における Transanal Endoscopic Microsurgery(TEM)施行例の検討. 日本大腸肛門病学会雑誌 2019; 72 (5) :268.
- 176)松田 明久, 山田 岳史, 松本 智司, 小泉 岐博, 櫻澤 信行, 進士 誠一, 太田 竜, 高橋 吾郎, 原 敬介, 篠塚 恵理子, 関口 久美子, 栗山 翔, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 当科における taTME 経肛門操作手技の標準化とその工夫. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :MO260-4.
- 177)関口 久美子, 松田 明久, 鴨井 久博, 小木曾 令実, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 当科における周術期口腔ケアの現況および術後合併症に対する効果. 日本外科感染症学会雑誌 2019; 16 (5) :559.
- 178)関口 久美子, 松田 明久, 鴨井 久博, 小木曾 令実, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 当科における周術期口腔ケアの現状および術後感染性合併症に対する効果. 日本手術医学会誌 2019; 40 (Suppl.) :193.
- 179)柿沼 大輔, 金沢 義一, 松野 邦彦, 高 和英, 安藤 文彦, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 牧野 浩司, 桜澤 信行, 吉田 寛 : 当科における噴門側胃切除、胃全摘術症例術後栄養状態の検討. 日本胃癌学会総会記事 2020; 92 回:409.
- 180)関口 久美子, 松田 明久, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 篠塚 恵理子, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 当科における大腸ステント (JENTLY Colonic Stent)の使用経験. 日本大腸肛門病学会雑誌 2019; 72 (9) :A250.
- 181)関口 久美子, 松田 明久, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 篠塚 恵理子, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 当科における大腸癌術後縫合不全の現状および治療方針. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :MO263-6.
- 182)神田 知洋, 中村 慶春, 松下 晃, 吉岡 正人, 清水 哲也, 金谷 洋平, 近藤 亮太, 古木 裕康, 青木 悠人, 吉田 寛 : 当科における胃切除術後総胆管結石症に対する胆管十二指腸吻合術の治療成績. 胆道 2019; 33 (3) :677.
- 183)川野陽一, 上田純志, 松本智司, 櫻澤信行, 吉岡正人, 平方敦史, 清水哲也, 高田英志, 谷合信彦, 鈴木英之, 吉田寛 : 当科における腹腔鏡下再肝切除術での Knacks&Pitfalls. 肝臓内視鏡外科研究会プログラム・抄録集 2019; 13th
- 184)川野 陽一, 上田 純志, 松本 智司, 櫻澤 信行, 松田 明久, 山初 和也, 清水 哲也, 吉岡 正人, 谷合 信彦, 鈴木 英之, 吉田 寛 :

- 当科における腹腔鏡下肝右外側領域切除術の定型化手技. 日本消化器外科学会雑誌 2019; 52 (Suppl.2) :158.
- 185)香中 伸太郎, 松田 明久, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 山初 和也, 関口 久美子, 山田 岳史, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 当科における腹部緊急手術の現況とその傾向. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :611.
- 186)金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 安藤 文彦, 藤田 逸郎, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 山田 岳史, 吉行 俊郎, 加藤 俊二, 吉田 寛 : 当科における進行・再発胃癌に対する 2'nd ラインとしての治療成績. 日本胃癌学会総会記事 2020; 92 回:291.
- 187)金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 加藤 俊二, 山田 岳史, 安藤 文彦, 保田 智彦, 輪湖 哲也, 田中 弘人, 井ノ口 岳洋, 岸田 悦子, 中村 博子, 林 太祐, 伊勢 雄也, 吉田 寛 : 当科における進行胃癌に対する 2'nd ライン(Ramucirumab+Taxane)治療の検討. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:P69-4.
- 188)松田 明久, 鈴木 英之, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 関口 久美子, 山田 岳史, 宮下 正夫, 吉田 寛 : 当科における閉塞性大腸癌に対する術前大腸ステント留置後手術の治療成績と安全な施行のための工夫. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:P147-6.
- 189)野村 聡, 牧野 浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方 敦史, 高田 英志, 岩井 拓磨, 吉岡 将史, 渡辺 昌則, 埜 秀暁, 三島 圭介, 吉田 寛 : 当科における食道癌周術期管理. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :464.
- 190)関 奈紀, 横山 正, 牧野 浩司, 吉田 寛, 武井 寛幸 : 当院での乳房手術、特に乳房温存術においての心掛けと工夫. 日本内分秘外科学会雑誌 2019; 36 (Suppl.3) :S317.
- 191)横山 正, 関 奈紀, 牧野 浩司, 武井 寛幸, 吉田 寛 : 当院での乳房手術、特に乳房温存術において心がけていること. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2019; 27 回:741.
- 192)大野 崇, 川野 陽一, 櫻澤 信行, 鈴木 英之, 宮下 正夫 : 当院で開発した先端吸引鉗子の鏡視下肝切除術での有用性. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (7) :1395.
- 193)栗山 翔, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 高橋 吾郎, 武田 幸樹, 上田 康二, 山岸 杏彌, 山下 直行, 湖山 信篤, 吉田 寛 : 当院における Ramucirumab の使用経験. 日本大腸肛門病学会雑誌 2019; 72 (9) :A203.
- 194)古木 裕康, 神田 知洋, 中村 慶春, 松下 晃, 吉岡 正人, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 吉田 寛 : 当院における単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の定型化. 胆道 2019; 33 (3) :679.
- 195)田尻 智子, 河内 寛明, 吉田 寛, 田中 瑛一郎, 野口 進, 深尾 あかり, 寺下 聡, 池上 達義, 堀川 禎夫, 杉田 孝和 : 当院における原因不明胸水貯留例に対する局所麻酔下胸腔鏡検査の検討. 気管支学 2019; 41 (Suppl.) :S249.
- 196)上田 康二, 進士 誠一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 松田 明久, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 原 敬介, 栗山 翔, 吉田 寛 : 当院における大腸癌卵巣転移に対する検討. 癌と化学療法 2019; 46 (13) :2386-2388.
- 197)栗山 翔, 山田 岳史, 原 敬介, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 上田 康二, 吉田 寛 : 当院における複雑性虫垂炎に対する待機性虫垂切除の治療成績. 日本外科感染症学会雑誌 2019; 16 (5) :538.
- 198)新井 洋紀, 櫻澤 信行, 松本 智司, 吉森 大悟, 犬飼 惇, 浅見 敬一, 久下 恒明, 関口 久美子, 篠塚 恵理子, 上田 純志, 山初 和也, 川野 陽一, 渡辺 昌則, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 当院における高齢者の胃切除後の再建法について. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :MO240-7.
- 199)大草 幹大, 丸山 弘, 横山 正, 平方 敦史, 高田 英志, 向後 英樹, 野村 聡, 岩井 拓磨, 牧野 浩司, 吉田 寛 : 後期高齢者における腹腔鏡下胃切除術後の手術部位感染の検討. 日本外科感染症学会雑誌 2019; 16 (5) :556.
- 200)水谷 聡, 谷合 信彦, 古木 裕康, 山際 亮, 吉田 寛 : 急性胆石性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術による落下結石の検討. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :332.
- 201)高橋 宏一, 横山 康行, 和田 由大, 豊田 哲鎬, 埜 秀暁, 千原 直人, 水谷 聡, 谷合 信彦, 吉田 寛 : 急性虫垂炎に対する手術-開腹?腹腔鏡? 単孔プラス1ポートによる虫垂切除術の治療成績. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :WS13-2.
- 202)大地 洋輔, 高橋 吾郎, 山田 岳史, 小泉 岐博, 太田 竜, 進士 誠一, 松田 明久, 横山 康行, 堀田 正啓, 原 敬介, 武田 幸樹, 上田 康二, 栗山 翔, 日下部 誠, 吉田 寛 : 急性虫垂炎保存的加療中に嫌気性菌による敗血症性 DIC を続発した 1 例. 日本大腸肛門病学会雑誌 2019; 72 (9) :A260.
- 203)小川 祐太郎, 進士 誠一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 太田 竜, 松田 明久, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 原 敬介, 上田 康二, 栗山 翔, 吉田 寛 : 所属リンパ節に内膜症組織を認めた腸管子宮内膜症の 3 例. 日本消化器病学会関東支部例会プログラム・抄録集 2019; 357 回:25.

- 204)吉岡 正人, 吉田 寛, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人 : 手術(シャント造設術を含めて)胃食道静脈瘤に対する Hassab 手術の適応、手技. 日本門脈圧亢進症学会雑誌 2019; 25 (3) :130.
- 205)清水 哲也, 吉岡 正人, 平方 敦史, 川野 陽一, 上田 純志, 高田 英志, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 谷合 信彦, 真々田 裕 宏, 吉田 寛 : 手術(シャント造設術を含めて)難治性腹水に対する腹腔静脈シャント挿入術. 日本門脈圧亢進症学会雑誌 2019; 25(3):132.
- 206)丸山 弘, 牧野 浩司, 吉田 寛 : 抗 MRSA 薬の適正使用 MRSA の軟部組織感染症の治療 抗菌薬の使い分け. 日本外科感染症学会雑誌 2019; 16 (5) :456.
- 207)香中 伸太郎, 松田 明久, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 原田 潤一郎, 関口 久美子, 増田 寛喜, 宮下 正夫, 吉田 寛 : 抗血 栓薬内服症例に対する腹部緊急手術の周術期成績. 日本消化器外科学会雑誌 2019; 52 (4) :191-197.
- 208)櫻澤 信行, 松本 智司, 川野 陽一, 山初 和也, 上田 純志, 新井 洋紀, 篠塚 恵理子, 関口 久美子, 久下 恒明, 松田 明久, 渡辺 昌則, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 新しい医療機器の開発と臨床応用 内視鏡手術用「先端吸引鉗子」の開発と臨床応用. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :340.
- 209)櫻澤 信行, 松本 智司, 川野 陽一, 山初 和也, 上田 純志, 新井 洋紀, 篠塚 恵理子, 関口 久美子, 久下 恒明, 浅見 敬一, 渡辺 昌則, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 新規開発「頭部位置ポインターシステム」の腹腔鏡手術における有用性. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :MO095-6.
- 210)川島 吉之, 山田 達也, 江原 一尚, 福田 俊, 新井 修, 三島 圭介, 石川 喜也, 伊藤 謙, 田中 洋一, 坂本 裕彦, 神田 浩明 : 早 期胃癌に対する噴門側胃切除・食道残胃吻合法の成果. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:PS-3.
- 211)竹ヶ原 京志郎, 松本 充生, 松井 琢真, 井上 達哉, 白田 実男 : 気管支鏡下肺生検後に膿胸を併発した粘液産生性粘液非産生性混合型 肺腺癌の1切除例. 肺癌 2019; 59 (3) :320.
- 212)浅見 敬一, 上田 純志, 鈴木 英之, 渡邊 昌則, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 新井 洋紀, 篠塚 恵理子, 関口 久美子, 久下 恒明, 犬飼 惇, 吉森 大悟, 吉田 寛 : 気腫性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の手術手技. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40(2) :380.
- 213)八木 孝, 横山 雄章, 塩田 美桜, 水谷 聡, 石川 真由美, 南 史朗 : 汎下垂体機能低下症を合併した両側副腎原発悪性リンパ腫 (DLBCL)の一例. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (1) :375.
- 214)山田 岳史, 横山 康行, 吉田 寛 : 消化器領域の難治癌の臨床 Liquid biopsy を用いた高度進行直腸癌の集学的治療. 日本消化器病学会雑誌 2019; 116 (臨増大会) :A500.
- 215)Jamjitrong Supaschin, 松田 明久, 鈴木 英之, 横室 茂樹, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 宮下 正夫, 吉田 寛 : 消化管吻合に おける非ステロイド系消炎鎮痛剤の縫合不全への影響 メタ解析による検討. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (3) :148.
- 216)牧野 浩司, 野村 聡, 丸山 弘, 横山 正, 平方 敦史, 高田 英志, 岩井 拓磨, 吉岡 将史, 吉田 寛 : 消化管外科手術における縫合不 全対策について考える 1 食道・胃癌術後縫合不全対策と低侵襲な内視鏡的治療の工夫. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :341.
- 217)中井麻木, 佐藤あい, 范姜明志, 栗田智子, 柳原恵子, 武井寛幸, 高橋吾郎, 山田岳史 : 濃厚な家族歴を有する患者への遺伝カウンセ リングの重要性. 日本人類遺伝学会大会プログラム・抄録集 2019; 64th
- 218)松井 隆典, 太田 竜, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 原 敬介, 上田 康二, 吉田 寛 : 無月経の精査にて偶発的に発見され切除した tailgut cyst の一例. 日本外科系連合学会誌 2019; 44 (3) :618.
- 219)中田 亮輔, 兵藤 文紀, 村田 正治, 江藤 比奈子, 赤星 朋比古, 谷合 信彦, 橋爪 誠 : 生体レドックス評価による非アルコール性脂 肪肝炎の早期病態評価. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:O41-1.
- 220)竹ヶ原 京志郎, 松本 充生, 松井 琢真, 井上 達哉, 白田 実男 : 異時性及び同時性多発肺癌に対する治療戦略. 日本呼吸器外科学会雑誌 2019; 33 (3) :P58-6.
- 221)瀬谷 知子, 鈴木 英之, 渡邊 昌則, 堀田 光二, 松本 智司, 川野 陽一, 山初 和也, 篠塚 恵理子, 関口 久美子, 三上 麻衣, 高市 直子, 中田 千博, 實川 東洋, 吉田 寛 : 病理学的 CR を得た stageIV 胃癌に対する conversion therapy の 3 例. 日本癌治療学会学術集会 抄録集 2019; 57 回:P73-8.
- 222)松田 明久, 山田 岳史, 松本 智司, 小泉 岐博, 進士 誠一, 太田 竜, 高橋 吾郎, 原 敬介, 篠塚 恵理子, 関口 久美子, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 癌集学的治療と術後外科感染症 閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置後手術においても術後合併症の発生は予後不良因子で ある. 日本外科感染症学会雑誌 2019; 16 (5) :496.
- 223)的場 秀亮, 吉田 寛, 平方 敦史, 瀬田 真祐, 牧野 浩司, 横山 正, 丸山 弘, 上田 純志, 高田 英志 : 直腸切除術 15 ヶ月後に端側

- 吻合盲端部に微小穿孔をきたした1例. 日本外科系連合学会誌 2019; 44 (4) :787-791.
- 224)横山 康行, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 原 敬介, 武田 幸樹, 上田 康二, 松本 智司, 太田 恵一朗, 吉田 寛 : 直腸手術後縫合不全の保存的治療におけるドレーン位置の重要性. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119回:PS-172.
- 225)進士 誠一, 山田 岳史, 太田 竜, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 原 敬介, 吉田 寛 : 直腸癌に対する腹腔鏡下前方切除術後の縫合不全と長期予後に与える影響. 日本消化器外科学会総会 2019; 74回:P150-2.
- 226)原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 上田 康二, 栗山 翔, 吉田 寛 : 直腸癌局所再発に対して化学放射線療法が奏効した1例. 癌と化学療法 2019; 46 (13) :2143-2145.
- 227)林 光希, 高橋 吾郎, 山田 岳史, 小泉 岐博, 太田 竜, 進士 誠一, 松田 明久, 堀田 正啓, 原 敬介, 武田 幸樹, 上田 康二, 栗山 翔, 吉田 寛 : 直腸肛門部悪性黒色腫に対し、腹腔鏡下腹会陰式直腸切断術を施行し、長期無再発生存が得られている1例. 日本消化器病学会関東支部例会プログラム・抄録集 2019; 356回:45.
- 228)森谷 圭介, 三島 公彦, 鎮守 信弘, 劉 中憲, 古田 美智子, 晴佐久 悟, 岡部 優花, 神田 晋爾 : 福岡市の妊婦歯科健診受診者でのつわりによる口腔保健行動の変化. 口腔衛生学会雑誌 2020; 70 (増刊) :109.
- 229)松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 下田 朋宏, 太田 恵一朗, 吉田 寛 : 私の鏡視下手術-さらに手術のヒト工夫-胸部・上部消化管 胸部食道癌に対する縦隔鏡下左上縦隔リンパ節郭清を先行する腹臥位胸腔鏡下食道切除術. 日本外科系連合学会誌 2019; 44 (3) :478.
- 230)香中 伸太郎, 太田 竜, 横山 康行, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 原 敬介, 内藤 善哉, 吉田 寛 : 粘膜下腫瘍様の形態を呈した壁外発育型横行結腸癌の1例. 日本消化器病学会関東支部例会プログラム・抄録集 2019; 354回:37.
- 231)原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 青木 悠人, 上田 康二, 吉田 寛 : 経鼻減圧管留置中に順行性腸重積を繰り返した1例. 日本腹部救急医学会雑誌 2019; 39 (5) :887-890.
- 232)小森 啓正, 岩井 拓磨, 牧野 浩司, 丸山 弘, 横山 正, 吉田 寛 : 結腸切除術後、温存した上直腸動脈により絞扼性腸閉塞を起こした1例. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :414.
- 233)日下部 誠, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 上田 康二, 横山 康行, 堀田 正啓, 原 敬介, 吉田 寛 : 結腸直腸癌症例における尿中 cell-free DNA の抽出および RAS 遺伝子変異の解析の試み(RAS mutation analysis using cell-free DNA in urine from patients with colorectal cancer). 日本癌学会総会記事 2019; 78回:P-1119.
- 234)久下 恒明, 山初 和也, 渡邊 昌則, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 上田 純志, 新井 洋紀, 篠塚 恵理子, 関口 久美子, 浅見 敬一, 吉森 大悟, 犬飼 惇, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 絞扼性胆嚢炎の一例. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :856.
- 235)松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 下田 朋宏, 太田 恵一朗, 吉田 寛 : 縦隔鏡下に左上縦隔リンパ節郭清を先行する腹臥位胸腔鏡下食道切除術. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 73回:77.
- 236)柿沼 大輔, 金沢 義一, 松野 邦彦, 野村 務, 萩原 信敏, 松谷 毅, 桜澤 信行, 吉田 寛 : 耐術能の乏しい高齢者胃癌に対し腹腔鏡・内視鏡合同手術にて局所切除を試みた4例. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :MO242-7.
- 237)重盛 治彦, 青木 悠人, 中村 慶春, 吉岡 正人, 松下 晃, 清水 哲也, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 吉田 寛 : 肉眼的門脈腫瘍栓を伴う大腸癌肝転移の1切除例. 日本消化器病学会関東支部例会プログラム・抄録集 2019; 355回:28.
- 238)青木 悠人, 吉岡 正人, 清水 哲也, 中村 慶春, 松下 晃, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 古木 裕康, 吉田 寛 : 肝切除の Navigation Surgery 現状と課題、そして展望… . 日本消化器外科学会総会 2019; 74回:P180-6.
- 239)金谷 洋平, 吉岡 正人, 清水 哲也, 神田 知洋, 近藤 亮太, 古木 裕康, 青木 悠人, 真々田 裕宏, 吉田 寛 : 肝嚢胞に対する腹腔鏡下手術の有用性. 日本消化器外科学会総会 2019; 74回:P174-4.
- 240)上田 純志, 川野 陽一, 鈴木 英之, 渡邊 昌則, 松本 智司, 櫻澤 信行, 山初 和也, 新井 洋紀, 篠塚 恵理子, 関口 久美子, 久下 恒明, 浅見 敬一, 平方 敦史, 高田 英志, 吉田 寛 : 肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除術の短期成績と長期予後の検討. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :MO187-5.
- 241)春名 孝洋, 岩井 拓磨, 牧野 浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方 敦史, 吉田 寛 : 肝細胞癌の眼球転移による疼痛に対して放射線照射が著効した一例. 日本外科系連合学会誌 2019; 44 (3) :600.
- 242)吉岡 正人, 吉田 寛, 清水 哲也, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 中村 慶春, 松下 晃 : 肝胆脾領域の Reduced

- port surgery 当科における Reduced port surgery を取り入れた腹腔鏡下肝切除術. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :WS21-4.
- 243) 松下 晃, 中村 慶春, 山初 和也, 住吉 宏樹, 神田 知洋, 古木 裕康, 清水 哲也, 吉岡 正人, 横山 正, 吉田 寛 : 肝胆膵領域における腹腔鏡手術の困難例とは? 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術における切除での安全性を高める手法について. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:WS-26.
- 244) 青木 悠人, 吉岡 正人, 中村 慶春, 松下 晃, 川野 陽一, 清水 哲也, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 谷合 信彦, 吉田 寛 : 肝臓外科における蛍光ガイド下手術の現状、そして展望… . 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :474.
- 245) 青木 悠人, 吉岡 正人, 中村 慶春, 松下 晃, 川野 陽一, 清水 哲也, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 古木 裕康, 谷合 信彦, 吉田 寛 : 肝門部領域胆管癌の術前胆汁および術後ドレーン排液培養結果の検討. 胆道 2019; 33 (3) :498.
- 246) 松野 邦彦, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 藤田 逸郎, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 桜澤 信行, 牧野 浩司, 吉田 寛 : 胃がん患者における cfDNA を用いた copy number variation の同定. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:P65-5.
- 247) 久下 恒明, 櫻澤 信行, 鈴木 英之, 横室 茂樹, 松本 智司, 川野 陽一, 松田 明久, 山初 和也, 篠塚 恵理子, 原田 潤一郎, 関口 久美子, 安藤 文彦, 増田 有香, 大野 崇, 宮下 正夫, 吉田 寛 : 胃全摘術での膵周囲郭清における LCS 及び電気メスを用いた場合の術後膵液漏の比較検討. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (8) :1586.
- 248) 増田 有香, 柿沼 大輔, 金沢 義一, 松野 邦彦, 高 和英, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 牧野 浩司, 櫻澤 信行, 吉田 寛 : 胃切除後難治性乳糜腹水に対し開腹リンパ管結紮術を施行した 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :762.
- 249) 下田 朋宏, 和田 龍一, 高 和英, 新井 洋紀, 松野 邦彦, 柿沼 大輔, 萩原 信敏, 金沢 義一, 藤田 逸郎, 松谷 毅, 野村 務, 太田 恵一郎, 内藤 善哉, 吉田 寛 : 胃癌における protein disulfide isomerase A3 の発現と臨床病理学的因子との関連. 日本消化器外科学会雑誌 2019; 52 (Suppl.2) :207.
- 250) 吉田 真人, 上田 康二, 近藤 匡慶, 菅谷 量俊, 青木 利恵, 牧野 浩司, 吉田 寛, 高瀬 久光 : 胃癌に対する SOX 療法後の Paclitaxel/Ramucirumab 療法による末梢神経障害の増悪に対し Duloxetine が有用であった 1 例. 医薬品相互作用研究 2019; 43 (2) :112-116.
- 251) 高 和英, 金沢 義一, 藤田 逸郎, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 下田 朋宏, 野村 務, 松谷 毅, 萩原 信彦, 山田 岳史, 太田 恵一郎, 吉田 寛 : 胃癌のバイオマーカーとしての ccf-DNA. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:PS-6.
- 252) 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 藤田 逸郎, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 吉行 俊郎, 加藤 俊二, 吉田 寛 : 胃癌化学療法の変遷. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :155-163.
- 253) 金沢 義一, 藤田 逸郎, 山田 岳史, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 高 和英, 保田 智彦, 安藤 文彦, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 加藤 俊二, 吉田 寛 : 胃癌手術患者における予後とサロゲートマーカーとしての大腰筋面積の意義. 日本消化器外科学会雑誌 2019; 52 (Suppl.2) :109.
- 254) 金沢 義一, 藤田 逸郎, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 新井 洋樹, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 加藤 俊二, 山田 岳史, 牧野 浩司, 吉田 寛 : 胃癌手術患者の骨格筋量と予後の関係 大腰筋断面積(maximum cross sectional areapsoas muscle: MCA-PM)比を用いて. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:PS-5.
- 255) 松山 仁, 木村 豊, 西川 和宏, 岸 健太郎, 井上 健太郎, 赤丸 祐介, 田村 茂行, 川端 良平, 川田 純司, 川瀬 朋乃, 菅野 仁士, 山田 岳史, 内田 英二, 下川 敏雄, 今村 博司, 関西消化器癌栄養研究会 : 胃癌術後早期の成分栄養剤(エレンタール)による栄養介入の長期効果に関する検討. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:RT10-2.
- 256) 西川 和宏, 木村 豊, 岸 健太郎, 井上 健太郎, 松山 仁, 赤丸 祐介, 田村 茂行, 柳本 喜智, 川田 純司, 川瀬 朋乃, 川端 良平, 菅野 仁士, 山田 岳史, 内田 英二, 下川 敏雄, 今村 博司, 関西消化器癌栄養研究会 : 胃癌術後症例に対する早期の成分栄養剤介入が術後晩期の体重減少と骨格筋量に及ぼす影響に関する検討. 日本胃癌学会総会記事 2020; 92 回:274.
- 257) 大草 幹大, 牧野 浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方 敦史, 高田 英志, 向後 英樹, 野村 聡, 岩井 拓磨, 吉田 寛 : 胃粘膜下腫瘍との鑑別が困難であった Solitary fibrous tumor の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :822.
- 258) 吉森 大悟, 上田 純志, 川野 陽一, 山初 和也, 鈴木 英之, 渡辺 昌則, 松本 智司, 櫻澤 信行, 新井 洋紀, 篠塚 恵理子, 関口 久美子, 保田 智彦, 久下 恒明, 浅見 敬一, 犬飼 惇 : 胆嚢十二指腸瘻を有する胆石イレウスの 2 例. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :358.
- 259) 助川 誠, 水谷 聡, 谷合 信彦, 中田 亮輔, 渡辺 昌則, 吉田 寛 : 胆石症に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術における当科での開腹移行につ

- いて. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:P208-6.
- 260)遠藤 憲彦, 神田 知洋, 古木 裕康, 中村 慶春, 松下 晃, 吉岡 正人, 清水 哲也, 金谷 洋平, 近藤 亮太, 青木 悠人, 吉田 寛 : 胆石胆嚢炎を呈した重複胆嚢に対して腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した1例. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (8) :1587.
- 261)松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 下田 朋宏, 太田 惠一朗, 吉田 寛 : 胸腔鏡下食道切除・再建術での胃管挙上の問題点と手技の工夫. 日本消化器外科学会雑誌 2019; 52 (Suppl.2) :211.
- 262)牧野 浩司, 野村 聡, 丸山 弘, 平方 敦史, 高田 英志, 岩井 拓磨, 吉岡 将史, 吉田 寛 : 胸腔鏡食道切除術(VATS-E)の106recL郭清にてストリッピングで術野展開し麻痺を減らす工夫. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :SF077-1.
- 263)進士 誠一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 原 敬介, 武田 幸樹, 上田 康二, 吉田 寛 : 脾彎曲部横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術手技と成績. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:PS-132.
- 264)高橋 應仁, 若栗 大朗, 出川 龍哉, 須崎 真, 川井 真, 安武 正弘, 青木 悠人, 清水 哲也, 吉岡 正人, 吉田 寛 : 腰椎化膿性脊椎炎から2次性胆嚢炎を来した1例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :249.
- 265)松永 龍, 原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 上田 康二, 栗山 翔, 吉田 寛 : 腸回転異常症により診断に難渋した虫垂穿孔性腹膜炎の一例. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :306.
- 266)太田 竜, 山田 岳史, 原 敬介, 上田 康二, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 高橋 吾郎, 松田 明久, 進士 誠一, 小泉 岐博, 吉田 寛 : 腸閉塞全国調査から導き出した大腸癌術後腸閉塞の治療成績. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:P74-6.
- 267)水谷 聡, 谷合 信彦, 古木 裕康, 塩田 美桜, 関谷 健太, 和田 尚人, 千原 直人, 相本 隆幸, 中村 慶春, 吉田 寛 : 腹腔動脈合併尾側瘻切除(DP-CAR)における根治切除可否のポイント. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :497.
- 268)千原 直人, 谷合 信彦, 中田 亮輔, 吉田 寛 : 腹腔鏡下ヘルニア修復術における合成吸収性癒着防止材の貼付の工夫. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :MO346-3.
- 269)岩井 拓磨, 丸山 弘, 山田 哲史, 吉田 寛 : 腹腔鏡下人工肛門造設術の有用性と手技の工夫. 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌 2020; 36 (1) :239.
- 270)神田 知洋, 中村 慶春, 松下 晃, 吉岡 正人, 清水 哲也, 古木 裕康, 青木 悠人, 吉田 寛 : 腹腔鏡下先天性胆道拡張症手術の導入 Swine ウェットラボ胆道再建実習モデルにおける運針手技の習得法. 日本膵・胆管合流異常研究会プロシーディングス 2019; 42:48.
- 271)伊藤 謙, 江原 一尚, 新井 修, 三島 圭介, 山田 達也, 川島 吉之, 坂本 裕彦 : 腹腔鏡下噴門側胃切除における食道胃管吻合および術後QOL評価. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:SF-4.
- 272)Kamonvarapitak Tunyaporn, 松田 明久, 鈴木 英之, 横室 茂樹, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 宮下 正夫, 吉田 寛 : 腹腔鏡下大腸切除後の感染性合併症予測におけるリンパ球 単球比の有用性. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (3) :147-148.
- 273)川野 陽一, 上田 純志, 松本 智司, 櫻澤 信行, 吉岡 正人, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 谷合 信彦, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 腹腔鏡下左肝切除術は、どこまでの腫瘍径に施行可能か?. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :SF082-5.
- 274)塙 秀暁, 三島 圭介, 山際 亮, 和田 尚人, 千原 直人, 水谷 聡, 谷合 信彦, 吉田 寛 : 腹腔鏡下幽門側胃切除術の手技の定型化とその治療成績. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :MO007-2.
- 275)川野 陽一, 上田 純志, 松本 智司, 櫻澤 信行, 吉岡 正人, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 谷合 信彦, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 腹腔鏡下手術における癒着防止処置 コークスクリュー挿入法による癒着防止剤貼付. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊):485.
- 276)川野 陽一, 松本 智司, 櫻澤 信行, 松田 明久, 山初 和也, 吉岡 正人, 清水 哲也, 谷合 信彦, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 腹腔鏡下肝切除術における再肝切除の Knacks & Pitfalls. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:O16-2.
- 277)近藤 亮太, 吉岡 正人, 青木 悠人, 金谷 洋平, 神田 知洋, 清水 哲也, 松下 晃, 中村 慶春, 吉田 寛 : 腹腔鏡下肝嚢胞切除術の治療成績. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :MO295-1.
- 278)川野 陽一, 松本 智司, 櫻澤 信行, 松田 明久, 山初 和也, 谷合 信彦, 吉岡 正人, 清水 哲也, 青木 悠人, 宮下 正夫, 吉田 寛 : 腹腔鏡下肝部分切除術困難例に対する対処法. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:PS-067.
- 279)中村 慶春, 神田 知洋, 吉田 寛 : 腹腔鏡下胆道再建術の工夫と治療成績 腹腔鏡下胆道消化管吻合 ドライ&ウェットラボ胆道再建実習モデルによる運針手技習熟法の有用性について. 胆道 2019; 33 (3) :448.
- 280)清水 哲也, 吉岡 正人, 松下 晃, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 中村 慶春, 真々田 裕宏, 吉田 寛 : 腹腔鏡下脾臓摘出術の現在と未来 当科における腹腔鏡下脾臓摘出術の現状と今後の展望. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :WS23-2.

- 281)松下 晃, 中村 慶春, 青木 悠人, 近藤 亮太, 神田 知洋, 清水 哲也, 吉岡 正人, 吉田 寛 : 腹腔鏡下臍頭十二指腸切除術(Lap-PD)の安全な導入とその普及 腹腔鏡下臍頭十二指腸切除術を安全に施行するための工夫 Trans-mesocolic approach の有用性について. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :PD6-6.
- 282)後藤 修, 柿沼 大輔 : 腹腔鏡内視鏡合同手術 (LECS) の現況と展望. 日本消化器内視鏡学会雑誌 2019; 61 (10) :2327-2336. doi: 10.11280/gee.61.2327.
- 283)中村 慶春, 神田 知洋, 松下 晃, 古木 裕康, 吉岡 正人, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 増田 寛喜, 吉田 寛 : 腹腔鏡手術のポイント 先天性胆道拡張症(成人例)に対する腹腔鏡下肝外胆管切除+腹腔鏡下肝管空腸吻合術について. 日本膵・胆管合流異常研究会プロシーディングス 2019; 42:40-41.
- 284)松井 隆典, 中村 慶春, 松下 晃, 日下部 誠, 古木 裕康, 神田 知洋, 清水 哲也, 吉岡 正人, 青木 悠人, 吉田 寛 : 腹腔鏡手術時代における臍鉤部周囲の局所解剖について. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:RS8-1.
- 285)久下 恒明, 櫻澤 信行, 渡辺 昌則, 松本 智司, 川野 陽一, 山初 和也, 上田 純志, 新井 洋紀, 篠塚 恵理子, 関口 久美子, 浅見 敬一, 吉森 大悟, 犬飼 惇, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 腹腔鏡補助下幽門側胃切除術後に発症した胃空腸吻合部重積の一例. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :MO105-6.
- 286)萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 高和 英, 上田 康二, 遠藤 憲彦, 神田 知洋, 吉田 寛 : 腹部救急疾患に対する新しい画像診断、医療機器の進歩 腹部救急疾患における術中赤外観察カメラシステムを用いた診断・治療方針の決定. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :268.
- 287)香中 伸太郎, 松田 明久, 山田 岳史, 新井 正徳, 瀧口 徹, 田山 英樹, 太田 竜, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 原 敬介, 横田 裕行, 吉田 寛 : 腹部救急領域における反省の一例を真摯に語る 治療に難渋した血管型エーラスダンロス症候群に伴う下部消化管穿孔の1例から学んだこと. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :282.
- 288)栗山 翔, 山田 岳史, 高橋 吾郎, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 武田 幸樹, 上田 康二, 山岸 杏彌, 山下 直行, 湖山 信篤, 吉田 寛 : 腺癌と mixed adenoneuroendocrine carcinoma(MANEC)の S 状結腸重複癌の一例. 日本消化器外科学会雑誌 2019; 52 (Suppl.2) :194.
- 289)安康 勝喜, 原 啓介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 上田 康二, 栗山 翔, 吉田 寛 : 膀胱浸潤に対し分子標的薬を含む術前化学療法により Conversion therapy が可能となった局所進行 S 状結腸癌の 2 例. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :638.
- 290)宮下 正夫, 山田 真吏奈, 吉川 元起, 渡辺 純子, 江藤 力, 山田 聡, 吉田 寛, 松田 明久 : 膜型表面応力センサによる新規大腸癌スクリーニング法(New technology for colorectal cancer detection using Membrane-type Surface stress Sensor(MSS) plus AI data analysis). 日本癌学会総会記事 2019; 78 回:P-1117.
- 291)松下 晃, 中村 慶春, 青木 悠人, 近藤 亮太, 神田 知洋, 清水 哲也, 吉岡 正人, 吉田 寛 : 膵癌に対する腹腔鏡下膵体尾部切除術 pros & cons 膵癌に対する腹腔鏡下膵体尾部切除術の短期および長期手術成績. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :WS39-7.
- 292)松下 晃, 中村 慶春, 神田 知洋, 古木 裕康, 青木 悠人, 清水 哲也, 川野 陽一, 吉岡 正人, 吉田 寛 : 膵神経内分泌腫瘍に対する腹腔鏡下膵切除術の手術成績. 日本消化器外科学会雑誌 2019; 52 (Suppl.2) :156.
- 293)山初 和也, 川野 陽一, 上田 純志, 松本 智司, 櫻澤 信行, 松田 明久, 篠塚 恵理子, 原田 潤一郎, 関口 久美子, 安藤 文彦, 久下 恒明, 増田 有香, 大野 崇, 中村 慶春, 松下 晃, 横山 正, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 臍頭十二指腸切除後胆管空腸吻合部狭窄および肝内胆管結石症に対する内視鏡治療を考慮した術中の工夫点. 日本消化器外科学会雑誌 2019; 52 (Suppl.2) :233.
- 294)山初 和也, 川野 陽一, 上田 純志, 松本 智司, 櫻澤 信行, 松田 明久, 渡辺 昌則, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 臍頭十二指腸切除術後胆管炎に対し通常内視鏡を使用した治療経験. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :319.
- 295)丸山 弘, 牧野 浩司, 吉田 寛 : 薬剤耐性菌感染症の治療戦略-それぞれの職種の立場から- 薬剤耐性菌感染症の治療戦略 医師の立場から. 日本外科感染症学会雑誌 2019; 16 (5) :424.
- 296)原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 上田 康二, 栗山 翔, 吉田 寛 : 虫垂切除 複雑性虫垂炎に対する待機的虫垂切除の治療成績. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :361.
- 297)松本 智司, 篠塚 恵理子, 関口 久美子, 松田 明久, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 久下 恒明, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 虫垂切除術 教育機関における鏡視下虫垂切除術. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :427.

- 298)栗山 翔, 原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 上田 康二, 吉田 寛 : 虫垂炎に対する腹腔鏡下虫垂切除術. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :SF061-3.
- 299)栗山 翔, 山田 岳史, 下山 ライ, 吉田 陽一郎, 湯川 寛夫, 篠塚 恵理子, 塩谷 猛, 落合 秀人, 吉田 寛, 市川 大輔, 幸田 圭史, 富田 尚裕, 石田 秀行, 平田 敬治, 坂本 一博 : 虫垂炎術後癒着性腸閉塞はドレーン挿入例に多い. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :589.
- 300)関口 久美子, 松田 明久, 山田 真吏奈, 横室 茂樹, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 山初 和也, 宮下 正夫, 吉田 寛 : 血中 Osteopontin 値は消化器外科手術の周術期合併症予測に有用である. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:PS-7.
- 301)清水 貴夫, 谷合 信彦, 千原 直人, 野村 聡, 関谷 健太, 吉田 寛 : 術中に診断し腹腔鏡下虫垂切除術を施行した虫垂捻転の 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (3) :483-486.
- 302)鈴木 幹人, 菊池 友太, 牧野 浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方 敦史, 新井 悟, 細根 勝, 吉田 寛 : 術中偶発的に発見された小腸真性憩室に対し、小腸部分切除術を施行した一例. 日本外科系連合学会誌 2019; 44 (3) :593.
- 303)山下 貴正, 松谷 毅, 萩原 信敏, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 松田 明久, 金谷 洋平, 野村 務, 吉田 寛 : 術前 CT 検査にて診断し得た膀胱ヘルニア嵌頓の 2 例. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :377.
- 304)久保田 友紀, 原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 上田 康二, 太田 恵一郎, 吉田 寛 : 術前に経皮的動脈弁バルーン形成術を行った重度動脈弁狭窄症合併盲腸癌の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (7) :1423.
- 305)政井 友子, 望月 祐代, 上村 明子, 山田 岳史, 松田 明久, 小泉 岐博, 進士 誠一, 太田 竜, 栗山 翔, 吉田 寛 : 術前に入念なシミュレーションにより腹腔鏡下直腸切除術を施行し得た高度脊柱後彎症の 1 例. 日本手術医学会誌 2019; 40 (Suppl.) :175.
- 306)上田 康二, 小泉 岐博, 山田 岳史, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 栗山 翔, 吉田 寛 : 術前補助化学療法を行なった局所進行直腸癌の予後. 日本大腸肛門病学会雑誌 2019; 72 (9) :A147.
- 307)萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 梅澤 裕己, 中溝 宗永, 横島 一彦, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 太田 恵一郎, 吉田 寛 : 複数科合同での食道切除後の特殊な臓器再建時における術中 ICG 蛍光法による可視化での血流評価. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:SF-7.
- 308)松井 隆典, 柿沼 大輔, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 松野 邦彦, 下田 朋宏, 高 和英, 樋口 和寿, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦, 吉田 寛 : 貧血・低蛋白血症に対し胃全摘術が有効であった若年性ポリポーシスの 1 例. Progress of Digestive Endoscopy 2019; 95 (Suppl.) :93.
- 309)小川 祐太郎, 清水 哲也, 吉岡 正人, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 神田 知洋, 松下 晃, 中村 慶春, 真々田 裕宏, 吉田 寛, 金子 恵子 : 超音波内視鏡膵管穿刺とランデブー法を用いて副乳頭切開を施行した Pancreas divisum の 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :264-265.
- 310)江原 一尚, 新井 修, 伊藤 譲, 三島 圭介, 山田 達也, 川島 吉之, 坂本 裕彦 : 進行胃癌に対する Cross-over 法を用いた腹腔鏡下膈上縁 D2 リンパ節郭清. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:SF-2.
- 311)松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 下田 朋宏, 太田 恵一郎, 吉田 寛 : 進行食道癌手術における診断的胸腔鏡の有用性の検討. Gastroenterological Endoscopy 2019; 61 (Suppl.1) :901.
- 312)原 敬介, 山田 岳史, 廣瀬 樹, 小泉 岐博, 進士 誠一, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 上田 康二, 大和田 勇人, 吉田 寛 : 運動量と睡眠時間が化学療法的好中球減少に与える影響についての検討. 外科と代謝・栄養 2020; 54 (1) :36-41.
- 313)三島 圭介, 福田 俊, 岡 大嗣, 柴本 峰彩子, 谷島 翔, 川島 吉之, 田中 洋一, 吉井 貴子, 原 浩樹, 有馬 美和子 : 長径 4cm 以上の GE 食道胃接合部癌に対する下縦隔リンパ節郭清の検討. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 73 回:299.
- 314)三島 圭介 : 長径 4cm 以上の食道胃接合部癌における胃切除範囲の検討. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:SF-2.
- 315)粕川 宗太郎, 安松 比呂志, 船木 裕, 上田 太一郎, 山本 真梨子, 阪本 太吾, 利光 靖子, 益子 一樹, 松本 尚, 松田 明久, 櫻澤 信行, 横田 裕行 : 長期の腸管皮膚瘻に対する OTSC による瘻孔閉鎖の成功例. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2019; 9 (1) :201.
- 316)山下 直行, 栗山 翔, 山岸 杏彌, 湖山 信篤, 櫻澤 信行, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 吉田 寛 : 長期予後から見た噴門側胃切除の有用性 残遺癌発生を中心に. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:PS-8.
- 317)林 光希, 進士 誠一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 太田 竜, 松田 明久, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 原 敬介, 武田 幸樹, 上田 康二, 栗山 翔, 吉田 寛 : 長期生存が得られている直腸悪性黒色腫の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :850.

- 318)白井 清香, 上田 達夫, 杉原 史恵, 安井 大祐, 斉藤 英正, 金 史英, 横田 裕行, 吉田 寛, 汲田 伸一郎: 門亢症に対する IVR 治療の進歩~難治例・難渋例に対する工夫~ 腸管壊死を伴う超重症門脈血栓症に対して、腸管切除及び開腹下 IVR によるハイブリッド治療により良好な転機を辿った 2 例. 日本門脈圧亢進症学会雑誌 2019; 25 (3) :62.
- 319)高田 英志, 平方 敦史, 吉田 寛: 門脈圧亢進症:内視鏡治療、IVR 治療、手術療法の到達点と課題 内視鏡、IVR、手術を駆使した難治性静脈瘤・脳症・腹水の治療. 肝臓 2019; 60 (Suppl.1) :A126.
- 320)谷合 信彦, 吉田 寛: 門脈圧亢進症:内視鏡治療、IVR 治療、手術療法の到達点と課題 門脈圧亢進症に対する外科手術の役割. 肝臓 2019; 60 (Suppl.1) :A125.
- 321)清水 哲也, 吉岡 正人, 平方 敦史, 川野 陽一, 神田 知洋, 上田 純志, 高田 英志, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 谷合 信彦, 真々田 裕宏, 吉田 寛: 門脈圧亢進症の診断法と治療法の最前線 難治性腹水に対する腹腔静脈シャント術の実際. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :400.
- 322)向後 英樹, 坂田 義則, 高崎 秀明, 牧野 浩司, 吉田 寛: 門脈気腫を伴う腸閉塞症例に対し嚴重に経過を見ることで保存的に加療しえた一例. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :393.
- 323)香中 伸太郎, 松田 明久, 山田 岳史, 松本 智司, 小泉 岐博, 太田 竜, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 堀田 政啓, 原 敬介, 武田 幸樹, 関口 久美子, 上田 康二, 栗山 翔, 吉田 寛: 閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置後手術における至適待期待期間に関する検討. Progress of Digestive Endoscopy 2019; 96 (Suppl.) :s142.
- 324)松田 明久, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 山初 和也, 関口 久美子, 山田 岳史, 宮下 正夫, 吉田 寛: 閉塞性大腸癌に対する術前減圧は大腸ステント、経肛門的減圧管のどちらが有効か?自験例とメタ解析による検討. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:SF-8.
- 325)松田 明久, 高橋 吾郎, 豊田 哲鎬, 山田 岳史, 松本 智司, 小泉 岐博, 進士 誠一, 太山 竜, 横山 康行, 関口 久美子, 吉田 寛: 閉塞性大腸癌の治療戦略 閉塞性大腸癌に対する安全かつ効果的な BTS 根治性を考慮したバンドル管理の重要性. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :263.
- 326)山田 岳史, 小泉 岐博, 松田 明久, 進士 誠一, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 篠塚 恵理子, 上田 康二, 栗山 翔, 吉田 寛: 開腹・開胸手術のメリット・デメリットについて考える 開腹大腸癌手術と腹腔鏡手術の比較 身体機能および消化管機能の回復と腸閉塞発生率の観点から. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :352.
- 327)鈴木 幹人, 岩井 拓磨, 牧野 浩司, 横山 正, 丸山 弘, 吉田 寛: 陰嚢内穿孔を来した鼠経ヘルニア嵌頓の 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :374.
- 328)井上 大輔, 下川 陽子, 平野 知子, 小泉 はるか, 松本 智司, 貝津 俊英, 清野 精彦: 難治性がん疼痛の硬膜外皮下ポートシステムの有効性. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:P77-7.
- 329)野村 幸世, 保田 智彦, Lee Hyun Seok, 村山 そう明, 吉田 寛, 加藤 洋人, 瀬戸 泰之, Jeon Seong Woo, 石川 俊平, 中村 正彦: 非ピロリヘリコバクター(NHPH)単独感染がヒト胃癌を惹起する. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:O6-1.
- 330)田中 遥, 政井 友子, 中川 まどか, 上村 明子, 青木 悠人, 吉岡 正人, 清水 哲也, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 谷合 信彦, 吉田 寛: 非干渉性傾斜ベッドを用いた腹腔鏡下肝切除術体位の工夫. 日本手術医学会誌 2019; 40 (Suppl.) :176.
- 331)松本 智司, 松田 明久, 篠塚 恵理子, 関口 久美子, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 上田 純志, 久下 恒明, 浅見 敬一, 渡辺 昌則, 鈴木 英之, 吉田 寛: 頭側および後腹膜アプローチによる右側結腸癌に対する D3 手技. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :SF099-6.
- 332)牧野浩司, 野村聡, 丸山弘, 横山正, 平方敦史, 高田英志, 岩井拓磨, 吉岡将史, 吉田寛: 食道・胃癌術後縫合不全対策と低侵襲な内視鏡的治療の工夫. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80
- 333)萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 梅澤 裕己, 太田 恵一朗, 吉田 寛: 食道切除後の特殊な臓器再建時における術中 ICG 蛍光法による可視化での血流評価. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 73 回:191.
- 334)渡辺 昌則, 勝俣 範之, 野村 聡, 埴 秀暁, 三島 圭介, 水谷 聡, 谷合 信彦, 鈴木 英之, 吉田 寛: 食道癌に対する 3 週毎 5FU+CDDP+毎週 PTX 療法の第 I/II 相試験の最終結果. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 73 回:177.
- 335)松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 吉田 寛: 食道癌内視鏡手術の新たなアプローチ法 胸腔鏡と縦隔鏡の融合. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :SF075-1.
- 336)萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 吉田 寛: 食道癌手術における良好な胃管作製のための腹腔鏡下

操作のポイント. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :MO131-2.

- 337) 牧野 浩司, 丸山 弘, 菊池 友太, 岩井 拓磨, 吉岡 将史, 野村 聡, 野村 務, 櫻澤 信行, 宮下 正夫, 吉田 寛 : 食道癌手術後の再建胃管作成、径路、吻合の工夫. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 73 回:135.
- 338) 福田 俊, 岡 大嗣, 谷島 翔, 三島 圭介, 柴本 峰彩子, 吉井 貴子, 原 浩樹, 有馬 美和子, 田中 洋一, 川島 吉之 : 食道癌根治術後再発に対する治療と成績. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 73 回:270.
- 339) 谷島 翔, 福田 俊, 岡 大嗣, 三島 圭介, 柴本 峰彩子, 吉井 貴子, 原 浩樹, 有馬 美和子, 田中 洋一, 川島 吉之 : 食道癌術前化学療法に伴う骨格筋量低下(サルコペニア)の要因と術後合併症に与える影響. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 73 回:380.
- 340) 大草 幹大, 岩井 拓磨, 牧野 浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方 敦史, 上田 純志, 高田 英志, 吉田 寛 : 骨盤内腹膜中皮腫の 1 例. 日本外科系連合学会誌 2019; 44 (3) :604.
- 341) 前島 顕太郎, 谷合 信彦, 吉田 寛, 風間 愛, 高角 康志, 近藤 純由, 長谷川 久美, 兼子 順, 前島 静顕 : 高齢社会における胃癌手術の検討. 癌と化学療法 2020; 47 (1) :189-191.
- 342) 吉岡 将史, 丸山 弘, 牧野 浩司, 横山 正, 平方 敦史, 高田 英志, 岩井 拓磨, 吉田 寛 : 高齢者における腹腔鏡補助下大腸切除術における SSI の検討. 日本外科感染症学会雑誌 2019; 16 (5) :558.
- 343) 金沢 義一, 柿沼 大輔, 山田 岳史, 高 和英, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 加藤 俊二, 藤田 逸郎, 吉田 寛 : 高齢者胃癌における外科的治療"寝たきりを作らない". 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:O32-1.
- 344) 柿沼 大輔, 後藤 修, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 松野 邦彦, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 岩切 勝彦, 吉田 寛 : 高齢者胃癌に対し腹腔鏡・内視鏡合同手術にて治療を行った 3 例. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:P60-3.
- 345) 千原 直人, 谷合 信彦, 中田 亮輔, 助川 誠, 吉田 寛 : 鼠径部、閉鎖孔ヘルニア嵌頓に対する腹腔鏡アプローチによる嵌頓解除、ヘルニア修復術の治療戦略. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:RS37-4.

著書

- 1) Tajiri T, Yoshida H, Makino H, Hirakata A, Ueda J, Takata H, Mamada Y, Taniai N, Uchida E : 〔分担執筆〕 Future prospects on portal hypertension. Clinical Investigation of Portal Hypertension. Clinical Investigation of Portal Hypertension. 2019, Springer.
- 2) Yoshida H, Makino H, Yokoyama T, Maruyama H, Hirakata A, Ueda J, Takata H, Mamada Y, Taniai N, Uchida E : 〔分担執筆〕 Surgical treatment- Selective shunt surgery. Clinical Investigation of Portal Hypertension. 2019, Springer.
- 3) Taniai N, Yoshida H, Uchida E : 〔分担執筆〕 Interventional Radiology Partial Splenic Embolization. Clinical Investigation of Portal Hypertension. 2019, Springer.
- 4) Yoshida H, Makino H, Yokoyama T, Maruyama H, Hirakata A, Ueda J, Takata H, Mamada Y, Taniai N, Uchida E : 〔分担執筆〕 Interventional Radiology PTO, TIO). Clinical Investigation of Portal Hypertension. 2019, Springer.
- 5) Yoshida H, Makino H, Yokoyama T, Maruyama H, Hirakata A, Ueda J, Takata H, Mamada Y, Taniai N, Uchida E : 〔分担執筆〕 Endoscopic treatment of esophageal varices: EVL- Intermittent therapy. Clinical Investigation of Portal Hypertension. 2019, Springer.
- 6) Yamada T, Koizumi M, Shinji S, Matsuda A, Yokoyama Y, Takahashi G, Iwai T, Hara K, Hotta M, Takeda K, Ueda K, Yoshida H.: 〔分担執筆〕 Chapter 9 Chemotherapy for Metastatic Colorectal Cancer. Recent Advances in the Treatment of Colorectal Cancer. 2019; pp.101-111, Springer.
- 7) 吉田 寛 : 〔分担執筆〕 吐血・下血一緊急検査と応急処置. 今日の治療指針 2019 年版. 2019, 医学書院.
- 8) 吉田 寛 : 〔分担執筆〕 脾臓および門脈. 標準外科学 第 15 版. 2019, 医学書院.
- 9) 渡邊 昌則 : 〔分担執筆〕 食道気管支瘻, 食道気管瘻. 日本臨牀別冊 消化管症候群 (第 3 版) II 食道/虫垂/肛門. 2020; pp.102-105, 日本臨床社.
- 10) 渡邊 昌則 : 〔分担執筆〕 大動脈食道瘻. 日本臨牀別冊 消化管症候群 (第 3 版) II 食道/虫垂/肛門. 2020; pp.106-109, 日本臨床社.

学会発表

- 1) 佐原 知子, 中井 麻木, 三宅 秀彦, 渡邊 淳, 黒瀬 圭輔, 高橋 吾郎, 保坂 愛, 鈴木 由美, 野呂 林太郎, 武井 寛幸, 吉田 寛,

- 山田 岳史 : BRCA1/2 遺伝学的検査陽性結果後のフォローアップ. 日本遺伝カウンセリング学会誌, 2019. 7.
- 2) 藤田 逸郎, 金澤 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 新井 洋紀, 萩原 信敏, 松谷 毅, 牧野 浩司, 野村 務, 吉田 寛 : ESD 後非治癒切除症例に対する根治的胃切除術の検討. 日本消化器外科学会総会, 2019. 7.
 - 3) 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 上田 康二, 吉田 寛 : Liquid biopsy を用いた大腸癌 Real-time Precision Medicine. 日本消化器外科学会総会, 2019. 7.
 - 4) 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 上田 康二, 横山 康行, 堀田 正啓, 栗山 翔, 松本 智司, 吉田 寛 : Liquid biopsy を用いた大腸癌に対する real-time precision medicine. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2019. 4.
 - 5) 山田 岳史, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 堀田 正啓, 原 敬介, 松田 明久, 松本 智司, 内田 英二 : Liquid biopsy 大腸癌個別化治療. 日本大腸肛門病学会雑誌, 2019. 5.
 - 6) 上田 康二, 萩原 信敏, 神田 知洋, 香中 伸太郎, 遠藤 憲彦, 山下 貴正, 塩田 美桜, 松田 明久, 野村 務, 吉田 寛 : TAPP 術後の腹膜閉鎖部間隙に小腸の嵌頓を認めた 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌, 2020. 2.
 - 7) 上田 康二, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 原 敬介, 近谷 賢一, 石田 秀行, 吉田 寛 : cfDNA による右半結腸癌における BRAFV600E 遺伝子変異についての検討. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2019. 4.
 - 8) 横山 康行, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 太田 竜, 高橋 吾郎, 原 敬介, 武田 幸樹, 上田 康二, 吉田 寛 : long non-coding RNA H19 および UCA1 の発現と直腸癌の術前化学療法に対する感受性との関連. 日本消化器外科学会総会, 2019. 7.
 - 9) 原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 吉田 寛 : mFOLFOX6 投与による類洞障害の長期経過. 日本消化器外科学会総会, 2019. 7.
 - 10) 萩原 信敏, 野村 務, 松谷 毅, 藤田 逸郎, 金澤 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 高 和英, 太田 恵一朗, 吉田 寛 : 【食道】高度食道裂孔ヘルニアに対する内視鏡外科手術の工夫 混合型・傍食道型食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡手術 当施設における手技のポイント. 日本消化器外科学会総会, 2019. 7.
 - 11) 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田 逸郎, 金澤 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 太田 恵一朗, 吉田 寛 : トラブルシューティングと手術の工夫 消化器外科手術時の赤外観察カメラシステムを用いた術中 ICG 蛍光法による術中補助診断. 日本外科系連合学会誌, 2019. 5.
 - 12) 高橋 吾郎, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 太田 竜, 横山 康行, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 原 敬介, 上田 康二, 太田 恵一朗, 吉田 寛 : プレジジョン・メディシンの外科学への応用 プレジジョン・メディシンのバイオマーカーへの応用 希少癌における circulating tumor DNA は monitoring marker となりうるか. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2019. 4.
 - 13) 小泉 岐博, 山田 岳史, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 上田 康二, 太田 竜, 菅 隼人, 太田 恵一朗, 吉田 寛 : 下部直腸癌に対する術前治療 ネオアジュバント化学療法で治療した直腸癌患者の腫瘍学的転帰 (Oncologic outcomes in patients with rectal cancer treated with neoadjuvant chemotherapy). 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2019. 4.
 - 14) 長嶺 嘉通, 松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金澤 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 下田 朋宏, 太田 恵一朗, 外園 優, 梅澤 裕己, 吉田 寛 : 二次的分割手術で切除・再建した冠動脈バイパス術後ハイリスク胸部食道癌の 1 例. 日本外科系連合学会誌, 2019. 5.
 - 15) 岡本 浩和, 横山 康行, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 原 敬介, 上田 康二, 松本 智司, 太田 恵一朗, 吉田 寛 : 保存的治療を受けた単純性虫垂炎における白血球数と CRP 値の推移の有用性. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2019. 4.
 - 16) 犬飼 惇, 上田 純志, 鈴木 英之, 松本 智司, 桜澤 信行, 川野 陽一, 新井 洋紀, 吉岡 正人, 清水 哲也, 神田 知洋, 高田 英志, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 古木 裕康, 青木 悠斗, 平方 敦史, 松下 晃, 谷合 信彦, 吉田 寛 : 先進部が盲腸に及んだメッケル憩室による腸重積症の 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌, 2020. 2.
 - 17) 原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 上田 康二, 栗山 翔, 吉田 寛 : 単純性虫垂炎に対する Delayed Appendectomy の治療成績. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2019. 4.
 - 18) 今村 博司, 木村 豊, 西川 和宏, 岸 健太郎, 井上 健太郎, 松山 仁, 赤丸 祐介, 田村 茂行, 川田 純司, 川瀬 朋乃, 川端 良平, 藤原 義之, 菅野 仁士, 山田 岳史, 下川 敏雄, 関西栄養療法研究会 : 周術期の栄養療法 胃癌術後早期の栄養介入の意義に関するランダム化比較試験 (KSES-001 試験) の長期成績. 日本外科系連合学会誌, 2019. 5.

- 19) 金沢 義一, 藤田 逸郎, 山田 岳史, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 加藤 俊二, 吉田 寛 : 外科とサルコペニア・フレイル 胃癌手術患者における予後と大腰筋断面積術後変化との相関. 日本外科系連合学会誌, 2019. 5.
- 20) 赤丸 祐介, 木村 豊, 西川 和宏, 岸 健太郎, 井上 健太郎, 松山 仁, 田村 茂行, 川田 純司, 菅野 仁士, 山田 岳史, 下川 敏雄, 今村 博司 : 外科感染症制御を念頭に置いた栄養管理 胃癌術後患者に対する成分栄養剤による早期栄養介入の長期的な効果に関する検討. 日本臨床外科学会雑誌, 2019. 10.
- 21) 今村 博司, 木村 豊, 西川 和宏, 岸 健太郎, 井上 健太郎, 松山 仁, 田村 茂行, 菅野 仁士, 山田 岳史, 内田 英二, 下川 敏雄 : 外科治療における多職種介入栄養管理-NST が目指すアウトカム 胃癌術後早期の栄養介入の意義に関するランダム化比較試験(KSES-001 試験)の長期成績. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2019. 4.
- 22) 進士 誠一, 市川 雅男, 山田 岳史, 太田 竜, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 原 敬介, 武田 幸樹, 上田 康二, 可世木 華子, 明樂 重夫, 竹下 俊行, 吉田 寛 : 多科での協働と連携 腸官子宮内膜症手術 他科との連携. 日本外科系連合学会誌, 2019. 5.
- 23) 上田 康二, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 太田 竜, 横山 康行, 高橋 吾郎, 武田 幸樹, 吉田 寛 : 大腸癌患者における腹水および洗浄液の digital 細胞診の開発. 日本消化器外科学会総会, 2019. 7.
- 24) 日下部 誠, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 高橋 吾郎, 武田 幸樹, 上田 康二, 横山 康行, 吉田 寛 : 大腸癌症例における尿中 cell-free DNA の抽出および RAS 変異解析の試み. 日本消化器外科学会総会, 2019. 7.
- 25) 渡辺昌則, 鈴木英之, 松本智司, 桜澤信行, 川野陽一, 谷合信彦, 吉田寛 : 大腸穿孔手術の創汚染度細分類による SSI 発生率. 第 32 回日本外科感染症学会総会学術集会, 2019. 11.
- 26) 松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 下田 朋宏, 太田 恵一朗, 吉田 寛 : 局所進行食道癌手術における診断的胸腔鏡の有用性. 日本消化器外科学会総会, 2019. 7.
- 27) 向後英樹 : 巨大肝膿瘍を伴う上行結腸癌に対し、感染制御後に根治術を施行し得た一例. 第 81 回日本臨床外科学会総会, 2019. 11.
- 28) 野村 務, 萩原 信敏, 松谷 毅, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 牧野 浩司, 岩切 勝彦, 吉田 寛 : 巨大食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡手術 当施設における手技のポイント. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集, 2019. 6.
- 29) 高橋 吾郎, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 太田 竜, 横山 康行, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 上田 康二, 吉田 寛 : 希少がんにおける circulating tumor DNA の有用性. 日本消化器外科学会総会, 2019. 7.
- 30) 松野 邦彦, 柿沼 大輔, 高 和英, 金沢 義一, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 牧野 浩二, 桜澤 信行, 加藤 俊二, 吉田 寛 : 当施設における残胃癌の手術症例の検討. 日本臨床外科学会雑誌, 2019. 10.
- 31) 進士 誠一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 内田 英二 : 当科における Transanal Endoscopic Microsurgery(TEM)施行例の検討. 日本大腸肛門病学会雑誌, 2019. 5.
- 32) 柿沼 大輔, 金沢 義一, 松野 邦彦, 高 和英, 安藤 文彦, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 牧野 浩司, 桜澤 信行, 吉田 寛 : 当科における噴門側胃切除、胃全摘術症例術後栄養状態の検討. 日本胃癌学会総会記事, 2020. 3.
- 33) 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 安藤 文彦, 藤田 逸郎, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 山田 岳史, 吉行 俊郎, 加藤 俊二, 吉田 寛 : 当科における進行・再発胃癌に対する 2nd ラインとしての治療成績. 日本胃癌学会総会記事, 2020. 3.
- 34) 松井 隆典, 太田 竜, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 原 敬介, 上田 康二, 吉田 寛 : 無月経の精査にて偶発的に発見され切除した tailgut cyst の一例. 日本外科系連合学会誌, 2019. 5.
- 35) 進士 誠一, 山田 岳史, 太田 竜, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 原 敬介, 吉田 寛 : 直腸癌に対する腹腔鏡下前方切除術後の縫合不全と長期予後に与える影響. 日本消化器外科学会総会, 2019. 7.
- 36) 松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 下田 朋宏, 太田 恵一朗, 吉田 寛 : 私の鏡視下手術-さらに手術のヒト工夫-胸部・上部消化管 胸部食道癌に対する縦隔鏡下左上縦隔リンパ節郭清を先行する腹臥位胸腔鏡下食道切除術. 日本外科系連合学会誌, 2019. 5.
- 37) 香中 伸太郎, 太田 竜, 横山 康行, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 原 敬介, 内藤 善哉, 吉田 寛 : 粘膜下腫瘍様の形態を呈した壁外発育型横行結腸癌の 1 例. 日本消化器病学会関東支部例会プログラム・抄録集, 2019. 4.
- 38) 松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 下田 朋宏, 太田 恵一朗, 吉田 寛 : 縦隔鏡下に左上縦隔リンパ節郭清を先行する腹臥位胸腔鏡下食道切除術. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集, 2019. 6.

- 39) 柿沼 大輔, 金沢 義一, 松野 邦彦, 野村 務, 萩原 信敏, 松谷 毅, 桜澤 信行, 吉田 寛 : 耐術能の乏しい高齢者胃癌に対し腹腔鏡・内視鏡合同手術にて局所切除を試みた 4 例. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2019. 12.
- 40) 松野 邦彦, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 藤田 逸郎, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 桜澤 信行, 牧野 浩司, 吉田 寛 : 胃がん患者における cfDNA を用いた copy number variation の同定. 日本消化器外科学会総会, 2019. 7.
- 41) 増田 有香, 柿沼 大輔, 金沢 義一, 松野 邦彦, 高 和英, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 牧野 浩司, 櫻澤 信行, 吉田 寛 : 胃切除後難治性乳糜腹水に対し開腹リンパ管結紮術を施行した 1 例. 日本臨床外科学会雑誌, 2019. 10.
- 42) 下田 朋宏, 和田 龍一, 高 和英, 新井 洋紀, 松野 邦彦, 柿沼 大輔, 萩原 信敏, 金沢 義一, 藤田 逸郎, 松谷 毅, 野村 務, 太田 恵一郎, 内藤 善哉, 吉田 寛 : 胃癌における protein disulfide isomerase A3 の発現と臨床病理学的因子との関連. 日本消化器外科学会雑誌, 2019. 11.
- 43) 金沢 義一, 藤田 逸郎, 山田 岳史, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 高 和英, 保田 智彦, 安藤 文彦, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 加藤 俊二, 吉田 寛 : 胃癌手術患者における予後とサロゲートマーカーとしての大腰筋面積の意義. 日本消化器外科学会雑誌, 2019. 11.
- 44) 金沢 義一, 藤田 逸郎, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 新井 洋樹, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 加藤 俊二, 山田 岳史, 牧野 浩司, 吉田 寛 : 胃癌手術患者の骨格筋量と予後の関係 大腰筋断面積(maximum cross sectional areapsoas muscle: MCA-PM)比を用いて. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2019. 4.
- 45) 松山 仁, 木村 豊, 西川 和宏, 岸 健太郎, 井上 健太郎, 赤丸 祐介, 田村 茂行, 川端 良平, 川田 純司, 川瀬 朋乃, 菅野 仁士, 山田 岳史, 内田 英二, 下川 敏雄, 今村 博司, 関西消化器癌栄養研究会 : 胃癌術後早期の成分栄養剤(エレンタール)による栄養介入の長期効果に関する検討. 日本癌治療学会学術集会抄録集, 2019. 10.
- 46) 西川 和宏, 木村 豊, 岸 健太郎, 井上 健太郎, 松山 仁, 赤丸 祐介, 田村 茂行, 柳本 喜智, 川田 純司, 川瀬 朋乃, 川端 良平, 菅野 仁士, 山田 岳史, 内田 英二, 下川 敏雄, 今村 博司, 関西消化器癌栄養研究会 : 胃癌術後症例に対する早期の成分栄養剤介入が術後晩期の体重減少と骨格筋量に及ぼす影響に関する検討. 日本胃癌学会総会記事, 2020. 3.
- 47) 松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 下田 朋宏, 太田 恵一郎, 吉田 寛 : 胸腔鏡下食道切除・再建術での胃管挙上の問題点と手技の工夫. 日本消化器外科学会雑誌, 2019. 11.
- 48) 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 高 和英, 上田 康二, 遠藤 憲彦, 神田 知洋, 吉田 寛 : 腹部救急疾患に対する新しい画像診断、医療機器の進歩 腹部救急疾患における術中赤外観察カメラシステムを用いた診断・治療方針の決定. 日本腹部救急医学会雑誌, 2020. 2.
- 49) 向後英樹 : 膣頭部癌多発肝転移症例における腫瘍出血及び胆管炎に対し 準緊急で胃空腸吻合術及び胆嚢空腸吻合術を施行した一例. 日本救急医学会総会, 2019. 10.
- 50) 山下 貴正, 松谷 毅, 萩原 信敏, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 松田 明久, 金谷 洋平, 野村 務, 吉田 寛 : 術前 CT 検査にて診断し得た膀胱ヘルニア嵌頓の 2 例. 日本腹部救急医学会雑誌, 2020. 2.
- 51) 政井 友子, 望月 祐代, 上村 明子, 山田 岳史, 松田 明久, 小泉 岐博, 進士 誠一, 太田 竜, 栗山 翔, 吉田 寛 : 術前に入念なシミュレーションにより腹腔鏡下直腸切除術を施行し得た高度脊柱後彎症の 1 例. 日本手術医学会誌, 2019. 7.
- 52) 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 梅澤 裕己, 中溝 宗永, 横島 一彦, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 太田 恵一郎, 吉田 寛 : 複数科合同での食道切除後の特殊な臓器再建時における術中 ICG 蛍光法による可視化での血流評価. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2019. 4.
- 53) 松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 下田 朋宏, 太田 恵一郎, 吉田 寛 : 進行食道癌手術における診断的胸腔鏡の有用性の検討. Gastroenterological Endoscopy, 2019. 5.
- 54) 山下 直行, 栗山 翔, 山岸 杏彌, 湖山 信篤, 桜澤 信行, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 吉田 寛 : 長期予後から見た噴門側胃切除の有用性 残遺癌発生を中心に. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2019. 4.
- 55) 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 梅澤 裕己, 太田 恵一郎, 吉田 寛 : 食道切除後の特殊な臓器再建時における術中 ICG 蛍光法による可視化での血流評価. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集, 2019. 6.
- 56) 渡辺昌則, 勝俣範之, 野村聡, 埴秀暁, 三島圭介, 水谷聡, 谷合信彦, 鈴木英之, 吉田寛 : 食道癌に対する 3 週毎 5FU+CDDP+毎週 PTX 療法の第 I/II 相試験の最終結果. 第 73 回日本食道学会学術集会, 2019. 6.
- 57) 松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 吉田 寛 : 食道癌内視鏡手術の新たなアプローチ法 胸腔鏡と縦隔

鏡の融合. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2019. 12.

- 58) 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 吉田 寛 : 食道癌手術における良好な胃管作製のための腹腔鏡下操作のポイント. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2019. 12.
- 59) 金沢 義一, 柿沼 大輔, 山田 岳史, 高 和英, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 加藤 俊二, 藤田 逸郎, 吉田 寛 : 高齢者胃癌における外科的治療"寝たきりを作らない". 日本消化器外科学会総会, 2019. 7.
- 60) 柿沼 大輔, 後藤 修, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 松野 邦彦, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 岩切 勝彦, 吉田 寛 : 高齢者胃癌に対し腹腔鏡・内視鏡合同手術にて治療を行った3例. 日本消化器外科学会総会, 2019. 7.

15 乳腺外科学分野

研究業績

論文等

- 1) Mamoru Takada, Yasuhiko Kaneko, Masayuki Haruta, Shigenori Nagai, Kenichi Inoue, Katsunori Toduka, Masafumi Kurozumi, Hiroyuki Takei, Seishi Ogawa, Takeshi Nagashima, Takafumi Sangai, Hiroshi Fujimoto, Junta Sakakibara, Ryotaro Teranaka : Abstract P1-10-15:BRCA1alterations with additional defects in DNA damage repair genes may confer chemoresistance to BRCA-like breast cancers treated with neoadjuvant chemotherapy. Poster Session Abstracts 2020 doi: 10.1158/1538-7445.sabcs19-p1-10-15.
- 2) 佐原 知子, 中井 麻木, 三宅 秀彦, 渡邊 淳, 黒瀬 圭輔, 高橋 吾郎, 保坂 愛, 鈴木 由美, 野呂 林太郎, 武井 寛幸, 吉田 寛, 山田 岳史 : BRCA1/2 遺伝学的検査陽性結果後のフォローアップ. 日本遺伝カウンセリング学会誌 2019; 40 (2) :150.
- 3) Ueno T, Saji S, Masuda N, Iwata H, Kuroi K, Sato N, Takei H, Yamamoto Y, Ohno S, Yamashita H, Hisamatsu K, Aogi K, Sasano H, Toi M : Changes in Recurrence Score by neoadjuvant endocrine therapy of breast cancer and their prognostic implication. ESMO open 2019; 4 (1) :e000476. doi: 10.1136/esmoopen-2018-000476.
- 4) Hideko Hoshina, Hiroyuki Takei : Granulocyte-colony stimulating factor-associated aortitis in a woman with advanced breast cancer: A case report and review of the literature. BMC Cancer 2019; 19 (1) :1217. doi: 10.1186/s12885-019-6403-9.
- 5) 中井 麻木, 范姜 明志, 栗田 智子, 武井 寛幸, 山田 岳史 : Li-Fraumeni 症候群の 1 例. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2019; 27 回:693.
- 6) Tomoko Kurita, Kanae Taruno, Seigo Nakamura, Hiroyuki Takei, Katsutoshi Enokido, Takashi Kuwahara, Yoko Kanada, Sadako Akashi, Maki Nakai, Meishi Hankyo, Keiko Yanagihara, Takashi Sakatani, Kentaro Sakamaki, Akihiko Kuwahata, Masaki Sekino, Moriaki Kusakabe : Magnetic guided localization for non-palpable breast lesion: A multi-center open-label trial in Japan. CANCER RESEARCH 2020; 80 (4) doi: 10.1158/1538-7445.SABCS19-P1-20-17.
- 7) Tatsuya Onishi, Sachiko Matsuda, Yuki Nakamura, Junko Kuramoto, Akinori Tsuruma, Satoshi Sakamoto, Shunichi Suzuki, Daiichiro Fuchimoto, Akira Onishi, Shinichi Chikaki, Miki Kaneko, Akihiro Kuwahata, Masaki Sekino, Hiroshi Yasuno, Naohiro Hanyu, Tomoko Kurita, Hiroyuki Takei, Takashi Sakatani, Kanae Taruno, Seigo Nakamura, Tetsu Hayashida, Hiromitsu Jinno, Moriaki Kusakabe, Hiroshi Handa, Kaori Kameyama, Yuko Kitagawa : Magnetically Promoted Rapid Immunofluorescence Staining for Frozen Tissue Sections. The journal of histochemistry and cytochemistry : official journal of the Histochemistry Society 2019; 67 (8) :575-587. doi: 10.1369/0022155419841023.
- 8) Kanae Taruno, Tomoko Kurita, Akihiko Kuwahata, Keiko Yanagihara, Katsutoshi Enokido, Yoshihisa Katayose, Seigo Nakamura, Hiroyuki Takei, Masaki Sekino, Moriaki Kusakabe : Multicenter clinical trial on sentinel lymph node biopsy using superparamagnetic iron oxide nanoparticles and a novel handheld magnetic probe. Journal of Surgical Oncology 2019; 120 (8) :1391-1396. doi: 10.1002/jso.25747.
- 9) Tomohiro Ochi, Giampaolo Bianchini, Michiko Ando, Fumi Nozaki, Daiki Kobayashi, Carmen Criscitiello, Giuseppe Curigliano, Takayuki Iwamoto, Naoki Niikura, Hiroyuki Takei, Atsushi Yoshida, Junko Takei, Koyu Suzuki, Hideko Yamauchi, Naoki Hayashi : Predictive and prognostic value of stromal tumour-infiltrating lymphocytes before and after neoadjuvant therapy in triple negative and HER2-positive breast cancer. European journal of cancer (Oxford, England : 1990) 2019; 118:41-48. doi: 10.1016/j.ejca.2019.05.014.
- 10) 范姜 明志, 中井 麻木, 栗田 智子, 武井 寛幸 : オラパリブの有効性が大きく異なる BRCA2 変異陽性乳癌症例の検討. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2019; 27 回:714.
- 11) 中嶋 亘, 栗田 智子, 阪口 正洋, 坂谷 貴司, 内藤 善弥, 武井 寛幸, 田中 信之 : トリプルネガティブ乳癌における微小管阻害薬パクリタキセルに対する細胞死誘導機構の解析(Analysis of Microtubule-targeting agents-induced apoptosis in triple-negative breast cancer). 日本乳癌学会総会記事 2019; 78 回:P-3242.
- 12) 武井 寛幸, 柳原 恵子, 栗田 智子, 中井 麻木, 范姜 明志, 佐藤 あい : ホルモン受容体陽性・HER2 陰性・進行再発乳癌の治療戦略. 日本内分泌外科学会雑誌 2019; 36 (Suppl.3) :S242.

- 13) 垂野 香苗, 中村 清吾, 繁永 礼奈, 永田 彩, 松柳 美咲, 酒井 春奈, 松永 有紀, 中山 紗由香, 阿多 亜里沙, 吉沢 あゆは, 橋本 梨香子, 増田 紘子, 井手 佳美, 桑山 隆志, 森 美樹, 鈴木 研也, 澤田 晃暢, 明石 定子, 栗田 智子, 武井 寛幸: 乳がん手術はこうして 乳腺非触知病変に対する国内発の新規磁気プローブとガイディングマーカーシステムを使用した手術の報告. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2019; 27 回:270.
- 14) 武井寛幸, 柳原恵子, 栗田智子, 中井麻木, 范姜明志: 乳房部分切除症例での腋窩治療. リンパ学 2019; 42 (2) :98-100.
- 15) 武井寛幸, 柳原恵子, 栗田智子, 中井麻木, 范姜明志, 佐藤あい: 乳癌のセンチネルリンパ節生検の現状と展望. SNNS 研究会学術集会プログラム抄録集 2019; 21st
- 16) 蒔田 益次郎, 眞鍋 恵理子, 許田 典男, 大橋 隆治: 乳癌の乳房部分切除の切離線決定におけるシミュレーション模型の有用性. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2019; 27 回:740.
- 17) 蒔田 益次郎, 眞鍋 恵理子, 許田 典男, 大橋 隆治: 乳癌の乳房部分切除術で断端陰性率を向上させる因子について. 乳癌の臨床 2020; 35 (1) :81-89.
- 18) 武井 寛幸, 柳原 恵子, 栗田 智子, 中井 麻木, 范姜 明志, 山上 あい: 乳癌の内分泌療法 乳癌の術前および術後の内分泌療法. 日本内分泌外科学会雑誌 2019; 36 (Suppl.1) :S75.
- 19) 中井麻木, 柳原恵子, 栗田智子, 范姜明志, 佐藤あい, 武井寛幸: 乳癌の局所再発症例に対するセンチネルリンパ節生検:興味ある 2 症例の報告. SNNS 研究会学術集会プログラム抄録集 2019; 21st
- 20) 武井 寛幸, 柳原 恵子, 栗田 智子, 中井 麻木, 范姜 明志, 佐藤 あい: 乳癌の腋窩リンパ節転移に対する仮説および治療の変遷. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (3) :136-137.
- 21) 眞鍋 恵理子, 大橋 隆治, 許田 典男, 蒔田 益次郎: 乳癌特殊型の病理診断におけるガラススライドとバーチャルスライドの比較検討研究. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2019; 27 回:598.
- 22) 栗田 智子, 垂野 香苗, 柳原 恵子, 中井 麻木, 范姜 明志, 坂谷 貴司, 蒔田 益次郎, 眞鍋 恵理子, 榎戸 克年, 明石 定子, 沢田 晃弘, 桑山 隆志, 橋本 梨佳子, 川手 佳美, 斉藤 逸郎, 桑波田 晃弘, 関野 正樹, 日下部 守昭, 中村 清吾, 武井 寛幸: 乳癌磁気法センチネルリンパ節生検の臨床試験報告 AMED 開発機構委託・多施設共同臨床研究. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2019; 27 回:325.
- 23) 関 奈紀, 横山 正, 丸山 弘, 牧野 浩司, 吉田 寛, 武井 寛幸: 乳癌術後半年で骨髄癌を呈し急速な転帰で死亡に至った 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :182-186.
- 24) 蒔田 益次郎, 眞鍋 恵理子, 許田 典男, 大橋 隆治: 乳管内視鏡と手術症例からみた Solid papillary carcinoma. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :557.
- 25) 軸齒 智雄, 眞鍋 恵理子, 石川 朋子, 赤須 東樹, 石橋 宰, 杉谷 巖, 蒔田 益次郎, 山田 哲: 乳管内視鏡を用いた RNA 解析の可能性について. 日本内分泌外科学会雑誌 2019; 36 (Suppl.1) :S144.
- 26) 許田 典男, 大橋 隆治, 蒔田 益次郎, 加藤 舞子, 中村 祐司, 前本 直子, 大矢 陽子, 永井 祥子, 牧野 隆浩, 内藤 善哉: 乳管内視鏡検査における洗浄細胞診の有用性について. 日本臨床細胞学会雑誌 2019; 58 (Suppl.1) :284.
- 27) 武井 寛幸, 中村 清吾, 日下部 守昭, 関野 正樹, 中川 貴之, 半田 宏, 坂本 聡, 北川 雄光, 松田 祐子, 栗田 智子, 垂野 香苗: 乳腺外科領域における医工連携: 磁性ナノ粒子を用いたセンチネルリンパ節の同定と新たな免疫染色法 (卒後教育セミナー記録 日本外科学会第 93 回卒後教育セミナー(平成 30 年度春季) 医工連携). 日本外科学会雑誌 = Journal of Japan Surgical Society 2019; 120 (1) :137-139.
- 28) 中井麻木, 中井麻木, 范姜明志, 栗田智子, 野呂倫太郎, 山田岳志, 山田岳志, 武井寛幸: 予防切除を施行した乳房に乳癌を認めた 1 例. 日本家族性腫瘍学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 25th
- 29) 武井寛幸, 中村清吾, 日下部守昭, 関野正樹, 中川貴之, 半田宏, 坂本聡, 北川雄光, 松田祐子, 栗田智子, 垂野香苗: 医工連携 3. 乳腺外科領域における医工連携-磁性ナノ粒子を用いたセンチネルリンパ節の同定と新たな免疫染色法-. 日本外科学会雑誌 2019; 120 (1) :137-139.
- 30) 関 奈紀, 横山 正, 牧野 浩司, 吉田 寛, 武井 寛幸: 当院での乳房手術、特に乳房温存術においての心掛けと工夫. 日本内分泌外科学会雑誌 2019; 36 (Suppl.3) :S317.
- 31) 横山 正, 関 奈紀, 牧野 浩司, 武井 寛幸, 吉田 寛: 当院での乳房手術、特に乳房温存術において心がけていること. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2019; 27 回:741.

- 32) 中井麻木, 中井麻木, 佐藤あい, 范姜明志, 栗田智子, 柳原恵子, 武井寛幸, 高橋吾郎, 高橋吾郎, 山田岳史, 山田岳史 : 濃厚な家族歴を有する患者への遺伝カウンセリングの重要性. 日本人類遺伝学会大会プログラム・抄録集 2019; 64th
- 33) 武井 寛幸, 柳原 恵子, 栗田 智子, 中井 麻木, 范姜 明志 : 癌のリンパ節転移と郭清の意義 乳房部分切除症例での腋窩治療. リンパ学 2019; 42 (2) :98-100.
- 34) 蒔田 益次郎, 眞鍋 恵理子, 武井 寛幸, 中村 清吾, 日下部 守昭, 関野 正樹 : 磁気性薬剤を用いるセンチネルリンパ節生検での集積の経時的変化と磁石による促進効果. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:SF-1.
- 35) 軸藪 智雄, 眞鍋 恵理子, 石川 朋子, 赤須 東樹, 石橋 幸, 杉谷 巖, 山田 哲, 蒔田 益次郎 : 非浸潤性乳管癌の疑似細胞診検体を用いた次世代型アレイ解析について. 日本内分泌外科学会雑誌 2019; 36 (Suppl.3) :S320.

学会発表

- 1) Mamoru Takada, Yasuhiko Kaneko, Masayuki Haruta, Shigenori Nagai, Kenichi Inoue, Katsunori Toduka, Masafumi Kurozumi, Hiroyuki Takei, Seishi Ogawa, Takeshi Nagashima, Takafumi Sangai, Hiroshi Fujimoto, Junta Sakakibara, Ryotaro Teranaka : Abstract P1-10-15:BRCA1alterations with additional defects in DNA damage repair genes may confer chemoresistance to BRCA-like breast cancers treated with neoadjuvant chemotherapy. Poster Session Abstracts, 2020. 2.
- 2) 佐原 知子, 中井 麻木, 三宅 秀彦, 渡邊 淳, 黒瀬 圭輔, 高橋 吾郎, 保坂 愛, 鈴木 由美, 野呂 林太郎, 武井 寛幸, 吉田 寛, 山田 岳史 : BRCA1/2 遺伝学的検査陽性結果後のフォローアップ. 日本遺伝カウンセリング学会誌, 2019. 7.
- 3) 保科淑子, 小杉奈津子, 石川由起雄, 早川鉄哉, 武井寛幸 : CDX2 陽性の腋窩リンパ節転移で発見された微小進行乳癌 T1bN3a の一例. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2019.
- 4) 鈴木真彦, 武井寛幸 : HER2 陽性乳癌に対する Pertuzumab を用いた周術期治療. 日本癌治療学会学術集会(Web), 2019.
- 5) 中井麻木, 中井麻木, 范姜明志, 栗田智子, 武井寛幸, 山田岳史 : Li-Fraumeni 症候群の 1 例. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2019.
- 6) 栗田智子 : Magnetic guided localization for non-palpable breast lesion: a multi-center open- label trial in Japan. San Antonio Breast Cancer Symposium, 2019. 12.
- 7) 柳原恵子, 武井寛幸 : PKC α 発現を示す乳癌の生物学的特徴と新規薬物療法の動物実験モデルの確立について. 日本医科大学医学会雑誌, 2019.
- 8) 高田護, 高田護, 高田護, 金子安比古, 永井成勲, 井上賢一, 武井寛幸, 武井寛幸, 戸塚勝理, 樋口徹, 黒住昌史, 黒住昌史, 小川誠司, 長嶋健, 三階貴史, 藤本浩司, 榊原淳太, 寺中亮太郎, 宮崎勝, 大塚将之 : SNP array を用いた内分泌療法抵抗性における染色体不安定性の解析. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2019.
- 9) 范姜明志, 中井麻木, 栗田智子, 武井寛幸 : オラパリブの有効性が大きく異なる BRCA2 変異陽性乳癌症例の検討. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2019.
- 10) 中嶋亘, 栗田智子, 阪口正洋, 坂谷貴司, 内藤善弥, 武井寛幸, 田中信之 : トリプルネガティブ乳癌における微小管阻害薬パクリタキセルに対する細胞死誘導機構の解析. 日本癌学会学術総会抄録集(Web), 2019.
- 11) 矢野正雄, 後藤哲宏, 石川裕子, 武井寛幸 : フルベストラントによるアナフィラキシーショックをきたした一例. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2019.
- 12) 武井寛幸, 柳原恵子, 栗田智子, 中井麻木, 范姜明志, 佐藤あい : ホルモン受容体陽性・HER2 陰性・進行再発乳癌の治療戦略. 日本内分泌外科学会雑誌, 2019.
- 13) 鈴木えりか, 飯田信也, 武井寛幸 : ランソプラゾール投与により血小板減少を認めた 1 症例. 日本臨床外科学会雑誌, 2019.
- 14) 栗田 智子 : 乳がんの診断と治療. 文京区薬剤師勉強会, 2019. 5.
- 15) 栗田 智子 : 乳がん最新医療 乳がん向き合う、付き合う. 日本医科大学付属病院 がん診療連携拠点病院 市民公開講座, 2020. 2.
- 16) 武井寛幸 : 乳房部分切除症例での腋窩治療. リンパ学, 2019.
- 17) 鈴木真彦, 武井寛幸, 南條博, 杉山達朗 : 乳癌 HER2 検査免疫組織化学法 2+症例の検討. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2019.
- 18) 武井寛幸, 柳原恵子, 栗田智子, 中井麻木, 范姜明志, 佐藤あい : 乳癌のセンチネルリンパ節生検の現状と展望. SNNS 研究会学術集会

プログラム抄録集, 2019.

- 19) 蒔田 益次郎, 眞鍋 恵理子, 許田 典男, 大橋 隆治: 乳癌の乳房部分切除の切離線決定におけるシミュレーション模型の有用性. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集, 2019. 7.
- 20) 武井 寛幸, 柳原 恵子, 栗田 智子, 中井 麻木, 范姜 明志, 山上 あい: 乳癌の内分泌療法 乳癌の術前および術後の内分泌療法. 日本内分泌外科学会雑誌, 2019. 5.
- 21) 中井麻木, 柳原恵子, 栗田智子, 范姜明志, 佐藤あい, 武井寛幸: 乳癌の局所再発症例に対するセンチネルリンパ節生検:興味ある 2 症例の報告. SNNS 研究会学術集会プログラム抄録集, 2019.
- 22) 武井寛幸, 増田しのぶ: 乳癌取扱い規約第 18 版第 1 部臨床編の変更点について. 乳腺甲状腺超音波医学, 2019.
- 23) 武井寛幸: 乳癌治療の変遷と乳房再建-過去 30 年の移り変わり・現在の課題・新時代の展望-. 日本マイクロサージャリー学会学術集会プログラム・抄録集, 2019.
- 24) 眞鍋 恵理子, 大橋 隆治, 許田 典男, 蒔田 益次郎: 乳癌特殊型の病理診断におけるガラススライドとバーチャルスライドの比較検討研究. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集, 2019. 7.
- 25) 栗田智子: 乳癌磁気法センチネルリンパ節生検の臨床試験報告. 第 27 回日本乳癌学会学術集会, 2019. 7.
- 26) 栗田 智子, 垂野 香苗, 柳原 恵子, 中井 麻木, 范姜 明志, 坂谷 貴司, 蒔田 益次郎, 眞鍋 恵理子, 榎戸 克年, 明石 定子, 沢田 晃弘, 桑山 隆志, 橋本 梨佳子, 川手 佳美, 斉藤 逸郎, 桑波田 晃弘, 関野 正樹, 日下部 守昭, 中村 清吾, 武井 寛幸: 乳癌磁気法センチネルリンパ節生検の臨床試験報告 AMED 開発機構委託・多施設共同臨床研究. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集, 2019. 7.
- 27) 栗田智子, 垂野香苗, 柳原恵子, 中井麻木, 范姜明志, 坂谷貴司, 蒔田益次郎, 眞鍋恵理子, 榎戸克年, 明石定子, 沢田晃弘, 桑山隆志, 橋本梨佳子, 川手佳美, 斉藤逸郎, 桑波田晃弘, 関野正樹, 日下部守昭, 中村清吾, 武井寛幸: 乳癌磁気法センチネルリンパ節生検の臨床試験報告:AMED 開発機構委託・多施設共同臨床研究. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2019.
- 28) 飯田信也, 鈴木えりか, 羽鳥努, 武井寛幸: 乳癌術後内分泌療法としてのタモキシフェン投与中に高エストロジオール血症をきたした 1 例. 日本臨床外科学会雑誌, 2019.
- 29) 関 奈紀, 横山 正, 丸山 弘, 牧野 浩司, 吉田 寛, 武井 寛幸: 乳癌術後半年で骨髄癌症を呈し急速な転帰で死亡に至った 1 例. 日本医科大学医学会雑誌, 2019. 10.
- 30) 山下浩二, 山下浩二, 山下浩二, 長野真由子, 菊池潔, 武井寛幸: 乳腺内視鏡手術における蛍光ガイドの有用性. 日本臨床外科学会雑誌, 2019.
- 31) 垂野香苗, 中村清吾, 繁永礼奈, 永田彩, 松柳美咲, 酒井春奈, 松永有紀, 中山紗由香, 阿多亜里沙, 吉沢あゆは, 橋本梨香子, 増田紘子, 井手佳美, 桑山隆志, 森美樹, 鈴木研也, 澤田晃暢, 明石定子, 栗田智子, 武井寛幸: 乳腺非触知病変に対する国内発の新規磁気プローブとガイディングマーカーシステムを使用した手術の報告. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2019.
- 32) 中井麻木, 中井麻木, 范姜明志, 栗田智子, 野呂倫太郎, 山田岳志, 山田岳志, 武井寛幸: 予防切除を施行した乳房に乳癌を認めた 1 例. 日本家族性腫瘍学会学術集会プログラム・抄録集, 2019.
- 33) 松本広志, 松本広志, 武井寛幸, 武井寛幸, 二宮淳, 二宮淳, 林祐二, 林祐二, 戸塚勝理, 戸塚勝理, 久保和之, 久保和之, 坪井美樹, 坪井美樹, 黒住昌史, 黒住昌史, 齋藤毅, 齋藤毅: 内分泌感受性閉経後乳がん患者に対する術前エキセメスタン治療の有用性の検討(SBCCSG 23). 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2019.
- 34) 宮崎正二郎, 村瀬博美, 成田徹, 武井寛幸: 同一サブタイプ(HER2 高発現)を示した乳頭 Paget 病と浸潤性乳管癌の同側同時多発二重癌の 1 例. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2019.
- 35) 横山正, 関奈紀, 牧野浩司, 武井寛幸, 吉田寛: 当院での乳房手術,特に乳房温存術において心がけていること. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2019.
- 36) 関 奈紀, 横山 正, 牧野 浩司, 吉田 寛, 武井 寛幸: 当院での乳房手術、特に乳房温存術においての心掛けと工夫. 日本内分泌外科学会雑誌, 2019. 9.
- 37) 高田護, 高田護, 高田護, 金子安比古, 春田雅之, 武井寛幸, 武井寛幸, 井上賢一, 永井成勲, 戸塚勝理, 黒住昌史, 黒住昌史, 小川誠司, 長嶋健, 三階貴史, 藤本浩司, 大塚将之, ZHANG Jing, ZHANG Qing: 染色体不安定性および低酸素応答分子のメカニズム解明による乳癌の克服. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2019.
- 38) 高田護, 高田護, 春田雅之, 永井成勲, 戸塚勝理, 武井寛幸, 井上賢一, 黒住昌史, 宮崎勝, 小川誠司, 大塚将之, 金子安比古:

染色体不安定性はホルモン受容体陽性乳癌に治療抵抗性をもたらす. 日本癌学会学術総会抄録集(Web), 2019.

- 39) 中井麻木, 中井麻木, 佐藤あい, 范姜明志, 栗田智子, 柳原恵子, 武井寛幸, 高橋吾郎, 高橋吾郎, 山田岳史, 山田岳史: 濃厚な家族歴を有する患者への遺伝カウンセリングの重要性. 日本人類遺伝学会大会プログラム・抄録集, 2019.
- 40) 三沢彩, 近藤幸尋, 武井寛幸, 瀧澤俊広: 癌の骨転移に関与する lncRNA の分子解剖学的解析. 日本解剖学会総会・全国学術集会講演プログラム・抄録集, 2019.
- 41) 三沢彩, 近藤幸尋, 武井寛幸, 瀧澤俊広: 癌の骨転移に関与する lncRNA の機能解析. 日本癌学会学術総会抄録集(Web), 2019.
- 42) 栗田智子: 磁性体を用いた新しいセンチネルリンパ節生検. Breast Cancer Clinical Meeting, 2019. 6.
- 43) 蒔田益次郎, 眞鍋恵理子, 武井寛幸, 中村清吾, 日下部守昭, 関野正樹: 磁性性薬剤を用いるセンチネルリンパ節生検での集積の経時的变化と磁石による促進効果. 日本外科学会定期学術集会(Web), 2019.
- 44) 山下浩二, 山下浩二, 山下浩二, 菊池潔, 武井寛幸: 蛍光内視鏡的乳腺部分切除術における乳房形成の最適化. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2019.

16 内分泌外科学分野

研究業績

論文等

- 1) 杉谷 巖 : Active Surveillance versus Immediate Surgery: Questionnaire Survey on the Current Treatment Strategy for Adult Patients with Low-risk Papillary Thyroid Microcarcinoma in Japan. *Thyroid* 2019
- 2) Dai Namizato, Masae Iwasaki, Masashi Ishikawa, Ryuta Nagaoka, Yuki Genda, Hiroaki Kishikawa, Iwao Sugitani, Atsuhiro Sakamoto : Anesthetic Considerations of Intraoperative Neuromonitoring in Thyroidectomy. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (5) :263-268. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-408.
- 3) Onoda N, Sugitani I, Ito K, Suzuki A, Higashiyama T, Fukumori T, Suganuma N, Masudo K, Nakayama H, Uno A, Yane K, Yoshimoto S, Ebina A, Kawasaki Y, Maeda S, Iwadata M, Suzuki S : Evaluation of the 8th Edition TNM Classification for Anaplastic Thyroid Carcinoma. *Cancers* 2020; 12:552.
- 4) Kure S, Ishino K, Kudo M, Wada R, Sanada M, Nagaoka R, Sugitani I, Naito Z : Incidence of BRAF V600E in papillary thyroid carcinomas: a single institution experience. *Journal of International Medical Research* 2019; 47 (11) :5560-5572. doi: 10.1177/0300060519873481.
- 5) 長岡 竜太, 杉谷 巖, 眞田 麻梨恵, 軸菌 智雄, 岡村 律子, 五十嵐 健人, 清水 一雄 : MEN2B の診断と治療の実際 自験例を通じて. *日本癌治療学会学術集会抄録集* 2019; 57 回:O16-6.
- 6) 銭 真臣, 長岡 竜太, 齋藤 麻梨恵, 杉谷 巖, 功刀 しのぶ, 寺崎 康弘, 坂谷 貴司 : Marine-Lenhart 症候群に対して外科的治療を施行した 1 例. *日本医科大学医学会雑誌* 2019; 15 (4) :268.
- 7) 杉谷 巖 : Video-assisted neck surgery (VANS) using a gasless lifting procedure for thyroid and parathyroid diseases: "The VANS method from A to Z". *Surg Today* 2019
- 8) 長岡 竜太, 杉谷 巖, 數阪 広子, 松井 満美, 銭 真臣, 眞田 麻梨恵, 軸菌 智雄, 岡村 律子, 五十嵐 健人, 赤須 東樹, 清水 一雄 : バセドウ病に対する VANS 法手術の成績 通常法手術との比較. *日本内分泌外科学会雑誌* 2019; 36 (Suppl.1) :S120.
- 9) 長岡 竜太, 杉谷 巖, 數阪 広子, 松井 満美, 銭 真臣, 眞田 麻梨恵, 軸菌 智雄, 岡村 律子, 五十嵐 健人, 赤須 東樹, 清水 一雄 : バセドウ病に対する VANS 法手術の成績 通常法手術との比較. *小切開・鏡視外科学会雑誌* 2019; 10 (1) :58.
- 10) 長岡竜太, 杉谷巖, 數阪広子, 松井満美, 銭真臣, 齋藤麻梨恵, 軸菌智雄, 岡村律子, 五十嵐健人, 赤須東樹, 清水一雄 : バセドウ病の手術適応 VANS 法手術も行う都内大学病院の場合. *日本内分泌学会雑誌* 2019; 95 (4 (Web))
- 11) 長岡 竜太, 杉谷 巖, 數阪 広子, 松井 満美, 銭 真臣, 齋藤 麻梨恵, 軸菌 智雄, 岡村 律子, 五十嵐 健人, 赤須 東樹, 清水 一雄 : バセドウ病の手術適応 VANS 法手術も行う都内大学病院の場合. *日本内分泌学会雑誌* 2020; 95 (4) :1375.
- 12) 長岡 竜太, 杉谷 巖, 眞田 麻梨恵, 軸菌 智雄, 岡村 律子, 清水 一雄 : バセドウ病の手術適応 バセドウ病の手術適応 内視鏡手術も行う都内大学病院の場合. *日本臨床外科学会雑誌* 2019; 80 (増刊) :421.
- 13) 軸菌 智雄, 眞鍋 恵理子, 石川 朋子, 赤須 東樹, 石橋 宰, 杉谷 巖, 蒔田 益次郎, 山田 哲 : 乳管内視鏡を用いた RNA 解析の可能性について. *日本内分泌外科学会雑誌* 2019; 36 (Suppl.1) :S144.
- 14) 杉谷 巖, 眞田 麻梨恵, 數阪 広子, 松井 満美, 銭 真臣, 長岡 竜太, 呉 壮香 : 今後の甲状腺結節の取り扱い-内科・外科・病理からの見解 外科医から見た甲状腺境界病変 乳頭癌診療への影響. *日本内分泌学会雑誌* 2019; 95 (1) :232.
- 15) 岡村 律子, 清水 一雄, 五十嵐 健人, 赤須 東樹, 軸菌 智雄, 長岡 竜太, 齋藤 麻梨恵 : 内視鏡下甲状腺悪性腫瘍の手術(私の工夫) 甲状腺癌に対する VANS(Video-assisted neck surgery)法による内視鏡下甲状腺切除術. *日本内分泌外科学会雑誌* 2019; 36 (Suppl.3) :S279.
- 16) 山田 裕士, 松浦 暢孝, 木内 一貴, 岡島 史宜, 杉谷 巖, 江本 直也 : 嚥下障害のためチアマゾール点滴投与を要したバセドウ病、甲状腺左葉腫瘍の 1 例. *日本内分泌学会雑誌* 2020; 95 (3) :979.
- 17) 杉谷巖, 眞田麻梨恵, 數阪広子, 松井満美, 銭真臣, 長岡竜太, 呉壮香 : 外科医から見た甲状腺境界病変:乳頭癌診療への影響. *日本内分泌学会雑誌* 2019; 95 (1) :232.

- 18) 呉 壮香, 和田 龍一, 石野 孔祐, 工藤 光洋, 廣川 満良, 眞田 麻梨恵, 長岡 竜太, 杉谷 巖, 内藤 善哉 : 好酸性細胞型濾胞癌 2 例の臨床病理学的特徴および遺伝子解析. 日本内分泌外科学会雑誌 2019; 36 (Suppl.1) :S137.
- 19) 大野 万葉, 仲村 優子, 山田 裕士, 福田 いずみ, 杉谷 巖, 菱沼 昭, 杉原 仁 : 妊娠により甲状腺中毒症が増悪し鑑別が困難であった症例. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (Suppl.Update) :41-44.
- 20) 數阪 広子, 長岡 竜太, 松井 満美, 錢 真臣, 眞田 麻梨恵, 遠藤 陽子, 寺崎 泰弘, 坂谷 貴司, 岡村 律子, 杉谷 巖 : 小児造血器腫瘍の治療後に甲状腺濾胞癌を発症した 1 例. 日本内分泌外科学会雑誌 2019; 36 (Suppl.1) :S139.
- 21) 眞田 麻梨恵, 呉 壮香, 松井 満美, 數阪 広子, 錢 真臣, 長岡 竜太, 岡村 律子, 杉谷 巖 : 当院で経験した悪性度不明の高分化腫瘍 (WDT-UMP). 日本内分泌外科学会雑誌 2019; 36 (Suppl.1) :S151.
- 22) 杉谷 巖, 蛭名 彩, 戸田 和寿, 長岡 竜太, 齋藤 麻梨恵, 錢 真臣, 數阪 広子, 松井 満美, 山田 恵子 : 早期乳癌、早期甲状腺癌、甲状腺結節に対する低侵襲治療 無症候性微小乳頭癌の非手術経過観察において多発は進行の危険因子ではない. 日本内分泌外科学会雑誌 2019; 36 (Suppl.3) :S266.
- 23) 杉谷 巖 : 特集 : 甲状腺・副甲状腺-知りたいこと・知っておかねばならないこと 微小癌における active surveillance の適応と実際. JOHNS 2019; 35 (6) :709-712.
- 24) 杉谷 巖 : 特集 : 甲状腺腫瘍の診療最前線 大きく変わった甲状腺癌の診断と治療. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 2019; 91 (7) :510-514.
- 25) 岡村 律子, 清水 一雄, 長岡 竜太, 五十嵐 健人, 赤須 東樹, 杉谷 巖 : 甲状腺・副甲状腺の内視鏡手術～術式の検討と将来展望～パセドウ病に対する内視鏡下甲状腺切除術(VANS 法) 術式の検討と将来展望. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :SY4-1.
- 26) 松井 満美, 長岡 竜太, 數阪 広子, 錢 真臣, 眞田 麻梨恵, 呉 壮香, 岡村 律子, 杉谷 巖 : 甲状腺未分化癌 Stage IVC、PI=4 に対し集学的治療を行い長期生存が得られた一例. 日本内分泌外科学会雑誌 2019; 36 (Suppl.1) :S146.
- 27) 杉谷 巖 : 甲状腺未分化癌の子後因子. 内分泌外会誌 2019; 36 (3) :165-170.
- 28) 齋藤 麻梨恵, 長岡 竜太, 岡村 律子, 杉谷 巖 : 甲状腺未分化癌の治療 甲状腺未分化癌に対するレンパチニブ使用例の検討. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :422.
- 29) 軸藪 智雄, 石川 朋子, 赤須 東樹, 石橋 宰, 廣川 満良, 杉谷 巖, 山田 哲 : 甲状腺濾胞癌 FFPE サンプルを用いた次世代型アレイ解析について. 日本内分泌学会雑誌 2020; 95 (4) :1340.
- 30) 杉谷 巖 : 術前把握できなかった甲状腺内異物を伴った甲状腺乳頭癌の 1 例. 日臨外会誌 2020; 81 (1) :20-25.
- 31) 齋藤 麻梨恵, 呉 壮香, 長岡 竜太, 岡村 律子, 杉谷 巖 : 術前把握できなかった甲状腺内異物を伴った甲状腺乳頭癌の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 2020; 81 (1) :20-25. doi: 10.3919/jjsa.81.20.
- 32) 錢 真臣, 長岡 竜太, 數阪 広子, 松井 満美, 齋藤 麻梨恵, 杉谷 巖, 坂谷 貴司, 亀山 香織 : 診断に難渋した非機能性副甲状腺癌の 1 例. 日本内分泌外科学会雑誌 2019; 36 (Suppl.3) :S341.
- 33) 長岡 竜太, 杉谷 巖 : 進行甲状腺癌症例(Ex+)の手術療法について 神経浸潤が疑われる症例に対して IONM を使用した手術法. 日本内分泌外科学会雑誌 2019; 36 (Suppl.3) :S285.
- 34) 軸藪 智雄, 眞鍋 恵理子, 石川 朋子, 赤須 東樹, 石橋 宰, 杉谷 巖, 山田 哲, 蒔田 益次郎 : 非浸潤性乳管癌の疑似細胞診検体を用いた次世代型アレイ解析について. 日本内分泌外科学会雑誌 2019; 36 (Suppl.3) :S320.

著書

- 1) 杉谷 巖 : 〔分担執筆〕甲状腺腫瘍. 今日の治療指針 2020 私はこう治療している. 2020, 医学書院.
- 2) 岡村 律子, 杉谷 巖 : 〔分担執筆〕II カルシウム・リン・骨代謝の病態 1 章 甲状腺関連疾患 第 2 節疾患各論 B 副甲状腺癌 1 診断と治療. 副甲状腺・骨代謝疾患診療マニュアル 改訂第 2 版. 2019, 診断と治療社.
- 3) 杉谷 巖 : 〔分担執筆〕甲状腺専門医実践問題集. 2019, 診断と治療社.

学会発表

- 1) Sugitani I, Ishikawa A, Toda K, Mitani H, Nagaoka R, Saitou M, Sen M, Kazusaka H, Matsui M : Better Access to RAI and Advent of TKI Improved Outcome of Patients with Distant Metastasis from PTC. 17th Biennial Congress of Asian Association of Endocrine Surgeons, 2020. 3.

- 2) Nagaoka R, Sugitani I, Saito M, Jikuzono T, Okamura R, Igarashi T, Shimizu K : Experience of Multiple Endocrine Neoplasia type 2A: Reality in the Indication of Prophylactic Thyroidectomy in Japan. 17th Biennial Congress of Asian Association of Endocrine Surgeons, 2020. 3.
- 3) 長岡 竜太, 杉谷 巖, 眞田 麻梨恵, 軸菌 智雄, 岡村 律子, 五十嵐 健人, 清水 一雄 : MEN2B の診断と治療の実際 自験例を通じて. 日本癌治療学会学術集会抄録集, 2019. 10.
- 4) 杉谷 巖 : Management of high-risk thyroid carcinoma. 71st Annual Congress of the Korean Surgical Society, 2019. 11.
- 5) 銭 真臣, 長岡竜太, 齋藤麻梨恵, 杉谷 巖, 功刀しのぶ, 寺崎泰弘, 坂口貴司 : Marine-Lenhart 症候群に対して外科的治療を施行した 1 例. 第 87 回日本医科大学医学会総会, 2019. 9.
- 6) 杉谷 巖 : Multifocality is not a significant risk factor for progression during active surveillance of papillary thyroid microcarcinoma. 13th Asia Oceania Thyroid Association Scientific Meeting, 2019. 8.
- 7) 杉谷 巖 : Questionnaire Survey on Treatment Strategy for Adult Patients with Asymptomatic Papillary Thyroid Microcarcinoma in Japan. International Association of Endocrine Surgeons 2019, 48th World Congress of Suregry, 2019. 8.
- 8) 杉谷 巖 : Shear Wave Measurement (SWM)を用いた甲状腺結節の評価について. 第 36 回甲状腺病態生理研究会, 2020. 1.
- 9) Sugitani I : Systemic therapies on patients with anaplastic thyroid carcinoma. 17th Biennial Congress of Asian Association of Endocrine Surgeons, 2020. 3.
- 10) 長岡竜太, 杉谷巖, 眞田麻梨恵, 軸菌智雄, 岡村律子, 五十嵐健人, 清水一雄 : The reality of MEN2B diagnosis and treatment through our cases. 第 57 回日本癌治療学会学術集会, 2019. 10.
- 11) 杉谷 巖, 伊藤康弘, 宮内 昭 : 「成人の甲状腺微小乳頭癌の取扱いに関する実態調査」結果報告. 第 31 回日本内分泌外科学会総会, 2019. 6.
- 12) 長岡 竜太, 杉谷 巖, 数阪 広子, 松井 満美, 銭 真臣, 眞田 麻梨恵, 軸菌 智雄, 岡村 律子, 五十嵐 健人, 赤須 東樹, 清水 一雄 : パセドウ病に対する VANS 法手術の成績 通常法手術との比較. 日本内分泌外科学会雑誌, 2019. 5.
- 13) 長岡竜太, 杉谷巖, 数阪広子, 松井満美, 銭真臣, 眞田麻梨恵, 軸菌智雄, 岡村律子, 五十嵐健人, 赤須東樹, 清水一雄 : パセドウ病に対する VANS 法手術の成績～通常法手術との比較～. 第 31 回日本内分泌外科学会総会, 2019. 6.
- 14) 岡村 律子, 清水 一雄, 長岡 竜太, 五十嵐健人, 赤須 東樹, 杉谷 巖 : パセドウ病に対する内視鏡下甲状腺切除術 (VANS 法) ～術式の検討と将来展望～. 第 32 回日本内視鏡外科学会総会, 2019. 12.
- 15) 長岡竜太, 杉谷巖, 眞田麻梨恵, 軸菌智雄, 岡村律子, 清水一雄 : パセドウ病の手術療法 内視鏡手術も行う都内大学病院の場合. 第 81 回日本臨床外科学会総会, 2019. 11.
- 16) 長岡 竜太, 杉谷 巖, 数阪 広子, 松井 満美, 銭 真臣, 齋藤 麻梨恵, 軸菌 智雄, 岡村 律子, 五十嵐 健人, 赤須 東樹, 清水 一雄 : パセドウ病の手術適応 VANS 法手術も行う都内大学病院の場合. 日本内分泌学会雑誌, 2020. 2.
- 17) 長岡 竜太, 杉谷 巖, 眞田 麻梨恵, 軸菌 智雄, 岡村 律子, 清水 一雄 : パセドウ病の手術適応 パセドウ病の手術適応 内視鏡手術も行う都内大学病院の場合. 日本臨床外科学会雑誌, 2019. 10.
- 18) 谷口 和樹, 眞田 麻梨恵, 勝野 暁, 角崎 秀文, 小平 祐造 : バリウムによる上部消化管造影検査後に発生した大腸穿孔の 1 例. 外科, 2019. 4.
- 19) 軸菌智雄, 眞鍋恵理子, 石川朋子, 赤須東樹, 石橋幸, 杉谷巖, 蒔田益次郎, 山田哲 : 乳管内視鏡を用いた RNA 解析の可能性について. 第 31 回日本内分泌外科学会総会, 2019. 6.
- 20) 岡村 律子, 清水 一雄, 五十嵐 健人, 赤須 東樹, 軸菌 智雄, 長岡 竜太, 齋藤 麻梨恵 : 内視鏡下甲状腺悪性腫瘍の手術(私の工夫) 甲状腺癌に対する VANS(Video-assisted neck surgery)法による内視鏡下甲状腺切除術. 日本内分泌外科学会雑誌, 2019. 9.
- 21) 杉谷巖, 眞田麻梨恵, 数阪広子, 松井満美, 銭真臣, 長岡竜太, 呉壮香 : 外科医から見た甲状腺境界病変:乳頭癌診療への影響. 日本内分泌学会雑誌, 2019. 4.
- 22) 呉 壮香, 和田 龍一, 石野 孔祐, 工藤 光洋, 廣川 満良, 眞田 麻梨恵, 長岡 竜太, 杉谷 巖, 内藤 善哉 : 好酸性細胞型濾胞癌 2 例の臨床病理学的特徴および遺伝子解析. 日本内分泌外科学会雑誌, 2019. 5.
- 23) 数阪 広子, 長岡 竜太, 松井 満美, 銭 真臣, 眞田 麻梨恵, 遠藤 陽子, 寺崎 泰弘, 坂谷 貴司, 岡村 律子, 杉谷 巖 : 小児造血器腫瘍の治療後に甲状腺濾胞癌を発症した 1 例. 日本内分泌外科学会雑誌, 2019. 5.

- 24) 赤須東樹, 岡村律子, 杉谷巖 : 当科甲状腺切除術におけるドレナージの変遷. 第 31 回日本内分泌外科学会総会, 2019. 6.
- 25) 赤須東樹, 岡村律子, 杉谷 巖 : 当科甲状腺切除術におけるドレナージの現状. 第 52 回日本内分泌外科学会学術大会, 2019. 10.
- 26) 眞田 麻梨恵, 呉 壮香, 松井 満美, 數阪 広子, 錢 真臣, 長岡 竜太, 岡村 律子, 杉谷 巖 : 当院で経験した悪性度不明の高分化腫瘍 (WDT-UMP). 日本内分泌外科学会雑誌, 2019. 5.
- 27) 杉谷 巖 : 放射性ヨウ素内用療法を真面目に行い、分子標的薬を適正に使用すると乳頭癌遠隔転移例の予後は改善するか?. 第 36 回甲状腺病態生理研究会, 2020. 1.
- 28) 杉谷 巖, 蛭名 彩, 戸田 和寿, 長岡 竜太, 齋藤 麻梨恵, 錢 真臣, 數阪 広子, 松井 満美, 山田 恵子 : 早期乳癌、早期甲状腺癌、甲状腺結節に対する低侵襲治療 無症候性微小乳頭癌の非手術経過観察において多発は進行の危険因子ではない. 日本内分泌外科学会雑誌, 2019. 9.
- 29) 今井常夫, 南博信, 杉谷巖, 伊藤康弘, 村上秀雄, 砂谷敏行, 岡山豊, 佐藤祥一郎 : 根治切除不能な分化型甲状腺癌患者を対象としたソラフェニブの製造販売後調査 (全例調査) : 最終報告. 第 31 回日本内分泌外科学会総会, 2019. 6.
- 30) 杉谷 巖, 蛭名 彩, 戸田和寿, 長岡竜太, 齋藤麻梨恵, 錢 真臣, 數阪広子, 松井満美, 山田恵子 : 無症候性微小乳頭癌の非手術経過観察において多発は進行の危険因子ではない. 第 52 回日本内分泌外科学会学術大会, 2019. 10.
- 31) 杉谷 巖 : 甲状腺がんの臨床アップデート : アクティブ・サーベイランスから分子標的薬治療まで. 第 37 回北海道甲状腺談話会, 2019. 7.
- 32) 杉谷 巖 : 甲状腺がん臨床アップデート : アクティブ・サーベイランスから分子標的薬治療まで. 第 21 回長崎内分泌研究会, 2019. 9.
- 33) 杉谷 巖 : 甲状腺中毒症の原因特定に難渋している一例. 第 36 回甲状腺病態生理研究会, 2020. 1.
- 34) 杉谷 巖 : 甲状腺微小乳頭癌と濾胞性腫瘍の過剰治療を避けるために (外科の立場から). 第 29 回臨床内分泌代謝 Update, 2019. 11.
- 35) 松井 満美, 長岡 竜太, 數阪 広子, 錢 真臣, 眞田 麻梨恵, 呉 壮香, 岡村 律子, 杉谷 巖 : 甲状腺未分化癌 Stage IVC、PI=4 に対し集学的治療を行い長期生存が得られた一例. 日本内分泌外科学会雑誌, 2019. 5.
- 36) 齋藤麻梨恵, 長岡竜太, 岡村律子, 杉谷巖 : 甲状腺未分化癌に対するレンバチニブ使用例の検討. 第 81 回日本臨床外科学会総会, 2019. 11.
- 37) 齋藤 麻梨恵, 長岡 竜太, 岡村 律子, 杉谷 巖 : 甲状腺未分化癌の治療 甲状腺未分化癌に対するレンバチニブ使用例の検討. 日本臨床外科学会雑誌, 2019. 10.
- 38) 軸菌智雄, 石川朋子, 赤須東樹, 石橋幸, 廣川満良, 杉谷巖, 山田哲 : 甲状腺濾胞癌 FFPE サンプルを用いた次世代型アレイ解析について. 第 62 回日本甲状腺学会学術集会, 2019. 10.
- 39) 長岡竜太, 杉谷 巖 : 神経浸潤が疑われる症例に対して IONM を使用した手術法. 第 52 回日本内分泌外科学会学術大会, 2019. 10.
- 40) 杉谷 巖 : 縦隔病変のある甲状腺乳頭癌手術症例の検討. 第 30 回日本頭頸部癌学会外科学会総会ならびに学術講演会, 2020. 1.
- 41) 杉谷 巖 : 藤本吉秀先生メモリアルレクチャー : 藤本吉秀先生を偲んで. 第 31 回日本内分泌外科学会総会, 2019. 6.
- 42) 錢 真臣, 長岡竜太, 數阪広子, 松井満美, 眞田麻梨恵, 亀山香織, 坂谷貴司, 杉谷 巖 : 術前診断に難渋した非機能性副甲状腺癌の 1 例. 第 14 回大江戸内分泌手術手技懇話会, 2019. 5.
- 43) 錢 真臣, 長岡竜太, 數阪広子, 松井満美, 齋藤麻梨恵, 杉谷 巖, 坂谷貴司, 亀山香織 : 診断に難渋した非機能性副甲状腺癌の 1 例. 第 52 回日本内分泌外科学会学術大会, 2019. 10.
- 44) 軸菌智雄, 眞鍋恵理子, 石川朋子, 赤須東樹, 石橋幸, 杉谷巖, 山田哲, 蒔田益次郎 : 非浸潤性乳管癌の疑似細胞診検体を用いた次世代型アレイ解析について. 第 52 回日本内分泌外科学会学術大会, 2019. 10.
- 45) 山田裕士, 松浦暢孝, 岡島史宣, 杉谷巖, 江本直也 : 骨粗鬆症治療中の高 Ca で判明した原発性副甲状腺機能亢進症の一例. 第 29 回臨床内分泌代謝 Update, 2019. 11.

17 心臓血管外科学分野

研究業績

論文等

- 1) 栗田 二郎, 師田 哲郎, 廣本 敦之, 村田 智洋, 上田 達夫, 川俣 博志, 新田 隆 : 2debranching TEVAR 術後に合併した RTAD に対する緊急手術 送血路や開胸の工夫. 日本血管外科学会雑誌 2019; 28 (Suppl.) :P67-1.
- 2) 高橋 賢一朗, 泉二 祐輔, 網谷 亮輔, 上田 仁美, 森嶋 素子, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 川瀬 康裕, 佐々木 孝, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 石井 庸介, 師田 哲郎, 新田 隆 : 75 歳以上の CABG 患者に対して両側内胸動脈を使用するのは安全か. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集 2020; 50 回:PR5-4.
- 3) 網谷 亮輔, 石井 庸介, 泉二 祐輔, 上田 仁美, 高橋 賢一朗, 森嶋 素子, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 川瀬 康裕, 佐々木 孝, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 師田 哲郎, 新田 隆 : CABG 術前腎機能障害は術後心筋血流量、虚血に影響するか? 薬剤負荷心筋シンチによる経時的な検討. 日本冠疾患学会誌 2019; (Suppl.2019) :177.
- 4) Kenichiro Takahashi, Jun Nakata, Jiro Kurita, Yosuke Ishii, Wataru Shimizu, Takashi Nitta : Impella-assisted coronary artery bypass grafting for acute myocardial infarction. Asian cardiovascular & thoracic annals 2020; 28 (2) :115-117. doi: 10.1177/0218492319888053.
- 5) Hiroshi Kawamata, Hiroyuki Tajima, Tatsuo Ueda, Hidemasa Saito, Daisuke Yasui, Tadashi Kaneshiro, Naoko Takenoshita, Shouhei Mizushima, Takahiko Mine, Jiro Kurita, Yosuke Ishii, Tetsuro Morota, Takashi Nitta, Yuji Maruyama, Hajime Imura, Dai Nishina, Masahiro Fujii, Ryuzo Bessho : Long-term outcomes of endovascular aortic aneurysm repair with the Zenith AAA endovascular graft: a single-center study. Japanese journal of radiology 2020; 38 (1) :77-84. doi: 10.1007/s11604-019-00892-6.
- 6) Suzuki K, Sasaki T, Kunugi S, Shima Y, Fukazawa R, Shimizu A, Nitta T : Resection of Kommerell's diverticulum in an infant with prenatal diagnosis of right aortic arch. Surgical case reports 2019; 5 (1) :172. doi: 10.1186/s40792-019-0726-2.
- 7) 水嶋 翔平, 嶺 貴彦, 吉尾 敬秀, 上嶋 総, 樫村 剛司, 井関 陽平, 仁科 大, 藤井 正大, 別所 竜蔵 : Squid-Capture 法を用いた Stentgraft 開窓により Stent-in-Stent で修復した腹部大動脈閉塞症の一例. 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌 2019; 34 (Suppl.) :327.
- 8) 村田 智洋, 坂本 俊一郎, 藤松 利浩 : Stanford A 型急性大動脈解離に対する全弓部大動脈置換術後に大動脈気管支瘻をきたした 1 例. 胸部外科 2019; 72 (13) :1093-1096.
- 9) Sakamoto SI, Hiromoto A, Murata H, Suzuki K, Kurita J, Kawase Y, Sasaki T, Miyagi Y, Ishii Y, Morota T, Shimizu W, Nitta T : Surgical procedure for targeting arrhythmogenic substrates in the treatment of ventricular tachycardia associated with cardiac tumors. Heart rhythm 2019; 17 (2) :238-242. doi: 10.1016/j.hrthm.2019.08.025.
- 10) Yosuke Ishii, Shin-Ichiro Kumita, Takashi Nitta : Therapeutic efficacy of coronary artery bypass grafting evaluated by hybrid cardiac single-photon emission computed tomography/computed tomography imaging. European journal of cardio-thoracic surgery : official journal of the European Association for Cardio-thoracic Surgery 2019; 56 (6) :1206. doi: 10.1093/ejcts/ezz152.
- 11) Tomohiro Murata, Shunichiro Sakamoto, Toshihiro Fujimatsu : [Aortobronchial Fistula after Total Arch Replacement with Stanford Type A Acute Aortic Dissection; Report of a Case]. Kyobu geka. The Japanese journal of thoracic surgery 2019; 72 (13) :1093-1096.
- 12) 佐々木 孝, 泉二 祐輔, 網谷 亮輔, 上田 仁美, 高橋 賢一朗, 森嶋 素子, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 川瀬 康裕, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 石井 庸介, 師田 哲郎, 新田 隆 : ダウン症候群に合併する心室中隔欠損に対する二期的手術. 日本胸部外科学会定期学術集会 2019; 72nd
- 13) 鈴木 憲治, 佐々木 孝, 泉二 祐輔, 網谷 亮輔, 上田 仁美, 高橋 賢一朗, 森嶋 素子, 栗田 二郎, 川瀬 康裕, 宮城 泰雄, 坂本 俊一郎, 石井 庸介, 師田 哲郎, 新田 隆 : 二心室修復可能な先天性心疾患に対する肺動脈絞扼術の後方視的検討. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集 2020; 50 回:P1-5.
- 14) 鈴木 憲治, 佐々木 孝, 上田 仁美, 廣本 敦之, 栗田 二郎, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 石井 庸介, 師田 哲郎, 深澤 隆治, 新田 隆 : 今だから考える、先天性心疾患における MICS 小児低侵襲心臓手術を目指した側開胸心房中隔欠損閉鎖手術の検討. 日本小児循環器学会雑誌 2019; 35 (Suppl.1) :s1-155.

- 15) 茂澤 幸右, 松田 淳也, 細川 雄亮, 鈴木 憲治, 村田 智洋, 佐藤 達志, 木村 徳宏, 浅野 和宏, 藤本 竜平, 三軒 豪仁, 中田 淳, 太良 修平, 山本 剛, 高野 仁司, 新田 隆, 清水 渉 : 側壁心筋梗塞後心破裂から心嚢血腫をきたし、遅発性心タンポナーデに陥り治療方針の決定に苦慮した1例. ICUとCCU 2019; 43 (別冊) :S115.
- 16) 石井 庸介, 森嶋 素子, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 佐々木 孝, 栗田 二郎, 鈴木 憲治, 廣本 敦之, 高橋 賢一郎, 上田 仁美, 井塚 正一郎, 師田 哲郎, 新田 隆 : 低侵襲時代の虚血性心疾患の外科治療 低侵襲冠動脈バイパス術に多枝バイパスは必要ないか? CT fusion 薬剤負荷シンチでの検証. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119回:WS-2.
- 17) 佐々木 孝, 芝田 匡史, 川瀬 康裕, 栗田 二郎, 泉二 佑輔, 網谷 亮輔, 上田 仁美, 高橋 賢一郎, 森嶋 素子, 鈴木 憲治, 宮城 泰雄, 坂本 俊一郎, 石井 庸介, 師田 哲郎, 新田 隆 : 修正大血管転位に対するRastelli術後の導管交換術 症例報告. 日本成人先天性心疾患学会雑誌 2020; 9 (1) :273.
- 18) 岩崎 光紗, 佐々木 孝, 川瀬 康裕, 鈴木 憲治, 麻生 俊英, 新田 隆 : 僧帽弁逆流を合併した左冠動脈肺動脈起始に左冠動脈直接移植及び僧帽弁輪縫縮術を行った一例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集 2019; (181回) :18.
- 19) 高橋 賢一郎, 山田 直輝, 泉二 佑輔, 網谷 亮輔, 上田 仁美, 森嶋 素子, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 川瀬 康裕, 佐々木 孝, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 石井 庸介, 師田 哲郎, 新田 隆 : 冠動脈バイパス術における内胸動脈 skeletonization のエビデンス. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集 2020; 50回 (Supplement) :50YJ1-1.
- 20) 大高 永字, 佐々木 孝, 鈴木 憲治, 川瀬 康裕, 新田 隆 : 出生後進行性に心不全が増悪した I 型完全大血管転位の手術例. 日本医科大学医学雑誌 2019; 15 (4) :261-262.
- 21) 高橋 賢一郎, 関根 鉄朗, 栗田 二郎, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 石井 庸介, 師田 哲郎, 新田 隆 : 大動脈瘤・大動脈解離の成因 急性 A 型大動脈解離術後患者における偽腔血流と遠隔期解離性大動脈瘤形成の関連に関する 4D Flow MRI 解析. 脈管学 2019; 59 (Suppl.) :S148-S149.
- 22) 鈴木憲治, 佐々木孝, 上田仁美, 泉二佑輔, 網谷亮輔, 高橋賢一郎, 森嶋素子, 栗田二郎, 川瀬康裕, 宮城泰雄, 坂本俊一郎, 石井庸介, 師田哲郎, 新田隆 : 小児症例に対する低侵襲心臓手術の適応拡大~CT 画像による妥当性と問題点の検討~. 日本胸部外科学会定期学術集会 2019; 72nd
- 23) 佐々木 孝, 鈴木 憲治, 泉二 佑輔, 網谷 亮輔, 上田 仁美, 高橋 賢一郎, 森嶋 素子, 栗田 二郎, 川瀬 康裕, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 石井 庸介, 師田 哲郎, 新田 隆 : 小児閉塞性肥大型心筋症に対する外科治療 僧帽弁置換と経僧帽弁異常心筋切除術の検討. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集 2020; 50回:PR12-2.
- 24) 石井 庸介, 佐々木 孝, 鈴木 憲治, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 川瀬 康裕, 栗田 二郎, 森嶋 素子, 高橋 賢一郎, 上田 仁美, 網谷 亮介, 泉二 佑輔, 師田 哲郎, 新田 隆 : 川崎病冠動脈瘤に対する冠動脈バイパス術. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集 2020; 50回:V3-1.
- 25) 上嶋 聡, 嶺 貴彦, 水嶋 翔平, 井関 洋平, 山田 直輝, 樫村 剛司, 吉尾 敬秀, 仁科 大, 藤井 正大, 別所 竜蔵 : 広範囲血栓閉塞を伴う遺残坐骨動脈瘤に対して血管内アプローチのみで血行再建を完遂した一例. 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌 2019; 34 (Suppl.) :290.
- 26) 井塚 正一郎, 栗田 二郎, 師田 哲郎, 村田 智洋, 上田 仁美, 高橋 賢一郎, 森嶋 素子, 廣本 敦之, 鈴木 憲治, 佐々木 孝, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 石井 庸介, 新田 隆 : 当院における腹部大動脈瘤に対する治療成績 EVAR vs Open Surgery. 日本血管外科学会雑誌 2019; 28 (Suppl.) :P71-1.
- 27) 上田仁美, 佐々木孝, 泉二佑輔, 網谷亮輔, 高橋賢一郎, 森嶋素子, 鈴木憲治, 栗田二郎, 川瀬康裕, 坂本俊一郎, 宮城泰雄, 石井庸介, 師田哲郎, 新田隆 : 循環補助用心内留置型ポンプカテーテルの小児患者への導入基準;左室造影から計測した左室長径から体格の適応を推測する. 日本胸部外科学会定期学術集会 2019; 72nd
- 28) 石井庸介, 坂本俊一郎, 宮城泰雄, 川瀬康裕, 佐々木孝, 栗田二郎, 鈴木憲治, 森嶋素子, 高橋賢一郎, 上田仁美, 網谷亮介, 泉二佑輔, 師田哲郎, 新田隆 : 心房細動手術 26年間の成績と洞調律維持のための手術中の工夫. 日本胸部外科学会定期学術集会 2019; 72nd
- 29) 石井 庸介, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 佐々木 孝, 川瀬 康裕, 栗田 二郎, 鈴木 憲治, 森嶋 素子, 高橋 賢一郎, 上田 仁美, 網谷 亮介, 泉二 佑輔, 師田 哲郎, 新田 隆 : 心房細動治療:リズムコントロールか左心耳閉鎖か 左心耳閉鎖はメイズ手術を越えるのか?. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集 2020; 50回:PD8-2.
- 30) 森嶋 素子, 石井 庸介, 泉二 佑輔, 網谷 亮輔, 上田 仁美, 高橋 賢一郎, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 川瀬 康裕, 佐々木 孝, 宮城 泰

- 雄, 坂本 俊一郎, 師田 哲郎, 桐山 智成, 福嶋 善光, 汲田 伸一郎, 新田 隆 : 心筋 SPECT を用いた CABG 術後早期および遠隔期の心筋虚血と脂肪酸代謝の変化の検討. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集 2020; 50 回:P40-4.
- 31) 村田 智洋, 鈴木 憲治, 石井 庸介, 井塚 正一郎, 上田 仁美, 高橋 賢一朗, 森嶋 素子, 廣本 敦之, 栗田 二郎, 佐々木 孝, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 師田 哲郎, 新田 隆 : 心筋梗塞後菲薄化心筋に対し Sutureless repair を施行した一例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集 2019; (180 回) :17.
- 32) 高橋賢一朗, 関根鉄朗, 栗田二郎, 坂本俊一郎, 石井庸介, 師田哲郎, 汲田伸一郎, 新田隆 : 急性 A 型大動脈解離術後患者の残存偽腔に対する 4D FLow MRI 解析. 日本胸部外科学会定期学術集会 2019; 72nd
- 33) 卯田 昌代, 青木 満, 鈴木 憲治, 萩野 生男, 齋藤 友宏, 梅津 健太郎 : 新しくデザインされた Graham Nunn valved conduit の短期成績. 日本小児循環器学会雑誌 2019; 35 (Suppl.1) :s1-311.
- 34) 橋本 康司, 築野 香苗, 橋本 佳亮, 渡邊 誠, 赤尾 見春, 上砂 光裕, 勝部 康弘, 深澤 隆治, 鈴木 憲治, 佐々木 孝 : 新生児遷延性肺高血圧にて、PGI2 の離脱に Selexipag が有効と思われた両大血管右室起始症のダウン症の 1 例. 日本小児循環器学会雑誌 2019; 35 (Suppl.1) :s1-379.
- 35) 宮城泰雄, 坂本俊一郎, 石井庸介, 井塚正一郎, 村田智洋, 上田仁美, 高橋賢一朗, 森嶋素子, 廣本敦之, 栗田二郎, 佐々木孝, 師田哲郎, 新田隆 : 植え込み型心臓デバイス(CIED)抜去症例に対する開心術の検討. 日本胸部外科学会定期学術集会 2019; 72nd
- 36) 村田 智洋, 廣本 敦之, 丸山 雄二, 井村 肇 : 特発性血小板減少性紫斑病・脾臓摘出後の症例に対し大動脈弁置換術+冠動脈バイパス術を施行した 1 例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集 2019; (181 回) :12.
- 37) 泉二 祐輔, 石井 庸介, 網谷 亮輔, 高橋 賢一朗, 上田 仁美, 森嶋 素子, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 川瀬 康裕, 佐々木 孝, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 師田 哲郎, 新田 隆 : 糖尿病患者を対象とした冠動脈バイパス術後の機能的血流改善効果に対する薬剤負荷心筋シンチを用いた検証. 日本冠疾患学会誌 2019; (Suppl.2019) :153.
- 38) 鈴木 憲治, 佐々木 孝, 上田 仁美, 井塚 正一郎, 村田 智洋, 高橋 賢一朗, 森嶋 素子, 廣本 敦之, 栗田 二郎, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 石井 庸介, 師田 哲郎, 新田 隆 : 肺動脈絞扼術後縦隔炎のコントロールに難渋した、低ガンマグロブリン血症症例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集 2019; (180 回) :26.
- 39) 山名 孝治, 立石 烈, 塩屋 雅人, 中原 嘉則, 川瀬 康裕, 金村 賦之 : 胸背部痛、右下肢麻痺の症状で発症した A 型急性大動脈解離の 1 例. ICU と CCU 2019; 43 (別冊) :S63-S64.
- 40) 井塚正一郎, 宮城泰雄, 村田智洋, 上田仁美, 高橋賢一朗, 森嶋素子, 廣本敦之, 鈴木憲治, 栗田二郎, 佐々木孝, 坂本俊一郎, 石井庸介, 師田哲郎, 新田隆 : 胸腔鏡補助下に High risk 症例の経静脈リード抜去術を安全に施行し得た 5 例. 日本胸部外科学会定期学術集会 2019; 72nd
- 41) 村田智洋, 石井庸介, 宮城泰雄, 坂本俊一郎, 佐々木孝, 栗田二郎, 鈴木憲治, 廣本敦之, 森嶋素子, 高橋賢一朗, 上田仁美, 井塚正一郎, 師田哲郎, 新田隆 : 高齢心房細動患者には Maze 手術よりも左心耳マネージメントが有効か?. 日本胸部外科学会定期学術集会 2019; 72nd

著書

- 1) 別所 竜蔵 : [分担執筆] 9.心筋保護D ③ 肥大心・不全心の心筋保護. 横山 斉, 福田 幾夫, 坂東 興, 田中 千陽, 日本心臓血管外科学会 : 今さら聞けない心臓血管外科基本手技. 2020, 南江堂.

学会発表

- 1) 高橋 賢一朗, 泉二 祐輔, 網谷 亮輔, 上田 仁美, 森嶋 素子, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 川瀬 康裕, 佐々木 孝, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 石井 庸介, 師田 哲郎, 新田 隆 : 75 歳以上の CABG 患者に対して両側内胸動脈を使用するのは安全か. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集, 2020. 3.
- 2) 網谷 亮輔, 石井 庸介, 泉二 祐輔, 上田 仁美, 高橋 賢一朗, 森嶋 素子, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 川瀬 康裕, 佐々木 孝, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 師田 哲郎, 新田 隆 : CABG 術前腎機能障害は術後心筋血流量、虚血に影響するか? 薬剤負荷心筋シンチによる経時的な検討. 日本冠疾患学会誌, 2019. 12.
- 3) Kenji Suzuki : Continuous field block through intercostal muscles during ASD closure through mini-right thoracotomy in pediatric patients.

28th congress of The Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery, 2020. 2.

- 4) 佐々木孝, 泉二佑輔, 網谷亮輔, 上田仁美, 高橋賢一朗, 森嶋素子, 鈴木憲治, 栗田二郎, 川瀬康裕, 坂本俊一郎, 宮城泰雄, 石井庸介, 師田哲郎, 新田隆: ダウン症候群に合併する心室中隔欠損に対する二期的手術. 日本胸部外科学会定期学術集会(Web), 2019.
- 5) 鈴木 憲治, 佐々木 孝, 泉二 佑輔, 網谷 亮輔, 上田 仁美, 高橋 賢一朗, 森嶋 素子, 栗田 二郎, 川瀬 康裕, 宮城 泰雄, 坂本 俊一郎, 石井 庸介, 師田 哲郎, 新田 隆: 二心室修復可能な先天性心疾患に対する肺動脈絞扼術の後方視的検討. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集, 2020.3.
- 6) 佐々木 孝, 芝田 匡史, 川瀬 康裕, 栗田 二郎, 泉二 佑輔, 網谷 亮輔, 上田 仁美, 高橋 賢一朗, 森嶋 素子, 鈴木 憲治, 宮城 泰雄, 坂本 俊一郎, 石井 庸介, 師田 哲郎, 新田 隆: 修正大血管転位に対する Rastelli 術後の導管交換術 症例報告. 日本成人先天性心疾患学会雑誌, 2020. 1.
- 7) 岩崎 光紗, 佐々木 孝, 川瀬 康裕, 鈴木 憲治, 麻生 俊英, 新田 隆: 僧帽弁逆流を合併した左冠動脈肺動脈起始に左冠動脈直接移植及び僧帽弁輪縫縮術を行った一例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集, 2019. 11.
- 8) 高橋 賢一朗, 山田 直輝, 泉二 佑輔, 網谷 亮輔, 上田 仁美, 森嶋 素子, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 川瀬 康裕, 佐々木 孝, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 石井 庸介, 師田 哲郎, 新田 隆: 冠動脈バイパス術における内胸動脈 skeletonization のエビデンス. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集, 2020. 3.
- 9) 大高 永字, 佐々木 孝, 鈴木 憲治, 川瀬 康裕, 新田 隆: 出生後進行性に心不全が増悪した I 型完全大血管転位の手術例. 日本医科大学医学会雑誌, 2019. 10.
- 10) 栗田 二郎, 師田 哲郎, 川瀬 康裕, 泉二 佑輔, 新田 隆: 大動脈食道瘻に対する治療戦略 TEVAR による bridging therapy と肋間筋弁充填の有用性. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集, 2020. 3.
- 11) 鈴木憲治: 小児低侵襲心臓手術を目指した側開胸心房中隔欠損閉鎖手術の検討. 第 55 回日本小児循環器学会総会・学術集会, 2019. 6.
- 12) 鈴木憲治: 小児症例に対する低侵襲心臓手術の適応拡大 ~CT 画像による妥当性と問題点の検討~. 第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2019. 11.
- 13) 鈴木憲治, 佐々木孝, 上田仁美, 泉二佑輔, 網谷亮輔, 高橋賢一朗, 森嶋素子, 栗田二郎, 川瀬康裕, 宮城泰雄, 坂本俊一郎, 石井庸介, 師田哲郎, 新田隆: 小児症例に対する低侵襲心臓手術の適応拡大~CT 画像による妥当性と問題点の検討~. 日本胸部外科学会定期学術集会(Web), 2019.
- 14) 佐々木 孝, 鈴木 憲治, 泉二 佑輔, 網谷 亮輔, 上田 仁美, 高橋 賢一朗, 森嶋 素子, 栗田 二郎, 川瀬 康裕, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 石井 庸介, 師田 哲郎, 新田 隆: 小児閉塞性肥大型心筋症に対する外科治療 僧帽弁置換と経僧帽弁異常心筋切除術の検討. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集, 2020. 3.
- 15) 石井 庸介, 佐々木 孝, 鈴木 憲治, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 川瀬 康裕, 栗田 二郎, 森嶋 素子, 高橋 賢一朗, 上田 仁美, 網谷 亮介, 泉二 佑輔, 師田 哲郎, 新田 隆: 川崎病冠動脈瘤に対する冠動脈バイパス術. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集, 2020. 3.
- 16) 石井庸介, 坂本俊一郎, 宮城泰雄, 川瀬康裕, 佐々木孝, 栗田二郎, 鈴木憲治, 森嶋素子, 高橋賢一朗, 上田仁美, 網谷亮介, 泉二佑輔, 師田哲郎, 新田隆: 心房細動手術 26 年間の成績と洞調律維持のための手術中の工夫. 日本胸部外科学会定期学術集会(Web), 2019.
- 17) 石井 庸介, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 佐々木 孝, 川瀬 康裕, 栗田 二郎, 鈴木 憲治, 森嶋 素子, 高橋 賢一朗, 上田 仁美, 網谷 亮介, 泉二 佑輔, 師田 哲郎, 新田 隆: 心房細動治療:リズムコントロールか左心耳閉鎖か 左心耳閉鎖はメイズ手術を越えるのか?. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集, 2020. 3.
- 18) 森嶋 素子, 石井 庸介, 泉二 佑輔, 網谷 亮輔, 上田 仁美, 高橋 賢一朗, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 川瀬 康裕, 佐々木 孝, 宮城 泰雄, 坂本 俊一郎, 師田 哲郎, 桐山 智成, 福岡 善光, 汲田 伸一郎, 新田 隆: 心筋 SPECT を用いた CABG 術後早期および遠隔期の心筋虚血と脂肪酸代謝の変化の検討. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集, 2020. 3.
- 19) 鈴木憲治: 新しい小児用肺動脈付付き導管のデザイン開発および機能評価. 第 55 回日本小児循環器学会総会・学術集会, 2019. 6.
- 20) 中原 嘉則, 金村 賦之, 山名 孝治, 川瀬 康裕, 塩屋 雅人, 立石 烈: 破裂性腹部大動脈瘤に対する人工血管置換術の治療成績. 日本血管外科学会雑誌, 2019.
- 21) 泉二 佑輔, 石井 庸介, 網谷 亮輔, 高橋 賢一朗, 上田 仁美, 森嶋 素子, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 川瀬 康裕, 佐々木 孝, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 師田 哲郎, 新田 隆: 糖尿病患者を対象とした冠動脈バイパス術後の機能的血流改善効果に対する薬剤負荷心筋シンチを用いた検証. 日本冠疾患学会誌, 2019. 12.

22) 鈴木憲治：肺動脈絞扼術後縦隔炎のコントロールに難渋した、低ガンマグロブリン血症症例. 第180回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 2019. 6.

18 呼吸器外科学分野

研究業績

論文等

- 1) Mitsuo Matsumoto, Kyoshiro Takegahara, Tatsuya Inoue, Masatoki Nakaza, Tetsuro Sekine, Jitsuo Usuda : 4D Flow MR Imaging Reveals a Decrease of Left Atrial Blood Flow in a Patient with Cardioembolic Cerebral Infarction after Pulmonary Left Upper Lobectomy. *Magnetic resonance in medical sciences : MRMS : an official journal of Japan Society of Magnetic Resonance in Medicine* 2020; 19 (4) :290-293. doi: 10.2463/mrms.ici.2019-0142.
- 2) Keishi Ohtani, Jitsuo Usuda, Sachio Maehara, Kentaro Imai, Yujin Kudo, Shotaro Ono, Hideyuki Furumoto, Tatsuya Inoue, Takefumi Oikawa, Masaru Hagiwara, Masatoshi Kakihana, Naohiro Kajiwara, Hidemitsu Tsutsui, Tatsuo Ohira, Norihiko Ikeda : A combination therapy of photodynamic therapy (PDT) and airway stent placement using a transparent silicone stent. *Lasers in medical science* 2019; 35 (5) :1035-1040. doi: 10.1007/s10103-019-02876-4.
- 3) 勝俣 範之, 岡本 淳一, 日本医科大学武蔵小杉病院 Cancer Board 勉強会 : Cancer Board Conference 1 ヶ月持続する発熱で発見された原発不明がんの 1 例 日本医科大学武蔵小杉病院 Cancer Board 勉強会. *Cancer Board Square* 2019; 5 (1) :5-15.
- 4) Jitsuo Usuda, Tatsuya Inoue, Takaaki Tsuchida, Keishi Ohtani, Sachio Maehara, Norihiko Ikeda, Yoshinobu Ohsaki, Takaaki Sasaki, Kiyoshi Oka : Clinical trial of photodynamic therapy for peripheral-type lung cancers using a new laser device in a pilot study. *Photodiagnosis and photodynamic therapy* 2020; 30:101698. doi: 10.1016/j.pdpdt.2020.101698.
- 5) Yuita Fukuyama, Kenji Numata, Kaede Yoshino, Takushi Santanda, Hiraku Funakoshi : Euglycemic diabetic ketoacidosis due to a strict low - carbohydrate diet during treatment with sodium - glucose cotransporter 2 inhibitors. *Acute Medicine & Surgery* 2020; 7 (1) doi: 10.1002/ams2.480.
- 6) Noro Rintaro, Miyanaga Akihiko, Fukuizumi Aya, Kunugi Shinobu, Sugano Teppei, Omori Miwako, Minegish Yuji, Usuda Jitsuo, Seike Masahiro, Kubota Kaoru, Hiraao Mamiko, Matsuda Kuniko, Gemma Akihiko : Genomic profiling of lung cancer associated with idiopathic pulmonary fibrosis. *CANCER RESEARCH* 2019; 79 (13) doi: 10.1158/1538-7445.AM2019-1602.
- 7) 園川 卓海, 松本 充生, 竹ヶ原 京志郎, 井上 達哉, 榎本 豊, 白田 実男 : Interventional bronchoscopy の進歩と応用 新しい自家蛍光内視鏡システムを用いた呼吸器インターベンションへの応用. *肺癌* 2019; 59 (6) :569.
- 8) Jin Takahashi, Takashi Shiga, Yuita Fukuyama, Yuiko Hoshina, Yosuke Homma, Michiko Mizobe, Kenji Numata, Tetsuya Inoue, Hiraku Funakoshi : New d-dimer threshold for Japanese patients with suspected pulmonary embolism: a retrospective cohort study. *International Journal of Emergency Medicine* 2019; 12 (1) :23. doi: 10.1186/s12245-019-0242-y.
- 9) 荒井 恒憲, 小川 恵美悠, 熊谷 寛, 前原 幸夫, 今井 健太郎, 大谷 圭志, 池田 徳彦, 白田 実男, 吉岡 正博, 武藤 学 : PDT の安全・標準化・ガイドライン レザフィリン PDT 後の日光過敏症に対する対応 学会ガイドライン策定を目指して. *日本レーザー医学会誌* 2019; 40 (Suppl.) :S48.
- 10) 白田 実男, 井上 達哉, 竹ヶ原 京志郎, 園川 卓海, 松井 琢真, 松本 充夫, 榎本 豊 : PDT・PDD の新応用・新技術 末梢小型肺癌に対する新しい経気管支鏡治療の開発. *日本レーザー医学会誌* 2019; 40 (Suppl.) :S64.
- 11) Kyoji Hirai, Jitsuo Usuda : The characteristics and prognostic role of thymic epithelial tumors with paraneoplastic autoimmune syndromes. *Translational lung cancer research* 2019; 8 (Suppl 4) :S321-S322. doi: 10.21037/tlcr.2019.11.21.
- 12) Marcello Migliore, Kyoji Hirai : Uniportal VATS: Comment on the consensus report from the uniportal VATS interest group (UVIG) of the European Society of Thoracic Surgeons. *European journal of cardio-thoracic surgery : official journal of the European Association for Cardio-thoracic Surgery* 2020; 57 (3) :612. doi: 10.1093/ejcts/ezz221.
- 13) Kyoji Hirai, Jitsuo Usuda : Uniportal video-assisted thoracic surgery reduced the occurrence of post-thoracotomy pain syndrome after lobectomy for lung cancer. *Journal of thoracic disease* 2019; 11 (9) :3896-3902. doi: 10.21037/jtd.2019.09.07.
- 14) 岡本 淳一 : Use of a New Technique in Subxiphoid Single-port Thymectomy (SPT). the7th Asia Single Port VATS Symposium 2019

- 15) 荒井 恒憲, 小川 恵美悠, 白田 実男, 大谷 圭志, 前原 幸夫 : 【食道癌に対する PDT】 レザフィリン PDT の光線過敏症モニタリング法の開発. 日本レーザー医学会誌 2019; 40 (1) :67-71.
- 16) 竹ヶ原 京志郎, 松本 充生, 松井 琢真, 井上 達哉, 白田 実男 : アンチエイジング遺伝子 Klotho 発現に基づく新しい肺癌個別化治療戦略. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:P89-4.
- 17) 小川 恵美悠, 相吉 英太郎, 荒井 恒憲, 大谷 圭志, 白田 実男, 前原 幸夫, 今井 健太郎, 工藤 勇人, 小野 祥太郎, 池田 徳彦 : タラポルフィンナトリウム投与後の皮膚組織中薬物動態 皮膚光線過敏症リスクの検討. 日本レーザー医学会誌 2019; 40 (1) :1-5.
- 18) 曾我 彬美, 梁井 香那子, 八木 孝, 石川 真由美, 南 史朗, 横山 雄章, 岡本 淳一, 窪倉 浩俊 : ベムプロリズム中止後に ACTH 単独欠損症を発症した一例. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (2) :778.
- 19) 竹ヶ原 京志郎, 松本 充生, 松井 琢真, 井上 達哉, 白田 実男 : 中心型早期肺癌に対する光線力学的治療の現況. 気管支学 2019; 41 (Suppl.) :S246.
- 20) 前田 昭太郎, 鈴木 行正, 櫛田 さおり, 橘 康志, 是松 元子, 青木 隆, 林 久美子, 細根 勝, 片山 博則, 岩瀬 裕美, 吉野 直之, 平田 智巳 : 体液細胞診による中皮腫の確定診断 診断上の諸問題. 日本臨床細胞学会雑誌 2019; 58 (Suppl.1) :113.
- 21) 岡本 淳一, 窪倉 浩俊, 白田 実男 : 剣状突起下アプローチ単孔式胸腺手術の工夫. 日本呼吸器外科学会雑誌 2019; 33 (3) :V1-8.
- 22) 井上 達哉, 榎本 豊, 竹ヶ原 京志郎, 園川 卓海, 松本 充生, 功刀 しのぶ, 寺崎 泰弘, 清水 章, 白田 実男 : 原発巣切除後遠隔期に肺転移した甲状腺乳頭癌に対する切除例. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :606.
- 23) 竹ヶ原 京志郎, 松本 充生, 松井 琢真, 井上 達哉, 白田 実男 : 呼吸器外科医によるトランスレーショナルリサーチ アンチエイジング遺伝子 Klotho 発現を利用した分子標的治療の可能性. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:WS-7.
- 24) 白田 実男, 井上 達哉, 竹ヶ原 京志郎, 園川 卓海, 松本 充夫, 土田 敬明, 大崎 伸能, 池田 徳彦 : 呼吸器領域におけるレーザー治療の進歩と課題 末梢肺がんに対する光線力学的治療に関する医師主導治験. 日本レーザー医学会誌 2019; 40 (3) :245.
- 25) 園川 卓海, 松井 琢真, 竹ヶ原 京志郎, 井上 達哉, 白田 実男 : 妊娠中に発症した月経随伴性気胸の 1 例. 気管支学 2019; 41 (4) :370-374.
- 26) 井上 達哉, 竹ヶ原 京志郎, 松井 琢真, 松本 充生, 白田 実男 : 左上葉切除術後の左上肺静脈断端に生ずる血栓形成の要因についての検討. 日本呼吸器外科学会雑誌 2019; 33 (3) :P99-2.
- 27) 松本 充生, 松井 琢真, 竹ヶ原 京志郎, 井上 達哉, 白田 実男 : 左上葉肺癌術後の脳梗塞発症症例に対する MRI を用いた左房内血流解析について. 日本呼吸器外科学会雑誌 2019; 33 (3) :P98-3.
- 28) 窪倉 浩俊, 岡本 淳一, 白田 実男 : 左頸部痛を主訴に発見された左腕頭静脈圧排により左内頸静脈血栓症をきたした縦隔腫瘍(奇形腫)の一例. 日本呼吸器外科学会雑誌 2019; 33 (3) :P79-1.
- 29) 竹内 真吾, 吉野 直之, 白田 実男 : 当院における膿胸患者に対する外科的治療症例の検討. 日本呼吸器外科学会雑誌 2019; 33 (3) :P91-4.
- 30) 白田 実男, 井上 達哉, 竹ヶ原 京志郎, 園川 卓海, 松本 充夫 : 悪性腫瘍と感染症に対する PDT の最前線 肺癌に対する光線力学的治療(Photodynamic Therapy:PDT). 日本レーザー治療学会誌 2019; 18 (1) :40.
- 31) 白田 実男, 土田 敬明, 大崎 能伸, 池田 徳彦, 井上 達哉, 竹ヶ原 京志郎, 園川 卓海, 松本 充生 : 末梢小型肺癌に対する次世代型気管支鏡治療法の開発. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:RT1-1.
- 32) 竹ヶ原 京志郎, 松本 充生, 松井 琢真, 井上 達哉, 白田 実男 : 気管支鏡下肺生検後に膿胸を併発した粘液産生性粘液非産生性混合型肺腺癌の 1 切除例. 肺癌 2019; 59 (3) :320.
- 33) 竹ヶ原 京志郎, 園川 卓海, 榎本 豊, 井上 達哉, 白田 実男 : 気管癌による高度気道狭窄に対し、ECMO 下に硬性気管支鏡下気道開大術を施行し救命し得た 1 例. 気管支学 2020; 42 (1) :103.
- 34) 窪倉 浩俊, 岡本 淳一, 許田 典男, 大橋 隆治, 白田 実男 : 気胸切除プラ内に肺癌を認めたが追加切除を行うことなく、長期無再発生存した 2 症例. 肺癌 2019; 59 (6) :831.
- 35) 竹ヶ原 京志郎, 松本 充生, 松井 琢真, 井上 達哉, 白田 実男 : 異時性及び同時性多発肺癌に対する治療戦略. 日本呼吸器外科学会雑誌 2019; 33 (3) :P58-6.
- 36) 吉野 直之, 竹内 真吾, 白田 実男 : 病理病期 3A 期高齢者肺癌の検討. 日本呼吸器外科学会雑誌 2019; 33 (3) :P56-2.
- 37) 竹ヶ原 京志郎, 松本 充生, 園川 卓海, 井上 達哉, 榎本 豊, 白田 実男 : 病理病期 IA 期非小細胞肺癌根治切除後の再発例の臨床病理

学的検討. 肺癌 2019; 59 (6) :834.

- 38) Sonokawa Takumi, Shizukawa Hirohiko, Ichihara Shin, Muraoka Shunji, Usuda Jitsuo, Tanaka Koichi : 症例報告 胸腺腫を伴う Stiff-person 症候群(Case Report: Stiff Person Syndrome with Thymoma). 肺癌 2019; 59 (4) :360-365.
- 39) 小林 倫子, 岡本 淳一, 石川 真由美, 許田 典男, 大橋 隆治, 窪倉 浩俊, 白田 実男 : 縦隔腫瘍に SIADH を偶然併発した 1 例. 気管支学 2019; 41 (5) :529.
- 40) 井上 達哉, 竹ヶ原 京志郎, 園川 卓海, 松本 充生, 榎本 豊, 白田 実男, 功刀 しのぶ, 寺崎 泰弘, 清水 章 : 肺転移によって発見された不顕性甲状腺乳頭癌の 1 切除例. 肺癌 2019; 59 (4) :435.
- 41) 竹ヶ原 京志郎, 二宮 浩範, 分島 良, 稲村 健太郎, 一瀬 淳二, 松浦 陽介, 中尾 将之, 文 敏景, 奥村 栄, 西尾 誠人, 石川 雄一, 竹内 賢吾 : 胸膜外浸潤部で異なる免疫形質を示した類基底扁平上皮癌の 1 例. 肺癌 2019; 59 (6) :915.
- 42) 榎本 豊, 松本 充生, 園川 卓海, 竹ヶ原 京志郎, 井上 達哉, 白田 実男 : 若年者肺癌(40 歳以下)手術症例の検討. 肺癌 2019; 59 (6) :841.
- 43) 岡本 淳一, 窪倉 浩俊, 白田 実男 : 術前 NSE 値が NSCLC 術後転移の時期を予測しうる. 肺癌 2019; 59 (6) :677.
- 44) 岡本 淳一, 窪倉 浩俊, 白田 実男 : 術前呼吸器合併症と心合併症が非小細胞肺癌術後の予後規定因子となりうる. 日本呼吸器外科学会雑誌 2019; 33 (3) :O21-2.
- 45) 外菌 優, 梅澤 裕己, 竹ヶ原 京志郎, 小川 令 : 術後膿胸に対して遊離両側前外側大腿皮弁移植および陰圧閉鎖療法を併用して再建した一例. 日本マイクロサージャリー学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 46 回:184.
- 46) 富岡 勇宇也, 竹ヶ原 京志郎, 松本 充生, 園川 卓海, 井上 達哉, 榎本 豊, 白田 実男 : 赤芽球癆合併胸腺腫の一切除例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集 2019; (181 回) :30.
- 47) 井上 達哉, 榎本 豊, 竹ヶ原 京志郎, 園川 卓海, 松本 充生, 白田 実男 : 開胸時洗浄細胞診陽性肺癌手術症例の検討. 肺癌 2019; 59 (6) :870.
- 48) 野呂 林太郎, 宮永 晃彦, 福泉 彩, 功刀 しのぶ, 松田 久仁子, 平尾 真李子, 峯岸 裕司, 本橋 春香, 西脇 和考, 森本 正弘, 大和田 勇人, 白田 実男, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : 間質性肺炎合併肺癌関連遺伝子プロファイルの解析. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:O47-2.

著書

- 1) 志賀 隆 : [分担執筆] 考える ER : SAMURAI プラクティス. 2020, シービーアール.

学会発表

- 1) Hirotohi Kubokura : Our Experiences of Subxiphoid Single-Port Thymectomy; Median Sternotomy vs. VATS Approach. 7th Asian Single Port VATS Symposium 2019, 2019. 5.
- 2) 竹ヶ原京志郎, 松本充生, 松井琢真, 井上達哉, 白田実男 : アンチエイジング遺伝子 Klotho 発現を利用した分子標的治療の可能性. 第 119 回日本外科学会定期学術集会. (大阪府大阪市), 2019. 4.
- 3) 岡本淳一, 窪倉浩俊, 白田実男 : 剣状突起下アプローチ単孔式胸腺手術の工夫. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会. (大阪府大阪市), 2019. 5.
- 4) 平井恭二, 榎本豊, 白田実男 : 単孔式胸腔鏡手術(Uniportal VATS : U-VATS) の現状と課題. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会. (大阪府大阪市), 2019. 5.
- 5) 井上達哉, 竹ヶ原京志郎, 松井琢真, 松本充生, 白田実男 : 左上葉切除術後の左上肺静脈断端に生ずる血栓形成の要因についての検討. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会. (大阪府大阪市), 2019. 5.
- 6) 松本充生, 松井琢真, 竹ヶ原京志郎, 井上達哉, 白田実男 : 左上葉肺癌術後の脳梗塞発症症例に対する MRI を用いた左房内血流解析について. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会. (大阪府大阪市), 2019. 5.
- 7) 平井恭二, 榎本豊, 白田実男 : 当科での最適な早期肺癌に対する低侵襲外科治療の追求とその現状について. 第 119 回日本外科学会定期学術集会. (大阪府大阪市), 2019. 4.
- 8) 竹内真吾, 吉野直之, 白田実男 : 当院における膿胸患者に対する外科的治療症例の検討. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会. (大阪府

- 大阪市), 2019. 5.
- 9) 竹ヶ原京志郎, 松本充生, 松井琢真, 井上達哉, 白田実男: 異時性及び同時性多発肺癌に対する治療戦略. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会. (大阪府大阪市), 2019. 5.
 - 10) 吉野直之, 竹内真吾, 白田実男: 病理病期 3A 期高齢者肺癌の検討. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会. (大阪府大阪市), 2019. 5.
 - 11) 松本充生, 園川卓海, 竹ヶ原京志郎, 井上達哉, 白田実男: 肺炎を繰り返す Swyer James 症候群に対する外科的治療. 第 34 回文京区呼吸器外科研究会. (東京都文京区), 2019. 4.
 - 12) 園川卓海, 園川卓海, 竹ヶ原京志郎, 井上達哉, 白田実男: 肺癌術後の有癭性膿胸に対する治療戦略. 第 34 回文京区呼吸器外科研究会. (東京都文京区), 2019. 4.
 - 13) 岡本淳一, 窪倉浩俊, 白田実男: 術前呼吸器合併症と心合併症が非詳細帽肺癌術後の予後規定因子となりうる. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会. (大阪府大阪市), 2019. 5.
 - 14) 榎本豊, 平井恭二, 白田実男: 食道原発平滑筋腫を単孔式アプローチにて摘出した一例. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会. (大阪府大阪市), 2019. 5.

19 脳神経外科学分野

研究業績

論文等

- 1) Takeda M, Shirokane K, Baba E, Tsuchiya A, Nomura M : *De novo* Aneurysm Formation on Internal Carotid Artery at Origin of Thick Posterior Communicating Artery: 7 Years after Transient Occlusion of Contralateral Internal Carotid Artery. *Asian journal of neurosurgery* 2019; 14 (2) :571-574. doi: 10.4103/ajns.AJNS_261_18.
- 2) 中川 俊祐, 佐藤 俊, 森田 明夫 : 3.3Fr カテーテルを用いた診断脳血管撮影の実用性・安全性に関する評価. *脳血管内治療* 2019; 4 (Suppl.) :S217.
- 3) 井上真梨子, 加来知恵美, 石井暢明, 秋元正宇, 水成隆之, 柴田あみ, 小川令 : 3D プリンターの実用性:簡易カスタムメイド保護帽. *日本医科大学医学会雑誌* 2019; 15 (4) :251.
- 4) 村井保夫, 森田明夫 : 4K3D ORBEYE による Head up micro-neurosurgery. *日本マイクロサージャリー学会学術集会プログラム・抄録集* 2019; 46th
- 5) Fusao Ikawa, Akio Morita, Takeo Nakayama, Yoshihito Goto, Nobuyuki Sakai, Koji Iihara, Yoshiaki Shiokawa, Isao Date, Kazuhiko Nozaki, Hiroyuki Kinouchi, Kiyohiro Houkin, Nobuhito Saito, Teiji Tominaga, Michiyasu Suzuki, Susumu Miyamoto, Kaoru Kurisu, Hajime Arai : A register-based SAH study in Japan: high incidence rate and recent decline trend based on lifestyle. *Journal of neurosurgery* 2020; 134 (3) :1-9. doi: 10.3171/2020.1.JNS192848.
- 6) Shima H, Shirokane K, Baba E, Tsuchiya A, Nomura M : Bilateral Chronic Subdural Hematoma Presenting with Pseudo-Subarachnoid Hemorrhage Sign on Computed Tomography. *Asian journal of neurosurgery* 2019; 14 (2) :510-512. doi: 10.4103/ajns.AJNS_11_19.
- 7) 益田 泰輔, 光石 衛, 原田 香奈子, 足達 俊哉, 新井 史人, 小俣 誠二, 森田 明夫, 金 太一, 齊藤 延人, 山下 樹里, 鎮西 清行, 長谷川 明之, 福田 敏男 : Bionic-Brain : 内視鏡下経鼻頭蓋底手術トレーニング. *ロボティクス・メカトロニクス講演会講演概要集* 2019; 2019 (0) :2P2-R09. doi: 10.1299/jsmermd.2019.2P2-R09.
- 8) Sherry H.Y. Chou, R. Loch Macdonald, Emanuela Keller, Jose I. Suarez, Sepideh Amin-Hanjani, Robert D. Brown, Airton Leonardo de Oliveira Manoel, Colin P. Derdeyn, Nima Etminan, Peter D. LeRoux, Stephan Mayer, Akio Morita, Gabriel Rinkel, Daniel Rufennacht, Martin N. Stienen, James Torner, Mervyn D.I. Vergouwen, George K.C. Wong, Philippe Bijlenga, Nerissa Ko, Cameron G. McDougall, J. Mocco, Yuuichi Murayama, Marieke J.H. Werner, Rahul Damani, Joseph Broderick, Raj Dhar, Edward C. Jauch, Peter J. Kirkpatrick, Renee H. Martin, Susanne Muehlschlegel, Tatsushi Mutoh, Paul Nyquist, Daiwai Olson, Jorge H. Mejia-Mantilla, Mathieu van der Jagt, Nicholas Bambakidis, Gretchen Brophy, Ketan Bulsara, Jan Claassen, E. Sander Connolly, S. Alan Hoffer, Brian L. Hoh, Robert G. Holloway, Adam Kelly, Peter Nakaji, Alejandro Rabinstein, Peter Vajkoczy, Henry Woo, Gregory J. Zipfel, Sherry Chou, Sylvain Doré, Aaron S. Dumont, Murat Gunel, Hidetoshi Kasuya, Alexander Roederer, Ynte Ruigrok, Paul M. Vespa, Asita Simone Sarrafzadeh-Khorrasani, Katharina Hackenberg, John Huston, Timo Krings, Giuseppe Lanzino, Philip M. Meyers, Max Wintermark, Janis Daly, Christopher Ogilvy, Denise H. Rhoney, Y. B. Roos, Adnan Siddiqui, Ale Algra, Juhanna Frösen, David Hasan, Seppo Juvela, David J. Langer, Rustam Al Shahi Salman, Daniel Hanggi, Tom Schweizer, Johanna Visser-Meily, Liz Amos, Christophe Ludet, Claudia Moy, Joanne Odenkirchen, Sherita Ala'i, Joy Esterlitz, Kristen Joseph, Muniza Sheikh : Biospecimens and Molecular and Cellular Biomarkers in Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage Studies: Common Data Elements and Standard Reporting Recommendations. *Neurocritical Care* 2019; 30:46-59. doi: 10.1007/s12028-019-00725-4.
- 9) Fusao Ikawa, Toshikazu Hidaka, Michitsura Yoshiyama, Hideo Ohba, Shingo Matsuda, Iori Ozono, Koji Iihara, Hiroyuki Kinouchi, Kazuhiko Nozaki, Yoko Kato, Akio Morita, Nobuaki Michihata, Hideo Yasunaga, Kaoru Kurisu : Characteristics of Cerebral Aneurysms in Japan. *Neurologia medico-chirurgica* 2019; 59 (11) :399-406. doi: 10.2176/nmc.ra.2019-0099.
- 10) Miki K, Kim K, Isu T, Matsumoto J, Kokubo R, Isobe M, Inoue T : Characteristics of Low Back Pain due to Superior Cluneal Nerve Entrapment Neuropathy. *Asian spine journal* 2019; 13 (5) :772-778. doi: 10.31616/asj.2018.0324.

- 11) Rahul Damani, Stephan Mayer, Raj Dhar, Renee H. Martin, Paul Nyquist, Dai Wai M. Olson, Jorge H. Mejia-Mantilla, Susanne Muehlschlegel, Edward C. Jauch, J. Mocco, Tatsushi Mutoh, Jose I. Suarez, R. Loch Macdonald, Sepideh Amin-Hanjani, Robert D. Brown, Airton Leonardo de Oliveira Manoel, Colin P. Derdeyn, Nima Etminan, Emanuela Keller, Peter D. LeRoux, Akio Morita, Gabriel Rinkel, Daniel Rufennacht, Martin N. Stienen, James Torner, Mervyn D.I. Vergouwen, George K.C. Wong, Robert D. Brown, Philippe Bijlenga, Nerissa Ko, Cameron G. McDougall, J. Mocco, Yuuichi Murayama, Marieke J.H. Werner, Joseph Broderick, Edward C. Jauch, Peter J. Kirkpatrick, Renee H. Martin, Daiwai Olson, Jorge H. Mejia-Mantilla, Mathieu van der Jagt, Nicholas Bambakidis, Gretchen Brophy, Ketan Bulsara, Jan Claassen, E. Sander Connolly, S. Alan Hoffer, Brian L. Hoh, Robert G. Holloway, Adam Kelly, Peter Nakaji, Alejandro Rabinstein, Peter Vajkoczy, Mervyn D.I. Vergouwen, Henry Woo, Gregory J. Zipfel, Sherry Chou, Sylvain Doré, Aaron S. Dumont, Murat Gunel, Hidetoshi Kasuya, Alexander Roederer, Ynte Ruigrok, Paul M. Vespa, Asita Simone Sarrafzadeh-Khorrasani, Katharina Hackenberg, John Huston, Timo Krings, Giuseppe Lanzino, Philip M. Meyers, Max Wintermark, Janis Daly, Christopher Ogilvy, Denise H. Rhoney, Yb Roos, Adnan Siddiqui, Ale Algra, Juhanna Frösen, David Hasan, Seppo Juvela, David J. Langer, Rustam Al Shahi Salman, Daniel Hanggi, Tom Schweizer, Johanna Visser-Meily, Liz Amos, Christophe Ludet, Claudia Moy, Joanne Odenkirchen, Sherita Ala'i, Joy Esterlitz, Kristen Joseph, Muniza Sheikh : Common Data Element for Unruptured Intracranial Aneurysm and Subarachnoid Hemorrhage: Recommendations from Assessments and Clinical Examination Workgroup/Subcommittee. *Neurocritical Care* 2019; 30:28-35. doi: 10.1007/s12028-019-00736-1.
- 12) Katharina A.M. Hackenberg, Nima Etminan, Max Wintermark, Philip M. Meyers, Giuseppe Lanzino, Daniel Rüfenacht, Timo Krings, John Huston, Gabriel Rinkel, Colin Derdeyn, Jose I. Suarez, R. Loch Macdonald, Sepideh Amin-Hanjani, Robert D. Brown, Airton Leonardo de Oliveira Manoel, Emanuela Keller, Peter D. LeRoux, Stephan Mayer, Akio Morita, Daniel Rufennacht, Martin N. Stienen, James Torner, Mervyn D.I. Vergouwen, George K.C. Wong, Philippe Bijlenga, Nerissa Ko, Cameron G. McDougall, J. Mocco, Yuuichi Murayama, Marieke J.H. Werner, Rahul Damani, Joseph Broderick, Raj Dhar, Edward C. Jauch, Peter J. Kirkpatrick, Renee H. Martin, Susanne Muehlschlegel, Tatsushi Mutoh, Paul Nyquist, Daiwai Olson, Jorge H. Mejia-Mantilla, Mathieu van der Jagt, Nicholas Bambakidis, Gretchen Brophy, Ketan Bulsara, Jan Claassen, E. Sander Connolly, S. Alan Hoffer, Brian L. Hoh, Robert G. Holloway, Adam Kelly, Peter Nakaji, Alejandro Rabinstein, Peter Vajkoczy, Mervyn D.I. Vergouwen, Henry Woo, Gregory J. Zipfel, Sherry Chou, Sylvain Doré, Aaron S. Dumont, Murat Gunel, Hidetoshi Kasuya, Alexander Roederer, Ynte Ruigrok, Paul M. Vespa, Asita Simone Sarrafzadeh-Khorrasani, Katharina A.M. Hackenberg, John Huston, Janis Daly, Christopher Ogilvy, Denise H. Rhoney, Y. B. Roos, Adnan Siddiqui, Ale Algra, Juhanna Frösen, David Hasan, Seppo Juvela, David J. Langer, Rustam Al Shahi Salman, Daniel Hanggi, Tom Schweizer, Johanna Visser-Meily, Liz Amos, Christophe Ludet, Claudia Moy, Joanne Odenkirchen, Sherita Ala'i, Joy Esterlitz, Kristen Joseph, Muniza Sheikh : Common Data Elements for Radiological Imaging of Patients with Subarachnoid Hemorrhage: Proposal of a Multidisciplinary Research Group. *Neurocritical Care* 2019; 30:60-78. doi: 10.1007/s12028-019-00728-1.
- 13) Philippe Bijlenga, Akio Morita, Nerissa U Ko, J Mocco, Sandrine Morel, Yuichi Murayama, Marieke J H Wermer, Robert D Brown Jr : Common Data Elements for Subarachnoid Hemorrhage and Unruptured Intracranial Aneurysms: Recommendations from the Working Group on Subject Characteristics. *Neurocritical care* 2019; 30 (Suppl 1) :20-27. doi: 10.1007/s12028-019-00724-5.
- 14) George K.C. Wong, Janis J. Daly, Denise H. Rhoney, Joseph Broderick, Christopher Ogilvy, Y. B. Roos, Adnan Siddiqui, James Torner, Jose I. Suarez, R. Loch Macdonald, Sepideh Amin-Hanjani, Robert D. Brown, Airton Leonardo de Oliveira Manoel, Colin P. Derdeyn, Nima Etminan, Emanuela Keller, Peter D. LeRoux, Stephan Mayer, Akio Morita, Gabriel Rinkel, Daniel Rufennacht, Martin N. Stienen, James Torner, George K.C. Wong, Philippe Bijlenga, Nerissa Ko, Cameron G. McDougall, J. Mocco, Yuuichi Murayama, Marieke J.H. Werner, Rahul Damani, Joseph Broderick, Raj Dhar, Edward C. Jauch, Peter J. Kirkpatrick, Renee H. Martin, Susanne Muehlschlegel, Tatsushi Mutoh, Paul Nyquist, Daiwai Olson, Jorge H. Mejia-Mantilla, Mathieu van der Jagt, Nicholas Bambakidis, Gretchen Brophy, Ketan Bulsara, Jan Claassen, E. Sander Connolly, S. Alan Hoffer, Brian L. Hoh, Robert G. Holloway, Adam Kelly, Peter Nakaji, Alejandro Rabinstein, Peter Vajkoczy, Mervyn D.I. Vergouwen, Henry Woo, Gregory J. Zipfel, Sherry Chou, Sylvain Doré, Aaron S. Dumont, Murat Gunel, Hidetoshi Kasuya, Alexander Roederer, Ynte Ruigrok, Paul M. Vespa, Asita Simone Sarrafzadeh-Khorrasani, Katharina Hackenberg, John Huston, Timo Krings, Giuseppe Lanzino, Philip M. Meyers, Max

- Wintermark, Janis Daly, Emma Patchik, Ale Algra, Juhanna Frösen, David Hasan, Seppo Juvela, David J. Langer, Rustam Al Shahi Salman, Daniel Hanggi, Tom Schweizer, Johanna Visser-Meily, Liz Amos, Christophe Ludet, Claudia Moy, Joanne Odenkirchen, Sherita Ala'i, Joy Esterlitz, Kristen Joseph, Muniza Sheikh : Common Data Elements for Unruptured Intracranial Aneurysm and Subarachnoid Hemorrhage Clinical Research: Recommendations from the Working Group on Long-Term Therapies. *Neurocritical Care* 2019; 30:79-86. doi: 10.1007/s12028-019-00727-2.
- 15) Airton Leonardo de Oliveira Manoel, Mathieu van der Jagt, Sepideh Amin-Hanjani, Nicholas C. Bambakidis, Gretchen M. Brophy, Ketan Bulsara, Jan Claassen, E. Sander Connolly, S. Alan Hoffer, Brian L. Hoh, Robert G. Holloway, Adam G. Kelly, Stephan A. Mayer, Peter Nakaji, Alejandro A. Rabinstein, Peter Vajkoczy, Mervyn D.I. Vergouwen, Henry Woo, Gregory J. Zipfel, Jose I. Suarez, R. Loch Macdonald, Robert D. Brown, Airton Leonardo de Oliveira Manoel, Colin P. Derdeyn, Nima Etminan, Emanuela Keller, Peter D. LeRoux, Stephan Mayer, Akio Morita, Gabriel Rinkel, Daniel Rufennacht, Martin N. Stienen, James Torner, George K.C. Wong, Philippe Bijlenga, Nerissa Ko, Marieke J.H. Werner, Rahul Damani, Joseph Broderick, Raj Dhar, Edward C. Jauch, Peter J. Kirkpatrick, Renee H. Martin, J. Mocco, Susanne Muehlschlegel, Tatsushi Mutoh, Paul Nyquist, Daiwai Olson, Jorge H. Mejia-Mantilla, Nicholas Bambakidis, Gretchen Brophy, Adam Kelly, Alejandro Rabinstein, Sherry Chou, Sylvain Doré, Aaron S. Dumont, Murat Gunel, Hidetoshi Kasuya, Alexander Roederer, Ynte Ruigrok, Paul M. Vespa, Asita Simone Sarrafzadeh-Khorrasani, Katharina Hackenberg, John Huston, Timo Krings, Giuseppe Lanzino, Philip M. Meyers, Max Wintermark, Janis Daly, Christopher Ogilvy, Denise H. Rhoney, Y. B. Roos, Adnan Siddiqui, Ale Algra, Juhanna Frösen, David Hasan, Seppo Juvela, David J. Langer, Rustam Al Shahi Salman, Daniel Hanggi, Tom Schweizer, Johanna Visser-Meily, Liz Amos, Christophe Ludet, Claudia Moy, Joanne Odenkirchen, Sherita Ala'i, Joy Esterlitz, Kristen Joseph, Muniza Sheikh : Common Data Elements for Unruptured Intracranial Aneurysms and Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage: Recommendations from the Working Group on Hospital Course and Acute Therapies—Proposal of a Multidisciplinary Research Group. *Neurocritical Care* 2019; 30:36-45. doi: 10.1007/s12028-019-00726-3.
- 16) Jose I Suarez, Muniza K Sheikh, R Loch Macdonald, Sepideh Amin-Hanjani, Robert D Brown Jr, Airton Leonardo de Oliveira Manoel, Colin P Derdeyn, Nima Etminan, Emanuela Keller, Peter D Leroux, Stephan A Mayer, Akio Morita, Gabriel Rinkel, Daniel Rufennacht, Martin N Stienen, James Torner, Mervyn D I Vergouwen, George K C Wong : Common Data Elements for Unruptured Intracranial Aneurysms and Subarachnoid Hemorrhage Clinical Research: A National Institute for Neurological Disorders and Stroke and National Library of Medicine Project. *Neurocritical care* 2019; 30 (Suppl 1) :4-19. doi: 10.1007/s12028-019-00723-6.
- 17) Shinichiro Teramoto, Hidenori Oishi, Hajime Arai : Comparative Analysis of Long-Term Effect of Stent-Assisted Coiling in Unruptured Sidewall-Type and Terminal-Type Aneurysms. *World neurosurgery* 2019; 126:e753-e757. doi: 10.1016/j.wneu.2019.02.145.
- 18) 廣中 浩平, 太組 一朗, 大橋 豊, 高山 幸芳, 日高 可奈子, 足立 好司, 森田 明夫 : DBS 手術中に脳内出血を発生したパーキンソン病患者に対し、後日電極留置術を行った 1 例. *日本定位・機能神経外科学会プログラム・抄録集* 2019; 59 回:137.
- 19) 服部裕次郎, 服部裕次郎, 田原重志, 麻生将太郎, 松居宏樹, 伏見清秀, 康永秀生, 森田明夫 : DPC データベースを用いた下垂体部腫瘍に対する手術の疫学的検討. *日本間脳下垂体腫瘍学会プログラム・抄録集* 2019; 29th
- 20) 野田 昌幸, 野崎 俊樹, 阿部 克智, 小菊 実, 石橋 敏寛, 岸 博久 : DWI-FLAIR miss match を呈する症例に対する経皮的血栓回収術の治療成績. *脳血管内治療* 2019; 4 (Suppl.) :S255.
- 21) Katharina A M Hackenberg, Ale Algra, Rustam Al-Shahi Salman, Juhana Frösen, David Hasan, Seppo Juvela, David Langer, Philip Meyers, Akio Morita, Gabriel Rinkel, Nima Etminan : Definition and Prioritization of Data Elements for Cohort Studies and Clinical Trials on Patients with Unruptured Intracranial Aneurysms: Proposal of a Multidisciplinary Research Group. *Neurocritical care* 2019; 30 (Suppl 1) :87-101. doi: 10.1007/s12028-019-00729-0.
- 22) HEREDIA PEREZ Saul Alexis, MARQUES MARINHO Murilo, HARADA Kanako, HARADA Kanako, MORITA Akio, MITSUISHI Mamoru : Development of a virtual reality training simulator for robot - assisted dura mater suturing in endonasal neurosurgery. *日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会講演論文集(CD-ROM)* 2019; 2019:ROMBUNNO.2P2 - R06.
- 23) Toshikazu Kimura, Akio Morita : Early Visualization of Optic Canal for Safe Anterior Clinoidectomy: Operative Technique and Supporting Computed Tomography Findings. *World neurosurgery* 2019; 126:e447-e452-e452. doi: 10.1016/j.wneu.2019.02.071.

- 24) Ami Shibata, Fumihiko Matano, Yu Fujiki, Takayuki Mizunari, Yasuo Murai, Hiroyuki Yokota, Akio Morita : Efficacy of Thyrotropin-Releasing Hormone Analog for Protracted Disturbance of Consciousness due to Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage. *Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association* 2019; 28 (4) :988-993. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2018.12.036.
- 25) Kokubo R, Kim K, Kim C, Matsuda A, Morita A : Epidural anesthesia masking pain from spinal epidural hematoma. *Nepal Journal of Neurosciences* 2019; 16:43-45.
- 26) Mayte Sánchez van Kammen, Jacoba P Greving, Satoshi Kuroda, Daina Kashiwazaki, Akio Morita, Yoshiaki Shiokawa, Toshikazu Kimura, Christophe Cognard, Anne C Januel, Antti Lindgren, Timo Koivisto, Juha E Jääskeläinen, Antti Ronkainen, Liisa Pyysalo, Juha Öhman, Melissa Rahi, Johanna Kuhmonen, Jaakko Rinne, Eva L Leemans, Charles B Majoie, W Peter Vandertop, Dagmar Verbaan, Yvo B W E M Roos, René van den Berg, Hieronymus D Boogaarts, Walid Moudrous, Ido R van den Wijngaard, Laura Ten Hove, Mario Teo, Edward J St George, Katharina A M Hackenberg, Amr Abdulazim, Nima Etminan, Gabriël J E Rinkel, Mervyn D I Vergouwen : External Validation of the ELAPSS Score for Prediction of Unruptured Intracranial Aneurysm Growth Risk. *Journal of stroke* 2019; 21 (3) :340-346. doi: 10.5853/jos.2019.01277.
- 27) 佐藤 俊, 由井 奏子, 森田 明夫 : Filter-type device による圧較差 EVE による実証. *脳血管内治療* 2019; 4 (Suppl.) :S148.
- 28) Erika Orita, Yasuo Murai, Tetsuro Sekine, Ryo Takagi, Yasuo Amano, Takahiro Ando, Kotomi Iwata, Makoto Obara, Shinichiro Kumita : Four-Dimensional Flow MRI Analysis of Cerebral Blood Flow Before and After High-Flow Extracranial-Intracranial Bypass Surgery With Internal Carotid Artery Ligation. *Neurosurgery* 2019; 85 (1) :58-64. doi: 10.1093/neuros/nyy192.
- 29) Kaneko J, Tagami T, Unemoto K, Tanaka C, Kuwamoto K, Sato S, Tani S, Shibata A, Kudo S, Kitahashi A, Yokota H : Functional Outcome Following Ultra-Early Treatment for Ruptured Aneurysms in Patients with Poor-Grade Subarachnoid Hemorrhage. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (2) :81-90. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-203.
- 30) 寺本 紳一郎, 丹下 祐一, 石井 尚登, 後藤 広昌, 荻野 郁子, 新井 一 : GH および GHRH を共分泌する下垂体腺腫細胞を伴う PANCH の一例. *日本内分泌学会雑誌* 2019; 95 (2) :714.
- 31) 阿部 雅志, 池亀 敏, 嶺 貴彦, 井手口 稔, 小南 修史, 森田 明夫 : Gd-DTPA を用いたフラットパネル装置による基礎検討. *脳血管内治療* 2019; 4 (Suppl.) :S424.
- 32) Kyongsong Kim, Toyohiko Isu, Juntaro Matsumoto, Koichi Miki, Daijiro Morimoto, Masanori Isobe, Akio Morita : Gluteus medius muscle decompression for buttock pain: a case-series analysis. *Acta neurochirurgica* 2019; 161 (7) :1397-1401. doi: 10.1007/s00701-019-03923-3.
- 33) Kohei Hironaka, Kojiro Tateyama, Atsushi Tsukiyama, Koji Adachi, Akio Morita : Hydrocephalus Secondary to Intradural Extramedullary Malignant Melanoma of Spinal Cord. *World neurosurgery* 2019; 130:222-226. doi: 10.1016/j.wneu.2019.07.046.
- 34) Keita Shibahashi, Kazuhiro Sugiyama, Jun Tomio, Hidenori Hoda, Akio Morita : In-hospital mortality and length of hospital stay with craniotomy versus craniectomy for acute subdural hemorrhage: a multicenter, propensity score-matched analysis. *Journal of neurosurgery* 2019; 1-10. doi: 10.3171/2019.4.JNS182660.
- 35) Matano F, Murai Y, Mizunari T, Yamaguchi M, Yamada T, Baba E, Shibata A, Tamaki T, Morita A : Incision of the anterior petroclinoidal fold during clipping for securing the proximal space of an internal carotid artery-posterior communicating artery aneurysm: a technical note. *Neurosurgical review* 2019; 42 (3) :777-781. doi: 10.1007/s10143-019-01121-4.
- 36) Yasuo Murai, Fumihiko Matano, Akio Morita : MRI Punctate Sign and CTA Spot Sign for Primary Intracerebral Hemorrhage. *The neurologist* 2020; 25 (1) :17. doi: 10.1097/NRL.0000000000000256.
- 37) 成合 倫典, 金 景成, 河内 雅章, 石井 彰宏, 木戸 美佐, 井須 豊彦, 國保 倫子, 森本 大二郎, 岩本 直高, 森田 明夫 : MRI による足根管病変の画像診断標準化への試み. *脊髄外科* 2019; 33 (1) :78-81.
- 38) 村井 保夫, 森田 明夫 : Microsurgeon の QOL-3K から 3D-4K3D ORBEYE による Head up micro-neurosurgery. *日本マイクロサージャリー学会学術集会プログラム・抄録集* 2019; 46 回:82.
- 39) Juntaro Matsumoto, Toyohiko Isu, Kyongsong Kim, Koichi Miki, Fumiaki Fujihara, Masanori Isobe : Middle cluneal nerve entrapment mimics sacroiliac joint pain. *Acta neurochirurgica* 2019; 161 (4) :657-661. doi: 10.1007/s00701-019-03861-0.

- 40) Shinichiro Teramoto, Yuichi Tange, Hisato Ishii, Hiromasa Goto, Ikuko Ogino, Hajime Arai : Mixed gangliocytoma-pituitary adenoma containing GH and GHRH co-secreting adenoma cells. *Endocrinology, diabetes & metabolism case reports* 2019; 2019 doi: 10.1530/EDM-19-0099.
- 41) 小南 修史, 井手口 稔, 渡辺 玲, 鈴木 雅規, 森田 明夫 : NBCA を用いた脳動静脈奇形の根治的塞栓術. *脳血管内治療* 2019; 4 (Suppl.) :S14.
- 42) Tomonori Tamaki, Akio Morita : Neck haematoma after carotid endarterectomy: risks, rescue, and prevention. *British journal of neurosurgery* 2019; 33 (2) :156-160. doi: 10.1080/02688697.2018.1468018.
- 43) Gudmundur Johannsson, Murray B Gordon, Michael Højby Rasmussen, Ida Holme Håkansson, Wolfram Karges, Claus Sværke, Shigeyuki Tahara, Koji Takano, Beverly M K Biller : Once-weekly somapactin is effective and well tolerated in adults with GH deficiency: a randomized phase 3 trial. *The Journal of clinical endocrinology and metabolism* 2020 doi: 10.1210/clinem/dgaa049.
- 44) Kohei Hironaka, Shotaro Aso, Masanori Suzuki, Fumihiko Matano, Hiroki Matsui, Kiyohide Fushimi, Hideo Yasunaga, Akio Morita : Outcomes in Elderly Japanese Patients Treated for Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage: A Retrospective Nationwide Study. *Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association* 2020; 29 (6) :104795. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2020.104795.
- 45) 小菊 実, 野崎 俊樹, 阿部 克智, 岸 博久 : POEMS 症候群患者の内頸動脈閉塞症に対して経皮的脳血栓回収術を施行した一例. *脳血管内治療* 2019; 4 (Suppl.) :S257.
- 46) Ako Matsushashi, Kenichi Usami, Eitaro Ishisaka, Hideki Ogiwara : Pediatric nodular fasciitis at the roof of the optic canal causing decreased vision: case report and review of the literature. *Child's nervous system : ChNS : official journal of the International Society for Pediatric Neurosurgery* 2019; 35 (9) :1603-1607. doi: 10.1007/s00381-019-04057-8.
- 47) Yasuo Murai, Shun Sato, Kanako Yui, Daijiro Morimoto, Tomohiro Ozeki, Masahiro Yamaguchi, Kojiro Tateyama, Toshiki Nozaki, Shigeyuki Tahara, Fumio Yamaguchi, Akio Morita : Preliminary Clinical Microneurosurgical Experience With the 4K3-Dimensional Microvideoscope (ORBEYE) System for Microneurological Surgery: Observation Study. *Operative neurosurgery (Hagerstown, Md.)* 2019; 16 (6) :707-716. doi: 10.1093/ons/opy277.
- 48) Tamaki Tomonori, Matano Fumihiko, Yamazaki Michio, Morita Akio : Prevention of Back Bleeding During Carotid Endarterectomy: Analysis of Clamping Techniques. *World neurosurgery* 2019; 131:e186-e191-e191. doi: 10.1016/j.wneu.2019.07.114.
- 49) Martin N. Stienen, Johanna M. Visser-Meily, Tom A. Schweizer, Daniel Hänggi, R. Loch Macdonald, Mervyn D.I. Vergouwen, Jose I. Suarez, Sepideh Amin-Hanjani, Robert D. Brown, Airton Leonardo de Oliveira Manoel, Colin P. Derdeyn, Nima Etminan, Emanuela Keller, Peter D. LeRoux, Stephan Mayer, Akio Morita, Gabriel Rinkel, Daniel Rüfenacht, Martin N. Stienen, James Torner, George K.C. Wong, Philippe Bijlenga, Nerissa Ko, Cameron G. McDougall, J. Mocco, Yuuichi Murayama, Marieke J.H. Werner, Rahul Damani, Joseph Broderick, Raj Dhar, Edward C. Jauch, Peter J. Kirkpatrick, Renee H. Martin, Susanne Muehlschlegel, Tatsushi Mutoh, Paul Nyquist, Daiwai Olson, Jorge H. Mejia-Mantilla, Mathieu van der Jagt, Nicholas Bambakidis, Ketan Bulsara, Jan Claassen, E. Sander Connolly, S. Alan Hoffer, Brian L. Hoh, Robert G. Holloway, Adam Kelly, Peter Nakaji, Alejandro Rabinstein, Peter Vajkoczy, Henry Woo, Gregory J. Zipfel, Sherry Chou, Sylvain Doré, Aaron S. Dumont, Murat Gunel, Hidetoshi Kasuya, Alexander Roederer, Ynte Ruigrok, Paul M. Vespa, Asita Simone Sarrafzadeh-Khorrasani, Katharina Hackenberg, John Huston, Timo Krings, Giuseppe Lanzino, Philip M. Meyers, Max Wintermark, Janis Daly, Christopher Ogilvy, Denise H. Rhoney, Y. B. Roos, Adnan Siddiqui, Ale Algra, Juhanna Frösen, David Hasan, Seppo Juvela, David J. Langer, Rustam Al-Shahi Salman, Liz Amos, Christophe Ludet, Claudia Moy, Joanne Odenkirchen, Sherita Ala'i, Joy Esterlitz, Kristen Joseph, Muniza Sheikh : Prioritization and Timing of Outcomes and Endpoints After Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage in Clinical Trials and Observational Studies: Proposal of a Multidisciplinary Research Group. *Neurocritical Care* 2019; 30:102-113. doi: 10.1007/s12028-019-00737-0.
- 50) Mitsuhiro Hasegawa, Toru Hatayama, Akinori Kondo, Shinji Nagahiro, Takamitsu Fujimaki, Kenichi Amagasaki, Kazunori Arita, Isao Date, Yukihiko Fujii, Takeo Goto, Ryosuke Hanaya, Yoshinori Higuchi, Kazuhiro Hongo, Toru Inoue, Hidetoshi Kasuya, Takamasa Kayama, Masatou Kawashima, Eiji Kohmura, Taketoshi Maehara, Toshio Matsushima, Yoshihumi Mizobuchi, Akio Morita,

- Shigeru Nishizawa, Shusaku Noro, Shinjiro Saito, Hirofumi Shimano, Reizo Shirane, Hideo Takeshima, Yuichiro Tanaka, Hidenori Tanabe, Hiroki Toda, Iwao Yamakami, Yuya Nishiyama, Shigeo Ohba, Yuichi Hirose, Takeya Suzuki : Prosthesis Used in Microvascular Decompressions: A Multicenter Survey in Japan Focusing on Adverse Events. *World neurosurgery* 2019; 130:e251-e258-258. doi: 10.1016/j.wneu.2019.06.053.
- 51) Akimi Soga , Izumi Fukuda , Shunsuke Kobayashi , Shigeyuki Tahara , Akio Morita , Hitoshi Sugihara : Preoperative growth hormone (GH) peak values during a GH releasing peptide-2 test reflect the severity of hypopituitarism and the postoperative recovery of GH secretion in patients with non-functioning pituitary adenomas. *Endocrine Journal* 2020;67(2) :167-175 . doi: 10.1507/endocrj.EJ19-0288.
- 52) Rinko Kokubo, Kyongsong Kim, Toyohiko Isu, Daijiro Morimoto, Naotaka Iwamoto, Akio Morita : Quality of life effects of pain from para-lumbar- and lower extremity entrapment syndrome and carpal tunnel syndrome and comparison of the effectiveness of surgery. *Acta Neurochirurgica* 2020; 162 (6) :1431-1437. doi: 10.1007/s00701-020-04226-8.
- 53) Tomohiro Aoki, Hirokazu Koseki, Haruka Miyata, Masayoshi Itoh, Hideya Kawaji, Katsumi Takizawa, Akitsugu Kawashima, Hiroshi Ujii, Takashi Higa, Kenzo Minamimura, Toshikazu Kimura, Hidetoshi Kasuya, Kazuhiko Nozaki, Akio Morita, Hirotsoshi Sano, Shuh Narumiya : RNA sequencing analysis revealed the induction of CCL3 expression in human intracranial aneurysms. *Scientific reports* 2019; 9 (1) :10387. doi: 10.1038/s41598-019-46886-2.
- 54) Kokubo R, Kim K, Isu T, Morimoto D, Kobayashi S, Morita A : Rare Distribution of the Palmar Cutaneous Branch of the Median Nerve: A Case Report. *J Clin Case R* 2019; 9:1300.
- 55) Fusao Ikawa, Nobuaki Michihata, Koji Iihara, Yasuhiko Akiyama, Akio Morita, Kiyohide Fushimi, Hideo Yasunaga, Kaoru Kurisu : Risk Management of Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage by Age and Treatment Method from a Nationwide Database in Japan. *World neurosurgery* 2020; 134:e55-e67. doi: 10.1016/j.wneu.2019.09.015.
- 56) Asami Kubota, Yasuo Murai, Hiroki Umezawa, Eitaro Ishisaka, Atsushi Tsukiyama, Shunsuke Nakagawa, Fumihiko Matano, Rei Ogawa, Akio Morita : Second Free Flap Surgery for Skull Base Tumors: Case Report and Literature Review. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (4) :248-253. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-406.
- 57) Fumihiko Matano, Yu Fujiki, Takayuki Mizunari, Kenta Koketsu, Tomonori Tamaki, Yasuo Murai, Hiroyuki Yokota, Akio Morita : Serum Glucose and Potassium Ratio as Risk Factors for Cerebral Vasospasm after Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage. *Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association* 2019; 28 (7) :1951-1957. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2019.03.041.
- 58) MARQUES MARINHO Murilo, HARADA Kanako, NAKATOMI Hirofumi, MORITA Akio, WATANABE Eiju, SAITO Nobuhito, MITSUISHI Mamoru : SmartArm: Dura Mater Suturing Experiments With A Versatile Surgical Robot. *日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会講演論文集(CD-ROM) 2019; 2019:ROMBUNNO.2P2 - R08.*
- 59) Kazutaka Shirokane, Tomonori Tamaki, Kyongsong Kim, Akio Morita : Subarachnoid Hemorrhage Attributable to Bilateral Aplastic or Twiglike Middle Cerebral Artery. *World neurosurgery* 2020; 134:560-563. doi: 10.1016/j.wneu.2019.10.054.
- 60) Fumihiko Matano, Yasuo Murai, Asami Kubota, Takayuki Mizunari, Shiro Kobayashi, Akio Morita : The Ivy Sign on Fluid Attenuated Inversion Recovery Images Related to Single-Photon Emission Computed Tomography Cerebral Blood Flow in Moyamoya Disease: A Case Report. *Turkish neurosurgery* 2019; 29 (4) :598-602. doi: 10.5137/1019-5149.JTN.19271-16.1.
- 61) Juichi Tonosu, Daisuke Kurosawa, Takako Nishi, Keisuke Ito, Daijiro Morimoto, Yoshiro Musha, Hiroshi Ozawa, Eiichi Murakami : The association between sacroiliac joint-related pain following lumbar spine surgery and spinopelvic parameters: a prospective multicenter study. *European spine journal : official publication of the European Spine Society, the European Spinal Deformity Society, and the European Section of the Cervical Spine Research Society* 2019; 28 (7) :1603-1609. doi: 10.1007/s00586-019-05952-z.
- 62) Fusao Ikawa, Nobuaki Michihata, Yasuhiko Akiyama, Koji Iihara, Fumihiko Matano, Akio Morita, Yoko Kato, Koji Iida, Kaoru Kurisu, Kiyohide Fushimi, Hideo Yasunaga : Treatment Risk for Elderly Patients with Unruptured Cerebral Aneurysm from a Nationwide Database in Japan. *World neurosurgery* 2019; 132:e89-e98-e98. doi: 10.1016/j.wneu.2019.08.252.
- 63) Tadashi Higuchi, Fumio Yamaguchi, Takayuki Asakura, Daizo Yoshida, Yumiko Oishi, Akio Morita : Ultrasound modulates fluorescence strength and ABCG2 mRNA response to aminolevulinic acid in glioma cells. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika*

Daigaku zasshi 2020 doi: 10.1272/jnms.JNMS.2020_87-601.

- 64) Akio Morita : Value of Brain Dock (Brain Screening) System in Japan. World neurosurgery 2019; 127:502. doi: 10.1016/j.wneu.2019.04.211.
- 65) Saul Alexis HEREDIA PEREZ, Murilo MARQUES MARINHO, Hirofumi NAKATOMI, Eiju WATANABE, Akio MORITA, Kanako HARADA, Mamoru MITSUIISHI : Virtual reality simulation for training of endonasal robotic suturing using multiple difficulty levels. 第24回日本バーチャルリアリティ学会大会 2019:6D-04.
- 66) Yamaguchi F : [Central Nervous System Tumor Pediatric Brain Tumor]. Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy 2019; 46 (6) :997.
- 67) 野崎 俊樹, 野田 昌幸, 小菊 実, 阿部 克智, 岸 博久, 石橋 敏寛, 森田 明夫 : flat detector CT による脳灌流画像(Neuro PBV)のMPR 画像が有用であった急性期 tandem lesions の1例. 脳血管内治療 2019; 4 (Suppl.) :S328.
- 68) 田原 重志 : 【指定難病ペディア 2019】個別の指定難病 代謝・内分泌系 下垂体性 TSH 分泌亢進症[指定難病 73]. 日本医師会雑誌 2019; 148 (特別1) :S269-S270.
- 69) 金 景成, 國保 倫子, 井須 豊彦 : 【脳神経外科キャリアビジョン Subspecialty:私の選択】ようこそ、私たちの subspecialty へ 脊椎脊髄・末梢神経 専門家を目指して? 正統派の Neurosurgeon を目指して?. 脳神経外科速報 2019; 29 (10) :1050-1053.
- 70) 村井 保夫, 森田 明夫 : 【診療力を上げる! 症例問題集】(第7章)神経・筋 症例問題 頭重感に引き続いた複視の症例. 内科 2019; 123 (4) :845-846.
- 71) 柴田あみ, 亦野文宏, 藤木悠, 水成隆之, 村井保夫, 横田裕行, 森田明夫 : くも膜下出血における酒石酸プロチレリン(TRH-T)の有効性とその特徴に関する解析. 日本集中治療医学会学術集会 2019; 46th
- 72) 藤木 悠, 亦野 文宏, 直江 康孝, 森田 明夫, 横田 裕行 : くも膜下出血後の脳血管攣縮の危険因子. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :690.
- 73) 山口 文雄, 李 英姫 : スマホアプリ「医療記録」によるクラウド非依存型 PHR システムの構築. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15(4) :258.
- 74) 益田 泰輔, 太田 信, 芳賀 洋一, 光石 衛, 原田 香奈子, 新井 史人, 小俣 誠二, 相原 一, 森田 明夫, 金 太一, 齊藤 延人, 山下 樹里, 鎮西 清行, 福田 敏男 : バイオニックヒューマノイドプラットフォームと要素技術の成果. 生体医工学 2019; 57 (0) :S203_2. doi: 10.11239/jsmbe.Annual57.S203_2.
- 75) 益田 泰輔, 原田 香奈子, 新井 史人, 小俣 誠二, 森田 明夫, 金 太一, 齊藤 延人, 山下 樹里, 鎮西 清行, 長谷川 明之, 福田 敏男 : バイオニックヒューマノイド:脳外科手術トレーニングモデルの開発. バイオエンジニアリング講演会講演論文集 2019; 2019(0) :2D16. doi: 10.1299/jsmebio.2019.31.2D16.
- 76) 服部 裕次郎, 田原 重志, 麻生 将太郎, 松居 宏樹, 伏見 清秀, 康永 秀生, 森田 明夫 : ビッグデータを用いた下垂体手術の疫学的検討. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (2) :714.
- 77) 柴山 雅行, 小林 俊介, 安藤 久恵, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 寺崎 美佳, 田原 重志, 井下 尚子, 藤沢 治樹, 梶村 益久, 福田 いずみ, 杉原 仁 : リンパ球性汎下垂体炎が疑われた中枢性尿崩症の一例. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (2) :780.
- 78) 鈴木 雅規, 小南 修史, 立山 幸次郎, 藤木 悠, 足立 好司, 森田 明夫 : 上眼静脈へ流出路を有する海綿静脈洞部硬膜動静脈瘻に対する前方アプローチの検討. 脳血管内治療 2019; 4 (Suppl.) :S108.
- 79) 大野 万葉, 福田 いずみ, 曾我 彬美, 田原 重志, 森田 明夫, 杉原 仁 : 下垂体偶発腫と症候性下垂体腫瘍の比較. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (1) :492.
- 80) 大山 健一, 廣畑 倫生, 江戸 直樹, 盛田 幸司, 石川 敏夫, 田原 重志, 森田 明夫, 寺本 明, 松野 彰 : 下垂体手術の最前線 下垂体部嚢胞性疾患の治療 ラトケ嚢胞・くも膜嚢胞・頭蓋咽頭腫に関して. 日本内分泌学会雑誌 2020; 95 (4) :1441.
- 81) 服部 裕次郎, 田原 重志, 喜多村 孝雄, 久保田 麻紗美, 石坂 栄太郎, 井野元 智恵, 長村 義之, 森田 明夫 : 下垂体細胞腫(pituitoma)の臨床病理学的検討. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (1) :417.
- 82) 服部 裕次郎, 田原 重志, 喜多村 孝雄, 久保田 麻紗美, 石坂 栄太郎, 森田 明夫 : 下垂体細胞腫(pituitoma)の臨床的特徴と術前診断の意義. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (Suppl.Update) :5-7.
- 83) 大山健一, 井野元知恵, 中里一郎, 松田みどり, 田原重志, 森田明夫, 寺本明, 長村義之, 松野彰 : 下垂体腺腫における Insulinoma-associated protein 1(INSM1)の発現に関する免疫組織化学的検討. 日本分子脳神経外科学会プログラム・抄録集 2019; 20th
- 84) 大山健一, 廣畑倫生, 江戸直樹, 盛田幸司, 石川敏夫, 田原重志, 森田明夫, 寺本明, 松野彰 : 下垂体部嚢胞性疾患の治療 -ラトケ嚢胞・くも膜嚢胞・頭蓋咽頭腫に関して-. 日本神経内分泌学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 46th:33.

- 85) 立山 幸次郎, 喜多村 孝雄, 廣中 浩平, 鈴木 雅規, 足立 好司, 森田 明夫 : 両側急性内頸動脈閉塞に対し、両側血栓回収術を行った 1 例. 脳血管内治療 2019; 4 (Suppl.) :S334.
- 86) 野村 素弘, 森 健太郎, 飯田 悠, 福井 一生, 河原 庸介, 阿部 克哉, 武田 むつき, 仲野 達, 野崎 俊樹, 土屋 敦史 : 中大脳動脈水平部(M1)動脈瘤に対する血管内治療. 脳血管内治療 2019; 4 (Suppl.) :S197.
- 87) 堀 千紗, 裴 有安, 道下 将太郎, 田原 重志, 伊地 俊介, 熊坂 利夫 : 偶発的に発見された下垂体細胞腫の一例. 日本病理学会誌 2020; 109 (1) :368.
- 88) 寺本紳一郎, 寺本紳一郎, 田原重志, 服部裕次郎, 森田明夫 : 内視鏡下経鼻手術における modified nonpenetrating clip device を用いた頭蓋底再建. 日本神経内視鏡学会プログラム・抄録集 2019; 26th
- 89) 柳原 大貴, 宮本 康平, 原田 香奈子, 中富 浩文, 森田 明夫, 渡辺 英寿, 光石 衛 : 内視鏡画像を用いたリアルタイム手術空間計測に関する研究. 日本コンピュータ外科学会誌 2019; 21 (4) :341-342.
- 90) 佐藤 俊, 森田 明夫 : 大動脈弓のバリエーション 脳血管内治療のための Bovine arch. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :266.
- 91) 笠野 小百合, 佐川 慧, 柴田 あみ, 山本 真梨子, 阪本 太吾, 川端 英恵, 中西 一步, 西方 紀子, 山田 隆, 田嶋 敦, 石川 源, 鈴木 真, 水成 隆之, 松本 尚, 竹下 俊行 : 妊娠中の高エネルギー外傷に対し病院前救急診療と救急外傷治療により母児ともに良好な経過を得た 1 例. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2019; 55 (2) :659.
- 92) 森本 大二郎, 金 景成, 井須 豊彦, 森田 明夫 : 専門医に求められる最新の知識 脊椎脊髓 頸椎 X 線画像読影のポイント. 脳神経外科速報 2019; 29 (8) :854-861.
- 93) 斎藤 力三, 寺本 紳一郎, 長谷川 浩, 西岡 和輝, 角田 朗, 丸木 親 : 当院での慢性硬膜下血腫 500 症例の検討と柴苓湯の再発予防について. 埼玉県医学会雑誌 2019; 54 (1) :np11.
- 94) 斎藤 力三, 西岡 和輝, 寺本 紳一郎, 長谷川 浩, 角田 朗, 丸山 親 : 当院での慢性硬膜下血腫 500 症例の検討と柴苓湯の再発予防について. 越谷市立病院病院年報 2020; 43:98-101.
- 95) 藤原 史明, 井須 豊彦, 金 景成, 松本 順太郎, 三木 浩一, 坂本 王哉, 伊東 雅基, 磯部 正則, 井上 亨 : 当院における腰椎周辺疾患の臨床と治療成績. Journal of Spine Research 2020; 11 (3) :458.
- 96) 中澤 敦士, 原田 香奈子, 中富 浩文, 森田 明夫, 渡辺 英寿, 齊藤 延人, 光石 衛 : 微細手術支援システムを用いた血管吻合における転移学習によるセグメンテーションに関する研究. ロボティクス・メカトロニクス講演会講演概要集 2019; 2019 (0) :2P2-R01. doi: 10.1299/jsmermd.2019.2P2-R01.
- 97) 廣中 浩平, 鈴木 雅規, 喜多村 孝雄, 立山 幸次郎, 足立 好司, 森田 明夫 : 急性期に繰り返し発症した主幹動脈閉塞に対し、機械的血栓回収術を各々施行した 1 例. 脳血管内治療 2019; 4 (Suppl.) :S334.
- 98) 村井保夫, 田原重志, 佐藤俊, 由井奏子, 尾関友博, 山口文雄, 森田明夫 : 手術画像からみるエクソスコープ(ORBEYE)の現状と未来. 日本神経内視鏡学会プログラム・抄録集 2019; 26th
- 99) 橋本 勉, 権藤 明夫, 岩橋 勝一, 森田 敏夫, 中村 篤雄, 山下 典雄, 高須 修 : 救急救命士の気管挿管成功を妨げる因子はこれだ 久留米市ドクターカー症例を通して. 日本臨床救急医学会雑誌 2019; 22 (2) :344.
- 100) 名尾 敬子, 安藤 久恵, 鈴木 綾子, 長峯 朋子, 山口 祐司, 長尾 元嗣, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 田原 重志, 寺崎 美佳, 井野元 智恵, 長村 義之, 福田 いずみ, 杉原 仁 : 治療に難渋した巨大下垂体腺腫による若年性先端巨大症の一例. 日本内分泌学会雑誌 2020; 95 (3) :986.
- 101) 関根鉄朗, 織田絵里香, 村井保夫, 高木亮, 安藤嵩浩, 岩田琴美, 小川匡史, 小原真, 汲田伸一郎 : 浅側頭動脈から中大脳動脈バイパス術前後の脳血流の 4D Flow MRI 分析. 日本医学放射線学会秋季臨床大会抄録集 2019; 55th
- 102) 小田一徳, 樋口直司, 村井保夫, 森田明夫, 山口文雄 : 片側顔面痙攣に対する微小血管減圧術後のテフロン肉芽腫の一例. 日本脳神経減圧術学会プログラム・抄録集 2019; 21st
- 103) 太組 一朗, 渡辺 英寿, 松森 隆史, 饒波 正博, 廣中 浩平, 野崎 俊樹, 森田 明夫, 高砂 浩史, 宮本 雄策, 嘉手川 淳, 山本 仁, 清水 直樹, 長谷川 泰弘, 田中 雄一郎 : 神経内視鏡を併用した選択的扁桃体海馬切除術の開発. てんかん研究 2019; 37 (2) :555.
- 104) 田原重志, 喜多村孝幸, 寺本明, 森田明夫 : 神経内視鏡手術における術者教育の現状. 日本神経内視鏡学会プログラム・抄録集 2019; 26th
- 105) 田原重志, 喜多村孝幸, 寺本明, 森田明夫 : 私が心がける合併症対策-下垂体手術を中心に-. 日本神経内視鏡学会プログラム・抄録集

2019; 26th

- 106) 大山健一, 廣畑倫生, 田原重志, 小野田恵介, 寺本明, 森田明夫, 松野彰: 第三脳室近傍腫瘍に対する神経内視鏡手術-顕微鏡下手術との比較. 日本脳腫瘍の外科学会プログラム・抄録集 2019; 24th
- 107) 大山健一, 廣畑倫生, 田原重志, 寺本明, 森田明夫, 松野彰: 第三脳室近傍腫瘍に対する神経内視鏡手術-顕微鏡下手術との比較. 日本間脳下垂体腫瘍学会プログラム・抄録集 2019; 29th
- 108) 赤野文宏, 水成隆之, 玉置智則, 山崎道夫, 村井保夫, 森田明夫: 米国ガイドラインと当院前向き研究から考察する脳神経外科周術期せん妄の予防. 日本老年脳神経外科学会プログラム・抄録集 2019; 32nd
- 109) 樋口 直司, 山口 文雄, 森田 明夫: 脳実質内腫瘍摘出における虚血合併症の評価. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:P53-5.
- 110) 大橋 豊, 廣中 浩平, 太組 一郎, 足立 好司, 三品 雅洋: 脳深部刺激療法後パーキンソン病患者の歩行に関する理学療法効果の検証. 日本定位・機能神経外科学会プログラム・抄録集 2019; 59 回:118.
- 111) 村井保夫: 脳神経疾患におけるバイパス術の適応とリスク. 日本心血管脳卒中学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 6th
- 112) 山口 文雄, 樋口 直司, 朝倉 隆之, 森田 明夫: 脳腫瘍の PDD-これまでとこれから- 超音波による脳腫瘍蛍光診断検出感度増強法の試みと機序検討. 日本レーザー医学会誌 2019; 40 (Suppl.):S67.
- 113) 井須 豊彦, 金 景成, 藤原 史明: 臀皮神経障害(上臀皮神経障害、中臀皮神経障害)による腰痛. Journal of Spine Research 2020; 11 (3) :91.
- 114) 森田 明夫: 臨床で頻回に遭遇するポイントについての最新の対応 未破裂脳動脈瘤への対応. 日本脳ドック学会報 2019; 5 (1) :14-19.
- 115) 太組 一郎, 田中雄一郎, 森田明夫, 秋元正宇: 自家骨・自家組織を用いた頭蓋再建-我々の方法と長期経過-. 日本整容脳神経外科学会プログラム・抄録集 2019; 12th
- 116) 井手口 稔, 小南 修史, 森田 明夫: 血管撮影装置における画像遅延. 脳血管内治療 2019; 4 (Suppl.):S382.
- 117) 國保 倫子, 金 景成, 井須 豊彦, 岩本 直高, 森本 大二郎: 術後腰痛に関連した腰椎周辺疾患に対する治療. 日本脊髄障害医学会雑誌 2019; 32 (1) :134-135.
- 118) 辻川 幸一郎, 松本 典子, 佐藤 俊, 築山 敦, 森田 明夫, 西山 康裕, 永山 寛, 木村 和美: 診断まで時間を要した脳脊髄液減少症の 1 例. 神経治療学 2019; 36 (6) :S235.
- 119) 村井保夫, 森田明夫: 診療力を上げる! 症例問題集 第 7 章 神経・筋 症例問題 頭重感に引き続いた複視の症例. 内科 2019; 123 (4)
- 120) 柴田 あみ, 齋藤 伸行, 松本 尚, 横田 裕行: 重症頭部外傷予後予測因子としての血糖・カリウム比. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :725.
- 121) 尾関 友博, 村井 保夫, 森本 大二郎, 森田 明夫: 鍼灸治療による椎骨動脈穿通性損傷の 1 例. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集 2020; 43 回:175.
- 122) 福田 いずみ, 田原 重志, 澤田 杏理, 寺崎 美佳, 清水 章, 藤沢 治樹, 梶村 益久, 杉原 仁: 間脳-下垂体系の診断と治療の up-date リンパ球性漏斗下垂体後葉炎の臨床. 日本内分泌学会雑誌 2020; 95 (4) :1436.
- 123) 田原 重志, 服部 裕次郎, 寺本 紳一郎, 福田 いずみ, 杉原 仁, 井野元 智恵, 長村 義之, 寺本 明, 森田 明夫: 間脳-下垂体系の診断と治療の up-date 自己免疫性下垂体炎に対する経鼻的生検術の実際. 日本内分泌学会雑誌 2020; 95 (4) :1436.
- 124) 有馬 寛, 井野元 智恵, 岩崎 泰正, 大月 道夫, 沖 隆, 蔭山 和則, 神崎 晋, 菅原 明, 杉野 法広, 梶村 益久, 高野 幸路, 高橋 裕, 田原 重志, 中里 雅光, 西岡 宏, 堀川 玲子, 松野 彰, 水野 晴夫, 柳瀬 敏彦, 山田 正信, 横山 徹爾, 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業「間脳下垂体機能障害に関する調査研究」班, 一般社団法人日本内分泌学会: 間脳下垂体機能障害の診断と治療の手引(平成 30 年度改訂). 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (Suppl.):ii-60.
- 125) 田原重志, 服部裕次郎, 石坂栄太郎, 鈴木幸二, 寺本紳一郎, 曾我彬美, 福田いずみ, 杉原仁, 寺本明, 森田明夫: 非機能性下垂体腺腫に対する術前 GHRP-2 試験は下垂体機能低下症の重症度と術後の GH 分泌の回復を反映する. 日本神経内視鏡学会プログラム・抄録集 2020; 67 (2) :167-175. doi: 10.1507/endocrj.EJ19-0288.
- 126) 石井 雄道, 森 良介, 大村 和弘, 川村 大地, 渡邊 健太郎, 鈴木 智成, 田中 俊英, 森田 明夫, 寺本 明, 鴻 信義, 村山 雄一: 頭蓋咽頭腫に対する下垂体・茎を温存した内視鏡下経鼻手術. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (Suppl.HPT) :9-10.
- 127) 藤木 悠, 赤野 文宏, 鈴木 剛, 中江 竜太, 直江 康孝, 横田 裕行: 頭部単独外傷の予後予測の検討. 日本外傷学会雑誌 2019; 33 (2) :251.
- 128) 中江 竜太, 横堀 将司, 藤木 悠, 山口 昌紘, 佐藤 慎, 五十嵐 豊, 渡邊 顕弘, 金子 純也, 鈴木 剛, 恩田 秀賢, 高山 泰広, 直

江 康孝, 畝本 恭子, 布施 明, 森田 明夫, 横田 裕行 : 高齢者頭部外傷:talk & deteriorate に対する取り組み Talk and Deteriorate を呈する高齢者頭部外傷の特徴と対策. Neurosurgical Emergency 2020; 24 (3) :320.

- 129) 中江 竜太, 横堀 将司, 藤木 悠, 山口 昌紘, 佐藤 慎, 五十嵐 豊, 渡邊 顕弘, 金子 純也, 鈴木 剛, 恩田 秀賢, 高山 泰広, 直江 康孝, 佐藤 秀貴, 畝本 恭子, 布施 明, 森田 明夫, 横田 裕行 : 高齢者頭部外傷における凝固線溶系マーカーの経時変化の特徴と対策. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集 2020; 43 回:75.

著書

- 1) 伊達 勲, 森田 明夫, 菊田 健一郎 : Advanced 神経内視鏡手術 : 神経内視鏡の可能性をさらに広げる. 2019, メジカルビュー社.
- 2) 黒田 敏, 森田 明夫, 伊達 勲, 菊田 健一郎 : Neurosurgical Controversies : 脳神経外科の最新ディベート. 2019, メジカルビュー社.
- 3) 森田 明夫, 伊達 勲, 菊田 健一郎 : 専門医を目指す医師のための器具の使い方と基本手技 : 脳神経外科専門医に求められる技. 2020, メジカルビュー社.
- 4) 村井 保夫 : [分担執筆] 前頭開頭と inter hemispheric approach. 森田 明夫, 伊達 勲, 菊田 健一郎 : 専門医を目指す医師のための器具の使い方と基本手技 : 脳神経外科専門医に求められる技. 2020, メジカルビュー社.
- 5) 森田 明夫, 伊達 勲, 菊田 健一郎 : 脳動脈瘤 : 専門医になるための基本ポイント. 2019, メジカルビュー社.
- 6) 鈴木 智恵子, 森田 明夫 : 脳神経外科ナースポケットブック. 2020, 学研メディカル秀潤社.
- 7) 村井 保夫 : [分担執筆] 術中動脈損傷. 松谷 雅生, 田村 晃, 藤巻 高光, 森田 明夫 : 脳神経外科周術期管理のすべて. 2019, メジカルビュー社.
- 8) 松谷 雅生, 田村 晃, 藤巻 高光, 森田 明夫 : [分担執筆] 脳神経外科周術期管理のすべて. 2019, メジカルビュー社.

学会発表

- 1) Shibata A, Kim K, Kokubo R, Isu T, Morimoto D, Iwamoto N, Morita A : A case of metastatic spinal tumor of palatal pleomorphic benign adenoma. The 10th Asia Spine, 2019. 9.
- 2) 廣中浩平, 太組一朗, 大橋豊, 高山幸芳, 日高可奈子, 足立好司, 森田明夫 : DBS 手術中に脳内出血を発生したパーキンソン病患者に対し、後日電極留置術を行った 1 例. 第 59 回日本定位・機能神経外科学会, 2020. 1.
- 3) 馬場 栄一 : Developmental venous anomaly 周囲の広範な FLAIR 高信号を呈した症候性例の考察. 第 78 回日本脳神経外科学会学術総会, 2019. 10.
- 4) Kim K, Isu T, Morimoto D, Kokubo R, Morita A : Gluteus medius muscle decompression for buttock pain. The 10th Asia Spine, 2019. 9.
- 5) 金景成, 井須豊彦, 森本大二郎, 國保倫子, 岩本直高, 森田明夫 : Neurospine surgeon としての腰下肢痛診療 - 末梢神経疾患はだれが診るのか -. 日本脳神経外科学会第 78 回学術総会, 2019.
- 6) Kokubo R, Kim K, Isu T, Iawamoto N, Morimoto D, Miki K, Morita A : Radiofrequency thermocoagulation for entrapment neuropathy of middle cluneal nerve. The 10th Annual Meeting of Asia Spine, 2019. 9.
- 7) 尾関友博 : くも膜下出血後のスパイナルドレナージによる低髄液圧性水頭症が疑われた 1 例. 日本脳神経外科学会第 78 回学術総会, 2019. 10.
- 8) 岩本直高, 金景成, 井須豊彦, 森本大二郎, 國保倫子, 中里一郎, 廣川佑, 松野彰 : ガングリオンが原因となった足根管症候群の 1 例. 日本脳神経外科学会第 78 回学術総会, 2019.
- 9) 金景成, 國保倫子, 森本大二郎, 井須豊彦, 森田明夫 : モートン病の治療経験. 第 3 回末梢神経の外科研究会, 2019.
- 10) 馬場 栄一 : 中大脳動脈瘤クリップワークの他部位との比較による検討. 第 139 回日本脳神経外科学会関東支部学術集会, 2019. 9.
- 11) 國保倫子, 金景成, 井須豊彦, 岩本直高, 森本大二郎, 三木浩一, 森田明夫 : 中殿皮神経障害に対する高周波熱凝固療法. 第 34 回日本脊髄外科学会, 2019. 6.
- 12) 國保倫子, 金景成, 井須豊彦, 森本大二郎, 岩本直高, 森田明夫 : 再発性手根管症候群の手術経験. 第 3 回末梢神経の外科研究会, 2019. 5.
- 13) 國保倫子, 金景成, 井須豊彦, 森本大二郎, 岩本直高, 森田明夫 : 口蓋原発多形腺腫による転移性脊椎腫瘍の 1 例. 第 138 回日本脳神経外科学会関東支部会, 2019. 4.

- 14) 柴田あみ, 由井奏子, 馬場栄一, 白銀一貴, 井手口稔, 國保倫子, 大村朋子, 梅岡克哉, 小南修史, 金景成, 水成隆之, 横田裕行, 森田明夫: 外傷性くも膜下出血による脳血管攣縮: 死亡症例報告と文献レビュー. 日本脳神経外科学会第 78 回学術集会. (大阪), 2019. 10.
- 15) 廣中浩平, 鈴木雅規, 喜多村孝雄, 立山幸次郎, 足立好司, 森田明夫: 急性期に繰り返し発症した主幹動脈閉塞に対し、機械的血栓回収術を各々施行した 1 例. 第 35 回日本脳神経血管内治療学会学術総会, 2019. 11.
- 16) 廣中浩平, 麻生将太郎, 鈴木雅規, 亦野文宏, 松居宏樹, 伏見清秀, 康永秀生, 森田明夫: 日本の脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血の予後~DPC データベースを用いた記述疫学研究~. 第 78 回日本脳神経外科学会学術総会, 2019. 10.
- 17) 森本大二郎, 金景成, 喜多村孝雄, 國保倫子, 井須豊彦, 森田明夫: 末梢神経腫瘍の手術経験. 第 3 回末梢神経の外科研究会, 2019.
- 18) 金景成, 井須豊彦, 松本順太郎, 三木浩一, 森本大二郎, 國保倫子, 岩本直高, 磯部正則, 森田明夫: 殿部痛に対する中殿筋除圧術の中期成績. 第 34 回脊髄外科学会, 2019.
- 19) 馬場 栄一: 経過中縮小傾向を見せた脳腫瘍性病変 2 例の検討. 第 57 回ニューロ・オンコロジーの会, 2019. 8.
- 20) 國保倫子, 金景成, 井須豊彦, 岩本直高, 森本大二郎, 森田明夫: 絞扼性末梢神経障害と腰椎周辺疾患が患者 QOL へ及ぼす影響に関する研究. 第 34 回日本脊髄外科学会, 2019. 6.
- 21) 國保倫子, 金景成, 井須豊彦, 岩本直高, 森本大二郎, 森田明夫: 脳神経外科診療における猪苓湯の使用経験. 第 28 回日本脳神経外科漢方医学会学術集会, 2019.
- 22) 國保倫子, 金景成, 井須豊彦, 岩本直高, 森本大二郎: 術後に残存した腰下肢痛に対し腰椎周辺疾患などの治療が奏功した 1 例. 第 3 回橘桜脊椎脊髄研究会, 2019.
- 23) 國保倫子, 金景成, 森本大二郎, 岩本直高, 井須豊彦, 森田明夫: 術後腰痛に関連した腰椎周辺疾患に対する低侵襲治療. 第 9 回低侵襲内視鏡脊椎手術研究会, 2019. 7.
- 24) 柴田あみ, 齋藤伸行, 藤木 悠, 松本 尚, 横田 裕行: 重症頭部外傷予後予測因子としての血糖・カリウム比. 第 47 回日本救急医学会総会・学術集会. (東京), 2019. 10.
- 25) 金景成, 國保倫子, 森本大二郎, 岩本直高, 井須豊彦: 頸椎後方スクリュー挿入において椎体後縁線は椎骨動脈損傷回避に有用なのか. 第 54 回日本脊髄障害医学会, 2019. 11.
- 26) 國保倫子, 梅岡克哉, 金景成, 森田明夫: 顔面痙攣術後に生じた外側大腿皮障害の 1 例. 第 22 回日本脳神経減圧術学会, 2020. 1.

20 整形外科学分野

研究業績

論文等

- 1) Yasuyuki Kitagawa, Yoshihiro Sudo, Ryu Tsunoda, Mitsuhiko Nanno, Satoru Arai, Shinro Takai : Angioleiomyoma: Correlation between magnetic resonance imaging features and histologic subtypes. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2020
doi: 10.1272/jnms.JNMS.2020_87-602.
- 2) Koichiro Ono, Kazuo Ohmori, Takeshi Hori : Clinical and Radiological Outcomes of Corrective Surgery on Adult Spinal Deformity Patients: Comparison of Short and Long Fusion. *Advances in orthopedics* 2019; 2019:9492486. doi: 10.1155/2019/9492486.
- 3) Yuji Tomori, Mitsuhiko Nanno, Shinro Takai : Clinical outcomes of nonsurgical treatment for Preiser disease. *Medicine* 2020; 99(4):e18883. doi: 10.1097/MD.00000000000018883.
- 4) Tomori Y, Nanno M, Takai S : Closed rupture of extensor tendon resulting from untreated Kienböck disease: A case report and a review of the literature. *Medicine* 2019; 98 (33) :e16900. doi: 10.1097/MD.00000000000016900.
- 5) Yuji Tomori, Takuya Sawaizumi, Mitsuhiko Nanno, Shinro Takai : Closing Radial Wedge Osteotomy for Preiser Disease: Clinical Outcomes. *The Journal of hand surgery* 2019; 44 (10) :896.e1-896.e10. doi: 10.1016/j.jhssa.2018.11.007.
- 6) Masatake Matsuoka, Tomohiro Onodera, Tokifumi Majima, Koji Iwasaki, Daisuke Takahashi, Eiji Kondo, Norimasa Iwasaki : Correction osteotomy for bilateral varus knee deformity caused by premature epiphyseal closure induced by hypervitaminosis A: a case report. *BMC musculoskeletal disorders* 2019; 20 (1) :287. doi: 10.1186/s12891-019-2665-2.
- 7) Yasuyuki Kitagawa, Takashi Yamaoka, Mari Yokouchi, Toshihiko Ito, Yoshihiro Mizuno, Yoshihiro Sudo, Yong Kim, Ryu Tsunoda, Shinro Takai : Development and Verification of Educational Material for Plain Radiographic Diagnosis of Bone Metastasis: A Preliminary Report. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (5) :307-309. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-506.
- 8) Yasuyuki Kitagawa, Toshihiko Ito, Yoshihiro Mizuno, Yoshihiro Sudo, Yong Kim, Ryu Tsunoda, Shinro Takai : Diagnosis of Bone Metastasis in Patients Without a History of Cancer. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (1) :22-26. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-4.
- 9) Yasuyuki Kitagawa, Toshihiko Ito, Yoshihiro Mizuno, Yoshihiro Sudo, Yong Kim, Ryu Tsunoda, Shinro Takai : Effect of Orthopedics Promotional Activities on Multidisciplinary Management of Patients with Bone Metastases. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2020; 86 (6) :327-335. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-609.
- 10) 横内 麻里, 北川 泰之, 水野 祥寛, 角田 隆, 高井 信朗 : In situ preparation technique を用いて切除した大腿部巨大異型脂肪腫様腫瘍の1例. *関東整形災害外科学会雑誌* 2019; 50 (4) :281.
- 11) Tatsunori Kataoka, Yasushi Oshima, Norishige Iizawa, Tokifumi Majima, Shinro Takai : Influence of total knee arthroplasty on hip rotational range of motion. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 87 (4) :191-196. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2020_87-401.
- 12) Yuji Tomori, Mitsuhiko Nanno, Shinro Takai : Kirschner Wire Fixation with and without Tension Band Wiring for Treatment of Fracture of the Lateral Humeral Condyle in Children. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2020; 87 (1) :17-23. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2020_87-105.
- 13) Yasushi Oshima, Nobuyoshi Watanabe, Norishige Iizawa, Tokifumi Majima, Mitsuhiko Kawata, Shinro Takai : Knee-Hip-Spine Syndrome: Improvement in Preoperative Abnormal Posture following Total Knee Arthroplasty. *Advances in Orthopedics* 2019; 2019:1-9. doi: 10.1155/2019/8484938.
- 14) Yasuyuki Kitagawa, Yong Kim, Ryu Tsunoda, Shinro Takai : Natural Progression and Factors Predicting Growth of Retroperitoneal Schwannoma. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2020; 87 (1) :13-16. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2020_87-103.
- 15) Mitsuhiko Nanno, Norie Kodera, Yuji Tomori, Shinro Takai : Novel Modification of Abductor Pollicis Longus Suspension Arthroplasty

- with Trapeziectomy for Thumb Carpometacarpal Osteoarthritis. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2019; 86 (5) :269-278. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-507.
- 16) Yuji Tomori, Mitsuhiko Nanno, Shinro Takai : Outcomes of nonsurgical treatment for transcondylar humeral fractures in adults: Clinical results of nonoperative management. Medicine 2019; 98 (46) :e17973. doi: 10.1097/MD.00000000000017973.
- 17) Nanno M, Kodera N, Tomori Y, Takai S : Pins and rubbers traction system for fractures of the proximal interphalangeal joint. Journal of orthopaedic surgery (Hong Kong) 2019; 27 (2) :2309499019840771. doi: 10.1177/2309499019840771.
- 18) Hiroshi Watanabe, Tokifumi Majima, Kenji Takahashi, Norishige Iizawa, Yasushi Oshima, Shinro Takai : Posterior tibial slope angle is associated with flexion-type Salter–Harris II and Watson–Jones type IV fractures of the proximal tibia. Knee Surgery, Sports Traumatology, Arthroscopy 2019; 27 (9) :2994-3000. doi: 10.1007/s00167-018-5319-2.
- 19) 友利 裕二, 南野 光彦, 小寺 訓江, 佐竹 美彦, 園木 謙太郎 : Preiser 病に対する保存治療は効果があるか?. 日本手外科学会雑誌 2020; 36 (4) :624.
- 20) Yasuyuki Kitagawa, Toshihiko Ito, Yoshihiro Mizuno, Yoshihiro Sudo, Yong Kim, Ryu Tsunoda, Shinro Takai : Symptoms Related to Moderate Skeletal-Related Events as Clues for the Diagnosis of Bone Metastasis. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2019; 86 (3) :159-164. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-304.
- 21) Kazumasa Abe, Hiroshi Hashiguchi, Kentaro Sonoki, Satoshi Iwashita, Shinro Takai : Tarsal Navicular Stress Fracture in a Young Athlete: A Case Report. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2019; 86 (2) :122-125. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-208.
- 22) Norishige Iizawa, Yasushi Oshima, Tatsunori Kataoka, Tokifumi Majima, Shinro Takai : The Influence of medial osteophyte removal on correction of varus deformity in total knee arthroplasty. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2020; 87 (4) :215-219. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2020_87-503.
- 23) Yasuyuki Kitagawa, Yong Kim, Ryu Tsunoda, Shinro Takai : Types of pedicle signs indicating symptomatic spinal metastases and their associated clinical and radiological features. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2020 doi: 10.1272/jnms.JNMS.2021_88-101.
- 24) Mitsuhiko Nanno, Norie Kodera, Yuji Tomori, Shinro Takai : Volar Locking Plate Fixation for Intra-Articular Distal Radius Fractures with Volar Lunate Facet Fragments Distal to the Watershed Line. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2020; 87 (1) :24-31. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2020_87-106.
- 25) 大島 康史, 飯澤 典茂, 眞島 任史, 高井 信朗 : 【整形外科診療における最先端技術】手術支援 Augmented reality コンピュータテクノロジーを使用した人工膝関節全置換術 CT テンプレートによる大腿骨回旋位の決定と augmented reality 手術への応用. 別冊整形外科 2019; (75) :202-205.
- 26) 岩下 哲, 橋口 宏, 若宮 みあり, 園木 謙太郎, 飯澤 典茂, 高井 信朗 : スポーツにより発症した肩関節不安定症に対する保存的治療の成績. 日本整形外科スポーツ医学会雑誌 2019; 39 (4) :585.
- 27) 園木 謙太郎, 橋口 宏, 岩下 哲, 大久保 敦, 米田 稔, 高井 信朗 : リバース型人工肩関節置換術におけるベースプレート下方傾斜獲得のための関節窩楔状骨移植術の有用性. 肩関節 2019; 43 (3) :887-890.
- 28) 四本 忠彦, 大久保 敦, 水野 祥寛, 渡邊 信佳 : 一次修復困難な広範囲肩腱板断裂に対する回転筋移行術の短期成績. 日本肩関節学会抄録集 2019; 46 回:123.
- 29) 平林 篤志, 小原 良規, 大久保 敦, 北川 泰之, 高井 信朗 : 上肢血行障害を合併した左上腕骨近位端骨折の 1 例. 関東整形災害外科学会雑誌 2019; 50 (4) :268.
- 30) 高林 直也, 飯澤 典茂, 大島 康史, 牧野 晃, 横内 麻里, 高井 信朗 : 両側化膿性膝関節炎の 1 例. 関東整形災害外科学会雑誌 2019; 50 (5) :353.
- 31) 橋口 宏, 岩下 哲, 園木 謙太郎, 高井 信朗 : 五十肩に対する二朶湯の有効性に関する検討. 痛みと漢方 2019; 29:91-94.
- 32) 植松 卓哉, 奥村 瞬, 高井 信朗, 河路 秀巳, 岡崎 愛未, 佐竹 美彦 : 人工股関節 implant 周囲骨折の治療戦略 ステム周囲骨折 Vancouver 分類 type 1 に対する治療戦略. 関東整形災害外科学会雑誌 2019; 50 (4) :258.
- 33) 奥村 瞬, 植松 卓哉, 岡崎 愛未, 河路 秀巳, 眞島 任史, 高井 信朗 : 人工股関節再置換術ステム折損およびセメント骨折に対し腫瘍

- 用人工関節を用いて再建した一例. Hip Joint 2019; 45 (2) :761-764.
- 34) 吉田 啓紀, 飯澤 典茂, 大島 康史, 山岡 卓司, 片岡 達紀, 高井 信朗 : 傍半月板嚢腫と2層半月板を認めた1症例. 関東整形災害外科学会雑誌 2019; 50 (4) :272.
- 35) 渡部寛, 角田隆, 植松卓哉, 伊藤寿彦, 奥村瞬, 橋口宏, 高井信朗 : 共同腱温存後方アプローチによる人工骨頭置換術では下肢長差が生じにくい. 日本人工関節学会プログラム・抄録集 2019; 49th
- 36) 大島 康史, 渡邊 信佳, 大槻 康雄, 水野 祥寛, 四本 忠彦, 竹岡 亨, 飯澤 典茂, 眞島 任史, 高井 信朗 : 内側不安定性を呈する変形性膝関節症に対し脛骨顆外反骨切り術は有効か. JOSKAS 2019; 44 (4) :251.
- 37) 大島 康史, 眞島 任史, 飯澤 典茂, 高井 信朗 : 内側軟部組織温存状態下では後十字靭帯切離は大腿骨脛骨間垂直距離に影響を与えない. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :264.
- 38) 篠塚 洋祐, 大島 康史, 飯澤 典茂, 眞島 任史, 高井 信朗 : 同一患者での両変形性膝関節症に対する高位脛骨骨切り術と人工膝関節置換術の比較. 関東整形災害外科学会雑誌 2020; 51 (臨増号外) :199.
- 39) 渡部 寛, 植松 卓哉, 明石 裕貴, 大園 翔太, 奥村 瞬, 佐竹 美彦, 大場 良輔, 眞島 任史, 高井 信朗 : 変形性股関節症と筋力. 関東整形災害外科学会雑誌 2020; 51 (臨増号外) :86.
- 40) 水野 祥寛, 大島 康史, 飯澤 典茂, 高井 信朗 : 変形性膝関節症に対する脛骨顆外反骨切り術の適応の検討. 関東整形災害外科学会雑誌 2019; 50 (4) :270-271.
- 41) 大島 康史, 飯澤 典茂, 高井 信朗 : 変形性膝関節症の治療戦略 変形性膝関節症に対する TKA の現状. 関東整形災害外科学会雑誌 2019; 50 (4) :227.
- 42) 大久保 敦, 南野 光彦, 小寺 訓江, 友利 裕二, 高井 信朗 : 小児中指基節骨骨端線損傷 Salter-Harris III 型の1例. 関東整形災害外科学会雑誌 2019; 50 (2) :126.
- 43) 田沼 悠太, 北川 泰之, 吉田 啓紀, 権藤 岳, 高井 信朗 : 巨大な左腓骨部悪性顆粒細胞腫の1例. 関東整形災害外科学会雑誌 2019; 50 (5) :350.
- 44) 四本 忠彦, 大久保 敦, 水野 祥寛, 渡邊 信佳 : 広範囲肩腱板断裂に対する関節鏡視下腱板修復術と筋前進法の比較. 日本肩関節学会抄録集 2019; 46回:334.
- 45) 榎本 あつみ, 村瀬 幸宏, 石井 英昭, 寺崎 美佳, 寺崎 泰弘, 呉 壮香, 和田 龍一, 北川 泰之, 清水 章, 内藤 善哉 : 悪性顆粒細胞腫の1例. 日本臨床細胞学会雑誌 2019; 58 (Suppl.1) :353.
- 46) 加藤 恵, 北川 泰之, 高井 信朗 : 手指屈曲障害をきたした虫様筋結節性筋膜炎の1例. 関東整形災害外科学会雑誌 2019; 50 (4) :279-280.
- 47) 飯澤 典茂 : 手術室における立会いの意義とは? 整形外科領域における立会いの現状. 日本手術医学会誌 2019; 40 (Suppl.) :83.
- 48) 北川 泰之, 山岡 卓司, 伊藤 寿彦, 水野 祥寛, 須藤 悦宏, 金 竜, 角田 隆, 高井 信朗 : 整形外科の骨転移診療への積極的な取り組みと集学化. 運動器リハビリテーション 2019; 30 (2) :135.
- 49) 岩下 哲, 橋口 宏, 大久保 敦, 米田 稔, 高井 信朗 : 斜角筋ブロックによる鏡視下腱板修復術(ARCR)の術後疼痛管理. 肩関節 2019; 43 (3) :826-830.
- 50) 権藤 岳, 北川 泰之, 高井 信朗 : 示指基節骨に肺癌の単発性骨転移をきたした1例. 関東整形災害外科学会雑誌 2019; 50 (4) :277.
- 51) 岩下 哲, 大久保 敦, 米田 稔, 高井 信朗, 橋口 宏 : 糖尿病と肩関節拘縮. 関東整形災害外科学会雑誌 2019; 50 (4) :234-235.
- 52) 植松 卓哉, 河路 秀巳, 奥村 瞬, 宮本 暖, 堀口 元, 高井 信朗 : 股関節後方脱臼を伴う寛骨臼後壁骨折に対してサポートリングを用いて一期的に人工股関節全置換術を行った1例. 東日本整形災害外科学会雑誌 2020; 32 (1) :122-126.
- 53) 岩下 哲, 橋口 宏, 園木 謙太郎, 平林 篤志, 米田 稔, 高井 信朗 : 肩甲骨関節窩骨形態不良例に対するリバース型人工肩関節置換術の成績. 日本人工関節学会誌 2019; 49:747-748.
- 54) 園木 謙太郎, 橋口 宏, 若宮 みあり, 岩下 哲, 高井 信朗 : 肩腱板不全断裂に対する保存的治療の成績. 関東整形災害外科学会雑誌 2019; 50 (4) :266.
- 55) 若宮 みあり, 岩下 哲, 高井 信朗, 園木 謙太郎, 橋口 宏 : 肩腱板完全断裂に対する保存的治療の成績. 関東整形災害外科学会雑誌 2019; 50 (4) :266-267.
- 56) 岩下 哲, 橋口 宏, 大久保 敦, 米田 稔, 高井 信朗 : 肩腱板断裂に対するスーチャーテープ付きソフトアンカーを用いた net-like DAFF 法の術後成績. 肩関節 2019; 43 (3) :769-771.

- 57) 明石 裕貴, 飯澤 典茂, 大島 康史, 松井 秀平, 渡部 寛, 片岡 達紀, 眞島 任史, 高井 信朗 : 脛骨高位骨切り術が膝アライメントに与える影響について. JOSKAS 2019; 44 (4) :237.
- 58) 明石 裕貴, 飯澤 典茂, 大島 康史, 松井 秀平, 渡部 寛, 片岡 達紀, 眞島 任史, 高井 信朗 : 脛骨高位骨切り術が膝アライメントに与える影響について. JOSKAS 2020; 45 (1) :192-193.
- 59) 吉田 啓紀, 大島 康史, 飯澤 典茂, 眞島 任史, 高井 信朗 : 脛骨高原骨折術後の高度膝関節伸展拘縮に対する Judet 変法. JOSKAS 2019; 44 (4) :709.
- 60) 田沼 悠太, 植松 卓哉, 奥村 瞬, 河路 秀巳, 高井 信朗 : 腫瘍用人工関節を用いて人工股関節再置換術後にステム周囲骨折を合併し治療に難渋した 1 症例. 関東整形災害外科学会雑誌 2019; 50 (4) :241.
- 61) 岩下 哲, 橋口 宏, 大久保 敦, 若宮 みあり, 米田 稔, 高井 信朗 : 腱板不全断裂の臨床的特徴および鏡視下腱板修復術による治療成績に関する検討. JOSKAS 2019; 44 (4) :478.
- 62) 若宮みあり, 橋口宏, 岩下哲, 渡部寛, 片岡達紀, 明石裕貴, 高井信朗 : 腱板断裂性肩関節症に対するステムレス型小径人工骨頭置換術・腱板修復術の治療成績. 日本関節病学会誌 2019; 38 (3)
- 63) 萩原 祐介, 園木 謙太郎, 南野 光彦, 吉田 竜, 稲田 有史 : 術前動態解析を用いた母指 CM 関節症の術後 MP 関節変形予測と EPB 腱移行術を用いた予防. 日本手外科学会雑誌 2019; 35 (6) :1282-1287.
- 64) 飯澤 典茂, 橋口 宏, 岩下 哲, 大久保 敦, 若宮 みあり, 高井 信朗 : 関節窩骨欠損を有する反復性肩関節前方脱臼 遊離骨移植を併用した鏡視下 Bankart 修復術. 関東整形災害外科学会雑誌 2019; 50 (4) :250.
- 65) 友利 裕二, 南野 光彦, 高井 信朗 : 骨折部の転位が軽度な高齢者上腕骨通頸骨折 3 例に対する保存治療. 整形・災害外科 2019; 62 (7) :921-926.
- 66) 北川 泰之, 伊藤 寿彦, 水野 祥寛, 須藤 悦宏, 金 竜, 角田 隆, 高井 信朗 : 骨転移を相談されたらどうする? 整形外科の役割 骨転移診療における整形外科医の役割(大学病院での対応). 関東整形災害外科学会雑誌 2020; 51 (臨増号外) :74.
- 67) 北川 泰之, 山岡 卓司, 水野 祥寛, 須藤 悦宏, 金 竜, 角田 隆, 高井 信朗 : 骨転移診療における整形外科の潜在的な需要. 日本整形外科学会雑誌 2019; 93 (6) :S1376.

著書

- 1) 眞島 任史 : 〔分担執筆〕変形性膝関節症. 今日の治療指針. 2019, 医学書院.
- 2) 北川 泰之: 〔分担執筆〕変わりゆく「がん診療」における整形外科の新たな役割. ロコモチャレンジ! 推進協議会. 整形外科医が今日から始めるがんロコモ: がん患者が「動けること」がいま求められている. 2019, 総合医学社.
- 3) 三浦 裕正, 眞島 任史 : 難治例から学ぶ人工膝関節置換術 = Total knee arthroplasty. 2019, メディカルレビュー社.

学会発表

- 1) 小野孝一郎 : Full-endoscopic spine surgery (FESS)を用いた 腰椎椎間板ヘルニア切除後の再手術症例の検討. 第 10 回最小侵襲脊椎治療学会 (MIST 学会), 2020. 2.
- 2) 横内 麻里, 北川 泰之, 水野 祥寛, 角田 隆, 高井 信朗 : In situ preparation technique を用いて切除した大腿部巨大異型脂肪腫様腫瘍の 1 例. 関東整形災害外科学会雑誌, 2019. 8.
- 3) 平林 篤志, 小原 良規, 大久保 敦, 北川 泰之, 高井 信朗 : 上肢血行障害を合併した左上腕骨近位端骨折の 1 例. 関東整形災害外科学会雑誌, 2019. 8.
- 4) 全内視鏡下腰椎椎弓切除術の手法と治療成績. 第 32 回 日本内視鏡外科学会総会, 2019. 12.
- 5) 小野孝一郎 : 全内視鏡下腰椎椎間板切除術 (FED-IL) 後の 超早期再発例に対する再 FED-IL は有効である. 第 25 回日本最小侵襲整形外科学会, 2019. 11.
- 6) 堀 岳史, 大森 一生, 小野 孝一郎 : 化膿性脊椎炎に対する全内視鏡下椎間板洗浄と PPS を用いた後方固定の併用効果. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2019. 12.
- 7) 北川泰之 : 外来診療にて骨転移を見逃さないコツと診断の限界. 第 6 回整形外科那須セミナー, 2019. 9.
- 8) 田沼 悠太, 北川 泰之, 吉田 啓紀, 榎藤 岳, 高井 信朗 : 巨大な左鼠径部悪性顆粒細胞腫の 1 例. 関東整形災害外科学会雑誌, 2019. 10.

- 9) 榎本 あつみ, 村瀬 幸宏, 石井 英昭, 寺崎 美佳, 寺崎 泰弘, 呉 壮香, 和田 龍一, 北川 泰之, 清水 章, 内藤 善哉: 悪性顆粒細胞腫の1例. 日本臨床細胞学会雑誌, 2019. 5.
- 10) 加藤 恵, 北川 泰之, 高井 信朗: 手指屈曲障害をきたした虫様筋結節性筋膜炎の1例. 関東整形災害外科学会雑誌, 2019. 8.
- 11) 北川 泰之, 山岡 卓司, 伊藤 寿彦, 水野 祥寛, 須藤 悦宏, 金 竜, 角田 隆, 高井 信朗: 整形外科の骨転移診療への積極的な取り組みと集学化. 運動器リハビリテーション, 2019. 6.
- 12) 権藤 岳, 北川 泰之, 高井 信朗: 示指基節骨に肺癌の単発性骨転移をきたした1例. 関東整形災害外科学会雑誌, 2019. 8.
- 13) 松繁 治, 大森 一生, 米山 励子, 堀 岳史, 小野 孝一郎: 経皮的椎弓根スクリューを用いた椎体間固定術における L5/S 高位の骨癒合と固定椎関数に関する検討. Journal of Spine Research, 2020. 3.
- 14) 堀 岳史, 大森 一生, 小野 孝一郎, 川口 善治: 脊柱管内骨化・石灰化病変が LLIF による間接除圧に与える影響. Journal of Spine Research, 2020. 3.
- 15) 大森 一生, 小野 孝一郎, 堀 岳史, 米山 励子: 腰椎椎間板ヘルニアに対する FED transforamial outside-in 法の有効性. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2019. 12.
- 16) 大森 一生, 米山 励子, 松繁 治, 小野 孝一郎, 堀 岳史: 頸椎椎間板ヘルニアに対する Full-endoscopic posterior cervical foraminotomy におけるヘルニア摘出に関する検討. Journal of Spine Research, 2020. 3.
- 17) 北川 泰之, 伊藤 寿彦, 水野 祥寛, 須藤 悦宏, 金 竜, 角田 隆, 高井 信朗: 骨転移を相談されたらどうする? 整形外科の役割 骨転移診療における整形外科医の役割(大学病院での対応). 関東整形災害外科学会雑誌, 2020. 3.
- 18) 北川 泰之, 山岡 卓司, 水野 祥寛, 須藤 悦宏, 金 竜, 角田 隆, 高井 信朗: 骨転移診療における整形外科の潜在的需要. 日本整形外科学会雑誌, 2019. 6.

21 女性生殖発達病態学分野

研究業績

論文等

- 1) 川瀬 里衣子, 黒瀬 圭輔, 池田 真利子, 山本 晃人, 米山 剛一, 渡曾 泰彦, 石井 英昭, 清水 章, 竹下 俊行 : ASC-US の判定を再考してみる ASC-US 症例の臨床病理学的検討. 日本臨床細胞学会雑誌 2019; 58 (Suppl.1) :119.
- 2) Masao Ichikawa, Shigeo Akira, Hanako Kaseki, Kenichiro Watanabe, Shuichi Ono, Toshiyuki Takeshita : Accuracy and clinical value of an adhesion scoring system: A preoperative diagnostic method using transvaginal ultrasonography for endometriotic adhesion. The journal of obstetrics and gynaecology research 2020; 46 (3) :466-478. doi: 10.1111/jog.14191.
- 3) Shunji Suzuki, Yumene Kubota : Acute twin-twin transfusion syndrome without labour. Journal of obstetrics and gynaecology : the journal of the Institute of Obstetrics and Gynaecology 2019; 39 (6) :851-852. doi: 10.1080/01443615.2018.1555576.
- 4) Osamu Ishihara, Seung Chik Jwa, Akira Kuwahara, Yukiko Katagiri, Yoshimitsu Kuwabara, Toshio Hamatani, Miyuki Harada, Tomohiko Ichikawa : Assisted reproductive technology in Japan: A summary report for 2017 by the Ethics Committee of the Japan Society of Obstetrics and Gynecology. Reproductive medicine and biology 2020; 19 (1) :3-12. doi: 10.1002/rmb2.12307.
- 5) 山岸絵美, 伊達岡要, 池田武史, 大畑尚子, 北田博, 後藤淳子, 小山泰明, 依田重幸, 伊藤雄二 : BLSO デモンストレーションコース ~病院前産科救急対応~. 全国救急隊員シンポジウム(CD-ROM) 2019; 27th
- 6) Momoko Owada, Yoshie Shibata, Shunji Suzuki : Case Series of Intrauterine Subamniotic Hemorrhage. Case reports in obstetrics and gynecology 2019; 2019:1828457. doi: 10.1155/2019/1828457.
- 7) Ouchi Nozomi, Kasano Sayuri, Yonezawa Mirei, Kurashina Ryuhei, Ichikawa Tomoko, Kuwabara Yoshimitsu, Sawa Rintaro, Takeshita Toshiyuki : Chorionic chromosomal abnormalities in cases of recurrent miscarriages(和訳中). 日本産科婦人科学会雑誌 2020; 72 (臨増) :S-185.
- 8) Tatsunori Shiraishi, Yoshie Shibata, Momoko Owada, Shunji Suzuki : Disruption of the dividing membrane in monochorionic diamniotic twin pregnancy. Clinical case reports 2020; 8 (1) :230-231. doi: 10.1002/ccr3.2570.
- 9) Yasuyuki Negishi, Masahiko Kato, Shuichi Ono, Yoshimitsu Kuwabara, Rimpei Morita, Hidemi Takahashi, Toshiyuki Takeshita : Distribution of dendritic cells in the septate uterus: An immunological perspective. American journal of reproductive immunology (New York, N.Y. : 1989) 2020; 83 (6) :e13241. doi: 10.1111/aji.13241.
- 10) Daisuke Nagayama, Emi Yamagishi, Masamune Kuno, Gen Ishikawa, Noboru Koshizuka : Electric Maternal, Child and Doctor Handbook as Personal Data Storage for Disaster Preparedness. IEEE 1st Global Conference on Life Sciences and Technologies(LifeTech) 2019:256-260. doi: 10.1109/LifeTech.2019.8883986.
- 11) 新村裕樹, 米山剛一, 針金永佳, 角田陽平, 松島隆, 竹下俊行 : Endometriosis - related ovarian neo - plasms の術前予測についての検討. 日本エンドメトリオーシス学会プログラム・抄録集 2019; 40th:130.
- 12) 池田 真利子, 山本 晃人, 山口 佑, 川瀬 里衣子, 黒瀬 圭輔, 竹下 俊行 : Iliac compression syndrome を呈したアンチトロンビン欠損症合併子宮体癌の1例. 日本婦人科腫瘍学会雑誌 2019; 37 (3) :521.
- 13) Kurashina Ryuhei, Akira Shigeo, Yonezawa Mirei, Ouchi Nozomi, Ichikawa Tomoko, Kaseki Hanako, Ichikawa Masao, Kuwabara Yoshimitsu, Takeshita Toshiyuki : Laparoscopically-assisted surgery using the lifting method for ovarian tumors during pregnancy(和訳中). 日本産科婦人科学会雑誌 2020; 72 (臨増) :S-234.
- 14) 久保田 夢音, 新村 裕樹, 針金 永佳, 山田 舞夕, 米山 剛一, 許田 典男, 大橋 隆治 : MELF 型浸潤を呈し卵巣転移を来した子宮体部類内膜癌 G2 の1例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :260.
- 15) 市川 雅男, 明樂 重夫, 可世木 華子, 渡辺 健一, 小野 修一, 竹下 俊行 : POP に対する腹腔鏡手術~メッシュ or ノンメッシュ~ ミニマムメッシュ LSC Mesh or non-Mesh, why not combination of mesh and non-mesh method?. 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 2019; 35 (Suppl.1) :80.

- 16) Matsushima T, Akira S, Yoneyama K, Takeshita T : Recurrence of uterine adenomyosis after administration of gonadotropin-releasing hormone agonist and the efficacy of dienogest. *Gynecological endocrinology : the official journal of the International Society of Gynecological Endocrinology* 2019; 36 (6) :1-4. doi: 10.1080/09513590.2019.1683818.
- 17) Tsunoda Y, Matsushima T, Yoneyama K, Takeshita T : Role of hysteroscopy in the diagnosis of uterine artery pseudoaneurysm: a case report. *J Obstet Gynaecol* 2019; 14 (7) :1-2. doi: 10.1080/01443615.2019.1650261.
- 18) Nozomi Ouchi, Yoshimitsu Kuwabara, Mirei Yonezawa, Ryuhei Kurashina, Tomoko Ichikawa, Rintaro Sawa, Toshiyuki Takeshita : Successful Management of Complicated Uterine Displacement Caused by Unilateral Incarceration of the Bicornuate Uterus. *Case reports in obstetrics and gynecology* 2019; 2019:3205610. doi: 10.1155/2019/3205610.
- 19) 功刀 沙也香, 小針 文, 藤野 一蔵, 森岡 広嗣, 菅原 友樹, 毛利 かの子, 坂元 晴子, 織畑 道宏, 五藤 倫敏, 小林 滋, 松井 遼子, 河合 尚基, 山崎 滋孝 : S 状結腸癌による子宮瘻の一例. *日本臨床外科学会雑誌* 2019; 80 (8) :1580.
- 20) Yoshimitsu Kuwabara, Mirei Yonezawa, Yumene Kubota, Tomoko Ichikawa, Ryuji Ohashi, Toshiyuki Takeshita : Unique Clinical and Histological Features of Placental Mesenchymal Dysplasia Complicated by Severe Preeclampsia in the Midtrimester. *AJP REPORTS* 2020; 10 (1) :E113-E117. doi: 10.1055/s-0040-1709186.
- 21) 大内 望, 竹下 俊行 : 【周産期相談 310 お母さんへの回答マニュアル 第 3 版】産科編 不妊と不育について ダイエットしたら無月経になりました。妊娠できますか?. *周産期医学* 2019; 49 (増刊) :21-22.
- 22) 大内 望, 竹下 俊行 : 【周産期相談 310 お母さんへの回答マニュアル 第 3 版】産科編 不妊と不育について 以前に人工妊娠中絶をしたことがあって心配です. *周産期医学* 2019; 49 (増刊) :15-16.
- 23) 大内 望, 竹下 俊行 : 【周産期相談 310 お母さんへの回答マニュアル 第 3 版】産科編 不妊と不育について 流産をくり返していますが、どういう検査を受けたらよいですか?. *周産期医学* 2019; 49 (増刊) :13-14.
- 24) 大内 望, 竹下 俊行 : 【周産期相談 310 お母さんへの回答マニュアル 第 3 版】産科編 不妊と不育について 結婚して 1 年たっても妊娠しません。不妊症ですか?. *周産期医学* 2019; 49 (増刊) :17-18.
- 25) 大内 望, 竹下 俊行 : 【周産期相談 310 お母さんへの回答マニュアル 第 3 版】産科編 不妊と不育について 高プロラクチン血症といわれました。妊娠できますか?. *周産期医学* 2019; 49 (増刊) :19-20.
- 26) 井野 創, 中井 章人 : 【周産期相談 310 お母さんへの回答マニュアル 第 3 版】産科編 妊娠初期 甲状腺の検査で異常を指摘されましたが?. *周産期医学* 2019; 49 (増刊) :99-100.
- 27) 倉品 隆平, 竹下 俊行 : 【妊娠高血圧症候群 update】病態 妊娠高血圧症候群と miRNA. *周産期医学* 2019; 49 (10) :1340-1343.
- 28) 倉品 隆平, 可世木 華子, 明樂 重夫 : 【妊婦の腫瘍性疾患の管理-見つけたらどう対応するか】良性疾患 妊婦に良性卵巣腫瘍手術を行う場合の留意点. *臨床婦人科産科* 2019; 73 (5) :442-448.
- 29) 松島隆, 明樂重夫, 米山剛一, 竹下俊行 : ジェノゲストが子宮体積増加抑制効果を示す子宮腺筋症は?. *日本エンドメトリオーシス学会プログラム・抄録集* 2019; 40th:163.
- 30) 小川 淳, 宮崎 美和, 佐川 慧, 白石 達典, 柴田 良枝, 林 瑞成, 鈴木 俊治 : 一児に母児間輸血症候群を認めた二絨毛膜双胎の 1 例. *日本産科婦人科学会雑誌* 2020; 72 (臨増) :S-582.
- 31) 小川 真吾, 松田 繁, 米澤 美令, 村川 裕子, 大内 望, 市川 智子, 峯 克也, 里見 操緒, 桑原 慶充, 竹下 俊行 : 不育症患者における Superfertility の臨床的特徴. *日本生殖医学会雑誌* 2019; 64 (4) :306.
- 32) 村川 裕子, 桑原 慶充, 松田 繁, 米澤 美令, 渡邊 建一郎, 小野 修一, 大内 望, 市川 智子, 竹下 俊行 : 不育症患者における甲状腺機能と妊娠転機. *日本生殖医学会雑誌* 2019; 64 (4) :393.
- 33) 納富 嗣人, 新村 裕樹, 深見 武彦, 松島 隆, 米山 剛一, 竹下 俊行 : 両者とも組織型が endometrioid carcinoma であった卵管癌および子宮体癌の重複癌の 1 例. *関東連合産科婦人科学会誌* 2019; 56 (2) :268.
- 34) 米澤 美令, 桑原 慶充, 大内 望, 倉品 隆平, 市川 智子, 澤 倫太郎, 竹下 俊行 : 低 Bishop score 症例に対する、個別化した分娩誘発の試み 器械的頸管熟化アルゴリズムの構築と臨床応用. *日本周産期・新生児医学会雑誌* 2019; 55 (2) :513.
- 35) 一木 愛, 中西 一步, 佐川 慧, 奥田 直史, 長島 麻子, 笠野 小百合, 西方 紀子, 山田 隆, 石川 源, 鴨井 青龍, 竹下 俊行 : 免疫染色で腸管由来の特徴を示したが、腸管に画像上腫瘤を認めず悪性の経過を経た卵巣腫瘍の 1 例. *日本婦人科腫瘍学会雑誌* 2019; 37 (3) :568.

- 36) 根岸 靖幸, 加藤 雅彦, 島 義雄, 市川 智子, 竹下 俊行, 森田 林平, 高橋 秀実: 免疫疾患と妊娠 免疫学的知見による新しい流早産発症メカニズムの解明. 日本臨床免疫学会総会プログラム・抄録集 2019; 47 回:78.
- 37) 小澤 雅代, 内山 亜弥, 上野 悠太, 上原 萌美, 最上 多恵, 近内 勝幸, 小野瀬 亮, 加藤 久盛: 全身転移を伴う卵巣癌と子宮体癌の重複癌における癌性腹水の原発巣推定にセルブロック法が有用であった 1 例. 神奈川県臨床細胞学会誌 2019; 24 (1) :21-28.
- 38) Sekiguchi Atsuko, Hayashi Masako, Sakata Akiko, Shiraiishi Tatsunori, Terada Kayoko, Nakao Kimihiko, Yamagishi Emi, Okuda Naotaka, Fukami Takehiko, Yoneyama Koichi, Nakai Akihito, Takeshita Toshiyuki: 分娩後出血に対する救急搬送 血液製剤使用に対する病院到着時の最適なパラメーターは何か(Emergency transport for postpartum hemorrhage: What is the best parameter on arrival at hospital for subsequent blood transfusion requirement?). The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research 2019; 45 (8) :1761.
- 39) 小澤 雅代, 内山 亜弥, 上野 悠太, 上原 萌美, 最上 多恵, 近内 勝幸, 小野瀬 亮, 那須 隆二, 横瀬 智之, 加藤 久盛: 分葉状頸管腺過形成(LEGH)の臨床細胞学的検討. 日本臨床細胞学会雑誌 2019; 58 (Suppl.1) :266.
- 40) 納富 嗣人, 渡邊 朝子, 山田 舞夕, 加藤 雅彦, 黒木 睦実, 深見 武彦, 松島 隆, 米山 剛一: 劇症型 A 群溶連菌感染症(分娩型)と考えられた 1 例とその病態. 関東連合産科婦人科学会誌 2019; 56 (3) :413.
- 41) 鈴木健介, 北野信之介, 井上将仁, 齋藤健吾, 張替健, 山岸絵美, 徳岡健太郎, 久野将宗, 新井隆男: 南多摩保健医療圏における避難所アセスメント講習会. Japanese Journal of Disaster Medicine 2019; 23 (3)
- 42) 加藤 僚子, 桑原 慶充, 篠崎 香, 松田 繁, 米澤 美令, 渡邊 建一郎, 村川 裕子, 小野 修一, 市川 智子, 明樂 重夫, 竹下 俊行: 卵丘細胞-卵子複合体におけるオステオポンチンの発現調節とその役割. 日本生殖医学会雑誌 2019; 64 (4) :349.
- 43) 米山 剛一, 石橋 幸, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 黒瀬 圭輔, 山田 隆, 新村 裕樹, 角田 陽平, 深見 武彦, 松島 隆, 竹下 俊行: 卵巣チョコレート嚢胞由来卵巣がんにおいて発現が亢進する miR-429 は GNB5 の発現を抑制することで細胞の遊走を促進する. 日本産科婦人科学会雑誌 2020; 72 (臨増) :S-400.
- 44) 納富 嗣人, 新村 裕樹, 深見 武彦, 松島 隆, 米山 剛一, 竹下 俊行: 卵管癌および子宮体癌の重複癌の組織型が両者とも endometrioid carcinoma であった 1 例. 日本婦人科腫瘍学会雑誌 2019; 37 (3) :522.
- 45) 大和田 桃子, 春名 百合愛, 宮崎 美和, 柴田 良枝, 林 瑞成, 鈴木 俊治: 吸引分娩 5 回・20 分ルールの当院分娩実施状況への影響. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2019; 55 (2) :668.
- 46) 山岸絵美, 中井章人: 周産期と医療安全【産科】産後大量出血. 周産期医学 2019; 49 (5)
- 47) 進士 誠一, 市川 雅男, 山田 岳史, 太田 竜, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 原 敬介, 武田 幸樹, 上田 康二, 可世木 華子, 明樂 重夫, 竹下 俊行, 吉田 寛: 多科での協働と連携 腸官子宮内膜症手術 他科との連携. 日本外科系連合学会誌 2019; 44 (3) :438.
- 48) 山岸 絵美, 関口 敦子, 白石 達典, 尾市 有里, 清田 裕美, 坂田 明子, 原田 寛子, 寺田 佳世子, 中尾 仁彦, 林 昌子, 奥田 直貴, 中井 章人: 多種のアレルギーを持ち、婦人科術後に輸血関連急性肺障害の発症が疑われた一例. 関東連合産科婦人科学会誌 2019; 56 (2) :304.
- 49) 山口 祐, 米澤 美令, 渡邊 建一郎, 大内 望, 倉品 隆平, 市川 智子, 桑原 慶充, 澤 倫太郎, 竹下 俊行: 妊娠 34 週に子宮表面血管破綻による出血性ショックを来した Spontaneous Hemoperitoneum in Pregnancy の 1 例. 関東連合産科婦人科学会誌 2019; 56 (2) :258.
- 50) Kurashina Ryuhei, Akira Shigeo, Yonezawa Mirei, Ouchi Nozomi, Ichikawa Tomoko, Kaseki Hanako, Ichikawa Masao, Kuwabara Yoshimitsu, Takeshita Toshiyuki: 妊娠中における卵巣腫瘍に対する吊り上げ法による腹腔鏡補助下手術(Laparoscopically-assisted surgery using the lifting method for ovarian tumors during pregnancy). 日本産科婦人科学会雑誌 2020; 72 (臨増) :S-234.
- 51) 清田 裕美, 山岸 絵美, 原田 寛子, 寺田 佳世子, 中尾 仁彦, 菊地 恵理子, 奥田 直貴, 林 昌子, 関口 敦子, 中井 章人: 妊娠中に診断に至った微小変化型ネフローゼ症候群の 1 例. 東京産科婦人科学会誌 2019; 68 (4) :695-700.
- 52) 倉品 隆平, 明樂 重夫, 米澤 美令, 大内 望, 市川 智子, 桑原 慶充, 澤 倫太郎, 竹下 俊行: 妊娠中の卵巣嚢腫に対する吊り上げ法を用いた腹腔鏡下手術の安全性と有用性についての検討. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2019; 55 (2) :656.
- 53) 笠野 小百合, 佐川 慧, 柴田 あみ, 山本 真梨子, 阪本 太吾, 川端 英恵, 中西 一步, 西方 紀子, 山田 隆, 田嶋 敦, 石川 源, 鈴木 真, 水成 隆之, 松本 尚, 竹下 俊行: 妊娠中の高エネルギー外傷に対し病院前救急診療と救急外傷治療により母児ともに良好な経過を得た 1 例. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2019; 55 (2) :659.
- 54) Yonezawa Mirei, Kuwabara Yoshimitsu, Ouchi Nozomi, Kurashina Ryuhei, Ichikawa Tomoko, Sawa Rintaro, Takeshita Toshiyuki:

- 妊娠後期に重度の妊娠高血圧腎症を発症した間葉性異形成胎盤の1症例(A case of placental mesenchymal dysplasia which developed severe preeclampsia in the second trimester of pregnancy). The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research 2019; 45 (8) :1745.
- 55) 大内 望, 桑原 慶充, 米澤 美令, 倉品 隆平, 市川 智子, 澤 倫太郎, 竹下 俊行 : 妊娠成立後に開腹アプローチで行った経腹的子宫峡部縫縮術の5例. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2019; 55 (2) :641.
- 56) 大野 礼, 倉品 隆平, 前岡 悠里, 米澤 美令, 大内 望, 市川 智子, 澤 倫太郎, 竹下 俊行 : 妊娠第三半期に腰背部痛より診断に至った進行腎癌合併妊娠の1例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :260.
- 57) 大野 礼, 倉品 隆平, 米澤 美令, 大内 望, 市川 智子, 桑原 慶充, 澤 倫太郎, 竹下 俊行 : 妊娠第三半期に腰背部痛より顕在化した進行腎癌合併妊娠の一例. 関東連合産科婦人科学会誌 2019; 56 (3) :414.
- 58) 橘 香穂里, 岡島 史宜, 齋木 厚人, 小幡 新太郎, 石川 源, 木下 俊彦, 龍野 一郎, 江本 直也, 印旛市郡妊娠糖尿病対策協議会 : 妊娠糖尿病の診療状況に関する産後のアンケート調査と啓蒙カードによる活動の中間報告. 糖尿病 2019; 62 (Suppl.1) :S-233.
- 59) 橘 香穂里, 岡島 史宜, 齋木 厚人, 小幡 新太郎, 石川 源, 木下 俊彦, 龍野 一郎, 江本 直也 : 妊娠糖尿病の診療状況に関する産後アンケート調査と啓蒙活動の中間報告. 糖尿病と妊娠 2019; 19 (3) :S-89.
- 60) 山岸絵美 : 妊婦さんを診よう 救急外来での妊産婦対応 救急で妊婦さんを診るための基礎知識 超音波の活用方法. レジデントノート 2019; 21 (12)
- 61) 倉品 隆平, 可世木 華子, 明樂 重夫 : 妊婦に良性卵巣腫瘍手術を行う場合の留意点 (今月の臨床 妊婦の腫瘍性疾患の管理 : 見つけたらどう対応するか) -- (良性疾患). 臨床婦人科産科 2019; 73 (5) :442-448.
- 62) 納富 嗣人, 渡邊 朝子, 山田 舞夕, 加藤 雅彦, 黒木 睦実, 深見 武彦, 松島 隆, 米山 剛一, 竹下 俊行 : 妊婦健診でA群溶連菌が検出された劇症型A群溶連菌感染症(分娩型)の1例. 日本産婦人科感染症学会学術講演会プログラム・抄録集 2019; 36回:84.
- 63) 森 優加里, 針金 幸代, 横山 展子, 山田 舞夕, 針金 永佳, 角田 陽平, 渡邊 朝子, 新村 裕樹, 稲垣 知子, 加藤 雅彦, 黒木 睦実, 川端 伊久乃, 深見 武彦, 松島 隆, 米山 剛一 : 娩出時期決定に苦慮した巨大絨毛膜下血腫(Breus'mole)合併胎児発育不全の1例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :259-260.
- 64) 森 優加里, 川端 伊久乃, 針金 幸代, 深見 武彦, 横山 展子, 山田 舞夕, 針金 永佳, 角田 陽平, 渡邊 朝子, 新村 裕樹, 稲垣 知子, 加藤 雅彦, 黒木 睦実, 松島 隆, 米山 剛一 : 娩出時期決定に苦慮した巨大絨毛膜下血腫(Breus'mole)合併胎児発育不全の1例. 関東連合産科婦人科学会誌 2020; 57 (1) :137-145.
- 65) Kubota Yumene, Matsushima Takashi, Harigane Eika, Shinmura Hiroki, Fukami Takehiko, Yoneyama Koichi, Akira Shigeo, Takeshita Toshiyuki : 子宮体積の増大を認めない子宮腺筋症 Junctional zone と過多月経(Adenomyosis without uterine volume increasing - Junctional zone and hypermenorrhea). 日本産科婦人科学会雑誌 2020; 72 (臨増) :S-214.
- 66) 可世木 華子, 市川 雅男, 菅原 望央, 鈴木 美沙子, 松田 繁, 渡邊 建一郎, 小野 修一, 明樂 重夫, 竹下 俊行 : 子宮内膜症の手術適応と治療効果 卵巣チョコレート嚢胞の膿瘍化に関わる因子について. 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 2019; 35 (Suppl.1) :64.
- 67) 市川雅男, 明樂重夫, 松田繁, 可世木華子, 渡辺健一郎, 小野修一, 竹下俊行 : 子宮内膜症の癒着診断法:Adhesion score は骨盤内癒着と不妊治療への指針となるか?. 日本エンドメトリオーシス学会プログラム・抄録集 2019; 40th:86.
- 68) 市川 雅男, 明樂 重夫, 松田 繁, 可世木 華子, 渡邊 健一郎, 小野 修一, 竹下 俊行 : 子宮内膜症合併不妊管理-私はこうしている手術とARTのコンビネーションなど 子宮内膜症の癒着診断法 Adhesion score は骨盤内癒着と不妊治療への指針となるか?. 日本エンドメトリオーシス学会会誌 2019; 40:98.
- 69) 近内 勝幸, 小野瀬 亮, 上野 悠太, 小澤 雅代, 上原 萌美, 内山 亜弥, 最上 多恵, 加藤 久盛 : 子宮原発血管肉腫の1症例. 日本臨床細胞学会雑誌 2019; 58 (Suppl.1) :227.
- 70) 施 紅蓮, 岡田 知之, 池田 真利子, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 黒瀬 圭輔, 竹下 俊行 : 子宮平滑筋肉腫の心膜播種による心タンポナーデをきたした1例. 関東連合産科婦人科学会誌 2019; 56 (3) :418.
- 71) 奥田 直史, 佐川 慧, 長島 麻子, 一木 愛, 川端 英恵, 中西 一步, 山田 隆, 石川 源, 鴨井 青龍 : 子宮留膿症穿孔による汎発性腹膜炎から敗血症性ショックとなった1例. 千葉県産科婦人科医学会雑誌 2019; 13 (1) :26-29.
- 72) Yoshida Emiko, Terao Yasuhisa, Ito Yosuke, Ueno Yuta, Ozawa Masayo, Kato Tomoyasu, Kato Hisamori, Fujino Kazunari, Hirayama Takashi, Yamaguchi Maiko, Takeda Satoru, Itakura Atsuo : 子宮癌リンパ節転移の新規予測バイオマーカーにおける人種差の検証 ロシアとの国際共同研究(Validation of ethnic difference in novel predictive biomarker of lymph node metastasis for uterine

- cancer:International joint research with Russia). 日本産科婦人科学会雑誌 2020; 72 (臨増) :S-261.
- 73) Ueno Yuta, Kato Hisamori, Ozawa Masayo, Uchiyama Aya, Kitagawa Masakazu, Konnai Katsuyuki, Onose Ryo, Ito Yosuke, Yoshida Emiko, Terao Yasuhisa, Kato Tomoyasu, Takeshita Toshiyuki: 子宮癌リンパ節転移予測スコア(Kanagawa Cancer Center(KCC) Score)における四つのパラメーターの有意性に関する再分析(Reanalysis on significance of four parameters in Uterine Cancer Lymph Node Metastasis Prediction Score(Kanagawa Cancer Center(KCC)Score)). 日本産科婦人科学会雑誌 2020; 72 (臨増) :S-261.
- 74) 小野 修一, 松田 繁, 米澤 美令, 渡邊 建一郎, 村川 裕子, 市川 智子, 桑原 慶充, 明樂 重夫, 竹下 俊行: 子宮鏡下子宮形成術によりART成績が改善した6例. 日本生殖医学会雑誌 2019; 64 (4) :328.
- 75) 中西 一步, 佐川 慧, 長島 麻子, 奥田 直史, 一木 愛, 笠野 小百合, 川端 英恵, 西方 紀子, 山田 隆, 石川 源, 鴨井 青龍, 竹下 俊行: 子宮頸癌に随伴した β 溶血性連鎖球菌による重症左仙腸関節炎の2例. 日本婦人科腫瘍学会雑誌 2019; 37 (3) :494.
- 76) 岡田 知之, 米山 剛一, 針金 幸代, 新村 裕樹, 加藤 雅彦, 山田 舞夕, 黒木 睦実, 針金 永佳, 渡邊 朝子, 稲垣 知子, 納富 嗣人, 横山 展子, 深見 武彦, 松島 隆, 竹下 俊行: 帝王切開術後にA群溶連菌感染症が疑われた1例. 日本産婦人科感染症学会学術講演会プログラム・抄録集 2019; 36回:49.
- 77) 白石 達典, 林 昌子, 井野 創, 尾市 有里, 坂田 明子, 寺田 佳世子, 原田 寛子, 中尾 仁彦, 山岸 絵美, 奥田 直貴, 関口 敦子, 中井 章人: 常位胎盤早期剥離による子宮内胎児死亡後の帝王切開で多量出血と播種性血管内凝固症候群(DIC)を発症し集中管理を要した1例. 東京産科婦人科学会誌 2019; 68 (4) :628-631.
- 78) 山口 祐, 奥田 直史, 長島 麻子, 一木 愛, 坂田 明子, 大和田 桃子, 笠野 小百合, 中西 一步, 西方 紀子, 山田 隆, 石川 源: 当院で挿入したレボノルゲステロン放出子宮内システム(LNG-IUS)の脱出15例の検討. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :260-261.
- 79) 上野 悠太, 内山 亜弥, 小澤 雅代, 上原 萌美, 最上 多恵, 近内 勝幸, 小野瀬 亮, 加藤 久盛: 当院におけるOlaparibの使用経験. 日本婦人科腫瘍学会雑誌 2019; 37 (3) :544.
- 80) 山田 隆, 山口 祐, 奥田 直史, 長島 麻子, 坂田 明子, 一木 愛, 大和田 桃子, 中西 一步, 村川 裕子, 西方 紀子, 石川 源: 当院におけるリンパ浮腫診療体制の現状と課題. 千葉県産科婦人科医学会雑誌 2020; 13 (2) :98.
- 81) 山口 祐, 中西 一步, 佐川 慧, 長島 朝子, 奥田 直史, 坂田 明子, 一木 愛, 西方 紀子, 笠野 小百合, 山田 隆, 石川 源: 当院におけるレボノルゲストレル放出子宮内システム(LNG-IUS)脱出症例の検討. 関東連合産科婦人科学会誌 2019; 56 (3) :463.
- 82) 春名 百合愛, 大和田 桃子, 宮崎 美和, 柴田 良枝, 林 瑞成, 鈴木 俊治: 当院における分娩様式が産婦の精神状態におよぼす影響の検討. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2019; 55 (2) :682.
- 83) 山口 祐, 松田 繁, 可世木 華子, 渡邊 建一郎, 小野 修一, 山本 晃人, 市川 雅男, 明樂 重夫, 竹下 俊行: 心不全を契機に診断した卵巣ステロイド細胞腫瘍の1例. 東京産科婦人科学会誌 2019; 68 (3) :372-376.
- 84) 施 紅蓮, 岡田 知之, 池田 真利子, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 黒瀬 圭輔, 竹下 俊行: 心膜播種による心タンポナーデをきたした子宮平滑筋肉腫の1例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :262.
- 85) 岡田 知之, 米山 剛一, 針金 幸代, 新村 裕樹, 加藤 雅彦, 山田 舞夕, 黒木 睦実, 針金 永佳, 渡邊 朝子, 納富 嗣人, 北島 展子, 深見 武彦, 松島 隆, 竹下 俊行: 急激な増大傾向を示した悪性度不明な子宮平滑筋平滑筋腫瘍(STUMP)の1例. 日本婦人科腫瘍学会雑誌 2019; 37 (3) :514.
- 86) 菅原 望央, 松田 繁, 鈴木 美沙子, 可世木 華子, 渡邊 建一郎, 小野 修一, 市川 雅男, 明樂 重夫, 竹下 俊行: 手術待機中に腹膜炎を呈した完全閉塞型OHVIRA症候群の一例. 関東連合産科婦人科学会誌 2019; 56 (3) :434.
- 87) 市川 智子, 桑原 慶充, 米澤 美令, 大内 望, 倉品 隆平, 澤 倫太郎, 竹下 俊行: 抗TNF α 抗体製剤を投与中、子宮内感染を引き起こした自己免疫疾患合併妊娠の2例. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2019; 55 (2) :564.
- 88) 松田 繁, 小野 修一, 可世木 華子, 渡邊 建一郎, 市川 雅男, 明樂 重夫, 竹下 俊行: 採卵後に腹膜炎を呈した膀胱子宮窩に発生した稀少部位子宮内膜症の1例. 日本生殖医学会雑誌 2019; 64 (3) :108.
- 89) 加藤 久盛, 上原 萌美, 小澤 雅代, 上野 悠太, 内山 亜弥, 最上 多恵, 近内 勝幸, 小野瀬 亮: 検診における細胞診のフォローアップ成績 神奈川県における対策型子宮頸がん検診の状況報告及び職域検診の実施状況について. 日本臨床細胞学会雑誌 2019; 58 (Suppl.1) :133.
- 90) 桑原 慶充, 大内 望, 米澤 美令, 倉品 隆平, 市川 智子, 澤 倫太郎, 竹下 俊行: 流早産ハイリスクに対する経腹的頸管縫縮術 妊娠時に安全かつ確実に行うポイント. 産婦人科手術 2019; (30) :128.

- 91) 稲垣 知子, 深見 武彦, 針金 幸代, 加藤 雅彦, 渡邊 朝子, 針金 永佳, 角田 陽平, 新村 裕樹, 黒木 睦実, 松島 隆, 米山 剛一, 竹下 俊行: 無脳症児を反復妊娠した1症例. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2019; 55 (2) :567.
- 92) 佐野 めぐみ, 奥田 直貴, 小川 真吾, 井野 創, 納富 嗣人, 清田 裕美, 寺田 佳世子, 原田 寛子, 山岸 絵美, 菊地 恵理子, 林 昌子, 関口 敦子: 破裂を疑う卵巣腫瘍に消化管精査を行い Krukenberg 腫瘍と診断し、一期的根治術を施行し得た1例. 東京産科婦人科学会誌 2020; 69 (1) :108-112.
- 93) 白石 達典, 柴田 良枝, 大和田 桃子, 小川 淳, 久保田 夢音, 春名 百合愛, 宮崎 美和, 林 瑞成, 鈴木 俊治: 確定診断に至れなかった妊娠初期の風疹感染例. 関東連合産科婦人科学会誌 2019; 56 (3) :402.
- 94) 尾市 有里, 中尾 仁彦, 井野 創, 白石 達典, 清田 裕美, 坂田 明子, 寺田 佳世子, 原田 寛子, 山岸 絵美, 林 昌子, 関口 敦子, 中井 章人: 第4度会陰裂傷後、意識障害で発症した子宮ガス壊疽の1例. 東京産科婦人科学会誌 2019; 68 (3) :522-526.
- 95) 根岸 靖幸, 市川 智子, 森田 林平, 竹下 俊行, 高橋 秀実: 糖脂質抗原 α -galactosylceramide によって活性化された樹状細胞, invariant natural killer T 細胞はマウス流産を引き起こす. Reproductive Immunology and Biology 2019; 34 (1-2) :17-26.
- 96) 上野 悠太, 小澤 雅代, 上原 萌美, 内山 亜弥, 最上 多恵, 近内 勝幸, 小野瀬 亮, 加藤 久盛: 細胞診を契機に外陰 Paget 病再発の診断にいたった1例. 神奈川県臨床細胞学会誌 2019; 24 (1) :29-35.
- 97) 松田繁, 市川雅男, 和田華子, 渡邊建一郎, 小野修一, 明樂重夫, 竹下俊行: 経腔超音波検査による子宮後屈診断の有用性:後屈を惹起する要因と身体所見との関連性. 日本エンドメトリオーシス学会プログラム・抄録集 2019; 40th:175.
- 98) 山田 隆, 佐川 慧, 長島 麻子, 奥田 直史, 一木 愛, 笠野 小百合, 川端 英恵, 中西 一步, 西方 紀子, 石川 源, 鴨井 青龍, 竹下 俊行: 続発性下肢リンパ浮腫診療の現状と婦人科医としての課題. 日本婦人科腫瘍学会雑誌 2019; 37 (3) :534.
- 99) 可世木華子, 市川雅男, 松田繁, 渡邊建一郎, 小野修一, 寺崎美佳, 明樂重夫, 竹下俊行: 緊急子宮内膜症手術における感染の有無の後方視的検討—手術介入の最適化を目指して—. 日本エンドメトリオーシス学会プログラム・抄録集 2019; 40th:154.
- 100) Ichikawa Tomoko: 習慣流産およびプロテイン S 欠乏症患者の妊娠予後に影響を及ぼす要因(Factors affecting pregnancy outcome in patients with recurrent miscarriages and protein S deficiency). The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research 2019; 45 (8) :1771.
- 101) 池田 真利子, 山口 祐, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 黒瀬 圭輔, 竹下 俊行: 側副血行路温存に苦慮したアンチトロピン欠損症合併子宮体癌の1例. 産婦人科手術 2019; 30:170.
- 102) 針金 幸代, 深見 武彦, 黒木 睦実, 稲垣 知子, 加藤 雅彦, 渡邊 朝子, 針金 永佳, 新村 裕樹, 角田 陽平, 松島 隆, 米山 剛一, 竹下 俊行, 島 義雄: 胎児期の超音波所見を観察し得た Zimmer 症候群の1例. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2019; 55 (2) :577.
- 103) 森 優加里, 深見 武彦, 横山 展子, 山田 舞夕, 針金 永佳, 角田 陽平, 渡邊 朝子, 針金 幸代, 新村 裕樹, 稲垣 知子, 加藤 雅彦, 黒木 睦実, 松島 隆, 米山 剛一: 胎児無脳症を反復妊娠した1例. 神奈川産科婦人科学会誌 2020; 56 (2) :159.
- 104) 森 優加里, 深見 武彦, 横山 展子, 山田 舞夕, 針金 永佳, 角田 陽平, 渡邊 朝子, 針金 幸代, 新村 裕樹, 稲垣 知子, 加藤 雅彦, 黒木 睦実, 松島 隆, 米山 剛一: 胎児無脳症を反復妊娠した一例. 神奈川医学会雑誌 2020; 47 (1) :37-38.
- 105) 池田 真利子, 黒瀬 圭輔, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 明樂 重夫, 竹下 俊行: 腎回転異常を合併した子宮体癌に対して腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術を施行した1例. 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 2019; 35 (Suppl.I) :284.
- 106) 近内 勝幸, 上野 悠太, 小澤 雅代, 上原 萌美, 内山 亜弥, 北川 雅一, 小野瀬 亮, 加藤 久盛: 腹腔鏡下準広汎子宮全摘術に Infrared illumination system(IRIS)を使用した子宮体癌の3症例. 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 2019; 35 (Suppl.I) :182.
- 107) 笠野 小百合, 中西 一步, 佐川 慧, 奥田 直史, 長島 麻子, 一木 愛, 川端 英恵, 西方 紀子, 山田 隆, 石川 源, 鴨井 青龍, 竹下 俊行: 腹膜原発明細胞癌の一例. 日本婦人科腫瘍学会雑誌 2019; 37 (3) :569.
- 108) 菅原 望央, 松田 繁, 鈴木 美沙子, 可世木 華子, 渡邊 建一郎, 小野 修一, 明樂 重夫, 竹下 俊行: 腹膜炎を呈し腹腔鏡下片側子宮摘出術を施行した完全閉塞型 OHVIRA 症候群の一例. 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 2019; 35 (Suppl.I) :254.
- 109) 井野創, 清田裕美, 海渡由貴, 坂田明子, 原田寛子, 寺田佳世子, 中尾仁彦, 山岸絵美, 林昌子, 奥田直貴, 関口敦子, 中井章人: 術前に子宮頸部筋腫との鑑別が困難であった妊娠子宮嵌頓症の1例. 東京産科婦人科学会誌 2019; 68 (1)
- 110) 久保田 夢音, 春名 百合愛, 大和田 桃子, 島田 学, 宮崎 美和, 柴田 良枝, 林 瑞成, 鈴木 俊治: 選択的帝王切開分娩後に診断された急性双胎間輸血症候群の1例. 関東連合産科婦人科学会誌 2019; 56 (2) :261.
- 111) 岡田 知之, 針金 幸代, 新村 裕樹, 北島 展子, 山田 舞夕, 納富 嗣人, 針金 永佳, 角田 陽平, 渡邊 朝子, 稲垣 知子, 加藤 雅彦, 黒木 睦実, 深見 武彦, 松島 隆, 米山 剛一: 長期経過を経て悪性転化を来した卵巣チョコレート嚢胞の1例. 神奈川医学会雑誌

2020; 47 (1) :27-28.

- 112)岡田 知之, 針金 幸代, 新村 裕樹, 北島 展子, 山田 舞夕, 納富 嗣人, 針金 永佳, 角田 陽平, 渡邊 朝子, 稲垣 知子, 加藤 雅彦, 黒木 睦実, 深見 武彦, 松島 隆, 米山 剛一: 長期経過を経て悪性転化を来した卵巣チョコレート嚢胞の1例. 神奈川産科婦人科学会誌 2020; 56 (2) :150.
- 113)井野 創, 山岸 絵美, 佐野 めぐみ, 清田 裕美, 原田 寛子, 寺田 佳世子, 中尾 仁彦, 菊地 恵理子, 林 昌子, 奥田 直貴, 関口 敦子, 中井 章人: 閉経後女性において子宮筋腫を有する子宮の体部が540度捻転していた子宮捻転の1例. 関東連合産科婦人科学会誌 2019; 56 (3) :432.
- 114)針金 幸代, 深見 武彦, 岡田 知之, 納富 嗣人, 北島 展子, 針金 永佳, 角田 陽平, 新村 裕樹, 稲垣 知子, 島田 学, 加藤 晴彦, 黒木 睦実, 松島 隆, 米山 剛一: 頸管縫縮術後に妊娠20週で頸管裂傷部から胎胞脱出した1例. 神奈川医学会雑誌 2019; 46 (2) :198.
- 115)佐川 慧, 山田 隆, 長島 麻子, 奥田 直史, 一木 愛, 笠野 小百合, 川端 英恵, 中西 一步, 西方 紀子, 石川 源, 鴨井 青龍, 竹下 俊行: 骨盤臓器脱を合併した原発性陰癌の2例. 関東連合産科婦人科学会誌 2019; 56 (2) :265.

著書

- 1) 井野 創: [分担執筆] 周産期相談 310: お母さんへの回答マニュアル 第3版 産科編 妊娠初期 甲状腺の検査で異常を指摘されましたが?(Q&A).周産期医学 49 巻増刊 2019: pp.99-100.

学会発表

- 1) 川瀬里衣子, 黒瀬圭輔, 池田真利子, 山本晃人, 米山剛一, 渡曾泰彦, 石井英昭, 清水章, 竹下俊行: ASC-USの判定を再考してみる ASC-US症例の臨床病理学的検討. 第60回日本臨床細胞学会春季大会, 2019. 6.
- 2) Kawase Rieko, Kurose Keisuke, Ikeda Mariko, Yamamoto Akihito, Yoneyama Koichi, Kamoi Seiryu, Takeshita Toshiyuki: Analysis of Atypical Glandular Cells(AGC) cases in our department. 第71回日本産科婦人科学会学術講演会, 2019. 4.
- 3) 山岸絵美, 伊達岡要, 池田武史, 大畑尚子, 北田博, 後藤淳子, 小山泰明, 依田重幸, 伊藤雄二: BLSO デモンストレーションコース ~病院前産科救急対応~. 全国救急隊員シンポジウム(CD-ROM), 2019.
- 4) 新村 裕樹: Biomarkers for distinguishing endometriosis-related ovarian neoplasms from benign ovarian endometrioma. 第71回日本産科婦人科学会学術講演会, 2019. 4.
- 5) Yoneyama Koichi, Shinmura Hiroki, Tsunoda Yohei, Harigane Eika, Yamamoto Akihito, Kawase Rieko, Kurose Keisuke, Fukami Takehiko, Matsushima Takashi, Takeshita Toshiyuki: Comparative transcriptome analysis of malignant transformation to endometrioid adenocarcinoma arising from ovarian endometrioma. 第71回日本産科婦人科学会学術講演会, 2019. 4.
- 6) Ikeda Mariko, Kurose Keisuke, Mori Yukari, Ogawa Jun, Yamamoto Akihito, Kawase Rieko, Akira Shigeo, Takeshita Toshiyuki: Four cases of laparoscopic para-aortic lymphadenectomy for endometrial cancer. 第71回日本産科婦人科学会学術講演会, 2019. 4.
- 7) 池田 真利子, 山本 晃人, 山口 祐, 川瀬 里衣子, 黒瀬 圭輔, 竹下 俊行: Iliac compression syndrome を呈したアンチトロンビン欠損症合併子宮体癌の1例. 第61回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2019. 7.
- 8) 市川 雅男, 明樂 重夫, 可世木 華子, 渡辺 健一, 小野 修一, 竹下 俊行: POP に対する腹腔鏡手術~メッシュ or ノンメッシュ~ ミニマムメッシュ LSC Mesh or non-Mesh, why not combination of mesh and non-mesh method?. 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌, 2019. 8.
- 9) 中尾 仁彦: galanin-like peptide 投与によるレプチン受容体異常を有する雌ラットの視床下部キスペプチンニューロンの発現解析. 第24回日本生殖内分泌学会学術集会, 2020. 1.
- 10) 山本 晃人, 池田 真利子, 川瀬 里衣子, 黒瀬 圭輔, 米山 剛一, 鴨井 青龍, 竹下 俊行: カルボプラチン脱感作投与の後方視的検討. 第71回日本産科婦人科学会学術講演会, 2019. 4.
- 11) 松島隆, 明樂 重夫, 米山 剛一, 竹下 俊行: ジェノゲストが子宮体積増加抑制効果を示す子宮腺筋症は?. 第40回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会, 2019.
- 12) 青木 真莉菜, 釜口 晴美, 松原 美幸, 寺崎 美佳, 山本 晃人, 呉 壮香, 大橋 隆治, 寺崎 泰弘, 坂谷 貴司, 石井 英昭: プレンナー腫瘍を背景とした卵巣扁平上皮癌の一例. 第60回日本臨床細胞学会総会春季大会, 2019. 6.
- 13) 池田 真利子, 山口 祐, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 黒瀬 圭輔, 竹下 俊行: 側副血行路温存に苦慮したアンチトロンビン欠損症合併子宮

- 宮体癌の1例. 第41回産婦人科手術学会, 2019. 2.
- 14) Sekiguchi Atsuko, Hayashi Masako, Sakata Akiko, Shiraiishi Tatsunori, Terada Kayoko, Nakao Kimihiko, Yamagishi Emi, Okuda Naotaka, Fukami Takehiko, Yoneyama Koichi, Nakai Akihito, Takeshita Toshiyuki: 分娩後出血に対する救急搬送 血液製剤使用に対する病院到着時の最適なパラメーターは何か(Emergency transport for postpartum hemorrhage: What is the best parameter on arrival at hospital for subsequent blood transfusion requirement?). The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research, 2019. 8.
 - 15) 小澤 雅代, 内山 亜弥, 上野 悠太, 上原 萌美, 最上 多恵, 近内 勝幸, 小野瀬 亮, 那須 隆二, 横瀬 智之, 加藤 久盛: 分葉状頸管腺過形成(LEGH)の臨床細胞学的検討. 日本臨床細胞学会雑誌, 2019. 5.
 - 16) 米山剛一, 石橋幸, 浅野未来, 山本晃人, 川瀬里衣子, 黒瀬圭輔, 山田隆, 新村裕樹, 針金永佳, 角田陽平, 深見武彦, 松島隆, 竹下俊行: 卵巣チョコレート嚢胞悪性転化例で miR-429 は GNB5 の発現を抑制し細胞の遊走を促進する. 第41回日本エンドメトリオーシス学会, 2020. 1.
 - 17) 海渡 由貴, 松井 遼子, 磯村 真理子, 松田 繁, 河合 尚基: 外陰癌に対して同時化学放射線治療 (CCRT) を行った一例. 第393回東京産科婦人科学会例会, 2020. 2.
 - 18) 山岸 絵美, 関口 敦子, 白石 達典, 尾市 有里, 清田 裕美, 坂田 明子, 原田 寛子, 寺田 佳世子, 中尾 仁彦, 林 昌子, 奥田 直貴, 中井 章人: 多種のアレルギーを持ち、婦人科術後に輸血関連急性肺障害の発症が疑われた一例. 関東連合産科婦人科学会誌, 2019. 5.
 - 19) 清田裕美, 山岸絵美, 原田寛子, 寺田佳世子, 中尾仁彦, 菊地恵理子, 奥田直貴, 林昌子, 関口敦子, 中井章人: 妊娠中に診断に至った微小変化型ネフローゼ症候群の1例. 東京産科婦人科学会誌, 2019.
 - 20) 笠野小百合, 佐川慧, 山本真梨子, 阪本太吾, 柴田あみ, 長島麻子, 一木愛, 川端英恵, 中西一步, 西方紀子, 山田隆, 田島敦, 石川源, 鈴木真, 水成隆之, 竹下俊行: 妊娠中に高エネルギー外傷に対し病院前救急診療と救急外傷治療により母児ともに良好な経過を得た1例. 日本周産期・新生児医学会, 2019. 7.
 - 21) 市川雅男, 明樂重夫, 松田繁, 可世木華子, 渡辺健一郎, 小野修一, 竹下俊行: 子宮内膜症の癒着診断法: Adhesion score は骨盤内癒着と不妊治療への指針となるか?. 日本エンドメトリオーシス学会プログラム・抄録集, 2019.
 - 22) 近内 勝幸, 小野瀬 亮, 上野 悠太, 小澤 雅代, 上原 萌美, 内山 亜弥, 最上 多恵, 加藤 久盛: 子宮原発血管肉腫の1症例. 日本臨床細胞学会雑誌, 2019. 5.
 - 23) 施 紅蓮, 岡田 知之, 池田 真利子, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 黒瀬 圭輔, 竹下 俊行: 子宮平滑筋肉腫の心膜播種による心タンポナーデをきたした1例. 第138回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会, 2019. 10.
 - 24) Yoshida Emiko, Terao Yasuhisa, Ito Yosuke, Ueno Yuta, Ozawa Masayo, Kato Tomoyasu, Kato Hisamori, Fujino Kazunari, Hirayama Takashi, Yamaguchi Maiko, Takeda Satoru, Itakura Atsuo: 子宮癌リンパ節転移の新規予測バイオマーカーにおける人種差の検証 ロシアとの国際共同研究 (Validation of ethnic difference in novel predictive biomarker of lymph node metastasis for uterine cancer: International joint research with Russia). 日本産科婦人科学会雑誌, 2020.3
 - 25) Ueno Yuta, Kato Hisamori, Ozawa Masayo, Uchiyama Aya, Kitagawa Masakazu, Konnai Katsuyuki, Onose Ryo, Ito Yosuke, Yoshida Emiko, Terao Yasuhisa, Kato Tomoyasu, Takeshita Toshiyuki: 子宮癌リンパ節転移予測スコア (Kanagawa Cancer Center (KCC) Score) における四つのパラメーターの有意性に関する再分析 (Reanalysis on significance of four parameters in Uterine Cancer Lymph Node Metastasis Prediction Score (Kanagawa Cancer Center (KCC) Score)). 日本産科婦人科学会雑誌, 2020.3.
 - 26) 白石達典, 林昌子, 井野創, 尾市有里, 坂田明子, 寺田佳世子, 原田寛子, 中尾仁彦, 山岸絵美, 奥田直貴, 関口敦子, 中井章人: 常位胎盤早期剥離による子宮内胎児死亡後の帝王切開で多量出血と播種性血管内凝固症候群(DIC)を発症し集中管理を要した1例. 東京産科婦人科学会誌, 2019.
 - 27) 上野 悠太, 内山 亜弥, 小澤 雅代, 上原 萌美, 最上 多恵, 近内 勝幸, 小野瀬 亮, 加藤 久盛: 当院における Olaparib の使用経験. 日本婦人科腫瘍学会雑誌, 2019. 6.
 - 28) 山口 祐, 松田 繁, 可世木 華子, 渡邊 建一郎, 小野 修一, 山本 晃人, 市川 雅男, 明樂 重夫, 竹下 俊行: 心不全を契機に診断した卵巣ステロイド細胞腫瘍の1例. 第389回東京産科婦人科学会例会, 2019. 2.
 - 29) 施 紅蓮, 岡田 知之, 池田 真利子, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 黒瀬 圭輔, 竹下 俊行: 心膜播種による心タンポナーデをきたした子宮平滑筋肉腫の1例. 第87回日本医科大学医学会総会, 2019. 8.
 - 30) 加藤 久盛, 上原 萌美, 小澤 雅代, 上野 悠太, 内山 亜弥, 最上 多恵, 近内 勝幸, 小野瀬 亮: 検診における細胞診のフォローアップ

- ブ成績 神奈川県における対策型子宮頸がん検診の状況報告及び職域検診の実施状況について. 日本臨床細胞学会雑誌, 2019. 5.
- 31) 加藤 雅彦: 産褥期に子宮鏡下に切除した子宮粘膜下筋腫の一例. 第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会, 2019. 9.
 - 32) 尾市有里, 中尾仁彦, 井野創, 白石達典, 清田裕美, 坂田明子, 寺田佳世子, 原田寛子, 山岸絵美, 林昌子, 関口敦子, 中井章人: 第 4 度会陰裂傷後, 意識障害で発症した子宮ガス壊疽の 1 例. 東京産科婦人科学会誌, 2019.
 - 33) 加藤 雅彦: 絨毛膜羊膜炎を伴わない早期から中期早産における iNKT 細胞と抗原提示細胞の動態. 国際生殖免疫学会, 2019. 11.
 - 34) 可世木華子, 市川雅男, 松田繁, 渡邊建一郎, 小野修一, 寺崎美佳, 明樂重夫, 竹下俊行: 緊急子宮内膜症手術における感染の有無の後方視的検討—手術介入の最適化を目指して—. 日本エンドメトリオーシス学会プログラム・抄録集, 2019.
 - 35) 池田 真利子, 黒瀬 圭輔, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 明樂 重夫, 竹下 俊行: 腎回転異常を合併した子宮体癌に対して腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術を施行した 1 例. 第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2019. 9.
 - 36) 岡田 知之, 黒瀬 圭輔, 施 紅蓮, 池田 真利子, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 竹下 俊行: 腎血管の走行異常を伴う回転異常腎を合併した子宮体癌に対して腹腔鏡下手術を施行した 1 例. 第 391 回東京産科婦人科学会例会, 2019. 9.
 - 37) 針金 永佳: 腔中隔切除に卵管疎通検査用カテーテルが有用であった OHVIRA 症候群類似疾患の一例, 2019. 11.
 - 38) 近内 勝幸, 上野 悠太, 小澤 雅代, 上原 萌美, 内山 亜弥, 北川 雅一, 小野瀬 亮, 加藤 久盛: 腹腔鏡下準広汎子宮全摘術に Infrared illumination system(IRIS)を使用した子宮体癌の 3 症例. 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌, 2019. 8.
 - 39) 笠野小百合, 中西一步, 佐川慧, 長島麻子, 奥田直史, 一木愛, 川端英恵, 西方紀子, 山田隆, 石川源, 鴨井青龍, 竹下俊行: 腹膜原発明細胞癌の一例. 日本婦人科腫瘍学会, 2019. 7.
 - 40) 井野 創, 山岸 絵美, 佐野 めぐみ, 清田 裕美, 原田 寛子, 寺田 佳世子, 中尾 仁彦, 菊地 恵理子, 林 昌子, 奥田 直貴, 関口 敦子, 中井 章人: 閉経後女性において子宮筋腫を有する子宮の体部が 540 度捻転していた子宮捻転の 1 例. 関東連合産科婦人科学会誌, 2019. 9.

22 頭頸部・感覚器科学分野

研究業績

論文等

- 1) Yamamoto m, Wakayama N, Hamajima Y, Miyata K, Tahahashi H, Kobayakawa S : A Rare Case of Palpebral Cellulitis, a Variation of Pott's Puffy Tumor. *Case reports in ophthalmology* 2020; 11 (1) :106-111.
- 2) Minoru Gotoh, Osamu Kaminuma, Akihiro Nakaya, Mayumi Saeki, Tomoe Nishimura, Noriko Kitamura, Takachika Hiroi, Kimihiro Okubo : Association of Basophil-Expressing Genes with Effectiveness of Sublingual Immunotherapy. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2020; 87 (1) :49-52. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2020_87-104.
- 3) Joaquim Mullol, Iñaki Izquierdo, Kimihiro Okubo, Giorgio Walter Canonica, Jean Bousquet, Antonio Valero : Clinically relevant effect of rupatadine 20 mg and 10 mg in seasonal allergic rhinitis: a pooled responder analysis. *Clinical and translational allergy* 2019; 9:50. doi: 10.1186/s13601-019-0293-4.
- 4) Norio Motoda, Munehiko Onda, Munenaga Nakamizo, Ryuji Ohashi, Kimihiro Okubo, Zenya Naito : Crystalloid Granuloma of Parotid Gland: A Case Report With Review of the Literature. *International journal of surgical pathology* 2019; 27 (2) :216-220. doi: 10.1177/1066896918791031.
- 5) 大久保 公裕 : Dual SLIT の可能性. *アレルギー* 2019; 68 (4-5) :282.
- 6) 松根 彰志, 谷水 弘毅, 大久保 公裕 : ENT-Dib カテーテルを用いた好酸球性副鼻腔炎の術後治療の試み. *耳鼻咽喉科免疫アレルギー* 2019; 37 (2) :145.
- 7) Kimihiro Okubo, Takamasa Suzuki, Ayaka Tanaka, Hiroshi Aoki : Efficacy and safety of rupatadine in Japanese patients with seasonal allergic rhinitis: A double-blind, randomized, multicenter, placebo-controlled clinical trial. *Allergology international : official journal of the Japanese Society of Allergology* 2019; 68 (2) :207-215. doi: 10.1016/j.alit.2018.08.011.
- 8) Minoru Gotoh, Syuji Yonekura, Toru Imai, Shinya Kaneko, Eiji Horikawa, Akiyoshi Konno, Yoshitaka Okamoto, Kimihiro Okubo : Long-Term Efficacy and Dose-Finding Trial of Japanese Cedar Pollen Sublingual Immunotherapy Tablet. *The journal of allergy and clinical immunology. In practice* 2019; 7 (4) :1287-1297. doi: 10.1016/j.jaip.2018.11.044.
- 9) Kimihiro Okubo, Takamasa Suzuki, Ayaka Tanaka, Hiroshi Aoki : Long-term safety and efficacy of rupatadine in Japanese patients with perennial allergic rhinitis: a 52-week open-label clinical trial. *Journal of drug assessment* 2019; 8 (1) :104-114. doi: 10.1080/21556660.2019.1614005.
- 10) Otsuka H, Otsuka K, Matsune S, Okubo K : Nasal Symptoms Reduction and Decreased Neutrophilia in Japanese Cedar Pollinosis With Prophylactic Treatment With a Combination of Montelukast, Fexofenadine, and Fluticasone Nasal Spray. *American journal of rhinology & allergy* 2019; 33 (4) :369-377. doi: 10.1177/1945892419831924.
- 11) Mariko Ishida, Shoji Matsune, Nozomu Wakayama, Ryuji Ohashi, Kimihiro Okubo : Possibility of Local Allergic Rhinitis in Japan. *American journal of rhinology & allergy* 2020; 34 (1) :26-34. doi: 10.1177/1945892419868441.
- 12) Eriko Takahara, Syoji Matsune, Mariko Ishida, Nozomu Wakayama, Kimihiro Okubo : Preliminary clinical trial to explore predictive biomarkers of response to sublingual immunotherapy for Japanese cedar pollinosis. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2020; 87 (5) :277-284. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2020_87-506.
- 13) Satoshi Yamaguchi, Mariko Ishida, Kanako Hidaka, Shinya Gomi, Sachiyo Takayama, Kazuki Sato, Yuma Yoshioka, Nozomu Wakayama, Kuwon Sekine, Shoji Matsune, Toshiaki Otsuka, Kimihiro Okubo : Relationship between swallowing function and breathing/phonation. *Journal of Otolaryngology of Japan* 2019; 122 (6) :933-934. doi: 10.3950/jibiinkoka.122.933.
- 14) Minoru Gotoh, Kimihiro Okubo, Atsushi Yuta, Yukiko Ogawa, Hitoshi Nagakura, Shigehiro Ueyama, Tomoyo Ueyama, Kayoko Kawashima, Masashi Yamamoto, Shigeharu Fujieda, Masafumi Sakashita, Hirokazu Sakamoto, Naruhito Iwasaki, Eri Mori, Tomonori Endo, Nobuo Ohta, Hiroshi Kitazawa, Mitsuhiro Okano, Mikiya Asako, Masami Takada, Tetsuya Terada, Yuko Inaka,

- Syuji Yonekura, Tomokazu Matsuoka, Shinya Kaneko, Hiroki Hata, Nagisa Hijikata, Hisataka Tanaka, Keisuke Masuyama, Yoshitaka Okamoto : Safety profile and immunological response of dual sublingual immunotherapy with house dust mite tablet and Japanese cedar pollen tablet. *Allergy international : official journal of the Japanese Society of Allergology* 2020; 69 (1) :104-110. doi: 10.1016/j.alit.2019.07.007.
- 15) Kaminuma O, Kitamura N, Gotoh M, Shindo M, Watanabe N, Saeki M, Nishimura T, Mori A, Nemoto S, Tatsumi H, Okubo K, Hiroi T : Thrombospondin 1-mediated suppression of mast cell degranulation is involved in the efficacy of sublingual immunotherapy. *Allergy international : official journal of the Japanese Society of Allergology* 2019; 68S:S9-S10. doi: 10.1016/j.alit.2019.03.007.
- 16) Syuji Yonekura, Minoru Gotoh, Shinya Kaneko, Keishi Kanazawa, Yoshie Takeuji, Kimihiro Okubo, Yoshitaka Okamoto : Treatment duration-dependent efficacy of Japanese cedar pollen sublingual immunotherapy: Evaluation of a phase II/III trial over three pollen dispersal seasons. *Allergy international : official journal of the Japanese Society of Allergology* 2019; 68 (4) :494-505. doi: 10.1016/j.alit.2019.05.002.
- 17) Gotoh M : [GUIDE TO ALLERGEN IMMUNOTHERAPY IN JAPANESE CEDAR POLLINOSIS]. *Arerugi = [Allergy]* 2019; 68 (2) :81-85. doi: 10.15036/arerugi.68.81.
- 18) 後藤 穰 : 【アレルギーを治そう!~免疫療法のいま~】<免疫療法をはじめる前に>アレルギー性鼻炎. *チャイルドヘルス* 2019; 22 (7) :495-498.
- 19) 大久保 公裕 : 【アレルギー性結膜炎の予防投与】わかりやすい臨床講座 舌下免疫療法での眼症状改善率について. *日本の眼科* 2019; 90 (12) :1529-1531.
- 20) 大久保 公裕 : 【アレルギー疾患の最新の治療】舌下免疫療法と抗体療法. *臨床と研究* 2020; 97 (3) :327-330.
- 21) 神沼 修, 後藤 穰, 大久保 公裕, 中谷 明弘, 廣井 隆親 : 【アレルゲン免疫療法の薬理学】統合比較解析で見えてきたアレルゲン免疫療法の作用メカニズム. *日本薬理学雑誌* 2019; 154 (1) :23-27. doi: 10.1254/fpj.154.23.
- 22) 若山 望, 大久保 公裕 : 【咳と痰を診る】主要疾患の鑑別と治療 咳嗽の原因としての後鼻漏・鼻副鼻腔炎の診断と治療. *呼吸器内科* 2019; 36 (4) :378-383.
- 23) 松延 毅 : 【救急・当直マニュアル-いざというときの対応法】救急外来・当直での処置と治療 急性症状を示す聴覚器疾患 音響外傷. *耳鼻咽喉科・頭頸部外科* 2019; 91 (5) :243-247.
- 24) 小町 太郎 : 【救急・当直マニュアル-いざというときの対応法】救急外来・当直での処置と治療 異物 鼻腔異物. *耳鼻咽喉科・頭頸部外科* 2019; 91 (5) :162-167.
- 25) 後藤 穰 : 【耳鼻咽喉科医が頻用する内服・外用薬-選び方・上手な使い方-】鼻疾患 アレルギー性鼻炎における内服・点鼻薬の選び方. *ENTONI* 2019; (231) :33-40.
- 26) 後藤 穰 : 【読むと得する!アレルギー診療の重要トリビア】免疫療法はアレルギーの自然経過を修飾するか?. *Modern Physician* 2019; 39 (8) :722-725.
- 27) 後藤 穰 : 【重症アレルギー疾患の特徴】重症アレルギー性鼻炎の特徴. *臨床免疫・アレルギー科* 2019; 72 (6) :627-633.
- 28) 後藤 穰 : ここまで進んだ!花粉症治療. *日本鼻科学会誌* 2019; 58 (3) :499.
- 29) 大久保 公裕, 岡野 光博, 佐藤 知雄, 田植 ゆう子, 鈴木 洋美, Fogel Robert : アレルギー性鼻炎 抗ヒスタミン薬及び鼻噴霧用ステロイド薬治療下の重症スギ花粉症患者におけるオマリズマブの効果と安全性. *日本鼻科学会誌* 2019; 58 (3) :312.
- 30) 平田 和也, 佐藤 法子, 山田 侑佳, 須々田 寛, 堀川 靖, 久一 真一, 岡田 和人, 大久保 公裕 : アレルギー性鼻炎、皮膚疾患患者に対するルパタジンの安全性及び有効性 使用成績調査の中間集計結果. *日本鼻科学会誌* 2019; 58 (3) :599.
- 31) 後藤 穰 : アレルギー性鼻炎に対する抗原特異的免疫療法 治療効果予測マーカーの実現化をめざして. *耳鼻咽喉科免疫アレルギー* 2019; 37 (2) :48.
- 32) 松根 彰志 : アレルギー性鼻炎に対する生物学的製剤(抗体治療薬)の将来展望. *日本耳鼻咽喉科学会会報* 2020; 123 (2) :127-129.
- 33) 大久保 公裕, 寺原 孝明, 秋山 勝彦, 淵上 卓也, 井上 幸恵 : アレルギー性鼻炎に対する第2世代抗ヒスタミン薬の有効性に関するシステマティックレビューおよびネットワークメタアナリシス. *臨床免疫・アレルギー科* 2019; 72 (2) :220-236.
- 34) 後藤 穰 : アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法 スギ花粉症とダニアレルギー性鼻炎 舌下錠による治療の現状と展望. *アレルギー* 2019; 68 (4-5) :366.
- 35) 大久保 公裕 : アレルギー性鼻炎の最新治療. *アレルギー* 2019; 68 (4-5) :364.

- 36) 大久保 公裕 : アレルギー性鼻炎の薬物治療. 東京都医師会雑誌 2019; 72 (10) :1117-1122.
- 37) 大久保 公裕 : アレルギー性鼻炎治療の現在と未来. 日本鼻科学学会誌 2019; 58 (3) :385.
- 38) 大久保 公裕 : アレルギー総合ガイドライン2019にみる最新の話題 鼻アレルギー診療ガイドライン2016より. アレルギー 2019; (48):12-17.
- 39) 後藤 穰 : アレルゲン感作と免疫療法(最新の知見) アレルゲン免疫療法の最新知見(鼻炎). アレルギー 2019; 68 (4-5) :328.
- 40) 松根 彰志 : ガイドラインのワンポイント解説 好酸球性副鼻腔炎(第6章・その他)の「合併症」への新規追加と関連して 獲得免疫 自然免疫バランス論. アレルギー 2019; 68 (10) :1188-1191.
- 41) 米倉 修二, 後藤 穰, 金子 真也, 大久保 公裕, 岡本 美孝 : シダキユアスギ花粉舌下錠の投与継続3年目の有効性及び安全性の検討(年齢層別解析). 日本小児アレルギー学会誌 2019; 33 (4) :601.
- 42) 濱田 聡子, 小林 良樹, 河内 理咲, 神田 晃, 後藤 穰, 大久保 公裕, 岩井 大 : スギ舌下免疫療法5シーズン目の検証. 日本鼻科学学会誌 2019; 58 (3) :546.
- 43) 松岡 伴和, 小林 聡子, 田中 勇輔, 土井 雅津代, 金子 真也, 大久保 公裕, 増山 敬祐 : スギ花粉症患者に対するスギ花粉舌下液長期投与時の血中抗体価変動. 日本鼻科学学会誌 2019; 58 (3) :548.
- 44) 大塚 邦憲, 大久保 公裕, 大塚 博邦 : スギ花粉症舌下免疫治療による Nasal swab 細胞診の変化. 日本鼻科学学会誌 2019; 58 (3) :547.
- 45) 米倉 修二, 後藤 穰, 金子 真也, 大久保 公裕, 岡本 美孝 : スギ花粉舌下錠及びダニ舌下錠の併用に関する安全性の検討(年齢層別解析). 日本小児アレルギー学会誌 2019; 33 (4) :599.
- 46) 細矢 慶, 吉野 綾穂, 小町 太郎, 久家 純子, 大久保 公裕, 長谷川 賢作 : ソムリエ・料理人と健常人の嗅覚機能評価. 日本味と匂学会誌 2019; (第53回大会 Proceeding 集) :S105-S106.
- 47) 白倉 典宏, 松延 毅, 鈴木 宏隆, 青木 秀治, 大久保 公裕 : ハント症候群に伴うめまいに関する検討. 日本耳科学会総会・学術講演会抄録集 2019; 29回:185.
- 48) 鈴木 宏隆, 松延 毅, 細谷 誠, 藤岡 正人, 渡部 高久, 大久保 公裕 : 内耳性耳鳴における ERK シグナルの機能的役割. 日本耳科学会総会・学術講演会抄録集 2019; 29回:513.
- 49) 鈴木 宏隆, 松延 毅, 大久保 公裕 : 内耳性耳鳴における ERK シグナルの機能的役割. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :247.
- 50) 若山 望, 関根 久遠, 谷水 弘毅, 松根 彰志, 大久保 公裕 : 内視鏡下鼻腔手術を施行した鼻口蓋管嚢胞例. 日本耳鼻咽喉科学会会報 2019; 122 (4) :680.
- 51) 細矢 慶, 小町 太郎, 吉野 綾穂, 村上 亮介, 杉本 真樹, 長谷川 賢作 : 副鼻腔 CT に基づく VR(Virtual Reality)アプリを活用した空間的教育の導入. 日本耳鼻咽喉科学会会報 2019; 122 (4) :702.
- 52) 松根 彰志 : 加齢性鼻炎の診断と治療. 日本耳鼻咽喉科学会会報 2019; 122 (7) :992-993.
- 53) 加藤 大星, 中溝 宗永, 横島 一彦, 稲井 俊太, 酒主 敦子, 坂井 梓, 中石 柁, 白倉 典宏, 大久保 公裕 : 化学放射線療法後に骨髄異形成症候群を発症し不幸な転帰を辿った進行中咽頭癌症例. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 2020; 92 (2) :181-187.
- 54) 市川 有里, 岡部 杏慈, 森田 孝, 神田 奈緒子, 吉野 綾穂, 加来 知恵美, 石井 文人, 古賀 浩嗣, 亦野 蓉子, 佐伯 秀久 : 咽頭・喉頭・口腔内にびらんが多発した抗 BP180 型粘膜類天疱瘡の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2020; 130 (1) :85.
- 55) 松延 毅, 鈴木 宏隆, 香中 優美, 中石 柁, 大久保 公裕 : 唾液腺管内視鏡の唾石症以外の疾患への応用. 日本耳鼻咽喉科学会会報 2019; 122 (4) :592.
- 56) 松延 毅 : 唾液腺管内視鏡の登場とこれからの唾液腺疾患診療. 口腔・咽頭科 2019; 32 (3) :191.
- 57) 松延 毅, 鈴木 宏隆, 大久保 公裕 : 唾液腺管内視鏡を使用して診断・治療を行った線維索性唾液管炎症例. 耳鼻咽喉科免疫アレルギー 2019; 37 (2) :107.
- 58) 松延 毅, 大久保 公裕 : 唾液通過障害の病態把握のための CT/MRI Fusion 画像の有用性. 耳鼻咽喉科臨床 補冊 2019; (補冊 154) :72.
- 59) 村上 亮介, 高田 弘弥, 三輪 正人, 大久保 公裕, 小川 令 : 圧刺激やヒスタミンが及ぼす粘膜上皮 Ca 応答機構. 耳鼻咽喉科免疫アレルギー 2019; 37 (2) :155-156.
- 60) 若山 望, 大橋 隆司, 松根 彰志, 大久保 公裕 : 好酸球性副鼻腔炎手術症例における IgE 局所増多の病理学的検討. 耳鼻咽喉科免疫アレルギー 2019; 37 (2) :111.
- 61) 若山 望, 松根 彰志, 大久保 公裕 : 好酸球性副鼻腔炎症例におけるリンパ濾胞形成及び濾胞性ヘルパーT 細胞(TFH)の病理学的検討. 日本

- 鼻科学会誌 2019; 58 (3) :560.
- 62) 松根 彰志, 谷水 弘毅, 若山 望, 関根 久遠, 吉岡 友麻, 大久保 公裕 : 好酸性鼻副鼻腔炎と ENT-DIB カテーテル治療. 日本耳鼻咽喉科学会会報 2019; 122 (4) :610.
- 63) 橋口 一弘, 西谷 豪, 米道 毅, 小貫 峰男, 大橋 靖雄, 大久保 公裕 : 季節性アレルギー性鼻炎患者を対象にした NT1801-2 の薬理学的評価による生物学的同源性試験. 新薬と臨床 2019; 68 (10) :1280-1291.
- 64) 古田 厚子, 松根 彰志, 大久保 公裕 : 当科における嗅覚障害診断のため診察. 日本鼻科学会誌 2019; 58 (3) :619.
- 65) 久家 純子, 長谷川 賢作, 小町 太郎 : 当科における顔面神経減荷術の経験. 日本耳科学会総会・学術講演会抄録集 2019; 29 回:431.
- 66) 濱田 聡子, 小林 良樹, 河内 理咲, 神田 晃, 朝子 幹也, 後藤 穰, 大久保 公裕, 岩井 大 : 当科スギ花粉症舌下免疫療法の継続治療効果に関する検討. 耳鼻咽喉科免疫アレルギー 2019; 37 (2) :178-179.
- 67) 永積 渉, 松延 毅, 青木 秀治, 鈴木 宏隆, 大久保 公裕 : 当科補聴器外来における言語聴覚士介入による効果. Audiology Japan 2019; 62 (5) :527.
- 68) 鈴木 宏隆, 松延 毅, 青木 秀治, 大久保 公裕 : 当院めまい外来を受診した中枢性めまい症例の検討. 日本耳鼻咽喉科学会会報 2019; 122 (4) :629.
- 69) 松延 毅, 鈴木 宏隆, 細谷 誠, 藤岡 正人, 渡部 高久, 大久保 公裕 : 急性音響外傷における ERK シグナルと聴覚機能. 日本耳科学会総会・学術講演会抄録集 2019; 29 回:464.
- 70) 松延 毅, 栗岡 隆臣, 佐藤 泰司, 藤岡 正人, 塩谷 彰浩 : 急性音響外傷における ERK シグナルのリン酸化とその機能的役割. 耳鼻咽喉科ニューロサイエンス 2019; 33:69-72.
- 71) 稲井 俊太, 中溝 宗永, 横島 一彦, 酒主 敦子, 坂井 梓, 加藤 大星, 中石 柁, 大久保 公裕 : 手術 15 年後に再発を認めた舌癌の 2 例. 頭頸部癌 2019; 45 (2) :204.
- 72) 村上 亮介, 細矢 慶, 加藤 大星, 大久保 公裕 : 手術治療を行った菌性上顎洞炎症例. 日本鼻科学会誌 2019; 58 (3) :578.
- 73) 松根 彰志 : 治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 鼻出血. 日本医事新報 2019; (4986) :54-55.
- 74) 中石 柁, 関根 久遠, 若山 望, 吉岡 友真, 松根 彰志, 大久保 公裕 : 睡眠時無呼吸症候群における耳鼻咽喉科手術治療までの流れ. 口腔・咽頭科 2019; 32 (3) :220.
- 75) 加藤 大星, 中溝 宗永, 横島 一彦, 稲井 俊太, 酒主 敦子, 坂井 梓, 中石 柁, 大久保 公裕 : 耳下腺基底細胞腺癌 2 例. 頭頸部癌 2019; 45 (2) :208.
- 76) 後藤 穰, 大久保 公裕, 湯田 厚司, 永倉 仁史, 植山 茂宏, 川島 佳代子, 藤枝 重治, 阪本 浩一, 森 恵莉, 太田 伸男, 岡野 光博, 朝子 幹也, 寺田 哲也, 金子 真也, 小林 聡子, 増山 敬祐, 岡本 美孝 : 舌下免疫療法 スギ花粉舌下錠及びダニ舌下錠の併用に関する安全性の検討. アレルギー 2019; 68 (4-5) :503.
- 77) 佐伯 真弓, 後藤 穰, 大久保 公裕, 中谷 明弘, 北村 紀子, 西村 友枝, 神沼 修, 廣井 隆親 : 舌下免疫療法における味覚受容体を介した奏功メカニズム. アレルギー 2019; 68 (8) :973.
- 78) 橋口 一弘, 三邊 武彦, 籠田 成靖, 佐藤 法子, 江崎 貴普, 橋本 敏夫, 寺西 達貴, 大久保 公裕 : 花粉曝露室におけるスギ・ヒノキ科花粉連続曝露下での鼻アレルギー症状に対するルパタジンフマル酸塩の効果. Progress in Medicine 2019; 39 (11) :1155-1162.
- 79) 北村 紀子, 後藤 穰, 湯田 厚司, 佐伯 真弓, 神沼 修, 廣井 隆親 : 花粉症舌下免疫療法の効果発現機序の探索. アレルギー 2019; 68 (8) :973.
- 80) 米倉 修二, 後藤 穰, 金子 真也, 大久保 公裕, 岡本 美孝 : 複眼的視点からの花粉症の疫学・病態と治療 シダキュアスギ花粉舌下錠の投与継続 3 年目の有効性及び安全性. アレルギー 2019; 68 (4-5) :538.
- 81) 大久保 公裕, 浅香 大也, 平野 康次郎 : 通年性アレルギー性鼻炎への対応. 鼻アレルギーフロンティア 2019; 19 (2) :63-74.
- 82) 小町 太郎, 秋元 正宇, 細矢 慶, 吉野 綾穂, 長谷川 賢作, 大久保 公裕 : 鞍鼻を伴った鼻中隔彎曲症の手術治療経験. 日本鼻科学会誌 2019; 58 (3) :511.
- 83) 落合 諒也, 加藤 亜結美, 福原 隆宏, 久家 純子, 石橋 愛, 藤井 進也 : 頸部放線菌症の 1 例. 臨床放射線 2019; 64 (5) :733-738.
- 84) 大久保 公裕, 岡本 美孝, 増山 敬祐 : 鼻アレルギー診療 過去・現在・未来. 鼻アレルギーフロンティア 2020; 20 (1) :6-12.
- 85) 三輪 正人, 村上 亮介, 佐藤 一樹, 大久保 由布, 酒主 敦子, 大久保 公裕, 飯島 史朗, 池田 勝久, 奥村 康 : 鼻呼気凝集液の臨床的意義. 耳鼻咽喉科ニューロサイエンス 2019; 33:46-50.

学会発表

- 1) 若山 望 : Examination of local IgE and follicular dendritic cells in the endtype of eosinophilic chronic rhinosinusitis. World Allergy Congress2019, 2019. 12.
- 2) 松根彰志 : Local Steroid Therapy by ENT-DIB in Eosinophilic Rhinosinusitis After Operation. 第 58 回日本鼻科学会, 2019. 10.
- 3) 岡本美孝, 増山敬裕, 岡野光博, 寺田哲也, 松根彰志 : アレルギー性鼻炎に対する免疫療法の将来展望 <耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会企画>. 第 120 回日本耳鼻咽喉科学会, 2019. 5.
- 4) 若山 望 : アレルギー性鼻炎に対する治療戦略. 三浦連合耳鼻咽喉科医会 学術講演会, 2019. 10.
- 5) 松根彰志 : アレルギー性鼻炎の診断と治療に関する最近の話題について. 三浦連合耳鼻咽喉科医師総会・学術講演会, 2019. 7.
- 6) 若山 望 : アレルギー性鼻炎最近の話題. 第 6 回谷根千耳鼻咽喉科・頭頸部外科フォーラム, 2019. 9.
- 7) 後藤穰 : アレルゲン免疫療法の最新知見 (鼻炎). 第 68 回日本アレルギー学会, 2019. 6.
- 8) 後藤穰 : スギ花粉症とダニアレルギー性鼻炎 : 舌下錠による治療の現状と展望. 第 68 回日本アレルギー学会, 2019. 6.
- 9) 後藤穰, 大久保公裕, 湯田厚司 : スギ花粉舌下錠及びダニ舌下錠の併用に関する安全性の検討. 第 68 回日本アレルギー学会, 2019. 6.
- 10) 細矢 慶, 吉野 綾穂, 小町 太郎, 久家 純子, 大久保 公裕, 長谷川 賢作 : ソムリエ・料理人と健康人の嗅覚機能評価. 日本味と匂学会誌, 2019. 9.
- 11) 鈴木宏隆, 松延毅, 佐藤泰司, 細谷誠, 藤岡正人, 渡部高久, 大久保公裕 : 内耳性耳鳴における Erk シグナルの機能的役割. 第 29 回日本耳科学会, 2019. 10.
- 12) 若山 望, 関根久遠, 谷水弘毅, 松根彰志, 大久保公裕 : 内視鏡下鼻腔手術を施工した鼻口蓋管嚢胞例. 第 120 回日本耳鼻咽喉科学会, 2019. 5.
- 13) 若山 望, 関根 久遠, 谷水 弘毅, 松根 彰志, 大久保 公裕 : 内視鏡下鼻腔手術を施行した鼻口蓋管嚢胞例. 日本耳鼻咽喉科学会 (第 120 回), 2019. 4.
- 14) 細矢 慶, 小町 太郎, 吉野 綾穂, 村上 亮介, 杉本 真樹, 長谷川 賢作 : 副鼻腔 CT に基づく VR(Virtual Reality)アプリを活用した空間的教育の導入. 日本耳鼻咽喉科学会会報, 2019. 4.
- 15) Shoji Matsune : 好酸球性副鼻腔炎の Phenotype. 15th Japan-Taiwan Conference on Otolaryngology-Head and Neck Surgery, 2019. 12.
- 16) 若山 望, 大橋 隆司, 松根 彰志, 大久保 公裕 : 好酸球性副鼻腔炎手術症例における IgE 局所増多の病理学的検討. 日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会 (第 37 回), 2019. 6.
- 17) 若山 望, 松根 彰志, 大久保 公裕 : 好酸球性副鼻腔炎症例におけるリンパ濾胞形成及び濾胞性ヘルパーT 細胞 (TFH) の病理学的検討. 第 58 回日本鼻科学会総会・学術講演会, 2019. 10.
- 18) 松根彰志, 谷水弘毅, 若山 望, 関根久遠, 吉岡友真, 大久保公裕 : 好酸球性鼻副鼻腔炎と ENT-DIB カテーテル治療. 第 120 回日本耳鼻咽喉科学会, 2019. 5.
- 19) 久家純子, 長谷川賢作, 小町太郎 : 当科における顔面神経減荷術の経験. 第 29 回日本耳科学会総会・学術講演会, 2019. 10.
- 20) 鈴木 宏隆, 松延 毅, 青木 秀治, 大久保 公裕 : 当科めまい検査外来を受診した中枢性めまい症例の検討. 第 120 回日本耳鼻咽喉科学会, 2019. 5.
- 21) 関根久遠, 吉岡友真, 若山 望, 中石 柁, 松根彰志 : 当院における睡眠時無呼吸症候群. 第 84 回日本耳鼻咽喉学会神奈川県地方部会, 2019. 6.
- 22) 中石 柁, 関根 久遠, 若山 望, 吉岡 友真, 松根 彰志, 大久保 公裕 : 睡眠時無呼吸症候群における耳鼻咽喉科手術治療までの流れ. 口腔・咽頭科, 2019. 8.
- 23) 藤枝重治, 松根彰志, C.Bachert, M.Desrosiers, J.Mullol, X Lu, 有馬和彦, 藤田浩之, N. Anin, L.P.Mannent : 重症の鼻茸を有する成人慢性副鼻腔炎 (CRSwNP)における Dupilumab 国際共同第 3 相試験. 第 68 回日本アレルギー学会, 2019. 6.

23 男性生殖器・泌尿器科学分野

研究業績

論文等

- 1) Yoichiro Yamamoto, Toyonori Tsuzuki, Jun Akatsuka, Masao Ueki, Hiromu Morikawa, Yasushi Numata, Taishi Takahara, Takuji Tsuyuki, Kotaro Tsutsumi, Ryuto Nakazawa, Akira Shimizu, Ichiro Maeda, Shinichi Tsuchiya, Hiroyuki Kanno, Yukihiro Kondo, Manabu Fukumoto, Gen Tamiya, Naonori Ueda, Go Kimura : Automated acquisition of explainable knowledge from unannotated histopathology images. *Nature communications* 2019; 10 (1) :5642. doi: 10.1038/s41467-019-13647-8.
- 2) Kojiro Morita, Kaoru Nemoto, Hiroya Hasegawa, Ryo Matsuoka, Hiroki Nakamori, Hiroyoshi Kono, Kuniaki Tanabe, Masato Yanagi, Yasutomo Suzuki, Yukihiro Kondo : CASE REPORT: COMPLETE RESECTION OF RETROPERITONEAL CYSTIC LYMPHANGIOMA AND SURROUNDING ORGANS. *Japanese Journal of Urology* 2019; 110 (1) :52-55. doi: 10.5980/jpnjurol.110.52.
- 3) 野崎 修平, 木村 剛, 赤塚 純, 柴崎 幹生, 長谷川 裕也, 天河 亮, 程塚 直人, 水口 滋仁, 三神 晃, 柳 雅人, 遠藤 勇氣, 武田 隼人, 林 達郎, 近藤 幸尋 : Clear cell papillary renal cell carcinoma の 1 例. *泌尿器外科* 2020; 33 (2) :204.
- 4) Atsushi Mizokami, Go Kimura, Yasuhisa Fujii, Shiro Hinotsu, Kouji Izumi : Considering bone health in the treatment of prostate cancer bone metastasis based on the results of the ERA-223 trial. *International journal of clinical oncology* 2019; 24 (12) :1629-1631. doi: 10.1007/s10147-019-01518-7.
- 5) Kume H, Homma Y, Shinohara N, Obara W, Kondo T, Kimura G, Fujimoto H, Nonomura N, Hongo F, Sugiyama T, Takahashi M, Kanayama HO, Fukumori T, Eto M : Corrigendum to: Perinephric invasion as a prognostic factor in non-metastatic renal cell carcinoma: analysis of a nation-wide registry program. *Japanese journal of clinical oncology* 2019; 49 (11) :1067. doi: 10.1093/jjco/hyz143.
- 6) Yuki Endo, Jun Akatsuka, Kotaro Obayashi, Hayato Takeda, Tatsuro Hayashi, Satoko Nakayama, Yasutomo Suzuki, Tsutomu Hamasaki, Yukihiro Kondo : Efficacy of Laparoscopic Partial Cystectomy with a Transurethral Resectoscope in Patients with Bladder Endometriosis: See-Through Technique. *Urologia internationalis* 2020; 104 (7-8) :1-5. doi: 10.1159/000503795.
- 7) Jun Akatsuka, Yoichiro Yamamoto, Tetsuro Sekine, Yasushi Numata, Hiromu Morikawa, Kotaro Tsutsumi, Masato Yanagi, Yuki Endo, Hayato Takeda, Tatsuro Hayashi, Masao Ueki, Gen Tamiya, Ichiro Maeda, Manabu Fukumoto, Akira Shimizu, Toyonori Tsuzuki, Go Kimura, Yukihiro Kondo : Illuminating Clues of Cancer Buried in Prostate MR Image: Deep Learning and Expert Approaches. *Biomolecules* 2019; 9 (11) doi: 10.3390/biom9110673.
- 8) Tomita Y, Watanabe E, Shimizu M, Negishi Y, Kondo Y, Takahashi H : Induction of tumor-specific CD8⁺ cytotoxic T lymphocytes from naïve human T cells by using Mycobacterium-derived mycolic acid and lipoarabinomannan-stimulated dendritic cells. *Cancer immunology, immunotherapy : CII* 2019; 68 (10) :1605-1619. doi: 10.1007/s00262-019-02396-8.
- 9) Kotaro Obayashi, Jun Akatsuka, Yuki Endo, Hayato Takeda, Tatsuro Hayashi, Yuka Toyama, Yasutomo Suzuki, Tsutomu Hamasaki, Go Kimura, Takashi Ohnaga, Yukihiro Kondo : Initial detection of circulating tumor cells from metastatic prostate cancer patients with a novel small device. *Prostate international* 2019; 7 (4) :131-138. doi: 10.1016/j.prnil.2019.01.003.
- 10) Tanabe K, Hattori T, Kobayashi H, Koike K, Maki Y, Arai T, Otsuka T, Suzuki Y, Kondo Y, Kawamura N : Is it safe to continue antithrombotic agents before prostate biopsy?. *Prostate international* 2019; 7 (2) :78-81. doi: 10.1016/j.prnil.2018.06.004.
- 11) 林 達郎, 木村 剛, 長谷川 裕也, 天河 亮, 三神 晃, 大林 康太郎, 佐野 雅之, 武田 隼人, 赤塚 純, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : Lipid cell variant of urothelial carcinoma は最も予後不良な variant である. *日本泌尿器科学会総会* 2019; 107 回:AOP-074.
- 12) Chikara Ohyama, Takahiro Kojima, Tsunenori Kondo, Yoshio Naya, Takamitsu Inoue, Yoshihiko Tomita, Masatoshi Eto, Shinichi Hisasue, Hirotsugu Uemura, Wataru Obara, Eiji Kikuchi, Padmanee Sharma, Matthew D Galsky, Arlene Siefker-Radtke, Gary Grossfeld, Sandra Collette, Kyna Gooden, Go Kimura : Nivolumab in patients with unresectable locally advanced or metastatic urothelial carcinoma: CheckMate 275 2-year global and Japanese patient population analyses. *International journal of clinical oncology* 2019; 24 (9) :1089-1098. doi: 10.1007/s10147-019-01450-w.

- 13) Yoshihiko Tomita, Tsunenori Kondo, Go Kimura, Takamitsu Inoue, Yoshiaki Wakumoto, Masahiro Yao, Takayuki Sugiyama, Mototsugu Oya, Yasuhisa Fujii, Wataru Obara, Robert J Motzer, Hirotsugu Uemura : Nivolumab plus ipilimumab versus sunitinib in previously untreated advanced renal-cell carcinoma: analysis of Japanese patients in CheckMate 214 with extended follow-up. Japanese journal of clinical oncology 2020; 50 (1) :12-19. doi: 10.1093/jjco/hyz132.
- 14) Yoshihiko Tomita, Satoshi Fukasawa, Nobuo Shinohara, Hiroshi Kitamura, Mototsugu Oya, Masatoshi Eto, Kazunari Tanabe, Mitsuru Saito, Go Kimura, Junji Yonese, Masahiro Yao, Hirotsugu Uemura : Nivolumab versus everolimus in advanced renal cell carcinoma: Japanese subgroup 3-year follow-up analysis from the Phase III CheckMate 025 study. Japanese journal of clinical oncology 2019; 49 (6) :506-514. doi: 10.1093/jjco/hyz026.
- 15) Kume H, Homma Y, Shinohara N, Obara W, Kondo T, Kimura G, Fujimoto H, Nonomura N, Hongo F, Sugiyama T, Takahashi M, Kanayama HO, Fukumori T, Eto M : Perinephric invasion as a prognostic factor in non-metastatic renal cell carcinoma: analysis of a nation-wide registry program. Japanese journal of clinical oncology 2019; 49 (8) :772-779. doi: 10.1093/jjco/hyz054.
- 16) Yasuoka S, Yuasa T, Ogawa M, Komai Y, Numao N, Yamamoto S, Kondo Y, Yonese J : Risk Factors for Poor Survival in Metastatic Castration-resistant Prostate Cancer Treated With Cabazitaxel in Japan. Anticancer research 2019; 39 (10) :5803-5809. doi: 10.21873/anticancer.13784.
- 17) Kimata R, Tomita Y, Kondo Y : Safety of Abiraterone Acetate Administration in Elderly Patients Receiving Peritoneal Dialysis with Castration-Resistant Prostate Cancer: Two Case Reports. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2019; 86 (2) :135-138. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-211.
- 18) 柴崎 幹生, 木村 剛, 長谷川 裕也, 天河 亮, 三神 晃, 大林 康太郎, 佐野 雅之, 赤塚 純, 遠藤 勇氣, 武田 隼人, 林 達郎, 近藤 幸尋, 長谷川 匡 : TUR-BT後早期に発生した膀胱内 post operative spindle cell nodule の一例. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107回:PP2-316.
- 19) 濱崎 務, 河野 弘圭, 栗林 英吾, 林 達郎, 佐野 雅之, 木村 剛, 長沢 正人, 近藤 幸尋 : TUR-P によるロボット支援前立腺全摘術に対する影響の検討. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107回:PP2-185.
- 20) Hirotsugu Uemura, Hiroji Uemura, Satsuki Nagamori, Yoshiaki Wakumoto, Go Kimura, Hiroaki Kikukawa, Akira Yokomizo, Atsushi Mizokami, Takeo Kosaka, Naoya Masumori, Yoshihide Kawasaki, Junji Yonese, Yasutomo Nasu, Satoshi Fukasawa, Takayuki Sugiyama, Seigo Kinuya, Makoto Hosono, Iku Yamaguchi, Takashi Akagawa, Nobuaki Matsubara : Three-year follow-up of a phase II study of radium-223 dichloride in Japanese patients with symptomatic castration-resistant prostate cancer and bone metastases. International journal of clinical oncology 2019; 24 (5) :557-566. doi: 10.1007/s10147-018-01389-4.
- 21) Keigo Takahashi, Go Kimura, Yuki Endo, Jun Akatsuka, Tatsuro Hayashi, Yuka Toyama, Tsutomu Hamasaki, Yukihiro Kondo : Urothelial Carcinoma of the Bladder, Lipid Cell Variant: Case Report and Literature Review. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2020; 86 (6) :349-351. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-602.
- 22) Shigehito Minaguchi, Jun Akatsuka, Shunichiro Nomura, Tsutomu Hamasaki, Go Kimura, Yasutomo Suzuki, Yukihiro Kondo : [A CASE OF THROMBOSIS OF THE PAMPINIFORM PLEXUS TREATED WITH ANTICOAGULANT THERAPY]. Nihon Hinyokika Gakkai zasshi. The Japanese journal of urology 2019; 110 (1) :70-73. doi: 10.5980/jpnjurol.110.70.
- 23) Nakamori H, Fujimura M, Shiraiishi T, Sugiyama M, Nishikawa R, Sekita N, Kondo Y, Mikami K : [A Case of Consciousness Disturbance Due to Hyperammonemia Associated with Urinary Tract Infections]. Hinyokika kyo. Acta urologica Japonica 2019; 65 (5) :163-166. doi: 10.14989/ActaUrolJap_65_5_163.
- 24) 野口 哲央, 深貝 隆志, 山中 英壽, 木村 剛, 柏原 剛, 大家 基嗣, 門間 哲雄, 中島 洋介, 森山 正敏, 斉藤 史郎, 伊藤 一人, 小杉 道男 : 「2018 年度前立腺がん啓発週間」の活動実績報告. 日本腎泌尿器疾患予防医学研究会プログラム・抄録集 2019; 28回:38.
- 25) 濱崎 務, 近藤 幸尋 : 【ロボット支援前立腺全摘除の困難例の克服】TURP 後の膀胱頸部離断の克服. Japanese Journal of Endourology 2019; 32 (2) :147-151.
- 26) 濱崎 務, 近藤 幸尋 : 【ロボット支援手術を極める-よりハイクラスな手技を求めるあなたに<特別付録 Web 動画>】<ロボット支援前立腺全摘除術> 膀胱尿道吻合. 臨床泌尿器科 2019; 73 (5) :280-283.
- 27) 鈴木 康友, 近藤 幸尋 : 【泌尿器科周術期パーフェクト管理】下部尿路機能障害関連の手術 経尿道的前立腺切除術(TURP および TURiSP

- 含む). 臨床泌尿器科 2019; 73 (4) :137-139.
- 28) 大澤 秀一, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : 【泌尿器科周術期パーフェクト管理】腫瘍関連の手術:前立腺 前立腺全摘除術(開腹). 臨床泌尿器科 2019; 73 (4) :105-108.
- 29) 木村 剛 : 【腎がん診療最前線】【DEBATE】IO combo 時代における転移性腎細胞がん中間リスク群に対する一次治療 推奨点と懸念点 ニボルマブ・イピリムマブ併用. Pharma Medica 2020; 38 (2) :31-37.
- 30) 赤塚 純, 木村 剛, 近藤 幸尋 : それって三方よしですか?RARP における機能温存と癌制御の両立を目指して RARP における機能温存と癌制御の両立を目指して 両立できる症例とは. 日本泌尿器内視鏡学会総会 2019; 33 回:SC-1.
- 31) 尾形 吉彦, 佐藤 三洋, 守田 晃二郎, 柴山 慶太, 近藤 幸尋 : スニチニブ投与による薬剤性血小板減少症に対しステロイドパルス療法・ γ グロブリン投与にて加療した転移性腎細胞癌の 1 例. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107 回:PP1-182.
- 32) 吉田 康平, 鈴木 健一, 河原 香織, 市場 晋吾, 近藤 幸尋, 上村 明子 : ロボット手術の現状と未来 ロボット手術における現状の問題点と今後への期待. 日本手術医学会誌 2019; 40 (Suppl.) :62.
- 33) 近藤 幸尋, 濱崎 務 : ロボット手術の現状と未来 泌尿器科ロボット手術の現状と未来. 日本手術医学会誌 2019; 40 (Suppl.) :59.
- 34) 濱崎 務, 近藤 幸尋 : ロボット支援前立腺全摘除術:エキスパートの技術 膀胱尿道吻合再建. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107 回:EP11-3.
- 35) 遠藤 勇人, 木村 剛, 長谷川 裕也, 柴崎 幹雄, 天河 亮, 程塚 直人, 赤塚 純, 武田 隼人, 林 達郎, 三神 晃, 柳 雅人, 近藤 幸尋 : 上部尿路上皮癌に対する腎尿管全摘術術前および術後のサイトケラチン 19Fr と予後の関連. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:P42-3.
- 36) 遠藤 勇気, 木村剛, 長谷川裕也, 柴崎幹雄, 天河亮, 程塚直人, 赤塚純, 武田隼人, 林達郎, 三神晃, 柳雅人, 近藤幸尋 : 上部尿路上皮癌に対する腎尿管全摘術術前および術後のサイトケラチン 19Fr と予後の関連. 日本癌治療学会学術集会 2019; 57 回:P42-3.
- 37) 武田 隼人, 上田 貴之, 柴崎 幹夫, 長谷川 裕也, 天河 亮, 三神 晃, 大林 康太郎, 佐野 雅之, 赤塚 純, 遠藤 勇気, 林 達郎, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 上部尿路上皮癌手術断端陽性症例の再発に関する臨床的検討. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107 回:PP2-362.
- 38) 赤塚 純, 木村 剛, 都築 豊徳, 三神 晃, 柳 雅人, 遠藤 勇気, 武田 隼人, 林 達郎, 堤 光太郎, 山本 陽一朗, 近藤 幸尋 : 前立腺全摘後の PSA 再発における Intraductal carcinoma of the prostate の影響. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:P94-7.
- 39) 武田隼人, 木村剛, 柴崎幹夫, 長谷川裕也, 天河亮, 程塚直人, 水口滋仁, 三神晃, 柳雅人, 赤塚純, 林達郎, 近藤幸尋 : 前立腺密封小線源療法後に PSA 再発をきたした転移巣の画像的診断:骨転移のモダリティ別特徴. 日本泌尿器科学会東部総会プログラム・抄録集 2019; 84th
- 40) 赤塚 純, 木村 剛, 佐野 雅之, 柳 雅人, 遠藤 勇気, 武田 隼人, 林 達郎, 高橋 亮, 松沢 一郎, 鈴木 康友, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : 前立腺癌の細領域(subzonal anatomy)別発生頻度と予後. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107 回:PP1-076.
- 41) 福嶋 善光, 木村 剛, 赤塚 純, 濱名 輝彦, 塚越 智啓, 安藤 嵩浩, 汲田 伸一郎 : 去勢抵抗性前立腺癌骨転移例に対する定量解析併用骨 SPECT/CT の予後予測能. 核医学 2019; 56 (Suppl.) :S141.
- 42) 上田 貴之, 大澤 秀一, 程塚 直人, 稲津 宏紀, 木全 亮二, 近藤 幸尋 : 尿管ステントに形成された尿路結石の 4 例. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107 回:PP2-236.
- 43) 三神 晃, 木村 剛, 渡會 泰彦, 林 達郎, 柳 雅人, 高橋 亮, 赤塚 純, 遠藤 勇気, 武田 隼人, 石井 英昭, 近藤 幸尋 : 尿細胞診により膀胱癌亜型は予測可能か. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:P37-1.
- 44) 栗林 英吾, 河野 弘圭, 桑原 広輔, 濱崎 務, 長沢 正人, 近藤 幸尋 : 尿管管遺残に対する単孔式腹腔鏡下尿管摘除術および臍形成術の経験. 日本泌尿器内視鏡学会総会 2019; 33 回:P-10.
- 45) 中森 央貴, 藤村 正亮, 白石 智大, 杉山 真康, 西川 里佳, 関田 信之, 近藤 幸尋, 三上 和男 : 尿路感染症に伴う高アンモニア血症により意識障害を呈した 1 例. 泌尿器科紀要 2019; 65 (5) :163-166.
- 46) 三神 晃, 木村 剛, 林 達郎, 上田 貴之, 柴崎 幹生, 長谷川 裕也, 天河 亮, 大林 康太郎, 佐野 雅之, 赤塚 純, 遠藤 勇気, 武田 隼人, 近藤 幸尋 : 当科における TURBT+拡大リンパ節郭清+全身化学療法による膀胱温存療法の治療成績. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107 回:PP3-302.
- 47) 林 達郎, 木村 剛, 長谷川 裕也, 柴崎 幹夫, 程塚 直人, 天河 亮, 三神 晃, 柳 雅人, 遠藤 勇人, 武田 隼人, 赤塚 純, 近藤 幸尋 : 当科における浸潤性膀胱癌に対する放射線療法を併用しない膀胱温存療法. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:O34-4.
- 48) 赤塚 陸, 齊藤 俊介, 西脇 聖剛, 岩藤 恭昌, 木山 健太, 大道 莉子, 大里 俊樹, 河村 玲央奈, 亀高 大介, 原田 亮一, 野島 智子,

- 水川 翔, 金藤 光博, 藤井 雅邦, 伊藤 守, 石山 修平, 藤原 明子, 那須 淳一郎, 吉岡 正雄, 塩出 純二: 当院で経験したオルメサルタンによるスプルー様腸疾患. 日本消化器病学会中国支部例会・日本消化器内視鏡学会中国支部例会プログラム・抄録集 2019; 112 回・123 回:79.
- 49) 中森 央貴, 白石 智大, 杉山 真康, 西川 里佳, 藤村 正亮, 鈴木 啓悦, 近藤 幸尋, 三上 和男: 当院における Nivolumab の初期使用経験. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107 回:PP3-164.
- 50) 濱崎 務, 栗林 英吾, 河野 弘圭, 長沢 正人, 近藤 幸尋: 当院における Parallel side docking によるロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術の経験. 日本泌尿器内視鏡学会総会 2019; 33 回:P-8.
- 51) 富田 祐司, 木全 亮二, 川田 由里子, 柴崎 幹生, 堀内 和孝, 柴山 慶太, 井上 泰, 大林 康太郎, 濱崎 務, 近藤 幸尋: 当院における上部尿路上皮癌に対する腎盂尿管全摘術の検討. 泌尿器外科 2019; 32 (臨増) :785.
- 52) 守田 晃二郎, 柴山 慶太, 尾形 吉彦, 佐藤 三洋, 近藤 幸尋: 当院における尿管膿瘍の細菌学的検討. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107 回:PP2-338.
- 53) 程塚 直人, 上田 貴之, 遠藤 州馬, 稲津 宏樹, 大澤 秀一, 近藤 幸尋: 当院における結石性腎盂腎炎の保存的加療抵抗性と CT による水腎症評価の臨床的検討. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107 回:PP2-325.
- 54) 上田 貴之, 程塚 直人, 稲津 宏紀, 大澤 秀一, 近藤 幸尋: 当院における虚血性持続勃起症の初期経験と持続勃起症への意識調査. 日本性機能学会雑誌 2019; 34 (1) :39-40.
- 55) 大林 康太郎, 木村 剛, 栗林 茂彦, 長谷川 裕也, 天河 亮, 柴山 慶太, 秋本 裕義, 武田 隼人, 林 達郎, 濱崎 務, 前林 勝也, 汲田 伸一郎, 近藤 幸尋: 当院における限局性前立腺癌に対する低線量率ヨウ素 125 密封小線源療法後に発生した膀胱癌の臨床病理学的検討. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107 回:PP2-013.
- 56) 鈴木 康友, 坂巻 雅美, 吉川 恵美, 有泉 楽子, 泉川 幸恵, 菅野 麻希, 戸山 友香, 近藤 幸尋: 日本医科大学千葉北総病院における排尿ケアチームの取り組み. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107 回:PP3-198.
- 57) 木村剛: 特集 腎がんに対する外科治療の現状と展望 転移性腎がんに対する転移巣切除の現状と展望. 泌尿器科 2020; 11 (3) :288-297.
- 58) 天河 亮, 林 達郎, 遠藤 勇気, 赤塚 純, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋: 筋層非浸潤性膀胱癌 Ta 腫瘍に対する 2nd TURBT の必要性の検討. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107 回:PP2-271.
- 59) 天河 亮, 林 達郎, 遠藤 勇気, 赤塚 純, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋: 筋層非浸潤性膀胱癌 Ta 腫瘍に対する 2nd TURBT の必要性の検討. 西日本泌尿器科 2019; 81 (増刊) :184.
- 60) 木全亮二: 経尿道的尿路結石破碎術(TUL)後に敗血症の合併症を生じた症例の検討. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107th:PP2-240.
- 61) 高橋 圭吾, 木全 亮二, 富田 裕司, 濱崎 務, 近藤 幸尋: 経尿道的手術において摘出困難な膀胱異物にバスケットカテーテルが有効であった一例. 日本泌尿器内視鏡学会総会 2019; 33 回:O-5.
- 62) 高橋 圭吾, 木全 亮二, 柴崎 幹生, 富田 祐司, 濱崎 務, 近藤 幸尋: 経直腸的前立腺生検における前処理の必要性の検討. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107 回:PP2-079.
- 63) 柳 雅人, 濱崎 務, 天河 亮, 程塚 直人, 三神 晃, 赤塚 純, 遠藤 勇気, 林 達郎, 木村 剛, 近藤 幸尋: 腎癌に対する腹腔鏡下腎摘除術の開腹手術移行例の検討. 日本泌尿器内視鏡学会総会 2019; 33 回:P-2.
- 64) 長谷川 裕也, 木村 剛, 上田 貴之, 柴崎 幹生, 天河 亮, 三神 晃, 大林 康太郎, 佐野 雅之, 赤塚 純, 遠藤 勇気, 武田 隼人, 林 達郎, 近藤 幸尋: 腎癌術後経過観察中に乳房腫瘍を認めた 3 例. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107 回:PP1-200.
- 65) 長谷川 裕也, 木村 剛, 上田 貴之, 柴崎 幹生, 天河 亮, 三神 晃, 大林 康太郎, 遠藤 勇気, 赤塚 純, 武田 隼人, 林 達郎, 濱崎 務, 近藤 幸尋: 腎癌術後肺転移に対するニボルマブの免疫関連有害事象としての 2 次発癌が疑われた原発性乳癌の 1 例. 泌尿器外科 2020; 33 (2) :197.
- 66) 加茂 沢子, 帆足 俊彦, 萩野 哲平, 山崎 香里, 市山 進, 尾崎 紗恵子, 高山 良子, 船坂 陽子, 佐伯 秀久, 遠藤 勇気, 近藤 幸尋: 腎盂癌・膀胱癌に対し Pembrolizumab を導入し、落葉状天疱瘡が悪化した 1 例. 日本皮膚科学会雑誌 2020; 130 (1) :58.
- 67) 上田 貴之, 木村 剛, 佐野 雅之, 柴崎 幹生, 長谷川 裕也, 天河 亮, 三神 晃, 大林 康太郎, 赤塚 純, 遠藤 勇気, 武田 隼人, 林 達郎, 近藤 幸尋, 長谷川 匡: 腎血管肉腫自然破裂の 1 例. 泌尿器外科 2020; 33 (2) :199.
- 68) 野村 俊一郎, 遠藤 勇気, 鈴木 康友, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋: 膀胱癌 plasmacytoid variant 12 例に対する病理的考察. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107 回:PP1-282.

- 69) 依田 恵美子, 中山 聡子, 鈴木 康友, 近藤 幸尋, 原 俊太郎 : 膀胱癌細胞に対するシスプラチンの抗腫瘍効果増強因子の探索. 日本薬学会年会要旨集 2020; 140 年会:27P-am209.
- 70) 大澤 秀一, 程塚 直人, 上田 貴之, 稲津 宏紀, 近藤 幸尋 : 超高齢前立腺癌患者に対するホルモン療法についての検討. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107 回:OP-258.
- 71) 佐野 雅之, 木村 剛, 赤塚 純, 武田 隼人, 林 達郎, 近藤 幸尋 : 転移性腎細胞癌に対する nivolumab+ipilimumab 併用療法不応後、2nd Line axitinib が奏功した一例. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107 回:PP3-146.
- 72) 遠藤 勇気, 木村 剛, 上田 貴之, 柴崎 幹雄, 長谷川 裕也, 三神 晃, 天河 亮, 佐野 雅之, 武田 隼人, 林 達郎, 赤塚 純, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : 進行性尿路上皮癌に対するペンプロリズマブの初期治療成績. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107 回:PP3-262.
- 73) 柴崎 幹生, 赤塚 純, 蓑輪 忠明, 上田 貴之, 長谷川 裕也, 天河 亮, 三神 晃, 大林 康太郎, 柳 雅人, 遠藤 勇気, 武田 隼人, 林 達郎, 土肥 輝之, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 陰茎全摘術を要した陰茎絞扼症の 1 例. 泌尿器外科 2020; 33 (2) :202-203.
- 74) 柳 雅人, 木村 剛, 野崎 修平, 柴崎 幹生, 長谷川 裕也, 程塚 直人, 天河 亮, 三神 晃, 水口 滋仁, 武田 隼人, 赤塚 純, 遠藤 勇気, 林 達郎, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : 非エキスパート医師による腎癌の後腹膜到達法の腹腔鏡下腎摘除術の手術時間延長因子. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:P100-5.
- 75) 柳雅人, 木村剛, 野崎修平, 柴崎幹生, 長谷川裕也, 程塚直人, 天河亮, 三神晃, 水口滋仁, 武田隼人, 赤塚純, 遠藤勇気, 林達郎, 浜崎務, 近藤幸尋 : 非エキスパート医師による腎癌の後腹膜到達法の腹腔鏡下腎摘除術の手術時間延長因子. 日本癌治療学会学術集会 2019; 57 回:P100-5.
- 76) 八木 孝, 木全 亮二, 富田 祐司, 望月 徹, 佐々木 佳枝, 金子 佳世, 福永 ヒトミ, 石川 真由美, 杉原 仁, 南 史朗 : 高血糖緊急症・敗血症の治療後に前立腺膿瘍を呈した 2 症例. 糖尿病 2019; 62 (Suppl.1) :S-322.
- 77) 戸山 友香, 佐野 雅之, 天河 亮, 長谷川 裕也, 近藤 幸尋 : 黄連解毒湯投与により病勢の安定した多発性骨盤内膿瘍の 1 例. 日本泌尿器科学会総会 2019; 107 回:PP2-344.

著書

- 1) 大澤崇宏, 木村 剛, 篠原信雄 : [共著] II Topics of RCC. Yes or No – cytoreductive nephrectomy-2. Case Base Debate① : Upfront の cytoreductive nephrectomy- 2) No: 慎重であるべき. Year Book of RCC 2019. 2019, メディカルレビュー社.
- 2) 木村 剛 : [分担執筆] 前立腺癌 ダロルタミド. これ一冊でパーフェクト!!泌尿器科薬物療法. 2019, 医学図書出版.
- 3) 木村 剛 : [分担執筆] 腎癌 パゾパニブ. これ一冊でパーフェクト!!泌尿器科薬物療法. 2019, 医学図書出版.
- 4) 水口 滋仁, 赤塚 純, 野村俊一郎, 濱崎 務, 木村 剛, 鈴木 康友, 近藤 幸尋 : 蔓状静脈叢血栓症に対し抗凝固療法にて寛解を得た 1 例. 2019, 日泌尿会誌 110(1):70-73.

学会発表

- 1) Shigehito Minaguchi, Go Kimura, Yuki Endo, Takayuki Ueda, Yuka Toyama, Jun Akatsuka, Shuhei Nozaki, Hiroya Hasegawa, Mikio Shibasaki, Ryo Amakawa, Naoto Hodotsuka, Hikaru Mikami, Masato Yanagi, Hayato Takeda, Tatsuro Hayashi, Yukihiro Kondo : A case of locally advanced prostate cancer presenting as large cystic pelvic mass. APPS, 2019. 11.
- 2) Mikio Shibasaki, Go Kimura, Jun Akatsuka, Shuhei Nozaki, Hiroya Hasegawa, Ryo Amakawa, Naoto Hodotsuka, Shigehito Minaguchi, Hikaru Mikami, Masato Yanagi, Yuki Endo, Hayato Takeda, Tatsuro Hayashi, Yukihiro Kondo : A case of stromal tumor of uncertain malignant potential of the prostate. APPS, 2019. 11.
- 3) YUKI ENDO : Can serum cytokeratin 19 fragments predict postoperative early progression in patients with upper urinary tract urothelial carcinoma?. ASCO-GU 2020 (American Society of Clinical Oncology Genitourinary Cancers Symposium), 2020. 2.
- 4) Mikami H, Kimura G, Watarai Y, Hayashi T, Yanagi M, Akatsuka J, Endo Y, Takeda H, Kondo Y : Can urine cytology predict bladder cancer subtypes?. 日本癌治療学会, 2019. 10.
- 5) 野崎 修平, 木村 剛, 赤塚 純, 柴崎 幹生, 長谷川 裕也, 天河 亮, 程塚 直人, 水口 滋仁, 三神 晃, 柳 雅人, 遠藤 勇気, 武田 隼人, 林 達郎, 近藤 幸尋 : Clear cell papillary renal cell carcinoma の 1 例. 泌尿器外科, 2020. 2.
- 6) Kimura G, Tomita Y, Escudier, B Motzer RJ, Tannir, NM, Porta C, McHenry MB, Rini BI : Consistent Efficacy of Nivolumab Plus

- Ipilimumab Across Number of IMDC Risk Factors in CheckMate 214. 日本癌治療学会, 2019. . 日本癌治療学会, 2019. 10.
- 7) YUKI ENDO : Early clinical outcomes of transurethral enucleation with bipolar compared with transurethral resection in saline for Benign Prostatic Hyperplasia treatment. World Congress of Endourology @Abu Dhabi, 2019. 10.
 - 8) Takeda H, Kimura G, Akatsuka J, Endo Y, Hayashi T, Kondo Y : Early hyperbaric oxygen therapy improves radiation induced hemorrhagic cystitis and proctitis. European Multidisciplinary Congress on Urological Cancers, 2019. 11.
 - 9) Yuki Endo, Go Kimura, Hiroya Hasegawa, Mikio Shibasaki, Ryo Amakawa, Naoto Hodotsuka, Jun Akatsuka, Hayato Takeda, Tatsuro Hayashi, Hikaru Mikami, Masato Yanagi, Yukihiro Kondo : Evaluation of perioperative serum cytokeratine 19 fragment levels to predict prognosis in patients with upper tract urothelial carcinoma (UTUC) who received nephroureterectomy (NU). 日本癌治療学会, 2019. 10.
 - 10) Masato Yanagi, Go Kimura, Shuhei Nozaki, Mikio Shibasaki, Hiroya Hasegawa, Naoto Hodotsuka, Ryo Amakawa, Hikaru Mikami, Shigehito Minaguchi, Hayato Takeda, Jun Akatsuka, Yuki Endo, Tatsuro Hayashi, Tsutomu Hamasaki, Yukihiro Kondo : Factors associated with prolonged operating time of laparoscopic radical nephrectomy using retroperitoneal approach by non-expert surgeons. 日本癌治療学会, 2019. 10.
 - 11) Jun Akatsuka, Go kimura, Toyonori Tsuzuki, Hikaru Mikami, Masato Yanagi, Yuki Endo, Hayato Takeda, Tatsuro Hayashi, Kotaro Tsutsumi, Yoichiro Yamamoto, Yukihiro Kondo : Impact of Intraductal Carcinoma on the oncological outcomes in patients with prostate cancer treated with radical prostatectomy: A propensity score matched analysis. 日本癌治療学会, 2019. 10.
 - 12) Hayashi T, Kimura G, Nozaki S, Shibasaki M, Hasegawa H, Hodotsuka N, Amakawa R, Minaguchi S, Mikami H, Yanagi M, Akatsuka J, Takeda H, Endo Y, Ishi H, Kondo Y : Lipid cell change of urothelial carcinoma is a sign of tumor aggressiveness and worst prognosis. European Multidisciplinary Congress on Urological Cancers, 2019. 11.
 - 13) 林 達郎, 木村 剛, 長谷川 裕也, 天河 亮, 三神 晃, 大林 康太郎, 佐野 雅之, 武田 隼人, 赤塚 純, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : Lipid cell variant of urothelial carcinoma は最も予後不良な variant である. 日本泌尿器科学会総会, 2019. 4.
 - 14) Yoshihiko Tomita, Go Kimura, Satoshi Fukasawa, Kazuyuki Numakura, Yutaka Sugiyama, Kazutoshi Yamana, Sei Naito, Koki Kabu, Yohei Tajima, Mototsugu Oya : TREATMENT-FREE SURVIVAL AFTER DISCONTINUATION OF IMMUNO-CHECKPOINT THERAPY, AND OUTCOME OF SUBSEQUENT MOLECULAR TARGETED THERAPY - RETROSPECTIVE STUDY OF JAPANESE METASTATIC RENAL CELL CARCINOMA PATIENTS (AFTER I-O Study) . Journal of Clinical Oncology 38, no. 6_suppl (February 20, 2020) 677-677., 2020. 2.
 - 15) 柴崎 幹生, 木村 剛, 長谷川 裕也, 天河 亮, 三神 晃, 大林 康太郎, 佐野 雅之, 赤塚 純, 遠藤 勇気, 武田 隼人, 林 達郎, 近藤 幸尋, 長谷川 匡 : TUR-BT 後早期に発生した膀胱内 post operative spindle cell nodule の一例. 日本泌尿器科学会総会, 2019. 4.
 - 16) 濱崎 務, 河野 弘圭, 栗林 英吾, 林 達郎, 佐野 雅之, 木村 剛, 長沢 正人, 近藤 幸尋 : TUR-P によるロボット支援前立腺全摘術に対する影響の検討. 日本泌尿器科学会総会, 2019. 4.
 - 17) 野口 哲央, 深貝 隆志, 山中 英壽, 木村 剛, 柏原 剛, 大家 基嗣, 門間 哲雄, 中島 洋介, 森山 正敏, 齊藤 史郎, 伊藤 一人, 小杉 道男 : 「2018 年度前立腺がん啓発週間」の活動実績報告. 日本腎泌尿器疾患予防医学研究会プログラム・抄録集, 2019. 7.
 - 18) 木村 剛 : がん診療における腎臓内科医と泌尿器科医の接点 免疫チェックポイント阻害薬による免疫関連有害事象としての腎障害. 日本腎臓学会誌, 2019. 5.
 - 19) 赤塚 純, 木村 剛, 近藤 幸尋 : それって三方よしですか?RARP における機能温存と癌制御の両立を目指して RARP における機能温存と癌制御の両立を目指して 両立できる症例とは. 日本泌尿器内視鏡学会総会, 2019. 11.
 - 20) 遠藤 勇人, 木村 剛, 長谷川 裕也, 柴崎 幹雄, 天河 亮, 程塚 直人, 赤塚 純, 武田 隼人, 林 達郎, 三神 晃, 柳 雅人, 近藤 幸尋 : 上部尿路上皮癌に対する腎尿管全摘術前および術後のサイトケラチン 19Fr と予後の関連. 日本癌治療学会学術集会抄録集, 2019. 10.
 - 21) 武田 隼人, 上田 貴之, 柴崎 幹夫, 長谷川 裕也, 天河 亮, 三神 晃, 大林 康太郎, 佐野 雅之, 赤塚 純, 遠藤 勇気, 林 達郎, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 上部尿路上皮癌手術断端陽性症例の再発に関する臨床的検討. 日本泌尿器科学会総会, 2019. 4.
 - 22) 赤塚 純, 木村 剛, 都築 豊徳, 三神 晃, 柳 雅人, 遠藤 勇気, 武田 隼人, 林 達郎, 堤 光太郎, 山本 陽一朗, 近藤 幸尋 : 前立腺全摘後の PSA 再発における Intraductal carcinoma of the prostate の影響. 日本癌治療学会学術集会抄録集, 2019. 10.
 - 23) 赤塚 純, 木村 剛, 佐野 雅之, 柳 雅人, 遠藤 勇気, 武田 隼人, 林 達郎, 高橋 亮, 松沢 一郎, 鈴木 康友, 濱崎 務, 近藤 幸

- 尋：前立腺癌の細領域(subzonal anatomy)別発生頻度と予後. 日本泌尿器科学会総会, 2019. 4.
- 24) 木村 剛, 松原 伸晃, 上村 博司, 植村 天受, 中村 元信, 永森 聡, 溝上 敦, 菊川 浩明, 細野 眞, 絹谷 清剛, Krissel Heiko, Shen Junwu, 寛 善行, Investigators in Japan: 化学療法未治療の無症候性/軽度症候性の骨転移を有する CRPC における塩化ラジウム-223 とアピラテロン及びブレドニゾロンの併用試験(ERA223 試験) 日本人部分集団解析. 日本泌尿器科学会総会, 2019. 4.
- 25) 福嶋 善光, 木村 剛, 赤塚 純, 濱名 輝彦, 塚越 智啓, 安藤 嵩浩, 汲田 伸一郎: 去勢抵抗性前立腺癌骨転移例に対する定量解析併用骨 SPECT/CT の予後予測能. 核医学, 2019. 10.
- 26) 三神 晃, 木村 剛, 渡會 泰彦, 林 達郎, 柳 雅人, 高橋 亮, 赤塚 純, 遠藤 勇氣, 武田 隼人, 石井 英昭, 近藤 幸尋: 尿細胞診により膀胱癌亜型は予測可能か. 日本癌治療学会学術集会抄録集, 2019. 10.
- 27) 三神 晃, 木村 剛, 林 達郎, 上田 貴之, 柴崎 幹生, 長谷川 裕也, 天河 亮, 大林 康太郎, 佐野 雅之, 赤塚 純, 遠藤 勇氣, 武田 隼人, 近藤 幸尋: 当科における TURBT+拡大リンパ節郭清+全身化学療法による膀胱温存療法の治療成績. 日本泌尿器科学会総会, 2019. 4.
- 28) 林 達郎, 木村 剛, 長谷川 裕也, 柴崎 幹夫, 程塚 直人, 天河 亮, 三神 晃, 柳 雅人, 遠藤 勇人, 武田 隼人, 赤塚 純, 近藤 幸尋: 当科における浸潤性膀胱癌に対する放射線療法を併用しない膀胱温存療法. 日本癌治療学会学術集会抄録集, 2019. 10.
- 29) 富田 祐司, 木全 亮二, 川田 由里子, 柴崎 幹生, 堀内 和孝, 柴山 慶太, 井上 泰, 大林 康太郎, 濱崎 務, 近藤 幸尋: 当院における上部尿路上皮癌に対する腎盂尿管全摘術の検討. 泌尿器外科, 2019. 6.
- 30) 大林 康太郎, 木村 剛, 栗林 茂彦, 長谷川 裕也, 天河 亮, 柴山 慶太, 秋本 裕義, 武田 隼人, 林 達郎, 濱崎 務, 前林 勝也, 汲田 伸一郎, 近藤 幸尋: 当院における限局性前立腺癌に対する低線量率ヨウ素 125 密封小線源療法後に発生した膀胱癌の臨床病理学的検討. 日本泌尿器科学会総会, 2019. 4.
- 31) 柳 雅人: 泌尿器科救急医療の実際 泌尿器外傷に遭遇したら 腎外傷と尿道外傷. 泌尿器外科 2019;32(臨増): 733-734.
- 32) 天河 亮, 林 達郎, 遠藤 勇氣, 赤塚 純, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋: 筋層非浸潤性膀胱癌 Ta 腫瘍に対する 2nd TURBT の必要性の検討. 日本泌尿器科学会総会, 2019. 4.
- 33) 上田 貴之, 程塚 直人, 稲津 宏紀, 大澤 秀一, 近藤 幸尋: 精索原発と考えられたデスモイド腫瘍の 1 例. 泌尿器外科, 2019. 6.
- 34) 長谷川 裕也, 林 達郎, 根井 貴仁, 細井 章広, 上田 貴之, 遠藤 州馬, 栗林 英吾, 井熊 俊介, 東 正洋, 大林 康太郎, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋: 経尿道的膀胱腫瘍切除術後にカンジダ腎膿瘍を併発し腎摘出に至った一例. 泌尿器外科, 2019. 6.
- 35) 柴崎 幹生, 木全 亮二, 川田 由里子, 富田 祐司, 堀内 和孝, 近藤 幸尋: 腎平滑筋肉腫と腎平滑筋種の症例検討. 泌尿器外科.2019;32(臨増):782.
- 36) 柳 雅人, 濱崎 務, 天河 亮, 程塚 直人, 三神 晃, 赤塚 純, 遠藤 勇氣, 林 達郎, 木村 剛, 近藤 幸尋: 腎癌に対する腹腔鏡下腎摘除術の開腹手術移行例の検討. 日本泌尿器内視鏡学会総会, 2019. 11.
- 37) 長谷川 裕也, 木村 剛, 上田 貴之, 柴崎 幹生, 天河 亮, 三神 晃, 大林 康太郎, 佐野 雅之, 赤塚 純, 遠藤 勇氣, 武田 隼人, 林 達郎, 近藤 幸尋: 腎癌術後経過観察中に乳房腫瘍を認めた 3 例. 日本泌尿器科学会総会, 2019. 4.
- 38) 長谷川 裕也, 木村 剛, 上田 貴之, 柴崎 幹生, 天河 亮, 三神 晃, 大林 康太郎, 遠藤 勇氣, 赤塚 純, 武田 隼人, 林 達郎, 濱崎 務, 近藤 幸尋: 腎癌術後肺転移に対するニボルマブの免疫関連有害事象としての 2 次発癌が疑われた原発性乳癌の 1 例. 泌尿器外科, 2020. 12.
- 39) 上田 貴之, 木村 剛, 佐野 雅之, 柴崎 幹生, 長谷川 裕也, 天河 亮, 三神 晃, 大林 康太郎, 赤塚 純, 遠藤 勇氣, 武田 隼人, 林 達郎, 近藤 幸尋, 長谷川 匡: 腎血管肉腫自然破裂の 1 例. 泌尿器外科, 2020. 2.
- 40) 野村 俊一郎, 遠藤 勇氣, 鈴木 康友, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋: 膀胱癌 plasmacytoid variant12 例に対する病理的考察. 日本泌尿器科学会総会, 2019. 4.
- 41) 佐野 雅之, 木村 剛, 赤塚 純, 武田 隼人, 林 達郎, 近藤 幸尋: 転移性腎細胞癌に対する nivolumab+ipilimumab 併用療法不応後、2nd Line axitinib が奏功した一例. 日本泌尿器科学会総会, 2019. 4.
- 42) 遠藤 勇氣, 木村 剛, 上田 貴之, 柴崎 幹雄, 長谷川 裕也, 三神 晃, 天河 亮, 佐野 雅之, 武田 隼人, 林 達郎, 赤塚 純, 濱崎 務, 近藤 幸尋: 進行性尿路上皮癌に対するペンプロリズマブの初期治療成績. 日本泌尿器科学会総会, 2019. 4.
- 43) 柴崎 幹生, 赤塚 純, 蓑輪 忠明, 上田 貴之, 長谷川 裕也, 天河 亮, 三神 晃, 大林 康太郎, 柳 雅人, 遠藤 勇氣, 武田 隼人, 林 達郎, 土肥 輝之, 木村 剛, 近藤 幸尋: 陰茎全摘術を要した陰茎絞扼症の 1 例. 泌尿器外科, 2020. 2.

- 44) 柳 雅人, 木村 剛, 野崎 修平, 柴崎 幹生, 長谷川 裕也, 程塚 直人, 天河 亮, 三神 晃, 水口 滋仁, 武田 隼人, 赤塚 純, 遠藤 勇気, 林 達郎, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : 非エキスパート医師による腎癌の後腹膜到達法の腹腔鏡下腎摘除術の手術時間延長因子. 日本癌治療学会学術集会抄録集, 2019. 10.

24 眼科学分野

研究業績

論文等

- 1) 國重智之, 高橋永幸, 吉野健一, 高橋浩 : 0.01%イブジラスト点眼液と 0.02%シアノコバラミン点眼液の調節性眼精疲労に対する有効性と安全性の比較. あたらしい眼科 2019; 36 (11) :1462-1470.
- 2) 白鳥 宙, 中元 兼二, 西尾 侑祐, 飛田 悠太朗, 中野 優治, 高野 靖子, 高橋 浩 : 3 剤併用薬物治療中の夜間眼圧上昇に選択的レーザー線維柱帯形成術が有効であった原発開放隅角緑内障の 1 例. 日本緑内障学会抄録集 2019; 30 回:195.
- 3) Shuhei Kameya, Daiki Kubota, Kiyoko Gocho, Sachiko Kikuchi, Kunihiko Yamaki, Tsutomu Igarashi, Hiroshi Takahashi, Nobuo Ishida, Kazutoshi Yoshitake, Takeshi Iwata, Atsushi Mizota : A novel homozygous in-frame deletion of GNAT1 gene cause golden discolouration of the fundus and reduced dark-adapted ERG similar to characteristics of Oguchi disease in a Japanese family. INVESTIGATIVE OPHTHALMOLOGY & VISUAL SCIENCE 2019; 60 (9)
- 4) Akiko Maeda-Katahira, Natsuko Nakamura, Takaaki Hayashi, Satoshi Katagiri, Satoko Shimizu, Hisao Ohde, Tatsuo Matsunaga, Kimitaka Kaga, Tadashi Nakano, Shuhei Kameya, Tomokazu Matsuura, Kaoru Fujinami, Takeshi Iwata, Kazushige Tsunoda : Autosomal dominant optic atrophy with OPA1 gene mutations accompanied by auditory neuropathy and other systemic complications in a Japanese cohort. Molecular vision 2019; 25:559-573.
- 5) 片桐 聡, 林 孝彰, 後町 清子, 久保田 大紀, 溝渕 圭, 松浦 知和, 石氏 陽三, 朝比奈 昭彦, 亀谷 修平, 中野 匡 : CDH3 遺伝子変異による先天性の乏毛と黄斑ジストロフィを示した兄妹例. 眼科臨床紀要 2019; 12 (8) :642.
- 6) Kazuki Kuniyoshi, Takaaki Hayashi, Shuhei Kameya, Satoshi Katagiri, Kei Mizobuchi, Toshiaki Tachibana, Daiki Kubota, Hiroyuki Sakuramoto, Kazushige Tsunoda, Kaoru Fujinami, Kazutoshi Yoshitake, Takeshi Iwata, Tadashi Nakano, Shunji Kusaka : Clinical Course and Electron Microscopic Findings in Lymphocytes of Patients with DRAM2-Associated Retinopathy. International journal of molecular sciences 2020; 21 (4) doi: 10.3390/ijms21041331.
- 7) Natsuko Nakamura, Kazushige Tsunoda, Yoshinobu Mizuno, Tomoaki Usui, Tetsuhisa Hatase, Shinji Ueno, Kazuki Kuniyoshi, Takaaki Hayashi, Satoshi Katagiri, Mineo Kondo, Shuhei Kameya, Kazutoshi Yoshitake, Kaoru Fujinami, Takeshi Iwata, Yozo Miyake : Clinical Stages of Occult Macular Dystrophy Based on Optical Coherence Tomographic Findings. Investigative ophthalmology & visual science 2019; 60 (14) :4691-4700. doi: 10.1167/iops.19-27486.
- 8) Kaoru Fujinami, Lizhu Yang, Kwangsic Joo, Kazushige Tsunoda, Shuhei Kameya, Gen Hanazono, Yu Fujinami-Yokokawa, Gavin Arno, Mineo Kondo, Natsuko Nakamura, Toshihide Kurihara, Kazuo Tsubota, Xuan Zou, Hui Li, Kyu Hyung Park, Takeshi Iwata, Yozo Miyake, Se Joon Woo, Ruifang Sui : Clinical and Genetic Characteristics of East Asian Patients with Occult Macular Dystrophy (Miyake Disease): East Asia Occult Macular Dystrophy Studies Report Number 1. Ophthalmology 2019; 126 (10) :1432-1444. doi: 10.1016/j.ophtha.2019.04.032.
- 9) 國吉 一樹, 亀谷 修平, 林 孝彰, 櫻本 宏之, 久保田 大紀, 片桐 聡, 藤波 芳, 角田 和繁, 岩田 岳, 日下 俊次 : DRAM2 関連網膜症の臨床像とその長期経過. 眼科臨床紀要 2019; 12 (8) :641.
- 10) 近藤千桜里, 國吉一樹, 林孝彰, 亀谷修平, 片桐聡, 久保田大紀, 櫻本宏之, 藤波芳, 角田和繁, 岩田岳, 日下俊次 : DRAM2 関連網膜症の長期臨床経過. 眼科臨床紀要 2019; 12 (9) :727.
- 11) 西尾侑祐, 五十嵐勉, 白鳥宙, 中元兼二, 高橋浩 : DSAEK 後に周辺虹彩とグラフトの癒着を生じ,隅角癒着解離術を要した 1 例. 日本角膜学会総会・日本角膜移植学会プログラム・抄録集 2019; 43rd-35th
- 12) Yasuhiro Terasaki, Mika Terasaki, Satoshi Kanazawa, Nariaki Kokuho, Hirokazu Urushiyama, Yusuke Kajimoto, Shinobu Kunugi, Motoyo Maruyama, Toshio Akimoto, Yoko Miura, Tsutomu Igarashi, Lkuroh Ohsawa, Akira Shimizu : Effect of H-2 treatment in a mouse model of rheumatoid arthritis-associated interstitial lung disease. JOURNAL OF CELLULAR AND MOLECULAR MEDICINE 2019; 23 (10) :7043-7053. doi: 10.1111/jcmm.14603.

- 13) Igarashi T, Ohsawa I, Kobayashi M, Umemoto Y, Arima T, Suzuki H, Igarashi T, Otsuka T, Takahashi H : Effects of hydrogen in prevention of corneal endothelial damage during phacoemulsification: a prospective randomized clinical trial. *American journal of ophthalmology* 2019; 207:10-17. doi: 10.1016/j.ajo.2019.04.014.
- 14) Masuda Y, Igarashi T, Oki K, Kobayashi M, Takahashi H, Nakano T : Free radical production by femtosecond laser lens irradiation in porcine eyes. *Journal of cataract and refractive surgery* 2019; 45 (8) :1168-1171. doi: 10.1016/j.jcrs.2019.02.035.
- 15) Yang L, Fujinami K, Ueno S, Kuniyoshi K, Hayashi T, Kondo M, Mizota A, Naoi N, Shinoda K, Kameya S, Fujinami-Yokokawa Y, Liu X, Arno G, Pontikos N, Kominami T, Terasaki H, Sakuramoto H, Katagiri S, Mizobuchi K, Nakamura N, Mawatari G, Kurihara T, Tsubota K, Miyake Y, Yoshitake K, Iwata T, Tsunoda K : Genetic Spectrum of EYS-associated Retinal Disease in a Large Japanese Cohort: Identification of Disease-associated Variants with Relatively High Allele Frequency. *Sci Rep.* 2020; 10 (1) :5497. doi: 10.1038/s41598-020-62119-3.
- 16) 久保田 大紀, 大石 典子, 後町 清子, 五十嵐 勉, 山木 邦比古, 亀谷 修平, 高橋 浩 : HK1 遺伝子変異を認めた常染色体優性網膜色素変性症の一家系. *日本眼科学会雑誌* 2020; 124 (臨増) :301.
- 17) Takaaki Hayashi, Satoshi Katagiri, Kei Mizobuchi, Kazutoshi Yoshitake, Shuhei Kameya, Tomokazu Matsuura, Takeshi Iwata, Tadashi Nakano : Heterozygous GGC repeat expansion of NOTCH2NL in a patient with neuronal intranuclear inclusion disease and progressive retinal dystrophy. *Ophthalmic genetics* 2020; 41 (1) :93-95. doi: 10.1080/13816810.2020.1723119.
- 18) Hori J, Yamaguchi T, Keino H, Hamrah P, Maruyama K : Immune privilege in corneal transplantation. *Prog Retin Eye Res.* 2019; 72:100758. doi: 10.1016/j.preteyeres.2019.04.002.
- 19) Kaoru Fujinami, Kazutoshi Yoshitake, Takaaki Hayashi, Kazuki Kuniyoshi, Shinji Ueno, Mineo Kondo, Kei Shinoda, Shuhei Kameya, Nobuhisa Nao-i, Hiroyuki Kondo, Yozo Miyake, Takeshi Iwata, Kazushige Tsunoda : Japan Eye Genetics Consortium: National Cohort Survey and Whole Exome Sequencing Results. *INVESTIGATIVE OPHTHALMOLOGY & VISUAL SCIENCE* 2019; 60 (9)
- 20) 塩澤 朝香, 五十嵐 勉, 小林 舞香, 中元 兼二, 亀谷 修平, 藤下 繁人, 高橋 浩, 岡田 尚巳 : NMDA 誘発障害モデルに対するチロシン変異 AAV2 ベクター由来 BDNF の神経保護効果. *日本眼科学会雑誌* 2020; 124 (臨増) :293.
- 21) Yukito Takeda, Daiki Kubota, Noriko Oishi, Kaori Maruyama, Kiyoko Gocho, Kunihiko Yamaki, Tsutomu Igarashi, Hiroshi Takahashi, Shuhei Kameya : Novel GUCY2D variant (E843Q) at mutation hotspot associated with macular dystrophy in Japanese patient. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2020; 87 (2) :92-99. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2020_87-207.
- 22) Daiki Kubota, Noriko Oishi, Kiyoko Gocho, Sachiko Kikuchi, Kunihiko Yamaki, Tsutomu Igarashi, Hiroshi Takahashi, Nobuo Ishida, Takeshi Iwata, Atsushi Mizota, Shuhei Kameya : Novel homozygous in-frame deletion of GNAT1 gene causes golden appearance of fundus and reduced scotopic ERGs similar to that in Oguchi disease in Japanese family. *Ophthalmic genetics* 2019; 40 (5) :480-487. doi: 10.1080/13816810.2019.1686159.
- 23) Hiroyuki Kondo, Kazuma Oku, Satoshi Katagiri, Takaaki Hayashi, Tadashi Nakano, Akiko Iwata, Kazuki Kuniyoshi, Shunji Kusaka, Atsushi Hiyoshi, Eiichi Uchio, Mineo Kondo, Noriko Oishi, Shuhei Kameya, Atsushi Mizota, Nobuhisa Naoi, Shinji Ueno, Hiroko Terasaki, Takeshi Morimoto, Masayoshi Iwaki, Kazutoshi Yoshitake, Daisuke Iejima, Kaoru Fujinami, Kazushige Tsunoda, Kei Shinoda, Takeshi Iwata : Novel mutations in the RS1 gene in Japanese patients with X-linked congenital retinoschisis. *Human genome variation* 2019; 6:3. doi: 10.1038/s41439-018-0034-6.
- 24) 飛田 悠太郎, 有馬 武志, 中野 優治, 内山 昌明, 清水 章, 高橋 浩 : PPAR α 、 β 、 γ 点眼の角膜上皮創傷治癒への影響. *日本眼科学会雑誌* 2020; 124 (臨増) :310.
- 25) Shuhei Kameya, Kaoru Fujinami, Shinji Ueno, Takaaki Hayashi, Kazuki Kuniyoshi, Ryuichi Ideta, Sachiko Kikuchi, Daiki Kubota, Kazutoshi Yoshitake, Satoshi Katagiri, Hiroyuki Sakuramoto, Taro Kominami, Hiroko Terasaki, Lizhu Yang, Yu Fujinami-Yokokawa, Xiao Liu, Gavin Arno, Nikolas Pontikos, Yozo Miyake, Takeshi Iwata, Kazushige Tsunoda : Phenotypical Characteristics of POC1B-Associated Retinopathy in Japanese Cohort: Cone Dystrophy With Normal Fundusoscopic Appearance. *Investigative ophthalmology & visual science* 2019; 60 (10) :3432-3446. doi: 10.1167/iovs.19-26650.
- 26) Tsutomu Igarashi, Kenji Nakamoto, Maika Kobayashi, Hisaharu Suzuki, Yutaro Tobita, Toru Igarashi, Takahisa Okuda, Takashi Okada, Hiroshi Takahashi : Serum brain-derived neurotrophic factor in glaucoma patients in Japan: An observational study. *Journal of Nippon*

- Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2020; 87 (6) :339-345. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2020_87-605.
- 27) Kunishige T, Taniguchi H, Ohno T, Azuma M, Hori J : VISTA Is Crucial for Corneal Allograft Survival and Maintenance of Immune Privilege. Investigative Ophthalmology & Visual Science 2019; 60 (15) :4958-4965. doi: 10.1167/iops.19-27322.
- 28) 村上 正洋 : 『眼瞼』二次修正 二次修正症例から考える保険診療における眼瞼形成手術のゴール設定. 日本美容外科学会会報 2019; 41 (3) :111.
- 29) 武田彩佳, 堀 純子 : 【これでわかる自己免疫性眼疾患】自己免疫疾患と強膜炎. OCULISTA 2019; 73:40-46.
- 30) 矢野風, 武田彩佳, 堀純子 : 【中途失明の可能性のある疾患 Q&A】中途失明の可能性のある疾患とその検査/治療 強膜炎は頻度が低いのでよく知りません.どのように診断し,どう治療したらよいでしょうか. あたらしい眼科 2019; (36) :66-69.
- 31) 堀 純子 : 【令和の白内障手術】眼炎症疾患と白内障手術. OCULISTA 2019; 80:66-70.
- 32) 武田彩佳, 堀 純子 : 【免疫異常と眼炎症】関節疾患と眼炎症. 日本医師会雑誌 2019; 148 (5) :893-896.
- 33) 村上 正洋 : 【形成外科の治療指針 update 2019】頭頸部疾患 上眼瞼皮膚弛緩症. 形成外科 2019; 62 (増刊) :S107.
- 34) 村上 正洋 : 【形成外科の治療指針 update 2019】頭頸部疾患 下眼瞼内反症. 形成外科 2019; 62 (増刊) :S108.
- 35) 村上 正洋 : 【眼瞼形成手術-形成外科医の大技・小技-】大技シリーズ 退行性下眼瞼内反症 どこまでやるか. OCULISTA 2019; (78) :53-60.
- 36) 朝山 美佳, 岡崎 静, 森田 孝, 丸山 佳織, 吉田 祐士, 佐伯 秀久, 神田 奈緒子 : 【肉芽腫症】B型肝炎ウイルスキャリアに生じたサルコイドーシスの1例. 皮膚科の臨床 2019; 61 (11) :1615-1619.
- 37) 中野優治, 中野優治, 武田彩佳, 白鳥宙, 堀純子 : アダリムマブが有効であった再発性後部強膜炎の1例. 日本眼感染症学会・日本眼炎症学会・日本コンタクトレンズ学会総会・日本涙道・涙液学会プログラム・講演抄録集 2019; 56th-53rd-62nd-8th
- 38) 高橋 浩 : アトピー性角結膜炎. アレルギーの臨床 2019; 39 (6) :504-508.
- 39) 笠松桃子, 五十嵐勉, 白鳥宙, 高橋浩 : アトピー性角結膜炎に急性水腫による角膜混濁を合併した一例. 日本角膜学会総会・日本角膜移植学会プログラム・抄録集 2019; 43rd-35th
- 40) 木村 彩香, 武田 彩佳, 西尾 侑祐, 山崎 将志, 仲野 裕一郎, 堀 純子 : デュピルマブの paradoxical reaction による結膜炎の3例. 日本眼科学会雑誌 2020; 124 (臨増) :245.
- 41) 窪倉 真樹子, 五十嵐 勉, 亀谷 修平, 高橋 浩 : ヒドロキシクロロキン内服中に PED 発症が疑われた1例. 眼科臨床紀要 2020; 13(1):67.
- 42) 増田洋一郎, 五十嵐勉, 大木孝太郎, 小林舞香, 高橋浩, 中野匡 : フェムトセカンドレーザー豚眼水晶体照射におけるフリーラジカル発生の検討. 日本白内障学会総会・水晶体研究会プログラム・講演抄録集 2019; 58th-45th
- 43) 武田 彩佳, 國重 智之, 山崎 将志, 木村 彩香, 西尾 侑祐, 仲野 裕一郎, 堀 純子 : 一卵性双生児の TINU とさらに妹にもぶどう膜炎を発症した小児ぶどう膜炎の3姉妹. 日本眼科学会雑誌 2020; 124 (臨増) :243.
- 44) 中野 優治, 有馬 武志, 飛田 悠太郎, 内山 昌明, 清水 章, 高橋 浩 : 低真空走査型電子顕微鏡を用いた角膜創傷治療過程の観察. 日本眼科学会雑誌 2020; 124 (臨増) :310.
- 45) 梅本 祐介, 五十嵐 勉, 中元 兼二, 飛田 悠太郎, 高橋 浩 : 内境界膜剥離術が緑内障における神経節複合体に与える影響の検討. 日本緑内障学会抄録集 2019; 30 回:202.
- 46) 加藤脩太郎, 笠松桃子, 山本真理奈, 小早川信一郎, 高橋浩 : 再発を繰り返す眼瞼結膜乳頭腫に対しマイトマイシン C が有効と考えられた一例. 眼科手術 2019; 33
- 47) 新井 正徳, 山本 剛, 吉井 久美, 岸川 洋昭, 清水 渉, 高橋 浩, 坂本 篤裕, 横田 裕行 : 当院における Medical Emergency Team(MET)導入後の活動状況. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :844.
- 48) 富永 直樹, 新井 正徳, 山本 剛, 吉井 久美, 岸川 洋昭, 清水 渉, 高橋 浩, 坂本 篤裕, 横田 裕行 : 当院における院内心停止の発生状況. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :743.
- 49) 矢野 風, 武田 彩佳, 中野 優治, 堀 純子 : 播種性帯状疱疹後の急性網膜壊死が再燃時にアシクロビル耐性を呈した一例. 日本眼科学会雑誌 2020; 124 (臨増) :307.
- 50) 林 孝彰, 片桐 聡, 亀谷 修平, 久保田 大紀, 菊地 佐知子, 溝渕 圭, 村上 晶, 岩田 岳, 中野 匡 : 日本人におけるコロイデレミアの臨床像と CHM 遺伝子変異の検討. 日本眼科学会雑誌 2020; 124 (臨増) :230.
- 51) 森田 順, 鶴木 勉, 中里 武彦, 押野見 和彦, 前田 佳子, 五十嵐 敦, 七条 武志, 直江 道夫, 深貝 隆志, 小川 良雄 : 昭和大学病

- 院におけるロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術(RAPN)の初期治療経験. 日本泌尿器内視鏡学会総会 2019; 33 回:P-8.
- 52) 堀 純子 : 最新の強膜炎診療. 町田市医師会会報 2020; 548:8-10.
- 53) 中元 兼二 : 最新の緑内障診断 前眼部. 日本眼科学会雑誌 2020; 124 (臨増) :124.
- 54) 五十嵐勉 : 水素による術中角膜内皮障害の予防. あたらしい眼科 2019; 36 (12) :1563-1564.
- 55) 五十嵐勉 : 水素による超音波乳化吸引術と内皮保護. 眼科手術 2019; 32 (3) :351-356.
- 56) 武田 彩佳, 根本 裕次, 高野 靖子, 大橋 隆治, 高橋 浩 : 異なる組織像が併存した上眼瞼粘液癌の 1 例. 眼科臨床紀要 2019; 12 (5) :367-372.
- 57) 長野瑛里子, 小早川信一郎 : 疾患の治療でどう使われる?よく使用される薬 5)眼内炎. 眼科ケア 2019
- 58) 山崎将志, 有馬武志, 鈴木久晴, 仲野裕一郎, 志和利彦, 高橋浩 : 白内障手術における灌流による豚眼角膜内皮細胞侵襲の病理学的検討. IOL&RS (2020年3月号掲載予定) 2020
- 59) 飛田 悠太郎, 西尾 侑祐, 梅本 侑祐, 山崎 将志, 白鳥 宙, 高野 靖子, 中元 兼二, 高橋 浩 : 眼内レンズ縫着後の逆瞳孔ブロックの一例. 日本緑内障学会抄録集 2019; 30 回:202.
- 60) 山口 祐司, 岡島 史宜, 仲村 優子, 長峯 朋子, 周東 佑樹, 久保田 大紀, 後町 清子, 亀谷 修平, 高橋 浩, 杉原 仁, 江本 直也 : 眼底動脈壁所見と生活習慣病に関する各種因子の検討. 日本動脈硬化学会総会プログラム・抄録集 2019; 51 回:1-2.
- 61) 山口 祐司, 岡島 史宜, 仲村 優子, 長峯 朋子, 周東 佑樹, 久保田 大紀, 後町 清子, 亀谷 修平, 高橋 浩, 杉原 仁, 江本 直也 : 眼底動脈壁所見と生活習慣病に関する検討. 糖尿病 2019; 62 (Suppl.1) :S-284.
- 62) 村上 正洋 : 眼瞼形成手術 形成外科医 vs 眼科医×整容 vs 機能. 日本形成外科学会誌 2019; 39 (7) :333.
- 63) 島 奈津子, 浜島 由希, 宮田 康平, 小早川 信一郎, 高橋 浩 : 筋電位および放出抵抗の測定によるプッシュ式プリロード IOL の評価. IOL & RS 2020; 34 (1) :100-106.
- 64) 角田 和繁, 岩田 岳, 藤波 芳, 吉武 和敏, 國吉 一樹, 近藤 峰生, 林 孝彰, 上野 真治, 篠田 啓, 亀谷 修平, 近藤 寛之, 中村 誠, 直井 信久, 三宅 養三 : 網脈絡膜ジストロフィの遺伝学的病態解明および治療に向けた症例データバンクの構築. 日本眼科学会雑誌 2020; 124 (3) :247-284.
- 65) 中元 兼二 : 緑内障のプロを目指す「診断学レベルアップ講座 眼圧測定と評価. 日本緑内障学会抄録集 2019; 30 回:73.
- 66) 五十嵐 勉, 中元 兼二, 小林 舞香, 飛田 悠太郎, 岡田 尚巳, 高橋 浩 : 緑内障患者の血清脳由来神経栄養因子(BDNF)の検討. 日本緑内障学会抄録集 2019; 30 回:182.
- 67) 西尾 侑祐, 中元 兼二, 飛田 悠太郎, 山崎 将志, 白鳥 宙, 高野 靖子, 高橋 浩 : 線維柱帯切除術後に前房出血および硝子体出血が遷延した原発開放隅角緑内障の 1 例. 日本緑内障学会抄録集 2019; 30 回:203.
- 68) 山本 真里奈, 鈴木 久晴, 中島 大司, 宮田 康平, 宮里 佑未, 白鳥 宙, 高橋 浩 : 超音波白内障手術におけるスリーブの灌流口の位置と粘弾性物質の滞留性の検討. IOL & RS 2019; 33 (3) :492-498.

著書

- 1) 仲野 裕一郎 : [分担執筆]【必ず身につく白内障手術の基本手技】CCC. 眼科グラフィック 2019;8(3) :287-295
- 2) 武田彩佳, 堀純子 : 2.強膜(1)上強膜炎(2)強膜炎 眼疾患アトラスシリーズ「前眼部アトラス」2.強膜(1)上強膜炎(2)強膜炎. 2020, 総合医学社.
- 3) 村上正洋 : [編集] 眼瞼形成手術—形成外科医の大技・小技—. 2019, 全日本病院出版会.

学会発表

- 1) 白鳥宙, 中元兼二, 高橋浩 : 3 剤併用薬物治療中の夜間眼圧上昇に選択的レーザー線維柱帯形成術が有効であった原発開放隅角緑内障の 1 例. 第 30 回日本緑内障学会, 2019.
- 2) T Kunishige, H Takahashi : A case of secondary pigmentary glaucoma after secondary sulcus fixation of a 3-piece acrylic foldable intraocular lens. ASCRS, 2019. 5.
- 3) Takeshi Arima, Masaaki Uchiyama, Hiroshi Takahashi : A new observation method using low-vacuum scanning electron microscopy in corneal wound healing. APAO 2019, 2019.
- 4) Kameya S, Kubota D, Gocho K, Kikuchi S, Yamaki K, Igarashi T, Takahashi H, Ishida N, Yoshitake K, Iwata T, Mizota A : A

- novel homozygous in frame deletion of GNAT1 gene cause golden discolouration of the fundus and reduced dark adapted ERG similar of characteristics of Oguchi disease in a Japanese family. The International Society for Genetic Eye Diseases and Retinoblastoma. Giessen, 2019. 8.
- 5) Shuhei Kameya, Daiki Kubota, Kiyoko Gocho, Sachiko Kikuchi, Kunihiko Yamaki, Tsutomu Igarashi, Hiroshi Takahashi, Nobuo Ishida, Kazutoshi Yoshitake, Takeshi Iwata, Atsushi Mizota : A novel homozygous in-frame deletion of GNAT1 gene cause golden discolouration of the fundus and reduced dark-adapted ERG similar to characteristics of Oguchi disease in a Japanese family. ARVO 2019, 2019.
 - 6) Shuhei Kameya, Daiki Kubota, Kiyoko Gocho, Sachiko Kikuchi, Kunihiko Yamaki, Tsutomu Igarashi, Hiroshi Takahashi, Nobuo Ishida, Kazutoshi Yoshitake, Takeshi Iwata, Atsushi Mizota : A novel homozygous in-frame deletion of GNAT1 gene cause golden discolouration of the fundus and reduced dark-adapted ERG similar to that of Oguchi disease in a Japanese family. ISGEDR 2019 Giessen, 2019.
 - 7) Ayaka Takeda, Naka Shiratori, Satoko Yui, Junko Hori : Clinical course and treatment of prolonged cases in Vogt-Koyanagi-Harada disease. ARVO Annual Meeting, 2019. 4.
 - 8) 堀 純子 : Clinician-scientist の視点で考える「女性医師の活躍とダイバーシティ推進」. 第 744 回新潟医学会シンポジウム (新潟市医師会女性医師委員会講演会), 2019. 12.
 - 9) T.Kunishige, H Takahashi : Comparison of initial experience of two different intrascleral intraocular lens fixation techniques. APACRS, 2019.
 - 10) Suzuki H, Igarashi T, Kunishige T, Takahashi H : Creation and evaluation of complication model using slit side view. 37th European Society of Cataract and Refractive Surgery, 2019. 9.
 - 11) 西尾侑祐, 五十嵐勉, 白鳥宙, 中元兼二, 高橋浩 : DSAEK 後に周辺虹彩とグラフトの癒着を生じ、隅角癒着解離術を要した 1 例. 第 43 回日本角膜学会, 2019.
 - 12) Kazuho Isamu, Junko Hori : Expression of TLT-2 on T cells and macrophages in corneal allografts. ARVO Annual Meeting, 2019. 4.
 - 13) Gocho K, Kuniyoshi K, Hayashi T, Katagiri S, Kubota D, Takahashi H, Kameya S : High resolution adaptive optics imaging analysis of enhanced S-cone syndrome with NR2E3 mutation. ARVO Imaging in the eye, 2019. 4.
 - 14) Gocho K, Suzuki K, Akeo K, Kikuchi S, Kubota D, Katagiri S, Fujinami K, Tsunoda K, Iwata I, Yamaki K, Igarashi T, Nakano T, Takahashi H, Hayashi T, Kameya S : High-resolution retinal imaging analysis in female carriers of choroideremia. The European Society of Retina Specialists, 2019. 9.
 - 15) Takao K, Yamazaki M, Igarashi T, Kobayashi M, Arima T, Suzuki H, Takahashi H : Hydrogen prevents corneal endothelial damage in cataract surgery. The International Conference on the Lens, 2019. 12.
 - 16) 堀 純子 : IL-17A 阻害剤が有効であった硬直性脊髄炎随伴ぶどう膜炎. 第 4 回東京眼炎症セミナー, 2019. 10.
 - 17) 堀 純子 : Immune privilege in corneal transplantation. IOIS2019, 2019. 11.
 - 18) Kaoru Fujinami, Kazutoshi Yoshitake, Takaaki Hayashi, Kazuki Kuniyoshi, Shinji Ueno, Mineo Kondo, Kei Shinoda, Shuhei Kameya, Nobuhisa Nao-i, Hiroyuki Kondo, Yozo Miyake, Takeshi Iwata, Kazushige Tsunoda : Japan Eye Genetics Consortium: National Cohort Survey and Whole Exome Sequencing Results. ARVO 2019, 2019.
 - 19) 堀 純子 : New experimental models of autoimmune sclero-keratitis. IOIS2019, 2019. 11.
 - 20) 有馬武志, 清水 章, 高橋 浩 : Peroxisome proliferator activated receptor alpha 点眼剤の抗炎症・抗新生血管作用. 日本医科大学医学会総会, 2019. 7.
 - 21) Yuji Nakano, Takeshi Arima, Masaaki Uchiyama, Hiroshi Takahashi : Peroxisome proliferator-activated receptor alpha agonist suppresses neovascularization by reducing both vascular endothelial growth factor and angiopoietin-2. APAO, 2019.
 - 22) 久保田大紀, 後町清子, 大石典子, 丸山佳織, 武田幸人, 鈴木界, 山木邦比古, 高橋浩, 龜谷修平 : Rhodopsin (RHO) 遺伝子に新規 1 塩基欠損変異を認めた常染色体優性杆体錐体ジストロフィの 1 家系. 第 67 回 日本臨床視覚電気生理学学会, 2019. 6.
 - 23) 鈴木久晴, 五十嵐勉, 高橋浩 : SSV による術中虹彩緊張低下症候群に対する粘弾性物質の使い方の定性的評価. 第 73 回日本臨床眼科学会, 2019. 10.
 - 24) Igarashi T, Nakamoto K, Kobayashi M, Tobita Y, Takao K, Takahashi H, Okada T : Serum levels of brain-derived neurotrophic factor in glaucoma patients. Japanese society of gene and cell therapy, 2019. 7.
 - 25) 武田 彩佳, 由井 智子, 小倉瑛理子, 堀純子 : TNF α 阻害薬と CTLA 4 Ig のパラドキシカルリアクションによる強膜炎の 3 症例. 第 123

- 回日本眼科学会総会, 2019. 4.
- 26) A Takeda, S Yui, Ogura, J Hori : Three cases of induction of scleritis as a paradoxical reaction to TNF inhibitor and CTLA4Ig. IOIS2019, 2019. 11.
 - 27) Masuda Y, Oki K, Igarashi T, Kobayashi M, Watanabe A, Takahashi H, Nakano T : Unexpected corneal endothelial damage in FLACS. 44th European Society of Cataract and Refractive Surgery, 2019. 9.
 - 28) 小野真史, 鈴木雅也, 熊谷直也, かづきれいこ, 渡辺聡子, 檜山あや, 小川令, 高橋 浩 : fNIRS による眼瞼痙攣患者差明に対する 極薄粘着テープ施術効果評価. 第 123 回 日本眼科学会総会, 2019. 4.
 - 29) 後藤均, 飛田悠太郎, 有馬武志, 中野優治, 内山昌明, 五十嵐勉, 清水章, 高橋浩 : peroxisome proliferator activated receptor (PPAR) alpha 及び gamma の創傷治癒への影響. 日本角膜学会, 2020. 2.
 - 30) 堀 純子 : ”悩ましい”強膜炎とヘルペス関連疾患の診療. 町田市医師会学術講演会, 2019. 11.
 - 31) 武田彩佳, 堀 純子 : ぶどう膜炎とアダリムマブ. 第 73 回日本臨床眼科学会, 2019. 10.
 - 32) 堀 純子 : やさしい角結膜感染症クリニック診断・治療に迷う結膜炎難症例. 第 73 回日本臨床眼科学会, 2019. 10.
 - 33) 笠松桃子, 五十嵐勉, 白鳥宙, 高橋浩 : アトピー性角結膜炎に急性水腫による角膜混濁を合併した一例. 第 43 回日本角膜学会, 2019.
 - 34) 増田洋一郎, 五十嵐勉, 大木孝太郎, 小林舞香, 高橋浩, 中野匡 : エムトセカンドレーザー豚眼水晶体照射におけるフリーラジカル発生の検討. 第 58 回日本白内障学会総会, 2019. 7.
 - 35) 窪倉真樹子, 五十嵐勉, 亀谷修平, 高橋浩 : ヒドロキシクロロキン内服中に PED 発症が疑われた 1 例. 第 802 回 東京都眼科集談会, 2019. 8.
 - 36) 窪倉 真樹子, 五十嵐 勉, 亀谷 修平, 高橋 浩 : ヒドロキシクロロキン内服中に PED 発症が疑われた 1 例. 眼科臨床紀要, 2020. 1.
 - 37) 窪倉真樹子, 五十嵐勉, 亀谷修平, 高橋浩 : ヒドロキシクロロキン内服中に網膜色素上皮剥離発症が疑われた一例. 東京都眼科医会学術集談会, 2019. 8.
 - 38) 増田洋一郎, 五十嵐 勉, 大木孝太郎, 小林舞香, 高橋 浩, 中野 匡 : フェムトセカンドレーザー豚眼水晶体照射におけるフリーラジカル発生の検討. 日本白内障学会総会, 2019. 7.
 - 39) 矢野 風, 國重智之, 根本裕次, 呉 壮香, 和田龍一, 高橋 浩 : 主涙腺に隣接した原発性脂腺癌の 1 例. 第 7 回日本眼形成再建外科学会学術集会, 2019. 5.
 - 40) 村上正洋 : 二次修正症例から考える保険診療における眼瞼形成手術のゴール設定. 第 135 回日本美容外科学会(JSAPS)学術集会, 2019. 6.
 - 41) 仲野 裕一郎 : 低加入度数分節眼内レンズの短期術後成績. 第 43 回日本眼科手術学会学術総会, 2019. 6.
 - 42) 有馬武志, 内山昌明, 清水 章, 高橋 浩 : 低真空走査型電子顕微鏡を用いた新しい角膜と新生血管の観察法. 日本眼科学会総会, 2019. 4.
 - 43) 高橋慶, 中野優治, 有馬武志, 飛田悠太郎, 内山昌明, 五十嵐勉, 清水章, 高橋浩 : 低真空走査型電子顕微鏡を用いた角膜損傷治癒過程のコラーゲン変化. 日本角膜学会, 2020. 2.
 - 44) 堀 純子 : 免疫不全症例における感染対策. 第 73 回日本臨床眼科学会 モーニングセミナー, 2019. 10.
 - 45) 武田幸人, 久保田大紀, 後町清子, 大石典子, 鈴木 界, 丸山佳織, 山木邦比古, 高橋 浩, 亀谷修平 : 全視野 ERG で錐体反応良好な黄斑ジストロフィに新規 GUCY2D 遺伝子変異を認めた 1 例. 第 73 回 日本臨床眼科学会総会, 2019. 10.
 - 46) 梅本祐介, 五十嵐勉, 中元兼二, 飛田悠太郎, 高橋浩 : 内境界膜剥離術が緑内障における神経節複合体に与える影響の検討. 第 30 回日本緑内障学会, 2019. 9.
 - 47) 山本真里奈, 小早川信一郎, 高尾和弘, 小倉英里子, 浜島由紀, 宮田康平, 若山望, 高橋浩 : 副鼻腔炎に Pott's Puffy Tumor と眼瞼蜂窩織炎を合併した 1 例. 第 123 回日本眼科学会総会, 2019. 4.
 - 48) 笠松桃子, 小早川信一郎, 中島大司, 宮田康平, 高橋浩 : 外傷性虹彩離断に対し人工虹彩並びに眼内レンズを挿入した一例. 第 43 回日本眼科手術学会学術総会, 2020. 1.
 - 49) 高尾和弘, 村上正洋, 根本裕次, 高橋 浩, 小早川信一郎 : 巨大化したマイボーム腺嚢胞の 1 例. 第 42 回 日本眼科手術学会学術総会, 2019. 12.
 - 50) 梅本祐介, 國重智之, 高橋浩 : 強膜内固定術導入時の T-fixation technique とダブルニードル法の比較検討. 第 34 回 JSCRS 学術総会, 2019. 6.
 - 51) 堀 純子 : 強膜炎の最新の診療. 第 7 回 Osaka Uveal Meeting, 2019. 8.

- 52) 堀 純子：強膜炎の病態と治療. 第 50 回東京都眼科医会研修会, 2019. 12.
- 53) 堀 純子：強膜炎の病態理解と治療戦略. 第 9 回豊の国眼科フォーラム, 2019. 4.
- 54) 飛田悠太郎, 五十嵐勉, 池袋東陽, 木村彩香, 後町清子, 亀谷修平, 高橋浩：早期治療により進行抑制できた癌関連網膜症(CAR)疑いの 1 例. 第 58 回日本網膜硝子体学会, 2019. 12.
- 55) 池袋東陽, 五十嵐勉, 亀谷修平, 高橋浩：毛様網膜動脈閉塞症を造影剤アレルギーのため OCT-A でフォローした一例. 第 58 回日本網膜硝子体学会, 2019. 12.
- 56) 飛田悠太郎, 有馬武志, 五十嵐勉, 内山正明, 高橋浩：水素点眼の直接的および間接的な抗酸化作用効果. 第 123 回日本眼科学会総会, 2019. 4.
- 57) 堀 純子：眼の免疫特権と眼内免疫チェックポイント. GOIW2019, 2019. 6.
- 58) 飛田 悠太郎, 西尾 侑祐, 梅本 侑祐, 山崎 将志, 白鳥 宙, 高野 靖子, 中元 兼二, 高橋 浩：眼内レンズ縫着後の逆瞳孔ブロックの一例. 日本緑内障学会, 2019.
- 59) 山岡正卓, 五十嵐勉, 有馬武志, 岩崎優子, 高瀬博, 高橋浩：眼内レンズ縫着術後の縫着糸による感染性ぶどう膜強膜炎の一例. 日本角膜学会, 2020. 2.
- 60) 飛田 悠太郎, 西尾 侑祐, 梅本 祐介, 山崎 将志, 白鳥 宙, 高野 靖子, 中元 兼二, 高橋 浩：眼内レンズ縫着後の逆瞳孔ブロックの一例. 第 30 回 日本緑内障学会, 2019. 9.
- 61) 山口 祐司, 岡島 史宜, 仲村 優子, 長峯 朋子, 周東 佑樹, 久保田 大紀, 後町 清子, 亀谷 修平, 高橋 浩, 杉原 仁, 江本 直也：眼底動脈壁所見と生活習慣病に関する各種因子の検討. 第 51 回日本動脈硬化学会総会, 2019. 7.
- 62) 山口祐司, 岡島史宜, 仲村優子, 長峯朋子, 周東佑樹, 久保田大紀, 後町清子, 亀谷修平, 高橋 浩, 杉原 仁, 江本直也：眼底動脈壁所見と生活習慣病に関する検討. 第 51 回 日本動脈硬化学会, 2019. 7.
- 63) 堀 純子：眼炎症診療のコツ. NIIGATA Ophthalmology Seminar, 2019. 7.
- 64) 村上正洋：眼瞼下垂をどう仕上げるか？－保険診療における眼瞼形成手術のゴール設定－. 第 2 回神無月カンファレンス, 2019. 10.
- 65) 村上正洋：眼瞼下垂症以外の開瞼障害. 第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会, 2019. 5.
- 66) 村上正洋：眼瞼形成手術教育 眼科医 vs 形成外科医. 第 7 回日本眼形成再建外科学会・学術集会, 2019. 5.
- 67) 五十嵐勉：眼科分野における分子状水素の応用. 第 30 回千駄木眼科フォーラム, 2019.
- 68) 村上正洋：私の行ってきた眼瞼下垂症手術と眼瞼痙攣・開瞼失行への対応. 第 28 回日本形成外科基礎学術集会, 2019. 11.
- 69) 中元 兼二：緑内障のプロを目指す「診断学レベルアップ講座 眼圧測定と評価. 日本緑内障学会, 2019.
- 70) 五十嵐勉, 中元兼二, 小林舞香, 飛田悠太郎, 岡田尚巳, 高橋浩：緑内障患者の血清脳由来神経栄養因子(BDNF)の検討. 第 30 回日本緑内障学会, 2019. 9.
- 71) 西尾 侑祐, 中元 兼二, 飛田 悠太郎, 山崎 将志, 白鳥 宙, 高野 靖子, 高橋 浩：線維柱帯切除術後に前房出血および硝子体出血が遷延した原発開放隅角緑内障の 1 例. 日本緑内障学会, 2019. 5. 飛田 悠太郎, 西尾 侑祐, 梅本 侑祐, 山崎 将志, 白鳥 宙, 高野 靖子, 中元 兼二, 高橋 浩: 眼内レンズ縫着後の逆瞳孔ブロックの一例. 日本, 2019.
- 72) 稗田 牧, 平岡孝浩, 不二門 尚, 石子智士, 長谷部 聡, 鳥居秀成, 高橋 浩, 中村 葉, 外園千恵, 大鹿哲郎, 森本 壮, 西田幸二, 西川典子, 宋 勇錫, 西 恭代, 重野雄太, 栗原俊英, 根岸一乃, 坪田一男, 小野眞史, 中井智子, Donald Tan, 田中司朗, 木下茂：近視学童における 0.01%アトロピン点眼剤の近視進行抑制効果に関するランダム化比較対照試験 (ATOM-J) . 第 73 回日本臨床眼科学会, 2019. 10.
- 73) 堀 純子：重症強膜炎の成因と治療. 第 68 回日本アレルギー学会学術大会シンポジウム, 2019. 6.
- 74) 笠松桃子, 村上正洋, 若井英恵, 日本医大武蔵小杉, 形成外科, 小倉瑛里子, 宮田康平, 小早川信一郎, 高橋浩：閉瞼不全を生じた先天性魚鱗癬. 第 73 回日本臨床眼科学会, 2019. 10.
- 75) 堀 純子：難治性眼炎症疾患の最新の診療～悩ましい強膜炎を中心に～. 第 4 回とやま外眼部ナイト, 2019. 5.
- 76) 矢野 風, 武田 彩佳, 小倉 瑛理子, 新井 淑子, 堀 純子：高安病に随伴した多様な眼病変の 3 症例. 第 123 回日本眼科学会総会, 2019. 4.

25 疼痛制御麻酔科学分野

研究業績

論文等

- 1) Dai Namizato, Masae Iwasaki, Masashi Ishikawa, Ryuta Nagaoka, Yuki Genda, Hiroaki Kishikawa, Iwao Sugitani, Atsuhiko Sakamoto : Anesthetic Considerations of Intraoperative Neuromonitoring in Thyroidectomy. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (5) :263-268. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-408.
- 2) Tomonori Morita, Hiroaki Kishikawa, Atsuhiko Sakamoto : Cerebral regional oxygen saturation: a useful monitor during a surgical procedure involving the right-sided aortic arch in an infant. *Journal of anesthesia* 2019; 33 (6) :701-703. doi: 10.1007/s00540-019-02700-x.
- 3) 井野 佑佳, 森 啓介, 亀井 信孝, 竹内 純平, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : Debranching TEVAR 後の大動脈解離に対し、debranching グラフトを利用して弓部大動脈置換術を行った一例. *Cardiovascular Anesthesia* 2019; 23 (Suppl.) :[DP2-03].
- 4) James Freeman, Peter D Crowley, Andrew G Foley, Helen C Gallagher, Masae Iwasaki, Daqing Ma, Donal J Buggy : Effect of Perioperative Lidocaine, Propofol and Steroids on Pulmonary Metastasis in a Murine Model of Breast Cancer Surgery. *Cancers* 2019; 11 (5) doi: 10.3390/cancers11050613.
- 5) Manzo Suzuki, Yoshinori Abe, Yusuke Taguchi, Hiroyasu Bito : Effect of Remifentanyl-Based Anesthesia on Perioperative Phagocytic Function of Human Monocytes. *BPB Reports* 2020; 3 (1) :45-49.
- 6) Ikeda T, Shiga T, Shimizu W, Kinugawa K, Sakamoto A, Nagai R, Daimon T, Oki K, Okamoto H, Yamashita T, J-L, II Study Investigators : Efficacy and Safety of the Ultra-Short-Acting β 1-Selective Blocker Landiolol in Patients With Recurrent Hemodynamically Unstable Ventricular Tachyarrhythmias - Outcomes of J-Land II Study. *Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society* 2019; 83 (7) :1456-1462. doi: 10.1253/circj.CJ-18-1361.
- 7) 山本 真記子, 森 啓介, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : Impella 使用下で行われた緊急 off pump CABG に対する麻酔経験. *Cardiovascular Anesthesia* 2019; 23 (Suppl.) :[DP1-06].
- 8) Hirotohi Iwasaki, Atsushi Sakai, Motoyo Maruyama, Takaya Ito, Atsuhiko Sakamoto, Hidenori Suzuki : Increased H19 Long Non-coding RNA Expression in Schwann Cells in Peripheral Neuropathic Pain. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (4) :215-221. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2018_86-402.
- 9) Masashi Ishikawa, Atsuhiko Sakamoto : Postoperative desaturation and bradypnea after general anesthesia in non-ICU patients: a retrospective evaluation. *Journal of clinical monitoring and computing* 2020; 34 (1) :81-87. doi: 10.1007/s10877-019-00293-0.
- 10) Masae Iwasaki, Hailin Zhao, Cong Hu, Lingzhi Wu, Aislinn Sherwin, Atsuhiko Sakamoto, Donal Buggy, Daqing Ma : Propofol exposure suppresses cancer growth in a xenograft model in mice. *BRITISH JOURNAL OF ANAESTHESIA* 2019; 123 (4) :E495-E496. doi: 10.1016/j.bja.2019.04.010.
- 11) Ishikawa M, Sakamoto A : Response to the letter: Research protocol and complementary results. *Journal of clinical monitoring and computing* 2020; 34 (1) :193-195. doi: 10.1007/s10877-019-00358-0.
- 12) Hiroshi Mase, Yutaro Ogawa, Jumpei Takeuchi, Yuki Genda, Shingo Ichiba, Atsuhiko Sakamoto : Successful Intensive Care Treatment of Severe Lactic Acidosis and Tumor Lysis Syndrome Related to Intravascular Lymphoma. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2020; 87 (1) :32-36. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-606.
- 13) Masashi Ishikawa, Dai Namizato, Atsuhiko Sakamoto : The value of acoustic respiratory rate monitoring in a patient with postoperative hemorrhage after thyroidectomy: a case report. *Journal of clinical monitoring and computing* 2020; 34 (1) :147-150. doi: 10.1007/s10877-019-00283-2.
- 14) Airan Liu, Jeong-Hyun Park, Xiwen Zhang, Shinji Sugita, Yoshifumi Naito, Jae-Hoon Lee, Hideya Kato, Qi Hao, Michael A. Matthay, Jae-Woo Lee : Therapeutic Effects of Hyaluronic Acid in Bacterial Pneumonia in Ex Vivo Perfused Human Lungs. *American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine* 2019; 200 (10) :1234-1245. doi: 10.1164/rccm.201812-2296oc.

- 15) Airan Liu, Xiwen Zhang, Hongli He, Li Zhou, Yoshifumi Naito, Shinji Sugita, Jae-Woo Lee : Therapeutic potential of mesenchymal stem/stromal cell-derived secretome and vesicles for lung injury and disease. Expert Opinion on Biological Therapy 2020; 20 (2) :125-140. doi: 10.1080/14712598.2020.1689954.
- 16) 源田 雄紀, 間瀬 大司, 市場 晋吾, 坂本 篤裕 : 【血圧】病態から見る血圧 出血性ショック,外傷性ショック.LiSA 別冊 2019;26 (別冊'19 秋号) :151-156.
- 17) 宮崎 いづみ, 鈴木 規仁, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : ترامドール内服開始時期が带状疱疹の疼痛に与える影響. 日本医科大学医学会雑誌 2019;15 (4) :269.
- 18) 仲野 耕平, 福島 悠基, 木村 祐輔, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : ペインクリニック外来における局所麻酔薬中毒予防:パラメディカルと共に. 日本ペインクリニック学会誌 2019; 26 (3) :P2-67.
- 19) 色川 彩夏, 谷口 佳奈, 伊藤 公亮, 神谷 一郎, 金 徹, 坂本 篤裕 : 中央手術室運用実績のグラフ化による手術室利用率上昇効果. 日本手術医学会誌 2019;40 (Suppl.) :164.
- 20) 竹内 純平, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 人工肛門閉鎖術周術期における硬膜外麻酔・鎮痛法の役割. 日本手術医学会誌 2019;40 (Suppl.) :188.
- 21) 石川 真土, 坂本 篤裕 : 周術期外来への取り組み. 日本手術医学会誌 2019;40 (2) :68-72.
- 22) 金 徹 : 周術期管理における循環補助法 大動脈内バルーンパンピング. 日本臨床麻酔学会誌 2019;39 (6) :S148.
- 23) 蔭山 慎平, 足立 匠, 佐藤 真美子, 森田 智教, 古市 結富子, 清水 淳 : 大腿動静脈からの体外循環開始後、偽腔灌流により胸部下行大動脈の閉塞を来した一例. Cardiovascular Anesthesia 2019; 23 (Suppl.) :[DP1-04].
- 24) 風間 彩, 植竹 将, 伊勢 雄也, 竹内 純平, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 安全な硬膜外麻酔実施のための手術室担当薬剤師の介入. 日本手術医学会誌 2019; 40 (Suppl.) :162.
- 25) 森 啓介, 金子 美穂, 岩崎 宏俊, 竹内 純平, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 弁置換術後患者の脳出血に対する血腫除去術において経食道心エコーが有用であった1例. Cardiovascular Anesthesia 2019; 23 (Suppl.) :[DP1-07].
- 26) 新井 正徳, 山本 剛, 吉井 久美, 岸川 洋昭, 清水 渉, 高橋 浩, 坂本 篤裕, 横田 裕行 : 当院における Medical Emergency Team(MET)導入後の活動状況. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :844.
- 27) 蔭山 慎平, 足立 匠, 佐藤 真美子, 森田 智教, 古市 結富子 : 当院における経カテーテル的大動脈弁置換術の麻酔管理と急変対応を要した症例. Cardiovascular Anesthesia 2019; 23 (Suppl.) :[DP1-08].
- 28) 右田 妹亜, 森 啓介, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 当院における経食道心エコープローブ洗浄の取り組みについて. 日本手術医学会誌 2019; 40 (Suppl.) :154.
- 29) 保利 陽子, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 当院における肝硬変 Child-Pugh 分類 C を合併した患者の全身麻酔症例. 日本手術医学会誌 2019; 40 (Suppl.) :189.
- 30) 宮崎 いづみ, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 当院における術後の予定外 ICU 入室の検討. 日本手術医学会誌 2019; 40 (Suppl.) :189.
- 31) 大貫 京子, 中島 碧, 中川 真志, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 当院における超緊急帝王切開術円滑化への取り組み. 日本手術医学会誌 2019; 40 (Suppl.) :173.
- 32) 富永 直樹, 新井 正徳, 山本 剛, 吉井 久美, 岸川 洋昭, 清水 渉, 高橋 浩, 坂本 篤裕, 横田 裕行 : 当院における院内心停止の発生状況. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :743.
- 33) 吉澤 剛幸, 増山 素道, 高山 利之, 池田 督司, 源田 雄紀, 間瀬 大司, 市場 晋吾, 坂本 篤裕 : 当院心臓血管外科術後における早期離床リハビリテーション加算導入前後の比較. 日本手術医学会誌 2019; 40 (Suppl.) :171.
- 34) 岸川 洋昭, 鈴木 規仁, 間瀬 大司, 保利 陽子, 松尾 いづみ, 阿部 聖孝, 坂本 篤裕 : 急性带状疱疹疼痛に対する早期 ترامドール内服の効果. 日本ペインクリニック学会誌 2019; 26 (3) :E2-6.
- 35) 竹田 寛恵, 小林 克也, 赤田 信二, 坂本 篤裕 : 手術中のデクスメトミジン鎮静は術後の睡眠障害に効果的か 後方視的検討. 日本臨床麻酔学会誌 2019; 39 (3) :278-281.
- 36) 竹岡 優姫, 間瀬 大司, 池田 督司, 源田 雄紀, 市場 晋吾, 坂本 篤裕 : 手術室での Respiratory ECMO 導入の現状と今後の課題. 日本手術医学会誌 2019; 40 (Suppl.) :169.
- 37) 森田 智教, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 気腹手術中に発症した 3 度房室ブロックに対し経静脈ペーシングで管理した症例の検討. 日本手術医学会誌 2019; 40 (Suppl.) :165.

- 38) 岩崎宏俊, 坂井敦, 丸山基世, 伊藤孝哉, 鈴木秀典, 坂本篤裕 : 神経障害性疼痛における長鎖非コード RNA H19 の発現増加. 日本麻酔科学会学術集会 2019; 66th:ROMBUNNO.Q - IJ1 - 3 (WEB ONLY).
- 39) 高 弘宇, 實川 東洋, 谷口 佳奈, 伊藤 公亮, 神谷 一郎, 金 徹, 坂本 篤裕 : 筋弛緩薬紛失を契機とした劇薬、毒薬管理の取り組み. 日本手術医学会誌 2019; 40 (Suppl.) :163.
- 40) 古市 結富子, 清水 淳, 蔭山 慎平, 足立 匠, 佐藤 真美子, 森田 智教, 佐地 真育 : 経皮的僧帽弁接合不全修復術後に肺出血を起こした一症例. 日本循環制御医学会総会プログラム・抄録集 2019; 40 回:58.
- 41) 佐藤 真美子, 山本 真記子, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 胸部大動脈瘤食道穿破による縦隔感染予防のため 2 科合同で一期的に根治術を行った一例. 日本手術医学会誌 2019; 40 (Suppl.) :166.
- 42) 水野 幸一, 福島 悠基, 杖下 隆哉, 坂本 篤裕, 内木 亮介 : 脊髄刺激療装置植込術サージカルトライアルにおけるリードアンカリングの必要性. 日本ペインクリニック学会誌 2019; 26 (3) :O18-2.
- 43) 岩崎 宏俊, 森 啓介, 竹内 純平, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 術後 9 ヶ月で再置換術を要した先天性大動脈弁狭窄症の一例. Cardiovascular Anesthesia 2019; 23 (Suppl.) :[DP1-08].
- 44) 榎田 弘, 木村 嵩之, 伊藤 公亮, 神谷 一郎, 金 徹, 坂本 篤裕 : 開脚位による術中下肢虚血を認めた一例. 日本臨床麻酔学会誌 2019; 39 (6) :S318.
- 45) 吉田 誠, 谷口 佳奈, 伊藤 公亮, 神谷 一郎, 金 徹, 坂本 篤裕 : 電子カルテ端末を用いた手術室利用状況可視化の効果. 日本手術医学会誌 2019; 40 (Suppl.) :164.
- 46) 鈴木 規仁, 間瀬 大司, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 鼠径部感覚鈍麻と腹直筋痙攣を伴う左下腹部痛. 日本ペインクリニック学会誌 2019; 26 (3) :O05-1.

著書

- 1) Koichi Mizuno, Ryosuke Naiki : [分担執筆] Racz Catheter Percutaneous Epidural Neuroplasty (The Racz Procedure). Nerve Blockade and Interventional Therapy. 2019; pp.265-268, Springer Japan. doi: 10.1007/978-4-431-54660-3_66.

学会発表

- 1) Junichi Saito, Hailin Zhao, Masae Iwasaki, Lingzhi Wu, Cong Hu, Qizhe Sun, Kazuyoshi Hirota, Daqing Ma : Potential anti-cancer effects of N-methyl-D-aspartate receptor antagonists in vitro. BRITISH JOURNAL OF ANAESTHESIA, 2019. 10.
- 2) Masae Iwasaki, Hailin Zhao, Cong Hu, Lingzhi Wu, Aislinn Sherwin, Atsuhiko Sakamoto, Donal Buggy, Daqing Ma : Propofol exposure suppresses cancer growth in a xenograft model in mice. BRITISH JOURNAL OF ANAESTHESIA, 2019. 10.
- 3) Cong Hu, Zhigang Liu, Masae Iwasaki, Qingquan Lian, Jia Li, Daqing Ma : Propofol inhibits cancer malignancy by disturbing glucose metabolism through hypoxia-inducible factor-1 alpha and pigment epithelium-derived factor modulation. BRITISH JOURNAL OF ANAESTHESIA, 2019. 10.
- 4) 仲野耕平, 福島悠基, 木村祐輔, 岸川洋昭, 坂本篤裕 : ペインクリニック外来における局所麻酔薬中毒予防:パラメディカルと共に. 日本ペインクリニック学会 53 回学術集会, 2019. 7.
- 5) 竹内純平, 岸川洋昭, 坂本篤裕 : 人工肛門閉鎖術術期における硬膜外麻酔・鎮痛法の役割. 第 41 回日本手術医学会総会, 2019. 9.
- 6) 森上亜紀子, 竹内純平, 岸川洋昭, 坂本篤裕 : 冠動脈バイパス術麻酔時に中心静脈カテーテルが鎖骨下動脈に迷入し、手術中止とした 1 症例. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第 59 回合同学術集会, 2019. 9.
- 7) 風間彩, 植竹将, 伊勢雄也, 竹内純平, 岸川洋昭, 坂本篤裕 : 安全な硬膜外麻酔実施のための手術室担当薬剤師の介入. 第 41 回日本手術医学会総会, 2019. 9.
- 8) 小磯那津美, 鈴木健一, 河原香織, 吉田康平, 市場晋吾, 岸川洋昭 : 当院における手術室機器の安全な運用に関する取り組み. 第 41 回日本手術医学会総会, 2019. 9.
- 9) 右田妹亜, 森啓介, 岸川洋昭, 坂本篤裕 : 当院における経食道心エコープローブ洗浄の取り組みについて. 第 41 回日本手術医学会総会, 2019. 9.
- 10) 保利陽子, 岸川洋昭, 坂本篤裕 : 当院における肝硬変 Child-Pugh 分類 C を合併した患者の全身麻酔症例. 第 41 回日本手術医学会総会,

2019. 9.

- 11) 宮崎いづみ, 岸川洋昭, 坂本篤裕: 当院における術後の予定外 ICU 入室の検討. 第 41 回日本手術医学会総会, 2019. 9.
- 12) 大貫京子, 中島碧, 中川真志, 岸川洋昭, 坂本 篤裕: 当院における超緊急帝王切開術円滑化への取り組み. 第 41 回日本手術医学会総会, 2019. 9.
- 13) 榎田弘, 森啓介, 岸川洋昭, 坂本篤裕: 後縦隔経路胃管再建の食道癌術後かつ重度大動脈弁狭窄症を有する患者に対して大動脈弁置換術を実施した一例. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第 59 回合同学術集会, 2019. 9.
- 14) 岸川洋昭, 鈴木規仁, 間瀬大司, 保利陽子, 松尾いづみ, 阿部聖孝, 坂本篤裕: 急性帯状疱疹痛に対する早期トラマドール内服の効果. 日本ペインクリニック学会 53 回学術集会, 2019. 7.
- 15) 森田智教, 岸川洋昭, 坂本篤裕: 気腹手術中に発症した 3 度房室ブロックに対し経静脈ペーシングで管理した症例の検討. 第 41 回日本手術医学会総会, 2019. 9.
- 16) 飯塚ますみ, 杉田慎二, 花井紗弥子, 岸川洋昭, 竹内純平, 岸川洋昭, 坂本篤裕: 緊急開腹消化管手術における乳酸値測定の有用性と予後予測能. 第 66 日本麻酔科学会学術集会, 2019. 5.
- 17) 佐藤真美子, 山本真記子, 岸川洋昭, 坂本篤裕: 胸部大動脈瘤食道穿破による縦隔感染予防のため 2 科合同で一期的に根治術を行った一例. 日本手術医学会誌, 2019. 7.
- 18) 高橋理沙, 森啓介, 岩岸宏俊, 富張雅宏, 岸川洋昭, 坂本篤裕: 重症肺気腫・気管支喘息合併患者の腹腔鏡下胆嚢摘出術に対する麻酔管理. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第 59 回合同学術集会, 2019. 9.
- 19) 河原香織, 鈴木健一, 小磯那津美, 吉田康平, 市場晋吾, 岸川洋昭: 麻酔器始業点検実施の有用性. 第 41 回日本手術医学会総会, 2019. 9.
- 20) 鈴木規仁, 間瀬大司, 岸川洋昭, 坂本篤裕: 鼠径部感覚鈍麻と腹直筋痙攣を伴う左下腹部痛. 日本ペインクリニック学会 53 回学術集会, 2019. 7.

26 救急医学分野

研究業績

論文等

- 1) 辻井 厚子, 石井 浩統, 中江 竜太, 増野 智彦, 原 義明, 横堀 将司, 松田 潔, 松本 尚, 畝本 恭子, 横田 裕行 : 30 年後の救急医療-次世代に向けて 30 年後の救急医療 今後求められる卒後教育を予想する. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :541.
- 2) 本村 友一, 松本 尚, 八木 貴典, 齋藤 伸行, 益子 一樹, 岡田 一宏, 安松 比呂志, 飯田 浩章, 阪本 太吾, 久城 正紀, 太田黒 崇伸 : 30 年後の救急医療-次世代に向けて 世界初"医師派遣システム起動のプラットフォーム"の可能性. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :540.
- 3) Nakae R, Yokobori S, Takayama Y, Kanaya T, Fujiki Y, Igarashi Y, Suzuki G, Naoe Y, Fuse A, Yokota H : A retrospective study of the effect of fibrinogen levels during fresh frozen plasma transfusion in patients with traumatic brain injury. *Acta neurochirurgica* 2019; 161 (9) :1943-1953. doi: 10.1007/s00701-019-04010-3.
- 4) 五十嵐 豊, 太田黒 崇伸, 田中 秀典, 内野 富, 廣澤 樹, 増野 智彦, 大和田 勇人, 松本 尚, 横田 裕行 : AI を用いた人工呼吸器離脱の予測と精度. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :654.
- 5) Yudai Yoshino, Yutaka Igarashi, Tatsuya Norii, Kim Sung Ho, Shimpei Nagata, Tatsuho Kobayashi, Hiroyuki Yokota : ASSOCIATION BETWEEN FOREIGN BODY AIRWAY OBSTRUCTION REMOVAL TIMING AND OUTCOME. *CRITICAL CARE MEDICINE* 2020; 48
- 6) Kim Sung Ho, Tatsuya Norii, Yutaka Igarashi, Shimpei Nagata, Yudai Yoshino, Takuro Hamaguchi, Riko Maejima, Tatsuho Kobayashi, Yozo Kashiwa, Yasuaki Mizushima, Hiroyuki Yokota : ASSOCIATION BETWEEN LOCATION OF FOREIGN BODY AIRWAY OBSTRUCTION INCIDENT AND SURVIVAL OUTCOME. *CRITICAL CARE MEDICINE* 2020; 48
- 7) 重田 健太, 金 史英, 田山 英樹, 溝渕 大騎, 瀧口 徹, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 新井 正徳, 増野 智彦, 横田 裕行 : Abdominal Compartment Syndrome(ACS)の治療戦略 当施設における Abdominal compartment syndrome(ACS)の治療戦略. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :277.
- 8) Sakamoto, Y, Nito, C, Nishiyama, Y, Suda, S, Matsumoto, N, Aoki, J, Shimoyama, T, Kanamaru, T, Suzuki, K, Go, Y, Mishina, M, Kimura, K : Accurate etiology diagnosis in patients with stroke and atrial fibrillation: A role for brain natriuretic peptide. *J Neurol Sci* 2019; 400:153-157.
- 9) 上田 太一郎, 益子 一樹, 船木 裕, 山本 真梨子, 阪本 太吾, 安松 比呂志, 本村 友一, 利光 靖子, 松本 尚 : Acute Care Surgeon に求められる surgical rescue. *Japanese Journal of Acute Care Surgery* 2019; 9 (1) :150.
- 10) 朽方 規喜, 益子 邦洋, 井上 淳, 吉田 宗生, 安藤 高夫, 上田 太一郎 : Acute Care Surgeon の働き方改革 二次救急医療機関における外科医の働き方改革への取り組み. *Japanese Journal of Acute Care Surgery* 2019; 9 (1) :93.
- 11) 瀧口 徹, 中島 幹男, 大邊 寛幸, 金 史英, 横田 裕行 : Acute Care Surgery を科学する 非閉塞性腸間膜虚血に対する血管拡張薬の有効性. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :554.
- 12) 重田 健太, 金 史英, 田山 英樹, 溝渕 大騎, 瀧口 徹, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 新井 正徳, 増野 智彦, 横田 裕行 : Acute care surger 領域における video-assisted thoracoscopy の必要性. *Japanese Journal of Acute Care Surgery* 2019; 9 (1) :156.
- 13) Hiroshi Homma, Jun Oda, Hidefumi Sano, Kentaro Kawai, Nobusato Koizumi, Hidetaka Uramoto, Norio Sato, Kazuki Mashiko, Hiroshi Yasumatsu, Masayuki Ito, Tomomi Fukuhara, Yo Watanabe, Shiei Kim, Shogo Hayashi, Shinichi Kawata, Makoto Miyawaki, Hidenobu Miyaso, Masahiro Itoh : Advanced cadaver-based educational seminar for trauma surgery using saturated salt solution-embalmed cadavers. *Acute medicine & surgery* 2019; 6 (2) :123-130. doi: 10.1002/ams2.390.
- 14) Toru Hifumi, Akihiko Inoue, Nobuaki Kokubu, Mamoru Hase, Naohiro Yonemoto, Yasuhiro Kuroda, Kenya Kawakita, Hirotaka Sawano, Yoshio Tahara, Kenji Nishioka, Shinichi Shirai, Hiroshi Hazui, Hideki Arimoto, Kazunori Kashiwase, Shunji Kasaoka, Tomokazu Motomura, Yuji Yasuga, Hiroyuki Yokoyama, Ken Nagao, Hiroshi Nonogi : Association between rewarming duration and

- neurological outcome in out-of-hospital cardiac arrest patients receiving therapeutic hypothermia. *Resuscitation* 2020; 146:170-177. doi: 10.1016/j.resuscitation.2019.07.029.
- 15) 大嶽 康介, 北口 彩子, 苛原 隆之, 邑田 悟, 佐藤 格夫, 小池 薫, 松田 潔, 横田 裕行 : CDI(Clostridium difficile infection)におけるラクトフェリンの保護効果. *日本救急医学会雑誌* 2019; 30 (9) :707.
 - 16) Takano I, Matsumoto Y, Fujii Y, Inoue Y, Sugiura Y, Kawamura Y, Suzuki R, Nakae R, Tanaka Y, Nagaishi M, Takigawa T, Hyodo A : Carotid surgical cut-down technique for neuroendovascular therapy. *Interventional Neuroradiology* 2019; 25 (3) :348-352.
 - 17) Satoshi Suda, Junya Aoki, Takashi Shimoyama, Takuya Kanamaru, Kanako Muraga, Kentaro Suzuki, Yuki Sakamoto, Akihito Kutsuna, Takuya Nishimura, Noriko Matsumoto, Chikako Nito, Yasuhiro Nishiyama, Masahiro Mishina, Kazumi Kimura : Characteristics of Acute Spontaneous Intracerebral Hemorrhage in Patients Receiving Oral Anticoagulants. *Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association* 2019; 28 (4) :1007-1014. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2018.12.013.
 - 18) Jeremy Zhenwen Pong, Stephanie Fook-Chong, Zhi Xiong Koh, Mas'uud Ibnu Samsudin, Takashi Tagami, Calvin J Chiew, Ting Hway Wong, Andrew Fu Wah Ho, Marcus Eng Hock Ong, Nan Liu : Combining Heart Rate Variability with Disease Severity Score Variables for Mortality Risk Stratification in Septic Patients Presenting at the Emergency Department. *International journal of environmental research and public health* 2019; 16 (10) doi: 10.3390/ijerph16101725.
 - 19) Sumanth Madhusudan Prabhakar, Takashi Tagami, Nan Liu, Mas'uud Ibnu Samsudin, Janson Cheng Ji Ng, Zhi Xiong Koh, Marcus Eng Hock Ong : Combining quick sequential organ failure assessment score with heart rate variability may improve predictive ability for mortality in septic patients at the emergency department. *PloS one* 2019; 14 (3) :e0213445. doi: 10.1371/journal.pone.0213445.
 - 20) Yutaka Kondo, Toru Hifumi, Junya Shimazaki, Yasutaka Oda, Shin-Ichiro Shiraishi, Kei Hayashida, Tatsuma Fukuda, Masahiro Wakasugi, Jun Kanda, Takashi Moriya, Masaharu Yagi, Takashi Kawahara, Michihiko Tonouchi, Shoji Yokobori, Hiroyuki Yokota, Yasufumi Miyake, Keiki Shimizu : Comparison between the Bouchama and Japanese Association for Acute Medicine Heatstroke Criteria with Regard to the Diagnosis and Prediction of Mortality of Heatstroke Patients: A Multicenter Observational Study. *International journal of environmental research and public health* 2019; 16 (18) doi: 10.3390/ijerph16183433.
 - 21) Hitoshi Kobata, Toru Hifumi, Eisei Hoshiyama, Kazuma Yamakawa, Kentaro Nakamura, Mitsuhito Soh, Yutaka Kondo, Shoji Yokobori : Comparison of diazepam and lorazepam for the emergency treatment of adult status epilepticus: a systemic review and meta-analysis. *Acute Medicine & Surgery* 2020; 7 (1) :e582. doi: 10.1002/ams2.582.
 - 22) 益子 一樹, 瀬尾 卓生, 安松 比呂志, 飯田 浩章, 本村 友一, 八木 貴典, 齋藤 伸行, 松本 尚 : Damage Control Ground Zero 「開胸心マッサージ」から「蘇生的開胸術」へ DC ground zero としての prehospital RT. *日本外傷学会雑誌* 2019; 33 (2) :192.
 - 23) Masatoku Arai, Shiei Kim, Hiromoto Ishii, Jun Hagiwara, Toru Takiguchi, Yoshito Ishiki, Hiroyuki Yokota : Delayed development of portal vein thrombosis in a patient initially detected with portal venous gas and pneumatosis intestinalis: a case report. *Acute medicine & surgery* 2019; 6 (4) :419-422. doi: 10.1002/ams2.448.
 - 24) Keishi Kawasaki, Mariko Yamamoto, Yusuke Suka, Yohei Kawasaki, Kyoji Ito, Daisuke Koike, Takatoshi Furuya, Motoki Nagai, Yukihiko Nomura, Nobutaka Tanaka, Yoshikuni Kawaguchi : Development and validation of a nomogram predicting postoperative pneumonia after major abdominal surgery. *Surgery today* 2019; 49 (9) :769-777. doi: 10.1007/s00595-019-01796-8.
 - 25) Aravin Kumar, Nan Liu, Zhi Xiong Koh, Jayne Jie Yi Chiang, Yuda Soh, Ting Hway Wong, Andrew Fu Wah Ho, Takashi Tagami, Stephanie Fook-Chong, Marcus Eng Hock Ong : Development of a heart rate variability and complexity model in predicting the need for life-saving interventions amongst trauma patients. *Burns & trauma* 2019; 7:12. doi: 10.1186/s41038-019-0147-2.
 - 26) Toru Kurihara, Yutaka Igarashi, Kaori Kobai, Taiki Mizobuchi, Hiromoto Ishii, Noriko Matsumoto, Shoji Yokobori, Hiroyuki Yokota : Diagnosis and prediction of prognosis for Bickerstaff's brainstem encephalitis using auditory brainstem response: a case report. *ACUTE MEDICINE & SURGERY* 2020; 7 (1) doi: 10.1002/ams2.517.
 - 27) 金子 純也, 栗原 貫, 佐藤 慎, 田中 知恵, 石木 義人, 福田 令雄, 中山 文彦, 北橋 章子, 工藤 小織, 久野 将宗, 畝本 恭子, 横田 裕行 : Double Board からみた脳神経外科救急、他 自己完結型救命センターに所属する神経救急医として. *Neurosurgical Emergency* 2020; 24 (3) :307.

- 28) 濱口 拓郎, 五十嵐 豊, 富永 直樹, 溝渕 大騎, 石井 浩統, 増野 智彦, 横堀 将司, 横田 裕行 : ECMO 管理 こうすればうまくいく 成人敗血症患者に対する ECMO の予後と適応に対する検討. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2020; 41 (1) :65.
- 29) 金 成浩, 五十嵐 豊, 永田 慎平, 乗井 達守, 水島 靖明, 横田 裕行 : ER から臨床研究を発信する 日本発の気道異物分類 MOCHI(Multi-center observational choking investigation). 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :608.
- 30) Chie Tanaka, Takashi Tagami, Junya Kaneko, Reo Fukuda, Fumihiko Nakayama, Shin Sato, Akiko Takehara, Saori Kudo, Masamune Kuno, Masayoshi Kondo, Kyoko Unemoto : Early versus late surgery after cervical spinal cord injury: a Japanese nationwide trauma database study. Journal of orthopaedic surgery and research 2019; 14 (1) :302. doi: 10.1186/s13018-019-1341-4.
- 31) Shibata A, Matano F, Fujiki Y, Mizunari T, Murai Y, Yokota H, Morita A : Efficacy of Thyrotropin-Releasing Hormone Analog for Protracted Disturbance of Consciousness due to Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage. Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association 2019; 28 (4) :988-993. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2018.12.036.
- 32) Junya Kaneko, Takahiro Ota, Takashi Tagami, Kyoko Unemoto, Keigo Shigeta, Tatsuo Amano, Masayuki Ueda, Yuji Matsumaru, Yoshiaki Shiokawa, Teruyuki Hirano : Endovascular treatment of acute basilar artery occlusion: Tama-REgistry of Acute Thrombectomy (TREAT) study. Journal of the neurological sciences 2019; 401:29-33. doi: 10.1016/j.jns.2019.04.010.
- 33) Shinjiro Saito, Shigehiko Uchino, Mineji Hayakawa, Kazuma Yamakawa, Daisuke Kudo, Yusuke Iizuka, Masamitsu Sanui, Kohei Takimoto, Toshihiko Mayumi, Yusuke Sasabuchi, Takeo Azuhata, Fumihito Ito, Shodai Yoshihiro, Katsura Hayakawa, Tsuyoshi Nakashima, Takayuki Ogura, Eiichiro Noda, Yoshihiko Nakamura, Ryosuke Sekine, Yoshiaki Yoshikawa, Motohiro Sekino, Keiko Ueno, Yuko Okuda, Masayuki Watanabe, Akihito Tampo, Nobuyuki Saito, Yuya Kitai, Hiroki Takahashi, Iwao Kobayashi, Yutaka Kondo, Wataru Matsunaga, Sho Nachi, Toru Miike, Hiroshi Takahashi, Shuhei Takauji, Kensuke Umakoshi, Takafumi Todaka, Hiroshi Kodaira, Kohkichi Andoh, Takehiko Kasai, Yoshiaki Iwashita, Hideaki Arai, Masato Murata, Masahiro Yamane, Kazuhiro Shiga, Naoto Hori : Epidemiology of disseminated intravascular coagulation in sepsis and validation of scoring systems. JOURNAL OF CRITICAL CARE 2019; 50:23-30. doi: 10.1016/j.jcrrc.2018.11.009.
- 34) Ryo Yamamoto, Masaru Suzuki, Kei Hayashida, Jo Yoshizawa, Atsushi Sakurai, Nobuya Kitamura, Takashi Tagami, Taka-Aki Nakada, Munekazu Takeda, Junichi Sasaki : Epinephrine during resuscitation of traumatic cardiac arrest and increased mortality: a post hoc analysis of prospective observational study. Scandinavian journal of trauma, resuscitation and emergency medicine 2019; 27 (1) :74. doi: 10.1186/s13049-019-0657-8.
- 35) 富田 恵実, 五十嵐 豊, 井上 正章, 栗原 貫, 遠山 健太郎, 古梅 香, 溝渕 大騎, 石井 浩統, 横堀 将司, 新井 正徳, 横田 裕行 : E 型肝炎による劇症肝炎の 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :263.
- 36) 富田 恵実, 五十嵐 豊, 井上 正章, 栗原 貫, 遠山 健太郎, 古梅 香, 溝渕 大騎, 石井 浩統, 横堀 将司, 新井 正徳, 横田 裕行 : E 型肝炎による劇症肝炎の一例. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :630.
- 37) 城川 雅光, 阪本 太吾, 苛原 隆之, 後藤 英昭 : FEMA Urban Search & Rescue Medical Team Specialist training から得た日本の救助医療連携への新たな貢献. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :703.
- 38) Riko Maejima, Yutaka Igarashi, Tatsuya Norii, Kim Sung Ho, Shimpei Nagata, Yudai Yoshino, Takuro Hamaguchi, Hiroyuki Yokota : FIRST AID TREATMENT BY LAYPERSONS TO PATIENTS WITH FOREIGN BODY AIRWAY OBSTRUCTION IMPROVES OUTCOMES. CRITICAL CARE MEDICINE 2020; 48
- 39) 山本晃之, 齋藤伸行, 安松比呂志, 本村友一, 益子一樹, 八木貴典, 松本尚 : Fallot 四徴症に伴う心室頻拍のため失神を来し受傷した交通外傷患者の一例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2019; 40 (1)
- 40) Takahito Nei, Jun Hagiwara, Toru Takiguchi, Shoji Yokobori, Kim Shiei, Hiroyuki Yokota, Mitsutoshi Senoh, Haru Kato : Fatal fulminant Clostridioides difficile colitis caused by Helicobacter pylori eradication therapy; a case report. Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy 2020; 26 (3) :305-308. doi: 10.1016/j.jiac.2019.10.021.
- 41) Shoji Yokobori, Kazuma Sasaki, Takahiro Kanaya, Yutaka Igarashi, Ryuta Nakae, Hidetaka Onda, Tomohiko Masuno, Satoshi Suda, Kota Sowa, Masataka Nakajima, Markus S Spurlock, Lee Onn Chieng, Tom G Hazel, Karl Johe, Shyam Gajavelli, Akira Fuse, M Ross Bullock, Hiroyuki Yokota : Feasibility of Human Neural Stem Cell Transplantation for the Treatment of Acute Subdural Hematoma in a Rat Model: A Pilot Study. Frontiers in neurology 2019; 10:82. doi: 10.3389/fneur.2019.00082.

- 42) Yokobori S, Sasaki K, Kanaya T, Igarashi Y, Nakae R, Onda H, Masuno T, Suda S, Sowa K, Nakajima M, Spurlock MS, Chieng LO, Hazel TG, Johe K, Gajavelli S, Fuse A, Bullock RM, Yokota H : Feasibility of human neural stem cell transplantation for the treatment of acute subdural hematoma in a rat model: a pilot study. *Frontiers in Neurology* 2019; 10:82.
- 43) Kaneko J, Tagami T, Unemoto K, Tanaka C, Kuwamoto K, Sato S, Tani S, Shibata A, Kudo S, Kitahashi A, Yokota H : Functional Outcome Following Ultra-Early Treatment for Ruptured Aneurysms in Patients with Poor-Grade Subarachnoid Hemorrhage. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (2) :81-90. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-203.
- 44) Takashi Tagami, Hiroki Matsui, Marcus Ong, Masamune Kuno, Junya Kaneko, Chie Tanaka, Kyoko Unemoto, Kiyohide Fushimi, Hideo Yasunaga : Haptoglobin use and acute kidney injury requiring renal replacement therapy among patients with severe burn injury: a nationwide database study. *Annals of Clinical Epidemiology* 2019; 1 (2) :69-75. doi: 10.37737/ace.1.2_69.
- 45) 金 史英, 重田 健太, 溝渕 大騎, 瀧口 徹, 田山 英樹, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 増野 智彦, 新井 正徳, 横田 裕行 : Hybrid ER で変わる救急医療 mobile DSA を導入した ER における非外傷性大量出血に対する治療成績. *日本救急医学会雑誌* 2019; 30 (9) :559.
- 46) 齋藤 伸行, 八木 貴典, 瀬尾 卓生, 飯田 浩章, 松本 尚, 横田 裕行 : ICU から生還後の QOL を向上するには? 救命救急センターICU 退院 1 年後の健康状態. *日本救急医学会雑誌* 2019; 30 (9) :556.
- 47) 恩田 秀賢, 土合 昌巳, 増野 智彦, 宮内 雅人, 辻井 厚子, 布施 明, 横田 裕行 : ICU から生還後の QOL を向上するには? 救命救急センターにおける長期予後改善を目指して 現状と課題. *日本救急医学会雑誌* 2019; 30 (9) :556.
- 48) Takayuki Irahara, Norio Sato, Kosuke Otake, Kazuo Inoue, Kaoru Koike, Hiroyuki Yokota : IF MUSCLE WORKS, USE IT! - POTENTIAL THERAPEUTIC EFFECTS OF EARLY MUSCLE STIMULATION IN ACUTE PHASE OF SEPSIS. *SHOCK* 2019; 51 (6) :90.
- 49) 苛原 隆之, 小西 愛美, 藤木 悠, 鈴木 剛, 米沢 光平, 田上 正茂, 小川 太志, 直江 康孝, 横田 裕行 : IIIb 型腓骨骨折に対し内視鏡的腓骨ドレナージによる非手術療法が有効であった 1 例. *日本救急医学会関東地方会雑誌* 2020; 41 (2) :302-306.
- 50) 船木 裕, 安松 比呂志, 上田 太一郎, 山本 真梨子, 阪本 太吾, 利光 靖子, 益子 一樹, 松本 尚 : IVR 後の遅発性狭窄により結腸穿孔に至った上腸間膜動脈損傷の一例. *日本腹部救急医学会雑誌* 2020; 40 (2) :399.
- 51) Masayasu Horibe, Masamitsu Sanui, Mitsuhito Sasaki, Hitoshi Honda, Yuki Ogura, Shin Namiki, Hirotaka Sawano, Takashi Goto, Tsukasa Ikeura, Tsuyoshi Takeda, Takuya Oda, Hideto Yasuda, Dai Miyazaki, Kaoru Hirose, Katsuya Kitamura, Nobutaka Chiba, Tetsu Ozaki, Takahiro Yamashita, Toshitaka Koinuma, Taku Oshima, Tomonori Yamamoto, Morihisa Hirota, Satoshi Yamamoto, Kyoji Oe, Tetsuya Ito, Yukiko Masuda, Nobuyuki Saito, Eisuke Iwasaki, Takanori Kanai, Toshihiko Mayumi : Impact of Antimicrobial Prophylaxis for Severe Acute Pancreatitis on the Development of Invasive Candidiasis: A Large Retrospective Multicenter Cohort Study. *Pancreas* 2019; 48 (4) :537-543. doi: 10.1097/MPA.0000000000001269.
- 52) Takashi Tagami, Hideharu Tanaka, Sang Do Shin, Matthew Huei - Ming Ma, Patrick Chow - in Ko, Sarah Karim, Pairoj Khruengkarnchana, Ghulam Yasin Naroo, Marcus Eng Hock Ong : Impact of population aging on the presentation of out - of - hospital cardiac arrest in the Pan Asian Resuscitation Outcomes Study. *Acute Medicine & Surgery* 2019; 7 (1) doi: 10.1002/ams2.430.
- 53) Matano F, Murai Y, Mizunari T, Yamaguchi M, Yamada T, Baba E, Shibata A, Tamaki T, Morita A : Incision of the anterior petroclinoid fold during clipping for securing the proximal space of an internal carotid artery-posterior communicating artery aneurysm: a technical note. *Neurosurgical review* 2019; 42 (3) :777-781. doi: 10.1007/s10143-019-01121-4.
- 54) Fujii Y, Nagaishi M, Nakae R, Takigawa T, Tanaka Y, Suzuki K : Intracranial endodermal cyst presenting with nonobstructive hydrocephalus: a case report. *Medicine (Baltimore)* 2019; 98 (6) :e14322.
- 55) Chie Tanaka, Takashi Tagami, Kyoko Unemoto, Saori Kudo, Akiko Takehara, Junya Kaneko, Hiroyuki Yokota : Intracranial pressure management and neurological outcome for patients with mild traumatic brain injury who required neurosurgical intervention: a Japanese database study. *Brain injury* 2019; 33 (7) :869-874. doi: 10.1080/02699052.2019.1614667.
- 56) Sakamoto, Y, Okubo, S, Nito, C, Nishiyama, Y, Suda, S, Matsumoto, N, Aoki, J, Shimoyama, T, Kanamaru, T, Muraga, K, Suzuki, K, Mishina, M, Kimura, K : Ischemic stroke during anticoagulant interruption by healthcare professionals in stroke patients with atrial fibrillation. *J Neurol Sci* 2019; 400:113-118.
- 57) Life-threatening foreign body airway obstruction: Case series and new classification proposal. *Am J Emerg Med.* 2019

- 58) Kyoji Ito, Yusuke Suka, Motoki Nagai, Keishi Kawasaki, Mariko Yamamoto, Daisuke Koike, Yukihiro Nomura, Nobutaka Tanaka, Yoshikuni Kawaguchi : Lower risk of postoperative delirium using laparoscopic approach for major abdominal surgery. *Surgical endoscopy* 2019; 33 (7) :2121-2127. doi: 10.1007/s00464-018-6483-7.
- 59) 前島 璃子, 中江 竜太, 清水 裕介, 秋月光, 田山 英樹, 瀧口 徹, 恩田 秀賢, 辻井 厚子, 新井 正徳, 増野 智彦, 布施 明, 横田 裕行 : MRI で淡蒼球に異常信号を認めた重症貧血の一例. *日本救急医学会関東地方会雑誌* 2020; 41 (1) :114.
- 60) 前島 璃子, 中江 竜太, 秋月光, 田山 英樹, 瀧口 徹, 恩田 秀賢, 辻井 厚子, 新井 正徳, 増野 智彦, 布施 明, 横田 裕行 : MRI で淡蒼球に異常信号域を認めた重症貧血の1例. *日本医科大学医学会雑誌* 2019; 15 (4) :265-266.
- 61) Nakae R, Nagaishi M, Kawamura Y, Tanaka Y, Hyodo A, Suzuki K : Microhemorrhagic transformation of ischemic lesions on T2*-weighted magnetic resonance imaging after Pipeline embolization device treatment. *Journal of Neurosurgery* 2019; 130 (6) :1997-2004.
- 62) Takayuki Irahara, Norio Sato, Kosuke Otake, Satoru Murata, Kazuo Inoue, Kaoru Koike, Hiroyuki Yokota : Neuromuscular Electrical Stimulation Improves Energy Substrate Metabolism and Survival in Mice With Acute Endotoxic Shock. *Shock (Augusta, Ga.)* 2020; 53 (2) :236-241. doi: 10.1097/SHK.0000000000001354.
- 63) Yutaka Igarashi, Tatsuya Norii, Kim Sung-Ho, Shimpei Nagata, Takashi Tagami, Jon Femling, Yasuaki Mizushima, Hiroyuki Yokota : New classifications for Life-threatening foreign body airway obstruction. *The American journal of emergency medicine* 2019; 37 (12) :2177-2181. doi: 10.1016/j.ajem.2019.03.015.
- 64) Takuro Hamaguchi, Yutaka Igarashi, Tatsuya Norii, Yudai Yoshino, Riko Maejima, Shimpei Nagata, Kim Sung Ho, Hiroyuki Yokota : PREHOSPITAL ENDOTRACHEAL INTUBATION FOR CARDIAC ARREST DUE TO FOREIGN BODY AIRWAY OBSTRUCTION. *CRITICAL CARE MEDICINE* 2020; 48
- 65) Yokobori Shoji, Suehiro Eiichi, Sasaki Kazuma, Igarashi Yutaka, Nakae Ryuta, Onda Hidetaka, Fuse Akira, Suzuki Michiyasu, Yokota Hiroyuki : PROGNOSTIC FACTORS OF INTENSIVE TREATMENT FOR GERIATRIC TBI: ANALYSIS OF 1,879 CASES FROM JAPAN NEUROTRAUMA DATA BANK. *JOURNAL OF NEUROTRAUMA* 2019; 36 (13) :A21.
- 66) Masatoku Arai, Shiei Kim, Hiromoto Ishii, Toru Takiguchi, Hiroyuki Yokota : Portal venous gas in adults: The clinical significance, management and outcomes of 25 consecutive cases. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2020; 88 (2) :88-96. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2021_88-201.
- 67) 齋藤 伸行 : Post EUPHRATES 時代の PMX-DHP PMX-DHP のエビデンスのまとめから なぜ有効性が示せないのか、有効な症例はあるのか. *日本外科感染症学会雑誌* 2019; 16 (5) :464.
- 68) Lee Onn Chieng, Shoji Yokobori, Markus Spurlock, Shyam Gajavelli, Tom Hazel, Karl Johe, M. Ross Bullock : Potential of Human Neural Stem Cell Transplantation to Treat Acute Subdural Hematoma. *NEUROSURGERY* 2019; 66:179.
- 69) 五十嵐 豊, 乗井 達守, 金 成浩, 永田 慎平, 吉野 雄大, 濱口 拓郎, 前島 璃子, 横田 裕行 : Pre-Hospital 消防と医療の連携 こうすればうまくいく プレホスピタルでの消防と医療の連携が気道異物による窒息の予後を変える 日本発の窒息研究 MOCHI. *日本救急医学会関東地方会雑誌* 2020; 41 (1) :56.
- 70) 本村 友一, 久城 正紀, 太田黒 崇伸, 八木 貴典, 齋藤 伸行, 益子 一樹, 岡田 一宏, 安松 比呂志, 阪本 太吾, 飯田 浩章, 瀬尾 卓生, 上田 太一朗, 松本 尚 : Pre-Hospital 消防と医療の連携 こうすればうまくいく 動画伝送を伴った救急(119番)通報が消防と医療の連携に寄与する(スマホ 119 プロジェクト). *日本救急医学会関東地方会雑誌* 2020; 41 (1) :58.
- 71) Murai Y, Sato S, Yui K, Morimoto D, Ozeki T, Yamaguchi M, Tateyama K, Nozaki T, Tahara S, Yamaguchi F, Morita A : Preliminary Clinical Microneurosurgical Experience With the 4K3-Dimensional Microvideoscope (ORBEYE) System for Microneurological Surgery: Observation Study. *Operative neurosurgery (Hagerstown, Md.)* 2019; 16 (6) :707-716. doi: 10.1093/ons/opy277.
- 72) Shunsuke Amagasa, Masahiro Kashiura, Takashi Moriya, Satoko Uematsu, Naoki Shimizu, Atsushi Sakurai, Nobuya Kitamura, Takashi Tagami, Munekazu Takeda, Yasufumi Miyake : Relationship between institutional case volume and one-month survival among cases of paediatric out-of-hospital cardiac arrest. *Resuscitation* 2019; 137:161-167. doi: 10.1016/j.resuscitation.2019.02.021.
- 73) Nakae R, Yokobori S, Takayama Y, Kanaya T, Fujiki Y, Igarashi Y, Suzuki G, Naoe Y, Fuse A, Yokota H : Response to letter to the editor regarding "A retrospective study of the effect of fibrinogen levels during fresh frozen plasma transfusion in patients with traumatic brain injury". *Acta neurochirurgica* 2019; 161 (12) :2481-2482. doi: 10.1007/s00701-019-04078-x.

- 74) Nakae R, Yokobori S, Takayama Y, Kanaya T, Fujiki Y, Igarashi Y, Suzuki G, Naoe Y, Fuse A, Yokota H : Response to letter to the editor regarding “A retrospective study of the effect of fibrinogen levels during fresh frozen plasma transfusion in patients with traumatic brain injury”. *Acta Neurochirurgica* 2019; 161 (12) :2481-2482.
- 75) Kazuhiro Okada : Revision of 'golden hour' for hemodynamically unstable trauma patients: an analysis of nationwide hospital-based registry in Japan. *Trauma surgery & acute care open* 2020 doi: 10.1136/tsaco-2019-000405.
- 76) Matano F, Fujiki Y, Mizunari T, Koketsu K, Tamaki T, Murai Y, Yokota H, Morita A : Serum Glucose and Potassium Ratio as Risk Factors for Cerebral Vasospasm after Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage. *Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association* 2019; 28 (7) :1951-1957. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2019.03.041.
- 77) Characteristics of Acute, Spontaneous Intracerebral Hemorrhage in, Patients Receiving Oral Anticoagulants : Suda, S., Aoki, J., Shimoyama, T., Kanamaru, T., Muraga, K., Suzuki, K., Sakamoto, Y., Kutsuna, A., Nishimura, T., Matsumoto, N., Nito, C., Nishiyama, Y., Mishina, M. and Kimura, K. *J Stroke Cerebrovasc Dis* 2019; 28:1007-104.
- 78) Hiromasa Irie, Hiroshi Okamoto, Shigehiko Uchino, Hideki Endo, Masatoshi Uchida, Tatsuya Kawasaki, Junji Kumasawa, Takashi Tagami, Hidenobu Shigemitsu, Eiji Hashiba, Yoshitaka Aoki, Hiroshi Kurosawa, Junji Hatakeyama, Nao Ichihara, Satoru Hashimoto, Masaji Nishimura : The Japanese Intensive care Patient Database (JIPAD): A national intensive care unit registry in Japan. *Journal of critical care* 2020; 55:86-94. doi: 10.1016/j.jcrrc.2019.09.004.
- 79) Mai Thi Ngoc Nguyen, Nobuyuki Saito, Yukiko Wagatsuma : The effect of comorbidities for the prognosis of community-acquired pneumonia: an epidemiologic study using a hospital surveillance in Japan. *BMC research notes* 2019; 12 (1) :817. doi: 10.1186/s13104-019-4848-1.
- 80) Tomokazu Motomura, Hisashi Matsumoto, Hiroyuki Yokota, Mototsugu Suzuki, Tetsuya Nishimoto, Sadayuki Ujihashi : Thoracoabdominal Compression Model of Traumatic Asphyxia to Identify Mechanisms of Respiratory Failure in Fatal Crowd Accidents. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2020; 86 (6) :310-321. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-607.
- 81) Nakae Ryuta, Yokobori Shoji, Takayama Yasuhiro, Kanaya Takahiro, Fujiki Yu, Igarashi Yutaka, Suzuki Go, Naoe Yasutaka, Fuse Akira, Yokota Hiroyuki : Time Course of Coagulation and Fibrinolytic Parameters in Patients with Traumatic Brain Injury. *BRAIN INJURY* 2019; 33:39.
- 82) Koji Takagi, Takashi Tagami : Work-style reform of emergency physicians: the Japanese experience. *European journal of emergency medicine : official journal of the European Society for Emergency Medicine* 2019; 26 (6) :398-399. doi: 10.1097/MEJ.0000000000000640.
- 83) 安松 比呂志, 本村 友一, 飯田 浩章, 益子 一樹, 八木 貴典, 齋藤 信行, 松本 尚, 横田 裕行 : damage control と大動脈遮断 当施設における大動脈遮断方法の検討. *日本外傷学会雑誌* 2019; 33 (2) :190.
- 84) 金 史英, 重田 健太, 田山 英樹, 溝渕 大騎, 瀧口 徹, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 増野 智彦, 新井 正徳, 横田 裕行 : mobile DSA を設置した ER 手術室における動脈瘤破裂に対する治療戦略. *Japanese Journal of Acute Care Surgery* 2019; 9 (1) :156.
- 85) 本村友一, 松本尚, 久城正紀, 平林篤志, 松本勉, 浅野仁志, 小林祐太 : “動画伝送”と“顔自動認識”による救急(119 番)通報革命. *全国救急隊員シンポジウム(CD-ROM)* 2019; 27th
- 86) 益子一樹, 瀬尾卓生, 安松比呂志, 飯田浩章, 本村友一, 八木貴典, 齋藤伸行, 松本尚 : 「開胸心マッサージ」から「蘇生的開胸術」へ~DC ground zero としての prehospital RT~. *日本外傷学会抄録号* 2019; 33rd
- 87) 横堀 将司 : 【ICU 治療指針 1】中枢神経疾患と管理 頭蓋内圧亢進/頭蓋内圧モニタリング/頭蓋内圧降下療法. *救急・集中治療* 2019; 31 (2) :329-334.
- 88) 青木 善孝, 一原 直昭, 入江 洋正, 内田 雅俊, 内野 滋彦, 遠藤 英樹, 岡本 洋史, 川崎 達也, 黒澤 寛史, 熊澤 淳史, 重光 秀信, 田上 隆, 橋場 英二, 橋本 悟, 畠山 淳司, 徳増 裕宣, 日本集中治療医学会 ICU 機能評価委員会 JIPAD ワーキンググループ(2018 年度) : 【ビッグデータと ICU におけるプレジジョン・メディシン】JIPAD(Japanese Intensive Care Patient Database)の構築. *ICU と CCU* 2019; 43 (4) :185-190.
- 89) 横堀 将司, 斉藤 徳子 : 【判断に自信がつく!Emer-Log 流 救急外傷ケーススタディ】救急外傷ケーススタディ 入院を拒否する頭部打撲の患者。やむなく独歩退院としたら. *Emer Log* 2020; 33 (1) :16-23.
- 90) 中江 竜太, 横堀 将司, 横田 裕行 : 【専門医なら知っておきたい 疾患・術式別 脳神経外科手術合併症の回避・対処法 Q&A 156】(2 章)

- 外傷 開頭血腫除去術 抗血栓薬を服用している場合の対応は?. 脳神経外科速報 2019; (2019 増刊) :45-46.
- 91) 中江 竜太, 横堀 将司, 横田 裕行:【専門医なら知っておきたい 疾患・術式別 脳神経外科手術合併症の回避・対処法 Q&A 156】(2 章) 外傷 開頭血腫除去術 正確な開頭範囲はどう決める?. 脳神経外科速報 2019; (2019 増刊) :40-41.
- 92) 中江 竜太, 横堀 将司, 横田 裕行:【専門医なら知っておきたい 疾患・術式別 脳神経外科手術合併症の回避・対処法 Q&A 156】(2 章) 外傷 開頭血腫除去術 静脈洞が損傷しているときの対応は?. 脳神経外科速報 2019; (2019 増刊) :42-43.
- 93) 中江 竜太, 横堀 将司, 横田 裕行:【専門医なら知っておきたい 疾患・術式別 脳神経外科手術合併症の回避・対処法 Q&A 156】(2 章) 外傷 開頭血腫除去術 頭部外傷に伴う凝固線溶系障害の対応は?. 脳神経外科速報 2019; (2019 増刊) :44.
- 94) 横堀 将司:【生理学】脳圧と脳灌流血流の生理学 脳生理の特殊性を知り,治療に生かす. Intensivist 2020; 12 (1) :3-9.
- 95) 稲次 基希, 橋本 聡華, 山村 俊弘, 平井 作京, 山本 崇裕, 高橋 暁, 唐鎌 淳, 河野 能久, 五十嵐 豊, 中江 竜太, 恩田 秀賢, 横堀 将司, 布施 明, 横田 裕行, 前原 健寿:【頭部外傷データベース[プロジェクト 2015]】重症頭部外傷後けいれんの検討 日本頭部外傷データベースプロジェクト 2015 の分析. 神経外傷 2019; 42 (2) :189-194.
- 96) 石井 浩統, 溝渕 大騎, 五十嵐 豊, 恩田 秀賢, 横堀 将司, 増野 智彦, 小笠原 智子, 宮内 雅人, 布施 明, 辻井 厚子, 横田 裕行:あなたの教え方、間違ってますか?部下やチームを育てる方法を議論する 救急診療現場におけるオンザジョブトレーニング トヨタ生産方式の試み. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :589.
- 97) 佐々木和馬, 金谷貴大, 山口昌紘, 瀧口徹, 五十嵐豊, 中江竜太, 恩田秀賢, 横堀将司, 布施明, 横田裕行:くも膜下出血を契機に脳動脈瘤と内頸動脈解離を診断した一例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2019; 40 (1)
- 98) 藤木 悠, 亦野 文宏, 直江 康孝, 森田 明夫, 横田 裕行:くも膜下出血後の脳血管攣縮の危険因子. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :690.
- 99) 稲葉 基高, 坂田 大三, 本村 友一, 富岡 譲二:これでいいのか!災害時のヘリ運用 令和元年台風 15 号被害対応における民間ヘリコプターの活用と課題. Japanese Journal of Disaster Medicine 2019; 24 (3) :320.
- 100)本村 友一, 平林 篤志, 寺井 孝宏, 武藤 香織, 小原 裕樹, 武政 輝希, 伊崎田 和歌, 嶋村 文彦, 高橋 礼子, 松田 宏樹, 鈴木 教久, 近藤 久禎:これでいいのか、DMAT! 令和元年台風第 15 号災害における千葉県庁 DMAT 調整本部における医療搬送調整. Japanese Journal of Disaster Medicine 2019; 24 (3) :163.
- 101)益子 一樹, 安松 比呂志, 本村 友一, 八木 貴典, 松本 尚, 中西 加寿也, 立石 順久:これでいいのか、MCI 対応! 地域多数傷病者対応計画"Plan Red"の展開. Japanese Journal of Disaster Medicine 2019; 24 (3) :178.
- 102)長野 慎彦, 近藤 匡慶, 津田 充穂, 菅谷 量俊, 田上 隆, 金子 純也, 工藤 小織, 久野 将宗, 畝本 恭子, 高瀬 久光:てんかん重積患者に対するイーケブラ点滴静注の薬物動態および有用性の検討. 日本臨床救急医学会雑誌 2019; 22 (2) :308.
- 103)中江 竜太, 布施 明, 横田 裕行, 佐々木 和馬, 金谷 貴大, 富永 直樹, 瀧口 徹, 五十嵐 豊, 萩原 純, 金 史英, 横堀 将司:カイロプラクティックにより両側外傷性頸部内頸動脈解離を来したと考えられた 1 例. 日本外傷学会雑誌 2019; 33 (4) :398-402. doi:10.11382/jjast.33.398.
- 104)中江 竜太, 佐々木 和馬, 金谷 貴大, 富永 直樹, 瀧口 徹, 五十嵐 豊, 萩原 純, 金 史英, 横堀 将司, 布施 明, 横田 裕行:カイロプラクティックにより両側外傷性頸部内頸動脈解離を来したと考えられた 1 例. 日本外傷学会雑誌 2019; 33 (4) :398-402.
- 105)益子一樹, 安松比呂志, 本村友一, 飯田浩章, 齋藤伸行, 八木貴典, 松本尚:ターニケット使用,「普及」だけでよいのか(第 1 報). 日本救急医学会関東地方会雑誌 2019; 40 (1)
- 106)石木 義人, 齋藤 研, 佐藤 慎, 田中 知恵, 北橋 章子, 金子 純也, 工藤 小織, 中山 文彦, 福田 怜雄, 久野 将宗, 畝本 恭子:ドクターカー出動により搬送し緊急手術を行い救命した Morgagni 孔ヘルニア嵌頓の 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :324.
- 107)齋藤 研, 金子 純也, 佐藤 慎, 田中 知恵, 中山 文彦, 福田 令雄, 北橋 章子, 工藤 小織, 久野 将宗, 畝本 恭子:プレホスピタルから救命医が初期診療に参加し、転機良好となった脳卒中の一例. Journal of Japan Society of Neurological Emergencies & Critical Care 2019; 32 (1) :41.
- 108)前島 璃子, 石井 浩統, 中江 竜太, 秋月 光, 田山 英樹, 瀧口 徹, 恩田 秀賢, 金 史英, 横田 裕行:ポリスチレンスルホン酸カルシウム服用中に腸管穿孔をきたした 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :371.
- 109)黒田 紘典, 益子 一樹, 阪本 太吾, 安松 比呂志, 本村 友一, 飯田 浩章, 齋藤 伸行, 八木 貴典, 松本 尚:ライオン咬傷による顔面開放骨折の 1 例. 日本外傷学会雑誌 2019; 33 (2) :222.

- 110)杉本貴史, 久城正紀, 安松比呂志, 本村友一, 益子一樹, 齋藤伸行, 八木貴典, 松本尚: 一般用医薬品によるカフェイン中毒の2例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2019; 40 (1)
- 111)渡邊顕弘, 松田潔, 望月徹, 菊池広子, 石丸直樹, 大嶽康介, 城戸教裕, 足立好司, 横田裕行: 一酸化炭素中毒による遅発性脳症症例におけるMRSの変遷. 日本集中治療医学会学術集会 2019; 46th:ROMBUNNO.O101 - 1 (WEB ONLY).
- 112)鈴木 雅規, 小南 修史, 立山 幸次郎, 藤木 悠, 足立 好司, 森田 明夫: 上眼静脈へ流出路を有する海綿静脈洞部硬膜動静脈瘻に対する前方アプローチの検討. 脳血管内治療 2019; 4 (Suppl.) :S108.
- 113)中山 文彦, 福田 令雄, 石木 義人, 田上 隆, 横田 裕行: 上腸間膜動脈塞栓症の治療経験 血栓溶解療法の有用性と限界. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2019; 9 (1) :186.
- 114)横堀 将司, 末廣 栄一, 佐々木 和馬, 金谷 貴大, 山口 昌紘, 五十嵐 豊, 中江 竜太, 恩田 秀賢, 布施 明, 鈴木 倫保, 横田 裕行: 不断前進・外傷診療 重症頭部外傷診療の現状と今後の課題 日本頭部外傷データベース症例 4,527 例からの解析. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :601.
- 115)横堀 将司, 佐々木 和馬, 金谷 貴大, 山口 昌紘, 五十嵐 豊, 中江 竜太, 恩田 秀賢, 柴田 泰史, 増野 智彦, 布施 明, 横田 裕行: 不断前進・心肺蘇生 心停止後症候群患者における脳幹機能測定の臨床的意義 正確な転帰予測を目指して. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :542.
- 116)本村友一, 松本尚, 八木貴典, 齋藤伸行, 益子一樹, 岡田一宏, 安松比呂志, 飯田浩章, 阪本太吾, 久城正紀, 太田黒崇伸: 世界初 “医師派遣システム起動のプラットフォーム”の可能性. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9 (Web))
- 117)土谷 飛鳥, 久志本 成樹, 伊藤 香, 遠藤 彰, 大邊 寛幸, 小倉 崇以, 桂 守弘, 工藤 大介, 近藤 豊, 白石 淳, 関根 和彦, 田上 隆, 中尾 俊一郎, 萩原 章嘉, 松村 洋輔, 松本 松圭, 早川 峰司, 一二三 亨, 安田 英人, 山川 一馬, 湯本 哲也, 吉村 有矢, 日本外傷学会多施設臨床研究委員会: 中等から重症外傷疾患に対する病院生存退院後の自然史、QOL、社会復帰に関する多施設共同研究. 日本外傷学会雑誌 2019; 33 (2) :172.
- 118)本村 友一: 事故自動通報システム(ACN、AACN、D-Call Net)の質の向上を目指して D-Call Net によるドクターヘリ出動(2019年). 日本交通科学学会誌 2019; 19 (Suppl.) :48.
- 119)洲藤 栄男, 浮田 幹雄, 増野 智彦, 五十嵐 豊, 横堀 将司, 新井 正徳, 横田 裕行: 二次救急搬送された低血糖傷病者の意識レベルと搬送中の変化について. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2020; 41 (1) :169.
- 120)黒瀬 寿和, 西本 哲也, 菊池 厚躬, 富永 茂, 本村 友一: 交通事故による胸腰椎骨折の骨折形態の解析. バイオエンジニアリング講演会講演論文集 2019; 2019.31:2E23. doi: 10.1299/jsmebio.2019.31.2e23.
- 121)本村 友一: 交通事故死者数 2,500 人以下を達成するための新たな取り組み “スマホ 119(動画伝送通報)”による救急通報革命. 日本交通科学学会誌 2019; 19 (Suppl.) :38.
- 122)山内 延貴, 本村 友一, 伊崎田 和歌, 嶋村 文彦, 松本 尚: 令和台風第 19 号発生時の千葉県内 EMIS 入力状況に係る報告. Japanese Journal of Disaster Medicine 2019; 24 (3) :272.
- 123)横堀 将司, 富永 直樹, 重田 健太, 瀧口 徹, 五十嵐 豊, 石井 浩統, 中江 竜太, 恩田 秀賢, 布施 明, 横田 裕行: 体温管理をめぐる諸問題 2019 熱中症治療における自動体温管理デバイスの効果 体外冷却か、体内冷却か?Heatstroke Study 2017-2018 からの検討. 日本脳低温療法・体温管理学会プログラム・抄録集 2019; 22 回:44.
- 124)石井 浩統, 新井 正徳, 金 史英, 石木 義人, 瀧口 徹, 萩原 純, 小笠原 智子, 辻井 厚子, 横田 裕行: 入院経過中に腸管気腫および門脈気腫を来した鈍的外傷の1例. 日本外傷学会雑誌 2019; 33 (2) :270.
- 125)米内山 真之介, 上田 太一郎, 山本 真梨子, 阪本 太吾, 安松 比呂志, 益子 一樹, 松本 尚, 袴田 健一: 出血性十二指腸潰瘍、切迫心停止に対するダメージコントロール手術症例の経験. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2019; 9 (1) :184.
- 126)本村 友一, 松本 尚, 久城 正紀, 太田黒 崇伸, 平林 篤志, 寺井 孝宏, 武藤 香織, 本庄 貴志, 水野 憲宏: 動画を伴う救急通報(スマホ 119)による 83 年ぶりのパラダイムシフト. 日本臨床救急医学会雑誌 2019; 22 (2) :235.
- 127)本村友一, 久城正紀, 太田黒崇伸, 松本尚, 八木貴典, 齋藤伸行, 益子一樹, 岡田一宏, 安松比呂志, 阪本太吾: 動画伝送・顔自動認証を伴った救急通報による緊急度判定の精度向上(スマホ 119 プロジェクト). 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9 (Web))
- 128)上嶋 聡, 本村 友一, 松本 尚, 八木 貴典, 益子 一樹, 安松 比呂志, 阪本 太吾, 石川 浩平, 上田 太一郎, 大田黒 崇伸, 船木 裕, 杉本 貴史, 粕川 宗太郎: 北総救命. 日本航空医療学会雑誌 2019; 20 (2) :171.

- 129)米内山 真之介, 上田 太一朗, 山本 真梨子, 阪本 太吾, 安松 比呂志, 益子 一樹, 松本 尚, 袴田 健一: 北総救命における、ACS フェローシッププログラムへの参加経験. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2019; 9 (1) :130.
- 130)富永 茂, 西本 哲也, 本村 友一, 松本 尚: 医工連携交通事故分析のあり方 大学による医工学連携交通事故実態調査から見えてきた自動車安全の課題. 日本交通科学学会誌 2019; 19 (Suppl.) :58.
- 131)朽方 規喜, 益子 邦洋, 本村 友一: 医工連携交通事故分析のあり方 心損傷における医工連携交通事故分析 ミクロ調査から見えてきた現場へのフィードバック. 日本交通科学学会誌 2019; 19 (Suppl.) :59.
- 132)中井 豊, 市川 学, 亀沢 貴宏, 齋藤 知樹, 松本 尚, 本村 友一, 久城 正紀: 医療機関スタッフのシフト作成システムにおける QOL 向上に向けた検討. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :848.
- 133)栗原 貫, 五十嵐 豊, 富田 恵美, 井上 正章, 遠山 健太郎, 古梅 香, 溝渕 大騎, 石井 浩統, 横堀 将司, 横田 裕行: 原因不明の意識障害から良好な転帰を得た Bickerstaff 脳幹脳炎の一例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2020; 41 (1) :115.
- 134)益子 一樹, 山本 真梨子, 久城 正紀, 本村 友一, 松本 尚, 寺井 孝宏, 武藤 香織, 山内 延貴: 台風 15 号「Faxai」関連災害における DMAT 活動 戦略構築における直接訪問の重要性. Japanese Journal of Disaster Medicine 2019; 24 (3) :343.
- 135)石川源, 平林篤志, 久城正紀, 山内延貴, 本村友一: 周産期症例を組み込んだ災害訓練の実施経験. Japanese Journal of Disaster Medicine 2019; 23 (3)
- 136)梁井香那子, 石丸直樹, 松田潔, 菊池広子, 大嶽康介, 渡邊顕弘, 城戸教裕, 鈴木雅規: 呼吸停止で来院した,出血発症頭蓋頸椎移行部硬膜動静脈瘻の 1 症例. 日本集中治療医学会学術集会 2019; 46th:ROMBUNNO.P23 - 3 (WEB ONLY).
- 137)黒田紘典, 安松比呂志, 本村友一, 益子一樹, 八木貴典, 松本尚: 外傷性膝窩動脈損傷の 1 例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2019; 40 (1)
- 138)安松 比呂志, 益子 一樹, 船木 裕, 上田 太一朗, 山本 真梨子, 阪本 太吾, 利光 靖子, 松本 尚, 横田 裕行: 外傷性腓損傷の治療戦略 腓損傷の症例数と術式の変化. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :264.
- 139)佐々木和馬, 立山幸次郎, 城戸教裕, 渡邊顕弘, 大嶽康介, 田上隆, 菊池広子, 松田潔, 足立好司, 横田裕行: 外傷性視交叉部断裂の一例. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9 (Web))
- 140)苛原 隆之, 藤木 悠, 鈴木 剛, 米沢 光平, 田上 正茂, 小川 太志, 直江 康孝, 横田 裕行: 外傷診療における IABO/REBOA の有効な活用法は根本止血術と同時使用もしくは予防的挿入である. 日本外傷学会雑誌 2019; 33 (2) :245.
- 141)伊崎田和歌, 後藤達也, 本村友一: 多職種連携による災害時リハビリテーション支援受援体制の構築と課題について-千葉県における取り組み-. Japanese Journal of Disaster Medicine 2019; 23 (3)
- 142)小原 俊彦, 若栗 大朗, 山方 俊弘, 上原 和幸, 出川 龍哉, 須崎 真, 小野寺 直子, 松田 直人, 兵働 英也, 川井 真, 安武 正弘: 大病院総合診療科にて病院総合診療専門医の育成は可能か? 本院および全国の大学の現状をふまえて. 日本病院総合診療医学会雑誌 2019; 15 (6) :585.
- 143)重田 健太, 金 史英, 田山 英樹, 溝渕 大騎, 瀧口 徹, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 新井 正徳, 増野 智彦, 横田 裕行: 大腸穿孔に対する治療戦略 救命救急センターにおける大腸穿孔の検討 二期の手術は有効か?. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :271.
- 144)石川 源, 平林 篤志, 久城 正紀, 山内 延貴, 本村 友一: 大規模災害において、受傷妊婦は発見されず、アンダートリアージされる. Japanese Journal of Disaster Medicine 2019; 24 (3) :303.
- 145)遠藤 彰, 久志本 成樹, 伊藤 香, 大邊 寛幸, 小倉 崇以, 桂 守弘, 工藤 大介, 近藤 豊, 白石 淳, 関根 和彦, 田上 隆, 土谷 飛鳥, 中尾 俊一郎, 萩原 章嘉, 松村 洋輔, 松本 松圭, 早川 峰司, 一二三 亨, 安田 英人, 山川 一馬, 湯本 哲也, 吉村 有矢, 日本外傷学会多施設臨床研究委員会: 大量輸血を要する重症外傷患者における超急性期の輸液 輸血蘇生戦略に関する多施設共同後ろ向き観察研究. 日本外傷学会雑誌 2019; 33 (2) :173.
- 146)笠野 小百合, 佐川 慧, 柴田 あみ, 山本 真梨子, 阪本 太吾, 川端 英恵, 中西 一步, 西方 紀子, 山田 隆, 田嶋 敦, 石川 源, 鈴木 真, 水成 隆之, 松本 尚, 竹下 俊行: 妊娠中の高エネルギー外傷に対し病院前救急診療と救急外傷治療により母児ともに良好な経過を得た 1 例. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2019; 55 (2) :659.
- 147)桂 守弘, 久志本 成樹, 伊藤 香, 遠藤 彰, 大邊 寛幸, 小倉 崇以, 工藤 大介, 近藤 豊, 白石 淳, 関根 和彦, 田上 隆, 土谷 飛鳥, 中尾 俊一郎, 萩原 章嘉, 松村 洋輔, 松本 松圭, 早川 峰司, 一二三 亨, 安田 英人, 山川 一馬, 湯本 哲也, 吉村 有矢, 日本外傷学会多施設臨床研究委員会: 小児鈍的脾損傷に対する経動脈的塞栓術の治療的意義 多施設後ろ向き観察研究. 日本外傷学会雑誌

- 2019; 33 (2) :171.
- 148) 益子 一樹, 安松 比呂志, 本村 友一, 八木 貴典, 松本 尚: 局地災害 こうすればうまくいく "Surge"を見据えた局地災害対策は病院中心でなければならない. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2020; 41 (1) :70.
- 149) 武藤 香織, 益子 一樹, 本村 友一, 植草 恵: 局地災害における救急外来看護師の初動マニュアルの開発 航空機災害発生時の初動マニュアル作成と課題の抽出. Japanese Journal of Disaster Medicine 2019; 24 (3) :265.
- 150) 松田 潔, 望月 徹, 菊池 広子, 田上 隆, 大嶽 康介, 渡邊 顕弘, 城戸 教裕, 佐々木 和馬, 下澤 信彦, 森澤 健一郎, 藤谷 茂樹, 平 泰彦, 伊藤 敏孝, 田中 拓: 川崎市多数刺傷事件における災害医療検証. Japanese Journal of Disaster Medicine 2019; 24 (3) :312.
- 151) 溝渕 大騎, 井上 正章, 秋月光, 田山 英樹, 重田 健太, 瀧口 徹, 萩原 純, 石井 浩統, 増野 智彦, 小笠原 智子, 金 史英, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行: 当救命救急センターにおける下部消化管穿孔111例の検討. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2019; 9 (1) :146.
- 152) 重田 健太, 金 史英, 田山 英樹, 溝渕 大騎, 瀧口 徹, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 新井 正徳, 増野 智彦, 横田 裕行: 当施設における Open abdomen management の工夫. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :723.
- 153) 田山 英樹, 新井 正徳, 溝渕 大騎, 瀧口 徹, 重田 健太, 萩原 純, 石井 浩統, 小笠原 智子, 金 史英, 辻井 厚子, 横田 裕行: 当施設における外傷性胸部大動脈損傷 15 例の検討. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :726.
- 154) 矢作 竜太, 重田 健太, 金 史英, 中江 竜太, 富永 直樹, 山口 昌紘, 平林 篤志, 萩原 純, 小笠原 智子, 増野 智彦, 横田 裕行: 当院で経験した上腸間膜動脈血栓症 21 例の検討. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :674.
- 155) 矢作 竜太, 重田 健太, 金 史英, 中江 竜太, 富永 直樹, 平林 篤志, 山口 昌紘, 萩原 純, 小笠原 智子, 増野 智彦, 横田 裕行: 当院で経験した上腸間膜動脈血栓症 21 例の検討. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :263.
- 156) 新井 正徳, 山本 剛, 吉井 久美, 岸川 洋昭, 清水 渉, 高橋 浩, 坂本 篤裕, 横田 裕行: 当院における Medical Emergency Team(MET)導入後の活動状況. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :844.
- 157) 平野 瞳子, 重田 健太, 田山 英樹, 富永 直樹, 山口 昌紘, 平林 篤志, 萩原 純, 中江 竜太, 小笠原 智子, 増野 智彦, 横田 裕行: 当院における周産期心筋症の検討. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2020; 41 (1) :128.
- 158) 平野 瞳子, 重田 健太, 中江 竜太, 富永 直樹, 山口 昌紘, 平林 篤志, 萩原 純, 小笠原 智子, 宮内 雅人, 増野 智彦, 横田 裕行: 当院における未成年の急性医薬品中毒症例の検討. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :247-248.
- 159) 平野 瞳子, 重田 健太, 中江 竜太, 富永 直樹, 山口 昌紘, 平林 篤志, 萩原 純, 小笠原 智子, 宮内 雅人, 増野 智彦, 横田 裕行: 当院における未成年の急性薬物中毒症例の検討. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :699.
- 160) 富永 直樹, 新井 正徳, 山本 剛, 吉井 久美, 岸川 洋昭, 清水 渉, 高橋 浩, 坂本 篤裕, 横田 裕行: 当院における院内心停止の発生状況. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :743.
- 161) 石川博敏, 宮寄拓郎, 宮寄拓郎, 鳥塚俊洋, 龍重法, 小林恭二, 喜多政伸, 田島大嗣, 吉澤成一郎, 鴨川哲也, 本村友一, 益子邦洋: 後付救急自動通報システム(後付 D-Call Net)に関する一考察-D-Call Net の更なる普及に向けて-. 自動車技術会大会学術講演会講演予稿集(CD-ROM) 2019; 2019
- 162) 宮寄 拓郎, 石川 博敏, 鳥塚 俊洋, 龍 重法, 小林 恭二, 喜多 政伸, 田島 大嗣, 吉澤 成一郎, 鴨川 哲也, 本村 友一, 益子 邦洋: 後付救急自動通報システム(後付 D-Call-Net)に関する調査研究 D-Call Net の更なる普及に向けて. 日本交通科学学会誌 2019; 19 (Suppl.) :121.
- 163) 柴田泰史, 井上淳, 遠藤康実, 横堀将司, 横田裕行: 心停止蘇生後患者における聴性脳幹反応と瞳孔記録計による瞳孔所見との関連性. 日本医学検査学会 2019; 68th:ROMBUNNO.519 (WEB ONLY).
- 164) 佐々木 和馬, 横堀 将司, 金谷 貴大, 山口 昌紘, 五十嵐 豊, 中江 竜太, 恩田 秀賢, 布施 明, 横田 裕行: 心肺停止患者における血液線溶系バイオマーカー測定の実態. 脳死・脳蘇生 2019; 32 (1) :35.
- 165) 粕川宗太郎, 斎藤伸行, 安松比呂志, 本村友一, 益子一樹, 八木貴典, 松本尚: 急性呼吸不全を契機に診断した筋萎縮性側索硬化症の一例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2019; 40 (1)
- 166) 里井 セラ, 須田 智, 村賀 香名子, 西村 拓哉, 青木 淳哉, 下山 隆, 金丸 拓也, 鈴木 健太郎, 杳名 章仁, 松本 典子, 仁藤 智香子, 西山 康裕, 三品 雅洋, 石渡 明子, 木村 和美: 急性期脳卒中患者の認知機能障害の実態. 臨床神経学 2019; 59 (Suppl.) :S350.
- 167) 佐々木和馬, 金谷貴大, 山口昌紘, 五十嵐豊, 中江竜太, 恩田秀賢, 横堀将司, 布施明, 横田裕行: 急速に神経症状が悪化した多発

- 性脊椎硬膜外膿瘍の2例. Journal of Japan Society of Neurological Emergencies & Critical Care 2019; 32 (1)
- 168)松田潔, 望月徹, 遠藤広史, 菊池広子, 石丸直樹, 大嶽康介, 渡邊顕弘, 城戸教裕, 塚田弥生, 岡村律子: 意識障害で来院した消毒薬中毒の1例. 日本病院総合診療医学会雑誌 2019; 15 (3) :316.
- 169)苛原 隆之, 小川 薫, 藤木 悠, 鈴木 剛, 米沢 光平, 田上 正茂, 小川 太志, 直江 康孝: 成因と治療法の異なる腹部内臓動脈瘤破裂2例の治療経験. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2019; 9 (1) :116.
- 170)本村友一, 益子一樹, 平林篤志, 久城正紀: 成田国際空港アラートによる情報共有の迅速化. Japanese Journal of Disaster Medicine 2019; 23 (3)
- 171)増野 智彦, 横堀 将司, 小笠原 智子, 原 義明, 金 史英, 新井 正徳, 辻井 厚子, 布施 明, 横田 裕行: 挑戦 自己完結型重症救命、最後の砦を守る. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :615.
- 172)秋月 光, 野田 良博, 宮沢 美昂, 前島 璃子, 田山 英樹, 瀧口 徹, 金 史英, 中江 竜太, 原 義明, 増野 智彦, 横田 裕行: 播種性アスペルギルス症による壊死性筋膜炎の救命例報告. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2020; 41 (1) :117.
- 173)秋月 光, 前島 璃子, 野田 良博, 田山 英樹, 瀧口 徹, 金 史英, 中江 竜太, 原 義明, 横田 裕行: 播種性アスペルギルス症による壊死性筋膜炎の救命例報告. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :357.
- 174)前島 璃子, 佐々木 和馬, 石井 浩統, 増野 智彦, 恩田 秀賢, 小笠原 智子, 辻井 厚子, 横田 裕行: 救命センターにおける未診断 Oncologic Emergency の検討. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :744.
- 175)直江 康孝, 小川 太志, 鈴木 剛, 藤木 悠, 横田 裕行, 中江 竜太: 救命センターに搬送された軽症頭部外傷の扱い. 日本外傷学会雑誌 2019; 33 (2) :250.
- 176)溝渕大騎, 城戸教裕, 竹ノ下尚子, 渡邊顕弘, 大嶽康介, 石丸直樹, 菊池広子, 松田潔, 田島廣之: 救命困難であった大量血胸を伴う奇静脈損傷の一例. 日本外傷学会抄録号 2019; 33rd:210.
- 177)恩田 秀賢, 山口 昌紘, 五十嵐 豊, 中江 竜太, 横堀 将司, 布施 明, 横田 裕行: 救命救急センターにおけるプロトロンビン複合体製剤の位置づけ. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集 2020; 43回:185.
- 178)小川 太志, 藤木 悠, 鈴木 剛, 苛原 隆之, 米沢 光平, 直江 康孝: 救命救急センターにおける腹部刺創の検討. 日本外傷学会雑誌 2019; 33 (2) :231.
- 179)市川 学, 中井 豊, 齋藤 知樹, 亀沢 貴宏, 松本 尚, 本村 友一, 久城 正紀: 救急医の新たなアカデミックキャリア 組み合わせ最適化アルゴリズムを活用した医療機関スタッフのシフト作成システムの構築. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :585.
- 180)五十嵐 豊, 乗井 達守, 金 成浩, 永田 慎平, 水島 靖明, 横田 裕行: 救急医療のあり方-人生 100 年時代の救急医療 気道異物による窒息死ゼロ社会を目指して MOCHI(Multi-center observational choking investigation)の結果と展望. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :553.
- 181)中江 竜太, 横堀 将司, 松本 尚, 金 史英, 増野 智彦, 原 義明, 畝本 恭子, 松田 潔, 横田 裕行: 救急科専門医がダブルボードを取得することの魅力. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :749.
- 182)本村友一, 本村友一: 救急自動通報システム(D-Call Net)によるドクターヘリ出動事例最新情報(2019年). 自動車技術会大会学術講演会講演予稿集(CD-ROM) 2019; 2019
- 183)齋藤 大暉, 中江 竜太, 恩田 秀賢, 秋月 光, 田山 英樹, 瀧口 徹, 平林 篤志, 金 史英, 原 義明, 横堀 将司, 横田 裕行: 救急領域における4F-PCCの有用性に関する検討. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :678.
- 184)齋藤 大暉, 中江 竜太, 恩田 秀賢, 秋月 光, 田山 英樹, 瀧口 徹, 平林 篤志, 金 史英, 原 義明, 横堀 将司, 横田 裕行: 救急領域における4F-PCCの有用性に関する検討. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :248.
- 185)中江 竜太, 横堀 将司, 松本 尚, 金 史英, 増野 智彦, 原 義明, 畝本 恭子, 松田 潔, 横田 裕行: 新専門医制度の3年目を総括する 新専門医制度における救急科専門医のダブルボード取得に関する展望と課題. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :546.
- 186)中江竜太, 横田裕行: 日常診療に必要な治療手技 腰椎穿刺. 日本医師会雑誌 2019; 148 (7) :1328-1329.
- 187)吉村 有矢, 久志本 成樹, 伊藤 香, 遠藤 彰, 大邊 寛幸, 小倉 崇以, 桂 守弘, 工藤 大介, 近藤 豊, 白石 淳, 関根 和彦, 田上 隆, 土谷 飛鳥, 中尾 俊一郎, 萩原 章嘉, 松村 洋輔, 松本 松圭, 早川 峰司, 一二三 亨, 安田 英人, 山川 一馬, 湯本 哲也, 日本外傷学会多施設臨床研究委員会: 日本における Preventable Trauma Death peer review による原因究明と評価. 日本外傷学会雑誌 2019; 33 (2) :174.
- 188)須崎 真, 宮内雅人, 小原俊彦, 兵働英也, 柴田泰史, 川井 真, 安武正弘, 横田裕行: 日本医科大学付属病院 ER におけるパニック値

- と緊急度トリアージに関する検討. 日本臨床救急医学会 2019; 22:449-454.
- 189)田上 隆, 久志本 成樹, 嶋津 岳士, 坂本 哲也, 森村 尚登, 織田 順, 石見 拓, 北村 哲久, 中山 雅晴, 康永 秀生, 鈴木 健介, 熊澤 淳史: 日本救急医学会救急患者標準診療録および SS-MIX2 拡張ストレージ仕様書作成プロジェクト. 医療情報学連合大会論文集 2019; 39 回:157.
- 190)本村 友一, 久城 正紀, 松本 尚, 山内 延貴, 横田 勝彦, 市川 学, 宇田 丞: 最新技術を利用した災害時の情報収集 千葉県台風・豪雨災害での医療ドローンによる情報収集活動. Japanese Journal of Disaster Medicine 2019; 24 (3) :160.
- 191)久城 正紀, 本村 友一, 山内 延貴, 市川 学, 横田 勝彦, 松本 尚: 最新技術を利用した災害時の情報収集 救急・災害医療へのドローンの活用. Japanese Journal of Disaster Medicine 2019; 24 (3) :159.
- 192)須崎 真, 安武正弘, 横田裕行: 横紋筋融解症・救急科専門医の視点より. 腎と透析 2019; 28 (増刊) :488-490.
- 193)苛原 隆之, 小川 薫, 藤木 悠, 鈴木 剛, 米沢 光平, 田上 正茂, 小川 太志, 直江 康孝: 正中弓状靭帯症候群による膵十二指腸動脈瘤破裂および後腹膜血腫による十二指腸狭窄を来した 1 例. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :777.
- 194)五十嵐 豊, 乗井 達守, 金 成浩, 永田 慎平, 横田 裕行: 気道異物による窒息に対するバイスタンダーによる応急処置の重要性. 日本臨床救急医学会雑誌 2019; 22 (2) :237.
- 195)栗原 貫, 五十嵐 豊, 井上 正章, 遠山 健太郎, 溝渕 大騎, 石井 浩統, 新井 正徳, 辻井 厚子, 増野 智彦, 横堀 将司, 布施 明, 横田 裕行: 気道異物による窒息に対する気道再開通のタイミングと予後の関係 Multi-center observational choking investigation(MOCHI). 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :248.
- 196)金 史英, 重田 健太, 溝渕 大騎, 瀧口 徹, 田山 英樹, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 増野 智彦, 新井 正徳, 横田 裕行: 消化管出血に対する Strategy 高度救命救急センターにおける上部消化管出血の治療戦略. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :269.
- 197)久野 将宗, 畝本 恭子, 中山 文彦, 新井 隆男, 長谷川 栄寿, 服部 潤, 森川 健太郎, 光銭 大裕, 荒川 裕貴, 清水 敬樹: 火災で遭遇する多数熱傷患者-吸入損傷を中心に- 建築中のビル火災事故による多数気道熱傷傷病者への対応. 熱傷 2019; 45 (4) :161-162.
- 198)中山 文彦: 火災で遭遇する多数熱傷患者-吸入損傷を中心に- 気道熱傷患者のトリアージ 多摩市ビル火災の経験から. 熱傷 2019; 45 (4) :161.
- 199)本村 友一: 災害医療体験記(第 8 回)大規模災害における空路活用の変遷. 救急医学 2020; 44 (3) :358-362.
- 200)久城 正紀, 益子 一樹, 本村 友一, 寺井 孝宏, 山内 延貴, 松本 尚: 災害拠点病院としての 2019 年台風 15 号「Faxai」と 19 号「Habigis」への災害医療活動 2 度の台風による被災を経験して. Japanese Journal of Disaster Medicine 2019; 24 (3) :403.
- 201)苛原 隆之, 阪本 太吾, 城川 雅光: 災害時現場活動における救助医療連携で求められる Confined Space Medicine(CSM)の能力とは. Japanese Journal of Disaster Medicine 2019; 24 (3) :340.
- 202)山内延貴, 本村友一: 災害発生時の千葉県内 EMIS 入力状況に係る報告. Japanese Journal of Disaster Medicine 2019; 23 (3)
- 203)町田浩志, 本村友一, 山内延貴, 亀山大介, 中村光伸, 藤塚健次, 小池伸享: 災害訓練時のヘリ運用をより実戦的にするための政府訓練での取り組み. Japanese Journal of Disaster Medicine 2019; 23 (3)
- 204)横堀 将司, 富永 直樹, 重田 健太, 瀧口 徹, 五十嵐 豊, 石井 浩統, 中江 竜太, 恩田 秀賢, 増野 智彦, 布施 明, 横田 裕行: 熱中症研究のフロントライン 熱中症治療における自動体温管理デバイスの有効性に関する検討 Heatstroke Study 2017-2018 からの検討. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :574.
- 205)神田 隆博, 白井 貴子, 増野 智彦, 横田 裕行, 布施 明, 横堀 将司, 新井 正徳, 中江 竜太, 五十嵐 豊, 富永 直樹: 病院前における高血糖傷病者の医療機関選定. 日本臨床救急医学会雑誌 2019; 22 (2) :344.
- 206)鈴木 健介, 武田 唯, 東村 めい, 前田 省吾, 山本 裕之, 石ヶ森 重之, 田中 知恵, 佐藤 慎, 久野 将宗, 畝本 恭子: 病院前救急は多職種による救急医療の結晶 24 時間稼働のドクターアンビュランスシステムへのエール. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :593.
- 207)五十嵐 豊, 乗井 達守, 金 成浩, 永田 慎平, 水島 靖明, 横田 裕行: 病院前診療のエビデンスへの挑戦 気道異物による窒息と MOCHI(Multi-center observational choking investigation). 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :701.
- 208)溝渕 大騎, 金 史英, 秋月 光, 田山 英樹, 重田 健太, 瀧口 徹, 萩原 純, 石井 浩統, 増野 智彦, 小笠原 智子, 新井 正徳, 横田 裕行: 破裂腹部大動脈瘤に対する治療戦略 破裂性腹部大動脈瘤 当救命救急センターの治療戦略. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :275.
- 209)本村 友一, 久城 正紀, 太田黒 崇伸, 松本 尚, 八木 貴典, 齋藤 伸行, 益子 一樹, 岡田 一宏, 安松 比呂志, 阪本 太吾: 社会全

- 体で共有する緊急度判定の体系化 動画伝送・顔自動認証を伴った救急通報による緊急度判定の精度向上(スマホ 119 プロジェクト). 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :547.
- 210)遠山 健太郎, 五十嵐 豊, 井上 正章, 栗原 貫, 溝渕 大騎, 石井 浩統, 辻井 厚子, 新井 正徳, 増野 智彦, 横堀 将司, 布施 明, 横田 裕行: 窒息による院外心停止患者に対する病院前気管挿管の有用性 Multi-center observational choking investigation(MOCHI). 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :248-249.
- 211)城川 雅光, 阪本 太吾, 苛原 隆之, 後藤 英昭: 米国 USAR Medical Team Specialist Course から学んだ「救助医療」を定義する意義. Japanese Journal of Disaster Medicine 2019; 24 (3) :339.
- 212)遠山 健太郎, 五十嵐 豊, 井上 正章, 栗原 貫, 濱口 拓郎, 秋月光, 溝渕 大騎, 平林 篤志, 石井 浩統, 原 義明, 増野 智彦, 横堀 将司, 新井 正徳, 布施 明, 横田 裕行: 肺炎球菌による多発化膿性関節炎の一例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2020; 41 (1) :121.
- 213)山本 真梨子, 阪本 太吾, 安松 比呂志, 益子 一樹, 松本 尚: 胸腹部移行帯銃創の1例. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2020; 9 (2) :282-286.
- 214)鈴木 剛, 小川 薫, 藤木 悠, 苛原 隆之, 米沢 光平, 田上 正茂, 小川 太志, 直江 康孝, 横田 裕行: 脳出血の加療中に脳梗塞を合併した症例の検討. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :692.
- 215)久城 正紀, 山本 真梨子, 太田黒 崇伸, 水嶋 翔平, 嶺 貴彦, 松本 尚: 脾損傷における脾仮性動脈瘤のマネジメント. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :687.
- 216)高橋 應仁, 若栗 大朗, 出川 龍哉, 須崎 真, 川井 真, 安武 正弘, 青木 悠人, 清水 哲也, 吉岡 正人, 吉田 寛: 腰椎化膿性脊椎炎から2次性胆嚢炎を来した1例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :249.
- 217)菊池 広子, 松田 潔, 石丸直樹, 城戸教裕, 大嶽康介, 渡邊 顕弘, 望月 徹, 黒川 顕, 大橋 隆治: 腸管嚢胞性気腫症によると思われる全身気腫性変化を認め,救命できなかった1例. 日本臨床救急医学会雑誌 2019; 22 (2) :334.
- 218)井上 正章, 溝渕 大騎, 田山 英樹, 重田 健太, 瀧口 徹, 石井 浩統, 金 史英, 横堀 将司, 増野 智彦, 新井 正徳, 横田 裕行: 腹部大動脈瘤破裂により心停止に至ったが、蘇生的開胸術・緊急腹部大動脈人工血管置換術により救命し得た一例. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2019; 9 (1) :192.
- 219)金 史英, 重田 健太, 溝渕 大騎, 瀧口 徹, 田山 英樹, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 増野 智彦, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行: 腹部救急とチーム医療 高度循環破綻例を救命するための当施設におけるチーム医療. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :276.
- 220)香中 伸太郎, 松田 明久, 山田 岳史, 新井 正徳, 瀧口 徹, 田山 英樹, 太田 竜, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 原 敬介, 横田 裕行, 吉田 寛: 腹部救急領域における反省の一例を真摯に語る 治療に難渋した血管型エーラスダシロス症候群に伴う下部消化管穿孔の1例から学んだこと. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :282.
- 221)関本篤人, 松田 潔, 城戸教裕, 大嶽康介, 渡邊 顕弘, 石丸直樹, 菊池 広子, 望月 徹: 腹部鈍の外傷後,腸間膜血腫により小腸壊死を来した1例. 日本臨床救急医学会雑誌 2019; 22 (2) :359.
- 222)本村 友一, 松本 尚, 益子 邦洋, 石川 博敏, 西本 哲也, 吉田 隆浩, 武山 佳洋: 自動車事故通報システム(ACN、AACN、D-Call Net)とドクターヘリの連携と課題 救急自動通報(D-Call Net)によるドクターヘリ実出動(2015-19年). 日本航空医療学会雑誌 2019; 20 (2) :58.
- 223)上田 太一郎, 船木 裕, 山本 真梨子, 阪本 太吾, 安松 比呂志, 利光 靖子, 本村 友一, 益子 一樹, 松本 尚: 自己完結型救命救急センターにおける食道手術症例の臨床検討. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :321.
- 224)本村 友一, 久城 正紀, 松本 尚, 山内 延貴, 横田 勝彦, 市川 学, 宇田 丞: 航空医療とドローンのコラボレーション 実災害時のドローン活用に向けた航空運用調整班での指揮実動訓練. 日本航空医療学会雑誌 2019; 20 (2) :79.
- 225)本村 友一, 松本 尚, 太田黒 崇伸, 久城 正紀, 豊永 康裕, 三辻 光, 梅原 裕人, 松本 勉, 小林 祐太: 航空医療の課題と将来 動画救急通報(スマホ 119)によるドクターヘリ適正使用の可能性. 日本航空医療学会雑誌 2019; 20 (2) :72.
- 226)若栗 大朗, 出川 龍哉, 三枝 太郎, 須崎 真, 桐木 園子, 小野寺 麻加, 小野寺 直子, 兵働 英也, 小原 俊彦, 川井 真, 安武 正弘: 菌血症患者における血清ヘプシジン-25値と血清鉄動態の経時的変化の解析. 日本病院総合診療医学会雑誌 2019; 15 (3) :244.
- 227)小島巧, 西本哲也, 富永茂, 本村友一, 三好朋之: 車両クラス別・乗車位置別・衝突方向別傷害予測アルゴリズム Ver.2019'の構築と検証. 自動車技術会大会学術講演会講演予稿集(CD-ROM) 2019; 2019

- 228)宮内 雅人, 須崎 真, 増野 智彦, 新井 正徳, 横田 裕行: 軽症の妊婦外傷症例より、ERでの妊婦外傷診察におけるピットフォールとその対策について考察する. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2020; 41 (1) :109.
- 229)新井 正徳, 金 史英, 石井 浩統, 萩原 純, 瀧口 徹, 重田 健太, 溝瀆 大騎, 富永 直樹, 田山 英樹, 小笠原 智子, 横田 裕行: 遅発性に門脈血栓症を合併した腸管気腫および門脈ガスを認めた1例. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :778.
- 230)出川 龍哉, 三枝 太郎, 須崎 真, 若栗 大朗, 桐木 園子, 小野寺 麻加, 兵働 英也, 小原 俊彦, 川井 真, 安武 正弘: 適切な抗菌薬治療後も再発を認めた腸チフスの1例. 日本病院総合診療医学会雑誌 2019; 15 (3) :205.
- 231)山口 昌紘, 中江 竜太, 金谷 貴大, 五十嵐 豊, 恩田 秀賢, 横堀 将司, 布施 明, 横田 裕行: 重症くも膜下出血における治療転帰予測因子の検討. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :691.
- 232)藤田 基生, 久志本 成樹, 伊藤 香, 遠藤 彰, 大邊 寛幸, 小倉 崇以, 桂 守弘, 工藤 大介, 近藤 豊, 白石 淳, 関根 和彦, 田上 隆, 土谷 飛鳥, 中尾 俊一郎, 萩原 章嘉, 松村 洋輔, 松本 松圭, 早川 峰司, 一二三 亨, 安田 英人, 山川 一馬, 湯本 哲也, 吉村 有矢, 日本外傷学会多施設臨床研究委員会: 重症外傷患者におけるヘパリン起因性血小板減少症発症および HIT 抗体陽性化のメカニズム探索のための多施設共同前向き観察研究. 日本外傷学会雑誌 2019; 33 (2) :175.
- 233)柴田 あみ, 齋藤 伸行, 松本 尚, 横田 裕行: 重症頭部外傷予後予測因子としての血糖・カリウム比. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :725.
- 234)稲次基希, 橋本聡華, 山村俊弘, 平井作京, 山本崇裕, 高橋暁, 唐鎌淳, 河野能久, 五十嵐豊, 中江竜太, 恩田秀賢, 横堀将司, 布施明, 横田裕行, 前原健寿: 重症頭部外傷後けいれんの検討: 日本頭部外傷データベースプロジェクト 2015 の分析. 神経外傷 2019; 42 (2) :189-194.
- 235)中江 竜太, 横堀 将司, 藤木 悠, 鈴木 剛, 恩田 秀賢, 高山 泰広, 直江 康孝, 布施 明, 横田 裕行: 重症頭部外傷患者に対する血中フィブリノゲン値に基づいた FFP 輸血の有効性. 日本外傷学会雑誌 2019; 33 (2) :221.
- 236)笹川 麻由, 稲次 基希, 橋本 聡華, 横堀 将司, 布施 明, 横田 裕行, 前原 健寿: 重症頭部外傷管理におけるけいれんとその治療 頭部外傷データベースプロジェクト 2015 からの検討. てんかん研究 2019; 37 (2) :633.
- 237)横堀 将司: 重症頭部外傷診療の Minimum essentials. 日本外傷学会雑誌 2019; 33 (2) :142.
- 238)杉本 貴史, 益子 一樹, 山本 真梨子, 上田 太一郎, 阪本 太吾, 安松 比呂志, 松本 尚: 鈍的小腸全層損傷の画像所見についての検討. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2019; 9 (1) :133.
- 239)粕川 宗太郎, 安松 比呂志, 船木 裕, 上田 太一郎, 山本 真梨子, 阪本 太吾, 利光 靖子, 益子 一樹, 松本 尚, 松田 明久, 櫻澤 信行, 横田 裕行: 長期の腸管皮膚瘻に対する OTSC による瘻孔閉鎖の成功例. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2019; 9 (1) :201.
- 240)菊池 広子, 望月 徹, 松田 潔, 田上 隆, 大嶽 康介, 渡邊 顕弘, 城戸 教裕, 佐々木 和馬, 下澤 信彦, 森澤 健一郎, 藤谷 茂樹: 集団針刺し事故としての川崎市刺傷事件. Japanese Journal of Disaster Medicine 2019; 24 (3) :313.
- 241)城戸教裕, 大嶽康介, 望月徹, 伊藤亮二, 長谷川智宏, 渡邊顕弘, 石丸直樹, 菊池広子, 勝俣範之, 松田潔: 非 HIV 患者の術後補助化学療法中に生じた Pneumocystis Jirovecii Pneumonia の一例. 日本集中治療医学会学術集会 2019; 46th:ROMBUNNO.O147 - 3 (WEB ONLY).
- 242)藤木 悠, 赤野 文宏, 鈴木 剛, 中江 竜太, 直江 康孝, 横田 裕行: 頭部単独外傷の予後予測の検討. 日本外傷学会雑誌 2019; 33 (2) :251.
- 243)横堀 将司, 佐々木 和馬, 金谷 貴大, 五十嵐 豊, 中江 竜太, 恩田 秀賢, 布施 明, 横田 裕行: 頭部外傷における凝固線溶障害からみた Damage Control Strategy の適応と限界 日本神経外傷データベース 2015 からの検討. 日本外傷学会雑誌 2019; 33 (2) :200.
- 244)横堀 将司, 横田 裕行: 頭部外傷の病態と治療. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (2) :71-79. doi: 10.1272/manms.15.71.
- 245)津田 峻基, 山本 真梨子, 安松 比呂志, 岡田 一宏, 益子 一樹, 本村 友一, 齋藤 伸行, 八木 貴典, 松本 尚: 頸部刺創による気道緊急に対して輪状甲状靭帯切開により救命し得た一例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2020; 41 (1) :106.
- 246)関口 大樹, 小川 薫, 藤木 悠, 苛原 隆之, 鈴木 剛, 米沢 光平, 田上 正茂, 小川 太志, 直江 康孝: 頸部刺創術後に嚥下障害をきたした一例. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2019; 9 (1) :176.
- 247)大槻脩, 黒瀬寿和, 下田剛, 西本哲也, 阪本太吾, 本村友一: 食用臓器による力学的特性取得のための基礎研究. 自動車技術会大会学術講演会講演予稿集(CD-ROM) 2019; 2019
- 248)恩田 秀賢, 山口 昌紘, 五十嵐 豊, 中江 竜太, 横堀 将司, 布施 明, 横田 裕行: 高度救命救急センターに搬送された高齢てんかん

- 症例の現状と転帰. てんかん研究 2019; 37 (2) :533.
- 249)直江 康孝, 小川 太志, 田上 正茂, 米沢 光平, 苛原 隆之, 鈴木 剛, 藤木 悠, 小川 薫, 横田 裕行 : 高次脳機能障害の長期予後. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :737.
- 250)横堀 将司, 佐々木 和馬, 金谷 貴大, 五十嵐 豊, 中江 竜太, 恩田 秀賢, 増野 智彦, 布施 明, 横田 裕行 : 高齢化社会まっただ中に求められる救急医療のリアリティー 高齢者頭部外傷診療のリアルワールド 治療成績の変遷と見えてきた課題. 日本臨床救急医学会雑誌 2019; 22 (2) :261.
- 251)齋藤 伸行, 瀬尾 卓生, 飯田 浩章, 安松 比呂志, 八木 貴典, 松本 尚 : 高齢外傷患者の骨量減少は退院後の身体機能低下と関連する. 日本外傷学会雑誌 2019; 33 (2) :237.
- 252)安松 比呂志, 益子 一樹, 船木 裕, 上田 太一朗, 山本 真梨子, 阪本 太吾, 利光 靖子, 松本 尚, 横田 裕行 : 高齢者および Frail patient に対応できる Acute Care Surgeon を目指して 当施設における高齢者外傷手術の検討 外傷に年齢は関係ない?. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2019; 9 (1) :94.
- 253)重田健太, 増野智彦, 小林純子, 佐々木和馬, 金谷貴大, 富永直樹, 秋山真之, 中江竜太, 石木義人, 塚本剛志, 宮内雅人, 横田裕行 : 高齢者の V-A ECMO 送血管留置に伴う合併症を生じた 2 例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2019; 39 (3)
- 254)中江 竜太, 横堀 将司, 藤木 悠, 山口 昌紘, 佐藤 慎, 五十嵐 豊, 渡邊 顕弘, 金子 純也, 鈴木 剛, 恩田 秀賢, 高山 泰広, 直江 康孝, 畝本 恭子, 布施 明, 森田 明夫, 横田 裕行 : 高齢者頭部外傷:talk & deteriorate に対する取り組み Talk and Deteriorate を呈する高齢者頭部外傷の特徴と対策. Neurosurgical Emergency 2020; 24 (3) :320.
- 255)中江 竜太, 横堀 将司, 藤木 悠, 山口 昌紘, 佐藤 慎, 五十嵐 豊, 渡邊 顕弘, 金子 純也, 鈴木 剛, 恩田 秀賢, 高山 泰広, 直江 康孝, 佐藤 秀貴, 畝本 恭子, 布施 明, 森田 明夫, 横田 裕行 : 高齢者頭部外傷における凝固線溶系マーカーの経時変化の特徴と対策. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集 2020; 43 回:75.

著書

- 1) Kentaro Shimoda, Shoji Yokobori, Ross Bullock : [共著] History, Overview and Human anatomical Pathology of Traumatic Brain Injury. 2019, Oxford Press.
- 2) 中江竜太 : [共著] 局所性脳損傷, びまん性脳損傷 ICU 治療指針 II. 2019; pp.1143-1151, 総合医学社.
- 3) Nakae R, Yokobori S, Yokota H : [共著] Chapter 9 Coagulopathy and brain injury. Neurocritical Care. 2019; pp.89-109, Springer Nature.
- 4) 横堀 将司 : [共著] 頭を打った・脳振盪. ナースがでできる救急プライマリケア マイナーエマージェンシー. 2019, 学研メディカル秀潤社.
- 5) 横堀 将司 : [共著] 頭部外傷. 今日の治療指針 2019. 2019, 医学書院.
- 6) 横堀 将司 : ICU 治療指針 I 頭蓋内圧亢進・頭蓋内圧モニタリング・頭蓋内圧降下療法. 救急集中治療 2019;31(2): 329-334.
- 7) 中江竜太, 横堀将司, 横田裕行 : [共著] 専門医なら知っておきたい疾患・術式別 脳神経外科手術合併症の回避・対処法 Q&A156 (2章)外傷 開頭血腫除去術 正確な開頭範囲はどう決める?(Q&A). 脳神経外科速報 2019 年増刊. 2019; 40-41.
- 8) 中江竜太, 横堀将司, 横田裕行 : [共著] 専門医なら知っておきたい疾患・術式別 脳神経外科手術合併症の回避・対処法 Q&A156 (2章)外傷 開頭血腫除去術 静脈洞が損傷しているときの対応は?(Q&A). 脳神経外科速報 2019 年増刊. 2019; 42-43.
- 9) 中江竜太, 横堀将司, 横田裕行 : [共著] 専門医なら知っておきたい疾患・術式別 脳神経外科手術合併症の回避・対処法 Q&A156 (2章)外傷 開頭血腫除去術 頭部外傷に伴う凝固線溶系障害の対応は?(Q&A). 脳神経外科速報 2019 年増刊. 2019; 44.
- 10) 中江竜太, 横堀将司, 横田裕行 : [共著] 専門医なら知っておきたい疾患・術式別 脳神経外科手術合併症の回避・対処法 Q&A156 (2章)外傷 開頭血腫除去術 抗血栓薬を服用している場合の対応は?(Q&A). 脳神経外科速報 2019 年増刊. 2019; 45-46.
- 11) 康永 秀生, 田上 隆, 大野 幸子 : 超入門!スラスラわかるリアルワールドデータで臨床研究. 2019, 金芳堂.

学会発表

- 1) Shigeta Kenta : Acute care surgery 領域における video-assisted thoracoscopic surgery の必要性. 第 11 回日本 Acute Care Surgery 学会学術集会, 2019. 10.
- 2) 田上隆(特別講演) : Big Data 分析が救急の未来を変える : 救急医療情報収集の課題と将来像. 第 1 回 神奈川県救急科医会 2019 年 9 月神奈川, 2019. 9.

- 3) Nakae R, Takigawa T, Kawamura Y, Tanaka Y, Nagaishi M, Hyodo A, Suzuki K, Yokota H : Delayed high jet flow into an aneurysm after flow diverter placement. The 15th Congress of the World Federation of Interventional and Therapeutic Neuroradiology, 2019. 10.
- 4) Takashi Tagami (Invited Speaker) : Initiating the final link in the chain of survival post cardiac arrest. Annual Scientific Meeting on Intensive Care (ASMIC) 2019, 2019. 9.
- 5) Takanobu Otaguro, Yutaka Igarashi, Kazuhiro Okada, Nobuyuki Saito, Tomohiko Masuno, Hidenori Tanaka, Yuto Ohwada, Hisashi Matsumoto, Hiroyuki Yokota : Machine learning for prediction of successful extubation among patients with mechanical ventilation. 49th Annual Meeting of the Society of Critical Care Medicine, 2020. 2.
- 6) Takashi Tagami, vited, Speaker : Optimising Neurological Outcomes after Cardiac Arrest. 6th SG-ANZICS Intensive Care Forum (April 21, 2019, Singapore, Singapore), 2019.
- 7) 横堀 将司 : PanPacific Trauma Congress, 2019. 4.
- 8) Shoji Yokobori, Eiichi Suehiro, Kazuma Sasaki, Yutaka Igarashi, Ryuta Nakae, Hidetaka Onda, Akira Fuse, Michiyasu Suzuki, Hiroyuki Yokota : Prognostic factors of Intensive Treatment for Geriatric TBI: Analysis of 1,879 cases from Japan Neurotrauma Data Bank Project 1998-2015. Neurotrauma Society Annual Meeting 2019 Pittsburgh PA USA, 2019. 6.
- 9) 横堀 将司 : Shoji Yokobori HOPES Trial: The randomized multicenter controlled trial for preoperative early-induced hypothermia and its scientific rationale. 2019 Korea PPTC, 2019. 4.
- 10) 中江竜太, 横堀将司, 藤木悠, 山口昌紘, 佐藤慎, 五十嵐豊, 渡邊顕弘, 金子純也, 鈴木剛, 恩田秀賢, 高山泰広, 直江康孝, 畝本恭子, 布施明, 森田明夫, 横田裕行 : Talk and Deteriorate を呈する高齢者頭部外傷の特徴と対策. 第25回 日本脳神経外科救急学会, 2020. 2.
- 11) Shoji Yokobori : Temperature Management for Heat Stroke. 4th Neurotrauma 2019 , Terengganu, Kuala Terengganu Malaysia invited, 2019. 7.
- 12) Shoji Yokobori : The Future Direction in Management of Neurotrauma. 4th Neurotrauma 2019 , Terengganu, Kuala Terengganu Malaysia invited, 2019. 7.
- 13) Takashi Tagami (Invited Speaker) : The importance of quantifying pulmonary edema. Annual Scientific Meeting on Intensive Care (ASMIC) 2019 (September 07, Kuala Lumpur, Malaysia 2019), 2019.
- 14) Takashi Tagami (Invited Speaker) : Transpulmonary thermodilution system: What, why and how?. 6th SG-ANZICS Intensive Care Forum (April 22, 2019, Singapore, Singapore), 2019.
- 15) Takashi Tagami (Invited Speaker) : Why and how to start clinical research. Annual Scientific Meeting on Intensive Care (ASMIC) 2019 (September 07, Kuala Lumpur, Malaysia 2019), 2019.
- 16) 田上 隆, 教育セミナー : いま求められている PiCCO 研究内容の検討. 第46回日本集中治療学会学術集会 2019年2月京都, 2019.
- 17) 田上 隆(教育講演) : これからの本邦の敗血症性 DIC 研究に持続可能性を持たせる方法を検討する. 第120回日本救急医学会近畿地方会. 2019年7月大阪, 2019.
- 18) 横堀 将司 : シミュレータを用いた遠隔 PBL (問題基盤型学習) . 第7回 日本シミュレーション医療教育学会学術集会, 2019. 9.
- 19) 横堀 将司, 佐々木 和馬, 金谷 貴大, 山口 昌紘, 五十嵐 豊, 中江 竜太, 恩田 秀賢, 柴田 泰史, 増野 智彦, 布施 明, 横田 裕行 : 不断前進、心肺蘇生 心停止後症候群患者における脳幹機能測定の臨床的意義 正確な転帰予測を目指して. 日本救急医学会雑誌, 2019. 9.
- 20) 布施 明, 横田 裕行 : 地域におけるヘルスケア BCP の形成-地域における災害レジリエンスの枠組み- 院内発生テロに備えた BCP 策定. 日本救急医学会雑誌, 2019. 9.
- 21) 佐々木和馬, 立山幸次郎, 城戸教裕, 渡邊顕弘, 大嶽康介, 田上隆, 菊池広子, 松田潔, 足立好司, 横田裕行 : 外傷性視交叉部断裂の一例. 第47回救急医学会総会学術集会, 2019. 10.
- 22) 太田黒 崇伸, 岡田 一宏, 齋藤 伸行, 松本 尚, 横田 裕行 : 外傷患者における FDP 高値と外傷部位との関連性の評価. 第47回日本救急医学会総会・学術集会, 2019. 10.
- 23) 松本典子, 高橋瑞穂, 西山康裕, 木村和美 : 左心耳に対するアプローチ 神経内科の立場より. 第6回心血管脳卒中学会, 2019. 6.
- 24) 重田健太, 金 史英, 田山英樹, 溝渕大騎, 瀧口 徹, 石井浩統, 萩原 純, 小笠原智子, 新井正徳, 増野智彦, 横田裕行 : 当施設における Open

- abdomen management の工夫. 第 47 回日本救急医学会総会・学術集会, 2019. 10.
- 25) 田上 隆(教育セミナー): 循環呼吸不全の診断と治療:3つの「GAP」をなくそう!. 第 46 回日本集中治療学会学術集会 2019 年 2 月京都, 2019.
 - 26) 横堀 将司: 心停止後症候群患者における 脳幹機能測定 of 臨床的意義: 正確な転帰予測を目指して. 第 47 回日本救急医学会総会, 2019. 10.
 - 27) 佐々木和馬, 横堀将司, 金谷貴大, 山口昌紘, 五十嵐豊, 中江竜太, 恩田秀賢, 布施明, 横田裕行: 心肺停止患者における血栓線溶系バイオマーカー測定の意義. 第 32 回脳死脳蘇生学会総会学術集会, 2019. 6.
 - 28) 佐々木和馬, 金谷貴大, 山口昌紘, 五十嵐豊, 中江竜太, 恩田秀賢, 横堀将司, 布施明, 横田裕行: 急速に神経症状が悪化した多発性脊椎硬膜外膿瘍の 2 例. 第 33 回日本神経救急学会学術集会, 2019. 6.
 - 29) 溝淵 大騎: 救命困難であった大量血胸を伴う奇静脈損傷の一例. 第 33 回 日本外傷学会総会・学術集会, 2019. 5.
 - 30) 横堀 将司: 救急医学 Clinical Clerkship 学生におけるシミュレーション実習の評価. 日本医学教育学会 2019 年, 2019. 7.
 - 31) 横堀 将司: 救急医学臨床実習における臨床手技シミュレーションの効果と課題. 第 7 回 日本シミュレーション医療教育学会学術大会, 2019. 9.
 - 32) 横堀 将司: 救急医療における医学教育—VR で『机上の学問』の概念を変えろ!—. 第 7 回 日本シミュレーション医療教育学会学術集会, 2019. 9.
 - 33) 中江竜太, 横堀将司, 松本尚, 金史英, 増野智彦, 原義明, 畝本恭子, 松田潔, 横田裕行: 救急科専門医がダブルボードを取得することの魅力. 第 47 回 日本救急医学会総会, 2019. 10.
 - 34) 横堀 将司: 救急集中治療における体温管理の重要性: コツと Pitfall. 福岡県臨床工学技士会 第 4 回学術セミナー, 2019. 8.
 - 35) 田上 隆(教育講演): 敗血症の大規模研究の在り方. 第 47 回日本救急医学会総会・学術集会. 2019 年 10 月東京, 2019.
 - 36) 中江竜太, 横堀将司, 松本尚, 金史英, 増野智彦, 原義明, 畝本恭子, 松田潔, 横田裕行: 新専門医制度における救急科専門医のダブルボード取得に関する展望と課題. 第 47 回 日本救急医学会総会, 2019. 10.
 - 37) 横堀 将司: 熱中症治療における 自動体温管理デバイスの 有効性に関する検討 Heatstroke Study 2017-2018 からの検討. 第 47 回日本救急医学会総会, 2019. 10.
 - 38) 横堀将司, 富永直樹, 重田健太, 五十嵐豊, 瀧口徹, 石井浩統, 中江竜太, 恩田秀賢, 布施明, 横田裕行: 熱中症治療における自動体温デバイスの効果: 対外冷却か、体内冷却か? Heatstroke Study 2017-2018 からの検討. 第 22 回日本脳低温療法体温管理学会 東京, 2019. 7.
 - 39) 神田隆博, 白井貴子, 増野智彦, 横田裕行, 布施明, 横堀将司, 新井正徳, 中江竜太, 五十嵐豊, 富永直樹: 病院前における高血糖傷病者の医療機関選定. 第 22 回 日本臨床救急医学会, 2019. 5.
 - 40) 中江竜太, 滝川知司, 松本佳之, 藤井淑子, 杉浦嘉樹, 河村洋介, 鈴木亮太郎, 高野一成, 永石雅也, 兵頭明夫, 鈴木謙介, 横田裕行: 紡錘状椎骨動脈解離に対する母血管を温存したステント併用コイル塞栓術の有用性と治療成績. 第 35 回 日本脳神経血管内治療学会総会, 2019. 11.
 - 41) 松本典子, 高橋瑞穂, 西山康裕, 木村和美: 腫瘍を合併する虚血性脳血管障害と超音波所見. 第 6 回心血管脳卒中学会, 2019. 6.
 - 42) 田上 隆(教育セミナー): 論文を作成する超基本 3 ステップ: 今日発表した看護研究・医学研究を論文にする方法. 第 46 回日本集中治療学会学術集会 2019 年 2 月京都, 2019.
 - 43) 中江竜太, 横堀将司, 藤木悠, 鈴木剛, 恩田秀賢, 高山泰広, 直江康孝, 布施明, 横田裕行: 重症頭部外傷患者に対する血中フィブリノゲン値に基づいた FFP 輸血の有効性. 第 33 回 日本外傷学会, 2019. 5.
 - 44) 横堀将司: 重症頭部外傷診療の Minimum essentials. 第 33 回 日本外傷学会, 2019. 6.
 - 45) 横堀 将司: 重症頭部外傷診療の現状と今後の課題: 日本頭部外傷データベース症例 4,527 例からの解析. 第 47 回日本救急医学会総会 学術集会, 2019. 10.
 - 46) 瀧口徹, 中島幹男, 大邊寛幸, 金史英, 横田裕行: 非閉塞性腸間膜虚血に対する血管拡張薬の有効性. 日本救急医学会, 2019.
 - 47) 横堀将司, 横堀将司, 佐々木和馬, 佐々木和馬, 金谷貴大, 五十嵐豊, 中江竜太, 恩田秀賢, 布施明, 横田裕行, 横田裕行: 頭部外傷における凝固線溶障害からみた Damage Control Strategy の適応と限界: 日本神経外傷データベース 2015 からの検討. 第 33 回 日本外傷学会, 2019. 6.
 - 48) 中江竜太, 横堀将司, 高山泰広, 横田裕行: 頭部外傷の手術と周術期管理. 第 39 回 日本脳神経外科コンgres総会, 2019. 5.
 - 49) 中江竜太: 頭部外傷診療におけるプロロンビン複合体製剤(4F-PCC)の有効性. 救急・集中治療 止血戦略セミナー(主催: CLS ベーリング

株式会社), 2019. 6.

- 50) 中江竜太, 横堀将司, 藤木悠, 山口昌紘, 佐藤慎, 五十嵐豊, 渡邊頭弘, 金子純也, 鈴木剛, 恩田秀賢, 高山泰広, 直江康孝, 佐藤秀貴, 畝本恭子, 布施明, 森田明夫, 横田裕行: 高齢者頭部外傷における凝固線溶系マーカーの経時変化の特徴と対策. 第43回日本脳神経外傷学会. (中止に伴い誌上開催), 2020. 3.
- 51) 中江竜太, 横堀将司, 藤木悠, 山口昌紘, 佐藤慎, 五十嵐豊, 渡邊頭弘, 金子純也, 鈴木剛, 恩田秀賢, 高山泰広, 直江康孝, 畝本恭子, 布施明, 森田明夫, 横田裕行: 高齢者頭部外傷における凝固線溶系マーカーの経時変化の特徴と治療戦略-傾向スコア解析による検討-. 第78回日本脳神経外科学会総会, 2019. 10.
- 52) 横堀 将司: 高齢者頭部外傷における穿頭術の意義と適応: 日本神経外傷データベースからの検討. 日本脳神経外科学会 第78回学術総会, 2019. 10.
- 53) 横堀 将司: 高齢者頭部外傷診療のリアルワールド: 治療成績の変遷と見えてきた課題. 日本臨床救急医学会 和歌山, 2019. 6.

27 形成再建再生医学分野

研究業績

論文等

- 1) 柘植 琢哉, 桑原 大彰, 赤石 諭史, 小川 令 : 3D プリンタを用いた先天性耳介変形に対する当科の試み. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :252.
- 2) 井上 真梨子, 加来 知恵美, 石井 暢明, 秋元 正宇, 水成 隆之, 柴田 あみ, 小川 令 : 3D プリンターの実用性:簡易カスタムメイド保護帽. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :251.
- 3) 秋元 正宇 : 3D プリント技術習得のための教育 素人が自由にモデルを作れるまで. 日本シミュレーション外科学会誌 2019; 27 (2) :100.
- 4) 柘植 琢哉, 桑原 大彰, 小野 真平, 小川 令, 赤石 諭史 : 3D モデルを用いた先天性耳介変形に対する矯正器具作製. 日本形成外科学会誌 2019; 39 (12) :604-609.
- 5) Takahiro Ono, Kosuke Akiyama, Shotaro Takamido, Daishiro Yamaoka, Toshiyuki Takagi, Gakuto Ujiie, Takeru Kanazawa, Ryota Kaneko, Naoko Okamoto, Masaya Koganesawa, Sachio Fujita, Rei Ogawa, Manabu Suzuki, Ryosuke Matsuno, Daisuke Toyama, Yoko Fujimoto, Hirokazu Ikeda, Shohei Yamamoto : A Case in Which Relapsed Acute Lymphoblastic Leukemia was Treated With Blinatumomab and Inotuzumab Ozogamicin in A Down's Syndrome Patient. PEDIATRIC BLOOD & CANCER 2019; 66:S28-S29.
- 6) Hiroaki Kuwahara, Masataka Akimoto, Masahiro Murakami, Rei Ogawa : A Comparative Finite Element Analysis of Two Surgical Methods for Cryptotia. Plastic and reconstructive surgery. Global open 2019; 7 (7) :e2315. doi: 10.1097/GOX.0000000000002315.
- 7) Kanae Nakamura, Hiroki Umezawa, Kazuhiko Yokoshima, Munenaga Nakamizo, Rei Ogawa : A Completely Unique Branching Pattern of the Facial Artery. Plastic and reconstructive surgery. Global open 2019; 7 (7) :e2305. doi: 10.1097/GOX.0000000000002305.
- 8) 秋元正宇 : AI のしくみの理解とその応用:コンピュータの歴史から AI の可能性を考える. 日本形成外科学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2019; 62nd
- 9) Toshihiro Fujiwara, Teruyuki Dohi, Zeshaan N Maan, Kristine C Rustad, Sun Hyung Kwon, Jagannath Padmanabhan, Alexander J Whittam, Hiroataka Suga, Dominik Duscher, Melanie Rodrigues, Geoffrey C Gurtner : Age-associated intracellular superoxide dismutase deficiency potentiates dermal fibroblast dysfunction during wound healing. Experimental dermatology 2019; 28 (4) :485-492. doi: 10.1111/exd.13404.
- 10) 土肥輝之, 土佐真美子, 青木雅代, 赤石諭史, 小川令 : BCG ワクチン接種による上腕ケロイドに対する全切除・Z 形成術および術後放射線治療の治療結果の検討. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :253-254.
- 11) 張萌雄, 土肥輝之, 栗林茂彦, 土佐真美子, 青木雅代, 赤石諭史, 小川令 : BCG ワクチン接種による上腕ケロイドに対する全切除・Z 形成術および術後放射線治療の治療結果の検討. 日本創傷外科学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2019; 11th:136.
- 12) Nguyen Tien Linh Doan, 小野 真平, 林 宏光, 秋山 豪, 小川 令 : CT 血管造影を用いた橈骨動脈浅掌枝とその穿通枝の血管解剖研究. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (3) :143.
- 13) Aoki Masayo, Matsumoto, Noriko M, Okubo Yuri, Ogawa Rei : Cytochrome P450 genes play central roles in transcriptional response by keratinocytes to a high-voltage alternating current electric field. Bioelectrochemistry (Amsterdam, Netherlands) 2019; 126:163-171. doi: 10.1016/j.bioelechem.2018.11.014.
- 14) 青木 宏信, 梅澤 裕己, 外園 優, 権 知華, 小川 令 : DIEP flap による乳房再建 Barbed Progressive Tension Suture を用いた腹部閉創. 日本マイクロサージャリー学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 46 回:149.
- 15) Rei Ogawa, Sadanori Akita, Satoshi Akaishi, Noriko Aramaki-Hattori, Teruyuki Dohi, Toshihiko Hayashi, Kazuo Kishi, Taro Kono, Hajime Matsumura, Gan Muneuchi, Naoki Murao, Munetomo Nagao, Keisuke Okabe, Fumiaki Shimizu, Mamiko Tosa, Yasuyoshi Tosa, Satoko Yamawaki, Shinichi Ansai, Norihisa Inazu, Toshiko Kamo, Reiko Kazki, Shigehiko Kuribayashi : Diagnosis and Treatment of Keloids and Hypertrophic Scars-Japan Scar Workshop Consensus Document 2018. BURNS & TRAUMA 2019; 7 (1) :39. doi: 10.1186/s41038-019-0175-y.

- 16) Katsuhisa Nagai, Konosuke Otomaru, Rei Ogawa, Shoko Oishi, Kenta Wataya, Yusuke Honkawa, Yuki Iwamoto, Takaaki Ando, Koji Hyakutake, Hiroto Shirahama, Gulhabib Habiby, Chikara Kubota : Effect of combined vaccination for pasteurilla multocida, manheimia haemolytica, and Histophilus somni to prevent respiratory diseases in young Japanese black calves in the field. *Journal of Veterinary Medical Science* 2019; 81 (9) :1355-1358. doi: 10.1292/jvms.19-0256.
- 17) Ryosuke Matsuno, Takahiro Ono, Shotaro Takamido, Toshiyuki Takagi, Daishiro Yamaoka, Gakuto Ujiie, Takeru Kanazawa, Ryota Kaneko, Naoko Okamoto, Masaya Koganezawa, Sachio Fujita, Manabu Suzuki, Kosuke Akiyama, Daisuke Toyama, Rei Ogawa, Yuko Fujimoto, Hirokazu Ikeda, Shohei Yamamoto : Effective Continuous Renal Replacement as Supportive Therapy for Sinusoidal Obstruction Syndrome: A Four-case Series at a Single Institution. *PEDIATRIC BLOOD & CANCER* 2019; 66:S96.
- 18) Shimpei Ono, Kevin C. Chung : Efficiency in Digital and Hand Replantation. *CLINICS IN PLASTIC SURGERY* 2019; 46 (3) :359-+. doi: 10.1016/j.cps.2019.03.002.
- 19) Naoko Okamoto, Daisuke Toyama, Takahiro Ono, Shotaro Takamido, Daishiro Yamaoka, Toshiyuki Takagi, Gakuto Ujiie, Takeru Kanazawa, Ryota Kaneko, Masaya Koganesawa, Sachio Fujita, Rei Ogawa, Manabu Suzuki, Kosuke Akiyama, Ryosuke Matsuno, Yoko Fujimoto, Hirokazu Ikeda, Shohei Yamamoto : Four Cases of Systemic Lupus Erythematosus (SLE) Initially Diagnosed as Immune Thrombocytopenic Purpura (ITP). *PEDIATRIC BLOOD & CANCER* 2019; 66:S55-S56.
- 20) Takuya Tsuge, Masayo Aoki, Satoshi Akaishi, Teruyuki Dohi, Hiroya Yamamoto, Rei Ogawa : Geometric modeling and a retrospective cohort study on the usefulness of fascial tensile reductions in severe keloid surgery. *Surgery* 2020; 167 (2) :504-509. doi: 10.1016/j.surg.2019.07.028.
- 21) Rica Tanaka, Yuri Umeyama, Hiroko Hagiwara, Rie Ito-Hirano, Satoshi Fujimura, Hiroshi Mizuno, Rei Ogawa : Keloid patients have higher peripheral blood endothelial progenitor cell counts and CD34(+) cells with normal vasculogenic and angiogenic function that overexpress vascular endothelial growth factor and interleukin-8. *INTERNATIONAL JOURNAL OF DERMATOLOGY* 2019; 58 (12) :1398-1405. doi: 10.1111/ijd.14575.
- 22) Meghan Seago, Peter R. Shumaker, Leah K. Spring, Murad Alam, Firas Al-Niaimi, R. Rox Anderson, Ofir Artzi, Ardeshir Bayat, Daniel Cassuto, Henry H. L. Chan, Christine Dierckx, Matthias Donelan, Gerd G. Gauglitz, Boncheol Leo Goo, Greg J. Goodman, Geoffrey Gurtner, Merete Haedersdal, Andrew C. Krakowski, Woraphong Manuskitti, William B. Norbury, Rei Ogawa, David M. Ozog, Uwe Paasch, E. Victor Ross, Matteo Tretti Clementoni, Jill Waibel : Laser Treatment of Traumatic Scars and Contractures: 2020 International Consensus Recommendations. *LASERS IN SURGERY AND MEDICINE* 2020; 52 (2) :96-116. doi: 10.1002/lsm.23201.
- 23) 安藤 有佳利, 桑原 大彰, 近藤 暁, 柘植 琢哉, 赤石 論史, 小川 令 : Le fort3 型骨折のアプローチ第一選択は冠状切開なのか. *日本医科大学医学雑誌* 2019; 15 (4) :239.
- 24) Chikage Noishiki, Shinya Yuge, Koji Ando, Yuki Wakayama, Naoki Mochizuki, Rei Ogawa, Shigetomo Fukuhara : Live imaging of angiogenesis during cutaneous wound healing in adult zebrafish. *ANGIOGENESIS* 2019; 22 (2) :341-354. doi: 10.1007/s10456-018-09660-y.
- 25) Chenyu Huang, Longwei Liu, Zhifeng You, Yanan Du, Rei Ogawa : Managing keloid scars: From radiation therapy to actual and potential drug deliveries. *International wound journal* 2019; 16 (3) :852-859. doi: 10.1111/iwj.13104.
- 26) Nao Wakabayashi, Atsushi Sakai, Hiroya Takada, Takayuki Hoshi, Hitomi Sano, Shizuko Ichinose, Hidenori Suzuki, Rei Ogawa : Noncontact Phased-Array Ultrasound Facilitates Acute Wound Healing in Mice. *PLASTIC AND RECONSTRUCTIVE SURGERY* 2020; 145 (2) :348E-359E. doi: 10.1097/PRS.00000000000006481.
- 27) Yu Hokazono, Hiroki Umezawa, Yuta Kurokawa, Rei Ogawa : Optic Canal Decompression with a Lateral Approach for Optic Nerve Injury Associated with Traumatic Optic Canal Fracture. *Plastic and reconstructive surgery. Global open* 2019; 7 (10) :e2489. doi: 10.1097/GOX.0000000000002489.
- 28) Shin-Ichi Ansai, Maya Morimoto, Satoshi Akaishi : Pseudomyogenic Hemangioendothelioma. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (2) :126-130. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-209.
- 29) Asami Kubota, Yasuo Murai, Hiroki Umezawa, Eitaro Ishisaka, Atsushi Tsukiyama, Shunsuke Nakagawa, Fumihiro Matano, Rei Ogawa, Akio Morita : Second Free Flap Surgery for Skull Base Tumors: Case Report and Literature Review. *Journal of Nippon Medical School*

- = Nippon Ika Daigaku zasshi 2019; 86 (4) :248-253. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-406.
- 30) Chikage Noishiki, Yoshiaki Hayasaka, Rei Ogawa : Sex Differences in Keloidogenesis: An Analysis of 1659 Keloid Patients in Japan. DERMATOLOGY AND THERAPY 2019; 9 (4) :747-754. doi: 10.1007/s13555-019-00327-0.
- 31) Hiroaki Kuwahara, Juho Salo, Riikka Nevala, Erkki Tukiainen : Single-Institution, Multidisciplinary Experience of Soft Tissue Sarcomas in the Chest Wall. Annals of plastic surgery 2019; 83 (1) :82-88. doi: 10.1097/SAP.0000000000001901.
- 32) 石井 暢明, 秋元 正宇, 有馬 樹里, 小川 令 : Skin-splitting concept による仙骨部褥瘡再建. 日本褥瘡学会誌 2019; 21 (3) :307.
- 33) Masayo Aoki, Hiroaki Aoki, Partha Mukhopadhyay, Takuya Tsuge, Hirofumi Yamamoto, Noriko M Matsumoto, Eri Toyohara, Yuri Okubo, Rei Ogawa, Kazuaki Takabe : Sphingosine-1-Phosphate Facilitates Skin Wound Healing by Increasing Angiogenesis and Inflammatory Cell Recruitment with Less Scar Formation. International journal of molecular sciences 2019; 20 (14) doi: 10.3390/ijms20143381.
- 34) Rei Ogawa, Mamiko Tosa, Teruyuki Dohi, Satoshi Akaishi, Shigehiko Kuribayashi : Surgical excision and postoperative radiotherapy for keloids. Scars, burns & healing 2019; 5:2059513119891113. doi: 10.1177/2059513119891113.
- 35) Toru Sakurai, Nobuaki Ishii, Ichiro Takumi, Rei Ogawa, Masataka Akimoto : Ten-Year Outcomes After Catcher's Mask Cranioplasty for Large Cranial Bone Defects in Children: A Report of Two Cases. Plastic and reconstructive surgery. Global open 2019; 7 (8) :e2395. doi: 10.1097/GOX.0000000000002395.
- 36) Teruyuki Dohi, Jagannath Padmanabhan, Satoshi Akaishi, Peter A Than, Masao Terashima, Noriko N Matsumoto, Rei Ogawa, Geoffrey C Gurtner : The Interplay of Mechanical Stress, Strain, and Stiffness at the Keloid Periphery Correlates with Increased Caveolin-1/ROCK Signaling and Scar Progression. Plastic and reconstructive surgery 2019; 144 (1) :58e-67e-67e. doi: 10.1097/PRS.0000000000005717.
- 37) Aoki Masayo, Aoki Hiroaki, Mukhopadhyay Partha, Katsuta Eriko, Takabe Kazuaki : The Roles of Sphingosine Kinases in Skin Aging. Journal of Investigative Dermatology 2019; 139 (4) :951-953. doi: 10.1016/j.jid.2018.06.192.
- 38) Ioannis Goutos, Ali H Yousif, Rei Ogawa : W-plasty in Scar Revision: Geometrical Considerations and Suggestions for Site-specific Design Modifications. Plastic and reconstructive surgery. Global open 2019; 7 (4) :e2179. doi: 10.1097/GOX.0000000000002179.
- 39) Teruyuki Dohi, Shigehiko Kuribayashi, Mamiko Tosa, Masayo Aoki, Satoshi Akaishi, Rei Ogawa : Z-plasty and Postoperative Radiotherapy for Upper-arm Keloids: An Analysis of 38 Patients. Plastic and reconstructive surgery. Global open 2019; 7 (11) :e2496. doi: 10.1097/GOX.0000000000002496.
- 40) 小川 令, 土佐 泰祥, 赤石 諭史, 荒牧 典子, 岡部 圭介, 河野 太郎, 長尾 宗朝, 村尾 尚規, 山脇 聖子 : 「ケロイド・肥厚性瘢痕 診断・治療指針 2018」を発売して. 瘢痕・ケロイド治療ジャーナル 2019; (13) :34-43.
- 41) 土佐眞美子 : 「手術の傷あとはどのまで治せるのか？」現状と今後の展望. 瘢痕・ケロイド治療ジャーナル 2019; 13:17-20.
- 42) 小川 令, 小野 真平 : 【STEP by STEP の写真と図で理解する 手指の外傷治療】手指の瘢痕拘縮再建. PEPARS 2020; (158) :58-66.
- 43) 小野 真平 : 【STEP by STEP の写真と図で理解する 手指の外傷治療】指背・手背の皮膚軟部組織欠損 橈骨動脈穿通枝皮弁 Radial artery perforator(RAP)flap. PEPARS 2020; (158) :49-57.
- 44) 小野 真平 : 【STEP by STEP の写真と図で理解する 手指の外傷治療】指背・手背の皮膚軟部組織欠損 背側中手骨動脈穿通枝皮弁 Dorsal metacarpal artery perforator(DMAP)flap. PEPARS 2020; (158) :44-48.
- 45) 小川 令, 高田 弘弥 : 【メカノセンシングの生物応答】創傷治癒のメカノセンシング. 細胞 2019; 51 (13) :659-663.
- 46) 野本 俊一, 小川 令 : 【上眼瞼除皺術におけるデザインのポイント】眉毛下切開アプローチを用いた余剰皮膚切除. 形成外科 2019; 62 (7) :751-756.
- 47) 小川 令 : 【外科系医師必読!形成外科基本手技 30-外科系医師と専門医を目指す形成外科医師のために-】ケロイド・肥厚性瘢痕に対する外科的治療と術後放射線治療. PEPARS 2020; (159) :26-31.
- 48) 小川 令 : 【形成外科の治療指針 update 2019】外傷 創処置総論 肥厚性瘢痕・ケロイド. 形成外科 2019; 62 (増刊) :S8-S9.
- 49) 柴 由貴, 小川 令 : 【形成外科の治療指針 update 2019】外傷 血管外薬剤漏出. 形成外科 2019; 62 (増刊) :S16.
- 50) 小川 令 : 【日常診療に役立つ新生児外科系疾患の知識】形成外科・口腔外科 多指・多趾症、合指・合趾症. 周産期医学 2020; 50 (2) :190-193.
- 51) 小川 令 : 【熱傷診療 ABC】(Part1)熱傷の診断と治療(総説 5) 熱傷後遺症の治療と対策 肥厚性瘢痕・ケロイド. Visual Dermatology 2019; 18 (11) :1111-1115.

- 52) 秋元 正宇 : 【眼瞼形成手術-形成外科医の大技・小技-】小技シリーズ 形成外科的縫合法. OCULISTA 2019; (78) :9-18.
- 53) 小川 令 : 【眼瞼形成手術-形成外科医の大技・小技-】小技シリーズ 眼瞼における創傷治癒の特徴と術後ケア. OCULISTA 2019; (78) :30-34.
- 54) 藪野 雄大, 小川 令 : 【褥瘡治療のアップデート】褥瘡の保存的治療 外用薬と創傷被覆材の使い方. PEPARS 2020; (157) :12-27.
- 55) 石井 暢明, 秋元 正宇 : 【鼻の再建外科】外鼻欠損・瘢痕拘縮の治療. PEPARS 2019; (153) :14-20.
- 56) 小川 令 : きずのきれいな治し方 ケロイド体質から創傷治癒の最新理論まで. 日本創傷治癒学会プログラム・抄録集 2019; 49 回:49.
- 57) 青木宏信, 梅澤裕己, 外菌優, 小川令 : インプラント乳房再建:傍乳輪下+横切開における乳頭乳輪の位置修正の利点. 日本医科大学医学雑誌 2019; 15 (4) :239.
- 58) 岩永 洋平, 桑原 大彰, 安齋 眞一, 小川 令 : エステティックユニットを考慮した未分化悪性腫瘍再建の 1 例. 日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会プログラム・抄録集 2019; 35 回:151.
- 59) 桑原 大彰 : ケロイドにおける上皮間葉転換の免疫学的検討. 日本医科大学医学雑誌 2019; 15 (4) :230.
- 60) 土佐眞美子, 土肥輝之, 小川令 : ケロイドに対するステロイド外用療法の治療経過に関する検討. 日本創傷治癒学会プログラム・抄録集 2019; 49th:112.
- 61) 土肥輝之, パドマナーン ジャガナス, 赤石論史, ガートナー ジェフリー, 小川令 : ケロイドに対する虚血再灌流障害の影響の検討. 日本創傷治癒学会プログラム・抄録集 2019; 49th:97.
- 62) 松永宜子, 野一色千景, 小川令, 早坂明哲 : ケロイド発生増悪における性差に関する統計学的観察. 日本医科大学医学雑誌 2019; 15 (4) :253.
- 63) 加来知恵美, 市野瀬志津子, 土肥輝之, 松本典子, 野一色千景, 有馬樹里, 青木雅代, 赤石論史, 土佐眞美子, 小川令 : ケロイド真皮網状層エオジン好性エリアの電顕観察:筋線維芽細胞と keloidal collagen. 日本医科大学医学雑誌 2019; 15 (4) :252.
- 64) 有馬樹里, 土肥輝之, 栗林茂彦, 赤石論史, 小川令 : シンプルな前胸部ケロイドにおける治療検討. 日本形成外科学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2019; 62nd
- 65) 弓削進弥, 安藤康史, 福原茂朋, 小川令 : ゼブラフィッシュ成魚の創傷治癒で起こる血管新生と周皮細胞のライブイメージング. 日本医科大学医学雑誌 2019; 15 (4) :246.
- 66) 小野 真平, 小川 令 : ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)をもちいた教育システムの構築:留学プログラムの経験を通して. 日本医科大学医学雑誌 2019; 15 (4) :257.
- 67) 杉本貴子, 青木律, 豊原瑛理, 小川令 : ダイレーザーとプロプラノロールを併用し早期に治癒した乳児血管腫 27 症例の検討. 日本医科大学医学雑誌 2019; 15 (4) :257.
- 68) 桑原 大彰, 赤石 論史, 小川 令 : デスマイド腫瘍とその治療戦略. 日本医科大学医学雑誌 2019; 15 (4) :255.
- 69) 藪野 雄大, 森本 摩耶, 中村 加奈恵, 松村 佳世子, 齋藤 彩, 越湖 敬子, 小川 令 : ポケットを有する褥瘡に対しポケット切開後に花弁状固定を行った症例に対する比較検討. 日本褥瘡学会誌 2019; 21 (3) :312.
- 70) SUN Yan, SUN Yan, 高田弘弥, 土佐眞美子, 小川令 : マウスを用いた創傷治癒促進を目的とした光線力学療法の効果の検討. 日本医科大学医学雑誌 2019; 15 (3) :144.
- 71) ABDELHAKIM Mohamed, ABDELHAKIM Mohamed, 高田弘弥, 小川令 : マウス植皮モデルにおける血管新生の移植片・移植床間クロストークの解析. 日本医科大学医学雑誌 2019; 15 (3) :143-144.
- 72) 高田弘弥, 下山明日香, 長田康孝, 小川令 : ミノキシジルの発毛作用機序の解明. 日本医科大学医学雑誌 2019; 15 (4) :246.
- 73) 柴由貴, 下山明日香, 高田弘弥, 小川令 : リンパ管内皮細胞に対する物理的刺激の影響とその作用機序について. 日本医科大学医学雑誌 2019; 15 (4) :245-246.
- 74) 石井 暢明, 秋元 正宇, 小川 令 : レバー式テーピング法による爪甲外反の矯正. 日本医科大学医学雑誌 2019; 15 (4) :272.
- 75) 中村 加奈恵, 石井 暢明, 秋元 正宇, 小川 令 : 一般用ソフトを用いた 3DCT 及び 3D モデルのロンバーク病治療シミュレーション. 日本医科大学医学雑誌 2019; 15 (4) :251-252.
- 76) 中村 加奈恵, 秋元 正宇, 小川 令 : 一般用ソフトを用いた 3DCT 及び 3D モデルの日常診療への応用. 日本シミュレーション外科学会雑誌 2019; 27 (1) :3-7.
- 77) 小川 令, 土肥 輝之, 野田 良博, 森本 摩耶, 近藤 暁 : 上肢リンパ浮腫に対するリンパ管静脈吻合手術の検討. 日本医科大学医学雑誌

- 誌 2019; 15 (4) :238.
- 78) 土肥輝之, 栗林茂彦, 土佐眞美子, 青木雅代, 赤石論史, 小川令 : 上腕のBCGケロイドに対する全切除・Z形成術および術後放射線治療の治療結果の解析. 日本形成外科学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2019; 62nd
- 79) 伊藤 綾美, 信國 里沙, 西本 あか奈, 津田 雅由, 田崎 幸博 : 乳児の上肢熱傷に対して背部より分層植皮術を施行した 1 例. 熱傷 2019; 45 (4) :189-190.
- 80) 亀谷美菜, 張萌雄, 土肥輝之, 小川令 : 乳癌に対する大胸筋切除・放射線治療後に生じた皮膚潰瘍に対し対側の胸筋皮弁で再建した 1 例. 日本創傷外科学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2019; 11th:152.
- 81) 長嶺 嘉通, 松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 下田 朋宏, 太田 恵一朗, 外園 優, 梅澤 裕己, 吉田 寛 : 二期的分割手術で切除・再建した冠動脈バイパス術後ハイリスク胸部食道癌の 1 例. 日本外科系連合学会誌 2019; 44 (3) :599.
- 82) 小野 真平, 秋山 豪, 児玉 詠美, 初岡 佑一, 久保村 憲, 小川 令 : 人工真皮(単層式)と分層植皮の同時移植の経験. 日本形成外科学会誌 2020; 40 (2) :85.
- 83) 石井 暢明, 秋元 正宇, 小川 令 : 仙骨部褥瘡に対する植皮の有限要素法による検討. 日本褥瘡学会誌 2019; 21 (3) :338.
- 84) 土肥 輝之 : 令和元年度 奨学賞受賞記念講演. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :226. doi: 10.1272/manms.15.226.
- 85) 権知華, 高見佳宏, 上田百蔵, 山本寛也, 小川令 : 再発を繰り返したスック管水腫の治療経験. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :255-256.
- 86) 土佐眞美子, 小川令 : 初診年齢と主訴から考えるケロイド治療の問題点の検討. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :254.
- 87) 庄司 真美, 土佐 眞美子, 安齋 眞一, 村上 正洋, 小川 令 : 前胸部の皮下皮膚様囊腫の 6 例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15(4):256.
- 88) 張 萌雄, 山岡 秀司, 秋山 豪, 江浦 重義, 小川 令 : 前頭骨欠損に対する CT-Bone の使用経験. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :252.
- 89) 福満 紅実, 土肥 輝之, 泉 日輝, 上井 廉絵, 小川 令 : 副耳・先天性耳瘻孔の発生学的・病理学的考察. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :240-241.
- 90) 丁 爽, 土肥 輝之, 小川 令 : 創傷や瘢痕治療における日本と中国の差異の比較検討. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (3) :144-145.
- 91) 土肥 輝之 : 力学的刺激が創傷治癒・瘢痕形成に与える影響の解析 力学的環境を調整する革新的治療法の開発に向けて. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :226.
- 92) 土肥輝之, 土肥輝之, バドマナーン ジャガナス, 赤石論史, 寺嶋正雄, タン ピーター, 松本典子, 小川令, ガートナー ジェフリー : 力学的刺激が異常瘢痕形成に与える影響の解析. 日本創傷治癒学会プログラム・抄録集 2019; 49th:89.
- 93) 土肥 輝之 : 力学的刺激による異常瘢痕形成メカニズムの解明およびメカノシグナル伝達経路の制御による治療. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :233.
- 94) 小野 真平, 小川 令 : 単純縫縮では創縁に過剰な緊張がかかる円形皮膚欠損再建における"OV flap"の有用性. 日本形成外科学会誌 2019; 39 (7) :362.
- 95) 村上 亮介, 高田 弘弥, 三輪 正人, 大久保 公裕, 小川 令 : 圧刺激やヒスタミンが及ぼす粘膜上皮 Ca 応答機構. 耳鼻咽喉科免疫アレルギー 2019; 37 (2) :155-156.
- 96) 若井 英恵, 柘植 琢哉, 桑原 大彰, 赤石 論史, 小川 令 : 埋没耳に対して 3D カメラ・3D プリンタを用いた術前シミュレーションが有用であった 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :251.
- 97) 秋元正宇 : 基本技能としての CT データの読み込みと 3D プリント DIY 実体模型シミュレーション. 日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 37th
- 98) 岩永 洋平, 石井 暢明, 奈良 慎平, 加来 知恵美, 鶴ヶ谷 祐太, 井上 真梨子, 秋元 正宇, 小川 令 : 外傷を契機に無菌性膿瘍を形成した前額部異物の 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :272.
- 99) 権 知華, 石井 暢明, 秋元 正宇 : 多発顔面骨骨折をきたしたライオン咬傷. 日本頭蓋顎顔面外科学会誌 2019; 35 (2) :59-65.
- 100) 太刀川 弘和, 安宅 勝弘, 石井 映美, 衛藤 暢明, 岡本 百合, 小田原 俊成, 河西 千秋, 梶谷 康介, 川島 義高, 白鳥 裕貴, 菅原 大地, 高橋 あすみ, 布施 泰子, 堀 正士, 丸谷 俊之, 松原 敏郎, 三井 信幸, 渡辺 慶一郎 : 大学生の自殺予防プログラムの開発に関する予備的検討. 大学のメンタルヘルス 2019; 3:95.

- 101)山岡秀司, 張萌雄, 江浦重義, 小川令: 巨口症の手術法とその考察. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :240.
- 102)権知華, 秋元正宇, 小川令: 巨大大腿骨転子部滑液包炎の一例. 日本形成外科学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2019; 62nd
- 103)久保村憲, 土屋未央, 小川令: 広まる陰圧閉鎖療法:適切な閉創のために 形成外科からの提言. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :270.
- 104)鶴ヶ谷祐太, 石井暢明, 岩永洋平, 井上真梨子, 秋元正宇, 琴基天, 小川令: 当院皮膚悪性腫瘍外来における7年9カ月の統計的検討. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :256.
- 105)奈良 慎平, 秋元 正宇, 中村 加奈恵, 小川 令: 手の II 度熱傷創に対する手袋型銀含有被覆材の使用経験. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :249.
- 106)上井 廉絵, 土肥 輝之, 泉 日輝, 福満 紅実, 小川 令: 手の植皮術における工夫と文献的考察. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :250.
- 107)小川 令, 小野 真平: 手指の瘢痕拘縮再建 (特集 STEP by STEP の写真と図で理解する 手指の外傷治療). Pepars 2020; (158) :58-66.
- 108)三羽 英之, 小野 真平, 小川 令: 手掌・足底の皮膚欠損に対する両側斧型皮弁(hatchet flap)の有用性. 日本形成外科学会誌 2020; 40 (2) :79.
- 109)土佐真美子, 土肥輝之, 小川令: 手術後瘢痕の Scarless wound healing への展開. 日本創傷外科学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2019; 11th:65.
- 110)兼行 慎太郎, 小野 真平, 出口 祐樹, 辻井 厚子, 小川 令, 横田 裕行: 手部の熱傷瘢痕拘縮再建における前腕の穿通枝プロペラ皮弁の有用性. 熱傷 2020; 46 (1) :43.
- 111)小野 真平, 松永 宜子, 小川 令: 指粘液嚢腫に対する背側関節包切除術の治療成績. 日本手外科学会雑誌 2019; 36 (1) :P32-6.
- 112)平川慶子, 大野曜吉, 小川令, 金涌佳雅, 大野曜吉, 山崎峰雄, 足立好司: 振動工学におけるモード解析の概念を取り入れた脳腫瘍およびアルツハイマー型認知症の新規血清診断法の開発. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :246-247.
- 113)石黒 昂, 梅澤 裕己, 青木 宏信, 外菌 優, 安藤 有佳利, 小川 令: 放射線障害による頭蓋底骨融解及び脳壊死に対する治療 筋骨洞瘍治療後合併症に対する再建経験. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :271.
- 114)秋元正宇, 秋元正宇: 整容性を高めるための工夫~明日から使える形成外科的小技集. 日本整容脳神経外科学会プログラム・抄録集 2019; 12th
- 115)初岡 佑一, 小野 真平, 秋山 豪, 児玉 詠美, 小川 令: 新しい人工真皮(インテグラ単層式:Thin)は形成外科診療のブレイクスルーになるか? これまで経験した 25 症例の治療成績と今後の可能性. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :240.
- 116)桑原 大彰: 日本と北欧の文化的違いによる形成外科手術の相違と最適化 性転換手術や乳房再建から癌・肉腫の治療まで. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :234.
- 117)土肥 輝之, Padmanabhan Jagannath, 赤石 諭史, 寺嶋 正雄, Than Peter, 小川 令, Gurtner Geoffrey: 日常基本姿勢がケロイド好発部位に及ぼす力学的影響についての検討. 瘢痕・ケロイド治療ジャーナル 2019; 13:47-49.
- 118)亀谷 美菜, 小野 真平, 張 萌雄, 栄 由貴, 小川 令: 有機性異物(鉛筆)により手指の屈曲拘縮をきたした 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :272.
- 119)石井 暢明, 秋元 正宇, 小川 令: 有限要素法による仙骨部に対する植皮の亀裂発生リスク検討. 日本シミュレーション外科学会誌 2019; 27 (2) :110-111.
- 120)近藤暁, 桑原大彰, 安藤有佳利, 柘植琢哉, 西本あか奈, 金子繭子, 赤石諭史, 児玉詠美, 小川令: 植皮を用いない合趾症手術の考察. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :249.
- 121)落 智博, 小野 真平, 小川 令: 橈骨動脈浅掌枝皮弁(SPBRA flap)の欠点である短い血管茎を長く採取するための工夫. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :250.
- 122)兼行慎太郎, 土肥輝之, 江浦重義, 小川令, 黒川優太: 毛巣洞好発部位に対する力学的検討に基づく上殿動脈穿通動脈皮弁による再建の検討 第2報. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :270-271.
- 123)加来知恵美, 秋元正宇, 柴田あみ, 水成隆之: 民生用ソフトウェア,3D プリンタを用いた簡易カスタムメイド保護帽の作成. 日本整容脳神経外科学会プログラム・抄録集 2019; 12th
- 124)中島大智, 桑原広輔, 小川令: 熊による重症顔面外傷における形成外科の役割. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :273.
- 125)奈良 慎平, 石井 暢明, 秋山 豪, 豊原 瑛理, 鶴ヶ谷 祐太, 若井 英恵, 秋元 正宇: 熱中症により意識消失し骨に達する接触熱傷を

- 受傷した1例. 熱傷 2020; 46 (1) :41.
- 126)奈良 慎平, 秋元 正宇, 小川 令 : 熱傷創に対する銀含有被覆材の使用経験と問題点. 熱傷 2019; 45 (4) :199.
- 127)小川 令, かづき れいこ, 加茂 登志子 : 熱傷患者さんの QOL 向上をめざしたチーム医療・社会的整備の重要性. 熱傷 2020; 46 (1) :38.
- 128)石井暢明, 秋元正宇 : 爪甲の外反に対するレバー式テーピング法. 日本形成外科学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2019; 62nd
- 129)松永宜子, 加来知恵美, 土肥輝之, 土佐眞美子, 赤石論史, 小川令 : 瘢痕を最小限とするための縫合法の最適化. 日本創傷外科学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2019; 11th:91.
- 130)小川 令, 赤石 論史, 土佐 眞美子, 土肥 輝之, 青木 雅代 : 瘢痕・ケロイド治療の最前線「傷あとはどこまで治せるのか?」-現状と今後の展望 目立たない瘢痕にするための切開・縫合法の最適化 一般外科医へどう伝えるか. 瘢痕・ケロイド治療ジャーナル 2019; (13) :1-6.
- 131)西本あか奈, 桑原大彰, 赤石論史, 森本摩耶, 小川令 : 皮下脂肪織厚を考慮した造臍術の検討. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :238-239.
- 132)豊原 瑛理, 梅澤 裕己, 外菌 優, 小川 令 : 皮弁を用いた腹壁再建. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :273.
- 133)黒川優太, 中村加奈恵, 下元麻梨子, 藪野雄大, 小川令 : 第 III 度圧挫熱傷に伴う Morel-Lavallee Lesion(MLL)に対し V.A.C.ULTA を用いた1例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :271.
- 134)出口祐樹, 土佐眞美子, 兼行慎太郎, 亀谷美菜, 小川令 : 耳介ピアスケロイドの発症誘因の検討. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :252-253.
- 135)青木 雅代, 松本 典子, 大久保 ゆり, 小川 令 : 肥厚性瘢痕・ケロイドにおけるアパタイトナノ粒子を用いた TIMP-1 siRNA 治療. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :253.
- 136)泉 日輝, 土肥 輝之, 小川 令 : 胸骨正中切開手術創に生じた胸骨骨髓炎に対する低侵襲な治療法の検討. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :271-272.
- 137)秋山 豪, 小野 真平, 小川 令 : 脂肪腫の摘出難易度を術前に判断する画像所見の特徴. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :256.
- 138)下元 麻梨子, 中村 加奈恵, 黒川 雄太, 藪野 雄大, 石井 暢明, 秋元 正宇, 小川 令 : 腹壁手術部位感染症の治療検討. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :270.
- 139)太組一朗, 田中雄一郎, 森田明夫, 秋元正宇 : 自家骨・自家組織を用いた頭蓋再建-我々の方法と長期経過-. 日本整容脳神経外科学会プログラム・抄録集 2019; 12th
- 140)野田良博, 石井暢明, 秋元正宇 : 術前 3D モデルと内視鏡を併用した額部病変への髪際部切開アプローチによる治療経験. 日本形成外科学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2019; 62nd
- 141)西本 あか奈, 吉牟田 浩一郎, 石井 美里, 迎 伸彦, 宗 雅, 吉野 健太郎, 入江 康司 : 術前生検にて Bowen 病との鑑別が困難であった陰茎基部乳房外 Paget 病の1例. 日本形成外科学会誌 2019; 39 (5) :217-224.
- 142)外菌 優, 梅澤 裕己, 小川 令 : 術後臍胸に対して遊離両側前外側大腿皮弁移植および陰圧閉鎖療法を併用して再建した1例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :238.
- 143)外菌 優, 梅澤 裕己, 竹ヶ原 京志郎, 小川 令 : 術後臍胸に対して遊離両側前外側大腿皮弁移植および陰圧閉鎖療法を併用して再建した一例. 日本マイクロサージャリー学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 46 回:184.
- 144)萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 梅澤 裕己, 中溝 宗永, 横島 一彦, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 太田 恵一朗, 吉田 寛 : 複数科合同での食道切除後の特殊な臓器再建時における術中 ICG 蛍光法による可視化での血流評価. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2019; 119 回:SF-7.
- 145)藪野雄大, 中村加奈恵, 森本摩耶, 小川令 : 足底の皮膚欠損に対し NPWT を用い皮膚移植と装具装着により歩行を維持する治療戦略. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :273.
- 146)藪野 雄大, 瀧野 翔太, 中村 加奈恵, 森本 摩耶, 小川 令 : 足底の皮膚欠損に対し皮膚移植と装具装着により歩行を維持する治療戦略. 日本下肢救済・足病学会誌 2019; 11 (2) :164.
- 147)児玉 詠美, 小野 真平, 豊原 瑛理, 小川 令 : 逆行性指動脈島状皮弁の弱点を克服する ドナーに植皮を要さない"変法"の治療成績と可能性. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :249-250.
- 148)小野 真平, 大井 宏之, 児玉 詠美, 豊原 瑛理, 小川 令 : 逆行性指動脈島状皮弁の弱点を克服する ドナーに植皮を要さない"変法"の治療成績と可能性. 日本マイクロサージャリー学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 46 回:159.

- 149)児玉詠美, 小野真平, 豊原瑛理, 小川令 : 逆行性指動脈島状皮弁の弱点を克服する:ドナーに植皮を要さない“変法”の治療成績と可能性. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :249-250.
- 150)柴崎 幹生, 赤塚 純, 蓑輪 忠明, 上田 貴之, 長谷川 裕也, 天河 亮, 三神 晃, 大林 康太郎, 柳 雅人, 遠藤 勇氣, 武田 隼人, 林 達郎, 土肥 輝之, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 陰茎全摘術を要した陰茎絞扼症の1例. 泌尿器外科 2020; 33 (2) :202-203.
- 151)土屋未央, 宮澤美昂, 野本俊一, 小川令 : 非吸収性注入剤による豊胸手術後遺症症例の検討. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :239.
- 152)小町 太郎, 秋元 正宇, 細矢 慶, 吉野 綾穂, 長谷川 賢作, 大久保 公裕 : 鞍鼻を伴った鼻中隔彎曲症の手術治療経験. 日本鼻科学学会誌 2019; 58 (3) :511.
- 153)中村 加奈恵, 梅澤 裕己, 横島 一彦, 中溝 宗永, 小川 令 : 顔面動脈の特異な分岐パターンの報告. 日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 37 回:157.
- 154)宮澤美昂, 土屋未央, 野本俊一, 小川令 : 顔面神経麻痺に対する再建美容外科手術(第2報). 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :240.
- 155)萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 梅澤 裕己, 太田 恵一朗, 吉田 寛 : 食道切除後の特殊な臓器再建時における術中 ICG 蛍光法による可視化での血流評価. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 73 回:191.
- 156)石井暢明, 秋元正宇 : 鼻の再建外科 外鼻欠損・瘢痕拘縮の治療. PEPARS 2019; (153)

著書

- 1) 小川 令 : エキスパートが答える Dr.小川の傷や傷あと治療 Q&A. 2019, 南江堂.

学会発表

- 1) 庄司真美 : 前胸部の皮下皮膚様嚢腫の6例. 第88回日本医科大学医学会総会・学術集会, 2019. 9.
- 2) 西本あか奈 : 皮下脂肪組織厚を考慮した臍再建アルゴリズムの検討. 第87回日本医科大学医学会総会・学術集会, 2019.

28 リハビリテーション学分野

研究業績

論文等

- 1) 桐原 佳裕, 向井 祐介, 戸井 健之亮, 角南 英子, 松元 秀次 : Buckling knee pattern の異常歩行を呈した脳卒中片麻痺患者に対して促通反復療法が有効であった 1 症例. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 2019; 56 (特別号) :3.
- 2) 串田 雄一郎, 北川 恒実, 星野 友昭, 花田 高彬, 小柳 雅子, 長谷川 洋平, 宮下 大典, 岩本 正明, 木村 彰男 : 回復期リハビリテーション病棟における ICIDH と ICF の障害の捉え方に関する一考察. 総合リハビリテーション 2019; 47 (10) :1021-1025.
- 3) 向井 祐介, 仲林 理美, 根上 佳奈, 角南 英子, 松元 秀次 : 多巣性運動ニューロパチー患者に対する作業療法 指導的関わりから疾患への意識が高まった症例. 日本作業療法学会抄録集 2019; 53 回:PE-2B02.
- 4) 吉澤 剛幸, 増山 素道, 角南 英子, 松元 秀次 : 大血管転位症術後に運動発達遅滞が生じた乳児に対してリハビリテーション医療の工夫により定頸に至った症例. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 2019; 56 (特別号) :2-1.
- 5) 門馬 正志, 篠原 岳, 前田 紀章, 衛藤 裕介, 藤崎 公達, 西 晴子, 北川 恒実, 栗谷川 彰, 梅川 淳一 : 茯苓飲合半夏厚朴湯により改善した上腸間膜動脈症候群の一例. 日本病院総合診療医学会雑誌 2019; 15 (5) :458-459.
- 6) 小林 美香, 李 卿, 北川 恒実, 松元 秀次 : 閉塞性動脈硬化症に対する人工高濃度炭酸泉足浴の効果. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :262-263.

〔 5 〕 付置施設等

1 形態解析研究室

研究業績

論文等

- 1) 澤井信彦, 小澤一史: ラット外側中隔核における甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン含有線維とセロトニン含有線維の重複領域および終末形態に関する解析. 日本組織細胞化学会総会・学術集会講演プログラム・予稿集 60th 2019年9月 2019
- 2) 澤井信彦, 小澤一史: ラット外側中隔核における甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン含有線維の終末形態およびエンケファリン含有線維との重複投射の検証. 日本解剖学会総会・全国学術集会講演プログラム・抄録集 125th 2020

2 アイソトープ研究室

研究業績

論文等

- 1) Noriyuki Nagahara, Mio Tanaka, Yukichi Tanaka, Takaaki Ito : Novel Characterization of Antioxidant Enzyme, 3-Mercaptopyruvate Sulfurtransferase-Knockout Mice: Overexpression of the Evolutionarily-Related Enzyme Rhodanese. *Antioxidants* (Basel, Switzerland) 2019; 8 (5) doi: 10.3390/antiox8050116.
- 2) Teruo Kusano, Driss Ehrchiou, Tomohiro Matsumura, Veronique Chobaz, Sonia Nasi, Mariela Castelblanco, Alexander So, Christine Lavanchy, Hans Acha-Orbea, Takeshi Nishino, Ken Okamoto, Nathalie Busso : Targeted knock-in mice expressing the oxidase-fixed form of xanthine oxidoreductase favor tumor growth. *Nature communications* 2019; 10 (1) :4904. doi: 10.1038/s41467-019-12565-z.
- 3) Michael Gröger, Martin Wepler, Ulrich Wachter, Tamara Merz, Oscar McCook, Sandra Kress, Britta Lukaschewski, Sebastian Hafner, Markus Huber-Lang, Enrico Calzia, Michael Georgieff, Noriyuki Nagahara, Csaba Szabó, Peter Radermacher, Clair Hartmann : The Effects of Genetic 3-Mercaptopyruvate Sulfurtransferase Deficiency in Murine Traumatic-Hemorrhagic Shock. *Shock* (Augusta, Ga.) 2019; 51 (4) :472-478. doi: 10.1097/SHK.0000000000001165.
- 4) Sonia Nasi, Driss Ehrchiou, Athanasia Chatzianastasiou, Noriyuki Nagahara, Andreas Papapetropoulos, Jessica Bertrand, Giuseppe Cirino, Alexander So, Nathalie Busso : The protective role of the 3-mercaptopyruvate sulfurtransferase (3-MST)-hydrogen sulfide (H₂S) pathway against experimental osteoarthritis. *Arthritis research & therapy* 2020; 22 (1) :49. doi: 10.1186/s13075-020-02147-6.
- 5) Suma Uday, Tomohiro Matsumura, Vrinda Saraff, Shiho Saito, Hideo Orimo, Wolfgang Högler : Tissue non-specific alkaline phosphatase activity and mineralization capacity of bi-allelic mutations from severe perinatal and asymptomatic hypophosphatasia phenotypes: Results from an in vitro mutagenesis model. *Bone* 2019; 127:9-16. doi: 10.1016/j.bone.2019.05.031.
- 6) 田中祐吉, 梅本沙代子, 永原則之, 田中水緒 : 小児固形腫瘍における診断に有用な新規マーカーの開発と臨床応用. *こども医療センター医学誌* 2019
- 7) 田中水緒, 梅本沙代子, 永原則之, 田中祐吉 : 組織学的・細胞遺伝学的検討による先天性嚢胞性肺疾患の病因に基づく分類の試み. *こども医療センター医学誌* 2019

学会発表

- 1) Pavlidou A, Bibli S, Modis K, Nagahara N, Szabo C, Fleming I, Papapetropoulos A : Complementary roles for 3-mercaptopyruvate sulfurtransferase and cystathionine γ -lyase in angiogenesis. *American Heart Association Scientific Sessions*, 2019. 11.
- 2) Nagahara N : H₂S producing enzyme, 3-mercaptopyruvate sulfurtransferase. *9th World Congress on Chemistry*, 2019. 5.
- 3) Nagahara N, Tanaka M, Tanaka Y, Ito T : Overexpression of rhodanese in 3-mercaptopyruvate sulfurtransferase-knockout mice. *第92回日本生化学会総会*, 2019. 9.

3 実験動物管理室

研究業績

論文等

- 1) Miyagawa Yoshitaka, Maruyama Motoyo, Kuroda Seiji, Sakai Atsushi, Sato Yuriko, Kinoh Hiromi, Yamamoto Motoko, Cohen Justus B, Glorioso Joseph C, Okada Takashi : Biodistribution Analysis of Transgene Expression from a Non-Cytotoxic Herpes Simplex Virus Based Vector. MOLECULAR THERAPY 2019; 27 (4) :196.
- 2) Haruo Hashimoto, Tomoo Eto, Masafumi Yamamoto, Mika Yagoto, Motohito Goto, Takahiro Kagawa, Keisuke Kojima, Kenji Kawai, Toshio Akimoto, Ri-Ichi Takahashi : Development of blastocyst complementation technology without contributions to gametes and the brain. Experimental animals 2019; 68 (3) :361-370. doi: 10.1538/expanim.18-0173.
- 3) Takaya Ito, Atsushi Sakai, Motoyo Maruyama, Yoshitaka Miyagawa, Takashi Okada, Haruhisa Fukayama, Hidenori Suzuki : Dorsal Root Ganglia Homeobox downregulation in primary sensory neurons contributes to neuropathic pain in rats. Molecular pain 2020; 16 doi: 10.1177/1744806920904462.
- 4) Terasaki Y, Terasaki M, Kanazawa S, Kokuho N, Urushiyama H, Kajimoto Y, Kunugi S, Maruyama M, Akimoto T, Miura Y, Igarashi T, Ohsawa I, Shimizu A : Effect of H₂ treatment in a mouse model of rheumatoid arthritis-associated interstitial lung disease. Journal of cellular and molecular medicine 2019; 23 (10) :7043-7053. doi: 10.1111/jcmm.14603.
- 5) 宮川世志幸, 丸山基世, 丸山基世, 黒田誠治, 坂井敦, 佐藤優里子, 橋詰令太郎, 喜納裕美, 山本基子, JUSTUS Cohen, JOSEPH Glorioso, 岡田尚巳 : In vivo 遺伝子導入に至適化された無毒化ヘルペスウイルスベクターの開発. 日本分子生物学会年会プログラム・要旨集 2019; 42nd
- 6) Hiroto Iwasaki, Atsushi Sakai, Motoyo Maruyama, Takaya Ito, Atsuhiko Sakamoto, Hidenori Suzuki : Increased H19 Long Non-coding RNA Expression in Schwann Cells in Peripheral Neuropathic Pain. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2019; 86 (4) :215-221. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2018_86-402.
- 7) Atsushi Sakai, Motoyo Maruyama, Hidenori Suzuki : MicroRNA and long non-coding RNA in neuropathic pain. PAIN RESEARCH 2019; 34 (3) :219-227. doi: 10.11154/pain.34.219.
- 8) Takeshi Haseba, Takahisa Okuda, Motoyo Maruyama, Toshio Akimoto, Gregg Duester, Youkichi Ohno : Roles of Two Major Alcohol Dehydrogenases, ADH1 (Class I) and ADH3 (Class III), in the Adaptive Enhancement of Alcohol Metabolism Induced by Chronic Alcohol Consumption in Mice. Alcohol and alcoholism (Oxford, Oxfordshire) 2020; 55 (1) :11-19. doi: 10.1093/alcalc/agz091.
- 9) Sugama S, Takenouchi T, Hashimoto M, Ohata H, Takenaka H, Kakinuma Y : Stress-induced microglial activation occurs through β -adrenergic receptor: Noradrenaline as a key neurotransmitter in microglial activation. Journal of Neuroinflammation 2019
- 10) 勝山碧, 長谷場健, 佐佐木喜広, 和田健太郎, 丸山基世, 秋元敏雄, 奥田貴久 : 慢性エタノール摂取マウスにおける腎の形態的変化~1か月摂取での検討~. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (3) :412.
- 11) 坂井敦, 丸山基世, 鈴木秀典 : 神経障害性疼痛におけるマイクロ RNA と長鎖非コード RNA. Pain Research 2019; 34 (3) :219-227.
- 12) 岩崎宏俊, 坂井敦, 丸山基世, 伊藤孝哉, 鈴木秀典, 坂本篤裕 : 神経障害性疼痛における長鎖非コード RNA H19 の発現増加. 日本麻酔科学会学術集会 2019; 66th:ROMBUNNO.Q · IJ1 · 3 (WEB ONLY).

4 臨床系研究室

研究業績

5 分子解析研究室

研究業績

論文等

- 1) Akira Yokoyama, Nobuyuki Kakiuchi, Tetsuichi Yoshizato, Yasuhito Nannya, Hiromichi Suzuki, Yasuhide Takeuchi, Yusuke Shiozawa, Yusuke Sato, Kosuke Aoki, Soo Kim, Yoichi Fujii, Kenichi Yoshida, Keisuke Kataoka, Masahiro M. Nakagawa, Yoshikage Inoue, Tomonori Hirano, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Masashi Sanada, Shinya Ohashi, Shin'ichi Miyamoto, Shigeru Tsunoda, Koshi Mimori, Sachiko Minamiguchi, Satoru Miyano, Hideki Makishima, Manabu Muto, Seishi Ogawa : Chronology and risk dependence of age-related remodelling of oesophageal epithelia. *CANCER RESEARCH* 2019; 79 (13) doi: 10.1158/1538-7445.AM2019-3322.
- 2) Tomomi Nishimura, Kenichi Yoshida, Yukiko Kawata, Yasuhide Takeuchi, Nobuyuki Kakiuchi, Yusuke Shiozawa, Kosuke Aoki, Masahiro Hirata, Tatsuki R. Kataoka, Takaki Sakurai, Satoko Baba, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Kengo Takeuchi, Hironori Haga, Satoru Miyano, Masakazu Toi, Seishi Ogawa : Clonal evolution of non-malignant proliferative lesions into breast cancers. *CANCER RESEARCH* 2019; 79 (13) doi: 10.1158/1538-7445.AM2019-741.
- 3) Nobuyuki Kakiuchi, Kenichi Yoshida, Motoi Uchino, Takako Kihara, Kotaro Akaki, Yoshikage Inoue, Kenji Kawada, Satoshi Nagayama, Akira Yokoyama, Shuji Yamamoto, Minoru Matsuura, Takahiro Horimatsu, Tomonori Hirano, Norihiro Goto, Yasuhide Takeuchi, Yotaro Ochi, Yusuke Shiozawa, Yasunori Kogure, Yosaku Watatani, Yoichi Fujii, Soo Ki Kim, Ayana Kon, Keisuke Kataoka, Tetsuichi Yoshizato, Masahiro M Nakagawa, Akinori Yoda, Yasuhito Nanya, Hideki Makishima, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Masashi Sanada, Eiji Sugihara, Taka-Aki Sato, Takashi Maruyama, Hiroyuki Miyoshi, Makoto Mark Taketo, Jun Oishi, Ryosaku Inagaki, Yutaka Ueda, Shinya Okamoto, Hideaki Okajima, Yoshiharu Sakai, Takaki Sakurai, Hironori Haga, Seiichi Hirota, Hiroki Ikeuchi, Hiroshi Nakase, Hiroyuki Marusawa, Tsutomu Chiba, Osamu Takeuchi, Satoru Miyano, Hiroshi Seno, Seishi Ogawa : Frequent mutations that converge on the NFKBIZ pathway in ulcerative colitis. *Nature* 2020; 577 (7789) :260-265. doi: 10.1038/s41586-019-1856-1.
- 4) Keisuke Kataoka, Hiroaki Miyoshi, Seiji Sakata, Akito Dobashi, Lucile Couronné, Yasunori Kogure, Yasuharu Sato, Kenji Nishida, Yuka Gion, Yuichi Shiraishi, Hiroko Tanaka, Kenichi Chiba, Yosaku Watatani, Nobuyuki Kakiuchi, Yusuke Shiozawa, Tetsuichi Yoshizato, Kenichi Yoshida, Hideki Makishima, Masashi Sanada, Masahiro Onozawa, Takanori Teshima, Yumiko Yoshiki, Tadao Ishida, Kenshi Suzuki, Kazuyuki Shimada, Akihiro Tomita, Motohiro Kato, Yasunori Ota, Koji Izutsu, Ayako Demachi-Okamura, Yoshiki Akatsuka, Satoru Miyano, Tadashi Yoshino, Philippe Gaulard, Olivier Hermine, Kengo Takeuchi, Koichi Ohshima, Seishi Ogawa : Frequent structural variations involving programmed death ligands in Epstein-Barr virus-associated lymphomas. *Leukemia* 2019; 33 (7) :1687-1699. doi: 10.1038/s41375-019-0380-5.
- 5) Kakiuchi Nobuyuki, Yoshida Kenichi, Shiozawa Yusuke, Yokoyama Akira, Kataoka Keisuke, Inoue Yoshikage, Takeuchi Yasuhide, Hirano Tomonori, Fujii Yoichi, Ueno Hiroo, Hijioka Susumu, Mizuno Nobumasa, Hosoda Waki, Yatabe Yasushi, Chiba Kenichi, Tanaka Hiroko, Shiraishi Yuichi, Miyano Satoru, Masui Toshihiko, Uemoto Shinji, Yoshizawa Akihiko, Haga Hironori, Uza Norimitsu, Seno Hiroshi, Kodama Yuzo, Ogawa Seishi : Genetic analysis of pancreatic neuroendocrine neoplasms grade 3. *CANCER RESEARCH* 2019; 79 (13) doi: 10.1158/1538-7445.AM2019-3429.
- 6) Yuhei Nagao, Naoya Mimura, June Takeda, Kenichi Yoshida, Yusuke Shiozawa, Motohiko Oshima, Kazumasa Aoyama, Atsunori Saraya, Shuhei Koide, Ola Rizq, Yoshinori Hasegawa, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Dai Nishijima, Yusuke Isshiki, Kensuke Kayamori, Chika Kawajiri-Manako, Nagisa Oshima-Hasegawa, Shokichi Tsukamoto, Shio Mitsukawa, Yusuke Takeda, Chikako Ohwada, Masahiro Takeuchi, Tohru Iseki, Sonoko Misawa, Satoru Miyano, Osamu Ohara, Koutaro Yokote, Emiko Sakaida, Satoshi Kuwabara, Masashi Sanada, Atsushi Iwama, Seishi Ogawa, Chiaki Nakaseko : Genetic and transcriptional landscape of plasma cells in POEMS syndrome. *Leukemia* 2019; 33 (7) :1723-1735. doi: 10.1038/s41375-018-0348-x.

- 7) Ryunosuke Saiki, Yusuke Shiozawa, Tetsuichi Yoshizato, Yasuhito Nannya, June Takeda, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Hiroko Tanaka, Kenichi Chiba, Yoshiko Atsuta, Makoto Onizuka, Hidehiro Itonaga, Masashi Sanada, Yoshinobu Kanda, Bartłomiej Przychodzen, Mikkael A. Sekeres, Kathryn Guinta, Yogenthiran Sauntharajah, Lee-Yung Shih, Shuichi Miyawaki, Tsuyoshi Nakamaki, Masataka Taguchi, Shigeo Fuji, Nana Sasaki, Nobuhiko Uoshima, Yasunori Ueda, Yasushi Miyazaki, Kensuke Usuki, Kazunori Imada, Akifumi Takaori-Kondo, Shigeru Chiba, Senji Kasahara, Toru Kiguchi, Hisashi Tsurumi, Luca Malcovati, Mario Cazzola, Takayuki Ishikawa, Satoru Miyano, Jaroslaw P. Maciejewski, Hideki Makishima, Seishi Ogawa : Integrated Analysis of Copy-Number Alterations and Gene Mutations in 2,000 Patients with Myeloid Neoplasms. *BLOOD* 2019; 134 doi: 10.1182/blood-2019-132174.
- 8) Takashi Tani, Ken Okamoto, Megumi Fujiwara, Akira Katayama, Shuichi Tsuruoka : Metabolomics analysis elucidates unique influences on purine / pyrimidine metabolism by xanthine oxidoreductase inhibitors in a rat model of renal ischemia-reperfusion injury. *Molecular medicine (Cambridge, Mass.)* 2019; 25 (1) :40. doi: 10.1186/s10020-019-0109-y.
- 9) Watatani Y, Sato Y, Miyoshi H, Sakamoto K, Nishida K, Gion Y, Nagata Y, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Zhao L, Ochi Y, Takeuchi Y, Takeda J, Ueno H, Kogure Y, Shiozawa Y, Kakiuchi N, Yoshizato T, Nakagawa MM, Nanya Y, Yoshida K, Makishima H, Sanada M, Sakata-Yanagimoto M, Chiba S, Matsuoka R, Noguchi M, Hiramoto N, Ishikawa T, Kitagawa J, Nakamura N, Tsurumi H, Miyazaki T, Kito Y, Miyano S, Shimoda K, Takeuchi K, Ohshima K, Yoshino T, Ogawa S, Kataoka K : Molecular heterogeneity in peripheral T-cell lymphoma, not otherwise specified revealed by comprehensive genetic profiling. *Leukemia*. 2019; 59:113.
- 10) So Masaki, Shun Ikeda, Asuka Hata, Yusuke Shiozawa, Ayana Kon, Seishi Ogawa, Kenji Suzuki, Fumihiko Hakuno, Shin-Ichiro Takahashi, Naoyuki Kataoka : Myelodysplastic Syndrome-Associated SRSF2 Mutations Cause Splicing Changes by Altering Binding Motif Sequences. *Frontiers in genetics* 2019; 10:338. doi: 10.3389/fgene.2019.00338.
- 11) Yasuhide Takeuchi, Annegret Kunitz, Hiromichi Suzuki, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Teppei Shimamura, Nobuyuki Kakiuchi, Yusuke Shiozawa, Akira Yokoyama, Tetsuichi Yoshizato, Kosuke Aoki, Yoichi Fujii, Yasuhito Nannya, Hideki Makishima, Satoru Miyano, Hironori Haga, Frederik Damm, Seishi Ogawa : Myxofibrosarcoma is characterized by frequent abnormalities in TP53 and increased genetic instability. *CANCER RESEARCH* 2019; 79 (13) doi: 10.1158/1538-7445.AM2019-738.
- 12) June Takeda, Kenichi Yoshida, Yasuhito Nannya, Lee-Yung Shih, Ayana Kon, Akinori Yoda, Yotaro Ochi, Yusuke Shiozawa, Tetsuichi Yoshizato, Cassandra M. Kerr, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Yasunobu Nagata, Akira Hangaishi, Toshiyuki Kitano, Ken Ishiyama, Hisashi Tsurumi, Yasushi Miyazaki, Nobuhiro Hiramoto, Takayuki Ishikawa, Akifumi Takaori-Kondo, Masahiro Nakagawa, Masashi Sanada, Hideyuki Nakazawa, Keisuke Kataoka, Ryunosuke Saiki, Hiroko Tanaka, Kensuke Usuki, Shuichi Miyawaki, Satoru Miyano, Arnold Ganser, Michael Heuser, Jaroslaw P. Maciejewski, Felicitas Thol, Hideki Makishima, Seishi Ogawa : Novel Molecular Pathogenesis and Therapeutic Target in Acute Erythroid Leukemia. *BLOOD* 2019; 134 doi: 10.1182/blood-2019-129940.
- 13) 井上善景, 井上善景, 垣内伸之, 吉田健一, 塩澤裕介, 千葉建一, 竹内康英, 吉里哲一, 長山聡, 宮野悟, 坂井義治, 小川誠司 : POLE 遺伝子変異を有する大腸癌の遺伝子変異解析. *日本癌学会学術総会抄録集* 2019; 78th
- 14) Elena Mylonas, Kenichi Yoshida, Mareike Frick, Kaja Hoyer, Friederike Christen, Jaspal Kaeda, Matthias Obenaus, Daniel Noerenberg, Cornelius Hennch, Willy Chan, Yotaro Ochi, Yuichi Shiraishi, Yusuke Shiozawa, Thorsten Zenz, Christopher C Oakes, Birgit Sawitzki, Michaela Schwarz, Lars Bullinger, Philipp le Coutre, Matthew J J Rose-Zerilli, Seishi Ogawa, Frederik Damm : Single-cell analysis based dissection of clonality in myelofibrosis. *Nature communications* 2020; 11 (1) :73. doi: 10.1038/s41467-019-13892-x.
- 15) 井上 善景, 垣内 伸之, 吉田 健一, 塩澤 裕介, 千葉 健一, 竹内 康英, 吉里 哲一, 長山 聡, 宮野 悟, 坂井 義治, 小川 誠司 : がんゲノム解析の新しい流れ(全ゲノム解析、クラウド解析、全がん解析、ロングリード解析などの新規技術) POLE 遺伝子変異を有する大腸癌の遺伝子変異解析(Frontiers in cancer genomics Clinical and genetic characteristics of colorectal cancer with POLE gene mutation). *日本癌学会総会記事* 2019; 78 回:S23-3.
- 16) 越智陽太郎, 越智陽太郎, 昆彩奈, 中川正宏, 片岡圭亮, 古関明彦, 佐伯龍之介, 吉里哲一, 吉田健一, 依田成玄, 鈴木洋, 鶴山竜

- 昭, 牧島秀樹, 塩澤裕介, 南谷泰仁, 杉原英志, 佐藤孝明, 真田昌, 高折晃史, 宮野悟, 小川誠司 : コヒーシン STAG2 および RUNX1 変異による骨髄異形成症候群発症の分子機構. 日本癌学会学術総会抄録集 2019; 78 回:E-1001.
- 17) 西村 友美, 吉田 健一, 竹内 康英, 垣内 伸之, 塩澤 裕介, 片岡 竜貴, 桜井 孝規, 竹内 賢吾, 羽賀 博典, 宮野 悟, 戸井 雅和, 小川 誠司 : 乳管上皮増殖性病変から乳癌へ至るクローン進化(Clonal evolution of proliferative lesions into breast cancers). 日本癌学会総会記事 2019; 78 回:J-1027.
- 18) 垣内伸之, 垣内伸之, 内野基, 木原多佳子, 赤木宏太朗, 井上善景, 長山聡, 横山顕礼, 平野智紀, 平野智紀, 竹内康英, 竹内康英, 越智陽太郎, 塩澤裕介, 片岡圭亮, 中川正宏, 依田成玄, 南谷泰仁, 牧島秀樹, 白石友一, 千葉健一, 真田昌, 三好弘之, 坂井義治, 桜井孝規, 羽賀博典, 廣田誠一, 池内浩基, 竹内理, 宮野悟, 妹尾浩, 小川誠司 : 潰瘍性大腸炎における上皮細胞の陽性選択. 日本分子生物学会年会プログラム・要旨集 2019; 42nd
- 19) 竹内 康英, 鈴木 啓道, 吉田 健一, 白石 友一, 垣内 伸之, 塩澤 裕介, 井上 善景, 千葉 健一, 牧島 秀樹, 宮野 悟, 羽賀 博典, Damm Frederik, 小川 誠司 : 粘液線維肉腫にみられる TP53 の異常と著明な遺伝的不安定性(Frequent abnormalities in TP53 and increased genetic instability in myxofibrosarcoma). 日本癌学会総会記事 2019; 78 回:J-1002.
- 20) 小笠原 辰樹, 藤本 真徳, 藤井 陽一, 樋口 誠一郎, 塩澤 裕介, 鈴木 啓道, 牧島 秀樹, 宮野 悟, 小川 誠司, 田中 知明 : 褐色細胞腫の遺伝学的解析. 日本内分泌学会雑誌 2019; 95 (2) :805.

6 磁気共鳴分析室

研究業績

論文等

- 1) Keiko Hirakawa, Kaoru Koike, Yoshimasa Kanawaku, Tsuyoshi Moriyama, Norio Sato, Takao Suzuki, Kenichi Furihata, Youkichi Ohno : Short-time Fourier Transform of Free Induction Decays for the Analysis of Serum Using Proton Nuclear Magnetic Resonance. Journal of Oleo Science 2019; 68 (4) :369-378. doi: 10.5650/jos.ess18212.
- 2) 平川 慶子, 大野 曜吉, 小川 令, 金涌 佳雅, 山崎 峰雄, 足立 好司 : 振動工学におけるモード解析の概念を取り入れた脳腫瘍およびアルツハイマー型認知症の新規血清診断法の開発. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :246-247.
- 3) 山崎 峰雄, 葛谷 聡, 平川 慶子, 金涌 佳雅, 木村 和美, 小池 薫 : 血清 NMR データを用いた新たなアルツハイマー病診断法の開発. 臨床神経学 2019; 59 (Suppl.) :S217.

学会発表

- 1) 足立好司, 平川慶子, 小池薫, 金涌佳雅, 森田明夫 : NMR モード解析技術を用いた脳腫瘍診断の試み. 日本脳神経外科学会第 78 回学術総会, 2019. 10.
- 2) 平川慶子, 金涌佳雅, 山崎峰雄, 足立好司, 大野曜吉, 小川令 : 振動工学におけるモード解析の概念を取り入れた脳腫瘍およびアルツハイマー型認知症の新規血清診断法の開発. 第 87 回日本医科大学医学会総会, 2019. 9.
- 3) 山崎峰雄, 葛谷聡, 平川慶子, 金涌佳雅, 木村和美, 小池薫 : 血清 NMR データを用いた新たなアルツハイマー病診断法の開発. 第 60 回日本神経学会学術大会. (大阪府), 2019. 5.

7 学生相談室

研究業績

論文等

- 1) 鋤柄 のぞみ, 榎村 正美, 加藤 優子 :UPI 短縮版を実施した 5 年間についての検証と段階評価の設定. 日本医科大学基礎科学紀要 = The Bulletin of liberal arts & sciences, Nippon Medical School 2019; (48) :39-58.

8 医学教育センター

研究業績

論文等

- 1) Noishiki C, Hayasaka Y, Ogawa R : Sex Differences in Keloidogenesis: An Analysis of 1659 Keloid Patients in Japan. *Dermatology and therapy* 2019; 9 (4) :747-754. doi: 10.1007/s13555-019-00327-0.

学会発表

- 1) 松永 宜子, 野一色 千景, 小川 令, 早坂 明哲 : ケロイド発生増悪における性差に関する統計学的観察. *日本医科大学医学会雑誌* 15(4) 253, 2019. 10.
- 2) 早坂明哲, 竹下俊行, 藤倉輝道 : 学生を対象とした講義動画の満足度調査. *医学教育* 50(Suppl.) 214, 2019. 7.
- 3) 早坂 明哲, 竹下俊行, 藤倉輝道 : 学生を対象とした講義動画配信の満足度調査報告. *大学 ICT 推進協議会 2019 年度年次大会*, 2019. 12.
- 4) 横堀 将司, 阿曾 亮子, 藤倉 輝道, 横田 裕行, 市場 晋吾, 竹下 俊行, 日本医科大学シミュレーション教育委員会 : 救急医学 Clinical clerkship 学生におけるシミュレーション実習の評価. *医学教育* 50(Suppl.) 100, 2019. 7.
- 5) 藤倉輝道, 早坂明哲, 井上千鹿子 : 課題作成型 PBL の教育効果. *医学教育* 50(Suppl.) 116, 2019. 7.
- 6) 井上千鹿子, 早坂明哲, 藤倉輝道 : 転写シールによるシミュレーション教育用ムラージュ(特殊メイク)の開発(第 3 報):安全な運用に向けて. *医学教育* 50(Suppl.)169, 2019. 7.

〔6〕 付属病院付置施設等

1 付属病院医療安全管理部

研究業績

2 付属病院老年内科

研究業績

3 附属病院緩和ケア科

研究業績

4 付属病院病理診断科

研究業績

論文等

- 1) 石野 孔祐, 工藤 光洋, 呉 壮香, 川原 清子, 河本 陽子, 手塚 潔, 藤井 雄文, 和田 龍一, 内藤 善哉 : 2-デオキシグルコースの細胞増殖阻害作用に影響する細胞外代謝物の解析. 日本病理学会会誌 2020; 109 (1) :454.
- 2) Nariaki Kokuho, Yasuhiro Terasaki, Shinobu Kunugi, Yoshinobu Saito, Hirokazu Urushiyama, Mika Terasaki, Hiroki Hayashi, Akihiko Gemma, Akira Shimizu : Analyses of alveolar epithelial injury via lipid-related stress in mammalian target of rapamycin inhibitor-induced lung disease. Laboratory investigation; a journal of technical methods and pathology 2019; 99 (6) :853-865. doi: 10.1038/s41374-018-0158-9.
- 3) Leung SCY, Nielsen TO, Zabaglo LA, Arun I, Badve SS, Bane AL, Bartlett JMS, Borgquist S, Chang MC, Dodson A, Ehinger A, Fineberg S, Focke CM, Gao D, Gown AM, Gutierrez C, Hugh JC, Kos Z, Laenkhholm AV, Mastropasqua MG, Moriya T, Nofech-Mozes S, Osborne CK, Penault-Llorca FM, Piper T, Sakatani T, Salgado R, Starczynski J, Sugie T, van der Veegt B, Viale G, Hayes DF, McShane LM, Dowsett M, International K, in Breast Cancer Working, Group of the, Breast International, Group North American Breast Cancer Group, BIG-NABCG : Analytical validation of a standardized scoring protocol for Ki67 immunohistochemistry on breast cancer excision whole sections: an international multicenter collaboration. Histopathology 2019
- 4) Aoyama J, Hayashi H, Yajima C, Takoi H, Tanaka T, Kashiwada T, Kokuho N, Terasaki Y, Nishikawa A, Gono T, Kuwana M, Saito Y, Abe S, Seike M, Gemma A : Anti-MDA5 antibody-positive rapidly progressive interstitial pneumonia without cutaneous manifestations. Respiratory Medicine Case Reports 2019; 26:193-196. doi: 10.1016/j.rmcr.2019.01.012.
- 5) Yahiro K, Ogura K, Terasaki Y, Satoh M, Miyagi S, Terasaki M, Yamasaki E, Moss J : Cholix toxin, an eukaryotic elongation factor 2 ADP-ribosyltransferase, interacts with Prohibitins and induces apoptosis with mitochondrial dysfunction in human hepatocytes. Cell Microbiol. 2019
- 6) Watanabe K, Ishii H, Kiyomi F, Terasaki Y, Hebisawa A, Kawabata Y, Johkoh T, Sakai F, Kondoh Y, Inoue Y, Azuma A, Suda T, Ogura T, Inase N, Homma S : Criteria for the diagnosis of idiopathic pleuroparenchymal fibroelastosis: A proposal. Respir Investig 2019
- 7) Kondo R, Ishino K, Wada R, Takata H, Peng WX, Kudo M, Kure S, Kaneya Y, Tani N, Yoshida H, Naito Z : Downregulation of protein disulfide-isomerase A3 expression inhibits cell proliferation and induces apoptosis through STAT3 signaling in hepatocellular carcinoma. International journal of oncology 2019; 54 (4) :1409-1421. doi: 10.3892/ijo.2019.4710.
- 8) 梶本 雄介, 寺崎 美佳, 功刀 しのぶ, 清水 章, 寺崎 泰弘 : EB ウイルス陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の寛解後に多発性肺 T 細胞性リンパ腫を発症した 1 例. 日本病理学会会誌 2019; 108 (1) :357.
- 9) Terasaki Y, Terasaki M, Kanazawa S, Kokuho N, Urushiyama H, Kajimoto Y, Kunugi S, Maruyama M, Akimoto T, Miura Y, Igarashi T, Ohsawa I, Shimizu A : Effect of H2 treatment in a mouse model of rheumatoid arthritis-associated interstitial lung disease. J Cell Mol Med. 2019
- 10) Hideaki Isago, Akihisa Mitani, Yu Mikami, Masafumi Horie, Hirokazu Urushiyama, Ryuji Hamamoto, Yasuhiro Terasaki, Takahide Nagase : Epithelial Expression of YAP and TAZ Is Sequentially Required in Lung Development. American journal of respiratory cell and molecular biology 2020; 62 (2) :256-266. doi: 10.1165/rcmb.2019-0218OC.
- 11) Shimoda T, Wada R, Kure S, Ishino K, Kudo M, Ohashi R, Fujita I, Uchida E, Yoshida H, Naito Z : Expression of protein disulfide isomerase A3 and its clinicopathological association in gastric cancer. Oncology reports 2019; 41 (4) :2265-2272. doi: 10.3892/or.2019.6999.
- 12) Hotta M, Sakatani T, Ishino K, Wada R, Kudo M, Yokoyama Y, Yamada T, Yoshida H, Naito Z : Farnesoid X receptor induces cell death and sensitizes to TRAIL-induced inhibition of growth in colorectal cancer cells through the up-regulation of death receptor 5. Biochem Biophys Res Commun. 2019

- 13) Akimoto N, Wada R, Iwakiri K, Naito Z : Histology and molecular biology studies on the expression and localization of angiopoietin-like protein 8 in human tissues. *Biomed Rep* 2019; 11 (5) :215-221. doi: 10.3892/br.2019.1243.
- 14) Yokoyama Y, Sakatani T, Wada R, Ishino K, Kudo M, Koizumi M, Yamada T, Yoshida H, Naito Z : In vitro and in vivo studies on the association of long non-coding RNAs H19 and urothelial cancer associated 1 with the susceptibility to 5-fluorouracil in rectal cancer. *Int J Oncol.* 2019; 55 (6) :1361-1371. doi: 10.3892/ijo.2019.4895.
- 15) 呉壮香, 石野孔祐, 工藤光洋, 和田龍一, 齋藤麻梨恵, 長岡竜太, 杉谷巖, 内藤善哉 : Incidence of BRAF V600E mutation in patients with papillary thyroid carcinoma: a single-institution experience. *J Int Med Res* 2019; 47 (11) :5560-5572. doi: 10.1177/0300060519873481.
- 16) Takahagi A, Sato M, Chen-Yoshikawa TF, Miyamoto E, Saito M, Gochi F, Hamaji M, Yoshizawa A, Terasaki Y, Urushiyama H, Aoyama A, Sonobe M, Date H. : LPS-induced airway-centered inflammation leading to BOS-like airway remodeling distinct from RAS-like fibrosis in rat lung transplantation. *Transplantation* 2020
- 17) Yoshimoto T, Matsubara D, Soda M, Ueno T, Amano Y, Kihara A, Sakatani T, Nakano T, Shibano T, Endo S, Hagiwara K, Fukayama M, Denda-Nagai K, Irimura T, Mano H, Niki T : MUC21 is a Key Molecule Involved in the Incohesive Growth Pattern in Lung Adenocarcinoma. *Cancer Sci.* 2019
- 18) Tatsuya Onishi, Sachiko Matsuda, Yuki Nakamura, Junko Kuramoto, Akinori Tsuruma, Satoshi Sakamoto, Shunichi Suzuki, Daiichiro Fuchimoto, Akira Onishi, Shinichi Chikaki, Miki Kaneko, Akihiro Kuwahata, Masaki Sekino, Hiroshi Yasuno, Naohiro Hanyu, Tomoko Kurita, Hiroyuki Takei, Takashi Sakatani, Kanae Taruno, Seigo Nakamura, Tetsu Hayashida, Hiromitsu Jinno, Moriaki Kusakabe, Hiroshi Handa, Kaori Kameyama, Yuko Kitagawa : Magnetically Promoted Rapid Immunofluorescence Staining for Frozen Tissue Sections. *JOURNAL OF HISTOCHEMISTRY & CYTOCHEMISTRY* 2019; 67 (8) :575-587. doi: 10.1369/0022155419841023.
- 19) Onishi T, Matsuda S, Nakamura Y, Kuramoto J, Tsuruma A, Sakamoto S, Suzuki S, Fuchimoto D, Onishi A, Chikaki S, Kaneko M, Kuwahata A, Sekino M, Yasuno H, Hanyu N, Kurita T, Takei H, Sakatani T, Taruno K, Nakamura S, Hayashida T, Jinno H, Kusakabe M, Handa H, Kameyama K, Kitagawa Y : Magnetically Promoted Rapid Immunofluorescence Staining for Frozen Tissue Sections. *J Histochem Cytochem* 2019
- 20) 銭 真臣, 長岡 竜太, 齋藤 麻梨恵, 杉谷 巖, 功刀 しのぶ, 寺崎 康弘, 坂谷 貴司 : Marine-Lenhart 症候群に対して外科的治療を施行した 1 例. *日本医科大学医学会雑誌* 2019; 15 (4) :268.
- 21) Terasaki Y, Suzuki T, Tonaki K, Terasaki M, Kuwahara N, Ohsiro J, Iketani M, Takahashi M, Hamanoue M, Kajimoto Y, Hattori S, Kawaguchi H, Shimizu A, Ohsawa I : Molecular hydrogen attenuates gefitinib-induced exacerbation of naphthalene-evoked acute lung injury through a reduction in oxidative stress and inflammation. *Laboratory Investigation* 2019; 99(6):793-806. doi: 10.1038/s41374-019-0187-z.
- 22) Yoshimoto T, Matsubara D, Soda M, Ueno T, Amano Y, Kihara A, Sakatani T, Nakano T, Shibano T, Endo S, Hagiwara K, Fukayama M, Denda-Nagai K, Irimura T, Mano H, Niki T : Mucin 21 is a key molecule involved in the incohesive growth pattern in lung adenocarcinoma. *Cancer science* 2019; 110 (9) :3006-3011. doi: 10.1111/cas.14129.
- 23) Tomoyuki Fujisawa, Kazutaka Mori, Masashi Mikamo, Takashi Ohno, Kensuke Kataoka, Chikatoshi Sugimoto, Hideya Kitamura, Noriyuki Enomoto, Ryoko Egashira, Hiromitsu Sumikawa, Tae Iwasawa, Shoichiro Matsushita, Hiroaki Sugiura, Mikiko Hashisako, Tomonori Tanaka, Yasuhiro Terasaki, Shinobu Kunugi, Masashi Kitani, Ryo Okuda, Yasuoki Horiike, Yasunori Enomoto, Hideki Yasui, Hironao Hozumi, Yuzo Suzuki, Yutaro Nakamura, Junya Fukuoka, Takeshi Johkoh, Yasuhiro Kondoh, Takashi Ogura, Yoshikazu Inoue, Yoshinori Hasegawa, Naohiko Inase, Sakae Homma, Takafumi Suda : Nationwide cloud-based integrated database of idiopathic interstitial pneumonias for multidisciplinary discussion. *The European respiratory journal* 2019; 53 (5) doi: 10.1183/13993003.02243-2018.
- 24) Kajimoto Y, Endo Y, Terasaki M, Kunugi S, Igarashi T, Mii A, Terasaki Y, Shimizu A : Pathologic glomerular characteristics and glomerular basement membrane alterations in biopsy-proven thin basement membrane nephropathy. *Clinical and Experimental Nephrology* 2019; 23 (5) :638-649. doi: 10.1007/s10157-018-01687-1.
- 25) Kure S, Wada R, Naito Z : Relationship between genetic alterations and clinicopathological characteristics of papillary thyroid carcinoma. *Med Mol Morphol* 2019

- 26) Peng WX, Wada R, Kure S, Fukunaga M, Naito Z : Superficial Myofibroblastoma in the Vulva Mimicking Aggressive Angiomyxoma: A Case Report and Review of the Literature. *Case reports in pathology* 2019; 2019:1582714. doi: 10.1155/2019/1582714.
- 27) Hojo T, Masuda N, Iwamoto T, Niikura N, Anan K, Aogi K, Ohnishi T, Yamauchi C, Yoshida M, Kinoshita T, Masuoka H, Sagara Y, Sakatani T, Kojima Y, Tsuda H, Kumamaru H, Miyata H, Nakamura S : Taxane-based combinations as adjuvant chemotherapy for node-positive ER-positive breast cancer based on 2004-2009 data from the Breast Cancer Registry of the Japanese Breast Cancer Society. *Breast Cancer* 2019
- 28) Nanri Y, Nunomura S, Terasaki Y, Yoshihara T, Hirano Y, Yokosaki Y, Yamaguchi Y, Feghali-Bostwick C, Ajito K, Murakami S, Conway SJ, Izuhara K : The Cross-Talk Between TGF- β and Periostin Can Be Targeted for Pulmonary Fibrosis. *Am J Respir Cell Mol Biol*. 2019
- 29) Isago H, Mitani A, Mikami Y, Horie M, Urushiyama H, Hamamoto R, Terasaki Y, Nagase T : The Epithelial Expressions of YAP and TAZ are Sequentially Required in Lung Development. *Am J Respir Cell Mol Biol*. 2019
- 30) Hideaki Isago, Akihisa Mitani, Shiho Kohno, Hiroyuki Nagoshi, Taro Ishimori, Minako Saito, Hiroyuki Tamiya, Yu Mikami, Masafumi Horie, Hirokazu Urushiyama, Taisuke Jo, Go Tanaka, Ryuji Hamamoto, Yasuhiro Terasaki, Takahide Nagase : The Hippo pathway effectors TAZ and YAP are sequentially required in lung development. *EUROPEAN RESPIRATORY JOURNAL* 2019; 54 doi: 10.1183/13993003.congress-2019.OA3604.
- 31) Mikami E, Kudo M, Ohashi R, Kawahara K, Kawamoto Y, Teduka K, Fujii T, Kitamura T, Kure S, Ishino K, Sakatani T, Wada R, Saeki H, Naito Z : Toll-like receptor 4 plays a tumor-suppressive role in cutaneous squamous cell carcinoma. *Int J Oncol*. 2019; 54 (6) :2179-2188. doi: 10.3892/ijo.2019.4790.
- 32) 中嶋 亘, 栗田 智子, 阪口 正洋, 坂谷 貴司, 内藤 善弥, 武井 寛幸, 田中 信之 : トリプルネガティブ乳癌における微小管阻害薬バクリタキセルに対する細胞死誘導機構の解析(Analysis of Microtubule-targeting agents-induced apoptosis in triple-negative breast cancer). *日本癌学会総会記事* 2019; 78 回:P-3242.
- 33) 林 杏奈, 宮永 晃彦, 鈴木 彩奈, 高野 夏希, 久金 翔, 高橋 聡, 菅野 哲平, 武内 進, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 齋藤 好信, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦, 功刀 しのぶ, 坂谷 貴司 : ニボルマブにより薬剤性肺障害を発症した間質性肺炎合併肺扁平上皮癌の1 剖検例. *肺癌* 2019; 59 (3) :323.
- 34) 青木 真莉菜, 釜口 晴美, 松原 美幸, 寺崎 美佳, 山本 晃人, 呉 壮香, 大橋 隆治, 寺崎 泰弘, 坂谷 貴司, 石井 英昭 : ブレンナー腫瘍を背景とした卵巣扁平上皮癌の一例. *日本臨床細胞学会雑誌* 2019; 58 (Suppl.1) :323.
- 35) 岡村 賢, 野呂 林太郎, 藤田 和恵, 呉 壮香, 功刀 しのぶ, 高野 仁司, 齋藤 好信, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : プロテイン C 欠乏症による深部静脈血栓症に、侵襲性肺アスペルギルス症による急性呼吸不全呼吸不全を併発した 1 例. *日本内科学会関東地方会* 2019; 650 回:39.
- 36) 葉山 綾子, 渡會 泰彦, 松澤 こず恵, 石井 英昭, 坂谷 貴司, 清水 章, 内藤 善哉, 土屋 眞一 : 乳癌サブタイプ分類の臨床及び組織・細胞学的特徴 乳癌 HER2 および TN タイプの細胞学的特徴とその傾向. *日本臨床細胞学会雑誌* 2019; 58 (Suppl.1) :128.
- 37) 栗田 智子, 垂野 香苗, 柳原 恵子, 中井 麻木, 范姜 明志, 坂谷 貴司, 蒔田 益次郎, 眞鍋 恵理子, 榎戸 克年, 明石 定子, 沢田 晃弘, 桑山 隆志, 橋本 梨佳子, 川手 佳美, 斉藤 逸郎, 桑波田 晃弘, 関野 正樹, 日下部 守昭, 中村 清吾, 武井 寛幸 : 乳癌磁気法センチネルリンパ節生検の臨床試験報告 AMED 開発機構委託・多施設共同臨床研究. *日本乳癌学会総会プログラム抄録集* 2019; 27 回:325.
- 38) 伊藤 有紗, 寺口 茉那, 津浦 海里, 寺崎 美佳, 桑原 尚美, 遠藤 陽子, 功刀 しのぶ, 寺崎 泰弘, 清水 章 : 内膜性性嚢胞と明細胞腺癌の RT-qPCR 法を用いたバイオマーカー候補蛋白質の mRNA 発現検討. *日本病理学会会誌* 2019; 108 (1) :449.
- 39) 河本 陽子, 呉 壮香, 川原 清子, 手塚 潔, 恩田 宗彦, 和田 龍一, 内藤 善哉, 石井 英昭, 功刀 しのぶ, 片山 博徳 : 剖検で診断しえた Desmoplastic malignant mesothelioma の 1 例. *日本医科大学医学会雑誌* 2019; 15 (4) :243.
- 40) 井上 達哉, 榎本 豊, 竹ヶ原 京志郎, 園川 卓海, 松本 充生, 功刀 しのぶ, 寺崎 泰弘, 清水 章, 白田 実男 : 原発巣切除後遠隔期に肺転移した甲状腺乳頭癌に対する切除例. *日本臨床外科学会雑誌* 2019; 80 (増刊) :606.
- 41) 杉谷 巖, 眞田麻梨恵, 数阪広子, 松井満美, 銭真臣, 長岡竜太, 呉壮香 : 外科医から見た甲状腺境界病変:乳頭癌診療への影響. *日本内分泌学会雑誌* 2019; 95 (1) :232.

- 42) 吳 壯香, 和田 龍一, 石野 孔祐, 工藤 光洋, 廣川 満良, 眞田 麻梨恵, 長岡 竜太, 杉谷 巖, 内藤 善哉: 好酸性細胞型濾胞癌 2 例の臨床病理学的特徴および遺伝子解析. 日本内分泌外科学会雑誌 2019; 36 (Suppl.1) :S137.
- 43) 數阪 広子, 長岡 竜太, 松井 満美, 錢 真臣, 眞田 麻梨恵, 遠藤 陽子, 寺崎 泰弘, 坂谷 貴司, 岡村 律子, 杉谷 巖: 小児造血器腫瘍の治療後に甲状腺濾胞癌を発症した 1 例. 日本内分泌外科学会雑誌 2019; 36 (Suppl.1) :S139.
- 44) 眞田 麻梨恵, 吳 壯香, 松井 満美, 數阪 広子, 錢 真臣, 長岡 竜太, 岡村 律子, 杉谷 巖: 当院で経験した悪性度不明の高分化腫瘍(WDT-UMP). 日本内分泌外科学会雑誌 2019; 36 (Suppl.1) :S151.
- 45) 榎本 あつみ, 村瀬 幸宏, 石井 英昭, 寺崎 美佳, 寺崎 泰弘, 吳 壯香, 和田 龍一, 北川 泰之, 清水 章, 内藤 善哉: 悪性顆粒細胞腫の 1 例. 日本臨床細胞学会雑誌 2019; 58 (Suppl.1) :353.
- 46) 千田 絵里佳, 渥美 健一郎, 林 杏奈, 清水 理光, 二島 駿一, 田中 徹, 柏田 建, 林 宏紀, 藤田 和恵, 寺崎 泰弘, 櫻井 侑美, 谷口 泰之, 齋藤 好信, 木村 弘, 清家 正博, 弦間 昭彦: 早期治療介入をするも難治性末梢神経障害と大腸潰瘍を来した EGPA の 1 例. 日本結核病学会関東支部学会・日本呼吸器学会関東地方合同学会プログラム・抄録集 2019; 176 回・236 回:27.
- 47) 芳賀 三四郎, 田中 徹, 湯浅 瑞希, 清水 理光, 二島 駿一, 柏田 建, 渥美 健一郎, 田中 庸介, 齋藤 好信, 寺崎 泰弘, 木村 弘, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦: 気管支鏡にて診断した汎血球減少改善に伴い発症したメトトレキサート肺炎の 1 例. 気管支学 2020; 42 (1) :99.
- 48) 吳 壯香, 和田 龍一, 石野 孔祐, 工藤 光洋, 内藤 善哉: 甲状腺乳頭癌における BRAF 遺伝子変異の出現頻度と臨床病理学的因子の関連についての検討. 日本病理学会会誌 2019; 108 (1) :396.
- 49) 松井 満美, 長岡 竜太, 數阪 広子, 錢 真臣, 眞田 麻梨恵, 吳 壯香, 岡村 律子, 杉谷 巖: 甲状腺未分化癌 Stage IVC、PI=4 に対し集学的治療を行い長期生存が得られた一例. 日本内分泌外科学会雑誌 2019; 36 (Suppl.1) :S146.
- 50) 吳 壯香, 和田 龍一, 石野 孔祐, 工藤 光洋, 内藤 善哉: 甲状腺未分化癌組織における protein disulfide isomerase A3(PDIA3)の発現の検討. 日本病理学会会誌 2020; 109 (1) :365.
- 51) 寺崎 美佳, 若松 恭子, 桑原 尚美, 寺崎 泰弘, 遠藤 陽子, 遠田 悦子, 功刀 しのぶ, 梶本 雄介, 清水 華, 清水 章: 破骨細胞様巨細胞を伴う腫瘍の組織学的類似性および RANKL 発現の検討. 日本病理学会会誌 2019; 108 (2) :116.
- 52) 梶本 雄介, 寺崎 泰弘, 寺崎 美佳, 功刀 しのぶ, 岡部 友吾, 清水 章: 肺原発悪性リンパ腫の 2 例. 日本病理学会会誌 2020; 109 (1) :419.
- 53) 井上 達哉, 竹ヶ原 京志郎, 園川 卓海, 松本 充生, 榎本 豊, 白田 実男, 功刀 しのぶ, 寺崎 泰弘, 清水 章: 肺転移によって発見された不顕性甲状腺乳頭癌の 1 切除例. 肺癌 2019; 59 (4) :435.
- 54) 下田 朋宏, 和田 龍一, 高 和英, 新井 洋紀, 松野 邦彦, 柿沼 大輔, 萩原 信敏, 金沢 義一, 藤田 逸郎, 松谷 毅, 野村 務, 太田 恵一郎, 内藤 善哉, 吉田 寛: 胃癌における protein disulfide isomerase A3 の発現と臨床病理学的因子との関連. 日本消化器外科学会雑誌 2019; 52 (Suppl.2) :207.
- 55) 金田 陽祐, 和田 龍一, 吳 壯香, 内藤 善哉: 膵内副脾上皮嚢胞 5 例の病理組織学的検討. 日本病理学会会誌 2020; 109 (1) :357.
- 56) 齋藤 麻梨恵, 吳 壯香, 長岡 竜太, 岡村 律子, 杉谷 巖: 術前把握できなかった甲状腺内異物を伴った甲状腺乳頭癌の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 2020; 81 (1) :20-25.
- 57) 錢 真臣, 長岡 竜太, 數阪 広子, 松井 満美, 齋藤 麻梨恵, 杉谷 巖, 坂谷 貴司, 亀山 香織: 診断に難渋した非機能性副甲状腺癌の 1 例. 日本内分泌外科学会雑誌 2019; 36 (Suppl.3) :S341.

著書

- 1) 寺崎泰弘: [分担執筆] 最新 IgG4 関連疾患改訂第 2 版. 呼吸器病変 病理. 2019, 診断と治療社.
- 2) 寺崎泰弘: [分担執筆] 呼吸器病変 病理. 最新 IgG4 関連疾患改訂第 2 版. 2019, 診断と治療社.
- 3) 寺崎泰弘: [分担執筆] II 間質性肺疾患の診断・検査一画像と病理がわかる C. 組織の見方. 間質性肺疾患診療マニュアル改訂第 3 版. 2019, 南江堂.

学会発表

- 1) Takashi Sakatani, Zenya, Naito: Pathological evaluation of therapeutic effect and predictive factors in breast cancer. 第 108 回日本病理学会

総会, 2019. 5.

- 2) 寺崎泰弘 : Pathological features of lung lesions in PPFE of idiopathic or transplantation related cases with evaluation of the elastic fiber related conditions comparing to those of IPF/UIP. European respiratory society international congress, 2019. 9.
- 3) 寺崎泰弘 : リンパ増殖性肺疾患. 第 38 回岩手びまん性肺疾患研究会, 2019. 9.
- 4) 坂谷貴司 : 乳腺 スライドカンファレンス出題. 第 60 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会) , 2019. 6.
- 5) 坂谷貴司 : 乳腺の病理と細胞診. 富山県臨床細胞学会研修会, 2019. 7.

5 付属病院外科系集中治療科

研究業績

論文等

- 1) Dai Namizato, Masae Iwasaki, Masashi Ishikawa, Ryuta Nagaoka, Yuki Genda, Hiroaki Kishikawa, Iwao Sugitani, Atsuhiko Sakamoto : Anesthetic Considerations of Intraoperative Neuromonitoring in Thyroidectomy. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2019; 86 (5) :263-268. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-408.
- 2) Imori Y, Takano H, Mase H, Matsuda J, Sangen H, Izumi Y, Tokita Y, Yamamoto T, Shimizu W : Bisoprolol transdermal patch for perioperative care of non-cardiac surgery in patients with hypertrophic obstructive cardiomyopathy. BMC cardiovascular disorders 2019; 19 (1) :316. doi: 10.1186/s12872-019-01274-6.
- 3) 井野 佑佳, 森 啓介, 亀井 信孝, 竹内 純平, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : Debranching TEVAR 後の大動脈解離に対し、debranching グラフトを利用して弓部大動脈置換術を行った一例. Cardiovascular Anesthesia 2019; 23 (Suppl.) :[DP2-03].
- 4) 小倉 崇以, 青景 聡之, 安部 隆三, 清水 敬樹, 清水 直樹, 鈴木 裕之, 増野 智彦, 竹内 一郎, 市場 晋吾, ECMO 搬送ネットワーク : ECMO Transport Network(ECMO net) 救命救急センター間の ECMO 連携. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :655.
- 5) 池田 督司, 市場 晋吾, 増山 素道 : 【ECMO を極める I-ER 導入編】ECMO の管理を極める Awake ECMO の管理. 救急医学 = The Japanese journal of acute medicine 2020 ; 44 (2) : 222-228.
- 6) 藤田 健亮, 梅井 菜央, 源田 雄紀, 間瀬 大司, 市場 晋吾 : ECMO 管理中の鎮静・鎮痛 (特集 ECMO を極める(1)ER 導入編) -- (ECMO の管理を極める). 救急医学 = The Japanese journal of acute medicine 2020; 44 (2) :213-221.
- 7) Atsuyoshi Iida, Hiromichi Naito, Takashi Yorifuji, Yoshito Zamami, Akane Yamada, Tadashi Koga, Toru Imai, Toshiaki Sendo, Atsunori Nakao, Shingo Ichiba : Factors Affecting the Absorption of Midazolam to the Extracorporeal Membrane Oxygenation Circuit. Acta medica Okayama 2019; 73 (2) :101-107. doi: 10.18926/AMO/56645.
- 8) 池田 督司, 市場 晋吾 : Respiratory ECMO Team を組織する (特集 Respiratory ECMO). ICU と CCU = Japanese journal of intensive care medicine : 集中治療医学 2019; 43 (10) :559-565.
- 9) Hiroshi Mase, Yutaro Ogawa, Jumpei Takeuchi, Yuki Genda, Shingo Ichiba, Atsuhiko Sakamoto : Successful Intensive Care Treatment of Severe Lactic Acidosis and Tumor Lysis Syndrome Related to Intravascular Lymphoma. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2020; 87 (1) :32-36. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-606.
- 10) 市場 晋吾, 西田 修 : 「周術期における ECMO」によせて. 日本臨床麻酔学会誌 2019; 39 (2) :141. doi: 10.2199/jjsca.39.141.
- 11) 藤田 健亮, 梅井 菜央, 源田 雄紀, 間瀬 大司, 市場 晋吾 : 【ECMO を極める I-ER 導入編】ECMO の管理を極める ECMO 管理中の鎮静・鎮痛. 救急医学 2020; 44 (2) :213-221.
- 12) 市場 晋吾 : 【ICU 治療指針 I】呼吸器疾患と管理 重症呼吸不全に対する体外式肺補助(ECMO). 救急・集中治療 2019; 31 (2) :574-579.
- 13) 市場 晋吾 : 【呼吸療法における終末期医療の問題点】成人重症呼吸不全に対する ECMO における終末期医療の実態と問題点. 人工呼吸 2019; 36 (2) :124-129.
- 14) 源田 雄紀, 間瀬 大司, 市場 晋吾, 坂本 篤裕 : 【血圧】病態から見る血圧 出血性ショック, 外傷性ショック. LiSA 別冊 2019; 26 (別冊 '19 秋号) :151-156.
- 15) 市場 晋吾 : 【集中治療医学レビュー 最新主要文献と解説 2020-'21】II 章 集中治療における検査・技術 補助循環(ECMO、IABP、Impella). 集中治療医学レビュー 2020; 2020-'21:128-133.
- 16) 佐藤 雅昭, 市場 晋吾, 椎谷 洋彦, 唐崎 隆弘, 此枝 千尋, 北野 健太郎, 長山 和弘, 安樂 真樹, 中島 淳 : ハイリスク症例に対する肺移植 ECMO 管理下症例に対する肺移植. 移植 2019; 54 (総会臨時) :175.
- 17) 吉田 康平, 鈴木 健一, 河原 香織, 市場 晋吾, 近藤 幸尋, 上村 明子 : ロボット手術の現状と未来 ロボット手術における現状の問題点と今後への期待. 日本手術医学会誌 2019; 40 (Suppl.) :62.
- 18) 中山 拓也, 鈴木 健一, 豊富 達智, 市場 晋吾, 太良 修平, 宮地 秀樹, 高木 元, 桐木 園子, 増野 智彦, 宮本 正章 : 保険点数改

- 定に伴う急性 CO 中毒に対する HBO 施行回数の変化. 日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 2019; 54 (4) :275.
- 19) 戸村 泰規, 岩崎 雄樹, 林 洋史, 淀川 顕司, 林 明聡, 清水 渉, 吉村 祐輝, 菊地 舜, 志村 亜由香, 中山 拓也, 山田 知見, 豊 冨 達智, 田高 朋宏, 鈴木 健一, 市場 晋吾: 右室流出路中隔側起源の心室性期外収縮に対するカテーテルアブレーションにより AMI を合併した症例の検討. 日本臨床工学技士会誌 2019; (66) :174.
 - 20) 吉澤 剛幸, 増山 素道, 高山 利之, 池田 督司, 源田 雄紀, 間瀬 大司, 市場 晋吾, 坂本 篤裕: 当院心臓血管外科術後における早期 離床リハビリテーション加算導入前後の比較. 日本手術医学会誌 2019; 40 (Suppl.) :171.
 - 21) 岸川 洋昭, 鈴木 規仁, 間瀬 大司, 保利 陽子, 松尾 いづみ, 阿部 聖孝, 坂本 篤裕: 急性帯状疱疹痛に対する早期トラマドール内 服の効果. 日本ペインクリニック学会誌 2019; 26 (3) :E2-6.
 - 22) 大高 永字, 檜崎 秀彦, 築野 香苗, 橋本 康司, 渡邊 誠, 中江 竜太, 源田 雄紀, 市場 晋吾, 伊藤 保彦: 急速に増悪したインフル エンザ肺炎合併縦隔気腫に対する ECMO 導入で生還した 7 歳男児の一例. 日本小児感染症学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2019; 51 回:152.
 - 23) 竹岡 優姫, 間瀬 大司, 池田 督司, 源田 雄紀, 市場 晋吾, 坂本 篤裕: 手術室での Respiratory ECMO 導入の現状と今後の課題. 日本 手術医学会誌 2019; 40 (Suppl.) :169.
 - 24) 谷口隼人, 谷口隼人, 池田督司, 源田雄紀, 梅井菜央, 間瀬大司, 井上達哉, 白田実男, 竹内一郎, 市場晋吾: 肺血管抵抗の上昇が 疑われた VV-ECMO 下気管ステント留置術の 1 例. 日本呼吸療法医学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 41st
 - 25) 増山素道, 吉澤剛幸, 谷口隼人, 谷口隼人, 池田督司, 梅井菜央, 源田雄紀, 間瀬大司, 松元秀次, 市場晋吾: 運動・栄養療法の介 入により筋肉量および ADL 改善が得られた ECMO 導入患者の 1 例. 日本呼吸療法医学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 41st
 - 26) 小磯 那津美, 鈴木 健一, 高木 基, 河原 香織, 吉田 康平, 小林 涼, 平尾 健, 市場 晋吾: 長期 ECMO 管理後に転院先施設へ ECMO 搬送し脳死肺移植を行った 1 例. 体外循環技術 2019; 46 (3) :338.
 - 27) 佐藤 淑, 田中 江里, 立花 崇孝, 深井 隆太, 神尾 直, 市場 晋吾, 佐藤 雅昭, 玉井 洋太郎: 長期人工呼吸器・体外式膜型人工肺 (ECMO)管理後に脳死肺移植により救命しえた同種移植後重症閉塞性細気管支炎. 臨床血液 2019; 60 (8) :920-923.
 - 28) 鈴木 規仁, 間瀬 大司, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕: 鼠径部感覚鈍麻と腹直筋痙攣を伴う左下腹部痛. 日本ペインクリニック学会誌 2019; 26 (3) :O05-1.

著書

- 1) 源田 雄紀, 間瀬 大司, 市場 晋吾, 坂本 篤裕: [共著] 病態から見る血圧: 出血性ショック、外傷性ショック. Lisa 別冊秋号 血圧 2019; 151-156.
- 2) 間瀬大司, 源田雄紀: [共著] 3.侵襲的人工呼吸器の適応とウィーニング. 呼吸器疾患 最新の治療 2019-2020 -III呼吸器疾患の治療手技. 2019, 南江堂.

学会発表

- 1) 井野 佑佳, 森 啓介, 亀井 信孝, 竹内 純平, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕: Debranching TEVAR 後の大動脈解離に対し、debranching グラ フトを利用して弓部大動脈置換術を行った一例. 第 24 回日本心臓血管麻酔学会学術大会, 2019.

6 付属病院口腔科（周術期）

研究業績

論文等

- 1) 原田 枝里, 高澤 理奈, 服部 馨, 久野 彰子 : 咽頭がん放射線治療における口腔有害事象 出現経過を追った症例の検討. 日本口腔保健学雑誌 2019; 9 (1) :33-37.
- 2) 久野 彰子, 服部 馨, 太田 修司, 高澤 理奈, 原田 枝里 : 当科における薬剤関連顎骨壊死症例の検討 がん患者を主とした 4 年間の調査. 老年歯科医学 2019; 34 (3) :422-427.

7 付属病院病理部

研究業績

8 付属病院救急・総合診療センター

研究業績

論文等

- 1) Kazuyuki Uehara, Yuko Yamamoto, Satoshi Hatsuse, Yoshitaka Isotani, Masashi Fukuyama, Kento Yanagisawa, Keisuke Yamamoto, Masataka Takizawa, Hiroki Uozumi, Hiroshi Ikenouchi : Systolic blood pressure on admission as a marker of fluid re-distribution in acute heart failure. Journal of cardiology 2019; 74 (3) :245-250. doi: 10.1016/j.jjcc.2019.03.003.
- 2) 磯谷善隆, 福山真史, 柳沢賢人, 上原和幸, 初瀬慧, 山本溪介, 瀧澤雅隆, 魚住博記, 池ノ内浩 : S 状結腸軸捻転でイレウスを繰り返す患者に発症した感染性心内膜炎の一例. 日本循環器学会関東甲信越地方会 2019; 251st
- 3) 小原 俊彦, 若栗 大朗, 山方 俊弘, 上原 和幸, 出川 龍哉, 須崎 真, 小野寺 直子, 松田 直人, 兵働 英也, 川井 真, 安武 正弘 : 大学病院総合診療科にて病院総合診療専門医の育成は可能か? 本院および全国の大学の現状をふまえて. 日本病院総合診療医学会雑誌 2019; 15 (6) :585.
- 4) 初瀬慧, 柳澤賢人, 福山真史, 磯谷善隆, 上原和幸, 山本溪介, 瀧澤雅隆, 魚住博記, 池ノ内浩 : 当院における悪性腫瘍関連静脈血栓塞栓症の頻度, 予後, 治療の現状. 日本循環器学会関東甲信越地方会 2019; 251st
- 5) 磯谷 善隆, 柳沢 賢人, 福山 真史, 上原 和幸, 初瀬 慧, 山本 溪介, 瀧澤 雅隆, 魚住 博記, 池ノ内 浩, 岡村 賢一, 鈴木 登士彦, 小林 城太郎, 原田 明典, 西村 潤一 : 慢性心房細動患者に発症した急性下肢動脈閉塞症の 2 症例. ICU と CCU 2019; 43 (別冊) :S124-S127.

学会発表

- 1) 柳澤賢人, 上原和幸 : 失神で発症した左室自由壁破裂の一例. 日本循環器学会 関東甲信越地方会, 2019.
- 2) 福山雅史, 上原和幸 : 腹部大動脈完全閉塞に対して EVAR を施行した一例. 日本循環器学会 関東甲信越地方会, 2019.

9 付属病院内視鏡センター

研究業績

論文等

- 1) 星野 慎太郎, 川見 典之, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : "Esophageal Rosette" を認めないアカラシア患者の内視鏡所見. *Gastroenterological Endoscopy* 2019; 61 (Suppl.1) :896.
- 2) Kazutoshi Higuchi, Mitsuru Kaise, Kumiko Kirita, Eriko Koizumi, Hiroto Noda, Takamitsu Umeda, Teppei Akimoto, Jun Omori, Osamu Goto, Katsuhiko Iwakiri : 3-DIMENSIONAL FLEXIBLE ENDOSCOPY ENHANCES THE QUALITY OF PRE-ESD ASSESSMENT FOR EARLY GASTRIC CANCER. *GASTROINTESTINAL ENDOSCOPY* 2019; 89 (6) :AB634. doi: 10.1016/j.gie.2019.03.1109.
- 3) Junya Aoyama, Osamu Goto, Hirofumi Kawakubo, Shuhei Mayanagi, Kazumasa Fukuda, Tomoyuki Irino, Rieko Nakamura, Norihito Wada, Hiroya Takeuchi, Naohisa Yahagi, Yuko Kitagawa : Clinical outcomes of non-exposed endoscopic wall-inversion surgery for gastric submucosal tumors: long-term follow-up and functional results. *GASTRIC CANCER* 2020; 23 (1) :154-159. doi: 10.1007/s10120-019-00985-1.
- 4) Yokoyama T, Makino H, Hirakata A, Ueda J, Takata H, Okusa M, Kawashima M, Tsujino T, Hosone M, Matsushita A, Nakamura Y, Yoshida H : Conversion Surgery for Metastatic Pancreatic Mucinous Carcinoma Responsive to Systemic Chemotherapy with Modified FOLFIRINOX: A Case Report. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (5) :284-290. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-502.
- 5) Yahagi N, Fujimoto A, Horii J, Uraoka T, Shimoda M, Takabayashi K, Nisizawa T, Goto O, Ochiai Y, Maehata T, Nakayama A, Kato M, Hosoe N, Naganuma M : Dual read imaging: a novel endoscopic imaging technology visualizing thick blood vessels of the gastrointestinal wall. *Endoscopy International Open* 2019; 7 (12) :E1632-E1635-E1635. doi: 10.1055/a-0749-0075.
- 6) Hiroto Noda, Mitsuru Kaise, Kumiko Kirita, Eriko Koizumi, Shuhei Agawa, Kazutoshi Higuchi, Teppei Akimoto, Hiroshi Yamawaki, Osamu Goto, Nobue Ueki, Seiji Futagami, Katsuhiko Iwakiri : ENDOCYTOLOGY, A CONTACT-TYPE ULTRAHIGH-MAGNIFICATION ENDOSCOPY, CAN PREDICT HISTOLOGIC TYPES OF EARLY GASTRIC CANCER. *GASTROINTESTINAL ENDOSCOPY* 2019; 89 (6) :AB624-AB625. doi: 10.1016/j.gie.2019.03.1085.
- 7) Tomohide Tanabe, Shintaro Hoshino, Noriyuki Kawami, Yoshimasa Hoshikawa, Yuriko Hanada, Nana Takenouchi, Osamu Goto, Mitsuru Kaise, Katsuhiko Iwakiri : Efficacy of long-term maintenance therapy with 10-mg vonoprazan for proton pump inhibitor-resistant reflux esophagitis. *Esophagus : official journal of the Japan Esophageal Society* 2019; 16 (4) :377-381. doi: 10.1007/s10388-019-00676-x.
- 8) Yoshimasa Hoshikawa, Noriyuki Kawami, Shintaro Hoshino, Tomohide Tanabe, Mariko Umezawa, Mitsuru Kaise, Katsuhiko Iwakiri : Efficacy of on-demand therapy using 20-mg vonoprazan for non-erosive reflux disease. *Esophagus : official journal of the Japan Esophageal Society* 2019; 16 (2) :201-206. doi: 10.1007/s10388-018-00654-9.
- 9) Mitsuru Kaise, Naoyoshi Nagata, Naoki Ishii, Jun Omori, Osamu Goto, Katsuhiko Iwakiri : Epidemiology of colonic diverticula and recent advances in the management of colonic diverticular bleeding. *Digestive endoscopy : official journal of the Japan Gastroenterological Endoscopy Society* 2020; 32 (2) :240-250. doi: 10.1111/den.13547.
- 10) Osamu Goto, Motoki Sasaki, Teppei Akimoto, Atsushi Tatsuguchi, Mitsuru Kaise, Katsuhiko Iwakiri, Naohisa Yahagi : Feasibility and safety of third-space endoscopic full-thickness resection in ex vivo and in vivo porcine models. *Endoscopy international open* 2019; 7 (4) :E471-E476. doi: 10.1055/a-0858-2210.
- 11) 安康 勝喜, 近藤 亮太, 松下 晃, 青木 悠人, 金谷 洋平, 神田 知洋, 清水 哲也, 吉岡 正人, 中村 慶春, 吉田 寛 : Follicular pancreatitis の 1 例. *日本臨床外科学会雑誌* 2019; 80 (10) :1946.
- 12) 長谷川 雄太, 貝瀬 満, 箕輪 真寿美, 池田 英里子, 桐田 久美子, 野田 啓人, 樋口 和寿, 梅田 隆満, 大森 順, 岩下 愛, 後藤 修, 岩切 勝彦 : H.Pylori 未感染の前庭部に発生した早期胃癌(高分化管状腺癌)の 1 例. *Progress of Digestive Endoscopy* 2019; 95 (Suppl.) :s93.
- 13) 野田 啓人, 貝瀬 満, 樋口 和寿, 小泉 英里子, 飽本 哲兵, 植木 信江, 後藤 修, 和田 龍一, 岩切 勝彦 : H.pylori 除菌後胃癌と現

- 感染胃癌の臨床病理学的特徴の比較. 日本ヘリコバクター学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 25 回:107.
- 14) 小泉 英里子, 桐田 久美子, 貝瀬 満, 後藤 修, 岩切 勝彦 : Helicobacter pylori 未感染・除菌後胃がんの内視鏡診断 未分化型胃癌におけるピロリ菌現感染と除菌後・既感染症例の臨床的・内視鏡所見の比較検討. Progress of Digestive Endoscopy 2019; 96 (Suppl.) :s97.
 - 15) 野田 啓人, 貝瀬 満, 和田 龍一, 小泉 英里子, 桐田 久美子, 樋口 和寿, 飽本 哲兵, 後藤 修, 岩切 勝彦 : Hp 陰性胃癌の研究と診療の進歩 H.pylori 除菌後胃癌と現感染胃癌の臨床病理学的特徴の比較. 日本消化管学会雑誌 2020; 4 (Suppl.) :190.
 - 16) 吉岡 正人, 吉田 寛, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 神田 知洋, 古木 裕康, 松下 晃, 中村 慶春 : ICG 蛍光法ナビゲーションシステム併用した腹腔鏡下再肝切除術. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:O29-3.
 - 17) 川見典之, 星野慎太郎, 岩切勝彦 : Jackhammer esophagus の臨床像と治療法に関する検討. Gastroenterological Endoscopy 2019; 61 (Supplement1)
 - 18) Hiramatsu Y, Takeuchi H, Goto O, Kikuchi H, Kitagawa Y : Minimally Invasive Function-Preserving Gastrectomy with Sentinel Node Biopsy for Early Gastric Cancer. Digestion 2019; 99 (1) :14-20. doi: 10.1159/000494407.
 - 19) 樋口 和寿, 後藤 修, 柿沼 大輔, 金沢 義一, 貝瀬 満, 吉田 寛, 岩切 勝彦 : NEWS(non-exposed endoscopic wall-inversion surgery) : NEWS の適応と方法 (特集 消化器腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術(LECS)update) -- (各種 LECS 手技). 外科 = Surgery : 臨床雑誌 2019; 81 (11) :1130-1135.
 - 20) 肥田 舞, 川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 田邊 智英, 門馬 絵理, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : P-CAB 抵抗性 NERD 患者における逆流 pH 値・到達部位と症状出現の評価. 日本消化管学会雑誌 2020; 4 (Suppl.) :298.
 - 21) 川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 田邊 智英, 肥田 舞, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : P-CAB 抵抗性 NERD 患者における逆流 pH 値・到達部位と症状出現の関係. 日本消化器病学会雑誌 2019; 116 (臨増大会) :A747.
 - 22) 田邊 智英, 北迫 勇一, 星野 慎太郎, 川見 典之, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 抵抗性逆流性食道炎患者における唾液分泌能の検討. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 73 回:397.
 - 23) 田邊 智英, 北迫 勇一, 肥田 舞, 星野 慎太郎, 川見 典之, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 抵抗性逆流性食道炎患者における唾液分泌能の検討. 日本消化管学会雑誌 2020; 4 (Suppl.) :297.
 - 24) 田邊 智英, 北迫 勇一, 星野 慎太郎, 川見 典之, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 抵抗性逆流性食道炎患者における唾液分泌量および唾液の酸緩衝能の検討. 日本消化器病学会雑誌 2019; 116 (臨増大会) :A747.
 - 25) 星野 慎太郎, 川見 典之, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 治療が有効な NERD 患者に対するボノプラザン 20mg による on demand 療法の有用性. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 73 回:398.
 - 26) Nana Takenouchi, Shintaro Hoshino, Yoshimasa Hoshikawa, Tomohide Tanabe, Mai Koeda, Eri Momma, Yumiko Ishikawa, Noriyuki Kawami, Mitsuru Kaise, Katsuhiko Iwakiri : Risk of hemorrhage and stricture significantly increases in elderly patients with proton pump inhibitor (PPI)-resistant reflux esophagitis. Esophagus : official journal of the Japan Esophageal Society 2020; 17 (1) :87-91. doi: 10.1007/s10388-019-00702-y.
 - 27) Kazutoshi Higuchi, Mitsuru Kaise, Hiroto Noda, Go Ikeda, Teppei Akimoto, Hiroshi Yamawaki, Osamu Goto, Nobue Ueki, Seiji Futagami, Katsuhiko Iwakiri : Usefulness of 3-Dimensional Flexible Endoscopy in Esophageal Endoscopic Submucosal Dissection in an Ex Vivo Animal Model. Gastroenterology Research and Practice 2019; 2019:1-5. doi: 10.1155/2019/4051956.
 - 28) Noriyuki Kawami, Shintaro Hoshino, Yoshimasa Hoshikawa, Nana Takenouchi, Yuriko Hanada, Tomohide Tanabe, Osamu Goto, Mitsuru Kaise, Katsuhiko Iwakiri : Validity of the Cutoff Value for Integrated Relaxation Pressure Used in the Starlet High-Resolution Manometry System. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2020; 86 (6) :322-326. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-608.
 - 29) 星野慎太郎, 川見典之, 田邊智英, 星川吉正, 花田優理子, 竹之内菜菜, 後藤修, 貝瀬満, 岩切勝彦 : “Esophageal Rosette”を認めないアカラシア患者の内視鏡所見. Gastroenterological Endoscopy 2019; 61 (Supplement1)
 - 30) 中村 慶春, 松下 晃, 古木 裕康, 神田 知洋, 吉田 寛 : 【消化器疾患に対する機能温存・再建手術】肝胆膵領域 脾温存腹腔鏡下膈体尾部切除. 外科 2019; 81 (5) :585-589.
 - 31) 樋口 和寿, 後藤 修, 柿沼 大輔, 金沢 義一, 貝瀬 満, 吉田 寛, 岩切 勝彦 : 【消化器腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術(LECS)update】各種 LECS 手技 NEWS(non-exposed endoscopic wall-inversion surgery) NEWS の適応と方法. 外科 2019; 81 (11) :1130-1135.

- 32) 小泉 英里子, 後藤 修, 辰口 篤志, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 【消化管症候群(第3版)-その他の消化管疾患を含めて-】食道 食道粘膜下腫瘍. 日本臨床 2020; 別冊(消化管症候群II):170-174.
- 33) 神田 知洋, 中村 慶春, 松下 晃, 吉岡 正人, 清水 哲也, 金谷 洋平, 近藤 亮太, 古木 裕康, 青木 悠人, 吉田 寛: 【肝胆膵】総胆管結石治療のベストプラクティス 当科における胃切除術後の腹腔鏡下胆管十二指腸吻合術の治療成績. 日本消化器外科学会総会 2019; 74回:WS32-10.
- 34) 松下 晃, 中村 慶春, 神田 知洋, 清水 哲也, 吉岡 正人, 吉田 寛: 【肝胆膵外科における低侵襲手術と臓器温存手術】良～低悪性度腫瘍に対する膵中央切除術(CP). 手術 2020; 74 (1) :57-63.
- 35) 貝瀬 満, 小泉 英里子, 野田 啓人, 樋口 和寿, 後藤 修, 岩切 勝彦: 【胃癌診断を極める】[総論]背景胃粘膜・癌組織型に応じた早期胃癌内視鏡診断の基本. 消化器内視鏡 2020; 32 (1) :25-40.
- 36) 清水 哲也, 吉岡 正人, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 神田 知洋, 青木 悠人, 松下 晃, 中村 慶春, 真々田 裕宏, 吉田 寛: 【胆膵】医原性胆道損傷に対する至適アプローチ 医原性胆道損傷の原因と対応 術後に判明した離断型胆管損傷と ERCP 関連胆道損傷に対するアプローチ方法. 日本消化器外科学会総会 2019; 74回:WS22-8.
- 37) 神田 知洋, 中村 慶春, 松下 晃, 吉岡 正人, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 古木 裕康, 青木 悠人, 吉田 寛: 【胆膵】医原性胆道損傷に対する至適アプローチ 腹腔鏡下胆嚢摘出術における胆管損傷の原因と対策. 日本消化器外科学会総会 2019; 74回:WS22-6.
- 38) 清水 哲也, 吉岡 正人, 松下 晃, 金子 恵子, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 中村 慶春, 真々田 裕宏, 吉田 寛: 【胆膵内視鏡トラブルシューティング-こうやって切り抜ける-】ERCP に関連した後腹膜穿孔の原因、治療方針、予防について. 胆と膵 2019; 40 (6) :473-478.
- 39) 松下 晃, 中村 慶春, 吉田 寛: 【腹腔鏡下肝胆膵手術の新時代-ラパロからロボティクスへ-】膵臓 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術の術野展開法. 肝・胆・膵 2019; 79 (1) :121-126.
- 40) 小泉 英里子, 後藤 修, 飽本 哲兵, 桐田 久美子, 梅田 隆満, 野田 啓人, 樋口 和寿, 大森 順, 貝瀬 満, 矢作 直久, 岩切 勝彦: あたらしい内視鏡診断、治療法をめざして-腫瘍性疾患、機能的疾患を含め- 胃粘膜下腫瘍における円形率を用いた非侵襲的鑑別法の提案. 日本消化管学会雑誌 2020; 4 (Suppl.) :212.
- 41) 星川 吉正, 星野 慎太郎, 川見 典之, 岩切 勝彦: アカシア: 内視鏡検査時にここに注意すれば軽症を見逃さない(特集 食道疾患を見落とすな!: 内視鏡検査時に食道疾患を見落とさないために) 2020; 2 (2) :64-68.
- 42) 岩切 勝彦, 川見 典之, 星野 慎太郎: ポノブラザン登場により明らかとなってきた新たな GERD の病態と治療戦略. 日本消化管学会雑誌 2019; 3 (1) :7-15.
- 43) 小泉 英里子, 後藤 修, 野田 啓人, 樋口 和寿, 飽本 哲兵, 貝瀬 満, 吉田 寛, 岩切 勝彦: リンパ節転移リスクと手術リスクを考慮した胃 ESD 非治療切除症例における新しい治療戦略の提案. 日本消化器病学会雑誌 2019; 116 (臨増大会) :A760.
- 44) 小泉 英里子, 貝瀬 満, 後藤 修, 岩切 勝彦: 上部消化管における同時性・異時性多発癌早期発見のためのスクリーニング・サーベイランス法 同時多発早期胃癌の特徴と内視鏡観察時の注意点. Progress of Digestive Endoscopy 2019; 95 (Suppl.) :s81.
- 45) 林 光希, 清水 哲也, 吉岡 正人, 松下 晃, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 川野 陽一, 吉田 寛: 下大静脈血栓症を合併した巨大肝嚢胞の一例. 日本消化器病学会関東支部例会プログラム・抄録集 2020; 358回:47.
- 46) 青木 悠人, 相田 順子, 川野 陽一, 中村 慶春, 仲村 賢一, 石川 直, 新井 富生, 吉岡 正人, 松下 晃, 清水 哲也, 神田 知洋, 谷合 信彦, 吉田 寛, 田久保 海蒼, 石渡 俊行: 先天性胆道拡張症のテロメア短縮時期の考察. 日本膵・胆管合流異常研究会プロシーディングス 2019; 42:49.
- 47) 犬飼 惇, 上田 純志, 鈴木 英之, 松本 智司, 桜澤 信行, 川野 陽一, 新井 洋紀, 吉岡 正人, 清水 哲也, 神田 知洋, 高田 英志, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 古木 裕康, 青木 悠斗, 平方 敦史, 松下 晃, 谷合 信彦, 吉田 寛: 先進部が盲腸に及んだメッケル憩室による腸重積症の1例. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :329.
- 48) 門馬 絵理, 田邊 智英, 星野 慎太郎, 川見 典之, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 内視鏡下胃内圧検査法の開発 上腹部症状・おくびと胃内圧・CO2送気量の関係. 日本消化管学会雑誌 2020; 4 (Suppl.) :254.
- 49) 門馬 絵理, 川見 典之, 星野 慎太郎, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 内視鏡下胃機能検査法の開発、胃内圧、CO2注入量と上腹部症状、おくびとの関連. Gastroenterological Endoscopy 2019; 61 (Suppl.2) :2166.
- 50) 門馬 絵理, 川見 典之, 星野 慎太郎, 田邊 智英, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 内視鏡下胃機能検査法の開発、胃内圧、CO2注入量

- と上腹部症状との関連. *Gastroenterological Endoscopy* 2019; 61 (Suppl.1) :895.
- 51) 大森 順, 後藤 修, 桐田 久美子, 小泉 英里子, 野田 啓人, 樋口 和寿, 梅田 隆満, 鮑本 哲兵, 秋元 直彦, 鈴木 将大, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 内視鏡の手縫い縫合における 3D 内視鏡の有用性に関する机上実験. *Gastroenterological Endoscopy* 2019; 61 (Suppl.1) :940.
- 52) 吉岡 正人, 吉田 寛, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 神田 知洋, 松下 晃, 中村 慶春: 再発肝癌に対する腹腔鏡下再肝切除術のピットフォール. *日本消化器外科学会雑誌* 2019; 52 (Suppl.2) :235.
- 53) 河越 哲郎, 池田 剛, 大城 雄, 丸木 雄太, 星野 慎太郎, 川見 典之, 金子 恵子, 岩切 勝彦: 切除不能・再発食道扁平上皮癌における S-1 単独治療の成績. *日本食道学会学術集会プログラム・抄録集* 2019; 73 回:183.
- 54) 星野 慎太郎, 川見 典之, 肥田 舞, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 夜間睡眠時の胃食道逆流と睡眠深度. *日本消化器病学会雑誌* 2019; 116 (臨増大会) :A746.
- 55) 星野 慎太郎, 川見 典之, 門馬 絵里, 肥田 舞, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 夜間睡眠時の胃食道逆流と睡眠深度の関係. *日本消化管学会雑誌* 2020; 4 (Suppl.) :298.
- 56) 川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 田邊 智英, 肥田 舞, 門馬 絵理, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 好酸球性消化管疾患の診断と治療の現状 好酸球性食道炎及び好酸球性食道筋炎患者の食道運動機能を含めた臨床的特徴. *日本消化管学会雑誌* 2020; 4 (Suppl.) :157.
- 57) 肥田 舞, 川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 田邊 智英, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 好酸球性食道炎患者に対する high resolution manometry を用いた食道運動機能評価. *日本消化器病学会雑誌* 2019; 116 (臨増大会) :A748.
- 58) 香中 伸太郎, 松下 晃, 中村 慶春, 古木 裕康, 神田 知洋, 青木 悠人, 清水 哲也, 吉岡 正人, 吉田 寛: 巨大膵粘液性嚢胞腺腫に対して安全に腹腔鏡下膵体尾部切除術を施行するための手術手技. *日本消化器外科学会雑誌* 2019; 52 (Suppl.2) :156.
- 59) 青木 悠人, 吉岡 正人, 清水 哲也, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 松下 晃, 中村 慶春, 吉田 寛: 当科における ICG 蛍光法を用いた腹腔鏡下肝部分切除術 現状と展望. *日本内視鏡外科学会雑誌* 2019; 24 (7) :SF010-5.
- 60) 神田 知洋, 中村 慶春, 松下 晃, 吉岡 正人, 清水 哲也, 金谷 洋平, 近藤 亮太, 古木 裕康, 青木 悠人, 吉田 寛: 当科における胃切除術後総胆管結石症に対する胆管十二指腸吻合術の治療成績. *胆道* 2019; 33 (3) :677.
- 61) 古木 裕康, 神田 知洋, 中村 慶春, 松下 晃, 吉岡 正人, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 吉田 寛: 当院における単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の定型化. *胆道* 2019; 33 (3) :679.
- 62) 樋口 和寿, 後藤 修, 小泉 英里子, 桐田 久美子, 野田 啓人, 鮑本 哲兵, 大森 順, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 早期胃癌の内視鏡診断における 3D 内視鏡の有用性. *日本胃癌学会総会記事* 2020; 92 回:490.
- 63) 樋口 和寿, 貝瀬 満, 桐田 久美子, 小泉 英里子, 野田 啓人, 梅田 隆満, 鮑本 哲兵, 大森 順, 後藤 修, 岩切 勝彦: 早期胃癌の範囲診断における 3D 内視鏡の有用性の検証. *Gastroenterological Endoscopy* 2019; 61 (Suppl.1) :857.
- 64) 川見 典之, 星野 慎太郎, 岩切 勝彦: 機能性食道疾患の最新の知見～病態から診断治療まで～ P-CAB 抵抗性 NERD 患者における逆流 pH 値・到達部位と症状出現の関連. *日本食道学会学術集会プログラム・抄録集* 2019; 73 回:31.
- 65) 重盛 治彦, 青木 悠人, 中村 慶春, 吉岡 正人, 松下 晃, 清水 哲也, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 吉田 寛: 肉眼的門脈腫瘍栓を伴う大腸癌肝転移の 1 切除例. *日本消化器病学会関東支部例会プログラム・抄録集* 2019; 355 回:28.
- 66) 青木 悠人, 吉岡 正人, 清水 哲也, 中村 慶春, 松下 晃, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 古木 裕康, 吉田 寛: 肝切除の Navigation Surgery 現状と課題、そして展望… . *日本消化器外科学会総会* 2019; 74 回:P180-6.
- 67) 吉岡 正人, 吉田 寛, 清水 哲也, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 中村 慶春, 松下 晃: 肝胆膵脾領域の Reduced port surgery 当科における Reduced port surgery を取り入れた腹腔鏡下肝切除術. *日本内視鏡外科学会雑誌* 2019; 24 (7) :WS21-4.
- 68) 松下 晃, 中村 慶春, 山初 和也, 住吉 宏樹, 神田 知洋, 古木 裕康, 清水 哲也, 吉岡 正人, 横山 正, 吉田 寛: 肝胆膵領域における腹腔鏡手術の困難例とは? 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術における切除での安全性を高める手法について. *日本外科学会定期学術集会抄録集* 2019; 119 回:WS-26.
- 69) 青木 悠人, 吉岡 正人, 中村 慶春, 松下 晃, 川野 陽一, 清水 哲也, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 谷合 信彦, 吉田 寛: 肝臓外科における蛍光ガイド下手術の現状、そして展望… . *日本臨床外科学会雑誌* 2019; 80 (増刊) :474.
- 70) 青木 悠人, 吉岡 正人, 中村 慶春, 松下 晃, 川野 陽一, 清水 哲也, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 古木 裕康, 谷合 信彦, 吉田 寛: 肝門部領域胆管癌の術前胆汁および術後ドレーン排液培養結果の検討. *胆道* 2019; 33 (3) :498.

- 71) 遠藤 憲彦, 神田 知洋, 古木 裕康, 中村 慶春, 松下 晃, 吉岡 正人, 清水 哲也, 金谷 洋平, 近藤 亮太, 青木 悠人, 吉田 寛 : 胆石胆嚢炎を呈した重複胆嚢に対して腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した1例. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (8) :1587.
- 72) 神田 知洋, 中村 慶春, 松下 晃, 吉岡 正人, 清水 哲也, 古木 裕康, 青木 悠人, 吉田 寛 : 腹腔鏡下先天性胆道拡張症手術の導入 Swine ウェットラボ胆道再建実習モデルにおける運針手技の習得法. 日本膵・胆管合流異常研究会プロシーディングス 2019; 42:48.
- 73) 近藤 亮太, 吉岡 正人, 青木 悠人, 金谷 洋平, 神田 知洋, 清水 哲也, 松下 晃, 中村 慶春, 吉田 寛 : 腹腔鏡下肝嚢胞切除術の治療成績. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :MO295-1.
- 74) 清水 哲也, 吉岡 正人, 松下 晃, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 中村 慶春, 真々田 裕宏, 吉田 寛 : 腹腔鏡下脾臓摘出術の現在と未来 当科における腹腔鏡下脾臓摘出術の現状と今後の展望. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :WS23-2.
- 75) 松下 晃, 中村 慶春, 青木 悠人, 近藤 亮太, 神田 知洋, 清水 哲也, 吉岡 正人, 吉田 寛 : 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術(Lap-PD)の安全な導入とその普及 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術を安全に施行するための工夫 Trans-mesocolic approach の有用性について. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :PD6-6.
- 76) 後藤 修, 柿沼 大輔 : 腹腔鏡内視鏡合同手術 (LECS) の現状と展望. 日本消化器内視鏡学会雑誌 2019; 61 (10) :2327-2336. doi: 10.11280/gee.61.2327.
- 77) 中村 慶春, 神田 知洋, 松下 晃, 古木 裕康, 吉岡 正人, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 増田 寛喜, 吉田 寛 : 腹腔鏡手術のポイント 先天性胆道拡張症(成人例)に対する腹腔鏡下肝外胆管切除+腹腔鏡下肝管空腸吻合術について. 日本膵・胆管合流異常研究会プロシーディングス 2019; 42:40-41.
- 78) 松井 隆典, 中村 慶春, 松下 晃, 日下部 誠, 古木 裕康, 神田 知洋, 清水 哲也, 吉岡 正人, 青木 悠人, 吉田 寛 : 腹腔鏡手術時代における膵鉤部周囲の局所解剖について. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:RS8-1.
- 79) 松下 晃, 中村 慶春, 青木 悠人, 近藤 亮太, 神田 知洋, 清水 哲也, 吉岡 正人, 吉田 寛 : 膵癌に対する腹腔鏡下膵体尾部切除術 pros & cons 膵癌に対する腹腔鏡下膵体尾部切除術の短期および長期手術成績. 日本内視鏡外科学会雑誌 2019; 24 (7) :WS39-7.
- 80) 松下 晃, 中村 慶春, 神田 知洋, 古木 裕康, 青木 悠人, 清水 哲也, 川野 陽一, 吉岡 正人, 吉田 寛 : 膵神経内分泌腫瘍に対する腹腔鏡下膵切除術の手術成績. 日本消化器外科学会雑誌 2019; 52 (Suppl.2) :156.
- 81) 山初 和也, 川野 陽一, 上田 純志, 松本 智司, 櫻澤 信行, 松田 明久, 篠塚 恵理子, 原田 潤一郎, 関口 久美子, 安藤 文彦, 久下 恒明, 増田 有香, 大野 崇, 中村 慶春, 松下 晃, 横山 正, 鈴木 英之, 吉田 寛 : 膵頭十二指腸切除後胆管空腸吻合部狭窄および肝内胆管結石症に対する内視鏡治療を考慮した術中の工夫点. 日本消化器外科学会雑誌 2019; 52 (Suppl.2) :233.
- 82) 松井 隆典, 柿沼 大輔, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 松野 邦彦, 下田 朋宏, 高 和英, 樋口 和寿, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦, 吉田 寛 : 貧血・低蛋白血症に対し胃全摘術が有効であった若年性ポリポーシスの1例. Progress of Digestive Endoscopy 2019; 95 (Suppl.) :s93.
- 83) 小川 祐太郎, 清水 哲也, 吉岡 正人, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 神田 知洋, 松下 晃, 中村 慶春, 真々田 裕宏, 吉田 寛, 金子 恵子 : 超音波内視鏡膵管穿刺とランデブー法を用いて副乳頭切開を施行した Pancreas divisum の1例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :264-265.
- 84) 石原 立, 有馬 美和子, 飯塚 敏郎, 小山 恒男, 堅田 親利, 加藤 元彦, 郷田 憲一, 後藤 修, 田中 匡介, 矢野 友規, 吉永 繁高, 武藤 学, 川久保 博文, 藤城 光弘, 吉田 雅博, 藤本 一真, 田尻 久雄, 井上 晴洋, 新井 富生, 小池 智幸, 田中 英夫, 飽本 哲兵, 池之山 洋平, 石戸 謙次, 岩坪 太郎, 岩谷 勇吾, 門田 智裕, 島村 勇人, 鈴木 悠悟, 中山 敦史, 水口 康彦, 日本消化器内視鏡学会食道癌に対するESD/EMRガイドライン委員会, 日本消化器内視鏡学会ガイドライン委員会, 日本食道学会, 日本消化器病学会, 日本消化管学会 : 食道癌に対するESD/EMRガイドライン. Gastroenterological Endoscopy 2020; 62 (2) :221-271.
- 85) 川見 典之, 星野 慎太郎, 岩切 勝彦 : 食道運動機能障害の診断と治療 Jackhammer esophagus の臨床像と治療法に関する検討. Gastroenterological Endoscopy 2019; 61 (Suppl.1) :759.
- 86) 肥田 舞, 星野 慎太郎, 田邊 智英, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 川見 典之, 後藤 修, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 高齢者のPPI抵抗性逆流性食道炎患者の臨床的特徴. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 73 回:396.
- 87) 星野 慎太郎, 川見 典之, 岩切 勝彦 : 高齢者のPPI抵抗性逆流性食道炎患者の臨床的特徴. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :263.
- 88) 柿沼 大輔, 後藤 修, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 松野 邦彦, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 岩切 勝彦, 吉田 寛 : 高齢者胃癌に対し腹腔鏡・内視鏡合同手術にて治療を行った3例. 日本消化器外科学会総会 2019; 74 回:P60-3.

10 付属病院臨床検査部

研究業績

11 付属病院保険診療指導部

研究業績

論文等

- 1) 蜂須賀 誠人, 林 洋史, 三室 嶺, 丸 有人, 藤本 雄飛, 岡 英一郎, 萩原 かな子, 山本 哲平, 淀川 顕司, 岩崎 雄樹, 八島 正明, 清水 渉 : ICD/CRT-D 植込み患者における経口アミオダロン減量中止後の臨床転帰. 心電図 2020; 40 (Suppl.2) :S-18.
- 2) 丸 有人, 岩崎 雄樹, 八島 正明, 淀川 顕司, 山本 哲平, 村田 広茂, 西樂 顕典, 林 洋史, 岡 英一郎, 萩原 かな子, 藤本 雄飛, 新井 俊樹, 清水 渉 : ソタロールの減量に伴い VF 再発を来した特発性 QT 短縮症候群の 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15(4):262.
- 3) 八島 正明 : 関塚論文に対する Editorial Comment. 心臓 2019; 51 (12) :1270-1271. doi: 10.11281/shinzo.51.1270.
- 4) 八島 正明, 加藤 貴雄, 渡邊 英一, 高橋 尚彦, 池田 隆徳, 笠巻 祐二, 住友 直方, 植田 典浩, 森田 宏, 平岡 昌和 : 非侵襲検査と基礎医学・工学との融合 心電図自動診断の精度評価ならびに有用性向上に関する研究. 心電図 2020; 40 (Suppl.2) :S-28.
- 5) 淀川 顕司, 小原 俊彦, 八島 正明, 清水 渉 : 高分解能心電図を用いた心サルコイドーシスの不整脈基質評価法 ウェーブレット解析を用いた検討. 心電図 2020; 40 (Suppl.2) :S-50.

著書

- 1) 八島 正明 : 【心電図診断ドリル 波形のここに注目!】(第 1 章)これだけは知っておきたい!心電図を読むための基本 QRS 波形・ST-T の異常. 2019, 羊土社.
- 2) 八島 正明 : 【心電図診断ドリル 波形のここに注目!】(第 1 章)これだけは知っておきたい!心電図を読むための基本 心電図自動診断の有用性と限界. 2019, 羊土社.
- 3) 八島 正明 : 【心電図診断ドリル 波形のここに注目!】(第 2 章)症例問題 外来・病棟編(症例 13) 74 歳女性、健康診断で心電図異常を指摘された. 2019, 羊土社.
- 4) 八島 正明 : 【心電図診断ドリル 波形のここに注目!】(第 2 章)症例問題 外来・病棟編(症例 7) 67 歳男性、心電図自動診断の心筋梗塞疑いで紹介された. 2019, 羊土社.

学会発表

- 1) 加藤 貴雄, 八島 正明, 渡邊 英一, 高橋 尚彦, 池田 隆徳, 笠巻 祐二, 住友 直方, 森田 宏, 植田 典浩, 平岡 昌和 : 心電図自動診断の精度評価ならびに有用性向上に関する研究(第 3 報) 心電図自動診断における AI の活用. 日本心臓病学会学術集会抄録, 2019. 9.

12 腎クリニック

研究業績

論文等

- 1) 下田 奈央子, 池田 まり子, 荒川 裕輔, 平間 章郎, 三井 亜希子, 酒井 行直, 鶴岡 秀一 : 多発性嚢胞腎(PKD)患者における tolvaptan(TLV)中止の影響. 臨床薬理 2019; 50 (Suppl.) :S344.
- 2) 下田 奈央子, 池田 まり子, 堀越 匠, 楊 朋洋, 荒川 裕輔, 平間 章郎, 三井 亜希子, 酒井 行直, 鶴岡 秀一 : 常染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKD)におけるトルバプタン(TLV)服薬中止の影響. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (3) :353.
- 3) 岡野翔, 楊朋洋, 下田奈央子, 大辻弘朗, 住祐一郎, 平間章郎, 酒井行直, 鶴岡秀一 : 精神発達遅滞を合併したダウン症候群の患者に腹膜透析を導入した一例. 腎と透析 2019; 87
- 4) 中里 玲, 三井 亜希子, 荒川 裕輔, 平間 章郎, 酒井 行直, 鶴岡 秀一 : 腎障害を伴う悪性高血圧 15 例の臨床的検討. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (3) :369.
- 5) 上條 夏実, 三井 亜希子, 船越 俊貴, 荒川 裕輔, 平間 章郎, 酒井 行直, 山崎 香里, 佐伯 秀久, 鶴岡 秀一 : 顕微鏡的多発血管炎による慢性腎臓病の経過中に急性腎障害を発症し急性血液浄化療法を要した 1 例. 日本透析医学会雑誌 2019; 52 (Suppl.1) :785.

13 呼吸ケアクリニック

研究業績

論文等

- 1) Yozo Sato, Namiko Taniuchi, Shota Kaburaki, Naohiro Aruga, Kaoru Kubota, Masahiro Seike, Yoshimitsu Yamano, Akihiko Gemma : A 10-Year History of Anti-Smoking Campaigns and Enlightenment Activities for Chronic Obstructive Pulmonary Disease for Citizens at the Plaza in Ebina City. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (1) :32-37. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-6.
- 2) 中道 真仁, 清家 正博, 宮永 晃彦, 野呂 林太郎, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : ALK 陽性肺癌に対する新規治療戦略研究. *日本癌治療学会 学術集会抄録集* 2019; 57 回:O48-4.
- 3) Akihiko Miyana, Mari Masuda, Tesshi Yamada : Biomarkers of Lung Cancer: Liquid Biopsy Comes of Age. *Biomarkers in Cancer Therapy* 2019:105-113. doi: 10.1007/978-981-13-7295-7_10.
- 4) Akihiko Miyana, Izumi Horikawa, Masaru Matsumoto, Takahiro Oike, Jessica Beck, Hiromi Tanaka, Ana I. Robles, Masahiro Seike, Akihiko Gemma, Curtis C. Harris : Cellular senescence and transformation induced by an oncogenic EML4-ALK fusion gene in normal and immortalized human cells. *CANCER RESEARCH* 2019; 79 (13) doi: 10.1158/1538-7445.AM2019-4648.
- 5) 久金翔, 藤田和恵, 菅野哲平, 高野夏希, 二島駿一, 高橋聡, 田中徹, 柏田建, 渥美健一郎, 武内進, 宮永晃彦, 林宏紀, 齋藤好信, 久保田馨, 木村弘, 清家正博, 弦間昭彦 : EBUS-TBNA 後に気管支内穿破, 内腔にポリープ状の隆起性病変を来した結核性リンパ節炎の 1 例. *気管支学* 2019; 41 (Suppl.) :S255.
- 6) 戸塚猛大, 野呂林太郎, 北川真吾, 高野夏希, 久金翔, 高橋聡, 菅野哲平, 武内進, 宮永晃彦, 峯岸裕司, 久保田馨, 清家正博, 弦間昭彦 : EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌脳転移症例に対する EGFR-TKI と局所療法の意義. *日本呼吸器学会誌* 2019; 8 (増刊) :301.
- 7) Rintaro Noro, Akihiko Miyana, Aya Fukuizumi, Shinobu Kunugi, Teppei Sugano, Miwako Omori, Yuji Minegish, Jitsuo Usuda, Masahiro Seike, Kaoru Kubota, Mamiko Hirao, Kuniko Matsuda, Akihiko Gemma : Genomic profiling of lung cancer associated with idiopathic pulmonary fibrosis. *CANCER RESEARCH* 2019; 79 (13) doi: 10.1158/1538-7445.AM2019-1602.
- 8) Shinji Nakamichi, Seike Masahiro, Akihiko Miyana, Akiko Takahashi, Rintaro Noro, Kaoru Kubota, Akihiko Gemma : Overcoming drug-tolerant cancer cell subpopulations showing AXL activation and epithelial-mesenchymal transition is critical in conquering ALK-positive lung cancer. *CANCER RESEARCH* 2019; 79 (13) doi: 10.1158/1538-7445.SABCS18-3806.
- 9) Akihiko Miyana, Kaoru Kubota, Yukio Hosomi, Yusuke Okuma, Koichi Minato, Sakae Fujimoto, Hiroaki Okamoto, Miyako Satouchi, Hiroshi Isobe, Hiromi Aono, Yuichi Takiguchi, Akihiko Gemma : Phase II trial of S-1 plus cisplatin combined with bevacizumab for advanced non-squamous non-small cell lung cancer (TCOG LC-1202). *Japanese Journal of Clinical Oncology* 2019; 49 (8) :749-754. doi: 10.1093/jjco/hyz064.
- 10) Kobayashi Y, Taniuchi N, Shimizu M, Murata Y, Gemma A, Hirose T : [Serious S-1-Induced Lung Injury Diagnosed by Early Lung Biopsy-A Case Report]. *Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy* 2019; 46 (9) :1457-1460.
- 11) 林 杏奈, 宮永 晃彦, 鈴木 彩奈, 高野 夏希, 久金 翔, 高橋 聡, 菅野 哲平, 武内 進, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 齋藤 好信, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦, 功刀 しのぶ, 坂谷 貴司 : ニボルマブにより薬剤性肺障害を発症した間質性肺炎合併肺扁平上皮癌の 1 剖検例. *肺癌* 2019; 59 (3) :323.
- 12) 宮永 晃彦 : 免疫チェックポイント阻害薬とマイクロバイオーム マイクロバイオームと発癌. *呼吸臨床* 2020; 4 (1) :1-8.
- 13) 岡村 賢, 菅野 哲平, 田中 徹, 中西 明日香, 高野 夏希, 久金 翔, 高橋 聡, 武内 進, 宮永 晃彦, 峯岸 裕司, 野呂 林太郎, 齋藤 好信, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦 : 原発巣、歯肉、上顎洞、大腸転移巣にて PD-L1 強陽性を認め Pembrolizumab が著効した肺腺癌の 1 例. *肺癌* 2019; 59 (2) :187.
- 14) 小林 由美子, 谷内 七三子, 清水 理光, 村田 泰規, 弦間 昭彦, 廣瀬 敬 : 発症早期の肺生検にて診断した S-1 による重篤な薬剤性肺障害の 1 例. *癌と化学療法* 2019; 46 (9) :1457-1460.

- 15) 清水 理光, 谷内 七三子, 戸塚 猛大, 恩田 直美, 村田 泰規, 廣瀬 敬, 細根 勝, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : 肺扁平上皮癌に合併した pulmonary tumor thrombotic microangiopathy(PTTM)の1 剖検例. 肺癌 2019; 59 (2) :184-185.
- 16) KASHIWADA Takeru, SAITO Yoshinobu, TERASAKI Yasuhiro, HISAKANE Kakeru, TAKEUCHI Susumu, SUGANO Teppei, MIYANAGA Akihiko, NORO Rintaro, MINEGISHI Yuji, SEIKE Masahiro, KUBOTA Kaoru, GEMMA Akihiko : 肺癌患者におけるナノ粒子アルブミン結合パクリタキセル治療に関連する間質性肺疾患. Japanese Journal of Clinical Oncology 2019; 49 (2)
- 17) 高野 夏希, 峯岸 裕司, 久金 翔, 高橋 聡, 菅野 哲平, 宮永 晃彦, 野呂 林太郎, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦 : 進行再発非小細胞肺癌に対するアテゾリズマブ単剤療法の有効性と安全性に関する後方視的検討. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :241-242.
- 18) 野呂 林太郎, 宮永 晃彦, 福泉 彩, 功刀 しのぶ, 松田 久仁子, 平尾 真李子, 峯岸 裕司, 本橋 春香, 西脇 和考, 森本 正弘, 大和田 勇人, 白田 実男, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : 間質性肺炎合併肺癌関連遺伝子プロファイルの解析. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:O47-2.
- 19) 菅野 哲平, 清家 正博, 齋藤 好信, 高野 夏希, 久金 翔, 高橋 聡, 田中 徹, 柏田 建, 中道 真仁, 武内 進, 宮永 晃彦, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : 非小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害薬による薬剤性肺障害と治療効果の検討. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2019; 57 回:O60-4.

学会発表

- 1) 清水 理光, 谷内 七三子, 戸塚 猛大, 恩田 直美, 村田 泰規, 廣瀬 敬, 細根 勝, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : 肺扁平上皮癌に合併した pulmonary tumor thrombotic microangiopathy(PTTM)の1 剖検例. 肺癌, 2019. 4.

14 健診医療センター

研究業績

論文等

- 1) 福嶋 善光, 汲田 伸一郎 : 【ここまで見える! 泌尿器科における可視化の進歩】機器の発達 PET/CT 検査による泌尿器腫瘍の病変検出能および腫瘍活性評価能. 臨床泌尿器科 2019; 73 (9) :615-625.
- 2) 福嶋 善光, 木村 剛, 赤塚 純, 濱名 輝彦, 塚越 智啓, 安藤 嵩浩, 汲田 伸一郎 : 去勢抵抗性前立腺癌骨転移例に対する定量解析併用骨 SPECT/CT の予後予測能. 核医学 2019; 56 (Suppl.) :S141.
- 3) Fukushima Yoshimitsu, Kumita Shin-ichiro : 末梢動脈疾患患者に対する下肢灌流の定量的評価(Quantitative Assessment of Lower-limb Perfusion for Patients with Peripheral Artery Disease). Annals of Nuclear Cardiology 2019; 5 (1) :89-94.

著書

- 1) 福嶋 善光 : [分担執筆] 心臓 CT のエビデンスを知る. 松本直也, 田中信大編 : 非侵襲的虚血評価スタンダードマニュアル- PCI のための虚血評価. 2020, メジカルビュー社.

学会発表

- 1) Yoshimitsu Fukushima, Yosuke Ishii, Tomonari Kiriyama, Takashi Nitta, Shinichiro Kumita : Causative factors of prolonged myocardial ischemic damage shown on hybrid cardiac fatty-acid metabolism SPECT/CT in patients with coronary artery disease after coronary artery bypass grafting. European Association of Nuclear Medicine, 2019. 10.
- 2) 西川 慈人, 福嶋 善光, 汲田 伸一郎, 桐木 園子, 高木 元, 宮本 正章 : 下肢骨髄炎例における定量解析併用 Ga-SPECT/CT の診断能. 核医学, 2019.
- 3) 青山 里愛, 櫻井 実, 平松 未帆, 長谷 康二, 金谷 浩司, 野坂 広樹, 今井 祥吾, 福嶋 善光 : 乳房専用 PET 装置における検出器間距離と病変描出能の関係. 核医学技術, 2019. 10.
- 4) 曾原 康二, 関根 鉄郎, 館野 周, 水村 直, 永山 寛, 須田 匡也, 桑子 智之, 桐山 智成, 福嶋 善光, 大久保 善郎, 汲田 伸一郎 : 健常者に対する DAT SPECT と DAT PET の線条体集積比の比較検討 PNEURO と DaTView、DaTQUANT による解析. 核医学, 2019. 10.
- 5) 福嶋 善光, 木村 剛, 赤塚 純, 濱名 輝彦, 塚越 智啓, 安藤 嵩浩, 汲田 伸一郎 : 去勢抵抗性前立腺癌骨転移例に対する定量解析併用骨 SPECT/CT の予後予測能. 核医学, 2019. 10.
- 6) 塚越 智啓, 福嶋 善光, 濱名 輝彦, 安藤 崇浩, 汲田 伸一郎 : 呼吸器疾患患者の予後に対する肺灌流/換気 SPECT/CT の有用性. 核医学, 2019. 10.
- 7) 森嶋 素子, 石井 庸介, 泉二 佑輔, 網谷 亮輔, 上田 仁美, 高橋 賢一郎, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 川瀬 康裕, 佐々木 孝, 宮城 泰雄, 坂本 俊一郎, 師田 哲郎, 桐山 智成, 福嶋 善光, 汲田 伸一郎, 新田 隆 : 心筋 SPECT を用いた CABG 術後早期および遠隔期の心筋虚血と脂肪酸代謝の変化の検討. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集, 2020. 3.
- 8) 福嶋 善光, 汲田 伸一郎 : 心臓サルコイドーシス. 核医学, 2019. 10.
- 9) 櫻井 実, 青山 里愛, 金谷 浩司, 野坂 広樹, 平松 未帆, 長谷 康二, 安藤 崇浩, 福嶋 善光 : 心臓サルコイドーシス FDG-PET 検査における後期画像の有用性. 核医学技術, 2019. 10.
- 10) 福嶋 善光, 石井 庸介, 桐山 智成, 新田 隆, 汲田 伸一郎 : 心臓脂肪酸代謝 SPECT/CT 融合画像検査による CABG 後の冠動脈疾患例における遷延虚血性心筋障害の要因検索. 日本心臓核医学会ニュースレター, 2019. 6.

15 ワクチン療法研究施設

研究業績

〔 7 〕 武蔵小杉病院付置施設等

1 武蔵小杉病院病理診断科

研究業績

論文等

- 1) Fumika Honma, Yoshihide Fujigaki, Yoshikazu Nemoto, Hiroto Kikuchi, Michito Nagura, Shigeyuki Arai, Kenichi Ishizawa, Osamu Yamazaki, Yoshifuru Tamura, Fukuo Kondo, Ryuji Ohashi, Shunya Uchida, Shigeru Shibata : A Case of Rheumatoid Arthritis Presenting with Renal Thrombotic Microangiopathy Probably due to a Combination of Chronic Tacrolimus Arteriopathy and Severe Hypertension. *Case reports in nephrology* 2019; 2019:3923190. doi: 10.1155/2019/3923190.
- 2) Minoru Yasukawa, Sachiko Kitagawa, Ryo Togashi, Shinichiro Asakawa, Michito Nagura, Shigeyuki Arai, Osamu Yamazaki, Yoshifuru Tamura, Fukuo Kondo, Ryuji Ohashi, Shunya Uchida, Shigeru Shibata, Yoshihide Fujigaki : A Patient with MPO-ANCA-positive IgA Nephropathy Diagnosed with the Clinical Onset of Macrohematuria. *Internal medicine (Tokyo, Japan)* 2019; 58 (14) :2051-2056. doi: 10.2169/internalmedicine.2475-18.
- 3) Uchimura R, Ueda T, Fukazawa R, Hayakawa J, Ohashi R, Miura NN, Ohno N, Migita M, Itoh Y : Adipose tissue-derived stem cells suppress coronary arteritis of Kawasaki disease in vivo. *Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society* 2019; 62 (1) :14-21. doi: 10.1111/ped.14062.
- 4) Ryo Togashi, Yoshikazu Nemoto, Kaito Waki, Michito Nagura, Shigeyuki Arai, Yoshifuru Tamura, Yasutoshi Oshima, Fukuo Kondo, Ryuji Ohashi, Shunya Uchida, Shigeru Shibata, Yoshihide Fujigaki : Clinicopathological Implications of Proteinuria after Long-Term Isolated Hematuria due to Thin Basement Membrane Nephropathy and Focal Segmental Glomerulosclerosis. *Case reports in nephrology* 2019; 2019:1627392. doi: 10.1155/2019/1627392.
- 5) Motoda N, Onda M, Nakamizo M, Ohashi R, Okubo K, Naito Z : Crystalloid Granuloma of Parotid Gland: A Case Report With Review of the Literature. *International journal of surgical pathology* 2019; 27 (2) :216-220. doi: 10.1177/1066896918791031.
- 6) Ohashi R : Editorial comment on the fate of full-house immunofluorescence staining in renal allograft: A case report. *Pathology international* 2019 doi: 10.1111/pin.12848.
- 7) Motoda N, Nakamura Y, Kuroki M, Yoneyama K, Isshiki S, Ohashi R, Naito Z : Exfoliation of Alveolar Rhabdomyosarcoma Cells in the Ascites of a 50-Year-Old Woman: Diagnostic Challenges and Literature Review. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (4) :236-241. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2018_86-404.
- 8) Shimoda T, Wada R, Kure S, Ishino K, Kudo M, Ohashi R, Fujita I, Uchida E, Yoshida H, Naito Z : Expression of protein disulfide isomerase A3 and its clinicopathological association in gastric cancer. *Oncology reports* 2019; 41 (4) :2265-2272. doi: 10.3892/or.2019.6999.
- 9) Ohashi R, Fukazawa R, Shimizu A, Ogawa S, Ochi M, Nitta T, Itoh Y : M1 macrophage is the predominant phenotype in coronary artery lesions following Kawasaki disease. *Vascular medicine (London, England)* 2019; 24 (6) :1358863X19878495-492. doi: 10.1177/1358863X19878495.
- 10) 久保田 夢音, 新村 裕樹, 針金 永佳, 山田 舞夕, 米山 剛一, 許田 典男, 大橋 隆治 : MELF 型浸潤を呈し卵巣転移を来たした子宮体部類内膜癌 G2 の 1 例. *日本医科大学医学会雑誌* 2019; 15 (4) :260.
- 11) Kanzaki G, Okabayashi Y, Nagahama K, Ohashi R, Tsuboi N, Yokoo T, Shimizu A : Monoclonal Immunoglobulin Deposition Disease and Related Diseases. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2019; 86 (1) :2-9. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2019_86-1.
- 12) Mariko Ishida, Shoji Matsune, Nozomu Wakayama, Ryuji Ohashi, Kimihiro Okubo : Possibility of Local Allergic Rhinitis in Japan. *American journal of rhinology & allergy* 2020; 34 (1) :26-34. doi: 10.1177/1945892419868441.
- 13) Mikami E, Kudo M, Ohashi R, Kawahara K, Kawamoto Y, Teduka K, Fujii T, Kitamura T, Kure S, Ishino K, Sakatani T, Wada R, Saeki H, Naito Z : Toll-like receptor 4 plays a tumor-suppressive role in cutaneous squamous cell carcinoma. *International journal*

- of oncology 2019; 54 (6) :2179-2188. doi: 10.3892/ijo.2019.4790.
- 14) Yoshimitsu Kuwabara, Mirei Yonezawa, Yumene Kubota, Tomoko Ichikawa, Ryuji Ohashi, Toshiyuki Takeshita : Unique Clinical and Histological Features of Placental Mesenchymal Dysplasia Complicated by Severe Preeclampsia in the Midtrimester. AJP reports 2020; 10 (1) :e113-e117. doi: 10.1055/s-0040-1709186.
 - 15) 大橋 隆治 : 【全身性疾患と腎 update】(第 5 章)血液疾患 POEMS 症候群(Crow-Fukase 症候群)・腎臓専門医の視点より. 腎と透析 2019; 86 (増刊) :302-306.
 - 16) 大橋 隆治 : 【内科医が押さえておくべき-検査の考えかたと落とし穴】誤った解釈をされやすい検査 非腫瘍性疾患における病理診断のピットフォール. Medicina 2019; 56 (12) :2026-2030.
 - 17) 大橋 隆治 : 【腎生検から病因と病態を読む】腎生検の総合診断としての interpretation. 腎と透析 2019; 87 (4) :567-573.
 - 18) 青木 真莉菜, 釜口 晴美, 松原 美幸, 寺崎 美佳, 山本 晃人, 吳 壮香, 大橋 隆治, 寺崎 泰弘, 坂谷 貴司, 石井 英昭 : プレナ一腫瘍を背景とした卵巣扁平上皮癌の一例. 日本臨床細胞学会雑誌 2019; 58 (Suppl.1) :323.
 - 19) 蒔田 益次郎, 眞鍋 恵理子, 許田 典男, 大橋 隆治 : 乳癌の乳房部分切除の切離線決定におけるシミュレーション模型の有用性. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2019; 27 回:740.
 - 20) 蒔田 益次郎, 眞鍋 恵理子, 許田 典男, 大橋 隆治 : 乳癌の乳房部分切除術で断端陰性率を向上させる因子について. 乳癌の臨床 2020; 35 (1) :81-89.
 - 21) 眞鍋 恵理子, 大橋 隆治, 許田 典男, 蒔田 益次郎 : 乳癌特殊型の病理診断におけるガラススライドとバーチャルスライドの比較検討研究. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2019; 27 回:598.
 - 22) 蒔田 益次郎, 眞鍋 恵理子, 許田 典男, 大橋 隆治 : 乳管内視鏡と手術症例からみた Solid papillary carcinoma. 日本臨床外科学会雑誌 2019; 80 (増刊) :557.
 - 23) 許田 典男, 大橋 隆治, 蒔田 益次郎, 加藤 舞子, 中村 祐司, 前本 直子, 大矢 陽子, 永井 祥子, 牧野 隆浩, 内藤 善哉 : 乳管内視鏡検査における洗浄細胞診の有用性について. 日本臨床細胞学会雑誌 2019; 58 (Suppl.1) :284.
 - 24) 大橋 隆治 : 充実成分を有する甲状腺乳頭癌の細胞像とその臨床的意義について. 日本臨床細胞学会雑誌 2019; 58 (Suppl.1) :147.
 - 25) 野村 聡, 渡辺 昌則, 谷合 信彦, 塙 秀暁, 豊田 哲鎬, 清水 貴夫, 山際 亮, 許田 典男, 大橋 隆治, 吉田 寛 : 大腸癌を重複した食道癌に対して術前補助化学療法後に分割手術を施行した 1 例. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 73 回:116.
 - 26) 小林 光一, 柳原 剛, 楊井 瑛美, 吉崎 薫, 大橋 隆治, 清水 章, 伊藤 保彦 : 学校検尿で発見し追腎生検を行った ANCA 関連腎炎 1 女児例の検討. 日本小児科学会雑誌 2020; 124 (2) :357.
 - 27) 大橋 隆治 : 悪性腫瘍に関連した腎障害の病理 paraneoplastic glomerulopathy を含めて. 日本腎臓学会誌 2019; 61 (3) :268.
 - 28) 窪倉 浩俊, 岡本 淳一, 許田 典男, 大橋 隆治, 白田 実男 : 気胸切除ブラ内に肺癌を認めたが追加切除を行うことなく、長期無再発生存した 2 症例. 肺癌 2019; 59 (6) :831.
 - 29) 大橋 隆治 : 甲状腺腫瘍における境界悪性病変 その背景と問題点. 日本医科大学医学会雑誌 2020; 16 (1) :31-32.
 - 30) 武田 彩佳, 根本 裕次, 高野 靖子, 大橋 隆治, 高橋 浩 : 異なる組織像が併存した上眼瞼粘液癌の 1 例. 眼科臨床紀要 2019; 12 (5) :367-372.
 - 31) 大橋隆治 : 総合診断としての腎病理 interpretation. 腎と透析 2019
 - 32) 小林 倫子, 岡本 淳一, 石川 真由美, 許田 典男, 大橋 隆治, 窪倉 浩俊, 白田 実男 : 縦隔腫瘍に SIADH を偶然併発した 1 例. 気管支学 2019; 41 (5) :529.
 - 33) 柳原 剛, 楊井 瑛美, 吉崎 薫, 大橋 隆治, 清水 章, 伊藤 保彦 : 肉眼的血尿発症翌日に AKI を呈した IgA 腎症の一例. 日本小児腎臓病学会雑誌 2019; 32 (1Suppl.) :121.
 - 34) 菊池 広子, 松田 潔, 石丸 直樹, 城戸 教裕, 大嶽 康介, 渡邊 顕弘, 望月 徹, 黒川 顕, 大橋 隆治 : 腸管嚢胞性気腫症によると思われる全身気腫性変化を認め、救命できなかった 1 例. 日本臨床救急医学会雑誌 2019; 22 (2) :334.
 - 35) 吉村 祐亮, 阿川 周平, 牧田 智彦, 田邊 智英, 山脇 博士, 小高 康裕, 植木 信江, 大橋 隆治, 二神 生爾 : 腹水を伴った好酸球性胃腸炎に対して、ステロイド内服が著効した一例. 日本消化器病学会関東支部例会プログラム・抄録集 2020; 358 回:25.
 - 36) 前本 直子, 許田 典男, 加藤 舞子, 大矢 陽子, 中村 祐司, 永井 祥子, 牧野 隆浩, 大橋 隆治, 内藤 善哉 : 術前細胞診断に苦慮した肺低悪性度粘表皮癌の 1 例. 日本臨床細胞学会雑誌 2019; 58 (Suppl.1) :336.

37) 大橋隆治：非腫瘍性疾患の病理診断ピットフォール. medicina 2019

著書

- 1) 大橋隆治：〔分担執筆〕 Papillary carcinoma of the thyroid, solid / trabecular variant. Thyroid FNA cytology: differential diagnosis & pitfalls. 2019, Springer.

学会発表

- 1) 大橋隆治：悪性腫瘍に関連した腎障害の病理. 第 62 回日本腎臓学会学術総会, 2019. 6.
- 2) 大橋隆治：甲状腺腫瘍の細胞組織診断：最近の話題を中心に. 第 78 回細胞検査士ワークショップ, 2019. 7.

2 武蔵小杉病院救急・総合診療センター

研究業績

論文等

- 1) Hiroyuki Tsutsui, Mitsuaki Isobe, Hiroshi Ito, Hiroshi Ito, Ken Okumura, Minoru Ono, Masafumi Kitakaze, Koichiro Kinugawa, Yasuki Kihara, Yoichi Goto, Issei Komuro, Yoshikatsu Saiki, Yoshihiko Saito, Yasushi Sakata, Naoki Sato, Yoshiki Sawa, Akira Shiose, Wataru Shimizu, Hiroaki Shimokawa, Yoshihiko Seino, Koichi Node, Taiki Higo, Atsushi Hirayama, Miyuki Makaya, Tohru Masuyama, Toyoaki Murohara, Shin-Ichi Momomura, Masafumi Yano, Kenji Yamazaki, Kazuhiro Yamamoto, Tsutomu Yoshikawa, Michihiro Yoshimura, Masatoshi Akiyama, Toshihisa Anzai, Shiro Ishihara, Takayuki Inomata, Teruhiko Imamura, Yu-Ki Iwasaki, Tomohito Ohtani, Katsuya Onishi, Takatoshi Kasai, Mahoto Kato, Makoto Kawai, Yoshiharu Kinugasa, Shintaro Kinugawa, Toru Kuratani, Shigeki Kobayashi, Yasuhiko Sakata, Atsushi Tanaka, Koichi Toda, Takashi Noda, Kotaro Nochioka, Masaru Hatano, Takayuki Hidaka, Takeo Fujino, Shigeru Makita, Osamu Yamaguchi, Uichi Ikeda, Takeshi Kimura, Shun Kohsaka, Masami Kosuge, Masakazu Yamagishi, Akira Yamashina : JCS 2017/JHFS 2017 Guideline on Diagnosis and Treatment of Acute and Chronic Heart Failure - Digest Version. Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society 2019; 83 (10) :2084-2184. doi: 10.1253/circj.CJ-19-0342.
- 2) Matthieu Legrand, Alexa Hollinger, Antoine Vieillard-Baron, François Dépret, Alain Cariou, Nicolas Deye, Marie-Céline Fournier, Samir Jaber, Charles Damoiseil, Qin Lu, Xavier Monnet, Isabelle Rennuit, Michael Darmon, Lara Zafrani, Marc Leone, Bertrand Guidet, Diane Friedman, Romain Sonnevill, Philippe Montravers, Sébastien Pili-Floury, Jean-Yves Lefrant, Jacques Duranteau, Pierre-François Laterre, Nicolas Brechot, Haikel Oueslati, Bernard Cholley, Jean-Marie Launay, Shiro Ishihara, Naoki Sato, Alexandre Mebazaa, Etienne Gayat : One-Year Prognosis of Kidney Injury at Discharge From the ICU: A Multicenter Observational Study. Critical care medicine 2019; 47 (12) :e953-e961. doi: 10.1097/CCM.0000000000004010.
- 3) Tuija Javanainen, Shiro Ishihara, Etienne Gayat, Beny Charbit, Raija Jurkko, Raphaël Cinotti, Alexandre Mebazaa : Prolonged corrected QT interval is associated with short-term and long-term mortality in critically ill patients: results from the FROG-ICU study. Intensive care medicine 2019; 45 (5) :746-748. doi: 10.1007/s00134-019-05555-8.
- 4) 関 美也子, 上條 夏実, 草薙 茉莉奈, 奥畑 好章, 大塚 祐介, 大塚 智之, 鶴岡 秀一 : 感染源不明の敗血症性ショックによって急性腎障害を発症し一時的な血液浄化療法を要した1例. 日本透析医学会雑誌 2019; 52 (Suppl.1) :801.

3 武蔵小杉病院中央検査室

研究業績

〔 8 〕 多摩永山病院付置施設等

1 多摩永山病院病理診断部

研究業績

2 多摩永山病院中央検査室

研究業績

〔 9 〕 千葉北総病院付置施設等

1 千葉北総病院緩和ケア科

研究業績

2 千葉北総病院病理診断科・病理部

研究業績

論文等

- 1) Taeang Arai, Masanori Atsukawa, Akihito Tsubota, Mai Koeda, Yuji Yoshida, Tomomi Okubo, Ai Nakagawa, Norio Itokawa, Chisa Kondo, Katsuhisa Nakatsuka, Takushi Masu, Keizo Kato, Noritomo Shimada, Tsutomu Hatori, Naoya Emoto, Masayoshi Kage, Katsuhiko Iwakiri : Association of vitamin D levels and vitamin D-related gene polymorphisms with liver fibrosis in patients with biopsy-proven nonalcoholic fatty liver disease. *Digestive and liver disease : official journal of the Italian Society of Gastroenterology and the Italian Association for the Study of the Liver* 2019; 51 (7) :1036-1042. doi: 10.1016/j.dld.2018.12.022.
- 2) Akihisa Matsuda, Masao Miyashita, Satoshi Matsumoto, Nobuyuki Sakurazawa, Youichi Kawano, Kazuya Yamahatsu, Kumiko Sekiguchi, Marina Yamada, Tsutomu Hatori, Hiroshi Yoshida : Colonic stent-induced mechanical compression may suppress cancer cell proliferation in malignant large bowel obstruction. *Surgical endoscopy* 2019; 33 (4) :1290-1297. doi: 10.1007/s00464-018-6411-x.
- 3) Taeang Arai, Masanori Atsukawa, Akihito Tsubota, Tadamichi Kawano, Mai Koeda, Yuji Yoshida, Tomohide Tanabe, Tomomi Okubo, Korenobu Hayama, Ai Iwashita, Norio Itokawa, Chisa Kondo, Keiko Kaneko, Chiaki Kawamoto, Tsutomu Hatori, Naoya Emoto, Etsuko Iio, Yasuhito Tanaka, Katsuhiko Iwakiri : Factors influencing subclinical atherosclerosis in patients with biopsy-proven nonalcoholic fatty liver disease. *PloS one* 2019; 14 (11) :e0224184. doi: 10.1371/journal.pone.0224184.
- 4) 飯田 信也, 鈴木 えりか, 羽鳥 努, 武井 寛幸 : 乳癌術後内分泌療法としてのタモキシフェン投与中に高エストラジオール血症をきたした1例. *日本臨床外科学会雑誌* 2019; 80 (増刊) :747.
- 5) 大峯 広貴, 清水 秀樹, 長谷川 千花子, 平野 孝幸, 三枝 順子, 京本 晃典, 笹谷 昌司, 京本 絢美, 羽鳥 努 : 気管支に発生した扁平上皮腺上皮混合型乳頭腫の一例. *日本臨床細胞学会雑誌* 2019; 58 (Suppl.1) :337.
- 6) 肥田 舞, 糸川 典夫, 厚川 正則, 藤森 俊二, 羽鳥 努, 岩切 勝彦 : 黄疸と全身性の結節性黄色腫を契機に診断された原発性胆汁性胆管炎の一例. *日本消化器病学会関東支部例会プログラム・抄録集* 2019; 355 回:44.

3 千葉北総病院歯科

研究業績

4 千葉北総病院集中治療室

研究業績

論文等

- 1) Ogawa Kuniyasu, Sasaki Tatsuyoshi, Yoneda Shigeki, Tsujinaka Kumiko, Asai Ritsuko : 49 核磁気共鳴表面コイルにより測定した高分子電解質燃料電池において発生した膜電極アセンブリと電流の水含有量の二次元空間分布:ガス流量と供給ガスの相対湿度依存性【JST・京大機械翻訳】. *Journal of Power Sources* 2019; 444
- 2) Matsushita Masato, Shirakabe Akihiro, Kobayashi Nobuaki, Okazaki Hirotake, Shibata Yusaku, Goda Hiroki, Uchiyama Saori, Tani Kenichi, Kiuchi Kazutaka, Hata Noritake, Asai Kuniya, Shimizu Wataru : 75 歳以上の患者における重度非代償性急性心不全の長期予後の社会的決定因子における性差. *Internal Medicine* 2019; 58 (20)
- 3) Akihiro Shirakabe, Kuniya Asai, Toshiaki Otsuka, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Masato Matsushita, Yusaku Shibata, Hiroki Goda, Shota Shigihara, Kazuhiro Asano, Kazutaka Kiuchi, Kenichi Tani, Tatsuhiro Nishiwaki, Noritake Hata, Wataru Shimizu : Clinical Approach to Shortening Length of Hospital Stay in Elderly Patients With Acute Heart Failure Requiring Intensive Care. *Circulation Reports* 2020; 2 (2) :95-103. doi: 10.1253/circrep.cr-19-0132.
- 4) Tsunenori Saito, Kuniya Asai, Naoko Saito-Sato, Kosuke Mozawa, Eiichiro Oka, Shigeru Sato, Kyoichi Mizuno, Roberta A. Gottlieb, Wataru Shimizu : Comparison Between Ultrastructural Features and Causative Genes of Dilated Cardiomyopathy Detected by Whole Exome Sequencing. *CIRCULATION* 2019; 140
- 5) Shibuya J, Kobayashi N, Asai K, Tsurumi M, Shibata Y, Uchiyama S, Okazaki H, Goda H, Tani K, Shirakabe A, Takano M, Shimizu W : Comparison of Coronary Culprit Lesion Morphology Determined by Optical Coherence Tomography and Relation to Outcomes in Patients Diagnosed with Acute Coronary Syndrome During Winter -vs- Other Seasons. *The American journal of cardiology* 2019; 124 (1) :31-38. doi: 10.1016/j.amjcard.2019.03.045.
- 6) Kosuke Mozawa, Tsunenori Saito, Eiichiro Oka, Naoko Saito-Sato, Eitaro Kodani, Yu-ki Iwasaki, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Dilated Cardiomyopathy Includes Arrhythmogenic Cardiomyopathy as a Type With Severe Myocardial Degeneration. *CIRCULATION* 2019; 140
- 7) Tsukada Yayoi Tetsuo, Tokita Miwa, Murata Hiroshige, Hirasawa Yasuhiro, Hirasawa Yasuhiro, Yodogawa Kenji, Iwasaki Yu-ki, Asai Kuniya, Shimizu Wataru, Kasai Nahoko, Nakashima Hiroshi, Tsukada Shingo : ECG モニタリングのためのウェアラブルテキスタイル電極の検証. *Heart and Vessels* 2019; 34 (7) :1203-1211. doi: 10.1007/s00380-019-01347-8.
- 8) Matsushita M, Shirakabe A, Kobayashi N, Okazaki H, Shibata Y, Goda H, Uchiyama S, Tani K, Kiuchi K, Hata N, Asai K, Shimizu W : Gender Differences in the Social Determinants of the Long-term Prognosis for severely Decompensated Acute Heart Failure in Patients over 75 Years of Age. *Internal medicine (Tokyo, Japan)* 2019; 58 (20) :2931-2941. doi: 10.2169/internalmedicine.2757-19.
- 9) Akiomi Yoshihisa, Takamasa Sato, Katsuya Kajimoto, Naoki Sato, Yasuchika Takeishi, Kuniya Asai, Ryo Munakata, Toshiyuki Aokage, Asuka Yoshida, Yuichiro Minami, Dai Yumino, Masayuki Mizuno, Erisa Kawada, Kentaro Yoshida, Yuri Ozaki, Tomohito Kogure, Shintaro Haruki, Koichi Nakao, Tadashi Sawamura, Toshiaki Nuki, Ryoji Ishiki, Shigeki Yokota, Hiroyuki Fujinaga, Takashi Yamamoto, Kenji Harada, Akihiro Saito, Norihito Kageyama, Takanobu Okumura, Noritake Hata, Koji Murai, Ayaka Nozaki, Hidekazu Kawanaka, Jun Tanabe, Yukihito Sato, Katsuhisa Ishii, Hitoshi Oiwa, Tomoaki Matsumoto, Daisuke Yoshida, Nobuo Kato, Hitoshi Oiwa, Daisuke Yoshida, Nobuo Kato, Hiroshi Suzuki, Nobuyuki Shimizu, Takehiko Keida, Masaki Fujita, Kentaro Nakamura, Toshiya Chinen, Kentaro Meguro, Tatsuhiro Kikuchi, Toshiyuki Nishikido, Marohito Nakata, Tatsuya Yamashita, Masaya Nakata, Akitoshi Hirono, Kazuaki Mitsudo, Kazushige Kadota, Noriko Makita, Nagisa Watanabe, Masaaki Kawabata, Kenichi Fuji, Shinichi Okuda, Shigeki Kobayashi, Ikuo Moriuchi, Kiyo-O Mizuno, Kazuo Osato, Tatsuaki Murakami, Yoshifumi Shimada, Katsushi Misawa, Hiromasa Kokado, Takashi Fujita, Yoshitomo Fukuoka, Syu Takabatake, Yoshifumi Takata, Manabu Miyagi, Nobuhiro Tanaka, Akira Yamashina, Shinji Sudo, Koichi Shimamura, Michitaka Nagashima, Tomoya Kaneda,

- Kosei Ueda, Hiromasa Kato, Toshinori Higashikata, Kanichi Fujimori, Hiroshi Kobayashi, Shinya Fujii, Masahiro Yagi, Jyunko Takaki, Eiji Yamashita, Takuji Toyama, Etsuo Hirata, Kazuho Kamisihima, Toshiaki Oka, Ryushi Komatsu, Akira Itoh, Takahiko Naruko, Yukio Abe, Eiichirou Nakagawa, Atsuko Furukawa, Naoto Kinou, Shoko Uematsu, Isao Tabuchi, Taku Imai, Takafumi Sakamoto, Koji Todaka, Yuji Koide, Koji Maemura, Koichiro Yoshioka, Akiomi Yoshihisa, Takamasa Sato, Yasuchika Takeish, Toshiaki Ebina, Kazuo Kimura, Masaaki Konishi, Masahiko Kato, Yoshiharu Kinugasa, Katsunori Ishida, Shinobu Sugihara, Kiyotaka Yanagihara, Toshiharu Takeuchi, Motoi Okada, Naoyuki Hasebe, Tetsuo Sakai, Taku Asano, Yoshino Minoura, Tsutomu Toshida, Takatoshi Sato, Yuya Yokota, Seita Kondo, Yasushi Sakata, Issei Komuro, Kinya Otsu, Shizuya Yamashita, Yoshihiro Asano, Atsuya Kajimoto, Kazunori Kashiwase, Yasunori Ueda, Aizo Kondo, Katsuhiro Kawaguchi, Akinori Sawamura, Taro Saito, Tom Higa, Hiroo Noguchi, Yoko Yanagita, Keita Nakamura, Tomo Komaki, Oshihiro Muramatsu, Tomomi Koizumi, Yoshie Nakajima, Toshihiko Kikutani, Yoshifumi Ikeda, Tom Tamaki, Shuhei Funada, Harumi Ogawa, Koichiro Sakuragawa, Shun Kohsaka, Shin-ichi Ando, Toshiaki Kadokami, Eiko Ishida, Katsumi Ide, Yohei Sotomi, Yoshiharu Higuchi, Motoko Uehara, Toshihiko Goto, Nobuyuki Ohte, Masanobu Miura, Nobuyuki Shiba, Kotaro Nochioka, Hiroaki Shimokawa, Shiro Ishihara, Tokushi Koga, Shinichiro Fujishima, Shigeru Kaseda, Yoshie Haga, Keisuke Kida, Kazuho Kamisihima, Makiko Nakamura, Osahiko Sunagawa, Takafumi Miyara, Youji Taba, Takashi Touma, Osamu Shinjo, Oshioki Nishimura, Kazuomi Kario, Hayato Shimizu, Takahiro Uchida, Ken-ichi Amitani, Katsunori Shimada : Heterogeneous impact of body mass index on in-hospital mortality in acute heart failure syndromes: An analysis from the ATTEND Registry. *EUROPEAN HEART JOURNAL-ACUTE CARDIOVASCULAR CARE* 2019; 8 (7) :589-598. doi: 10.1177/2048872617703061.
- 10) Shirakabe A, Okazaki H, Matsushita M, Shibata Y, Goda H, Uchiyama S, Tani K, Kiuchi K, Kobayashi N, Hata N, Asai K, Shimizu W : Hyperuricemia complicated with acute kidney injury is associated with adverse outcomes in patients with severely decompensated acute heart failure. *International journal of cardiology. Heart & vasculature* 2019; 23:100345. doi: 10.1016/j.ijcha.2019.03.005.
 - 11) Nobuaki Kobayashi, Akiko Maehara : Left anterior descending artery wrapping around the left ventricular apex predicts additional risk of future events after anterior myocardial infarction. *Anatolian Journal of Cardiology* 2019; 21 (5) :259-260. doi: 10.14744/AnatolJCardiol.2019.79803.
 - 12) Masato Matsushita, Akihiro Shirakabe, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Yusaku Shibata, Hiroki Goda, Shota Shigihara, Kazuhiro Asano, Kenichi Tani, Kazutaka Kiuchi, Fumitaka Okajima, Noritake Hata, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Mechanisms of Urgently Presenting Acute Heart Failure. *International heart journal* 2020; 61 (2) :316-324. doi: 10.1536/ihj.19-523.
 - 13) Mingming Tong, Toshiro Saito, Peiyong Zhai, Shin-Ichi Oka, Wataru Mizushima, Michinari Nakamura, Shohei Ikeda, Akihiro Shirakabe, Junichi Sadoshima : Mitophagy Is Essential for Maintaining Cardiac Function During High Fat Diet-Induced Diabetic Cardiomyopathy. *Circulation research* 2019; 124 (9) :1360-1371. doi: 10.1161/CIRCRESAHA.118.314607.
 - 14) Masato Matsushita, Akihiro Shirakabe, Hirotake Okazaki, Yusaku Shibata, Hiroki Goda, Shota Shigihara, Kazuhiro Asano, Kenichi Tani, Kazutaka Kiuchi, Takayo Murase, Takashi Nakamura, Tsutomu Takayasu, Miwako Asano, Fumitaka Okajima, Nobuaki Kobayashi, Noritake Hata, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Plasma Xanthine Oxidoreductase (XOR) Activity in Cardiovascular Disease Outpatients. *Circulation reports* 2020; 2 (2) :104-112. doi: 10.1253/circrep.CR-19-0116.
 - 15) Okazaki H, Shirakabe A, Matsushita M, Shibata Y, Sawatani T, Uchiyama S, Tani K, Murase T, Nakamura T, Takayasu T, Asano M, Kobayashi N, Hata N, Asai K, Shimizu W : Plasma xanthine oxidoreductase activity in patients with decompensated acute heart failure requiring intensive care. *ESC heart failure* 2019; 6 (2) :336-343. doi: 10.1002/ehf2.12390.
 - 16) Kamiya M, Sato N, Matsuda J, Nozaki A, Akiya M, Sato T, Okazaki H, Takahashi Y, Shimizu W : Predictors of responders for low-dose carperitide monotherapy in patients with acute heart failure. *Heart and vessels* 2019; 35 (1) :59-68. doi: 10.1007/s00380-019-01450-w.
 - 17) Akihiro Shirakabe, Kuniya Asai, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Masato Matsushita, Yusaku Shibata, Hiroki Goda, Shota Shigihara, Kazuhiro Asano, Kenichi Tani, Kazutaka Kiuchi, Noritake Hata, Wataru Shimizu : Prognostic Value of Both Plasma Volume Status and Nutritional Status in Patients With Severely Decompensated Acute Heart Failure. *CJC open* 2019; 1 (6) :305-315. doi: 10.1016/j.cjco.2019.10.001.
 - 18) Kazutaka Kiuchi, Akihiro Shirakabe, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Masato Matsushita, Yusaku Shibata, Hiroki Goda,

- Shota Shigihara, Kazuhiro Asano, Kenichi Tani, Noritake Hata, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Prognostic impact of new-onset atrial fibrillation associated with worsening heart failure in aging patients with severely decompensated acute heart failure. *International journal of cardiology* 2020; 302:88-94. doi: 10.1016/j.ijcard.2019.09.020.
- 19) Michael R. MacDonald, Wan Ting Tay, Tiew - Hwa Katherine Teng, Inder Anand, Lieng Hsi Ling, Jonathan Yap, Jasper Tromp, Gurpreet S. Wander, Ajay Naik, Tachapong Ngarmukos, Bambang B. Siswanto, Chung - Lieh Hung, A. Mark Richards, Carolyn S. P. Lam, Houng Bang Liew, Calambur Narasimhan, Sang Weon Park, Eugenio Reyes, Wataru Shimizu, Shu Zhang, Liqun Wu, Tianyou Ling, Xinli Li, Haifeng Zhang, Yangang Su, Cheuk Man Yu, B K S Sastry, Arun Gopi, K Raghu, C Sridevi, Daljeet Kaur, Keyur Parikh, Anish Chandarana, Urmil Shah, Milan Chag, Hemang Baxi, Satya Gupta, Jyoti Bhatia, Vaishali Khakhkhar, Vineet Sankhla, Tejas Patel, Vipul Kapoor, Rohit Tandon, Vijay Chopra, Manoj Kumar, Hatinder Jeet Singh Sethi, Rashmi Verma, Jitendra Sawhney, Manish Kr. Sharma, Mohanan Padinhare Purayil, Muhammad Munawar, Jimmy Agung Pambudi, Antonia Lukito, Ingrid Pardede, Alvin Thengker, Vito Damay, Siska Suridanda Danny, Rarsari Surarso, Ryoubun Yasuoka, Kuniya Asai, Takanori Ikeda, Sang - Weon Park, Suk Keun Hong, SookJin Lee, Lim Dal Soo, Dong - Hyeok Kim, Jaemin Shim, Seong - Mi Park, Seung - Young Roh, Young Hoon Kim, Mina Kim, Jong - Il Choi, Jin Oh Na, Seung Woon Rha, Hong Seog Seo, Dong Joo Oh, Chang Gyu Park, Eung Ju Kim, Sunki Lee, Boyoung Joung, Jae - Sun Uhm, Moon Hyoung Lee, In - Jeong Cho, Hui - Nam Park, Hyung - Wook Park, Jeong - Gwan Cho, Namsik Yoon, KiHong Lee, Kye Hun Kim, Seong Hwan Kim, Houng Bang Liew, Sahrin Saharudin, Boon Cong Beh, Yu Wei Lee, Chia How Yen, Mohd Khairi Othman, Amie - Anne Augustine, Mohd Hariz Mohd Asnawi, Roberto Angelo Mojolou, You Zhuan Tan, Aida Nurbaini Arbain, Chii Koh Wong, Azmee Mohd Ghazi, Surinder Kaur Khelae, David S.P. Chew, Lok Bin Yap, Azlan Hussin, Zulkeflee Muhammad, Imran Zainal Abidin, Ahmad Syadi Bin Mahmood Zhudi, Nor Ashikin Md Sari, Ganiga Srinvasaiah Sridhar, Ahmad Syadi Mahmood Zuhdi, Muhammad Dzafir Ismail, Tiong Kiam Ong, Yee Ling Cham, Ning Zan Khiew, Asri Bin Said, Alan Yean Yip Fong, Nor Hanim Mohd Amin, Keong Chua Seng, Sian Kong Tan, Kuan Leong Yew, Eugenio Reyes, Jones Santos, Allan Lim, Raul Lapitan, Ryan Andal, Eleanor Lopez, Kheng Leng David Sim, Boon Yew Tan, Choon Pin Lim, Louis L.Y. Teo, Laura L. H. Chan, Ping Chai, Ching Chiew Raymond Wong, Kian Keong Poh, Poh Shuan Daniel Yeo, Evelyn M. Lee, Seet Yong Loh, Min Er Ching, Deanna Z.L. Khoo, Min Sen Yew, Wenjie Huang, Jia Hao Jason See, Yaozong Benji Lim, Svenszeat Tan, Colin Yeo, Siang Chew Chai, Fazlur Rehman Jaufeerally, Haresh Tulsidas, Than Aung, Hean Yee Ong, Lee Fong Ling, Dinna Kar Nee Soon, Hung - I Yeh, Jen - Yuan Kuo, Chih - Hsuan Yen, Juey - Jen Hwang, Kuo - Liong Chien, Ta - Chen Su, Lian - Yu Lin, Jyh - Ming Juang, Yen - Hung Lin, Fu - Tien Chiang, Jiunn - Lee Lin, Yi - Lwun Ho, Chii - Ming Lee, Po - Chih Lin, Chi - Sheng Hung, Sheng - Nan Chang, Jou - Wei Lin, Chih - Neng Hsu, Wen - Chung Yu, Tze - Fan Chao, Shih - Hsien Sung, Kang - Ling Wang, Hsin - Bang Leu, Yenn - Jiang Lin, Shih - Lin Chang, Po - Hsun Huang, Li - Wei Lo, Cheng - Hsueh Wu, Hsin - Yueh Liang, Shih - Sheng Chang, Lien - Cheng Hsiao, Yu - Chen Wang, Chiung - Ray Lu, Hung - Pin Wu, Yen - Nien Lin, Ke - Wei Chen, Ping - Han Lo, Chung - Ho Hsu, Li - Chuan Hsieh, Mann Chandavimol, Teerapat Yingchoncharoen, Prasart Laothavorn, Wanwarang Wongcharoen, Arintaya Phrommintikul : Regional Variation of Mortality in Heart Failure With Reduced and Preserved Ejection Fraction Across Asia: Outcomes in the ASIAN - HF Registry. *Journal of the American Heart Association* 2020; 9 (1) doi: 10.1161/jaha.119.012199.
- 20) Kuniya Asai, Akihiro Shirakabe, Kazutaka Kiuchi, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Masato Matsushita, Yusaku Shibata, Hiroki Goda, Shota Shigihara, Kazuhiro Asano, Kenichi Tani, Fumitaka Okajima, Noritake Hata, Wataru Shimizu : Relation of Low Triiodothyronine Syndrome Associated With Aging and Malnutrition to Adverse Outcome in Patients With Acute Heart Failure. *American Journal of Cardiology* 2020; 125 (3) :427-435. doi: 10.1016/j.amjcard.2019.10.051.
- 21) Akihiro Shirakabe, Masato Matsushita, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Scoring system in patients with acute heart failure. *International journal of cardiology* 2019; 296:122-123. doi: 10.1016/j.ijcard.2019.08.012.
- 22) Shirakabe A, Kobayashi N, Okazaki H, Matsushita M, Shibata Y, Goda H, Shigihara S, Asano K, Kiuchi K, Hata N, Asai K, Shimizu W : Trends in the Management of Acute Heart Failure Requiring Intensive Care. *The American journal of cardiology* 2019; 124 (7) :1076-1084. doi: 10.1016/j.amjcard.2019.06.025.
- 23) Shirakabe A, Hata N, Kobayashi N, Okazaki H, Matsushita M, Shibata Y, Uchiyama S, Sawatani T, Asai K, Shimizu W :

- Worsening renal failure in patients with acute heart failure: the importance of cardiac biomarkers. ESC heart failure 2019; 6 (2) :416-427. doi: 10.1002/ehf2.12414.
- 24) WAKITA Masaki, KUBOTA Yoshiaki, KOEN Masahiro, MURAI Koji, ASAI Kuniya, SHIMIZU Wataru : より良い治療結果のために 駆出率を維持した高尿酸血症性 CHF 患者群にトピロキソスタットを使用する提案の研究(SOUGHTstudy). 日本心不全学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 23rd
- 25) 櫛山周平, 八代正和, 村橋邦康, 奥野倫久, 黒田顕慈, 田中涼太, 梅野真吾, 西村貞徳, 豊川貴弘, 田中浩明, 六車一哉, 平川弘聖, 大平雅一 : トラニラスト,シスプラチン併用療法によるスキルス胃癌への治療効果の検討. 日本外科学会定期学術集会 2019; 119th
- 26) 浅井邦也 : 循環器疾患 頻脈性不整脈. 臨床検査 2019; 63 (4)
- 27) 白壁章宏, 小林宣明, 岡崎大武, 柴田祐作, 合田浩紀, 内山沙央里, 谷憲一, 浅井邦也, 清水渉 : 循環器系集中治療室における各種 モニタリング. 日本集中治療医学会学術集会 2019; 46th
- 28) 浅井邦也, 清野精彦 : 心膜疾患 粘液水腫・心アミロイドーシスにおける心膜疾患. 日本臨床 2019
- 29) Kobayashi Nobuaki, Asai Kuniya, Tsurumi Masafumi, Shibata Yusaku, Okazaki Hirotake, Shirakabe Akihiro, Goda Hiroki, Uchiyama Saori, Tani Kenichi, Takano Masamichi, Shimizu Wataru : 急性冠症候群患者における光干渉断層撮影と心臓転帰により決定された冠動脈責任病変形態に及ぼす累積血清尿酸の影響【JST・京大機械翻訳】. Cardiology 2019; 141 (4) :190-198. doi: 10.1159/000496053.
- 30) SHIRAKABE Akihiro, OKAZAKI Hirotake, SHIBATA Yusaku, GODA Hiroki, SHIGIHARA Syota, ASANO Kazuhiro, ASAI Kuniya, SHIMIZU Wataru : 急性心不全の臨床研究アプローチと最新基礎研究. 日本心血管内分泌代謝学会学術総会プログラム及び抄録集 2019; 23rd
- 31) Yanagisawa Fumi, Yanagisawa Fumi, Amano Yasuo, Tachi Masaki, Inui Keisuke, Asai Kuniya, Kumita Shinichiro : 拡張型心筋症の非造影増強 T₁ マッピング:ネイティブ T₁ 値とガドリニウム遅延造影の比較. Magnetic Resonance in Medical Sciences 2019; 18 (1) :12-18. doi: 10.2463/mrms.mp.2017-0136.
- 32) 宮國 知世, 小宮山 英徳, 高野 雅充, 浅井 邦也, 國分 裕人, 堤 正将, 木内 一貴, 轟 崇弘, 池田 健, 松下 誠人, 小林 宣明, 清野 精彦, 清水 渉 : 末梢動脈疾患に対する下肢血行再建が筋肉量および糖代謝、脂質代謝に及ぼす影響. 日本心血管インターベンション治療学会抄録集 2019; 28 回:[MO138-002].
- 33) Matsushita Masato, Shirakabe Akihiro, Kobayashi Nobuaki, Okazaki Hirotake, Shibata Yusaku, Goda Hiroki, Uchiyama Saori, Tani Kenichi, Kiuchi Kazutaka, Hata Noritake, Asai Kuniya, Shimizu Wataru : 睡眠中の急性心不全の臨床的特徴-深夜または早朝に入院した重症非代償性急性心不全患者における前駆症状の予後的影響-. Circulation Reports 2019; 1 (2) :61-70. doi: 10.1253/circrep.CJ-18-0014.
- 34) 荒川 将史, 戸田 諭補, 小澤 明子, 谷 憲一, 浅井 邦也, 山崎 峰雄, 木村 和美 : 腎細胞癌に対しニボルマブ、イピリムマブ投与 2 週間後に重症筋無力症、筋炎、心筋炎を発症し全経過 12 日で死亡した 77 歳男性例. 臨床神経学 2019; 59 (7) :471.
- 35) KIUCHI Kazutaka, SHIRAKABE Akihiro, KOBAYASHI Nobuaki, OKAZAKI Hirotake, MATUSHITA Masato, SHIBATA Yusaku, GODA Hiroki, SHIGIHARA Shouta, ASANO Kazuhiro, TANI Kenichi, HATA Noritake, ASAI Kuniya, SHIMIZU Wataru : 重度非代償性急性心不全患者における心不全増悪を伴う新発症心房細動の予後値. 日本心不全学会学術集会プログラム・抄録集 2019; 23rd

5 成田国際空港クリニック

研究業績

論文等

- 1) 辻井 厚子, 石井 浩統, 中江 竜太, 増野 智彦, 原 義明, 横堀 将司, 松田 潔, 松本 尚, 畝本 恭子, 横田 裕行 : 30 年後の救急医療-次世代に向けて 30 年後の救急医療 今後求められる卒後教育を予想する. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :541.
- 2) 重田 健太, 金 史英, 田山 英樹, 溝渕 大騎, 瀧口 徹, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 新井 正徳, 増野 智彦, 横田 裕行 : Abdominal Compartment Syndrome(ACS)の治療戦略 当施設における Abdominal compartment syndrome(ACS)の治療戦略. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :277.
- 3) 重田 健太, 金 史英, 田山 英樹, 溝渕 大騎, 瀧口 徹, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 新井 正徳, 増野 智彦, 横田 裕行 : Acute care surger 領域における video-assisted thoracoscopy の必要性. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2019; 9 (1) :156.
- 4) Masatoku Arai, Shiei Kim, Hiromoto Ishii, Jun Hagiwara, Toru Takiguchi, Yoshito Ishiki, Hiroyuki Yokota : Delayed development of portal vein thrombosis in a patient initially detected with portal venous gas and pneumatosis intestinalis: a case report. Acute medicine & surgery 2019; 6 (4) :419-422. doi: 10.1002/ams2.448.
- 5) Toru Kurihara, Yutaka Igarashi, Kaori Kobai, Taiki Mizobuchi, Hiromoto Ishii, Noriko Matsumoto, Shoji Yokobori, Hiroyuki Yokota : Diagnosis and prediction of prognosis for Bickerstaff's brainstem encephalitis using auditory brainstem response: a case report. ACUTE MEDICINE & SURGERY 2020; 7 (1) doi: 10.1002/ams2.517.
- 6) 濱口 拓郎, 五十嵐 豊, 富永 直樹, 溝渕 大騎, 石井 浩統, 増野 智彦, 横堀 将司, 横田 裕行 : ECMO 管理 こうすればうまくいく 成人敗血症患者に対する ECMO の予後と適応に対する検討. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2020; 41 (1) :65.
- 7) 富田 恵実, 五十嵐 豊, 井上 正章, 栗原 貫, 遠山 健太郎, 古梅 香, 溝渕 大騎, 石井 浩統, 横堀 将司, 新井 正徳, 横田 裕行 : E 型肝炎による劇症肝炎の 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :263.
- 8) 富田 恵実, 五十嵐 豊, 井上 正章, 栗原 貫, 遠山 健太郎, 古梅 香, 溝渕 大騎, 石井 浩統, 横堀 将司, 新井 正徳, 横田 裕行 : E 型肝炎による劇症肝炎の一例. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :630.
- 9) 金 史英, 重田 健太, 溝渕 大騎, 瀧口 徹, 田山 英樹, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 増野 智彦, 新井 正徳, 横田 裕行 : Hybrid ER で変わる救急医療 mobile DSA を導入した ER における非外傷性大量出血に対する治療成績. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :559.
- 10) Masatoku Arai, Shiei Kim, Hiromoto Ishii, Toru Takiguchi, Hiroyuki Yokota : Portal venous gas in adults: The clinical significance, management and outcomes of 25 consecutive cases. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2020; 88 (2) :88-96. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2021_88-201.
- 11) 金 史英, 重田 健太, 田山 英樹, 溝渕 大騎, 瀧口 徹, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 増野 智彦, 新井 正徳, 横田 裕行 : mobile DSA を設置した ER 手術室における動脈瘤破裂に対する治療戦略. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2019; 9 (1) :156.
- 12) 石井 浩統 : 【超音波診断 CONTENTS 2019 BOOK】臨床 救急 救急領域での超音波活用. 映像情報 Medical 2019; 51 (6) :101-106.
- 13) 石井 浩統, 溝渕 大騎, 五十嵐 豊, 恩田 秀賢, 横堀 将司, 増野 智彦, 小笠原 智子, 宮内 雅人, 布施 明, 辻井 厚子, 横田 裕行 : あなたの教え方、間違ってますか?部下やチームを育てる方法を議論する 救急診療現場におけるオンザジョブトレーニング トヨタ生産方式の試み. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :589.
- 14) 前島 璃子, 石井 浩統, 中江 竜太, 秋月 光, 田山 英樹, 瀧口 徹, 恩田 秀賢, 金 史英, 横田 裕行 : ポリスチレンスルホン酸カルシウム服用中に腸管穿孔をきたした 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :371.
- 15) 横堀 将司, 富永 直樹, 重田 健太, 瀧口 徹, 五十嵐 豊, 石井 浩統, 中江 竜太, 恩田 秀賢, 布施 明, 横田 裕行 : 体温管理をめぐる諸問題 2019 熱中症治療における自動体温管理デバイスの効果 体外冷却か、体内冷却か?Heatstroke Study 2017-2018 からの検討. 日本脳低温療法・体温管理学会プログラム・抄録集 2019; 22 回:44.
- 16) 石井 浩統, 新井 正徳, 金 史英, 石木 義人, 瀧口 徹, 萩原 純, 小笠原 智子, 辻井 厚子, 横田 裕行 : 入院経過中に腸管気腫および

- び門脈気腫を来した鈍的外傷の1例. 日本外傷学会雑誌 2019; 33 (2) :270.
- 17) 栗原 貫, 五十嵐 豊, 富田 恵美, 井上 正章, 遠山 健太郎, 古梅 香, 溝渕 大騎, 石井 浩統, 横堀 将司, 横田 裕行 : 原因不明の意識障害から良好な転帰を得た Bickerstaff 脳幹脳炎の一例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2020; 41 (1) :115.
- 18) 重田 健太, 金 史英, 田山 英樹, 溝渕 大騎, 瀧口 徹, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 新井 正徳, 増野 智彦, 横田 裕行 : 大腸穿孔に対する治療戦略 救命救急センターにおける大腸穿孔の検討 二期的手術は有効か?. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :271.
- 19) 溝渕 大騎, 井上 正章, 秋月光, 田山 英樹, 重田 健太, 瀧口 徹, 萩原 純, 石井 浩統, 増野 智彦, 小笠原 智子, 金 史英, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行 : 当救命救急センターにおける下部消化管穿孔111例の検討. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2019; 9 (1) :146.
- 20) 重田 健太, 金 史英, 田山 英樹, 溝渕 大騎, 瀧口 徹, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 新井 正徳, 増野 智彦, 横田 裕行 : 当施設における Open abdomen management の工夫. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :723.
- 21) 田山 英樹, 新井 正徳, 溝渕 大騎, 瀧口 徹, 重田 健太, 萩原 純, 石井 浩統, 小笠原 智子, 金 史英, 辻井 厚子, 横田 裕行 : 当施設における外傷性胸部大動脈損傷 15 例の検討. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :726.
- 22) 赤沼 雅彦, 松浦 直子 : 成田国際空港クリニック 2018 年度旅客患者の検討. 宇宙航空環境医学 2019; 56 (1-4) :54.
- 23) 前島 璃子, 佐々木 和馬, 石井 浩統, 増野 智彦, 恩田 秀賢, 小笠原 智子, 辻井 厚子, 横田 裕行 : 救命センターにおける未診断 Oncologic Emergency の検討. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :744.
- 24) 亀田 徹, 児玉 貴光, 方波見 謙一, 石井 浩統, 谷口 隼人, 妹尾 聡美, 瀬良 誠, 山賀 聡之, 大屋 聖郎, 木村 昭夫 : 救急医療で求められる point-of-care ultrasound(POCUS) 日本救急医学会 Point-of-Care 超音波(POCUS)推進委員会の展開. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :569.
- 25) 栗原 貫, 五十嵐 豊, 井上 正章, 遠山 健太郎, 溝渕 大騎, 石井 浩統, 新井 正徳, 辻井 厚子, 増野 智彦, 横堀 将司, 布施 明, 横田 裕行 : 気道異物による窒息に対する気道再開通のタイミングと予後の関係 Multi-center observational choking investigation(MOCHI). 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :248.
- 26) 金 史英, 重田 健太, 溝渕 大騎, 瀧口 徹, 田山 英樹, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 増野 智彦, 新井 正徳, 横田 裕行 : 消化管出血に対する Strategy 高度救命救急センターにおける上部消化管出血の治療戦略. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :269.
- 27) 横堀 将司, 富永 直樹, 重田 健太, 瀧口 徹, 五十嵐 豊, 石井 浩統, 中江 竜太, 恩田 秀賢, 増野 智彦, 布施 明, 横田 裕行 : 熱中症研究のフロントライン 熱中症治療における自動体温管理デバイスの有効性に関する検討 Heatstroke Study 2017-2018 からの検討. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :574.
- 28) 溝渕 大騎, 金 史英, 秋月光, 田山 英樹, 重田 健太, 瀧口 徹, 萩原 純, 石井 浩統, 増野 智彦, 小笠原 智子, 新井 正徳, 横田 裕行 : 破裂腹部大動脈瘤に対する治療戦略 破裂性腹部大動脈瘤 当救命救急センターの治療戦略. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :275.
- 29) 遠山 健太郎, 五十嵐 豊, 井上 正章, 栗原 貫, 溝渕 大騎, 石井 浩統, 辻井 厚子, 新井 正徳, 増野 智彦, 横堀 将司, 布施 明, 横田 裕行 : 窒息による院外心停止患者に対する病院前気管挿管の有用性 Multi-center observational choking investigation(MOCHI). 日本医科大学医学会雑誌 2019; 15 (4) :248-249.
- 30) 遠山 健太郎, 五十嵐 豊, 井上 正章, 栗原 貫, 濱口 拓郎, 秋月光, 溝渕 大騎, 平林 篤志, 石井 浩統, 原 義明, 増野 智彦, 横堀 将司, 新井 正徳, 布施 明, 横田 裕行 : 肺炎球菌による多発化膿性関節炎の一例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2020; 41 (1) :121.
- 31) 井上 正章, 溝渕 大騎, 田山 英樹, 重田 健太, 瀧口 徹, 石井 浩統, 金 史英, 横堀 将司, 増野 智彦, 新井 正徳, 横田 裕行 : 腹部大動脈瘤破裂により心停止に至ったが、蘇生的開胸術・緊急腹部大動脈人工血管置換術により救命し得た一例. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2019; 9 (1) :192.
- 32) 金 史英, 重田 健太, 溝渕 大騎, 瀧口 徹, 田山 英樹, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 増野 智彦, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行 : 腹部救急とチーム医療 高度循環破綻例を救命するための当施設におけるチーム医療. 日本腹部救急医学会雑誌 2020; 40 (2) :276.
- 33) 新井 正徳, 金 史英, 石井 浩統, 萩原 純, 瀧口 徹, 重田 健太, 溝渕 大騎, 富永 直樹, 田山 英樹, 小笠原 智子, 横田 裕行 : 遅発性に門脈血栓症を合併した腸管気腫および門脈ガスを認めた1例. 日本救急医学会雑誌 2019; 30 (9) :778.

[収録データ：researchmap 掲載の公開データ（2024-07-10 時点） / 使用システム：DB-Spiral
作成：日本医科大学中央図書館 機関リポジトリ担当]